

72-345二



\*1200501807729\*



始



SANSEIDO  
KANDA TOKYO

最新世界年表

文學博士喜田貞吉校

閱

文學士森田鐵三郎西洋史擔任

妻木忠太日本史擔任

三省堂編輯所編纂



模範

# 最新世界年表

東京

株式會社

三省堂發兌

72

345二

(1) 表年界世新最

緒言

本書は創刊以來既に幾多の歳月を経過し、その間、時代の推移と共に新事實を續載し、其の都度内容全體に亘りて修訂を施し、常に時代の要求に相應することを努めたるを以て、幸に社會の歡迎を受けて噴々の好評を博し、隱然斯學のオーソリティを以て認めらるゝに至れり。然るに過般の大震災は本書をして一時休版の餘儀なきに至らしめ、爲めに熱心なる社會の期待と慇懃とに背くこと一年有餘に及びたるも、此度大正十二年版に嚴密周到なる増訂を施して再び江湖に見ゆることゝなせり。

本書はその前々身たる大正二年版の最新世界年表以來、その修訂に就ては國史・支那史の部は妻木忠太氏専ら之を擔當し、西洋史の部は森田鐵三郎氏専ら之が任に當れり。而して増訂の際には二氏は新事實を續載する以外に、勞力の煩苛を厭はず内容の全般に根本的訂正を加ふるを常とせり。兩氏の斯學に造詣深きは學界の認むるところ、敢て喋々の紹介を要せざるも、特に兩氏が日



I種  
W



\*1200501807729\*

常研學の傍ら自家机上の便覽用として、長年月を費して作り置き、且つ作りつゝある正確詳密なる年表及び系圖を基本として本書を作成せられたるものなれば、其價値の存するところ推して知るべく、又本書の附録は有益なる系圖表・歴代表等を載録し、其の分量は全頁の三分の一を占め、年表と共に不可缺重要な部たるも亦贅言の要なからむ。

今や世界は過般の大戦によりて激變を來たし、總ての方面に新文化欲求の念熾烈となれり。而して新文化の建設には過去の經驗を閑却すべからず。思ふに現代人は目下世界を風靡せる改造の一大勢力を知ると共に、溯りて過去數千年間の久しきに於ける人類の偉大なる經驗を一目の下に容易に且つ迅速に知悉せんことを切望して已まず。本書はこの時代の要求を充たすに於て毫も遺憾なからんことを期せり。

大正十四年四月

三省堂編輯部

例言

一 本書は世界の史實を網羅し、一目の下能く其年月の對照を容易ならしめ、以て世界大勢の進歩に與れる史實の原因結果及び其相互の聯絡を研鑽闡明せんとする者の便に供するにあり。

一 支那・朝鮮其他の人名・地名にして古來漢字を慣用せるもの、外は、主として史學會の調査に係れる外國地名・人名稱呼一覽に據りて之を記し、其漏れたるものは該調査方針に基きて之を定め、其之を定むるを得ざるものに至りては、各國の原音を採り、假名を以て記せり。

一 本書は斬新の體裁により、皇紀以前を別とし、以後は各頁に毎十年の史實を列舉し、第十四世紀初頃より更に之を五年の史實に、更に最近時に至り二年の史實に擴げたるは、史實の漸次増加するに従ひ、搜索上の便宜を目的とせしに由る。

皇紀若くは西紀の一方に據り他方を求むるには

皇紀前及び西紀後は其和六百六十

皇紀元年より西紀前年迄は其和六百六十一なるを以て容易に算定するを得べし。

一 閏年算定法は勅令を以て示されたるが如し。

神武天皇即位紀元年數の四を以て整除し得べき年を閏年とす。但し紀元年數より六百六十を減じ、百を以て整除し得べきものうち、更に四を以て其商を整除し得ざる年は平年とす。

(明治三十一年勅令第九十號)

一 附録に本朝聖帝表、本朝將軍表、諸氏系圖、支那及朝鮮歴代帝王略系、西洋諸國帝王系圖、ペルシヤ及モンゴル帝國の帝王系圖、西洋諸王家の關係系圖、西洋諸國及支那統治者歴代表、歐洲列國同時代の統治者歴代一覽表及本朝并に支那・朝鮮の年號索引あり、就て見るべし。

皇紀二千五百八十五年(西紀一九二五年)

大正十四年四月

附録目次

本朝聖帝表	.....	一
本朝將軍表	.....	三
諸氏系圖	.....	五
大伴氏 (五)		
物部氏 (五)		
蘇我氏 (六)		
巨勢平群紀葛城		
中臣氏 (六—七)		
藤原		
和氣氏 (七)		
橘氏 (七—八)		
橘木 (七)		
紀氏 (八)		
堀田		
菅原氏 (八—九)		
清原氏 (九)		
船橋・五條		
大江氏 (一〇)		
在原・毛利		
小野氏 (一〇)		
藤原氏(南家) (一〇—一一)		
北家・式家・京家・二階堂・野中東		
工藤・河津・曾我・土肥・熱田大官司流		
藤原氏(北家) (一一—一二)		
日野・廣幡・安達・旁柳流・高倉・八條・富小路・京極・南院・菊池・宇都宮 (一二—小野宮・小一條・御子左・九條・山井・近藤・繪所・壬生・花山院・大炊御門・室町・法住寺・近衛・松殿・九條・藤原 (一三—藤原・飛鳥井 (一四)		
攝關家流 (一二—一五)		
近衛・藤原・九條・二條・一條・土佐・一條		

藤原氏(式家) (二五—二六)  
 日野  
 藤原氏(京家) (二六)  
 藤原内膳流 (二六)  
 日野四辻裏松・鳥丸・藤原・武者小路・土御門・竹屋  
 藤原魚名流 (二六—二七)  
 森田城介安達大曾嗣・伊達林富盛・六條・八條  
 藤原高藤流 (二七—二八)  
 上杉・吉田・萬里小路・兼室  
 藤原實賴・伊尹・爲光諸流  
 上野宮・四條・京極・日野  
 藤原公季流 (二九—三〇)  
 開院・滋野井・三條・阿野・師小路・正親・町三條・九條・西園寺・德大寺・大宮・今出川・菊亭  
 藤原賴宗流 (三〇)

中御門・堀河・一條・持明院・坊門・圓白河  
 藤原長家流 (三〇—三一)  
 大炊御門・御子左・五條・京極・冷泉  
 藤原師實流 (三一—三二)  
 花山院・中山・五辻・大炊御門・盧司・堀河・藤原・飛鳥井  
 藤原秀郷流 (三二)  
 佐藤・首藤・山内・後藤・尾藤・伊賀・大友・武藤・少貳・足利・小山・下河邊・結城  
 平氏 (三一—三三)  
 北條・相馬・村岡・土肥・千葉・伊勢・播磨・長門・宗門・藤原  
 清和源氏 (三三)  
 山田・小島・足助・辻・平井・萬原・河曲・泉片切・手塚・多田・馬場・土岐・新田・足利・右衛門・佐竹・竹田  
 村上源氏 (三五)

中院・源久我・藤原・名和・赤松・堀川・六條・千種・土御門・三條坊門・北條・萬里小路  
 宇多源氏 (三五)  
 藤原・佐佐木  
 北條氏 (三五)  
 阿曾・名越・赤松(二六)・金澤・佐介・大佛(二七)  
 高山・千葉氏 (三七)  
 東  
 三浦・和田氏 (三八)  
 杉本・重名・岡崎・大庭・梶原・長用  
 土岐氏 (三八—三九)  
 豐原・多田見  
 楠木氏 (三九)  
 和田  
 菊池氏 (三〇)  
 福造寺・託摩

北島・名和氏 (三〇—三一)  
 春日・大河内  
 小山・結城氏 (三〇—三一)  
 下河邊・小條  
 佐佐木氏 (三一—三三)  
 大原・六角・山内・京極・黑田・尻子・磯部・加地・野木・出雲・鹽治  
 少貳・大友氏 (三一—三三)  
 戸次・立花・龜島  
 新田氏 (三三)  
 山名・里見・德川・藤原・大館・堀口  
 足利氏 (三一—三四)  
 仁木・細川・高山・吉良・今川(三三)・新・渡・澁川・石塔・一色(三四)  
 桃井氏 (三四)  
 喜連川氏 (三五)  
 斯波・細川氏 (三五—三七)

高山氏 (三八)  
 岩松・二本松  
 赤松氏 (三八—三九)  
 別所・有馬  
 山名氏 (三九—四〇)  
 澁川・石塔・一色氏 (四〇)  
 仁木氏 (四二)  
 杉原  
 吉良・今川氏 (四二)  
 大内氏 (四三)  
 山口  
 上杉氏 (四三—四四)  
 扇谷・三浦・七澤(四二)・山内・大將(四四)・宅間(四四)  
 宇都宮氏 (四四—四五)  
 武藤  
 里見氏 (四五)  
 井側

佐竹氏 (四五—四六)  
 岩城(四五)  
 武田氏 (四六)  
 逸見・穴山・仁科・葛山  
 小笠原氏 (四六—四八)  
 南郡・安田(四六)・平賀(四七)  
 三好氏 (四八)  
 芥川・十河  
 伊達氏 (四九)  
 南部氏 (四九—五〇)  
 相馬氏 (五〇—五一)  
 織田氏 (五一—五三)  
 毛利氏 (五三—五四)  
 吉川・小早川(五三)・藤田(五四)  
 島津氏 (五四—五五)  
 伊集院・新納・神山・石坂(五四)  
 德川氏 (五五—五六)

酒井(五五)・竹谷・形原・能見・長澤・柳  
 抽・深澤・岸津・森生・湖澤・福益・櫻井・  
 東條・藤井・久松・越智の松平・岡崎・結  
 城・東條・武田・駿河・保科(五六)・越後・  
 尾張・紀伊・水戸・清水・田安(五七)・一  
 橋(五八)

德川氏(尾張家) (六一九)  
 德川氏(紀伊家) (六一九)  
 德川氏(水戸家) (六一六)  
 前田氏 (六一六)  
 池田氏 (六一六)  
 山内氏 (六四)

鍋島氏 (七五)  
 酒井氏 (五九一六七)  
 本多氏 (六七七〇)  
 阿部氏 (七〇七二)  
 堀田氏 (七二)

支那及朝鮮歷代帝王略系

夏 (七一)

殷 (七一七三)

周 (七三一一七四)

秦 (七四)

前漢及後漢 (七五—七七)

三國 (七六一七)

西晉及東晉 (七)

五胡十六國 (六一—八二)

南北朝 (八一—八四)

隋 (八四)

唐 (八五)

五代 (八五—八六)

宋 (八七)

遼及西遼 (八八)

金 (八八)

夏 (八九)

元 (八九—九〇)

明 (九〇—九二)

清 (九二)

三韓、高麗及渤海 (九二—九七)

高麗 (九七—九九)

朝鮮 (九八—九九)

西洋諸國帝王系圖(便宜上ベルシヤ、モンゴル帝國加入)

一 上古のベルシヤ國 (100)

二 フランク國 (101—1011)

100

(一) メロヴィス朝 (二) カロルス朝  
 三 ドイツ國 (1011—19)

(一) フランコニヤ家 (二) サクソニヤ家

(三) フランコニヤ家 (四) サクソニヤ家

(五) ホーエンスタウフェン(或ばスタウフェン)

(七) 諸王家

(八) ハプスブルグ家

(九) ハプスブルグ家

(一〇) ホーエンスタウフェン家(一八一—一八九)

四 オーストリア國 (109)

ハプスブルグロートリンゲン家

五 プロシヤ國 (110—111)

ホーエンスタウフェン家

六 フランス國 (111—115)

(一) カペー家 (二) ヴァロア家

(三) ブルボン家 (四) ボナバルト家

七 イギリス國 (115—1110)

(一) セルチク家 (二) デンマルク家

(三) ゴドウィン家 (四) ノルマン家

(五) プランタジネット統 (六) ランカスター家

(七) ヨーク家 (八) チュードル家

(九) スチュアート家 (一〇) ハノーヴァー家

八 イスパニヤ國 (111—1111)

(一) ハプスブルグ家 (二) ブルボン家

九 ポルトガル國 (111—111)

(一) ブルグンド朝 (二) ハプスブルグ家

一〇 プラガンザ家

ロシヤ國 (115—117)

ロマーノフ家

ロマーノフホルスタインゴットルプ家

イタリヤ國 (117—118)



- サゾイ家
- 一二 北方三王國 (二八—二九)
- 一三 デンマルク國 (二九—三〇)
- (一) オルデンブルグ家
- (二) グリックスブルグ家
- 一四 スウェーデン國 (三一—三二)
- (一) ヴァサ家 (二) ヴァサー・ファルツ・ツウ・ファイア
- リッペン家 (三) ホルスタイン・ゴットルプ家
- (四) ポント・コロボ家
- 一五 ノルウェー國 (三三)
- 一六 オランダ國 (三三—三四)
- オレンジ・ナッサウ家
- 一七 ベルギー國 (三四)
- サクス・コーブルグ家
- 一八 ギリシヤ國 (三四—三五)

- (一) バヴァリア家 (二) デンマルク家
- 一九 トルコ國 (三五—三六)
- オスマン家
- 一 ペルシヤ國 (三七)
- カジャル朝
- 二 モンゴル帝國 (三七—三八)
- 一 百年戦役に於ける英佛二國
- 王家の關係 (二九—三〇)
- 二 藩倭戦役に於けるランカスター及ヨーク二家の關係 (三〇)
- 三 ルイ十四世の外征及びイスパニヤ繼承戦役に於ける諸國の關係 (三一—三二)

四 オーストリア繼承戦役に於ける諸國の關係 (三四—三四)

西洋諸國及支那統治者歴代表附英領印度長官歴代表……………一四

- 一 ローマ皇帝 (二四—二五)
- 二 西ローマ皇帝 (二五)
- 三 東ローマ皇帝 (二五—二六)
- 四 ラテン皇帝 (二六)
- 五 ギリシヤ皇帝 (二六)
- 六 東ローマ皇帝 (二六)
- 七 ローマ法王 (二六—二七)

- 五 英獨露三國に於ける最近各皇室の關係 (三四—三五)
- 八 北米合衆國大統領 (三五—三六)
  - 九 佛國大統領 (三五—三六)
  - 一〇 葡國大統領 (三六)
  - 一一 墨國大統領 (三六)
  - 一二 支那共和國大統領 (三六)
  - 一三 英領印度長官 (三六—三七)

歐洲列國同時代の統治者歴代一覽表附米國大統領……………一五

本朝年號索引……………一六

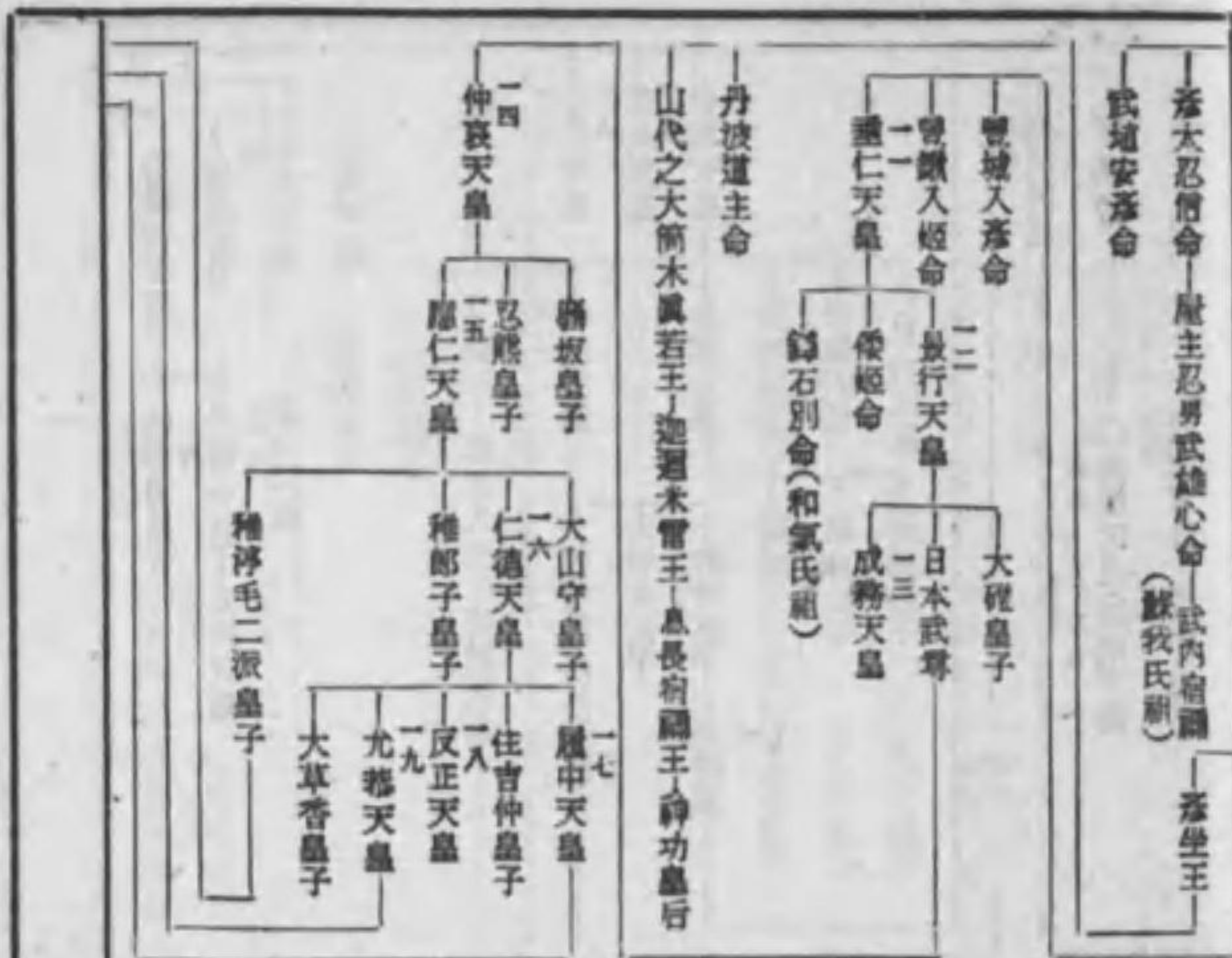
支那及朝鮮年號索引……………一六

目次終

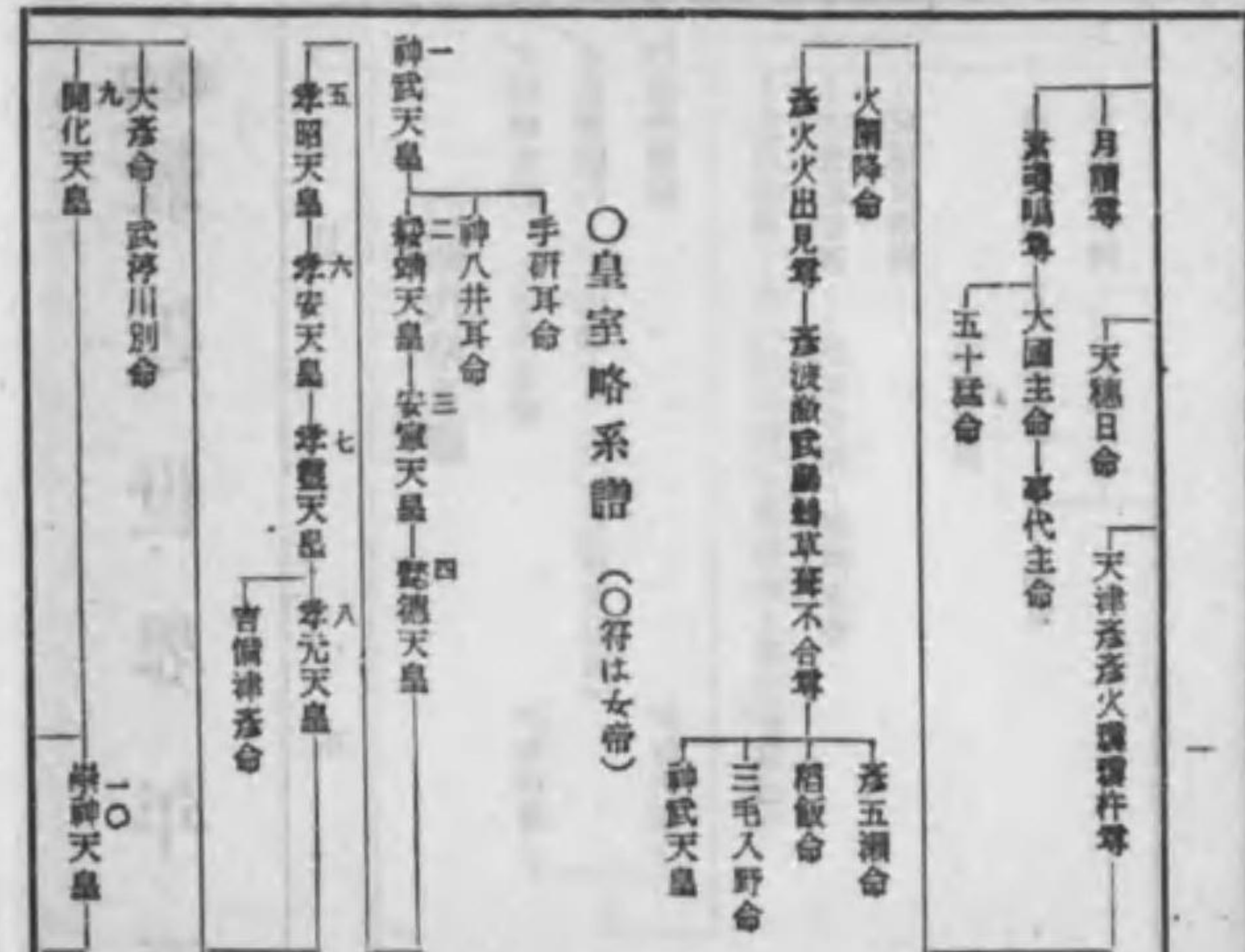
模範最近世界年表

三省堂編輯所撰

日 本	○神代略系譜			
	天御中主神 高皇產靈神 神皇產靈神	少彦名命 櫛耜千千姬(天忍積耳尊后) 伊弉諾尊	大山祇神 木花開耶姬(天津彦彦火瓊瓊杵尊后) 大宜都姫神 磐間男神 經津主神 天照大神 天忍積耳尊	伊弉諾尊 伊弉册尊 武甕槌神 天照大神 天忍積耳尊 大明命
朝鮮	朝鮮			朝鮮
支那	開創之世			
	2120頃	2250頃	2350頃	前紀神元武
西洋	紀元前三七〇〇頃			
	3700頃	3800頃	4000頃	4400頃
支那	2780頃	2910頃	3010頃	前紀耶元
西洋	3040頃	3140頃	3340頃	3740頃
支那	摘要			
西洋	摘要			

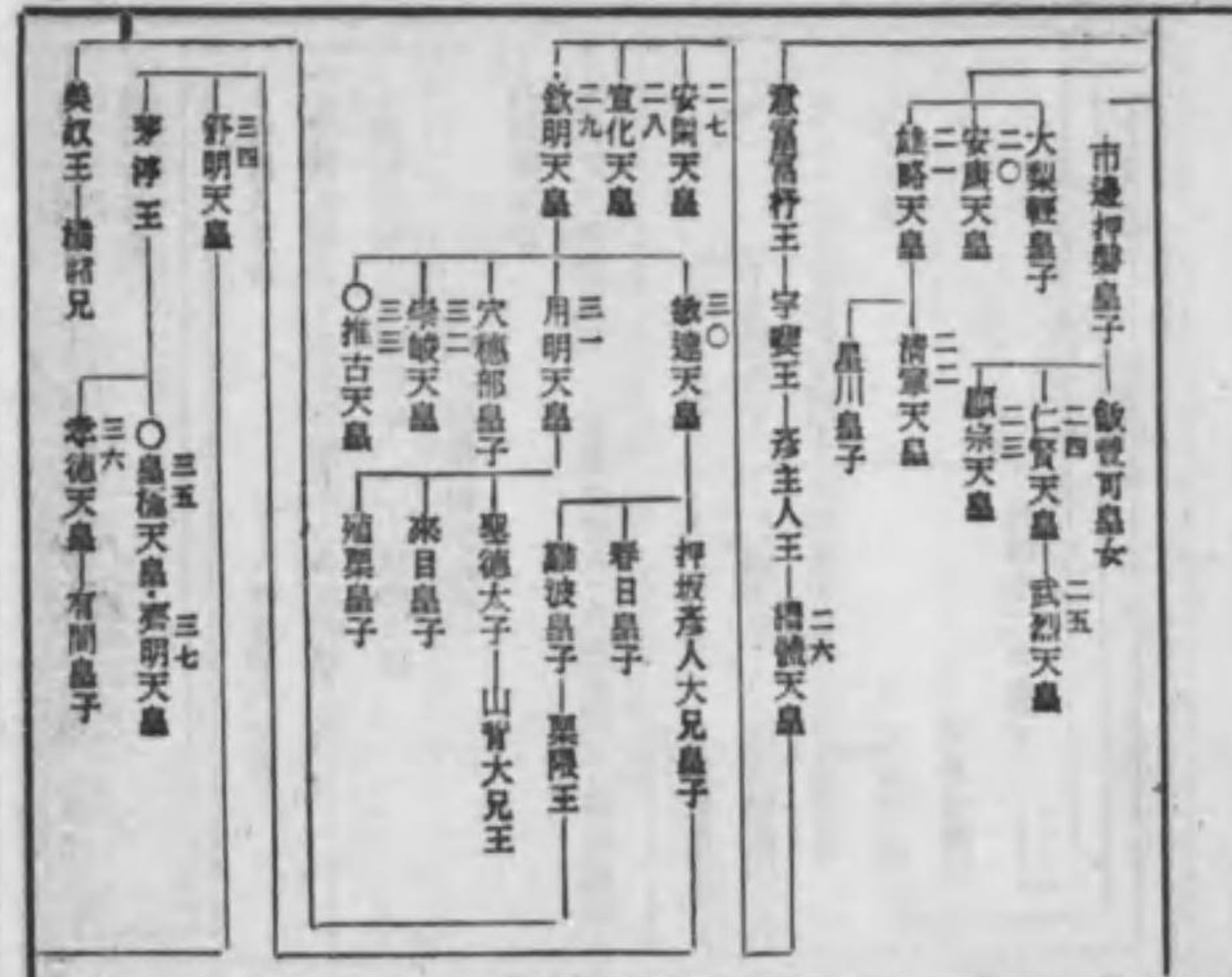


相	仲	太	啓	禹 (夏)
1486	1499	1528	1537	1545
乙亥元歲○王昇に遷れて河南の諸部に從る○八歲庚辰王を弑す○二十八歲深の子湯王を弑す○在位二十八年。	壬戌元歲、兄太康の位を繼ぐ○二歲胤侯に合じて義和を征す○在位十三年。	癸巳元歲○有窮の后羿專政す十九歲王昇に遷れ遂に河南の陽夏に居る○在位二十九年。	甲申元歲、父禹の位を繼ぐ(支那王位世襲の始)益を擯じて相とす○二歲益政を歸す○三歲有虞氏を滅す○在位九年。	禹(夏后氏)を繼ぐ丙子年即位、實法刑罰を定め學校を設け諸侯を錫山に會す○二歲益を相とす○在位八年(都城安邑)。
2146	2159	2188	2197	2.0
紀元前2000頃	紀元前2070頃	紀元前2100頃	紀元前2210頃	紀元前2286頃
(アライの酋長アラハム、カルゲヤ地方を去りてパレスチナに移る。	フリーヤ一民族イラン高原南部(メッシュ)と西部(メヂヤ)に土着す○エラム王朝衰ふ。	セム民族フェニキヤ沿岸に住す。	バビロン王ハンムラビ、古バビロニア諸王國を統一す。	チュラニヤ種族エラムの二古バビロニア國を征服す(首府スーサ)。
1340頃	1410頃	1440頃	1590頃	1626頃

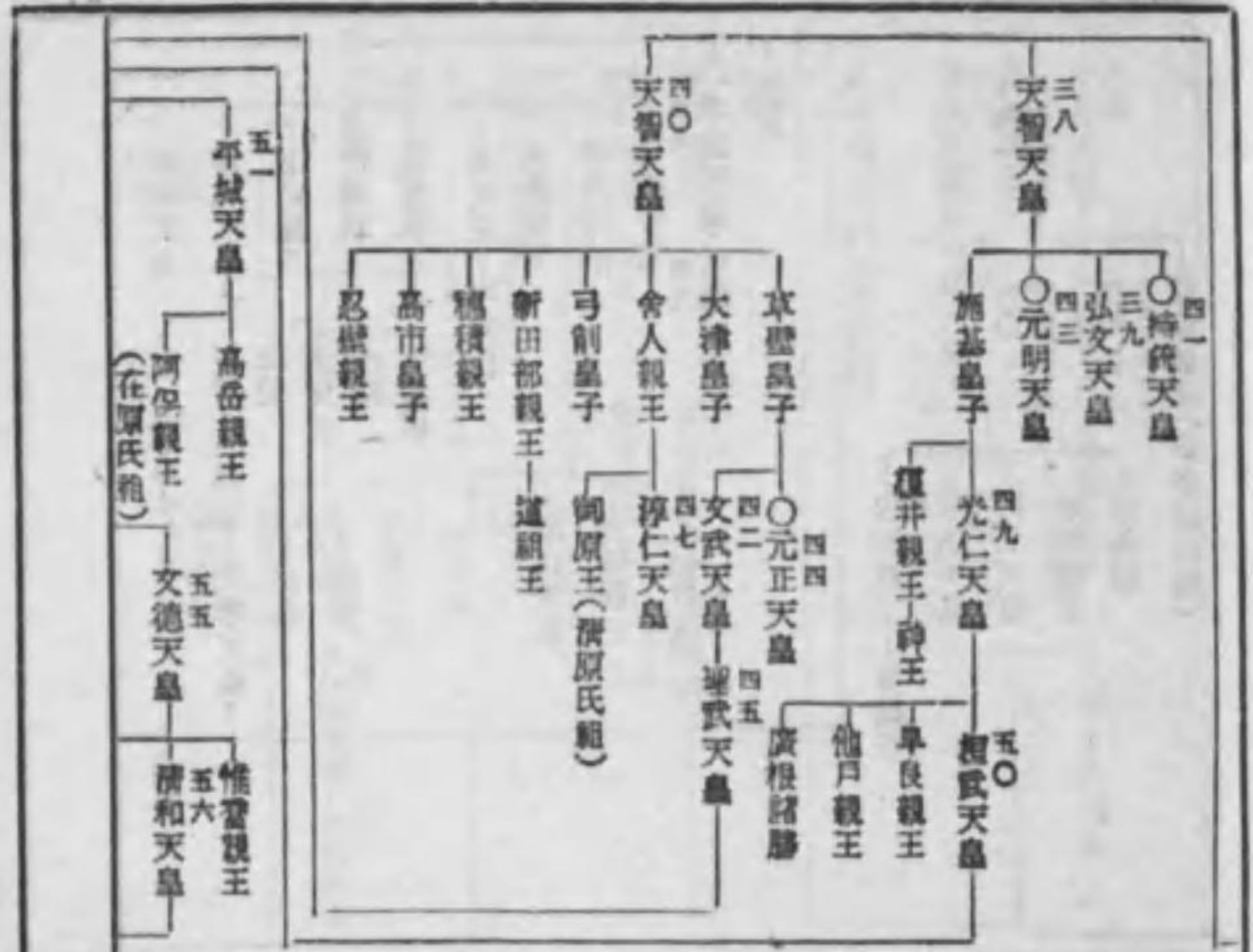


舜	堯	世之創開	開
1595頃	1695頃	1930頃	1980頃
舜の徳を受け丙戌年即位、九官を任じ學校を設け耄老の禮を始む○三十二歳禹を即位○三十六歳三苗征服○在位四十八年(一説五十年)(都城蒲阪)。	堯の徳を受け丙戌年即位、舜の徳を受け丙戌年即位、九官を任じ學校を設け耄老の禮を始む○三十二歳禹を即位○三十六歳三苗征服○在位四十八年(一説五十年)(都城蒲阪)。	少皞(金天氏)顓頊(高陽氏)帝(高辛氏)等の治世(一九三〇頃—一六九六頃)。	支那帝國の統一○黃帝(軒轅氏)黃河揚子江の間を定む(版圖)甘肅省地方より北直隸省地方に及び東海に至る○帝六甲子貨幣を作り養蠶を教へ算數等を定む。
2255	2355	2590頃	2640頃
紀元前2200頃	紀元前2416	紀元前2800頃	紀元前3000頃
ヒツクス民族エジプトに侵入し、第十五王朝を起す。	エジプト第十二王朝起る(首府テベ)。	アッカド民族エラム、古バビロニア王國を統治す(首府ウル)。大殷堂建立。	フリーヤ種族中央アジア、カスピ海東部高原より分散遷移す。
1540頃	1806	2140頃	2340頃

表年界世新最 (4)



表年界世新最 (5)



(夏)

少	康	杼	槐	芒	泄	不降	肩	厘
1458	1397	1380	1354	1336	1320	1261	1240	
癸卯元歲、王有仍に生る○十二歳王歳の尙正となり徳を布き衆を撫す○四十歳夏の菑臣藤原等を誅して王を立つ○王・海及國を興す○夏運後開○六十一歳無余を越に對す○在位實は二十二年。	甲辰元歲○在位十七年。	辛酉元歲○在位二十六年。	丁亥元歲○在位十八年。	乙巳元歲、六男服從す始て爵命を加ふ○在位十六年。	辛酉元歲○六歳戎の九苑を伐つ○在位五十九年。	庚申元歲、兄不降の位を繼ぐ○在位二十一年。	辛巳元歲○在位二十一年。	
2118	2057	2040	2018	1996	1980	1921	1900	
1290頃	1900頃	1730頃	1700頃	1600頃	1520頃			
フリーヤ一族マリシヤの北西方及イオリヤ北部に入る。	Aleph の始、エシャト、ダルタ在住フニキヤ人エシャト文字より二十二人の字母を作り之を使用す。	アラビ人エシャトのモーレンに居住す。	エシャト新王國の創建、ヒラツス民族運送せられ第十八王朝興る(首府デーバ)○アラビヤ自ら王國と稱す。	マリシヤのミケネ(或はエーグ)時代(一〇〇〇)	エシャト王ツトメス三世(第十八王朝の王、大征服者)の治世、王の代にエシャトの領土最大の域に達す。			
1260頃	1240頃	1070頃	1040頃	940頃	870頃			

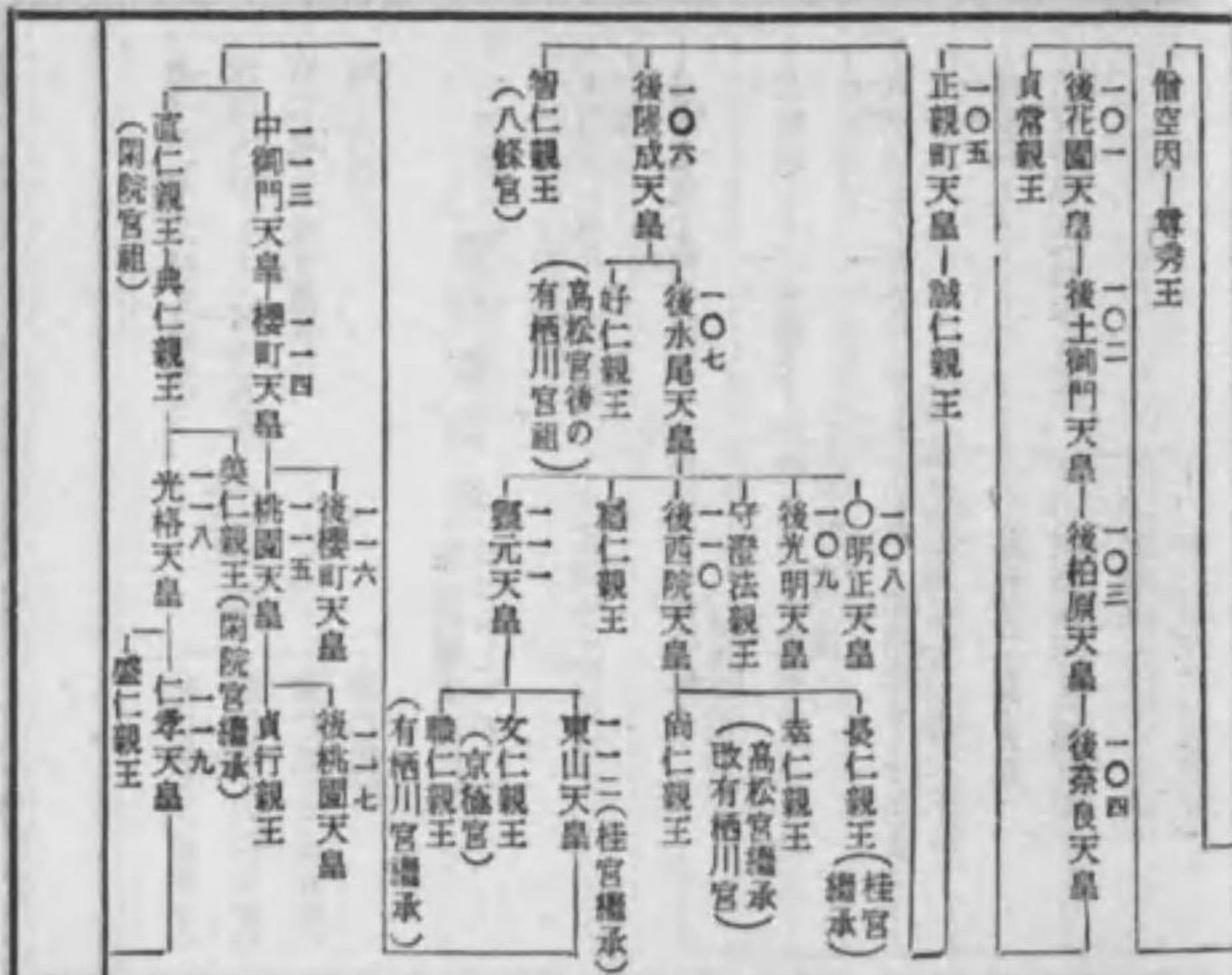
紀元前一五二六

(商)

孔	甲	卓	發	癸	成	湯
1219	1188	1177	1158	1106		
壬寅元歲、從身居の位を繼ぐ○三歳祥雲騰剣す○王鬼神の事を好み淫亂を行ふ夏大に亂る○在位三十一年。	癸酉元歲○在位十一年。	甲申元歲○在位十九年。	癸卯元歲、王暴虐榮と稱せらる○三十三歳有唐氏を討ち妹喜を得之を寵し淫樂に耽り民心を失ふ○三十五歳商湯謀殺となり亳に居る○五十二歳謀臣關龍逢を殺す○乙未年王成湯の爲に南巢に放たる○在位五十三年○夏十七主四百三十九年にて亡ぶ。	乙未年成湯亳に即位し國號を商と云ふ、伊尹仲虺を相とし爵祿を制し助法を立て學校を設く○二十一歳命帝を廢る○三十一年(侯となりてより三十年)。		
1879	1848	1887	1818	1766		
1500	1495	1450	1400	1345	1320頃	
アーリヤの一族インド・ガンガ流域侵領、摩訶項歌盛に歌はる○アラビヤのレドムン・デル等諸市の通商航海の發達。	カルムス、マリシヤのボイオチャに移住しテーバを開く。	パロニヤ、アラビヤの獨立を承認す○レシヤに於けるクエ王国の隆盛(一三三〇)	マリシヤの英雄時代(即神話時代一二〇〇)	エシャト王ツメス二世(第十九王朝の王、大王)の治世始まる(一三二〇)	モーゼ、アラビ人を率ゐてエシャトを去る○シナイ山の十戒○モーゼの法律。	
840	835	790	740	685	660頃	

紀元前一三三〇





鮮 (の代十四りよ是が封に鮮朝を之王武周の卯巳) 子祖 (ずらな詳代年に並系世ふ云とづ出に世の泰否種)

王昭	王康	王成	王武(周)
392	418	455	462
己丑元年、王遺跡、周始て 死す。○五十二年王遺跡して 死す。○五十二年王遺跡して	癸亥元年○二十六年召公奭卒 す。○在位二十六年。(成康廟王 の間を周の極盛時代とす)。	丙戌元年、周公且王を相け作 を踐て治む。召公奭周公と王 室を輔け、西より以西を主り其 以東は周公之を主る。伯禽を 魯侯に封ず。○三年周公武庚の 叛を平す。○六年百官を正し、 樂を制す。○七年東都を營む (後の洛陽)。○九年成王を啓 に封ず。○十一年周公且王卒す。 在位三十七年。	己卯(十三)紀殷(二十三)紀西伯 の舊政を復し大に諸侯を天下 に封ず。建子の月を歳首とし 紀を年と改む。微法を立て學 校を設く。殷の伯夷叔齊首陽 山に餓死す。○翌年都を鎬に遷 す。○在位七年。
1052	1078	1115	1122

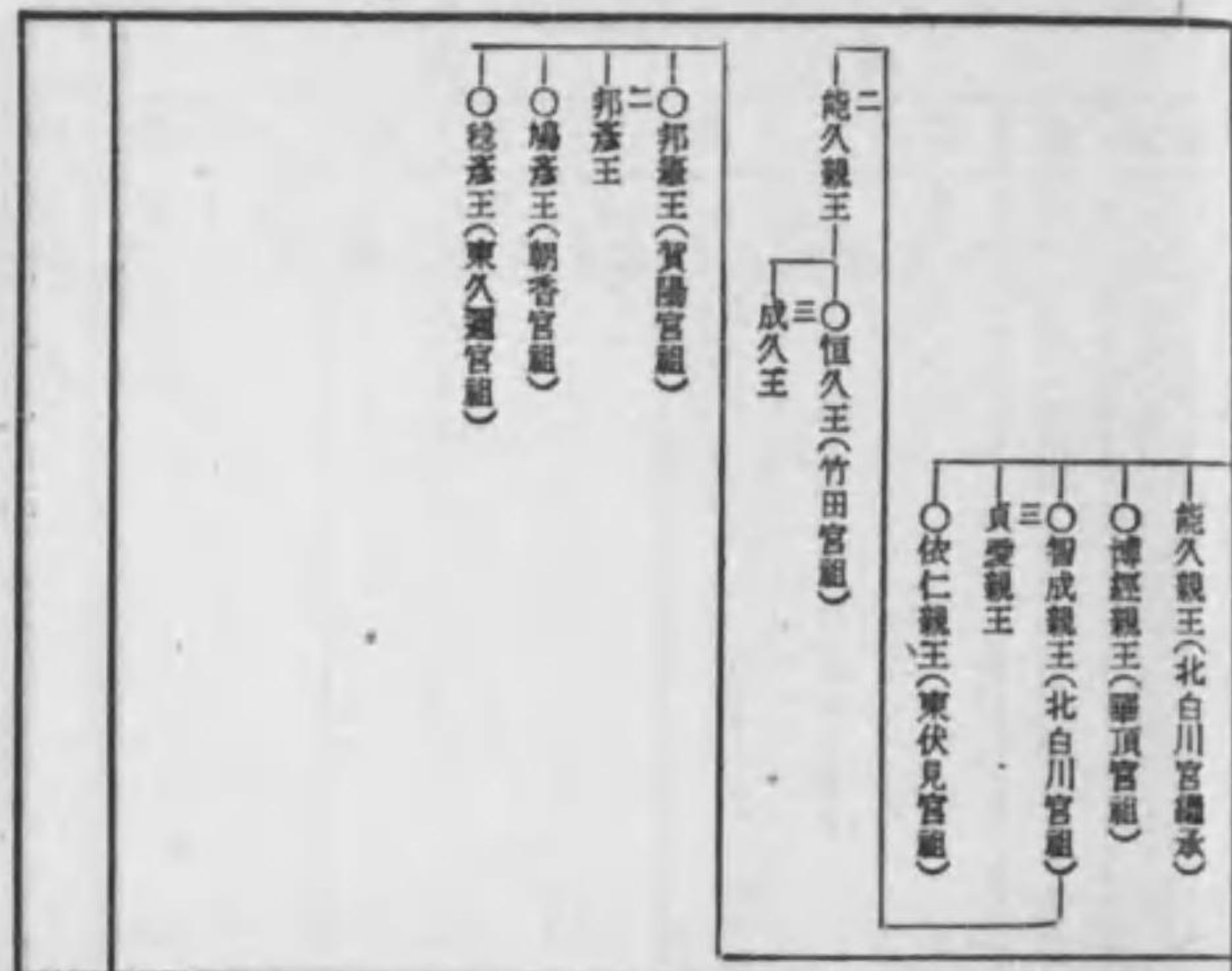
紀元前七五〇	紀元前八三〇
750	752
イオニヤ人、ドリア人及びアケイア人黒海及び地 中海の海岸に植民す。(一五五〇)○コリント のドリア人シラキヤ市を建つ。(一四七三)。	アテネの統領任期十年となる(六八三迄)。 イオニヤ人ドリア人及びアケイア人黒海及び地 中海の海岸に植民す。(一五五〇)○コリント のドリア人シラキヤ市を建つ。(一四七三)。
90	92
マケドニヤ王國の創始。 インドの神政組織マヌ法典成る。○アライマン 階級專制時代アライマン法典口語傳承。 第一オリンピヤ競技(ギリヤの紀元)ロイアス の優勝。 ローマの建設、ロムルスを祖とす。○ローマの 紀元元年。○ローマの王政(一五〇九)。	紀元前八三〇 (アライマン王國)死し、國分れてユグヤ王國 (首府イルサレム)及イスラエル王國(首府サマリ ヤ)となる。 エジプト王セソス三世(第二十二王朝の王)イ ルサレムを敗る。(一四九七)。 フニキヤ人イスパニヤの土人と交易す。○ギリ ヤの詩人ホーメーの時代。 フニキヤ人フルンバートをギリヤに輸入す。 アフリヤ國王アスナルバル西征、カルケシ よりアルまでを略す。 アフリヤ王セソス二世(一八二三)王在位 中ベルシヤの山と地中海との間を征服す。 フニキヤ人カレゴ植民地を建つ。(一四八二)。
90	92



鮮 (の代十四りよ是が封に鮮朝を之王武周の卯巳) 子祖 (ずらな詳代年に並系世ふ云とづ出に世の泰否種)

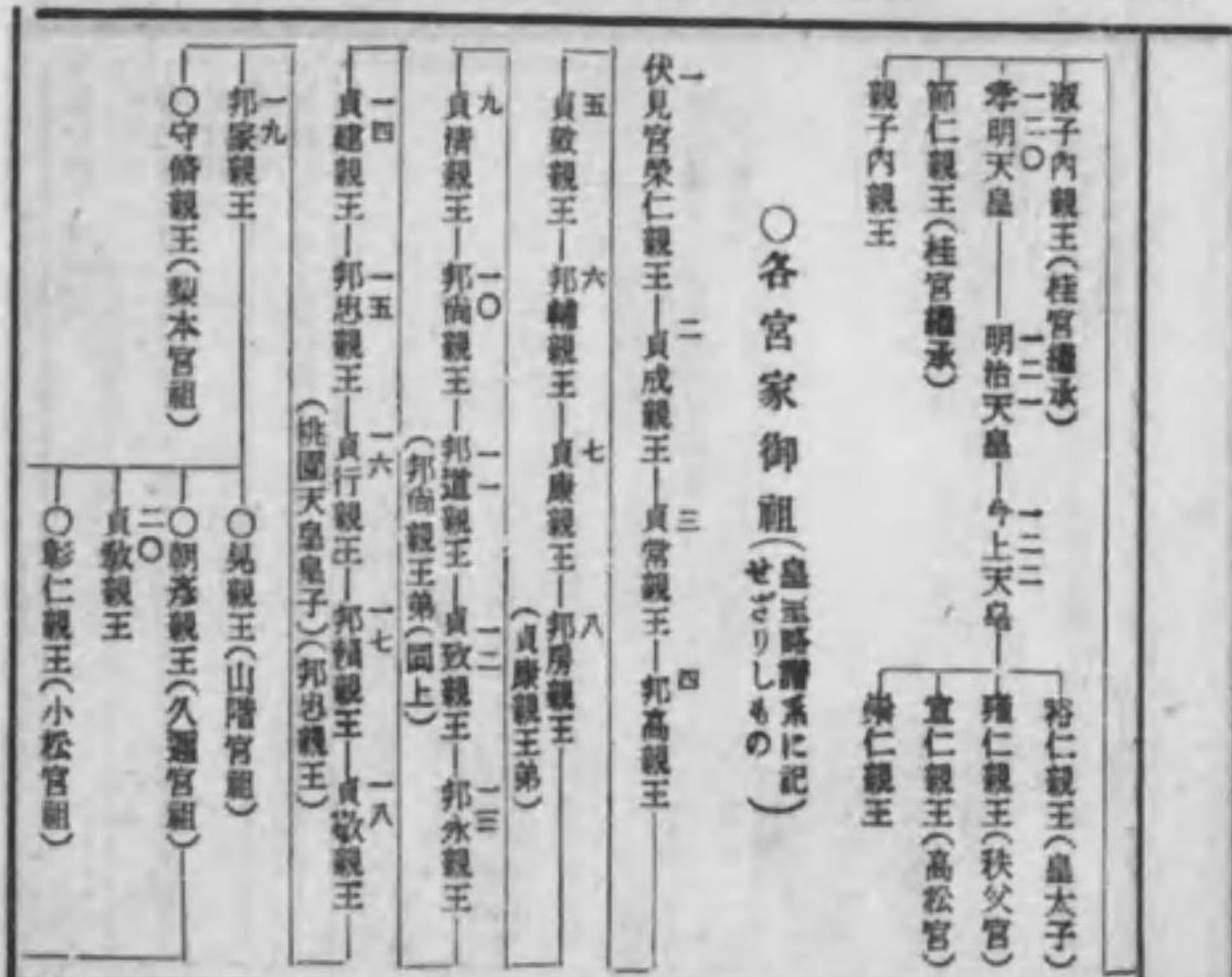
(村)辛取	乙帝	丁太	乙武	丁庚	辛稟	甲祖	庚祖
494	531	534	538	559	565	698	605
丁卯元紀○在位三年。 庚午元紀、周公季歷を侯伯と す。○七紀季歷卒し子昌(文王) 西伯となる。○在位三十七年。 丁未元紀○八紀有蘇氏を伐ち 祖己を遷す。○十一紀九侯 鄂侯を遷す。○十二紀西伯昌卒し子 受(武王)嗣ぐ。○十三紀比干 を殺し其子を囚ふ。○十三紀 王周師と戦ひ自焚す。○在位三 十三年。○殷(前)二十八王六 百四十四年にて亡ぶ。	庚午元紀、周公季歷を侯伯と す。○七紀季歷卒し子昌(文王) 西伯となる。○在位三十七年。 丁未元紀○八紀有蘇氏を伐ち 祖己を遷す。○十一紀九侯 鄂侯を遷す。○十二紀西伯昌卒し子 受(武王)嗣ぐ。○十三紀比干 を殺し其子を囚ふ。○十三紀 王周師と戦ひ自焚す。○在位三 十三年。○殷(前)二十八王六 百四十四年にて亡ぶ。	壬寅元紀、兄康の位を繼ぐ ○在位二十一年。 癸亥元紀○二紀河内南の河北に 遷都。○四紀王無道にして虜死 す。○在位四年。 丁卯元紀○在位三年。 庚午元紀、周公季歷を侯伯と す。○七紀季歷卒し子昌(文王) 西伯となる。○在位三十七年。 丁未元紀○八紀有蘇氏を伐ち 祖己を遷す。○十一紀九侯 鄂侯を遷す。○十二紀西伯昌卒し子 受(武王)嗣ぐ。○十三紀比干 を殺し其子を囚ふ。○十三紀 王周師と戦ひ自焚す。○在位三 十三年。○殷(前)二十八王六 百四十四年にて亡ぶ。	丙申元紀○在位六年。 癸亥元紀、兄康の位を繼ぐ ○在位二十一年。 癸亥元紀○二紀河内南の河北に 遷都。○四紀王無道にして虜死 す。○在位四年。 丁卯元紀○在位三年。 庚午元紀、周公季歷を侯伯と す。○七紀季歷卒し子昌(文王) 西伯となる。○在位三十七年。 丁未元紀○八紀有蘇氏を伐ち 祖己を遷す。○十一紀九侯 鄂侯を遷す。○十二紀西伯昌卒し子 受(武王)嗣ぐ。○十三紀比干 を殺し其子を囚ふ。○十三紀 王周師と戦ひ自焚す。○在位三 十三年。○殷(前)二十八王六 百四十四年にて亡ぶ。	丙辰元紀○在位七年。 癸亥元紀、兄康の位を繼ぐ ○在位二十一年。 癸亥元紀○二紀河内南の河北に 遷都。○四紀王無道にして虜死 す。○在位四年。 丁卯元紀○在位三年。 庚午元紀、周公季歷を侯伯と す。○七紀季歷卒し子昌(文王) 西伯となる。○在位三十七年。 丁未元紀○八紀有蘇氏を伐ち 祖己を遷す。○十一紀九侯 鄂侯を遷す。○十二紀西伯昌卒し子 受(武王)嗣ぐ。○十三紀比干 を殺し其子を囚ふ。○十三紀 王周師と戦ひ自焚す。○在位三 十三年。○殷(前)二十八王六 百四十四年にて亡ぶ。	丙辰元紀○在位七年。 癸亥元紀、兄康の位を繼ぐ ○在位二十一年。 癸亥元紀○二紀河内南の河北に 遷都。○四紀王無道にして虜死 す。○在位四年。 丁卯元紀○在位三年。 庚午元紀、周公季歷を侯伯と す。○七紀季歷卒し子昌(文王) 西伯となる。○在位三十七年。 丁未元紀○八紀有蘇氏を伐ち 祖己を遷す。○十一紀九侯 鄂侯を遷す。○十二紀西伯昌卒し子 受(武王)嗣ぐ。○十三紀比干 を殺し其子を囚ふ。○十三紀 王周師と戦ひ自焚す。○在位三 十三年。○殷(前)二十八王六 百四十四年にて亡ぶ。	丙辰元紀○在位七年。 癸亥元紀、兄康の位を繼ぐ ○在位二十一年。 癸亥元紀○二紀河内南の河北に 遷都。○四紀王無道にして虜死 す。○在位四年。 丁卯元紀○在位三年。 庚午元紀、周公季歷を侯伯と す。○七紀季歷卒し子昌(文王) 西伯となる。○在位三十七年。 丁未元紀○八紀有蘇氏を伐ち 祖己を遷す。○十一紀九侯 鄂侯を遷す。○十二紀西伯昌卒し子 受(武王)嗣ぐ。○十三紀比干 を殺し其子を囚ふ。○十三紀 王周師と戦ひ自焚す。○在位三 十三年。○殷(前)二十八王六 百四十四年にて亡ぶ。	
1154	1191	1194	1198	1219	1225	1258	1265

紀元前八三〇	紀元前八三〇
830	830
イオニヤ人、ドリア人及びアケイア人黒海及び地 中海の海岸に植民す。(一五五〇)○コリント のドリア人シラキヤ市を建つ。(一四七三)。	アテネの統領任期十年となる(六八三迄)。 イオニヤ人ドリア人及びアケイア人黒海及び地 中海の海岸に植民す。(一五五〇)○コリント のドリア人シラキヤ市を建つ。(一四七三)。
90	92



鮮	王 桓	王 平(周東)	王 幽
(周)(春秋の世)	59	110	121
	壬戌元年、祖父平王の位を継ぐ。南の州を討つ。三年、鄭伯入朝。五年、宋公齊公衛公河南の五層に盟ふ(魯盟の始)。八年、魯の公子翬其君を弑し自立す。十一年、曲沃晉師を敗る。十六年、楚僖王と親す。在位二十三年。	辛未元年、王犬戎の難を避け、東都洛邑に遷る(東周の號起る)。秦穆公に請はれて、魯衛鄭曹燕秦(以上周と同姓)齊陳宋楚魯の十二大諸侯あり。四十九年(魯隱公元年)天子魯弱諸侯放逐孔子魯史を修む(以後春秋の世と云ふ)等語をして魯史公仲子の書を編ぶ(王室請侯に文るの始)又魯伯魯に往く(王臣私文の始)○在位五十一年。	庚申元年○三年、襄姁を納る。五年、申后及太子宜臼を廢し襄姁を奉りて入宮す。犬戎王を弑す。襄侯宜臼を立つ。○在位十一年。
	719	770	781

紀元前七〇五	705	708	709	710	720	721	722	
	アッシリアの王セネケリテ(一六八一)在位中エシラト及びニヤと戦ひて敗れ、又セリヤを失ふ。	メデヤ人強勢となりアロクスを首領とす。メデヤ人セレンラム市を建設す。	サルゲン、パピロニアの壓伏を始め、爾來八十年反亂絶えず。	ローマ曆法を改め十月を十二月とす。	ラシヤの戦エシラト、アッシリアに負す。	パピロン知事反して王と稱し、ユダヤエシラトと連合し、アッシリアに對抗の政策を取る。	アッシリアの王サルゴン(一七〇五)アマリアを略し、イスラエル王國を滅す(一説七二二)。	アッシリア王セネケル四世(一七二二)王在位中クニヤ諸市の反を征し、イスラエル王國を討つ。ユダヤ國王ヘセキヤの治世(一六九七)。
	54	48	49	50	60	61	62	



鮮	王 宣	王 厲	王 夷	王 孝	王 懿	王 共	王 穆	
(周)	167	218	234	249	274	286	341	
	庚辰元年○十七年、徐戎を征す。三十五年、犬戎を征す。五十年、呂刑を作る。○在位五十五年。	丁亥元年、都を陝西の槐里に遷す。○王室衰微、詩人之を別る。○在位二十五年。	壬子元年、姪懿王の位を繼ぐ。十三年、討つ。臣惡來の後、非子を妻に對す。○在位十五年。	丁卯元年、從祖父孝王の位を繼ぐ。○王始て堂を下り諸侯を見る。○在位十六年。	癸未元年、王暴虐、時人之を別る。○三十六年、西戎入寇。三十一年、國人叛き王を逐る。○三十七年、召公周公政を行ふ。共和と號す。○在位五十一年(中共和十四年)。	甲戌元年、秦仲西戎を征し、尹吉甫虜虜を伐つ。○二年、方叔虜を召虎、維寅を討つ。○二年、王親ら徐戎を伐つ。○十二年、魯武公來朝。○二十二年、弟友を鄭に對す。周中興す。○在位四十六年。	乙亥元年○三年、密を滅す。○在位十二年。	庚辰元年○十七年、徐戎を征す。三十五年、犬戎を征す。五十年、呂刑を作る。○在位五十五年。
	827	878	894	909	934	946	1001	

紀元前七二七	827	730	731	734	743	745	747
	アッシリア王セネケル四世(一七二二)王在位中クニヤ諸市の反を征し、イスラエル王國を討つ。ユダヤ國王ヘセキヤの治世(一六九七)。	黒人種エチオピア人エラトを征服し之を領す(一六七二)。	チクラトビレサル二世のパピロニア征服(一七二九)。	ドリア人のシラタ建設(一七五〇)○チクラトビレサル二世のシラタ征服(一七三三)。	第一次メデヤ戦争(一七二四)メデヤ人のメデヤ人メデヤ人と對戦す。	アッシリア王セネケル二世(一七二七)在位中セリヤパレスチナメデヤパピロニアを征服す。	パピロンの知事ナボナツカル、アッシリアに反す(七三三)。
	67	70	71	74	83	85	87

一〇、神武(一代)	武					神					
	10	6	8	7	6	5	4	3	2	元紀	
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	午庚	巳己	辰戊	卯丁	寅丙	丑乙	子甲	亥癸	戌壬	酉辛	
						是より先 天富命阿波の忌部を率ひて 屏郷に往き 楯麻を植つ。	二月皇祖天神を鳥見山(大和)に祭る		二月功を定め賞を行ふ又國造縣主を置く	正月朔日天皇大和橿原宮に即位す(紀元元年) ○正妃媛蹈鞬五十鈴媛命を皇后とす。	
	鮮										
	(周)惠王、襄王(春秋の世)	王襄					王惠				
		1	25	24	23	22	21	20	19	18	17
		齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。
		齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。
齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。		齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	
齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。		齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	
齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。		齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	
齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。		齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	
齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。		齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	
齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。		齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	齊桓公諸侯を河南の葵邱に會す○ 圖大に亂る。	
紀元前六五一											

鮮									
王 惠			王 儂			王 莊			
16			21			36			
魯の公子慶父其君閔公を弑す○北狄衛の懿公を殺す。			庚子元年、齊侯宋荼鄭と山東の北杏に會す、齊人遂を滅す○三年齊侯宋公陳侯鄭と山東の鄭に會す、齊の桓公始て覇たり○四年齊鄭を滅す○在位五年。			乙酉元年○二年鄭の高渠其君閔公を弑す○三年齊の公子彭生魯の桓公を殺す○十一年齊の桓公立ち齊仲を相とす○十三年齊鄭を滅す○在位十五年。			
671			681			701			
664	668	681	683	687	700	701			
コリント人コルシカ人と海戦す。	アッレリア王アッスルパル(一六二六)在位中ニネサ城を再建し、大圖書館を建つ、文藝隆盛を極む。	アッレリア王アッスルパル(一六六八)、王の世に國土最大の域に達す(パピロニア、シリア、フニキヤ、サイラス、エゲヤ、アラビヤの一部、エジプト(六七〇)亡、第二十五王朝)征服せらるる。	アッレリア王アッスルパル(一六六八)、王の世に國土最大の域に達す(パピロニア、シリア、フニキヤ、サイラス、エゲヤ、アラビヤの一部、エジプト(六七〇)亡、第二十五王朝)征服せらるる。	アッレリア王アッスルパル(一六六八)、王の世に國土最大の域に達す(パピロニア、シリア、フニキヤ、サイラス、エゲヤ、アラビヤの一部、エジプト(六七〇)亡、第二十五王朝)征服せらるる。	ギリシヤ人の植民せる下イオタヤ諸市(マダラ、レキヤ)隆盛となる○コリント海上の權力を握る○造船術大に進む。	ギリシヤ人の植民せる下イオタヤ諸市(マダラ、レキヤ)隆盛となる○コリント海上の權力を握る○造船術大に進む。			
4	7	8	21	23	27	40			
紀元前六六四									



(15) 表年界世新最

三〇、神武(一代)	武 神									
	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21
	30 庚戌	29 己丑	28 戊子	27 丁亥	26 丙戌	25 乙酉	24 甲申	23 癸未	22 壬午	21 辛巳
			皇子神海名川耳尊生る。							
鮮										
(周)襄王(春秋の世)	王 襄									
	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
	六月王子虎魯侯等と覆泉に盟ふ。	四月晉侯齊侯宋公の兵と楚軍を河南の城濮に破る。五月諸侯河南の踐土に盟ふ。晉文公始めて覇たり。	六月齊の孝公卒し弟潘自立す。楚の子玉陳侯等と宋を圍む。	楚喪を減す。	正月衛文公邢を滅す。四月晉王子帯を殺し王を迎へて王城に入る。	二月晉の公子重耳晉に入る。文公とす。狄鄭を伐つ。王子帯狄を以て入寇す。王出て鄭に居る。	五月宋の襄公卒す。王狄に命じて鄭を伐つ。狄女を后とす。	魯鄭を伐ち須句を取る。十二月宋楚河南の泓に戦ひ楚軍宋の襄公を破る。	宋齊楚鹿上の盟をなす。楚陳蔡等孟に會し楚宋の襄公を執ふ。十二月諸侯陳に盟ひ宋の襄公を得ず。	齊侯魯侯鄭侯に盟ふ。齊魯を伐ち晉の惠公を捕ふ。晉仲卒す。王襄穆公に命じて晉侯を釋さしむ。
紀元前六三一	631	632	633	634	635	636	637	638	639	460
			メヤ王ヤヤテレス(一五九三、一五六二四一五八五)。							メヤ王ヤヤテレスより獨立す。王フタルス(一六三三)首府エタバナ。カリヤ哲學の祖タールス生る(五四六死)。

表年界世新最 (14)

二〇、神武(一代)	武 神									
	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
	20 庚戌	19 己卯	18 戊寅	17 丁丑	16 丙子	15 乙亥	14 甲戌	13 癸酉	12 壬申	11 辛未
鮮										
(周)襄王(春秋の世)	王 襄									
	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
	六月宋襄公諸侯を曹南に會し始めて覇を圖る。楚始て齊と盟ふ。○深亡	五月宋齊聞を破る。○鄭文公楚に朝す。	五月宋齊聞を破る。○鄭文公楚に朝す。	五月宋齊聞を破る。○鄭文公楚に朝す。	五月宋齊聞を破る。○鄭文公楚に朝す。	五月宋齊聞を破る。○鄭文公楚に朝す。	五月宋齊聞を破る。○鄭文公楚に朝す。	五月宋齊聞を破る。○鄭文公楚に朝す。	五月宋齊聞を破る。○鄭文公楚に朝す。	五月宋齊聞を破る。○鄭文公楚に朝す。
紀元前六四一	641	642	643	644	645	646	647	648	749	650
					第二次のメヤ王ヤヤテレス(一六二八)。				ギリヤ諸市に僭主(ハセ)出づ。	

五〇、神武(一代)	武 神										
	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	
	戊庚	酉己	申戊	未丁	午丙	巳乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑辛	
										正月神降名川耳尊を皇太子に立つ。	
鮮											
(周)襄王、項王、匡王(春秋の世)	王 匡 王 項 王 襄										
	2	1	6	5	4	3	2	1	33	32	
	楚魯巴共に唐を滅す○十一月宋の昭公夫人王姫に弑せらる。	十二月齊魯公魯の西鄙を侵す。	春王殂す○六月諸侯皆の趙盾と新城に盟ふ○九月齊の公子商人其君驪公を弑し自立す。	衛侯鄭侯魯の文公に會し晉に平を請ふ。	杞隱の諸侯魯に朝す○十二月晉欒と河曲に戰ふ。	齊の文公魯に朝す○十月の魯叔孫得臣狄を鹹に敗る。	大夫定申を殺す。	欒を伐つ○欒宋を侵す○楚穆公大夫定申を殺す。	陳を伐つ○晉宋魯衛鄭之を救ふ○楚陳を侵す。	二月晉人大夫先穀を殺す○三月楚鄭を伐つ○晉宋魯衛鄭之を救ふ○楚陳を侵す。	八月王殂す○在位三十三年。
紀元前六一一	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	
						ローマの元老院議員三百名となる。				ギリヤのお伽作者エソプ生る(五六四死)	

四〇、神武(二代)	武 神									
	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31
	子庚	亥己	戌戊	酉丁	申丙	未乙	午甲	巳癸	辰壬	卯辛
										四月天皇諸國を巡幸して民情を察し又高丘に登りて地形を見る(秋津洲の號起る)。
鮮										
(周)襄王(春秋の世)	王 箕									
	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22
	楚の穆公卒し大夫の三子殉死す國人之を哀み黃鳥の詩を賦す。	秋楚師六を滅し冬魯を滅す。	楚江を滅す○王孫の穆公に命じて西方諸侯伯とす。	蔡穆公晉を伐つ○楚師江を圍む。	二月晉侯欒師を彭衛に破る○六月晉の士穀諸公と垂陽に盟ふ。	晉侯欒師を伐つ○十月楚世子商臣其君成王を弑して自立す。	四月晉の襄公欒師を河南の穀に破る。	前狄と盟ふ○十二月晉の文公卒し襄公嗣ぐ、諸侯皆て好を通ず。	晉欒と盟ふ○十二月晉の文公卒し襄公嗣ぐ、諸侯皆て好を通ず。	晉欒と盟ふ○十二月晉の文公卒し襄公嗣ぐ、諸侯皆て好を通ず。
紀元前六二一	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630
	アタネの統領ドラコ一の法典出づ(一説六二四)。			メガラ人キリスに植民す。	コルキラ人のエビガムス創始○パピロン知事ナボポラサ(六〇四)アタネに反き新パピロンニヤ王國を興す(首府パピロン)。	アタネに於けるキロン(一説六二八頃)○メデヤ王キヤクサス(一五八五、一説六三三、三五九三)。		敗殘のメデヤ人下イヨリヤに奔りレバウム及メデヤ市を建つ○メガラ人ヒヤンタクムに植民を遂る。	コリントの僭主ペリクレス(一五八五)、此の世にコリントの制海權大に振ふ。	ドリヤ人アフリカにキレ市を建つ○ナウクラテス市(エオアト)に於けるギリヤ植民市の建設。

七〇、神武(一代)	武 神									
	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61
	70 午庚	69 巳己	68 辰戊	67 卯丁	66 寅丙	65 丑乙	64 子甲	63 亥癸	62 戌壬	61 酉辛
鮮										
(周)定王(春秋の世)	王 定									
	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7
	魯杞を伐つ○七月楚莊王卒す。	六月晉侯魯衛曹邾と山西の斷道に會盟す。	三月晉侯狄俘を獻す。	五月楚宋平ぐ○魯始て狄に稅す。	九月楚宋を圍む○魯の公孫歸父齊侯に殺に會す。	楚宋を伐つ○晉の景公大夫先穀を殺す。	六月晉楚河南の郊に戰ふ晉敗る○十二月楚鄧を滅す。	楚陳鄭の諸侯河南の陳陵に盟ふ楚鄧をなす○十月楚夏濇舒を殺す。	五月陳の夏濇舒其君靈公を弑す。	九月晉宋等の諸侯盟に會す○十月陳其大夫洧治を殺す。
紀元前五九一	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600
	メヂヤ王キヤテレス四征リヂヤ王アリヤテス三世と交戦(六開年)。		メヂヤ、バビロニア、リヂヤの二國と同盟す○メヂヤ王アステルゲス(一五五八一-一五五八四-一五五〇)。	ソロン、アテネの政領となる(一五九三)、ソロンの立法、アテネの寡人政治(一四)廢せられ財產政治(一四)となる。	此頃アテネに平野(農)海岸(商)山間(實)の三黨分す。		メヂヤの七賢人の時世。			イオニア人マシヤ市今の佛國マルセイユを建つ○第一次神聖戰爭(一五九〇)アルナ神聖同盟(一四)は神物を祀奉せるリヂヤ、カルタ市を攻伐す。

六〇、神武(一代)	武 神									
	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51
	60 申庚	59 未己	58 午戊	57 巳丁	56 辰丙	55 卯乙	54 寅甲	53 丑癸	52 子壬	51 亥辛
鮮										
(周)匡王、定王(春秋の世)	王 定					王 匡				
	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3
	晉白狄と秦を伐つ○楚舒夢兩國を滅す。	晉白狄と秦を伐つ○楚舒夢兩國を滅す。	晉白狄と秦を伐つ○楚舒夢兩國を滅す。	晉白狄と秦を伐つ○楚舒夢兩國を滅す。	晉白狄と秦を伐つ○楚舒夢兩國を滅す。	晉白狄と秦を伐つ○楚舒夢兩國を滅す。	楚の莊王陸渾の戎を伐つ、莊王周の大夫に鼎の輕重を問ふ。	二月宋鄆河南の大棘に戰ひ宋敗す○九月晉趙盾其君靈公を弑す○十月王殂す。	楚鄆共に陳良宋を侵す○晉宋共に鄆を伐つ。	五月齊の鄆等其君懿公を弑す○十月魯の公子遂其君文公の子等を殺す○莒其君紀公を弑す。
紀元前六〇一	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610
				バビロニアの王ネアカドナル(五六二)。	リヂヤ王アリヤテス二世(一五五四)カンダリヤ人を小アシヤより逐ふ進んでスミルナを取る○リヂヤ強盛。	カルケシンの戰、ネコ王バビロニアの王子ネアカドナルに敗られアシヤの領土を失ふ。	メヂヤ王バビロニア王と同盟してアリヤテス滅す(一五六〇七-一五六六二五)。	ネコ二世バビロニアの四邊を敗る。	ケルト族ホヘヤに住す。	エジプト王ネコ二世(一五九四、第二十六朝の王)大勝過事業を起しナイル河と紅海とを通せんとい計畫し遂に成らす○ネコ王の雄略アリヤテスを一周す。

九〇、綏靖(二代)	靖 綏									
	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81
	11 庚戌	10 己酉	9 戊子	8 丁亥	7 丙戌	6 乙酉	5 甲申	4 癸未	3 壬午	2 辛巳
							四月皇兄神八并耳命薨す。			正月皇統五十鈴依媛を皇后とす。
鮮										
(周)簡王、靈王(春秋の世)	王 簡									
	1	14	13	12	11	10	9	8	7	6
	晉魯衛の大夫成に會し虎牢に城を築きて鄭に逼る。	曹莒邾鄆宋の彭城を圍む○九月王薨す。	正月晉の欒書及中行偃其君厲公を弑す。	六月諸侯柯陵に盟ふ○十二月晉其大夫谷錡郤缺を殺す○楚許廣を滅す。	六月晉の厲公楚及鄭と河南の雍陵に戰ひ之を破る○賈成公釋され歸す。	三月晉厲公曹成公を執て京都に歸る○十一月晉魯衛の大夫吳に會す(大夫自會の地)。	邾の公子喜許を伐つ。	三月魯成公周に朝す○五月魯晉宋齊等の諸侯邾及滕と葵を伐つ。	晉魯衛の諸侯瑣澤に會す。	晉魯衛の諸侯瑣澤に會す。
571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	
紀元前五七一										ギリシャの哲學者ピタゴラス生る(四九七)。

八〇、神武(一代)綏靖(二代)	靖 綏									
	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71
	1 庚辰	卯己	寅戊	丑丁	76 子丙	75 亥乙	74 戌甲	73 酉癸	72 申壬	71 未辛
	正月八日天皇即位、葛城(大和)に都す高丘宮と云ふ。		十一月皇太子庶兄手研耳命を誅す。		三月十一日天皇崩す壽百三十七、明年九月祇傍山東北陵に葬る。					
鮮										
(周)定王、簡王(春秋の世)	王 簡									
	5	4	3	2	1	21	20	19	18	17
	五月晉魯齊宋等と鄭を伐つ○晉屠岸賈の族を滅す。	正月諸侯濮に同盟す○晉鄭の成公を執ふ○十二月楚宮を伐つ○晉魯衛の諸侯瑣澤に會す。	晉助季及楚を伐つ○晉其大夫趙盾及趙括を殺す。	吳鄭を伐つ○楚鄭を伐つ○諸侯之を救ひ八月直隸の馬陵に盟ふ。	晉新田に遷る○吳鄭立ち來朝す。	十一月王薨す○十二月晉齊宋魯衛鄭曹邾杞の諸侯長平に盟ふ○商始て盛なり。	鄭許を伐つ。	魯の成公晉に朝す○十二月晉六軍を作る。	六月魯晉等の兵齊頃公を山東の塵に破る○十一月魯齊宋鄭魯に盟ふ。	三月魯師甲を作る○王問茅戎に戰ひて敗る。
581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	
紀元前五八一										エジプト王援兵をイルサラムに送る。 チル市又盛大となる。

100、綏靖(二代)	靖 綏									
	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101
	31 戊庚	30 酉己	29 申戊	28 未丁	27 午丙	26 巳乙	25 辰甲	24 卯癸	23 寅壬	22 丑辛
										正月皇子磯城津彦玉手看尊を立て、皇太子とす。
鮮										
(周)靈王(春秋の世)	王 靈									
	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
	冬諸侯沙隨に會す○十月孔子魯の昌平郷に生る(魯襄公二十二年)。	晉の大夫欒黶楚に出奔す○晉齊等の諸侯等商任に會す。	六月諸侯濮淵に盟ふ○莒其大夫公子嬰を殺す。	正月諸侯祝柯に盟ふ○八月鄭子産を大夫とす。	十月諸侯齊を圍む。	宋陳を伐つ。	三月諸侯淇深に會す○齊の頃公再成を圍む。	齊の頃公成を圍む○十一月晉の悼公卒す。	正月齊宋等吳と向に會す○四月諸侯大夫晉に従ひ濬を伐つ。	晉三軍を復す○吳楚を侵して敗る。
紀元前五五一	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560
		ピシストラッス再度退放せらる。		リヂヤ王國富強、裕海のギリシヤ諸市リヂヤに降伏す○ピシストラッス、アテネに歸り政權を握る。			佛教の開祖釋迦印度カピラ城に生る(キイロン古傳説六二二生五四三死、其他説多し)。	キルス(一五二九)メシヤ王國を滅し、ベルシヤ帝國を興す。(一説五五〇)。	リヂヤ王のレスス小アヂヤを征服す○ソロン死す(六三三生)○ピシストラッス退放せらる。	ピシストラッスの僭主政治(一五二七)、其間二回配流(約十五年間)の厄に逢ふ、されど良政を布き詩聖ホーメーの詩篇を蒐集シテラフイ神殿を再建す。

100、綏靖(二代)	靖 綏									
	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91
	21 子庚	20 亥己	19 戌戊	18 酉丁	17 申丙	16 乙未	15 午甲	14 巳癸	13 辰壬	12 卯辛
鮮										
(周)靈王(春秋の世)	王 靈									
	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
	九月吳の麇卒す○楚宋を侵す。	正月魯三軍を作る○諸侯鄭を伐つ○晉悼公復新たり。	四月諸侯吳と根に會す○九月諸侯鄭を伐つ。	十月諸侯鄭を伐ち十一月蘇に盟ふ。	五月諸侯邢邱に會す○楚鄭を伐つ。	楚陳を圍む○十二月諸侯鄭に會す。	莒鄆を滅す○十二月齊の靈公案を滅す。	諸侯威に會し冬陳を伐り楚の陳を伐つを致ふ。	楚の公子嬰齊吳を伐つ○六月晉諸侯と緡澤に盟ふ。	晉の大夫欒黶虎豹の皮を與ふを約して諸侯と和す。
紀元前五六一	561	562	563	564	565	566	567	68	569	570
		アテネ始て喜劇を機軸に演ず。	リヂヤ王クレスス(一五四六)。		ローマの第一回戸口調査、市民の總數八萬四千七百人。	ローマ、エトルリヤを征服す。				

130	129	128	127	寧		安		122	121
				126	125	124	123		
				14	13	12	11		
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9
午庚	巳己	辰戊	卯丁	寅丙	丑乙	子甲	亥癸	戌壬	酉辛
							正月皇子大日本彦根左尊を立て、皇太子とす。		
鮮									
14	13	12	11	王		景		6	5
				10	9	8	7		
				10	9	8	7		
14	13	12	11	10	9	8	7	6	5
孔子魯の司職吏となる○十一月楚師を滅す。	五月齊の權衡魯に奔る○孔子魯の委吏となる○孔子魯の司職吏となる○十一月楚師を滅す。	二月楚許を夷に遷す。	十月楚師陳を滅す。	楚の靈王の章華臺成る。	三月鄭人刑書を鼎に鑄る○二月齊の長公北燕を伐つ。	正月魯中軍を舍く○十月楚靈陳等吳を伐つ○孔子魯に志す。	六月楚將侯を申に會す○七月楚賴を滅す○鄭の子所邱賦を作る。	齊の晏子晉にゆく。	晉の平公驪姫を魯に聘せしむ○鄭其の大夫公孫黑を殺す。
531	532	533	534	535	536	537	538	539	540
				ピロトラス、エウプトに至る○サモス僧主ボリトラス(五二二)○アテネに悲劇始て演ぜらる。	ベルシヤ王ケルス、ニゲヤ人をパレスチナに放逐す(一説五三七)。		ベルシヤ王ケルス、パピロニア國を滅ぼす○フニキヤ、ベルシヤ領となる(シドン市衰へタル市盛大となる)。		クレタス、ベルシヤに客死す○カリマカス初てコリント式の建築術を發明す。

130、安寧(三代)

(周)景王(春秋の世)

紀元前五三一

120	119	118	117	寧		安		112	111
				116	115	114	113		
				8	7	6	5		
120	119	118	117	116	115	114	113	112	111
8	7	6	5	4	3	2	1	33	32
申庚	未己	午戊	巳丁	辰丙	卯乙	寅甲	丑癸	子壬	亥辛
					正月淳名底仲嬖命を立て、皇后とす。	都を片鹽(大和)に遷す淳穴官と云ふ。	十月綏靖天皇を葬る。	五月十日天皇崩す八十四(記に壽四十五)○七月三日安寧天皇即位。	
鮮									
4	3	2	1	王		景		22	23
				27	26	25	24		
				27	26	25	24		
4	3	2	1	27	26	25	24	23	22
晉の荀吳狄を破る○十一月楚の令尹圍其郢都を伐つ○自立つ。	十一月其君景公を弑す○子路出る。	四月魯の世子般其君長公を弑して自立つ○鄭の子所邱賦を弑す。	吳季札を諸國に聘せしむ、五月吳主餘祭魯人に弑せらる。	齊の慶封魯に出奔す○十二月王珪す。	七月諸侯の大夫宋に盟ふ○齊の慶封國政を專にす。	二月衛の靈王其君孫公を弑す。	五月齊の崔杼其君莊公を弑す○八月楚野鳩を滅す○十二月吳楚を伐つ。	秋諸侯齊に會し齊を伐んとす○齊周王の爲に鄭に城く。	鄭復讐に入りて殺さる○齊の莊公衛及晉を伐つ○穀洛二水合す。
541	542	543	544	545	546	547	548	549	550
ピロトラス、アテネに歸り政權を握る。				小アジア全部ケルスの手に歸す。	ギリシヤ哲學の祖タレス死す(六四○頃生)○ケルス、リディア國を滅す。王クレタス廟となる。	マケドニア王アミンタス在位。	デルフィ神殿火災。	ケルス、パトリヤを併せ更に東方に遠征を試む。	ケルス、マヤ王國を滅ぼしベルシヤ帝國を興す(一説五五八、首府スーサ)。

120、綏靖(二代)安寧(三代)

(周)靈王、景王(春秋の世)

紀元前五〇一

150	安								
	149	148	147	146	145	144	143	142	141
38 庚寅	37 己丑	36 戊子	35 丁亥	34 丙戌	33 乙酉	32 甲申	31 癸未	30 壬午	29 辛巳
十二月六日天皇崩す(紀に四十九)。									
鮮									
王 敬									
9	8	7	6	5	4	3	2	1	1
吳伍子胥の謀を用ひ楚を侵す。	十二月吳徐を滅す。	王子朝の厲尹氏等殺さる。	魯の昭公曾に往く○六月曾其公族 郈盈等を殺す○顔回生る。	四月吳其君僚を弑す闔廬自立す。	十月晉厲王を成周に入る尹氏等子 朝と楚に奔る。	諸侯王室の亂を定めんと謀る○九 月魯の昭公齊に奔る○孔子魯を去 て夏齊に適く。	正月王子朝郎に入る○吳巢を滅す。	王狄泉に居る○六月尹氏王子朝を 立つ。	四月王矧し悼王立つ○六月王室亂 る○子實生る。
511	512	513	514	515	516	517	518	519	520
紀元前五一一	ギリウス、印度の西北部を略す。		ヒパルスの殺さる。兄ヒパルス復讐を企て逆政を 施す。	ベルシヤの制を布く○ギリウス、スキヤを征して敗 る○ギリウス、トナキヤ及びマケドニヤを略す。	ギリシヤのアポロ神殿再建。			パピロニヤ等の反叛定す(一五一八)。	此年頃叙情詩人ヒンデルス生る(四四〇頃死)。

安									
140	139	138	137	136	135	134	133	132	131
28 庚辰	27 己卯	26 戊寅	25 丁丑	24 丙子	23 乙亥	22 甲戌	21 癸酉	20 壬申	19 辛未
鮮									
王 景									
24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
王鐘を鑄る之を無射と云ふ。	楚許を白羽に遷す○大鐘を鑄る。	五月許の世子止其君悼公を弑す。	楚伍奢及子向を殺す伍子胥吳に奔 る○十二月孔子魯を老子に問ふ。 鄭の大夫子產卒す○仲弓子有生る。	八月晉の荀吳陸渾の戎を滅す○楚 簡吳と長埠に戰ふ。	正月齊景公徐を伐つ。	晉の荀吳鮮虞を伐つ。	宮其公子意恢を殺す。	四月楚の公子比其君靈王を弑す○ 陳蔡各其國を復す○吳州來を滅す。	廿八其君悼公を弑す○十月魯公子 翬齊に出奔す。
521	522	523	524	525	526	527	528	529	530
紀元前五二二	カルテゴ獨立國となる。	ビシトラス死レ、ヒパルス及ヒパルダス僧主政治を 繼ぐ(一五一〇)○アケネの圖書館成る○ベルシヤ王 カンビセス、エジプト新王國(第二十六王朝)を滅ぼ す(一四二五)。	ギリシヤの悲劇作家エスキルス生る(四五六死)。	釋迦大覺を得諸國に説法す○印度文明の一大 革新期始まる。	僞スメルダス(ガウマタ)のベルシヤ王位篡奪○カンビセ ス、歸路ギリヤに憤死す。	僞スメルダス殺さる○王族ギリウスヒパルス、ベルシ ヤ王位に登る(ギリウス一世、一四八五)○パピロニヤ 等反す○イ、ルサレム神殿の再建(一五一六)。		入り修行す。	ビシトラス、コロトナに住す○ベルシヤ王カニス死、カン ビセス嗣ぐ(一五二二)を繼ぐ○釋迦マカド山中に

一七〇、懿德(四代)	懿 德										
	170	169	168	167	166	165	164	163	162	161	
	20 戌庚	19 酉己	18 申戊	17 未丁	16 午丙	15 巳乙	14 辰甲	13 卯癸	12 寅壬	11 丑辛	
鮮											
	王 敬										
	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	
(周)敬王(春秋の世)	二月、懿德の文侯を殺す。孔子魯に 適く。九月、趙鞅、郟、鄆を圍む。十一月、 郟、鄆を降す。	十月、晉の趙鞅、朝歌を圍む。荀息、郟に 奔る。	孔子、陳より衛に反り、又陳に往く。○ 晉、鄭を衛に入る。	呉王夫差、越王勾踐を江、湖の夫椒に 破る。○三月、呉、越和す。○八月、呉、陳を 侵す。	二月、楚、胡を滅す。○孔子、衛を去り、曹 に奔る。○呉王夫差、立つ。(或は二十四 年、呉王夫差、立つ。)	宋に奔る。○呉王、闔閭卒す。○衛の世子、蒯 聵、宋に奔る。	二月、楚、頓を滅す。○五月、呉、越、李の 子去て、衛に通く。○齊、女樂を魯に送る。○孔 子、魯の相事を論ず。○晉の趙鞅、魯 陽に叛す。○齊、女樂を魯に送る。○孔 子去て、衛に通く。	魯、始て、晉に報き、鄭と和す。	子路、季子の宰となる。○魯、郟、及費を 墮ち、成を墮たんとして、克たず。	孔子魯の大司寇となる。○三月、魯、齊 と和す。○魯、齊、夾谷の會。	
	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	
	紀元前四九一	ベルシヤ軍第二回、ギリシヤ征伐のため、カリキヤに集合 す。	ベルシヤの第一回、ギリシヤ遠征、王の女、ヘカメデ、 元帥、水陸利あらず、中途退却。○哲學者、エンペド クラシス、生る(四三二死)。	アテナの統領、デモステレス、ピレウス軍港を築く。○ラテ ン諸市、ローマに服し之と同盟す。	ギリシヤの第一回、ギリシヤ遠征、王の女、ヘカメデ、 元帥、水陸利あらず、中途退却。○哲學者、エンペド クラシス、生る(四三二死)。	イオニアの反民、ラーデの海戦に、ベルシヤ軍に粉砕せ らる。○ピレウス市陥落。○ローマの平民、第一回、聖山 退却。○護民官設立。	アテナの統領、デモステレス、ピレウス軍港を築く。○ラテ ン諸市、ローマに服し之と同盟す。	ベルシヤの第一回、ギリシヤ遠征、王の女、ヘカメデ、 元帥、水陸利あらず、中途退却。○哲學者、エンペド クラシス、生る(四三二死)。	イオニアの反民、ラーデの海戦に、ベルシヤ軍に粉砕せ らる。○ピレウス市陥落。○ローマの平民、第一回、聖山 退却。○護民官設立。	アテナの統領、デモステレス、ピレウス軍港を築く。○ラテ ン諸市、ローマに服し之と同盟す。	ベルシヤの第一回、ギリシヤ遠征、王の女、ヘカメデ、 元帥、水陸利あらず、中途退却。○哲學者、エンペド クラシス、生る(四三二死)。

一六〇、懿德(四代)	懿 德										
	160	159	158	157	156	155	154	153	152	151	
	10 子庚	9 亥己	8 戌戊	7 酉丁	6 申丙	5 未乙	4 午甲	3 巳癸	2 辰壬	1 卯辛	
鮮	二月四日、天皇即位。○八月一日、安寧天皇を葬る。 正月、都を經(大和)に遷す。曲賦官と云ふ。○二月、 天豐津瓊命を立て、皇后とす。										
	王 敬										
	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	
(周)敬王(春秋の世)	六月、陽虎敗れて、齊に奔る。○孔子魯 の中都宰となる。○閔子騫生る。	正月、魯の昭公、齊を侵す。○魯の陽虎 三家を攻めて、克たず。	齊、鄭直隸の城に盟ふ。○十二月、齊の 簡公、王を王城に入る。	正月、鄭許を滅す。○十二月、王、結繩に 居る。	齊、鄭直隸の城に盟ふ。○十二月、齊の 簡公、王を王城に入る。	三月、諸侯、召陵に會し、楚を侵す。○孔 子、詩書、禮樂を修む。○十一月、秦、吳共 に、楚師を敗る。○子游生る。	王子朝、殺さる。○楚、吳に入る。○九月、 楚の申包胥、吳師を敗り、昭王、郟に還 る。○晉、欒生る。	四月、莒、宋の仲儀を京師に執ふ。 を伐て、大敗す。	三月、晉、宋の仲儀を京師に執ふ。	吳、始て、越を伐つ。○諸侯の大夫、等成 周宮城く。○孔子魯に歸る。	子夏生る。
	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	
	紀元前五〇一		アテナ、ベルシヤの請求を斥け、ヒビヤスの歸國を許 さず。				ローマの第二回、戸口調査、市民の總數、十三萬九 百九人。○ヘラクリス、テアン、プロコラス、アナクサゴ ラの諸哲學家出ず。	ローマ人、エトルスキ王、ホルセナと戦ひて、敗れ地を割 きて和す。○アタル、權醉、ローマの勇士、ホルセナの諸 戰、ローマの勇士、ホルセナ、エトルスキ王、ホルセナを刺 さんとす。	ヒビヤス、運はれ、ベルシヤに至る。○クリステス、政權を 握る。其治世に、秘密投票法(シクリタス)を定めて、價 主の現出を防ぐ。	クリステスの改革、民權擴張す。○ローマ人、オルギニ ウス王(最後の王、七代目)を逐ひ、政權(シクリタス)二名 を置く(一、五、一〇頃)。○ローマ共和政となる (一二七)。	ローマ人、エトルスキ王、ホルセナと戦ひて、敗れ地を割 きて和す。○アタル、權醉、ローマの勇士、ホルセナの諸 戰、ローマの勇士、ホルセナ、エトルスキ王、ホルセナを刺 さんとす。



一 九 〇 、 懿 德 ( 四 代 )、 孝 昭 ( 五 代 )	昭 孝					位空	德 懿			
	190	189	188	187	186	185	184	183	182	181
	5	4	3	2	1	34	33	32	31	
	午庚	巳巳	辰戊	卯午	寅丙	丑乙	子甲	亥癸	戌壬	酉辛
					正月九日天皇即位○四月都を掖上(大和)に遷す池心宮と云ふ。	十月懿德天皇を葬る。	九月八日天皇崩す壽七十七(紀に壽四十五)。			
鮮										
(周)敬王、元王(春秋の世)	王 元					王 敬				
	5	4	3	2	1	44	43	42	41	40
	閏月魯哀公趙に朝す。	始て趙にゆく。	六月晉の荀瑤齊を伐つ○八月魯使	十一月趙吳を圍む○晉の荀瑤鄭を伐つ。	五月趙始て使を晉に遣はす○晉の趙無恤代を滅す。	十一月趙吳を圍む○晉の荀瑤鄭を伐つ。	趙楚を伐つ○楚趙師を追ふ○是年王殂す。	齊の陳恒公族の強き者を殺す。	三月趙吳を空擧に破る○七月楚陳を滅す胡公より闕公迄十九傳六百四十五年○十月衛其君莊公を逐ふ。	齊の陳恒公族の強き者を殺す。
紀元前四七一	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480

一 八 〇 、 懿 德 ( 四 代 )	德 懿									
	180	179	178	177	176	175	174	173	172	171
	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21
	申庚	未巳	午戊	巳丁	辰丙	卯乙	寅甲	丑癸	子壬	亥辛
								二月皇子親松彦香殖稻尊を立て、皇太子とす。		
鮮										
(周)敬王(春秋の世)	王 敬									
	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30
	魯西狩獲麟○孔子春秋を作ると宋の向魴歿す○六月齊の陳恒其君闔公を弑す。	魯魯共の諸侯黃池に會す○魯哀公政を孔子に問ふ。	魯魯共の諸侯黃池に會す○魯哀公政を孔子に問ふ。	魯魯共の諸侯黃池に會す○魯哀公政を孔子に問ふ。	魯魯共の諸侯黃池に會す○魯哀公政を孔子に問ふ。	魯魯共の諸侯黃池に會す○魯哀公政を孔子に問ふ。	魯魯共の諸侯黃池に會す○魯哀公政を孔子に問ふ。	魯魯共の諸侯黃池に會す○魯哀公政を孔子に問ふ。	魯魯共の諸侯黃池に會す○魯哀公政を孔子に問ふ。	魯魯共の諸侯黃池に會す○魯哀公政を孔子に問ふ。
紀元前四〇一	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490







二七〇、孝昭(五代)、孝安(六代)	安 孝		昭 孝							
	270	269	269	267	266	265	264	263	262	261
	2 寅庚	1 丑己	83 子戊	82 亥丁	81 戌丙	80 酉乙	79 申甲	78 未癸	77 午壬	76 巳辛
十月都を室(大和)に遷す秋津島宮と云ふ。	正月七日天皇即位。	八月五日天皇崩す壽百十四(記に壽九十三)。								
鮮										
(周)安王(戦國の世)	安 王									
	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
	秦韓を伐ち六邑を取る○齊の田和其君康公を海上に遷す。	魏鄭を伐つ。		齊魯を伐つ。		鄭其君繻公を弑す。	三月高郵韓の相仲里を刺殺す。	楚鄭を圍む。	魏山崩れて黄河を壊ぐ。	魏韓趙楚を伐つ○鄭韓の陽穀を圍む。
紀元前三九一	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400
	コリント、アルゴス同盟す○スパルタ、コリント、アルゴス同盟とコリント地峡に戦ふ。	コロン、アテネの長壁を再建す。	コニツスの艦隊を破る○コロキヤの艦隊スパルタ玉アゲシラウス、アテネ諸州の兵を破る。	コリント戦争(三三七)○ハリファスの戦、スパルタの將リサントルアテネ、アテネ等の同盟軍と戦て死す。	ローマ人のアライイを陥落す○スパルタ玉アゲシラウス、ペルシャを破る○ペルシャ玉の計略コリント戦争を動かす。	コリント戦争(三三七)○ハリファスの戦、スパルタの將リサントルアテネ、アテネ等の同盟軍と戦て死す。	ローマ人のアライイを陥落す○スパルタ玉アゲシラウス、ペルシャを破る○ペルシャ玉の計略コリント戦争を動かす。	アゲシラウス、スパルタ王となる。	ギリシャの哲學者ソクラテスの處刑(四七〇)生○ギリヤ人ローマを襲撃す○ペルシャ、スパルタ戦争(三九四)・ペルシャ人ギリシャ植民地を征すスパルタの將アゲシラウス(三九二)を破る。	ギリシャの史家ヘカタエウス死す(四七一)生○ローマの平民始て武斷國民官に選る○比項印度軍艦經典文語となるパルニの梵語文典出づ。

二六〇、孝昭(五代)	昭 孝									
	260	259	258	257	256	255	254	253	252	251
	75 辰庚	74 卯己	73 寅戊	72 丑丁	71 子丙	70 亥乙	69 戌甲	68 酉癸	67 申壬	66 未辛
							正月皇子日本足彥國押人尊を立て、皇太子となす。			
鮮										
(周)威烈王、安王(戦國の初世)	威 烈 王 安									
	1	24	23	22	21	20	19	18	17	16
	秦魏を伐つ。	是年王珪す監登の璧王を殺す。	晉の大夫魏新趙韓韓皮魯諸侯となる○戰國時代の始○齊治通鑑目正編是年に起り魏王五十九年に至る。	晉の魏新魏成を相とし吳起を將とす○晉の趙魏公仲連を相とす。			晉の魏新段干木等を尊擢す○齊の田和衛を伐つ○魏新吳起を西河守とす又魏新経を子夏に受く。	晉の魏新中山に克つ○田和魯を伐ち成を取る○秦始めて宋に拒す。	魯孔儀を贈し公儀休を相とす○秦始めて吏民に帯劍せしむ。	王魯の韓趙二氏に秦を伐たしむ(三晉自王室に通ず)○齊の田盤卒し和代る。
401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	
紀元前四〇一	カタクサの戦、小アシヤの知事キルス、ギリシャの強兵を率へ兄アルタセルセス二世と戦ひ王位を奪ふ利あらず死す○ギリシャ兵一萬の退却。	アテネのトラシブリス、三十僱主を斥け民主政を再興す○クリステス死す。	四月アテネ降りペロポネソス戦争終はる○スパルタ復た覇權を握る○三十僱主アテネ國政を奪にす(八個月)○ヘレスポントに退陣中のアルカビヤス死す。	八月アテネ降りペロポネソス戦争終はる○スパルタ復た覇權を握る○三十僱主アテネ國政を奪にす(八個月)○ヘレスポントに退陣中のアルカビヤス死す。	八月エトラスカエの戦、スパルタの揚雷リサントルアテネの艦隊を滅す○ペルシャ王アルタセルセス二世(一三五九)エシアトの領地を失ふ○ローマ人エトルリヤの大市ヴェイを圍む(三九六)。	アルカビヤの海戦、スパルタ、アテネに敗れる○ソフィオレス(四九五)生、エウリピダス(四八五)死す。	アルカビヤの海戦、スパルタの揚雷リサントルアテネの艦隊を破る○アルカビヤス指揮官を免せらる。	アルカビヤス、ヘレスポントの海岸を略しビヤンテウムを征服し、アテネに凱旋す。	カルタゴ人シラーに進入ギリシャ諸市を滅す。	二月カタクサの海戦、アテネの將アルカビヤス、ペロポネソス同盟の艦隊を破る○アテネの民主政全く恢復す。

二九〇、孝安(六代)	安 孝										
	290	289	288	287	286	285	284	283	282	281	
	22 戌庚	21 酉己	20 申戊	19 未丁	18 午丙	17 巳乙	16 辰甲	15 卯癸	14 寅壬	13 丑辛	
鮮											
(周)安王、烈王(戦國の世)	王 烈 王 安										
	5	4	3	2	1	26	25	24	23	22	
	魏楚を伐つ○韓の嚴遂其君孫侯を弑す○孟子生る(?)。	趙衛を伐つ○魏趙師を北魏に破る。	燕齊師を林狐に破る○魯魏共に齊を伐つ。		韓鄭を滅し都を襄陽に徙す鄭桓公友より君乙に至る凡二十三傳四百三十二年にて亡ぶ。		蜀楚を伐つ。	魏趙師を共に見墓に破る。	魏趙師を共に見墓に破る。	齊魏を伐つ○魏韓趙共に齊を伐つ。	齊魏を伐つ○魏韓趙共に齊を伐つ。
紀元前三七一	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	
	レウクトラの戦、テーベの將エパミンダス、スパルタ軍を敗る○テーベ、ギリシャの覇權を握る(三六二)。			スパルタ人ボエオチヤより放逐せらる。		リキニウス法案提出せらる(國民官リキニウス及セクスサウス提出)。	第二回佛典結集。	聖軍を編制す○スパルタ軍三たびボエオチヤに侵入して皆敗る(三七六)。	テーベ、アネと同盟す(對スパルタ)○エパミンダス神聖軍を編制す○スパルタ軍三たびボエオチヤに侵入して皆敗る(三七六)。	ペロピダス等テーベの自由を恢復しスパルタ兵を放逐す、スパルタ、テーベ戦争(三六二)開始す。	ギリシャの喜劇作家アリスタクサス死す(四五〇生)○ギリシャ哲學者アルロ生る(九十歳)。

二八〇、孝安(六代)	安 孝										
	280	279	278	277	276	275	274	273	272	271	
	12 子庚	11 亥己	10 戌戊	9 酉丁	8 申丙	7 未乙	6 午甲	5 巳癸	4 辰壬	3 卯辛	
鮮											
(周)安王(戦國の世)	王 安										
	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	
	楚の悼王卒し大臣等亂を作す吳起殺さる。	日食晝晦。	魏趙師を見墓に破る。		秦の庶長改其君出公を弑す○魏の三賢結集を行ふ。	秦の庶長改其君出公を弑す○魏の三賢結集を行ふ。	秦の庶長改其君出公を弑す○魏の三賢結集を行ふ。	秦の庶長改其君出公を弑す○魏の三賢結集を行ふ。	秦の庶長改其君出公を弑す○魏の三賢結集を行ふ。	秦の庶長改其君出公を弑す○魏の三賢結集を行ふ。	秦の庶長改其君出公を弑す○魏の三賢結集を行ふ。
紀元前三八一	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	
		スパルタ、テーベの内城を占領し専制政治を敷く。		雄辯大家デモステネス生る(三三二死)○碩學アリストートル生る(三二三死)。	ビチニヤ、王國となる○カルゴゴ、ネラタヤと戦ふ、シラダヤ敗れて和す。	アルゴス、コリントの同盟解く○アトラト、フタネにアカデミヤ學院を開く。	アンタルキヤスの和約(ペルシャ、ギリシャ間)、小アジアのギリシャ諸市及アルス島をペルシャに讓與、ギリシャ各邦皆獨立たるを約す。	ガリヤ人ローマに侵入し、市を焼き七ヶ月にして去る(一説三八二)。			







三五〇、孝安(六代)	安					孝					
	350	349	348	347	346	345	344	343	342	341	
	82 戊庚	81 酉巳	80 申戊	79 未丁	78 午丙	77 巳乙	76 辰甲	75 卯癸	74 寅壬	73 丑辛	
							正月皇子大日本根子彦大瓊尊を立て、皇太子とす。				
鮮											
(周)慎親王、赧王(戦國の世)	王 赧				王 慎 慎						
	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1	
	蜀の相蜀侯を殺す。○張儀連衡策を唱ふ。六國連衡す。○諸侯復合従す。	秦大に楚師を丹陽に破り、漢中を取らる。○秦楚兵を藍田に破る。楚楚和す。	秦趙を伐つ。○楚の屈匄秦を伐つ。	秦魏を伐ち、子之及喻を殺す。○孟子齊を去り、孟子七編を作る。	王赧す。	秦魏を取らる。○燕昭王國を其相子之に譲る。	張儀連衡となる。	○秦魏を殺す。○魏成を秦に請ふ。張儀連衡となる。	○秦魏を殺す。○魏成を秦に請ふ。張儀連衡となる。	○秦魏を殺す。○魏成を秦に請ふ。張儀連衡となる。	衛更に侯魏を戻し、君と曰ふ。○是年燕王立す。
紀元前三一一	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	
	ローマ水道を築く。○アレクサンドル大王の后ロクサナ及び王子、カザンデルに殺さる。				カザンデル、テーマ市の再興を企つ。					アレクサンドル大王の印度征服地獨立す。	

三四〇、孝安(六代)	安					孝				
	340	339	338	337	336	335	334	333	332	331
	72 子庚	71 亥巳	70 戌戊	69 酉丁	68 申丙	67 未乙	66 午甲	65 巳癸	64 辰壬	63 卯辛
鮮										
(周)顯王(戦國の世)	王 顯									
	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39
	王赧す。○齊師公の田文を號して孟嘗君とす。	秦魏を伐ち、曲沃平周を取る。	秦魏を伐ち、曲沃平周を取る。	秦魏を伐ち、曲沃平周を取る。	秦魏を伐ち、曲沃平周を取る。	秦魏を伐ち、曲沃平周を取る。	秦魏を伐ち、曲沃平周を取る。	秦魏を伐ち、曲沃平周を取る。	秦魏を伐ち、曲沃平周を取る。	秦魏を伐ち、曲沃平周を取る。
紀元前三一一	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330
	大王の繼承者間の戦始まる。○マガダのナンダ王朝滅亡。○アレクサンドル大王の印度の帝位に即く、マウリヤ王朝始まる。	大王陸路ベルネリスに、部將ネタルス海路エウラチス河口に運師(一三二四)。	大王スーヤに凱旋、東西文化の源一粟を企つ。	七月大王バビロンに死す。○遺將相戦ひ、國土分崩す(一三七六)。○クシャキヤ(一三三二)。○ギリヤキヤ獨立を圖り、マケドニアと抗戦す。	アリスティール死す(三八四生)。○アレスタキヤ自殺(三八五生)。○大王の遺將アレクサンドル、エウラチに王朝を始す。	大王の繼承者間の戦始まる。○マガダのナンダ王朝滅亡。○アレクサンドル大王の印度の帝位に即く、マウリヤ王朝始まる。	大王陸路ベルネリスに、部將ネタルス海路エウラチス河口に運師(一三二四)。	大王スーヤに凱旋、東西文化の源一粟を企つ。	七月大王バビロンに死す。○遺將相戦ひ、國土分崩す(一三七六)。○クシャキヤ(一三三二)。○ギリヤキヤ獨立を圖り、マケドニアと抗戦す。	アリスティール死す(三八四生)。○アレスタキヤ自殺(三八五生)。○大王の遺將アレクサンドル、エウラチに王朝を始す。





四一〇 孝靈(七代)	靈 孝									
	410	409	408	407	406	405	404	403	402	401
	40 戊庚	39 酉己	38 申戊	37 未丁	36 午丙	35 巳乙	34 辰甲	33 卯癸	32 寅壬	31 丑辛
					正月皇子大日本根子彦國奉尊を立て、皇太子となす。					
鮮										
東周(周) 報王(戰國の世)	公 惠					王 報				
	5	4	3	2	1	59	58	57	56	55
	楚衛を伐つ趙之を破りて燕を圍む。趙公子勝卒す。	楚衛の懷公を殺し其弟を立つ。	楚鉅陽に遷る。	秦魏を伐つ。韓の桓惠王秦に入朝す。魏國を擧げて令を秦に送る。	秦の丞相范雎免ぜらる。楚衛況を魏令とす。秦西周公を惠侯に遷す。	王諸侯に秦を討しむ。秦入寇し王其地を秦に獻す。周三十七王八百六十七年にて亡ぶ(戰國の終)。	秦白起を發す。魏の信陵君秦軍を破り趙の圍を解く。	秦趙の邯鄲を圍む。平原君救を楚の春申君に乞ふ。魯仲連踏海の嘆。	趙各地を割き秦に和す。秦趙の公子商を誘執し尋て之を歸す。	秦趙を攻めて大原上黨を定む。韓趙各地を割き秦に和す。秦趙の公子商を誘執し尋て之を歸す。
251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	
紀元前二五一	シキオン、アケイア同盟に加入す。ローマの將メテリス、カルタゴ將ハストルバをバルヌスに敗り百餘頭の象を獲たり。	ローマの艦隊フリカの海岸を荒らす。	ローマ人バルヌスを陥る。	スパルタ人カルタゴを援けローマの將レグルス捕虜となる。	エドノムスの海路、ローマ人大にカルタゴの艦隊を破る。	エビルス王アレクサンドル死す。	ローマ、コルシカの征服を始む。阿育王、釋迦を禁じ布教師を派遣す。	ローマ大艦隊を造る(始めて戰艦を造るにあらざ)。	第一次エニ戦争(二四一)、ローマ人カルタゴと戦ふ。カルタゴ人メツソナのローマ人を圍む。ローマ人シリリ島に侵入す。	エシアト王運河を造る(ナイル河と紅海との間)。

四〇〇、孝靈(七代)	靈 孝									
	400	399	398	397	396	395	394	393	392	391
	30 子庚	29 亥巳	28 戌戌	27 酉丁	26 申乙	25 未乙	24 午甲	23 巳癸	22 辰壬	21 卯辛
鮮										
(周) 報王(戰國の世)	王 報									
	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45
	秦の白起韓の九城を抜く。	秦の白起韓の南陽を取る。趙の太子完秦より逃歸す。楚の黃歇相となり春申君に對せらる。	秦趙を伐つ。齊之を收ふて却く。	秦魏の邢丘を抜く。秦魏冉及公子悝等を送り范雎を相とし諸侯に對す。	秦の太子魏に質として後卒す。	秦范雎の計を以て魏を伐ち懷を抜く。	秦趙を攻む。	秦趙を伐つ趙奢之を却け馬服君に封ぜらる。秦范雎を尊卿とす。		
261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	
紀元前二六一	マメルチン軍隊シラタチ王ヒエロに敗らる。	エシアト始て使節をローマに遣す。ローマ始て銀貨を造る。阿育王即位式を行ふ。	此頃マケドニア王アンチゴス、アタネを取る。ガリヤ人再びマケドニアに侵入。	エシアト王運河を造る(ナイル河と紅海との間)。	マケドニア王アンチゴス、エビルス王アレクサンドルを敗る。	ローマイオリヤの半島部を統一す(一説二六六)。	第一次エニ戦争(二四一)、ローマ人カルタゴと戦ふ。カルタゴ人メツソナのローマ人を圍む。ローマ人シリリ島に侵入す。	エシアト王運河を造る(ナイル河と紅海との間)。	ローマイオリヤの半島部を統一す(一説二六六)。	第一次エニ戦争(二四一)、ローマ人カルタゴと戦ふ。カルタゴ人メツソナのローマ人を圍む。ローマ人シリリ島に侵入す。



四五〇、孝靈(七代)、孝元(八代)	元 孝				靈 孝					
	450	449	448	447	446	445	444	443	442	441
	4 寅庚	3 丑己	2 子戊	1 亥丁	76 戌丙	57 酉乙	74 申甲	73 未癸	72 午壬	71 巳辛
	三月都を輕(大和)に遷す境原宮と云ふ。				二月八日天皇崩す壽百二十八(記に壽百六)。		正月十四日天皇即位。			
鮮	(秦)始皇帝									
	帝 皇 始									
	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27
	東郡に限石す。	阿房宮成る○諸生四百六十餘人を坑にす○帝長子扶蘇に蒙恬が軍を監せしむ。	李斯の論により詩書及百家の書を焚き禁書律を設く。	南海象の三郡を置く○長城増築。	方士盧生入海して還る○帝北巡し將軍蒙恬をして匈奴を伐たしむ。	民をして自ら賣田せしむ。	帝東遊して陽武に至る○張良博浪沙に帝を阻撃して果さず。	帝東遊石を鄧通山に立て功業を頌す○方士に入海神仙を求めしむ。	去年兵器を銷し法度を一にし秦桀を咸陽に徙す○是年帝北巡。	
	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220
紀元前二二一	ハンニバル、ローマを脅迫す○エトリヤ同盟及其與國ローマに同盟しマケドニアに抗す○スキピオ(アフリカヌス)イスパニヤに赴く(一四二)。	スキピオ兄弟イスパニヤに敗死す。		マケドニア王ハンニバルと同盟す○第一次マケドニア戦争(ローマとマケドニア)起る(一四八)○ローマの將マルケルス、シラクサを圍む(一二二)。	アケイヤ同盟の長アラムス、マケドニア王に毒殺せらる。			ノラの戦、ローマの將マルケルス、ハンニバルを破る。	カンネーの戦、ハンニバル大にローマ軍を破る○アピウスクラウディウス、ローマのサクソトルとなる。	エトリヤ同盟、アケイヤ同盟と戦ふ(社會戦争)一七(一)○マケドニア王フリリテ五世即位(一七九)。

四四〇、孝靈(七代)	靈 孝									
	440	439	438	437	436	435	434	433	432	431
	70 辰庚	69 卯己	68 寅戊	67 丑丁	66 子丙	65 亥乙	64 戌甲	63 酉癸	62 申壬	61 未辛
	(秦)始皇帝(二十六年皇帝を稱す)									
	帝 皇 始									
	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17
	十六都を置く○十月を歳首す。	秦の王賈將を滅す(齊田和より六傳百六十六年)○秦天下を併せ三十六都を置く○十月を歳首す。	秦の王賈將及代を滅す○秦王苻江南及百越を定め會稽郡を置く。	秦楚を滅し楚都を置く楚武王より凡四十一傳八百七十年にて亡ぶ。	秦王苻大に楚軍を破り其將項燕を殺す。	秦王賈將を伐つ魏又侯より凡七傳百七十九年にて亡ぶ○楚大に秦軍を破る。	十月秦楚の純を抜く、燕太子丹を斬り秦に獻す○秦の李信楚を伐つ。	秦王賈將を伐つ○荆朝殺さる。	秦の王苻越を伐ち其將李牧を殺す。	秦の内史騰韓を滅す韓景侯より凡十一傳百七十四年にて亡ぶ。
	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230
紀元前二二一	セラシヤの戦、アンチオクセス三世を破る、スパルタを襲ふ○ハストルバル暗殺せらる(一四二)○ハンニバル朝々。	エシヤト王アトレモウス四世即位(一二〇五)。	シリヤ王アンチオクセス三世(大王)即位(一八七)。			ハストルバル、ローマと條約を結ぶ。	ハンニバル、イリリヤ王國と交戦、領土アフリヤ海を離ゆ(一二二八)○ハマルカルバルカス殺さる(一四二)○ハストルバル朝々○アンチオクセス三世即位(一二二二)。	ハストルバル新カルネオを建つ。		

(ふいとるなと王鮮朝てち立準子の否齋後の子箕頃此)準箕

(秦)始皇帝(二十六年皇帝を稱す)

紀元前二二一

四七〇、孝元(八代)	元 孝									
	470	469	468	467	466	465	464	463	462	461
	24 戊庚	23 己酉	22 申戌	21 未丁	20 午丙	19 巳乙	18 辰甲	17 卯癸	16 寅壬	15 丑辛
			正月皇子稚日本根子彦大日日尊を皇太子とす。							
鮮	(る據に地の韓馬奔南てれ通津筑る據に城倭王てひ翻を津筑南此頃)滿衛									
(漢)高祖、惠帝	帝 惠					祖 高				
	4	3	2	1	12	11	10	9	8	7
	正月孝弟力田を擧ぐ○扶耆律を除く。	匈奴と和す○五月間越對搖を立て東海王とす。	七月蕭何卒し曹參代る。	正月始て長安に城く○箕子の朝亡ぶ建國より九百二十九年此年南陽王儉城に都す朝鮮と號す。	○蕭何獄に下さる○四月帝殂す蕭王儉紹匈奴に亡入す。	十月英布を殺す○周勃陳豨を誅す	九月代の相陳豨反す。	匈奴と和す○齊楚の豪族を關中に移す。	三月帝洛陽にゆく○九月還宮。	十月帝韓信を討つ韓信匈奴に奔る帝平城に圍まる○二月長安還宮。
191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	
紀元前一九一	第二次マケドニア戦争(一九七)。 エトリア人ローマに降す。 シリヤ王安テオクセス二世エシアトよりパレスチナ及シリヤの一部を略取す。 キヌケワレの戦、マケドニア王ローマ軍に敗られ和を請ひシリヤの覇權を棄つ。 ローマの將フラニウス、シリヤの自由(對マケドニア)を布告す○カルタゴ、貴族政仆れ、民主政設立○エシアトのロモ、石刻せらる。 ハンニバル、カルタゴを遁れシリヤ王アンテオクセスに頼る。 ヌビヤ王マシヤ、カルタゴの領土を侵す○エシアト王アトレメウス五世シリヤ王アンテオクセス三世の女クレオパトラと婚す。 シリヤ王エトリア同盟と結びローマと戦ふ(一九九)○スパルタク、ケークヤ同盟と結ぶ。 タルモシレの戦、ローマ人アンテオクセスを破る○ローマ、ガリヤリカルピナの再征服を完了す○アケヤ同盟降参。									

四六〇、孝元(八代)	元 孝										
	450	459	458	457	456	455	454	453	452	451	
	14 子庚	13 亥己	12 戌戊	11 酉丁	10 申丙	9 未乙	8 午甲	7 巳癸	6 辰壬	5 卯辛	
							二月魯色謎命を立て、皇后とす。	九月孝靈天皇を葬る。			
鮮	(る據に地の韓馬奔南てれ通津筑る據に城倭王てひ翻を津筑南此頃)滿衛										
(秦)始皇帝、二世皇帝、(漢)高祖	祖 高 (漢)					世三	帝皇世二	帝皇始			
	6	5	4	3	2	1	1	2	1	37	
	十月項羽韓信を討つ韓信匈奴に奔る帝平城に圍まる○二月長安還宮。	十二月韓信を淮陰侯とす○九月韓信叛す○博士叔孫通に朝儀を起さしむ。	十一月韓信齊地を定む○張耳韓信英布を各王とす○八月漢初て算賦をなす。	十月韓信大に趙軍を破る○四月楚の范增卒す。	十月項羽韓信を討つ○漢王韓信に都す○三月漢王項羽を討つ。	十月秦王子嬰降る○二月項羽自立し西楚霸王と稱し沛公を漢王に封ず(漢十月を歲首とす)。	八月趙高帝を弑し子嬰を立てつ○九月子嬰趙高を殺す○沛公韓信を擊破す。	八月趙高帝を弑し子嬰を立てつ○九月子嬰趙高を殺す○沛公韓信を擊破す。	沛公張良を將とす○六月項羽楚の懷王の孫心を立て懷王とす○李斯殺さる○項羽卒し項羽代る。	十月陳勝吳廣兵を起す○九月劉邦兵を結に起す○項羽兵を起し田儼等各自立す○衡の羽角を擧す。	十月帝東巡七月沙丘に至りて殂す○李斯宦者趙高と共に少子胡亥を立て扶蘇蒙恬を殺す。
201	202	203	204	205	206	207	208	209	210		
紀元前二〇一	スキピオ、エプロ河を渡り新カルタゴを取る。 ハヌルバル、ハンニバルを殺せんがため北イタリヤに赴く。 エトリア人の戦、ローマ人、ハヌルバルを破り之を斬る○マンチネヤの戦、アケヤ同盟の將、ローマ、スパルタク人を破る。 スキピオ、イスパニヤよりカルタゴ人を一掃す○ローマ、マケドニアと和す。 スキピオ、シリヤに於てアフリカ遠征を準備す○エシアト王アトレメウス五世即位(一九八)。 スキピオ、アフリカに上陸す、ヌビヤ王マシヤ、スキピオに降す。 スキピオカルタゴ人を破る○カルタゴ、ハンニバルを召還す。 ザマの決戦、スキピオ、ハンニバルを破る。 カルタゴの陥落、ローマ、カルタゴの和を許す、第二次ガニエ戦争終る○ローマ再びガリヤリカルピナを征服す(一九九)。										





五〇〇、孝元(八代)、開化(九代)	化 開					元 孝				
	510	509	508	507	506	505	504	503	502	501
	7 庚寅	6 己丑	5 戊子	4 丁亥	3 丙戌	2 乙酉	1 甲申	57 癸未	56 壬午	55 辛巳
		正月伊香色隱命を立て、皇后とす。	二月孝元天皇を葬る。				十月都を春日(大和)に遷す藤川宮と云ふ。	九月二日天皇崩す百十六(記に百五十七)〇十一月十二日開化天皇即位。		
鮮										
(漢)文帝、景帝	帝 景					帝 文				
	6	5	4	3	2	1	7	6	5	4
	九月皇后薄氏を廢す廢后比に始る。	正月陽陵の邑を作る後諸帝豫め壽陵を作る〇公主を匈奴單于に嫁す。	衡山王勃等を徙す〇復讐を置く。	正月龜兹の謀に依り吳楚七國反す錯殺さる〇二月周亞夫亂を平ぐ。	三月河間王德等六人を封ず〇六月丞相申屠嘉卒し陶青之に代り龜兹御史大夫となる。	田租の半を收む〇答法を減ず〇張敖を廷尉とす。	六月帝殂す遺詔して短襪せしむ。	匈奴寇す〇周亞夫に命じて兵を出して匈奴に備へしむ〇大旱。		
151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	
紀元前一五一	ギリヤ王アレクサンドルバラス即位(一四六)〇ローマのカトー(エムピ)「アレンテ、エスト、カルゴロ」と絶叫す。	カルゴゴ、マシニヤに敗れる。	ローマの改革者カイウスグラクス生る。	カルゴゴ、マシニヤと兵を交ゆ。			ローマのスキピオナスキア水時計を發明す。	月氏サカ族の地を占領す〇サカ族遷徙す。		

五〇〇、孝元(八代)	元					孝				
	500	499	498	497	496	495	494	493	492	491
	54 庚辰	53 己卯	52 戊寅	51 丁丑	50 丙子	49 乙亥	48 甲戌	47 癸酉	46 壬申	45 辛未
鮮										
(漢)文帝	帝					文				
	3	2	元後	16	15	14	13	12	11	10
	匈奴老上單于死し軍臣單于立つ。	復讐と和す〇八月丞相張敖見し申屠嘉代る。	十月新恒平諫に伏す。	四月新恒平を上大夫とす〇齊地を分ち淮南地を分つ〇詔して明年を元年とす(改元)。	九月賢良直官備諫の者を親演す、龜兹を中大夫とす。	匈奴入寇〇魏尚を赦して雲中守に復す。	五月内刑を除き答を以て代ふ〇六月田租を除く。	三月關を除く〇民に今年の半租を賜ふ〇三孝孝節力田常員を置く。	匈奴狄道に遷す〇民を募て塞下に徙す。	將軍蘇昭非あり自殺す。
161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	
紀元前一六一	哲學者及修辭學者ローマより追放せらる。	ギリヤ王デメトリウス一世即位(一五一)。	月氏匈奴の間に甘肅より逐はる。	ギリヤ王アンチオクス五世即位(一六二)〇ギリヤ王パルマヤに侵略せらる。		アケイア人の重なる者一千人ローマに拘囚せらる、ギリヤの史家ガリビウス(二〇五生二二三死)其一人たり。	六月ピナナの戦、ローマの將エミリウスパウルス、マケドニア王ペルセウスを破る、マケドニア王國の滅亡。	マケドニア、ギリヤ、シリヤの諸國對ローマ同盟を結ぶ。		

五三〇、開化(九代)	開化										
	530	529	528	527	526	525	524	523	522	521	
	27 庚寅	26 己酉	25 戊申	24 丁未	23 丙午	22 乙巳	21 甲辰	20 癸卯	19 壬寅	18 辛丑	
鮮											
(漢)武帝	武帝										
	4	3	2	光元	6	5	4	3	2	元建	
	十二月寶嬰を殺す○三月田始卒す○五月蘇海を丞相となす。	黄河徙る水決して十六郡を溢す。	十月方士を遣し神仙を求む○六月匈奴を撃つ。	十一月郡國孝廉各一人を舉げしむ○賈誼文學を親策す。	六月丞相許昌免じ田始代る○蜀越南越を撃つ○閩越王の弟餘善王を殺して降る○餘善を東越王となす。	博士を置く。	三昧鑄を罷め半兩鑄を行ふ○五經博士を置く。	赤風血の如し。	閩越東越を撃つ兵を發し之を救ふ○帝始て遊行し又上林苑を起す。	丞相寶嬰免し許昌代る○衛青を大中大夫となす。	年號の始○賢良方正等を舉ぐ○置仲舒江都の相となる○三昧鑄を行ふ○六月丞相許昌免し賈誼代る。
132	131	133	134	135	136	137	138	139	140		
紀元前一三一	<p>黒孫月氏をサカ族の地より逐ふ○ユダヤ高僧シモン世襲君主となる○シリヤ王デメトリウス二世バルサヤ王に敗られ虜となる(一一二九)。</p> <p>シリヤ王アンタオス七世即位(一一二九)。</p> <p>月氏オアシス河(アム河)の南北を略す○バルサヤ、パトリヤを征す。</p> <p>第一次の奴隷の亂(一一三二)、シリヤの奴隷反しローマ人と戦ふ○ユダヤ高僧シモン殺さる。子ヒルカヌス嗣ぐ。</p> <p>シリヤ王イルサレムを圍む(一一三三)。</p> <p>スマンテ市の降伏○ローマのテパリスリクテス護民官に選ばれ、リキニウスの法律の施行を囑ふ。殺さる(一六三三)○バルガム、ローマ領となる。</p>										

五二〇、開化(九代)	開化									
	520	519	518	517	516	515	514	513	512	511
	17 庚子	16 己亥	15 戊戌	14 丁酉	13 丙申	12 乙未	11 甲午	10 癸巳	9 壬辰	8 辛卯
鮮										
(漢)景帝	景帝									
	3	2	元後	6	5	4	3	2	元中	7
	正月詔して暴虐を勸め黄金珠玉を採るを禁ず。帝珣す。	四月詔して二千石修職の事を戒む。	改元○丞相劉舍免し八月衛綰之に代る○周亞夫を獄に下す食せざして死す。	十一月諸官名を改む○更に笞法を減ず○六月匈奴入寇す。	九月詔して疑獄者を減す。	十月日食。	諸侯の御史大夫の官を罷む○酷酒を禁ず○丞相周勃夫免し劉舍之に代る。	梁王武人をして衰益を殺さしむ。	改元。	二月丞相陶青免し周亞夫之に代る。太尉の官を罷む。
141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	
紀元前一四一	<p>サカ族印度に侵入す(一一四〇)。</p> <p>第三次ボエニ戦争(一一四六)○カルタゴの民主黨全盛○ローマのカトリ(エンペー)死す○ヌミター王マンニヤ死す。</p> <p>第四次マケドニア戦争(一一四六)、マケドニア兵を擧げローマと戦ふ○アケイヤ人スパルタと戦ふ。</p> <p>ローマの將スキピオ(小アフリカヌス、大アフリカヌスの養子)海陸よりカルタゴ市を包圍す。</p> <p>カルタゴ亡ぶ○マケドニア、ローマの縣となる○アケイヤ戦争、アケイヤ同盟の頭コリント市滅さる。ギリシャ、ローマのアイヤ縣となる○シリヤ王デメトリウス二世即位(一一四〇)○エジプト王プトレメウス七世即位、殺さる次にプトレメウス八世即位(一一一七)。</p> <p>シリヤの僧王パレスチナを侵略す。</p> <p>スマンテ戦争(一一三三)、ローマ、イスパニアのスマンテヤ市と戦ふ(一説一四四)。</p> <p>ユダヤの僧シモン、シリヤ人を驅逐し、イルサレムの内城を取る。</p>									





五九〇、崇神(十代)	崇神									
	590	589	588	587	586	585	584	583	582	581
	27 庚戌	26 己酉	25 戊申	24 丁未	23 丙午	22 乙巳	21 甲辰	20 癸卯	19 壬寅	18 辛丑
鮮	鮮									
(漢)昭帝、宣帝	昭帝					宣帝				
	3	2	始本	平元	6	5	4	3	2	鳳元
	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	
紀元前七一	紀元前八一									

五八〇、崇神(十代)	崇神									
	580	579	578	577	576	575	574	573	572	571
	17 庚子	16 己亥	15 戊戌	14 丁酉	13 丙申	12 乙未	11 甲午	10 癸巳	9 壬辰	8 辛卯
鮮	鮮									
(漢)武帝、昭帝	昭帝					武帝				
	6	5	4	3	2	元始	2	元後	4	3
	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。	正月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。八月、昭帝崩す。
81	82	83	84	85	86	87	88	86	90	
紀元前八一	紀元前八一									





六五〇、垂仁(十一代)	仁 垂									
	650	649	648	647	646	645	644	643	642	641
	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
	戊戌	己酉	庚申	辛未	壬午	癸巳	甲辰	乙卯	丙寅	丁丑
					八月日蓋尊理命を立て、皇后とす。					
	新羅									
	世 居 赫									
	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38
	高麗									
	王 瑞 瑠									
9	8	7	6	5	4	3	2	1	18	
百濟										
王 祚 温										
8	7	6	5	4	3	2	1			
(漢)成帝										
帝 成										
2	延元	4	3	2	始永	4	3	2	嘉鴻	
鳥孫の太子番丘を誅す○康居貢獻す。	十二月王商卒し王根大司馬となる朱雲の折檻○匈奴車牙若驥單于立つ。	何武京兆尹となる。	十一月蘇合等亂を作し誅に伏す○梅福上書し時政を論ず。	正月王莽卒す○三月王商大司馬となり張放左遷○十一月丞相薛宣免し翟方進代る。	五月王莽新都侯に封ぜらる○七月昌陵に吏民を徙すを罷む。	賊鄭躬等平ぐ○王譚卒す。	十一月皇后許氏を廢す○鄭躬等亂を作す○過許王百濟國を建つ。	三月博士大射の禮を行ふ○鄧綏の奏を昌陵に徙す。	三月博士大射の禮を行ふ○鄧綏の奏を昌陵に徙す。	
紀元前一										
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	蓄三頭政治のレピウス死す○ローマの將ドムス及チベリウス北ゲルマニ族を征服す(一九)。		ローマの大進カス落に延長す。	ローマの將ドムス等レーチ人、ウインデリキ人を敗る。	ローマ兵ゲルマニ人に敗らる○ユルヤ王ハロア二子を伴ひてローマに至る。	ユルヤ王ハロア、神殿を再建す○アラグスツス、ガリヤに至る(一一五)。	ローマの元老院議員六百名に減ず。	ローマの水道成る ○ローマの詩人ウァール死す(七〇生)。	アラグスツス、バルテネ王フラウナスと戦ふ○印度及スキタの使節ローマに至る。	

六四〇、崇神(十代)、垂仁(十一代)	仁 垂									
	640	639	638	637	636	635	634	633	632	631
	9	8	7	6	5	4	3	2	1	63
	子庚	亥巳	戌戌	酉丁	申丙	未乙	午甲	巳癸	辰壬	卯辛
			七月宮庭厭速野見宿禰と角力す(相撲の始)。		十月狹狹彦孫せられ皇后亦崩す。	九月皇后の母兄狹狹彦反を謀る。	三月新羅王子天日槍歸化す(或は云ふ事は神代に在りと)。	二月狹狹彦孫を立て、皇后とす○十月(大和)に都す珠城宮と云ふ○任那の使節那島比智國歸す。	正月二日天皇即位○十月崇神天皇を葬る。	十二月五日天皇崩す○百十九(一説百二十)に百六十八。
	新羅									
	世 居 赫									
	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28
	高麗									
	王 明 東									
17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	
(漢)成帝										
帝 成										
4	3	2	朔陽	4	3	2	河平	4	3	
王駿を京兆尹とす。	八月大司馬王鳳卒す、九月王音之に代る。	四月王音を御史大夫とす○八月定陶王康卒す。	京兆尹王章殺さる○薛宣を左遷す。	八月遺書を求む。	正月匈奴復讐若婁單于來朝○四月丞相王商罷められ張禹代る○薛廣來獻す。	氏五人を封じて列侯とす。	死刑を減じて律令を省く。	中書令の官を罷む○三月王商相となる。	十二月直官極諫の士を擧ぐ、匡衡を庶人とす。	
紀元前一										
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
アラグスツス、ガリヤ、マシヤを巡幸す。	ペトニコウス(ガルス)の繼承者(エチオピヤを征して效あり(一一二))。	エシヤト知事エーリウスルカス、アラビヤに遠征して失敗す。	イスパニヤより麻、印度より絹、マルタより綿をローマに輸入す。	オクサゲイマス、元老院よりアラグスツスの尊號を受く、ローマ以後帝政となる。			オクサゲイマス連年、統領となる(三一一、二九)。	アントニコウス、クレオパトラ(六九生)自殺、クレオパトラ朝は、エシヤト、ローマ領となる○ユルヤ朝貢を免ぜらる。		



六七〇、垂仁(十一代)	垂仁										
	670	669	668	667	666	665	664	663	662	661	
	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	
	午庚	巳己	辰戊	卯丁	寅丙	丑乙	子甲	亥癸	戌壬	酉辛	
	十月皇子五十瓊敷命御千口を 作りて石上神宮に懸む。		正月皇子大足彥尊を立て、皇 太子とす。		諸國に命じて池瀦を開かしむ 其數八百餘。	三月山背に行幸。		七月皇后日靈命崩す此時 土偶を以て殉死に代ふ(野見宿 禰の説)。			
	新羅					新羅					
	王 解 南					世 居 赫					
	7	6	5	4	3	2	1	60	59	58	
	高麗										
	王 璃 瑠										
29	28	27	26	25	24	23	22	21	20		
百濟											
王 祚 溫											
28	27	26	25	24	23	22	21	20	19		
(漢)平帝、孺子嬰(新)王莽	莽王(新)		嬰子孺		帝 平						
	2	國建治	始初	2	攝居	5	4	3	2	始元	
	二月	十一月	十月	五月	四月	三月	二月	正月	正月	正月	
	二月	十一月	十月	五月	四月	三月	二月	正月	正月	正月	
	二月	十一月	十月	五月	四月	三月	二月	正月	正月	正月	
	二月	十一月	十月	五月	四月	三月	二月	正月	正月	正月	
	二月	十一月	十月	五月	四月	三月	二月	正月	正月	正月	
	二月	十一月	十月	五月	四月	三月	二月	正月	正月	正月	
	二月	十一月	十月	五月	四月	三月	二月	正月	正月	正月	
	二月	十一月	十月	五月	四月	三月	二月	正月	正月	正月	

六六垂、垂仁(十一代)	垂仁										
	660	659	658	657	656	655	654	653	652	651	
	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	
	申庚	未己	午戊	巳丁	辰丙	卯乙	寅甲	丑癸	子壬	亥辛	
		十月皇子五十瓊敷命御千口を 作りて石上神宮に懸む。		八月物部十千根に出雲の神靈 を掌らしむ。	三月天照大神の宮を伊勢の五 十鈴川上に遷す(伊勢内宮)。		十一月鳥取部鳥養部等を定む。				
	新羅										
	王 居 赫										
	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	
	高麗										
	王 璃 瑠										
19	18	17	16	15	14	13	12	11	10		
百濟											
王 祚 溫											
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9		
(漢)成帝、哀帝	帝 哀					帝 成					
	2	壽元	4	3	2	2	和綏	4	3		
	二月	正月	三月	三月	三月	二月	二月	二月	二月	二月	
	二月	正月	三月	三月	三月	二月	二月	二月	二月	二月	
	二月	正月	三月	三月	三月	二月	二月	二月	二月	二月	
	二月	正月	三月	三月	三月	二月	二月	二月	二月	二月	
	二月	正月	三月	三月	三月	二月	二月	二月	二月	二月	
	二月	正月	三月	三月	三月	二月	二月	二月	二月	二月	
	二月	正月	三月	三月	三月	二月	二月	二月	二月	二月	
	二月	正月	三月	三月	三月	二月	二月	二月	二月	二月	

一〇

紀元前一





七三〇、垂仁(十一代)	仁 垂									
	730	729	728	727	726	725	724	723	722	721
	99 午庚	98 巳己	97 辰戊	96 卯丁	95 寅丙	94 丑乙	93 子甲	92 亥癸	91 戌壬	90 酉辛
	二月田道間守を常世國に遣し橋を求めしむ。 七月三日天皇崩す(一説に百三十九(一)説に百四十記に百五十三)○十二月天皇を葬る。									
新羅	王 解 脫									
	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5
高麗	王 祖 太									
	17	15	14	13	12	11	10	9	8	7
百濟	王 婁 多									
	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34
(後漢)明帝	帝 明									
	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4
	東平王蒼校後を誅む○十月詔運司徒に伏恭司空に任ず○于實車王賢を殺す 十一月北匈奴入寇南單于之を却く○夏融卒す 二月王種山費縣を出す○四月北單于の合市を許す○宋均尚書令となる 正月司徒范滂卒し三月虞延代る○秦檜等を西域に遣し佛教を求めしむ(天竺に至る) 匈奴其子を遣し入學せしむ 正月東平王蒼自殺す○秦檜等佛經及迦葉摩騰竺法蘭を得て歸る 二月東平王蒼等來朝す○白馬寺を立つ 四月竹の園陸干餘里を修む○七月牟融司空となる 夏竹園成る、竹河分流蓋に復す○十一月楚王英廢せらる。									
七〇	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61
	アトシ人反しロンドンを焼く。 ネロ、皇后オクティヴィヤを殺す。 ポール敵さる○バルテヤ及アルメニヤ、ローマと戦ひ、バルテヤ和を請ひ、アルメニヤ降る。 ネロ、ローマを焼き又大にキリスト教徒を虐殺す(第一次キリスト教徒迫害)。 ビソの陰謀發覺○ネロ帝、セネカ及ルカンに死刑を宣告す。 ユダヤ人ローマに反す○ポール殺さる○聖ペートル磔殺せらる。 ローマの將士パシヤヌス、ユダヤ人を敗る(一六八)。 ガリヤ及イスパニヤ反す、ガルバ、ローマに入る、ネロ遁れて自殺す、ガルバ即位(一六九)。 ローマ帝オト(正月-四月)○ローマ帝ガイウス(四月-十二月)○ローマ帝ネロパシヤヌス(一七九)。 チヌス、イルサレムを陥る○ローマの大園劇場(コロッセウ)起工。									

七二〇、垂仁(十一代)	仁 垂									
	720	719	718	717	716	715	714	713	712	711
	89 申庚	88 未己	87 午戊	86 巳丁	85 辰丙	84 卯乙	83 寅甲	82 丑癸	81 子壬	80 亥辛
	二月五十尊救命の妹大中姫石上神宮の神寶を物部十千根に授けて治めしむ。 七月新羅の王子天日槍の曾孫清彥寶物を官獻す。									
新羅	王 解 脫					王 理 儒				
	4	3	2	1	33	32	31	30	29	28
高麗	王 祖 太					王 本 慕				
	8	7	6	5	4	3	2	1	5	4
百濟	王 婁 多									
	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24
(後漢)光武帝、明帝	帝 明					帝 武 光				
	3	2	平永	2	元中	31	30	29	28	27
	五月三公を太尉司徒司空と改む○北匈奴和親を求め許さず。 八月諸王國に就かしむ○十月北匈奴復和親を乞ふ之を許す。 二月東漢の者を赦す○四月死罪以下一帯を減す。 二月東漢○買復卒す。 北匈奴使を遣し奉獻す。 二月東漢巡して封疆す○圖讎を天下に宣布す○南單于比死し弟莫立つ。 後漢書に正月倭奴國奉貢朝賀使人自稱大夫光武賜以印綬と見ゆ○二月帝崩す。 五月鄧禹卒す○七月馬武燒當羌を擊破す○耿种卒す。 三月大射禮を行ふ○十月養老禮を行ふ。 二月郭丹司徒に遷延太尉に任ず○中興功臣の像を雲臺に畫す。									
六〇	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51
	アトシ人反しロンドンを焼く。 ネロ、皇后オクティヴィヤを殺す。 ポール敵さる○バルテヤ及アルメニヤ、ローマと戦ひ、バルテヤ和を請ひ、アルメニヤ降る。 ネロ、ローマを焼き又大にキリスト教徒を虐殺す(第一次キリスト教徒迫害)。 ビソの陰謀發覺○ネロ帝、セネカ及ルカンに死刑を宣告す。 ユダヤ人ローマに反す○ポール殺さる○聖ペートル磔殺せらる。 ローマの將士パシヤヌス、ユダヤ人を敗る(一六八)。 ガリヤ及イスパニヤ反す、ガルバ、ローマに入る、ネロ遁れて自殺す、ガルバ即位(一六九)。 ローマ帝オト(正月-四月)○ローマ帝ガイウス(四月-十二月)○ローマ帝ネロパシヤヌス(一七九)。 チヌス、イルサレムを陥る○ローマの大園劇場(コロッセウ)起工。									

七五〇、景行(十二代)	行 景										
	750	749	748	747	746	745	744	743	742	741	
	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未	午	巳	
	二月五百野皇女をして天照大神を祭らしむ。	九月天皇日向より遷幸。	五月天皇八代孫に幸し其國を號して火國と曰ふ。	三月天皇子孫孫に幸し其國を號して日向と曰ふ。			天皇なほ筑紫に在り。	五月熊襲悉く平ぐ。	七月筑紫の熊襲反す○八月天皇親征、十二月熊襲八十餘郡降す。		
	王 婆 婆										
	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	
	王 祖 太										
	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	
	王 妻 己										
14	13	12	11	10	9	8	7	6	5		
(後漢)章帝、和帝	帝 和 帝 章										
	2	元永	2	和章	3	2	和元	8	7	6	
	七月制起太尉となる○廉范蜀郡太守となる。	六月太子慶を廢す○八月東平王蒼歸國す○蕭何の末孫を封ず。	正月東平王蒼卒す○班超西域將兵長史となる○鄧弘大司農となる。	六月實錄法を講す○七月治獄慘酷を禁ず○八月鄧弘太尉となる。	正月民に胎產穀を給す府吏の贖罪を戒む○二月四分曆を行ふ○南北軍于相戰ふ。	四月大尉鄧弘卒す○十月熒當免反す○班超疏勒王を斬る○曹褒漢書百五十篇を定む。	匈奴五十八部來降す○班超莎車を降す。	正月帝祖太后崩○三月諸王始て就國す○四月鹽鐵の祭を罷む○劉訓諸羌を降す。	六月夏曆北匈奴を破り燕然山に功を勳して還る。	賈逵暹伊吾の地を取る○月氏使を遣して貢獻す○九月北匈奴入朝を求む。	
	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	
	九〇										
	カドフィエス二世班超に敗られ支那に朝貢す○カドフィエス二世印度の北部を併はせパシヤのバルチヤ人を威ぼす(一〇〇)。										
	ローマ帝ドミティアス(一九六)、帝の世にラインドナウ爾河の間に長城(リクス)起工○テグリコラ、ローマに召還。										
	アグリコラ、ブリタニヤのカレドニヤ人を敗る○テグリコラ、ローマに召還。										
	クレマン帝カドフィエス一世死す、其子カドフィエス二世立つ。										
	ゲキヤのゲルマニ族ローマ軍を敗り歳貢を約せしむ。(一九〇)。										

七四〇、景行(十二代)	行 景										
	740	739	738	737	736	735	734	733	732	731	
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未	
							二月英儀に行幸○十一月遷幸、日向に都す日代宮と云ふ。	二月屋主忍男武雄心を遣し紀伊の群神を祭らしむ。	三月膳所之稻日大御姫を立て、皇后とす。	三月田道間守孫を得て常世國より歸る○七月十一日天皇即位。	
	王 解 脫										
	1	23	22	21	20	19	18	17	16	15	
	王 祖 太										
	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	
	王 妻 己					王 妻 多					
4	3	2	1	49	48	47	46	45	44		
(後漢)明帝、章帝	帝 章 帝 明										
	5	4	3	2	初建	18	17	16	15	14	
	五月道官の七を外官に補す○班超疏勒を擊破す。	二月大尉牟融卒す○十一月詔、備白虎觀に會して五經の同異を講す。	二月馬防車騎將軍となる。	四月馬防車騎將軍を破る○十二月馬防車騎將軍となる。	三月三公に非法を糾さしむ、伊吾盧の屯兵を罷む。	正月車師復降る、都護等の官を罷む○班超疏勒に留屯す。	二月北匈奴車師を撃つ○八月帝祖す○西域都護陳睦攻没す。	西域諸國の子入侍す○十一月寶固等車師を撃て降す○復西域都護陳睦已校尉を置く。	二月寶固北匈奴の伊吾盧の地を取る○北匈奴雲中に入寇す。	二月東巡孔子の宅を訪ふ○四月皇子六人を王とす。	三月司徒虞延自殺す○官人道士等千餘人出家を求めて許さる○四月前楚王英自殺す。
	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	
	八〇										
	ローマの將アグリコラ(史家タキタスの轉文)アキタニヤに於けるローマの領地を擴張す。										
	ローマ帝テラス(一八一)○カスウェキ火山の破裂、ルタケウムガシヤの二市埋没す。										
	ローマのアリヤニヤ知事ウォールスを拘へ、カレドニヤに進む。										

七七〇、景行(十二代)	行 景									
	770	769	768	767	766	765	764	763	762	761
	40 戊辰	39 己巳	38 庚午	37 辛未	36 壬申	35 癸酉	34 甲戌	33 乙亥	32 丙子	31 丁丑
六月東夷叛す○十月日本武尊東夷を征す(東國大に定る)。										
新羅	王 婆 婆									
	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22
高麗	王 祖 太									
	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49
百濟	王 婁 己									
	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25
(後漢)和帝、熹帝、安帝	帝 安					帝 和				
	4	3	2	初永	平延	興元	16	15	14	13
○三月初旬匈奴降る。	○三月南匈奴降る。	○四月南匈奴降る。	○五月南匈奴降る。	○六月南匈奴降る。	○七月南匈奴降る。	○八月南匈奴降る。	○九月南匈奴降る。	○十月南匈奴降る。	○十一月南匈奴降る。	○十二月南匈奴降る。
110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	
100			第三次のキリスト教徒迫害。		パルティア王國興起。				トラスカス、ギキヤ人を征服す(一〇六)。	

七六〇、景行(十二代)	行 景									
	760	759	758	757	756	755	754	753	752	751
	30 子庚	29 丑辛	28 寅壬	27 卯癸	26 辰甲	25 巳乙	24 午丙	23 未丁	22 申戊	21 酉己
二月武内宿禰歸り蝦夷の地形民俗を奏す○八月武尊を遣し之を討たしむ。										
新羅	王 婆 婆									
	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
高麗	王 祖 太									
	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39
百濟	王 婁 己									
	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
(後漢)和帝	帝 和					帝 和				
	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3
○九月張鳥太尉となる○遼唐復反す。	○二月便を遣し循行屬貸せしむ。	○二月漢北匈奴を金微山に擊破す○三月南匈奴降る。	○五月南匈奴降る。	○六月南匈奴降る。	○七月南匈奴降る。	○八月南匈奴降る。	○九月南匈奴降る。	○十月南匈奴降る。	○十一月南匈奴降る。	○十二月南匈奴降る。
100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	
100	二人西方に移動す。					第二次のキリスト教徒迫害。				

七九〇、景行(十二代)	行 景									
	790	789	788	787	786	785	784	783	782	781
	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51
	午庚	巳己	辰戊	卯丁	寅丙	丑乙	子甲	亥癸	戌壬	酉辛
	十一月七日天皇高穴穗宮に崩す(百四十三)(一説百〇六、記百三十七)									
	二月近江志賀に幸し高穴穗宮に居す。									
	十月諸國に田部屯倉を置く。									
	八月彦瀲島王子調諸別王に調諸別王之を伐つ。									
	二月彦瀲島王を東山道十五國の都督王とす王任地に違せずして居す。									
	八月より東山東海諸州に遷幸命を立て、皇后とす。○七月八坂入魂命を立て、皇后とす。									
新羅	王 摩 祗									
高麗	王 祖 太									
百濟	王 婁 蓋					王 婁 己				
(後漢)安帝、北郷侯、順帝	帝 順					侯 順 北	帝 安			
	5	4	3	2	建永	4	3	2	光延	光建
	三月太后鄧氏薨す○有道の士を擧ぐ○鄧氏憤死す○八月鮮卑入寇○大臣三年の喪を断つ。									
	八月高句麗王降る○黄蓋卒す。○十月楊太尉となる。○十月楊太尉となる。									
一三〇	130	129	128	127	126	125	124	123	122	121
ハドリアヌス帝イルサレムを再建す。										
カニシカ、カシムガル、ヤルカンド、ホタンを征服しパタラトラの王と戦ふ(一一三〇)。										
ハドリアヌス帝アテナに任す(一二二六)○クシヤン帝カニシカ即位。										
ローマ、ライン河よりドナウ河迄城壁を築く。										

七八〇、景行(十二代)	行										
	780	779	778	777	776	775	774	773	772	771	
	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	
	申庚	未己	午戊	巳丁	辰丙	卯乙	寅甲	丑癸	子壬	亥辛	
	日本武尊伊勢に崩す(年三十二、或は云ふ三十三)○武部を定む。										
	王 摩 祗										
	王 祖 太										
	王 婁 己										
	(後漢)安帝	帝 安									
		寧永	6	5	4	3	2	初元	7	6	5
三月任尚等薨を擊破す○班超海路張伯路を断る。											
三月武帝の功臣を封ず○漢零死し零昌つぐ。											
一一〇	120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	
トラスマス、バルサ人破る(一一一六)。											
キレホのユダヤ人、ギリヤ人及ローマ人を處殺す。											
トラスマス、バルサ人の多クシランを攻陥す○ローマの版圖最大となる。											
ローマ帝ハドリアヌス(一一三八)○ローマの歴史家カキウス死す○ローマ、バルサの侵地を失ふ。											
ハドリアヌス、更にキリスト教徒を逐斥する法を立て(第四次の迫害)。											
ハドリアヌス領土運幸をなす(一二二七)。											

八一〇、成務(十三代)	務 成									
	810	809	808	807	806	805	804	803	802	801
	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
	庚寅	己丑	戊子	丁亥	丙戌	乙酉	甲申	癸未	壬午	辛巳
新羅	王 聖 逸									
	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
高麗	王 大 次					王 祖 大				
	5	4	3	2	1	39	92	91	90	89
百濟	王 婁 蓋									
	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14
(後漢)順帝、冲帝、質帝、桓帝	帝 桓 帝質 帝冲 帝 順									
	平和	3	2	和建	初本	嘉永	康建	2	安漢	6
	正月太后政を歸し二月殂す。	前朝陳侯の相荀淑卒す。	三月白馬羌入寇○安風の僧安世高洛陽に至り佛經を譯す。	十一月太尉杜喬獄殺せらる○月氏國の僧支謙洛陽に至り佛經を譯す。	四月大學生三萬餘人に増す○閏六月梁冀帝を弑す。	正月帝殂す○二月甄美降る○三月馬勉殺さる○十一月東南平ぐ。	趙冲羌と戦ひ敗歿す○八月帝殂す○十一月九江の竇馬勉帝を當塗に隔す。	孝廉を増して四科とす。	八月使を州郡に分遣し○張綱を廣陵太守とす。	正月馬賢等と戦ひ敗歿す○八月梁商卒し梁冀大將軍となる。
	150	149	148	147	146	145	144	143	142	141
一五〇										

八〇〇、成務(十三代)	務 成										
	800	799	798	797	796	795	794	793	792	791	
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	庚辰	己卯	庚寅	己丑	庚子	己亥	庚戌	己酉	庚申	己未	
新羅	王 聖 逸					王 摩 祇					
	7	6	5	4	3	2	1	22	21	20	
高麗	王 祖 太										
	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	
百濟	王 婁 蓋										
	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	
(後漢)順帝	帝 順										
	5	4	3	2	和永	4	3	2	嘉陽	6	
	四月南匈奴等反す馬援之を降す。	正月張遼等謀に伏す○四月馬賢熾當羌郡等を斬る。	六月交趾刺史張儉等變逆を招降し韓外平定す○孫臏を擧ぐ。	四月象林蠻反す○十月處士法真を徵す至らず。	二月兄張翼を河南尹とす○十月弟張魯を太尉とす。	二月中原に養子の關羽を認す○四月梁碩を大將軍とす○十月馬援入寇す。	四月車師の後部北匈奴を擊破す○七月鍾離入寇す。	正月鄧邯を徵す就かず○四月敦煌の士を擧ぐ。	正月段熲を皇后とす○耿种大に鮮卑を破る○十一月孝廉年限試法を立つ。	三月伊吾に復司馬を置き屯田を開く○九月太學を起す。	三月伊吾に復司馬を置き屯田を開く○九月太學を起す。
	140	139	138	137	136	135	134	133	132	131	
一四〇											



八三〇、成務(十三代)	務 成									
	830	829	828	827	826	825	824	823	821	821
	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31
	戊庚	酉己	甲戌	未丁	午丙	巳乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑辛
新羅	王 羅 達 阿									
	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
高麗	王 大 新					王 大 次				
	6	5	4	3	2	1	19	18	17	16
百濟	王 古 肖					王 婁 蓋				
	5	4	3	2	1	38	37	36	35	34
(後漢)桓帝、靈帝	帝 靈					帝 桓				
	3	2	寧建	康永	9	8	7	6	5	4
一七〇	170	169	168	167	166	165	164	163	162	161

(後漢書云、桓靈の間倭國大に亂れ相攻伐す乃ち共に卑彌呼を立てて王とす)

段熲邊に在る十餘年徴して侍中とす。

ルキウス・ウェルス死。

ローマ、マルコムニ及クラウディアのケルメニ族と戦ふ(一八〇)○大皇帝(マルクス・アウレリウス・アントニヌス帝)の使節支那に至る。

キリスト教徒の迫害。

ローマ、バルサラム人を敗る(一六五、一六一六、一六五)。

マルクス・アウレリウス・アントニヌス(一八〇)とルキウス・ウェルス(一六九)共にローマに君臨す。

八二〇、成務(十三代)	務 成									
	820	819	818	817	816	815	814	813	812	811
	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21
	子庚	亥己	戌戊	酉丁	申丙	未乙	午甲	巳癸	辰壬	卯辛
新羅	王 羅 達 阿					王 聖 逸				
	7	6	5	4	3	2	1	20	19	18
高麗	王 大 次									
	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
百濟	王 婁 蓋									
	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24
(後漢)桓帝	帝 桓									
	3	2	熹延	3	2	壽永	2	興永	2	嘉元
一六〇	160	159	158	157	156	155	154	153	152	151

北匈奴伊吾に逼す○十一月朔行の士を擧ぐ。

アントニヌス帝支那に使節を遣はす(パトナムによる)。

ローマ、キリスト教徒の迫害を止む。

フシカ・カシヤン帝となる。

八五〇、成務(十三代)	務 成									
	850	849	848	847	846	845	844	843	842	841
60 午庚	59 巳己	58 辰戊	57 卯丁	56 寅丙	55 丑乙	54 子甲	53 亥癸	52 戌壬	51 酉辛	
に六月十一日天皇崩す(百七)記										
新羅	王 休 伐					王 羅 達 阿				
	7	6	5	4	3	2	1	30	29	28
高麗	王 川 國 故									
	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3
百濟	王 古 肖									
	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
(後漢) 獻帝、弘農王、獻帝	帝 靈									
	帝 獻 平初	王 農 弘 6	5	4	3	2	平 中 6	5	4	
鮮卑檀石槐死す○列國を後宮に作る。 正月朔の不良を擧ぐ○七月新羅を討つ○桓典を侍御史とす。 二月日南嶺外の國重譯貢獻す。 二月黃巾賊張角等起る○三月黨人を赦す○五月皇甫嵩曹操と黃巾賊を破る○張角死す。 三月黒河橋を入れ司徒となる○六月宦者張讓等十三人列侯となる。 宦者趙忠車騎將軍となる○十月武陵の變反す。 二月梁陽に盜起る○十月長沙區星反す○陳寔卒す。 刺史を改めて牧伯とす○王莽自殺す。 四月帝崩す、子即即位す○八月袁紹悉く宦者を誅す○九月董卓帝を廢して弘農王とす。 正月關東州郡兵を起す卓弘農王を誅す○三月卓布を長安に遷す○曹操卓と戰ふ。										
一九〇	190	189	188	187	186	185	184	183	182	181
	ヴァステヴァ、クシヤン帝となる。									

八四〇、成務(十三代)	務 成									
	840	839	838	837	836	835	834	833	832	831
50 申庚	49 未己	48 午戊	47 巳丁	46 辰丙	45 卯乙	44 寅甲	43 丑癸	42 子壬	41 亥辛	
三月皇弟足仲彥尊を皇太子に立つ。										
新羅	王 羅 達 阿									
	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18
高麗	王 川 國 故									
	2	1	14	13	12	11	10	9	7	6
百濟	王 古 肖									
	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
(後漢) 靈帝	帝 靈									
	3	2	和 光	6	5	4	3	2	平 熹	4
四月江夏蠻反す○十二月何氏皇昏となる苑園を作る。 四月大尉段熲自殺す○十二月鮮卑入寇す。 八月夏育等鮮卑を討ち敗績す○十二月鮮卑遼西に寇す趙苞之を破る。 鴻都門學を置く○十月皇后宋氏を廢して幽殺す○十二月始て西邸を開き寶官す。 閏五月曹芳を殺す更に黨人を考へ五屬を禁錮す。 三月石經を太學門外に立つ○五月鮮卑幽州に寇す。 十一月後漢會稽の賊を討つ。 十二月鮮卑幽并二州に寇す。 三月胡貴卒す○六月竇太后薨す。 正月大赦す唯黨人を赦さず○鮮卑并州に寇す。										
一八〇	180	179	178	177	176	175	174	173	172	171
	ローマ帝コンモドゥス(一九二)ローマの衰微現はる。 アケイダクシカッパシウス、シリヤに於て反し帝號を稱す、奪て殺さる。 ローマ帝ガラヤのキリスト教徒を迫害す。									

八七〇、神功(攝政)	(政攝) 功 神									
	870	869	868	867	866	865	864	363	862	861
	10 庚寅	9 己丑	8 戊子	7 丁亥	6 丙戌	5 乙酉	4 甲申	3 癸未	2 壬午	1* 辛巳
						三月新羅入貢す、葛城郡津彦を 送使とす等て國津彦傳を強て 還る。		正月磐田別皇子を皇太子に立 つ○磐余(大和)に都す若櫻宮 と云ふ。	十一月仲哀天皇を葬る。	二月熊坂忍熊二王反す○十月 神功皇后攝政。
新羅	王 解 奈									
	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
高麗	王 上 山									
	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5
百濟	王 古 肖									
	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36
(後漢) 獻帝	帝 獻									
	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
	曹操劉雀を都に作る○十二 月周璇卒し魯胤代る。	七月曹操合肥に軍す○十二月 孫權劉備を荊州牧とす。	六月曹操自ら丞相となる○劉 表卒し九月表が子琮操に降る ○冬赤壁の戦。	二月曹操功臣を封ず○操烏桓 を撃ち八月蹋頓を斬る○劉備 孔明を見る。	三月曹操高幹を斬る○仲長統 を尚書郎とす○烏桓入寇す。	正月曹操袁譙を斬る袁尚等烏 桓に奔る○十月高幹反す。	七月曹操冀州牧を領す○十二 月操平原を抜く、公孫度卒す。	二月曹操黎陽を攻む○八月曹 操劉表を撃つ。	五月袁紹憤死す子尚つぐ○曹 操孫権に賀を求む權命を受け ず。	九月操備を汝南に撃つ備荊州 に奔る。
二一〇	210	209	208	207	206	205	204	203	202	201
	アリオニヤのセウリス城築完成す。		セウリス帝カレドニヤを蹂躪す(一一〇九)○ 古代法律の大家パピニヤスの盛時。						ローマの第五次キリスト教徒迫害。	

\* 皇紀百六十一年を以て或は第十五代應神天皇即位の元年となす。

八六〇、仲哀(十四代)	哀 仲										位空
	860	859	858	857	856	855	854	853	852	851	
	9 庚辰	8 己卯	7 戊寅	6 丁丑	5 丙子	4 乙亥	3 甲戌	2 癸酉	1 壬申	未 辛	
	二月六日天皇博日宮に崩す○ 五十二日十月皇后三轉を親征 し十二月崩す。	正月熊襲親征の爲筑紫に幸す ○九月群臣に熊襲を討つを謀 せしむ。	(古事記云戊寅年十二月崇神天 皇崩)？					正月氣長足姫尊を皇后とす○ 三月熊襲叛す天皇親征し穴門 に幸す○九月豊浦宮を營む。	正月十一日天皇即位○十月大 伴武以を大連とす(大連の始)	九月成務天皇を葬る。	
新羅	王 解 奈					王 休 伐					
	5	4	3	2	1	12	11	10	9	8	
高麗	王 上 山					王 川 國 故					
	4	3	2	1	18	17	16	15	14	13	
百濟	王 古 肖										
	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	
(後漢) 獻帝	帝 獻										
	5	4	3	2	安建	2	平興	4	3	2	
	正月曹操董承を殺す○孫策卒 し弟權代る○十月紹操を官渡 に攻めて敗る。	三月公孫瓚自殺す○六月袁術 病死す○劉備曹操を討つ。	四月李傕殺さる○九月曹操呂 布を殺す○袁紹公孫瓚を圍む。	七月曹操洛陽に還る○曹操帝を 許に遷す○袁紹太尉となり曹 操司空となる。	袁術帝を稱す○五月呂布術が 兵を破る○九月曹操術を討つ。	二月李傕郭汜を攻め帝を迎ふ ○十二月郭汜復讐を攻め帝を遷 す曹操呂布を破る。	劉備豫州を領す○劉焉卒す○ 陶謙卒し備徐州を兼領す。	曹操袁術を破る○十月大司馬 劉成公孫瓚に殺さる。	正月劉表が將孫堅を殺す○四 月董卓殺さる○黃巾賊荊州に 寇す○曹操兗州に據る。	二月孫堅卓を撃ち洛陽に入る ○十月公孫瓚劉備を平原相と す。	
二一〇	200	199	198	197	196	195	194	193	192	191	
			セウリス帝バルサヤを征して勝つ。		セウリス帝ビサンテムスを取る。 アルピヌス、ガリヤに於て帝號を擧す、セウリス 帝討ちて之を敗る。		セウリス帝敵手ニゲルを東方に敗る。	コンマッス帝試せらる。 バルナクス即位、在位三箇月にして試せ らる○セウリスニリキヌス即位、やがて試 せらる○セウリスニセウリス即位(一一 一一)。			

八九〇、神功(攝政)	(政攝) 功 神									
	890	889	888	887	886	885	884	883	882	881
	30 戊庚	29 酉己	28 申戊	27 未丁	26 午丙	25 巳乙	24 辰甲	23 卯癸	22 寅壬	21 丑辛
新羅	王 解 奈									
	1	34	33	32	31	30	29	28	27	26
高麗	王 川 東					王 上 山				
	4	3	2	1	30	29	28	27	26	25
百濟	王 首 仇									
	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
蜀	主 後								帝烈昭(蜀)	
	8	7	6	5	4	3	2	興建	2	武寧
魏文帝、明帝(吳)太帝	<p>去年後漢亡ぶ十三帝百九十六年○是年四月劉備帝位に即く○七月張飛部下に殺さる○(吳黃武)六月帝吳を討ち敗績す○九月吳改元し魏を拒ぐ○四月帝殂す○五月孔明を武郷侯とす○四月魏大軍を立つ○八月魏主吳を擊ち江に臨みて還る○三月孔明南征し四郡を平ぐ○十月魏主江に臨みて軍を還す○五月魏主五子に立つ(明帝)○八月吳王孫權の江夏を圍み克たず○(魏太和)二月魏大に宮室を營む○三月孔明出師表を上り魏を伐つ○孔明魏を伐ち街亭に敗績す○八月吳魏兵を石亭に破る○十二月孔明陳倉を圍む○(吳黃龍)四月吳王孫權帝と稱す(太帝)○九月吳建業に遷都す○十月魏懿を立つ○七月魏漢中に遷す○十二月吳魏を攻む</p>									
	230	229	228	227	226	225	224	223	222	221
二三〇	<p>○ローマ帝セウレスタレサンドル(一二三三)ローマ、ゴットに歳貢を約す。</p> <p>○ローマ帝セウレスタレサンドル(一二三三)ローマ、ゴットに歳貢を約す。</p> <p>○ローマ帝セウレスタレサンドル(一二三三)ローマ、ゴットに歳貢を約す。</p>									

(政攝) 功 神											八八〇、神功(攝政)
880	879	878	877	876	875	874	873	872	871		
20 子庚	19 亥己	18 戌戊	17 酉丁	16 申丙	15 未乙	14 午甲	13 巳癸	12 辰壬	11 卯辛		
<p>二月皇太子趙崩に行啓す武内宿禰之に従ふ。</p>											新羅
王 解 奈											
25	24	23	22	21	20	19	18	17	16		
王 上 山											高麗
24	23	22	21	20	19	18	17	16	15		
王 首 仇						王 古 肖					百濟
7	6	5	4	3	2	1	48	47	46		
帝 獻											(後漢) 獻帝
25	24	23	22	21	20	19	18	17	16		
<p>正月魏の子丕丞相となる○劉璋劉備を迎ふ○孫權治を建業に移す○十月曹操を撃つ○荀彧自殺す○十月劉備治城に據る○二月魏劉備治城に據る○正月十四州を九州とす○四月曹操魏公となり九錫を加ふ○五月劉備成都に入り益州牧を領す○七月操を撃つ○十一月操皇后及二皇子を弑す○正月曹氏を皇后とす○劉備孫權荆州を分つ○七月曹操關中を取る張魯降る○四月曹操魏王となる○七月南匈奴單于魏に朝す○三月孫權曹操に降を請ふ○四月操天子の車服を用ふ○曹操卒し呂蒙代る○正月耿紀等曹操を打ち克すして死す○七月曹操劉備を撃つ○五月劉備漢中を取る○七月備漢中王を稱す○十月孫權關羽を斬る○十二月呂操卒す○正月曹操卒す○魏九品中正を置く○十月曹丕帝を廢し自立す(文帝)(魏黃初)</p>											
220	219	218	217	216	215	214	213	212	211		
<p>ローマ帝カラカラ(一二一七)</p> <p>ローマ、フレン人と戦ふ。</p> <p>カラカラ帝ローマ市民権を全國民に與ふ。</p> <p>カラカラ試せらる、マクリヌス即位(一二一八)。</p> <p>エラガバルス、マクリヌスを廢し、自ら帝位に即く(一二二二)。</p>											三三〇

九一〇、神功(攝政)	(政攝) 功 神									
	910	909	908	907	906	905	904	903	902	901
	50 午庚	49 巳己	48 辰戊	47 卯丁	46 寅丙	45 丑乙	44 子甲	43 亥癸	42 戌壬	41 酉辛
	二月元田別等五月千熊長彦各還る。									
	三月新羅宿禰を卓淳國(任那國の中)に遣す。									
	四月百濟始て入貢す、新羅其貢を奪ひ代て之を獻ず。○千熊長彦を新羅に遣し之を賞む。									
	三月元田別鹿我別新羅を討ち安羅卓淳等七國を定む、南蠻悅彌多禮を屠りて百濟に賜ふ。									
新羅	王 解 沽			王 賁 助						
	4	3	2	1	17	16	15	14	13	12
高麗	王 川 中			王 川 東						
	3	2	1	21	20	19	18	17	16	15
百濟	王 爾 古									
	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
	主 後									
	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4
(蜀)後主(魏)齊王 吳太帝	四月吳魏を攻め敗退す。○十月蔣琬治に徙屯す。○曹叡卒す。○(倭の使再び魏に到る)。									
	正月姜維も治に徙屯す。									
	十一月賈禕大將軍となる。									
	正月吳陸遜を相とす。○三月魏曹爽漢中に遷す。									
	吳相陸遜卒す。○十一月大司馬蔣琬卒す。○十二月尚書令董允卒す。									
	魏高麗を伐ち九都屠る。○姜維將軍となる。									
	三月魏の曹爽太后を遷し朝政を擅す。○吳相步騭卒す。									
	五月賈禕漢中に屯す。									
	(魏高平)正月魏の司馬懿曹爽及何晏を殺す。○魏の徐邈卒す。									
	十一月魏大に吳を江陵に破る。									
二五〇	250	249	248	247	246	245	244	243	242	241
	ローマ建國一千年祭を行ふ。									
	デキウス帝位に登る(一二五一)○デキウス、フリウス帝を取って殺す。									
	第七次のキリスト教徒迫害。○ゴット人トナキヤまで侵入し、リボリスを取る。									
	ベルシャ、ローマの支那(一二四四)○フランシ人始めて歴史に現はる。○フランシ人ガリヤに侵入す。									
	ゴルヂヤマス帝ベルシャ軍を破る。									
	フリウス、ゴルヂヤマス帝を試し、帝位に登る(一二四九)○フリウス帝ヤバル王と和す。									

九〇〇、神功(攝政)	(政攝) 功 神									
	900	899	898	897	896	895	894	893	892	891
	40 申庚	39 未己	38 午戊	37 巳丁	36 辰丙	35 卯乙	34 寅甲	33 丑癸	32 子壬	31 亥辛
新羅	王 賁 助									
	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
高麗	王 川 東									
	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5
百濟	王 爾 古					王 首 仇				
	7	6	5	4	3	2	1	20	19	18
	主 後									
	3	2	熙延	15	14	13	12	11	10	9
(蜀)後主 魏明帝、齊王(吳)太帝	二月孔明魏の祁山を圍む。○五月孔明魏の司馬懿を破る。									
	(吳壽春)三月魏遼東を伐つ。○吳人魏を撃つ。									
	(魏晉熙)閏五月吳主魏の新城を攻めて克たず。									
	二月孔明魏を伐つ。○五月吳主魏を撃つ。○八月孔明年中に卒す。									
	四月蔣琬を大將軍とす。○魏洛陽宮を作る。									
	吳大魏を破る。○魏才徳の士を擧ぐ。									
	(魏景初)七月遼東の公孫淵自ら燕王と稱す。○魏蜀人を擧る。									
	(吳赤烏)二月吳當千大魏を破る。○八月魏帝亮に公孫淵を斬る。(倭女王の使魏に到る)。									
	正月魏主曹芳立つ。○(齊王)○二月司馬懿太傅となる。									
	○蔣琬大司馬となる。									
	(魏正始)春張華を越嵩太守とす。○冬吳銀ゆ(魏使を倭に遣はす)。									
二四〇	240	239	238	237	236	235	234	233	232	231
	セウリスリアレサントル、ベルシャと戦ふ(一二三三)。									
	セウリスリアレサントル試、マクシミアス試即位(一二三八)○マクシミアス帝の第六大キリスト教徒迫害。									
	アビニウス及バルビスの二人帝位に登る。○マクシミアス試、アビニウス及バルビス試せらる。○ゴルヂヤマス二世即位(一二四四)。									

九三〇、神功(攝政)、應神(十五代)	神功(攝政)										
	930	929	928	927	926	925	924	923	922	921	
1* 庚寅	69 己丑	68 戊子	67 丁亥	66 丙戌	65 乙酉	64 甲申	63 癸未	62 壬午	61 辛巳		
神應	四月十七日神功皇后崩御(百〇十月皇后を赤城盾列池上陵に葬る。)							新羅朝セテ高城郡津彦を遣して之を伐たしむ。			
新羅	王 鄒 味									王解沾	
高麗	王 川 中										
百濟	王 爾 古										
蜀(後主)魏(元帝)武帝	帝 武(晉)					主 後					
6	5	4	3	2	始秦	魏興	魏興	5	4		
四月吳の陸抗時宜を殺す。六月鮮卑秃髮樹機龍を討つ。	(吳建衡)二月蜀漢名臣の子孫を録用す。〇十月吳相陸凱卒す。	正月律令成る。〇四月太保王祥卒す。	九月星氣譴諫の學を禁ず。〇常頭部の質を歸へす。	(吳寶鼎)十二月吳復建業に都す(孫女王の使節に到る。)	〇吳武昌に遷都す。〇十二月晉王司馬炎帝を稱す。魏五世四十六年にて晉に譲り亡ぶ。	魏元興元年(吳甘肅)八月魏の晉王昭卒す。	魏興元年(吳武昌)八月魏の晉王昭卒す。	十月姜維魏を伐つ。〇魏の司馬昭竹林七賢の一人嵇康を殺す。	鮮卑の常頭部の大人拓跋力微質を魏に貢す。		
270	269	268	267	266	265	264	263	262	261		
二七〇	ローマ帝アウレリヤヌス(一二七五)アレン人イオリヤに入る。										
	クラウヂウス二世ゴット人及フレン人破る。										
	ガルリクス帝試せらる。〇クラウヂウス二世帝位に登る(一二七〇)。										
	オルヂタクス死し、皇后ゼンビヤ嗣ぐ。〇テトリクス、ガリヤに於て帝號を稱す。										
	バルミラのオルヂタクス帝號を稱す。										
	アラオルス帝號を稱す。〇ベルシヤ人アンチオキヤを取る。										
	マウリヤヌス、ウァレンス、カルアルニコスリビン帝號を稱す。										

\*皇紀九百三十年を以て或は應神天皇即位の七十年とす

神功(攝政)										九二〇、神功(攝政)
920	919	918	917	916	915	914	913	912	911	
60 庚辰	59 己卯	58 戊寅	57 丁丑	56 丙子	55 乙亥	54 甲戌	53 癸酉	52 壬申	51 辛未	
								九月百濟の使長彦に従ひ來り方物を獻す(是後百濟毎年來貢す)。	三月百濟久成を使とし入貢す。千熊長彦をして之を送らしむ。	
王 解 沾										新羅
王 川 中										高麗
王 爾 古										百濟
主 後										
3	2	耀景	20	19	18	17	16	15	14	蜀(後主)魏(齊王)高貴鄉公、元帝、會稽王、景帝
(魏景元)五月魏の司馬昭其主妃を弑す。翌月魏立つ。(元帝)	景帝八月諸葛誕討つ。〇九月吳の孫琳其主亮を廢し、十月休を立つ。(景帝)。	(吳永安)二月魏曹芳を抜く。〇九月吳の孫琳其主亮を廢し、十月休を立つ。(景帝)。	五月魏の諸葛誕魏の司馬昭を討つ。〇六月姜維魏を伐つ。	(魏甘露)〇吳太平)七月姜維魏將郭及と戦ひ敗れる。	正月魏の司馬昭卒す。〇八月姜維魏を伐つ。	(魏正元)〇吳五鳳)九月魏の司馬昭其主亮を廢し翌月高貴鄉公立つ。	正月姜維魏を伐つ。〇四月姜維魏を伐つ。〇十月吳諸葛恪を殺す。	(吳建興)四月吳主孫皓遜じ、太子亮立つ(會稽王)。	(吳太元)八月司馬懿卒す。〇二月吳の諸葛恪國事を謀ぶ。	
260	229	258	257	256	255	254	253	252	251	二六〇
ベルシヤ、ローマの交戦(一二六〇)。										
ベルシヤ軍ローマ軍を敗る。										
ゴット人小アヌヤ、ガリヤに遷す(一二六九)。										
ベルシヤ、ローマの交戦(一二六〇)。										
ベルシヤ軍ローマ軍を敗る。										
ガルス、ゴット人を伐て敗死す。〇ローマ帝、ガルス(一二五三)〇アン人カスセ海に現はる。										
ガルス、エトリヤヌス帝位に登る(在位四箇月にして弑)ウァレリヤヌス即位(一二六〇)。										
ガルス、エトリヤヌス帝位に登る(一二六八)〇三十箇主の時代。										

九五〇、應神(十五代)	神 應									
	950	949	948	947	946	945	944	943	942	941
	21 戌庚	20 酉己	19 申戊	18 未丁	17 午丙	16 巳乙	15 辰甲	14 卯癸	13 寅壬	12 丑辛
	<p>十月吉野宮に行幸す國攝人酒を獻ず。            九月眞主の裔阿知使主父子其十七縣の民を率ひて歸化す。            二月百濟より王仁來り論語千字文等を獻ず。○是年百濟織工西素等を貢す。            八月百濟王阿直岐をして良馬を獻せしむ。稚郎子皇子阿直岐を帥とす。            二月百濟王羅衣女をして我國に來らしむ。○是年弓月王(融通)秦人を率ひて歸化す。            二月百濟王羅衣女をして我國に來らしむ。○是年弓月王(融通)秦人を率ひて歸化す。</p>									
新羅	王 禮 儒					王 鄒 味				
	7	6	5	4	3	2	1	22	21	20
高麗	王 川 西									
	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
百濟	王 稽 責					王 爾 古				
	5	4	3	2	1	52	51	50	49	48
(晉)武帝	帝 武									
	太熙 永熙 (一)年	10	9	8	7	6	5	4	3	2
	<p>三月吳使五千人を宮に入る。○十月鮮卑入寇す。            正月張華を都督とす。○四月賈充卒す。○十二月齊王攸大司馬となる。            三月齊王攸卒す。○孫邪王仙卒す。○故吳王皓卒す。            杜預卒す。            正月尚書左僕射劉毅卒し王渾代る。○慕容廆入寇す。            正月司徒劉琨討む。○月氏の僧竺法護來りて正法華經等二百十部を譯す。            大廟殿陥る九月之を改營す。            洛陽大疫す。○秋地震す。            四月慕容廆降る鮮卑都督とす。○十一月子孫六人を王とす。○劉琨を匈奴北都都督とす。○劉琨を匈奴五部大都督とす。(一)年(明年號)。</p>									
二九〇	290	289	288	287	286	285	284	283	282	281
	<p>ローマ帝カリス(二八三)。            カリス帝ベルシャを敗る。○カリス帝死す、二皇子カリス、メメリヤス并立。            メメリヤス試せらる。○アオクレヤス帝位に登る(三〇五)。            カリス試せらる。            帝國の二分、アオクレヤス帝自ら東部を統べ、マクシムスに西部の政を委ねて共治者とす。</p>									

(皇紀九百四十一年は或は應神天皇即位の八十一年)

九四〇、應神(十五代)	神 應									
	940	939	938	937	936	935	934	933	932	931
	11 子庚	10 亥己	9 戌戊	8 酉丁	7 申丙	6 未乙	5 午甲	4 巳癸	3 辰壬	2 卯辛
	<p>十月劍池經池等を作る。            三月百濟人來朝。            四月武内宿禰を筑紫に遣す。○甘美内宿禰其兄武内宿禰を襲し伏罪す。            二月近江に行幸。            八月高麗人百濟人任那人新羅人來朝す。○韓人を殺し大和に韓人の池を作らしむ。            八月諸國に令して海人及山守部を定む。○十月伊豆に料し船を送らしむ(枯野)。            十月東蝦夷朝貢す。○是年使を百濟に遣し無禮を責む百濟其王(殺斯)を殺して之を謝す。</p>									
新羅	王 鄒 味					王 鄒 味				
	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
高麗	王 川 西									
	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
百濟	王 爾 古					王 爾 古				
	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38
(晉)武帝(吳)烏程公	帝 武									
	康太	5	4	3	2	寧威	10	9	8	7
	<p>正月匈奴右賢王反す。○七月吳復交趾を取る九日南蠻降る。○十月安樂公劉暉卒す。            (吳風)正月匈奴管に降る。○九月吳の歩軍管に降る。○十一月吳の陸抗歩軍を誅す。            公卿の女を六宮に備ふ。○吳章昭を殺す。            山濤を吏部尚書とす。○吳の陸抗卒す。            (吳天冊)六月常璩入貢す。            (吳天冊)十月羊祜征吳を請ふ。○后楊氏の父楊駿を車騎將軍とす。            (吳天紀)十二月常璩部大人拓跋力微死す。            十一月杜預を鎮南大將軍とす。羊祜卒す。            春匈奴の劉曜を左部帥とす。○十一月大羅吳を伐つ。○十二月鮮卑秃髮樹機能を斬る。            三月吳主皓降る吳四世五十二年にして亡ぶ天下統一統。○十月嗣して州郡の兵を罷む。</p>									
二八〇	280	279	278	277	276	275	274	273	272	271
	<p>アウレリヤス帝イオリヤのアレマン人を敗る。            第九次のキリスト教徒迫害。            バルバラ王國の滅亡、アウレリヤス帝バルバラ女王ゼンビヤを擒す。            アウレリヤス、シャロンに於てネトリクスを敗る。○マヌス、マニケイヤ教を唱ふ。            アウレリヤス帝暗殺。○オキウス帝位に登る(二七六)。            ローマ帝アラス(二八二)○アラス、ゲルマニヤ人サルマツヤ人を敗る。            アラス帝ベルシャを敗る。</p>									

(皇紀九百三十一年は或は應神天皇即位の七十一年)

九七〇、應神(十五代)	神 應									
	970	969	968	967	966	965	964	963	962	961
	41 午庚	40 巳己	39 辰戊	38 卯丁	37 寅丙	36 丑乙	35 子甲	34 亥癸	33 戌壬	32 酉辛
	<p>(古事記云、壬戌年六月仲夏天皇崩す?)</p> <p>二月阿知使主父子を吳に遣し、織造工女を求めしむ。</p> <p>二月百濟王其妹を遣し仕へしむ。</p> <p>正月稚郎子皇子を皇太子に立つ。</p> <p>二月十五日天皇崩す(百三十一)阿知使主等吳の織工女を伴ひ歸る、大山守皇子反す。</p>									
新羅	王 臨 基									
	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4
高麗	王 川 美									
	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
百濟	王 流 比					王 西 汾				
	7	6	5	4	3	2	1	6	5	4
(晉)惠帝、懷帝	帝 懷					帝 惠				
	4	3	2	嘉永	熙光	2	興永	2	安泰	寧永
	<p>正月張軌を涼州刺史とす。○趙王倫帝を弑す。四月殺さる。○十月巴氏李特廣漢に據る。</p> <p>○陳留王曹芳卒す。</p> <p>二月羅尚李特を斬る。李流代て其衆を各領す。○八月河間王顯成郡王顯各反す。</p> <p>二月長沙王又殺さる。○八月東安王猛殺さる。○十月李建威王を弑し。劉淵漢王を弑す。</p> <p>十二月成都王穎洛陽に據る。陶侃陳敏を河東に破る。</p> <p>六月李雄成皇帝を弑す。○十月成都王穎殺され。十二月河間王顯殺され。八王の亂止む。</p> <p>七月鄧錡王敬建業に鎮す。○十一月王衍を司徒とす。○慕容廆大皇子を弑す。</p> <p>正月漢劉太行に據る。○十月漢王淵皇帝を弑す。</p> <p>正月漢平陽に據る。○漢の石勒入寇。○十一月漢洛陽に寇す。</p> <p>七月漢主劉琨其子聰兄を弑して代る。○石勒洛陽を攻め、公を弑す。○拓跋猗盧を代公とす。</p>									
三〇〇	310	309	308	307	306	305	304	303	302	301
	<p>第十次のキリスト教徒の迫害。</p> <p>テオドシヤス、マクシマヌス二帝即位。ガレリウス、コンスタンチヌス二帝登極。マクシマヌス、セウルス副帝となる。</p> <p>コンスタンチヌス死、子コンスタンチヌス(大帝)副帝となる。○セウルス、マクセンチヌス、マクシマヌス相對して帝位に上る。○コンスタンチヌス、キリスト教徒の迫害を禁ず。</p> <p>セウルス、マクセンチヌスと戦ひて陣歿し、リキニウス帝位に即く。</p> <p>コンスタンチヌス、マクシマヌス相對して帝位に上る。○是に於て六帝並立。</p> <p>パルシヤ王サル二世(三三八〇)。</p> <p>コンスタンチヌス、マクシマヌスを殺す。○アリウス破門。</p>									

(皇紀九百七十年は或は應神天皇即位の百十年)

九六〇、應神(十五代)	神 應									
	960	959	958	957	956	955	954	953	952	951
	31 申庚	30 未己	29 午戊	28 巳子	27 辰丙	26 卯乙	25 寅甲	24 丑癸	23 子壬	22 亥辛
	<p>三月難波の大隅宮に行幸。</p> <p>(古事記云、乙卯年三月成務天皇崩す?)</p> <p>九月高麗朝貢す稚郎子皇子高麗王の表文無禮なるを見て之を責む。</p> <p>八月諸國に船を造らしむ。○是年新羅の貢船我船を襲撃す。新羅王懼れて船工を獻す。</p>									
新羅	王 臨 基					王 禮 儒				
	3	2	1	14	13	12	11	10	9	8
高麗	王 川 美									
	1	8	7	6	5	4	3	2	1	22
百濟	王 西 汾					王 稽 責				
	3	2	1	12	11	10	9	8	7	6
(晉)惠帝	帝 惠									
	康永	9	8	7	6	5	4	3	2	康元
	<p>三月賈后廢職を殺す。六月又故賈王亮等を殺す。○賈模張華裴頠皆廢を嘗す。</p> <p>二月賈后太后楊氏を弑す。</p> <p>六月弘農大雨雹す。</p> <p>司隸校尉傅咸卒す。○慕容廆大棘城に徙る。</p> <p>常璩其國を三部に分つ(昔人拓跋猗盧に附する者多し)。</p> <p>張華を司空とす。○夏匈奴反す。○八月氏羌齊萬年反す。</p> <p>正月將軍周處齊萬年と戦ひ死す。○九月王戎司徒となる。○三國志著者陳壽卒す。</p> <p>九月李恣をして漢川の流民を慰せしむ。</p> <p>正月將軍孟觀齊萬年を擒す。○八月賈模卒す。○十二月太子遼を廢す。</p> <p>四月趙王倫賈后及張華裴頠を殺す。○八月淮南王允趙王倫を討ち敗死す(八王の亂起る)。</p>									
三〇〇	300	299	298	297	296	295	294	293	292	291
	<p>フランケン人、パオビヤ及フランドルを取る。</p> <p>帝國の四分、テオドシヤス更に東西に各一副帝を置き、其管下を分治せしむ。</p> <p>フランケン人パオビヤより驅逐せらる。</p> <p>パルシヤ王ナルセス、アルメニヤ、メソポタミヤ及フシヤの三地方を失ふ。</p> <p>テオドシヤス、エジプトの反を平ぐ。○副帝コンスタンチヌス、アリオニヤの反を定む。○副帝ガレリウス、パルシヤと戦て敗る。</p> <p>副帝ガレリウス、パルシヤと戦て克ち領土を廣む。</p> <p>副帝コンスタンチヌス、アレマヌス人を取る。</p>									

(皇紀九百五十一年は或は應神天皇即位の九十一年)



九 九 〇、 仁 德 (十六代)	德					仁				
	990	989	988	987	986	985	984	983	982	981
	18 寅庚	17 丑己	16 子戊	15 亥丁	14 戌丙	13 酉乙	12 申甲	11 未亥	10 午壬	9 巳辛
	九月新羅の不貢を責む新羅絹及雜物八十艘を貢す。									
	十一月備を唐甘津に架す。○是年大道を京師南門より河内丹比邑に通ず。又聖田四萬餘頃を得。									
	九月天田の屯倉を没く。○十月和珣池橋野場を造る。									
	七月高麗鐵的鐵盾を獻す。○十月大瀧を山背に穿つ。									
	十月難波の堀江を作り又朝貢の新羅人を役して天田場を築く。									
	十月始めて倭を誤し宮室を營じ。									
新羅	王 解 訖									
	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
高麗	王 川 美									
	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22
百濟	王 流 比									
	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18
(東晉)元帝、明帝、成帝	帝 成					帝 明			帝 元	
	5	4	3	2	和成	3	2	寧大	昌永	4
	三月段匹磾戰死。○七月王璽を司空とす。○九月祖暅卒す。○代其遺體を殺す子實傳立つ。									
	正月王欽反す。○閏十一月帝璽し王璽政を輔く。									
	趙張茂を涼王とす(前涼)。○張茂姑臧に城く。									
	(前涼太元)五月張茂卒し子駿つぐ。○六月王敦復反す。○七月敦敗死す。									
	閏七月帝璽し太后稱制す。○十月二代王實傳卒し弟昞那立つ。									
	八月暹羅江州軍事都督となる。○十一月後趙壽春を攻む。									
	蘇峻反す。○十二月庾亮峻を討つ。									
	(後趙太昭和)九月陶侃蘇峻を斬る。○十二月後趙の石勒趙主璽を殺す。									
	四月暹羅卒す。○八月石虎前趙を滅す。○四主二十二年。○代王麟槐立つ。									
	九月石勒皇帝を稱す(後趙)。○後趙襄陽を陥る。									
三三〇	330	329	328	327	326	325	324	323	322	321
	コンスタンチヌス都をローマよりビザンチウムに遷しコンスタンティノールと改稱す。									
	アオナシウス、アレクサンドリヤの僧正となる(一三七三)。									
	ニケーマの宗教會議(第一次のキリスト教徒會議)アオナシウス派を正教と定めアリウス派を斥く。									
	リキニウス處刑。									
	コンスタンチヌス、リキニウスを降し、帝國を統一す。									

九 八 〇、 仁 德 (十六代)	德					仁					位 空	
	980	979	978	977	976	975	974	973	972	971		
	8 辰庚	7 卯己	6 寅戊	5 丑丁	4 子丙	3 亥乙	2 戌甲	1 酉癸	申壬	未辛		
	四月天皇臺上にて烟氣多く起るを遠望す。○九月諸國宮室の修理を請ふ許されず。											
	二月天皇高臺に登りて炊烟を遠望す。○三月詔して三年間諸國の課税を免す。											
	三月磐之媛命を皇后とす。											
	二月天皇即位都を難波(新津)に遷す高津宮と云ふ。											
	正月三日天皇即位都を難波(新津)に遷す高津宮と云ふ。											
	二皇子互に位を譲り稚郎子皇子高津宮に遷す。											
新羅	王 解 訖											
	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2		
高麗	王 川 美											
	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12		
百濟	王 流 比											
	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8		
(晉)懷帝、愍帝	帝 元(晉東)					帝 愍			帝 懷			
	3	2	興太	武建	4	3	2	興建	6	5		
	六月漢洛陽を陥れ帝を遷す。○七月劉曜長安に寇し南陽王模を斬る。											
	石勒襄國に據る。○九月賈疋等長安を復す。○十二月蓋買疋を殺す。○劉曜帝を試す。○四月劉曜長安に即位す。○十月劉曜長安に寇す。											
	二月劉曜を大將軍とす。○五月張軌卒し子寔つぐ。○六月常璩漢兵の入寇を破る。											
	二月司馬懿を丞相とす。○六月王敬州軍事都督となる。○十月漢馮翊を陥る。											
	(漢)十一月劉曜長安を陥る。帝漢に降る。西晉四主五十二年にて亡ぶ。											
	三月丞相書王の位に即く。○六月祖暅を殺す。○十二月劉曜帝を試す。○七月劉曜卒す。○十月劉曜赤龍に自立す。											
	(後趙石勒)漢改て趙と號す(前趙)。○十一月石勒趙王を稱す(後趙)。											
	(前涼太元)張寔殺さる。○趙太學を立つ。○後趙九品を定む。											
三三〇	320	319	318	317	316	315	314	313	312	311		
	ガレリウス病死。○キリスト教寛恕令出づ。											
	コンスタンチヌス、マグセンチウスを敗る、マグセンチウス、チメル河に溺死す。											
	コンスタンチヌス、リキニウスと同盟す。○リキニウス、マグシウスを殺す。○茲にローマ二帝並立となる。○テオドシウス死す。											
	コンスタンチヌス、リキニウスの和破れ相戦ふ。											
	コンスタンチヌス、キリスト教徒を愛護す。○印度のグプタ朝(一四七〇)。											

一〇一〇、仁徳(十六代)	徳 仁									
	1010	1009	1008	1007	1006	1005	1004	1003	1002	1001
	38 戌庚	37 酉己	36 申戊	35 未丁	34 午丙	33 巳乙	32 辰甲	31 卯癸	30 寅壬	29 丑辛
	正月八田皇女を皇后とす。			六月皇后山背前城宮に崩す。				正月皇子大兄去來穂別尊を皇太子に立つ。		
	王 解 訖									
	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32
	王 原 國 故									
	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
	王 古 背 近					王 契		王 流 比		
	5	4	3	2	1	2	1	40	39	38
(東晉)成帝、康帝、穆帝	帝 穆 帝 康 帝 成									
	6	5	4	3	2	和永	2	元建	8	7
	正月前燕輔城に築く○二月慕容皝を燕王に封ず(前燕)○代盛城に城く。○六月帝殂す○十月前燕輔城に遷都○十一月前燕高麗を撃ち九都に入る。○二月高麗王前燕に朝貢す○漢主李壽卒し子勢立つ。○漢(漢太叔)前燕宇文部を滅す○丹水の戰○九月帝殂し太后稱制す。○正月後趙洛陽宮を修む○七月廣嗣卒す○十二月張駿自ら涼王を稱す。○(漢壽寧)正月何允卒す○五月涼主張駿卒し子重輝立つ○十一月桓温漢を伐つ。○三月漢主勢帝に降る漢四主四十四年○四月後趙滅州を攻む。○八月桓温征西大將軍となる○九月前燕王銀翠し子佛立つ。○(後趙太宰苻融)○前燕慕容暐)○正月後趙石虎帝を稱し四月卒す○十一月後趙の石鑿其主暹を弑し自立す。○(後趙永寧)○魏永興)○閏正月後趙の石鑿其主暹を弑し國を魏と改む虎の子石琨帝を稱す。									
	350	349	348	347	346	345	344	343	342	341
	マゲネチウス帝號を稱しコンスタンティヌスを號す。									
	フナテシウス、アレクサンドリヤに歸る。									
	カルフィラス、ゴート人の僧正となる。									
	三三〇									

一〇〇〇、仁徳(十六代)	徳 仁									
	1000	999	998	997	996	995	994	993	992	991
	28 子庚	27 亥己	26 戌戊	25 酉丁	24 申丙	23 未乙	22 午甲	21 巳癸	20 辰壬	19 卯辛
	王 解 訖									
	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22
	王 原 國 故									
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
	王 流 比									
	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28
	(東晉)成帝	帝 成								
6		5	4	3	2	康威	9	8	7	6
正月後趙大に群臣を饗す○太尉陶侃襄陽を抜く。○正月遼東公慕容廆卒し愼つぐ○七月後趙石勒卒し弘立つ○十月石生敗死す。○(後趙延熙)六月陶侃卒す○成主雄卒し十月李期立つ○十一月石虎其主弘を弑し自立す。○(趙石虎建武)(成李期玉恒)九月後趙鄭に遷都○代王苻那復入る。○趙太武殿等を作る○孔坦卒す。○正月後趙王石虎趙天王と稱す○太學を立つ○慕容皝燕王(前燕)を弑す○代王曹騰入る。○(漢漢興)○代建國)四月成李壽其主期を弑して自立し漢と改む○代王曹騰卒し什翼犍立つ。○七月王壽卒す○後趙入寇す。○正月庚亮卒す○三月代雲中に都す○後趙前燕を伐つ。										
340		339	338	337	336	335	334	333	332	331
コンスタンティヌス、異教の神社を破壊せしむ。										
フリウス死す。										
コンスタンティヌス大帝死す三子コンスタンティヌス二世、コンスタンティヌス及コンスタンティヌス帝國を三分す。										
フナテシウスの二次配流。										
コンスタンティヌス二世、フナレイヤにコンスタンティヌスと號て死す。										
三四〇										

一〇三〇、仁徳(十六代)	徳 仁										
	1030	1029	1028	1027	1026	1025	1024	1023	1022	1021	
	58 午庚	57 巳己	56 辰戊	55 卯丁	54 寅丙	53 丑乙	52 子甲	51 亥癸	50 戌壬	49 酉辛	
	十月吳國及高麗朝貢す。			○武内宿禰薨す(在官二百四十四年)。 蝦夷反す田道之を撃て敗死す。		五月田道に新羅の調貢を賞めしむ田道新羅に勝ち四邑の民を導して還る。					
	新羅 王 勿 奈										
	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	
	高麗 王 原 國 故										
	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	
	百濟 王 古 肖 近										
	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	
(東晉)穆帝、哀帝、廢帝奕	奕 帝 廢					帝 哀			帝 穆		
	5	4	3	2	和大	3	2	寧興	和隆	5	
	十一月苻堅郡に入る前燕四主八十六年にて亡ぶ。	九月桓温前燕兵と枋頭を戦ひ不利○十二月前燕洛陽を取る。	十二月桓温に殊贈を加へ諸侯王の上に置く。	二月前燕太宰慕容暐卒す○冬代王什翼犍匈奴創衛を撃つ。	前燕荊州に寇す○十月會稽王昱相となる。	洛陽を陥る。 (前燕建元)三月帝昶す○前燕	五月桓温に大司馬録尚事を加ふ○八月涼の張天錫其君を試し自立す。	前燕洛陽を攻む七月師を遣へす○前燕主苻堅太學に臨む。	五月帝昶す○十月前燕張平を滅す○前燕四科を導く。		
	370	369	368	367	366	365	364	363	362	361	
				グラチヤヌス、父ヴァレンティニヤヌスと共に西方の皇帝となる(一三三三)。						ユリヤヌス帝と稱す(一三六三)○コンスタンチヌス死す。	

一〇二〇、仁徳(十六代)	徳 仁										
	1020	1019	1018	1017	1016	1015	1014	1013	1012	1011	
	48 申庚	47 未己	46 午戊	45 巳丁	44 辰丙	43 卯乙	42 寅甲	41 丑癸	40 子壬	39 亥辛	
						九月依彌阿弭古塞を獻す百濟酒君之を誦養す(廣甘部の始)。		三月紀角宿禰を百濟に遣し疆域を分ち産物を録せしむ。	二月皇弟卑彌子非あり殺さる。		
	王 勿 奈					王 解 訖					
	5	4	3	2	1	46	45	44	43	42	
	高麗 王 原 國 故										
	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	
	百濟 王 古 肖 近										
	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	
(東晉)穆帝	帝 穆										
	4	3	2	平升	12	11	10	9	8	7	
	前燕水興○前燕光壽(四月前燕慕容暐を斬る○六月前燕苻堅自立す○十一月前燕郡に都す。前燕張平を降す○前燕河南を陥れ又遼東を守る。	(前燕甘露)○詔葛牧前燕を伐ち敗績す○十二月王猛前燕の政に預る。	(前燕建元)正月前燕慕容暐卒す子暐立つ○八月謝安を征西司馬とす。	涼州前燕に降る○八月桓温姚襄を破る○十一月前燕襄陽地を定む。	(前燕光壽)○六月前燕苻堅卒す○閏九月前燕其君張琇を弑し張玄靚を立つ。	前燕苻堅に降る○四月桓温姚襄を破る○四月前燕慕容暐を降す○四月桓温姚襄を破る姚襄燕に降る。	七月殷浩北伐克たず○十一月前燕張琇卒す○十二月前燕張琇を討つ。十二月前燕張琇を討つ。十一月前燕主慕容暐を弑す○十一月前燕主慕容暐を弑す○十一月前燕主慕容暐を弑す。	後趙七王二十三年にて亡ぶ。	(前燕元璽)苻堅帝を弑す(前燕)○四月前燕慕容暐を弑す○十一月前燕主慕容暐を弑す○十一月前燕主慕容暐を弑す。		
	360	359	358	357	356	355	354	353	352	351	
					ローマの皇帝ユリヤヌス、アレマン及フランド人を敗る(一三五九)○アタナシウスの三次配流	ミランの宗教會議、アリウス派アタナシウス派を斥く。	帝國の統一、コンスタンチヌス、マクシミアヌスを限しローマを統一す○コンスタンチヌス、アタナシウス派を斥く。			マクシミアヌス、コンスタンチヌスに敗れる。	

三七〇

三六〇

一〇五〇、仁德(十六代)	德 仁										
	1050	1049	1048	1047	1046	1045	1044	1043	1042	1041	
	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	
	庚寅	己丑	戊子	丁亥	丙戌	乙酉	甲申	癸未	壬午	辛巳	
新羅	王 勿 奈										
	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	
高麗	王 壤 國 故					王 林 獸 小					
	7	6	5	4	3	2	1	13	12	11	
百濟	(年五十六功神云紀書)王斯辰 (年四十六功神云紀書)王須貴										
	7	6	5	4	3	2	1	9	8	7	
(東晉)孝武帝	帝 武 孝										
	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	
	<p>正月佛精舍を内殿に立○二月東夷西域六十二國前漢に貢す○十一月桓沖奏軍を破る。</p> <p>九月前漢西域を撃つ。</p> <p>八月前漢大舉入寇す○十一月謝石謝玄前漢兵を淝水に破る○乞伏國仁前漢に叛く。</p> <p>(後漢世祖)後漢白雀(佛法始て百濟に傳ふ)○是年慕容垂(後燕)慕容(後燕)各王を殺す。</p> <p>(前漢大安)○西燕更始○西燕建武)五月在堅殺さる○八月謝安卒す○是年西燕西秦建國。</p> <p>(前漢太初)後漢建初○西燕中興○後燕建興○前漢鳳凰○後漢天安○北魏登國)○代の拓跋珪國を魏と改む(北魏)。</p> <p>七月西秦鮮卑三部を降す。</p> <p>(西秦太初)正月謝玄卒す○六月西秦王乞伏國仁卒す。</p> <p>(後涼麟嘉)二月呂光三河王と稱す○十一月苻纂豫章太守となる。</p> <p>正月西燕洛陽に寇す○七月後漢前漢の軍を破る。</p>										
	390	389	388	387	386	385	384	383	382	381	
	三九〇	<p>マクシムス、ゲレンチニヤヌス二世をイタリヤより追放す。</p> <p>マクシムス、ゲレンチニヤヌス二世をイタリヤより追放す。</p> <p>テオドシウス、マクシムスを殺しゲレンチニヤヌス二世を西ローマの帝位に復す。</p> <p>コンスタンチノールの宗教會議(第二次キリスト教徒會議)。</p> <p>マクシムス、ゲレンチニヤヌス二世をイタリヤより追放す。</p> <p>マクシムス、ゲレンチニヤヌス二世をイタリヤより追放す。</p> <p>マクシムス、ゲレンチニヤヌス二世をイタリヤより追放す。</p> <p>マクシムス、ゲレンチニヤヌス二世をイタリヤより追放す。</p> <p>マクシムス、ゲレンチニヤヌス二世をイタリヤより追放す。</p> <p>マクシムス、ゲレンチニヤヌス二世をイタリヤより追放す。</p> <p>マクシムス、ゲレンチニヤヌス二世をイタリヤより追放す。</p>									

一〇四〇、仁德(十六代)	德 仁										
	1040	1039	1038	1037	1036	1035	1034	1033	1032	1031	
	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	
	庚辰	己卯	戊寅	丁丑	丙子	乙亥	甲申	癸酉	壬申	辛未	
新羅	王 勿 奈										
	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	
高麗	王 林 獸 小					王 林 獸 小					
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
百濟	(十五功神云紀書)王古肖近 (十五功神云紀書)王首仇近										
	6	5	4	3	2	1	29	28	27	26	
(東晉)簡文帝、孝武帝	帝 武 孝										
	5	4	3	2	元太	3	2	康寧	2	安成	
	<p>正月桓温廢帝を殺す○十一月桓温廢帝を行ふ。</p> <p>六月前漢王猛を相とす○七月帝崩す○前漢王猛を相とす○七月帝崩す○前漢王猛を相とす○七月帝崩す○前漢王猛を相とす。</p> <p>七月桓温卒す○謝安王坦之の政を輔く。</p> <p>二月謝安中書を總ふ。</p> <p>五月王坦之卒す○七月前漢の王猛卒す○十月前漢老莊圖書の學を禁ず。</p> <p>七月前漢主張天錫前漢に降る前漢七主七十五年にて亡ぶ○十二月前漢代を滅す。</p> <p>高句麗新羅西南夷皆前漢に入貢す○臨海太守趙超卒す。</p> <p>四月前漢南陽を陥る○大宛馬を前漢に獻ず。</p> <p>二月前漢襄陽を陥る○五月前漢野陽を陥る。</p> <p>二月前漢武堂を作る○四月謝安南將軍となる○六月苻丕廣州牧となる。</p>										
	380	379	378	377	376	375	374	373	372	371	
	三八〇	<p>フン族ゲルガ河を渡りてマクシムス人を伐ち之を服す。</p> <p>ゲルマニ種族大遷徒の始、フン族東ゴート人を服す、西ゴート連る○西帝ゲレンチニヤヌス死、ゲラチニヤヌス後を繼ぎ、弟ゲレンチニヤヌス二世を共治の帝とす(三九二)。</p> <p>フン族ゲルガ河を渡りローマの國境に入る○フン族ホングリヤ(古名ハンニヤ)に侵入す。</p> <p>アリヤノール人の戦、東ローマ帝ゲレンチニヤヌスと戦て敗死す。</p> <p>西帝ゲラチニヤヌス、テオドシウス(大帝)を東帝となす○ゲレンチニヤヌス人始てスカンデナヴィヤを去り、ゲルマニ人を敗る。</p> <p>聖書ゴート語に譯せらる○テオドシウス死す。</p>									



(121) 表年界世新最

1090	恭				允				1081
	1089	1088	1087	1086	1085	1084	1083	1082	
19 庚午	18 己巳	17 辰辰	16 卯丁	15 寅丙	14 丑乙	13 子甲	12 亥癸	11 戌壬	10 酉辛
			(古事記云丁卯年八月仁德天皇崩す)		九月天皇淡路島に獲す。			衣通姫の爲に藤原部を定む。	
新羅									
王 祇 納									
14	13	12	11	10	9	8	7	6	5
高麗									
王 壽 長									
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9
百濟									
王 有 毗					王 辛 爾 久				
4	3	2	1	7	6	5	4	3	2
(宋)武帝、少帝、文帝									
帝 文					帝少		帝 武		
7	6	5	4	3	2	嘉元	平景	3	2
<p>四月宋使回を殺つ○九月帝裕晉の廢帝(恭帝)を弑す。</p> <p>五月帝裕殂す○魏主其子泰を太子監國とす。</p> <p>二月魏長城を築く○十一月魏主嗣祖す○十一月魏天師道場を立つ(道安傳説)</p> <p>(北魏始光)正月魏太武帝(焜)立つ○五月後魏之帝を遣はす○八月柔然魏に寇す</p> <p>八月夏主勃利卒す○十月魏主柔然を伐つ○魏主柔然を遣はす(柔王司馬曹達を宋に遣はす)</p> <p>正月宋徐羨之を誅す、謝晦反す○二月謝晦誅に伏す。</p> <p>六月魏夏の魏萬を取る○十一月魏主文を南齊王とす、陶淵明卒す。</p> <p>(北魏神龜)西梁永弘○北齊承玄○大夏勝光、二月魏夏主を執ふ。</p> <p>四月魏主柔然を伐つ○十月魏主柔然を擒す○十月宋四鉄騎を購る○(倭國の使來に到る)。</p>									
430	429	428	427	426	425	424	423	422	421
四三〇									
<p>ガゼリ、アフリカにヴァンダル王國を創建す(首府カルタゴ、五三四)○コンスタンチノールの僧正ネストリウス、キリストの二身位を唱ふ。</p> <p>アフリカの知事ボンファクス、ヴァンダル人と戦ふ(四三二)。</p> <p>西ローマの將アエチウス、フランク人及ゴート人に敗れる。</p> <p>シテレンヌス即位。</p> <p>シテレンヌス斤けらる○西ローマ帝ヴァレレンティヤヌス三世即位(四三五)。</p> <p>西ローマ帝ホノリウス死す。</p>									

表年界世新最 (120)

1080	恭				允				1071
	1079	1078	1077	1076	1075	1074	1073	1072	
9 庚申	8 未己	7 午戊	6 巳丁	5 辰丙	4 卯乙	3 寅甲	2 丑癸	1 子壬	6 亥辛
	茅渚宮を造りて衣通姫を居く。	十二月皇后の妹衣通姫を納れ藤原宮に居らしむ。		七月地大に震ふ○十一月反正天皇を葬る。	九月聖神探湯を行ひて姓氏を正す。	正月良醫を新羅に求む○八月新羅醫金波羅漢武二人來りて天皇の病を治す。	二月忍坂大中姫を皇后とす。	十二月天皇即位(遠飛鳥宮)。	正月二十三日天皇崩す壽六十。
新羅									
王 祇 納					王 聖 實				
4	3	2	1	15	14	13	12	11	10
高麗									
王 壽 長					王土開廣				
8	7	6	5	4	3	2	1	21	20
百濟									
(辛久王) (年五十二神應云紀書) 王 支 腆									
1	15	14	13	12	11	10	9	8	7
(宋)武帝、恭帝、安帝									
帝 恭		帝 安							
初永	熙元	14	13	12	11	10	9	8	7
<p>正月西梁復後梁に降る、後梁賢才を擧ぐ○北涼姑蘇を抜く○三月劉裕太尉となる。</p> <p>(西梁永寧)北涼玄始(六月)西梁乞伏公府其酒を執す○北涼姑蘇に遷る。</p> <p>(大夏鳳翔)土斷の法を申ね○夏統萬城を築く○(倭の使來に到る)。</p> <p>(北魏神龜)六月西梁南涼を滅す南涼三主十八年。</p> <p>西梁の杏城を抜く○北涼西梁を攻む。</p> <p>(北魏泰和)後梁宋和(十月)將軍檀道濟洛陽に克つ○十二月西梁内附を求む。</p> <p>(西涼嘉興)二月西涼李暹卒す○八月劉裕後梁を滅す後梁三主三十四年。</p> <p>(大夏昌武)六月劉裕宋公九錫の命を受く○十一月夏主帝を弑す○十二月劉裕帝を弑す。</p> <p>(大夏眞興)夏主祖思を殺す。</p> <p>(西梁建弘)西涼永建(六月)劉裕帝を弑す(宋と號す)○兩晉を合し十五主百五十六年にて亡ぶ○西涼亡ぶ二主二十二年。</p>									
420	419	418	417	416	415	414	413	412	411
四二〇									
<p>東ローマ、ベルギーと戦ふ。</p> <p>フラン人ゴート人に滅さる。</p> <p>ローマにて毎百年祭を行ふ。</p> <p>西ゴート人イスパニヤを征服す○リキヤ死し、テオドリク一世嗣ぐ。</p> <p>アタウルフ殺さる、次王ワリヤ、イスパニヤに西ゴート王國を創建す(首府トロサ、トロサ時代五〇七)。</p> <p>ローマにて毎百年祭を行ふ。</p> <p>アタウルフゴート人を率いてガリヤに入る。</p> <p>アルサスに於けるアルグント王國の創建(五三四)。</p>									

一〇〇、允恭(十九代)	恭 允										
	1110	1109	1108	1107	1106	1105	1104	1103	1102	1101	
	39 庚戌	38 己丑	37 戊子	36 丁亥	35 丙戌	34 乙酉	33 甲申	32 癸未	31 壬午	30 辛巳	
新羅	王 祇 訥										
	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	
高麗	王 壽 長										
	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	
百濟	王 有 毗										
	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	
(宋)文帝(南北朝)	帝 文										
	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	
	六月魏恭帝を殺す○七月王玄暉大將軍を殺す○十一月魏太子を以て孔子を祭る。	九月魏柔然を破る是より柔然大に衰ふ。	五月大魏を破る○十二月魏書龜茲を破す。	三月河西王沮渠牧犍魏に反し誅伏す○六月大魏を破る。	三月魏僧侶を誅し佛書佛像を毀つ○六月宋軍林邑に克つ○(宋)文帝を安東將軍とす。	正月元嘉二十二年七月魏部善を降す○十二月范曄誅せらる。	正月帝諸田を耕す、魏僧侶及び巫覡の私養を禁ず○柔然處羅可汗立つ。	宋魏戦ふ○九月魏柔然を破る○僧慧嚴寂す。	○五月楊難當を平ぐ。	○正月魏主道壇にて符籙を受く。	○十一月楊難當宋に降す。
四五〇	450	449	448	447	446	445	444	443	442	441	
	東ローマ帝マルキヤヌス(四五七)。	此頃ウァクス、アゲル、ユートのゲルマニ種族イヤリスに侵入し、後年其東南部に七王國を創立す。			フアラ東ローマ帝と和議を結ぶ。					フシの酋長フアラ、ナウ河を渡り、イリリタムに侵入す○東ローマ、ベルシヤと交戦す。	

一〇〇、允恭(十九代)	恭 允										
	1100	1099	1098	1097	1096	1095	1094	1093	1092	1091	
	29 庚辰	28 己卯	27 戊寅	26 丁丑	25 丙子	24 乙亥	23 甲戌	22 癸酉	21 壬申	20 辛未	
				(古事記云丁丑年七月反正天皇崩す)。		六月經大娘を伊豫に流す(流刑の始)。	三月皇子木梨輕皇子を皇太子とす。		(古事記云壬申年正月履中天皇崩す)。		
新羅	王 祇 訥										
	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	
高麗	王 壽 長										
	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	
百濟	王 有 毗										
	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	
(宋)文帝(南北朝)	帝 文										
	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	
	九月魏北涼を滅す北涼三主四十二年○十二月魏恭帝高允に國史を修めしむ。	(北魏)太平眞君(此頃より天下二分して宋(南朝)魏(北朝)兩朝となる(南北朝))。	八月魏益州を西平王に改封す○西域復魏に朝貢す。	宋四學を立つ○(宋)倭王珍を安東將軍とす。	九月魏北涼を滅す北涼三主四十二年○十二月魏恭帝高允に國史を修めしむ。	三月宋檀道濟を殺す○魏北涼を滅す北涼二世二十八年。	北魏王弘藩を魏に納す○魏柔然と和す。	(北魏)太延(北魏)復藩を宋に納す○西域諸國魏に貢す○七月宋、魏、僧侶を納す。	○十一月宋謝靈運誅せらる。	(北涼)北涼(北涼)王夏蓋卒す。	(北魏)太延(北魏)和正(正月)夏蓋を滅す西秦四主四十七年○六月夏亡ぶ三主二十五年。
四四〇	440	439	438	437	436	435	434	433	432	431	
	ウァンデル人船艦を以てシリヤ及下イリヤの海岸を侵掠す○ローマ法王レオ一世(一四六)。	フアラ東ローマ帝と和す。	フアラ、フシ人の王となる(四五三死)。	ウァンデルと和す。	ウァンデル東方に行はる○西ローマ帝	フアラ、フシ人の王となる(四五三死)。	ウァンデルと和す。	フアラ、フシ人の王となる(四五三死)。	ウァンデルと和す。	ウァンデルと和す。	

1130	1129	1128	1127	1126	1125	1124	1123	1122	1121	略 雄	
										14 戊戌	13 酉己
二月天皇葛城山に獵す皇后從ふ。											
三月天皇皇后妃に驚事を勤めしむ。四月吳使來貢す。											
吉備田狹を任那國司とす田狹叛す。○新羅朝貢せず之を討つ。還歸百濟の技工を携ふ。											
二月使を吳に遣す。○任那日本府の兵新羅の朝にて大に高麗を破る。											
三月紀小弓我我韓子小鹿火新羅を討ち小弓年に死す。○五月紀大發往て小鹿火の兵にて韓子を殺す。											
九月身狹青等吳より歸り雲を獻ず。											
七月吳人貴信百濟より歸化す。											
四月再び使を吳に遣す。○十月關西河田に命じ内裡に權關を起す。											
八月播磨の海賊文石小麻呂を誅す。											
正月身狹青等吳より漢船吳船衣箱を從へ歸る。○四月根使主罪あり誅に伏す。											
新羅 王 悲 慈											
高麗 王 壽 長											
百濟 王 鹵 蓋											
帝 明 帝 武 孝											
(宋) 孝武帝、廢帝、明帝 (南北朝)											
五月明堂を立つ。○十二月士族の轉婚を禁ず。											
九月僧侶の敬人主を制す。○(宋)倭國王世子吳を安東將軍とす。											
大に宮室を修む。○十一月水軍を習はす。											
五月帝崩す。○七月柔然處羅可汗死す。											
五月魏主瑒祖し獻文帝つづく。○私璽錢を鑄す。○沈慶之殺さる。○宋其君を弑す。											
○(北魏)天安。正月安王子助帝を弑す。○八月子助殺さる。○九月魏郡學を立つ。											
○(北魏)皇興。魏領に宋地を侵す。○魏大佛を鑿る。○魏主始て政事を親らす。											
正月魏來侵す。○二月王玄暹卒す。											
魏魏調を除く。○十一月魏宋に好を修む。											
蕭道成を黃門侍郎とす。○八月柔然魏を侵す魏之を破る。											
四七〇											
リキメル、マロリヤス帝を關しセウリス帝(一四六五)を立つ。○東ローマ、ゴートと和す。											
ウァンガル人イオリヤに寇す。											
セウリス帝死す。○リキメル四六七年迄帝を立てず。○コンスタンチノールの大火。											
リキメル、アンテミウス帝(一四七二)を立つ。											
東ローマ帝レオ一世西帝國の權を得てウァンガルを伐ちしが利あらす。											

1120	1119	1118	1117	1116	1115	1114	1113	1112	1111	略 雄		康 安		恭 允	
										4 子庚	3 亥己	2 戌戊	1 酉丁	3 申丙	2 未乙
二月天皇葛城山に八月河上小野に獵す。															
十月天皇吉野宮に幸し御馬瀨に獵し夫人部を獻く。															
三月攝政皇女を皇后とす。															
正月中書監を皇后とす。															
八月九日崩輪王天皇を弑す。五十六。○大泊瀬皇子崩輪を弑す。十一月十三日泊瀬朝倉宮にて即位。○平群島を大臣として大伴室屋物部目を大連とす。															
二月皇叔大草香皇子押木珠履を獻す。大草香皇子殺さる。○(古事記)云甲午年正月允恭天皇崩す。															
新羅 王 悲 慈															
高麗 王 壽 長															
百濟 王 鹵 蓋															
帝 武 孝															
(宋) 文帝、孝武帝 (南北朝)															
六月魏律令を更定す。○宋魏通好。○(宋)倭王清を安東將軍とす。															
○(北魏)安。三月魏宗愛其君を弑す文成帝立つ。○魏復佛圖を建て出家を許す。															
二月宋太子劬其君を弑す。○五月助殺に伏す。○僧法真印度より歸る。															
○(北魏)興光。正月四鉄鏡を鑄る。○二月魏反す魏を誅す。															
○(北魏)天安。沈慶之罷めらる。○十月王侯の制度を毀損す。															
八月魏伊吾に克つ。○十二月頡延之卒す。															
正月魏宋を侵す。○于闐等五十餘國魏に朝貢す。															
正月魏酒禁の官を設く。○僧曇曜反し誅伏す。○魏清口を侵す。															
四月北魏王臨反し誅伏す。○九月郊壇を徙し五路を送る。															
○(北魏)和平。正月宋主羅田を弑す。○六月魏社谷原を伐つ。○(魏)國の使來に到る。															
四六〇															
シヤロンの戦、西ローマの將アエチウス等アンテミウスを破る。															
アテラ、イオリヤに侵入す。○ローマ法王レオ、アテラに會し、ローマ市をアンテの切腹より救ふ。○イオリヤ、パドワの亡命者ウァニス市を建つ。															
アテラ死し、アンテ王國瓦解す。															
アエチウス暗殺せらる。															
ウァンガル王アゲセリク、ローマを掠奪す。○西ローマ帝アウグス(一四五六)。															
リキメル(ゲルマニヤ兵の將)西ローマ帝國の政權を執る(一四七二)。○リキメル、ウァスを廢す。															
東ローマ帝レオ一世(一四七四)、帝始てコンスタンチノール帝長の戴冠を受く。○リキメル、マロリヤス帝を立て(一四六一)。															





一一七〇、武烈(二十五代) 繼體(二十六代)	體繼		烈武									
	1170	1169	1168	1167	1166	1165	1164	1163	1162	1161		
	4	3	2	1	8	7	6	5	4	3		
	寅庚	丑己	子戊	亥丁	戌丙	酉乙	申甲	未癸	午壬	巳辛		
		二月使を百濟に遣して浮遊を檢し任那にある者を本國に歸らしむ。	十月武烈天皇を葬る。	二月四日河内極楽宮に即位○三月胎産の詔あり。	十二月八日帝崩す。壽五十七。	四月百濟朝貢す。	九月小泊瀬舍人を置き御名代とす○十月百濟朝貢す其使を留めて質とす。			十一月大連大伴室屋をして城を水汲邑に築かしむ。		
	新羅											
	王 證 智											
	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2		
	高麗											
	王 吞 文											
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11			
百濟												
王 寧 武												
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1			
梁宋												
帝 武 (梁)												
9	8	7	6	5	4	3	2	監天	帝和			
明曆を行ふ。	三月帝國子學にゆく○十月大明曆を行ふ。	魏復三關を取る○三月梁魏の侵入を撃破す○十一月魏主親ら佛書を請ふ。	(北魏永平)正月官品を定め十八班とす○梁魏交戦○高車柔然を破り可汗を殺す。	三月魏軍を魏城に破る○十月徐地を吏部尚書とす。	二月魏直言を求む○四月魏諸軍を奮し梁節を拒ぐ。	正月州郡に學校を立つ○巴西魏に叛き梁に降る。	(北魏正始)九月魏九城を北邊に築く○十一月魏國學を營む。	正月魏約を儀射とす○四月新律を頒つ○六月魏來攻す○七月扶南中天竺等の使朝貢す。	二月魏帝を稱す齊七主二十四年亡ぶ○八月魏樂を定む。	二月魏帝を稱す齊七主二十四年亡ぶ○八月魏樂を定む。	立す九月魏帝を廢す。	三月南康王寶融其君を廢し自立す九月魏帝を廢す。
510	509	508	507	506	505	504	503	502	501			
		パリー、フランクの王國の首府となる。	ボナチエーの戦、クロウズ西ゴート人を破る(一五〇八)○トレド(首府)時代の西ゴート王國(一七一)。					東ローマ、ベルシャと戦て利あらず(一五〇五)。	ベルシャ王ロバド(一五三二)。			

一一六〇、仁賢(二十四代) 武烈(二十五代)	烈武		賢仁							
	1160	1159	1158	1157	1156	1155	1154	1153	1152	1151
	2	1	11	10	9	8	7	6	5	4
	辰庚	卯己	寅戊	丑丁	子丙	亥乙	戌甲	酉癸	申壬	未辛
						五穀登衍し戸口滋殖す。	正月皇子小泊瀬種鶴龜尊を皇太子とす。	高麗に求めし軍工、スルキ、スルキ等來る(麴皮の術起る)。	二月諸國に敷せせる佐伯部を求む。	
	新羅									
	王 城 東									
	1	21	20	19	18	17	16	15	14	13
	高麗									
	王 吞 文									
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
百濟										
王 城 東										
22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	
齊										
侯昏東 帝 明 帝 武										
2	元永	泰永	4	3	2	陸昌	11	10	9	
一月魏帝を起す。	(北魏景明)正月魏帝を起す○十月魏帝を起す。	齊武帝立つ○九月帝崩す○十月齊武帝立つ○九月帝崩す。	齊武帝立つ○九月帝崩す○十月齊武帝立つ○九月帝崩す。	齊武帝立つ○九月帝崩す○十月齊武帝立つ○九月帝崩す。	齊武帝立つ○九月帝崩す○十月齊武帝立つ○九月帝崩す。	齊武帝立つ○九月帝崩す○十月齊武帝立つ○九月帝崩す。	齊武帝立つ○九月帝崩す○十月齊武帝立つ○九月帝崩す。	齊武帝立つ○九月帝崩す○十月齊武帝立つ○九月帝崩す。	齊武帝立つ○九月帝崩す○十月齊武帝立つ○九月帝崩す。	
500	499	498	497	496	495	494	493	492	491	
				クロウズ、アレン人等を破る○クロウズ、キリスト教の洗禮を受く。					東ローマ帝アスカロス一世(一五一八)帝キリスト教を迫害し、マニケイア教を保護す○フランク、ゲルマン人を滅す。	

一一九〇、繼體(二十六代)	體 繼									
	1190	1189	1188	1187	1186	1185	1184	1183	1182	1181
	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
	戌庚	酉己	申戊	未丁	午丙	巳乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑戌
	六月近江毛野に任那を討し、筑紫の磐井反して之を討る。○(古事記)云丁未年四月繼體天皇崩す。									
	十一月物部麁鹿火磐井を誅す。磐井曾て麁鹿を作り石人石槌石馬石碓石殿石倉を作りて樹つ。									
	三月近江毛野を安羅に遣す。○四月任那王己能未多于岐來朝す。○九月大臣巨勢男入鹿が。二月藤原の士を擧げ鴻化流通せよとの詔下る。○九月近江毛野を召還す。									
	深人司馬達等來る。									
	王 興 法									
	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
王 藏 安										
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	
(王明聖)王 聖										
8	7	6	5	4	3	2	1	22	21	
王 寧 武										
帝 武										
2	通大中	2	通大	7	6	5	4	3	2	
正月狐狽園を置き野民を捕ふ。○柔然可汗魏に降る。○十一月魏柔然を二分す。										
四月高車王弟其王を殺し自立す。○十一月魏正光曆頒行。										
十一月魏崔光卒す。○十二月魏魏を魏とす。○僧宋雲西域より還る。										
八月魏魏を州に改む。○十二月復三國を取る。										
北魏孝昌正月魏元法僧反し梁に降る。○西部魏魏に降る。										
八月葛榮自立す。○十一月魏の襄陽を取る。										
魏を侵す。○三月帝同泰寺に捨身す。捨身に此に始る。○遠曆廣州に到る。										
(北魏永安)二月魏の胡太后其主を誅す。○二月魏立つ。○新羅始て佛法を行ふ。										
七月魏始て五銖錢を鑄る。○九月帝再び同泰寺に捨身す。○是年文選の著者昭明太子卒す。										
(北魏建明)三月魏高侯醜取を討つ。○魏宇文泰征西將軍となす。										
五三〇	530	529	528	527	526	525	524	523	522	521
	是歲頃テオドリク、ローマ詩人にして哲學者なるペーテウスを殺す。○テオドリク死す。									
	東ローマ帝ユスティニアヌス一世(一五六五)。									
	ユスティニアヌス法典出づ。									
	是歲頃テオドリク派起ち(ナポリ附近)ローマの將バシリウス、ペルシヤ軍を取る。									

一一八〇、繼體(二十六代)	體 繼									
	1180	1179	1178	1177	1176	1175	1174	1173	1172	1171
	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5
	子庚	亥己	戌戊	酉丁	申丙	未乙	午甲	巳癸	辰壬	卯辛
	十月都を山背の關城に遷す。									
	十二月大伴金村穗積押山の詔を容れ四縣を百濟に割與す。									
	六月百濟五經博士段福國を買す。百濟伴跋と己茂の地を争ひ訴ふ。○十二月勾大兄皇子を皇太子とす。									
	三月伴跋城を築き我に備ふ。									
	二月物部連百濟の使者を送る。伴跋要歸す明年俱に歸る。									
	九月百濟使來りて賜地を謝し博士高安茂を買して段福國に代ふ。									
正月都を弟國(山城)に遷す。										
王 興 法										
7	6	5	4	3	2	1	14	13	12	
王 證 智										
王 藏 安										
2	1	28	27	26	25	24	23	22	21	
王 寧 武										
王 春 文										
帝 武										
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
通 普										
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	
正月魏始て新曆を用ふ。										
(北魏延昌)正月魏清河王暉を司空とす。○十一月五龍成る。										
閏三月沈約卒す。										
十一月魏涼の益州を侵す。○滌堰を築く。										
正月魏主瑒す。○二月魏高車を誅す。										
(北魏熙平)七月魏益州を取る。○柔然高車を破り其王を殺す。										
正月魏諸魏通行を制す。○四月完廡の犧牲を魏果に代ふ。										
(北魏神龜)魏三字の石經を補ふ。○魏佛書を西域に求む。○宋雲生印度に向ふ。										
二月魏の羽林虎賁を作す。○僧慧旻高僧傳を著す。										
(北魏正光)高麗入貢す。○十一月魏阿那瓌を魏王とす。○梁魏始て通好す。										
五二〇	520	519	518	517	516	515	514	513	512	511
	フランケ王コロウス死す、諸子王國を分領す。○ヤリ法成る。									
	ペルシヤ王カルパダス、キリスト教を奉ず。									
	僧オニシウス、キリスト教をローマに傳ふ。									
	東ローマ帝ユスティニアヌス一世(一五二八)。									

1210	明 欽								
	1209	1208	1207	1206	1205	1204	1203	1202	1201
11 午庚	10 巳己	9 辰戊	8 卯丁	7 寅丙	6 丑乙	5 子甲	4 亥癸	3 戌壬	2 酉辛
二月百濟に矢三十具を賜ふ。四月百濟より高麗の俘を獻ず。	六月百濟の使者歸る。	四百百濟の使者來りて援兵の停止を請ふ。十月人を百濟に遣し築城を助く。	四月百濟任那を復せんとし教兵を乞ふ。	正月百濟に良馬及戰船を賜ふ。	三月百濟巴提便をやり百濟を救ふ。五月百濟王天龍の爲に丈六佛を送る。○是年高麗大に亂る。	十二月高麗の船佐渡に至る。	九月百濟王扶南の貨財及其二人を獻ず。○十一月津守連を百濟に遣り任那を興復せしむ果さず。	四月百濟に附し任那を復興せしむ。百濟新羅を畏れて遂に果さず。	
新羅									
王 眞 興									
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
高麗									
王 陽 原									
6	5	4	3	2	1	14	13	12	11
百濟									
王 聖									
28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
帝 武									
帝 文 簡									
寶太	3	2	清太	同大中	11	10	9	8	7
(北齊天保)五月東魏の齊王高洋皇帝を弑す。東魏一主十七年にて亡ぶ。○魏府兵を作る。	二月侯景を相とす。○五月帝死す。○八月東魏の高澄を殺す。○陳西侯景を伐つ。	二月東魏成を求む。○八月侯景反す。○十一月正德反す。翌年殺さる。	正月東魏高歡卒す。○三月帝同泰寺に捨身す。	三月帝佛書を讀む。○七月短錦使用を禁ず。○西魏蘇綽卒す。	三月西魏使を突厥に遣す。○李賈反す。翌年陳霸先之を平ぐ。	五月西魏賀拔勝卒す。○十月東魏無道者を入籍賦課す。○于闐國佛像を獻ず。	(東魏武定)三月南魏邯山に戰ふ。○四月東魏虎牢を取る。	正月王僧辯妖人の亂を平ぐ。○三月西魏六軍を置く。○十二月陳西先成子略の亂を平ぐ。	九月西魏官員を省き屯田を置く。○十二月李賈反す。
550	549	548	547	546	545	544	543	542	541
スラウ人、フン人、東ローマ帝國に寇す。		ペリカリウス、コンスタンチノールに還る。○トテラ再びローマを取る。	ローマ人、ローマを恢復す。	トテラ、ローマを取る。		ペリカリウス、イタリヤに進みトテラと戰ふ。	東ゴート王トテラ、ナポリを取る。	ベルシヤ軍擊滅せらる。	ペリカリウス、コスロー一世と相持す(一五四二)。

二二〇、欽明(二十九代)

新羅

高麗

百濟

(梁)武帝、簡文帝(南北朝)

五五〇

1191	安 閑 宣 化 明 欽									
	1192	1193	1194	1195	1196	1197	1198	1199	1200	
25 支辛	子壬	丑癸	2 寅甲	1 卯乙	2 辰丙	3 巳丁	3 午戊	4 未己	1 申庚	
二月七日天皇皇太子勾大兄に即位して崩す。八十二。○二月七日安閑天皇即位。○十二月先帝を葬る。	(日本紀)甲寅年を以て安閑天皇元年とす。同書引一本云、總體天皇二十八年甲寅年崩。	正月都を勾金橋(大和)に遷す。○十月三妃の屯倉を定む。	五月諸國に屯倉を置く。○十二月十七日天皇崩す。七十三。○二月宣化天皇即位。	正月檜隈入野(大和)に遷都す。○二月蘇我稻目を大臣とす。○七月物部麁鹿火屠す。	十月大伴等同快手奉をして任那を救はしむ。是時勢筑紫に留りて三韓に備ふ。	二月十日帝崩す。七十三。○十一月天皇を葬る。○十二月五日欽明天皇即位。	七月都を磯城島(大和)に遷す。金刺宮と云ふ。○八月三韓入貢す。歸化人の戸籍を編む。乘人七千五百十三戸。			
新羅										
王 法 興										
1	26	25	24	23	22	21	20	19	18	
高麗										
王 安 原										
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
百濟										
王 聖										
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	
帝 武										
6	5	4	3	2	同大	6	5	4	3	
吐谷渾使を東魏に遣す。	二月柔然西魏を侵す。○十一月東魏梁和とす。	三月高士陶弘景卒す。○十二月東魏梁和とす。	八月長干塔を修む。○十月南魏涇曲に戰ふ。	(東魏元象)西魏柔然の女を后とす。○東魏禮に寺を立つるを禁ず。	(東魏興和)宇文弼行臺の學を置く。○諸州を五品に分つ。○西魏禮樂を制す。	五月西魏文武帝を立つ。○西魏東西兩魏に分る。○十二月東魏文武官爵を賦す。	立つ。○西魏東西兩魏に分る。○十二月東魏文武官爵を賦す。	五月魏相高歡謝朱光を殺す。○五月魏の下邳降る。	(北魏)高歡、二月魏高歡、主を殺す。新羅帝立つ。○十一月高歡廢帝を立つ。	
540	539	538	537	536	535	534	533	532	531	
ペリカリウス、ゲルマニアを占領す。○ペリカリウス召喚。○ベルシヤ、シリヤを攻め、フンテオキヤを陥る。				ペリカリウス、ローマに入る。	東ゴート王ウイテクス、ペリカリウスをローマに圍みて利あらず(一五三八)。	ペリカリウス、ゲルマニア王國を滅す。○フランソワ、アルグント王國を滅す。	ペリカリウス、ゲルマニア人と戰ふ。	東ローマ、ベルシヤと和す。○コンスタンチノールに暴動起る。聖ソフィヤ寺院燬失、ペリカリウス暴徒を鎮定す。	ベルシヤ大王コスロー一世(一五七九)。	

二二〇、宣化(廿六代)安閑(廿七代)欽明(廿九代)

新羅

高麗

百濟

(梁)武帝(南北朝)

五四〇

		欽 明									
		1230	1229	1228	1227	1226	1225	1224	1223	1222	1221
一三三〇、欽明(二十九代)		31 庚寅	30 己丑	29 戊子	28 丁亥	27 丙戌	26 乙酉	25 甲申	24 癸未	23 壬午	22 辛巳
		三月蘇我蝦夷目録ヲ四月高麗の使船越國に至る。	正月濟津をして白猪の田部の脱籍免課者を検せしむ。○四月濟津を田令に拜す。		大水民飢う、傍郡の穀を轉じて之を救ふ。		五月高麗人歸化す。			新羅入貢す其使者冷遇を怒り入貢す。○六月任那の日本府を滅す。○七月伊弉諾新羅を伐ち再々願す。	
新羅	眞 興 王	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22
	平 原 王	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3
高麗	威 德 王	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
	宣 帝	2	建太	2	大光	康天	6	5	4	3	2
百濟	文 帝	2	建太	2	大光	康天	6	5	4	3	2
	陳(南北朝)文帝、臨海王、宣帝	2	建太	2	大光	康天	6	5	4	3	2
五七〇		570	569	568	567	566	565	564	563	562	561
				フルギン、北部イタリヤにランゴバルド王國を立つ(七七四、首府パッサヤ)。○東ローマ、ラウレンナ代官領を設けず。		ランゴバルド王アルボイン、パンニヤのゲット王國を滅す。		東ローマ帝ユスチヌス二世(一五七八)。		東ローマ、バルシヤと和す。	

		欽 明									
		1220	1219	1218	1217	1216	1215	1214	1213	1212	1211
一三三〇、欽明(二十九代)		21 庚辰	20 己卯	19 戊寅	18 丁丑	17 丙子	16 乙亥	15 甲戌	14 癸酉	13 壬申	12 辛未
		九月新羅入貢す。				正月筑紫火君に命じて百濟の要害を守らしむ。○十月倭國高市郡に百濟人高麗人屯倉を置	二月百濟の王子惠來る明年歸國す。	二月五經博士等來る。○五月經兵を百濟に出す。○百濟聖明王試せらる。	二月百濟の王子惠來る明年歸國す。	五月百濟聖明王を乞ふ。○十月百濟聖明王佛像經論等を獻ず。蘇我暁目向原家を寺とす、佛像を堀江に投ず。	正月百濟援兵を乞ふ。○六月百濟より醫易曆等の博士を遣寄來せしむ。
新羅	眞 興 王	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
	陽 原 王	2	1	14	13	12	11	10	9	8	7
高麗	聖 王	7	6	5	4	3	2	1	31	30	29
	陳(南北朝)文帝、元帝、敬帝	7	6	5	4	3	2	1	31	30	29
百濟	元 帝	7	6	5	4	3	2	1	31	30	29
	陳(南北朝)文帝、元帝、敬帝	7	6	5	4	3	2	1	31	30	29
五六〇		560	559	558	557	556	555	554	553	552	551
				フロカール一世フランシ王國を統一す(五六一)。○ペリカリウス、マン人を擊退す。		ナルセス、東ゴート王國を滅ぼす。○イタリヤ、東ローマの代官領となる。		フラング人アラマンニ人、イタリヤを攻掠す。		東ゴートの末王テヤ死す。○コンスタンチノールの完教會議(第五次)。	ナルセス、ペリカリウスに代りてイタリヤに進みトカラと戦て之を斃す。

一一五〇、敏達(三十代)用明(三十代)崇峻(三十二代)	峻 崇		明 用		達 敏					
	1250	1249	1248	1247	1246	1245	1244	1243	1242	1241
	3	2	1	2	1	14	13	12	11	10
	戊庚	酉己	申戊	未丁	午丙	巳乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑辛
	閏二月蝦夷數千反し邊境に寇す。									
	十月新羅朝貢す之を却く。									
	七月人を百濟にやりて日羅を召す。尋て日羅到る。									
	九月鹿深臣等佛像を賣す。○是年司馬連等の女等尼となる(古事記云甲辰年四月敏達天皇崩す)。									
	三月物部守屋等佛像を堀江に投ず。○八月十五日天皇崩す。位。四十八。○九月五日用明天皇即位。									
	四月九日天皇崩す。年六十九。○七月馬子守屋を殺す。○八月二日崇峻天皇即位。									
百濟より佛舍利及寺工五工鐘盤工費工を獻ず。○馬子法興寺を建つ。										
七月東山東海北陸三道の國境を視せしむ。										
三月善信尼等百濟より還る。○是年司馬連等の子多須奈等出家す。										
新羅	王 平 眞									
	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3
高麗	王 原 平									
	1	31	30	29	28	27	26	25	24	23
百濟	王 陽 嬰									
	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28
帝文(隋)	主 後					帝 宣				
	10	6	2	4	3	2	14	13		
(陳)宣帝(後主)朝(南北兩朝)文帝	五月隋軍を破る。後深主殂す。○隋また長城を築く。									
	正月高祖孫隋に降る。○隋層を突厥に領つ。									
	二月隋山陽侯を聞く。○突厥沙鉢路可汗死す。○九月隋後深を滅す。後深三十三三年。									
	三月隋陳伐の詔を下す。○突厥真何可汗死す。									
	正月陳亡。五主三十三年天下統一。○四月兵伐を除絶す。○十一月雅樂を定む。									
	五月軍人を州縣に屬す。○十一月江南亂る。楊素之を平ぐ。○番禺反す之を平ぐ。									
	(隋開皇)二月隋王楊堅帝を稱す。後周主五年亡。○隋官名を改め長城を築く。									
	去年十二月突厥始可汗死し。四可汗分立す。○正月帝殂し。始興王叔陵亂を作し伏誅す。									
	三月隋大興城に遷都。○隋四書を求む。○四月隋突厥を破る。○是年徐陵卒す。									
	二月突厥連頭可汗隋に降る。○六月隋廣通渠を作る。○隋突厥と和親す。									
五九〇	五月隋軍を破る。後深主殂す。○隋また長城を築く。									
	正月高祖孫隋に降る。○隋層を突厥に領つ。									
	二月隋山陽侯を聞く。○突厥沙鉢路可汗死す。○九月隋後深を滅す。後深三十三三年。									
	三月隋陳伐の詔を下す。○突厥真何可汗死す。									
	正月陳亡。五主三十三年天下統一。○四月兵伐を除絶す。○十一月雅樂を定む。									
	五月軍人を州縣に屬す。○十一月江南亂る。楊素之を平ぐ。○番禺反す之を平ぐ。									
	(隋開皇)二月隋王楊堅帝を稱す。後周主五年亡。○隋官名を改め長城を築く。									
	去年十二月突厥始可汗死し。四可汗分立す。○正月帝殂し。始興王叔陵亂を作し伏誅す。									
	三月隋大興城に遷都。○隋四書を求む。○四月隋突厥を破る。○是年徐陵卒す。									
	二月突厥連頭可汗隋に降る。○六月隋廣通渠を作る。○隋突厥と和親す。									

達 敏										明 欽
1240	1239	1238	1237	1236	1235	1234	1233	1232	1231	32
9	8	7	6	5	4	3	2	1		卯辛
子庚	亥己	戌戊	酉丁	申丙	未乙	午甲	巳癸	辰壬		
三月豐御食炊屋姫尊(後の推古天皇)を皇后とす。										
五月大別王等に百濟の率たりし。○十一月百濟より送給及律師羅師佛工寺工等を獻す。										
三月菟道皇女に伊勢神宮に侍せしむ果さず。										
十月新羅佛像を獻す。										
六月新羅朝貢す之を却く。										
王 平 眞			王 智 眞			王 眞 眞				
2	1	3	2	1	36	35	34	33	32	
王 原 平										
22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	
王 德 威										
27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	
帝 宣										
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	
十一月周章孝寬卒す。○十二月周揚堅自ら九錫を加ふ。										
(北齊隆化)二月周吐谷渾を伐つ。○十月周主齊の平陽を取る。										
(北齊承光)正月齊主位を太子に傳ふ。周軍齊を滅す。北齊六主二十八年。										
(後周宣政)二月周突厥を捕ふ。○六月周主宣帝立つ。○七月揚堅大司馬となる。										
(後周大象)周突厥と和す。○周主位を齊帝に傳ふ。○十月周佛道廢教を復す。										
正月齊周份北に戦ひ周師敗績す。○九月齊主弟瑯琊王儂を殺す。										
(後周建德)周主宇文護を殺す。○突厥木杆可汗死し東西二可汗分立す。										
齊文林館を置く。○四月突厥齊の數郡を取る。○齊主蘭陵王長恭を殺す。										
五月周佛道兩教を廢し淫祠を毀つ。○周五行大布錢を更鑄す。										
七月周主齊を伐つ。○閏九月齊軍を破る。										
東ローマ、ベルゲヤと和す。○東アングリヤ、王國と成りアングルランドと稱す。インゲランドの名稱の起原。										
東ローマ帝マリアウス(五八二)。										
ベルゲヤ大王コスロー死す。										
ラン語の使用イタリヤに廢滅す。										
イスラム教祖マホメト生る。										
東ローマ、ベルゲヤと開戦す。										

一三〇、推古(三十三代)	古 推									
	1270	1269	1268	1267	1266	1265	1264	1263	1262	1261
	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9
	午庚	巳己	辰戊	卯丁	寅丙	丑乙	子甲	亥癸	戌壬	酉辛
	(政攝) 子皇戸殿									
	二月皇太子斑鳩宮を養ひ ○十一月新羅征伐を論ず 二月來目皇子に新羅を伐 たしむ○十月百濟僧伽跋 來りて曆本天文地理等の 書を獻ず ○二月來目皇子筑紫に遷る ○十月小墾田官に遷る○ 十二月始て冠位十二階を 定む 正月始て曆日を用ふ○四 月皇太子法法十七條を撰 ぶ○九月朝禮を改む 四月鞍作島に銅鑪丈六佛 像を造らしむ高麗王金 を貢す○閏七月諸王臣に 禮を著せしむ 四月丈六の金銅佛を元興 寺の金堂に置く 七月小野妹子を隋に遣す ○太子法隆寺を建つ 四月妹子隋より還る報聘 使裴世清來る○九月妹子 再び隋に使者高向玄理僧 曼等八人從ふ 九月妹子隋より歸る 三月高麗僧曇首法定二人 を貢す○十月新羅任那入 貢す									
	新羅 王 平 眞									
	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23
	高麗 王 陽 嬰									
	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
百濟 王 武										
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	
(隋)文帝、煬帝	帝 煬					帝 文				
	6	5	4	3	2	業大	4	3	2	壽仁
	五月突厥九萬人降る○六月遣 使風俗を察す太學及州縣學を 廢し國子を太學と改む 三月突厥入寇楊素之を破る○ 九月周煬卒す 九月常平官を置く○文中子の 獻東○啓民可汗歸國す 七月太子廣帝を弑す○八月漢 王諒兵を起す楊素之を平ぐ○ 十一月洛陽を東京とす 三月通濟渠開鑿を命ず○五月 西苑を築く○契丹入寇す之を 平ぐ 正月州縣併省○七月楊素卒す ○始て進士科を置く○天下の 散樂を廢す 四月官制更定○五月吐谷渾高 昌入貢す○七月長城を築く○ 十月婁矩に西域を略せしむ 正月水滸渠を開く○二月西突 厥入貢す○婁矩幟勳を破る 民間の兵器を禁ず○四月西域 諸國來朝す○啓民可汗死す 琉求を攻め王を殺す○十二月 牛弘卒す江南河を穿つ									
	610	609	608	607	606	605	604	603	602	601
	六二〇									
	東ローマ帝ハラクリス(一六四二)○マホメット 始てイスラム教を弘む									

一三六〇、崇峻(三十二代) 推古(三十三代)	崇峻 推古(帝女)									
	1260	1259	1258	1257	1256	1255	1254	1253	1252	1251
	8	7	6	5	4	3	2	1	5	4
	申庚	未己	午戊	巳丁	辰丙	卯乙	寅甲	丑癸	子壬	亥辛
	(政攝) 子皇戸殿									
	十一月法興寺成る 十一月法興寺成る 四月百濟の王子阿佐來朝 し方物を上る 四月吉士等金新羅より歸 りて鶴を獻ず 九月百濟僧曇首法定等 を獻ず 二月新羅任那相戰ふ○新 羅我征討軍に伏邪し又反									
	新羅 王 平 眞									
	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13
	高麗 王 陽 嬰									
	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
百濟 王 武 威										
1	1	1	44	43	42	41	40	39	38	
(隋)文帝	帝 文									
	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
	二月劉暉を宮州刺史とす○八 月王瑋を殺す ○十二月遣使均田す 二月諱諱の禮を禁ず○突厥突 利可汗の請婚を許す 四月新樂を行ふ○六月公卿以 下に職田を給す 正月東巡華山を記る○二月天 下の兵器を收む○三月仁壽宮 成る 六月工商の仕進を止む○光化 公主を吐谷渾に嫁はす 二月南宮を平ぐ○四月新羅 を討つ○安義公主突厥に嫁す 二月高麗遼西に寇す○十二月 行宮十二所を置く 二月突厥を伐つ○八月高麗を 討す○十月義成公主を突厥啓 民可汗に嫁はす 十月太子勇を廢す、史萬歲を 殺す○十二月佛像毀損を禁ず (隋書云、使國の使者到る)									
	600	599	598	597	596	595	594	593	592	591
	六〇〇									
	オーガスタン、ローマ法王グレゴリーの命を奉 じ始てイギリス國に布教す									





徳孝 (帝女)極皇										明舒
1310	1309	1308	1307	1306	1305	1304	1303	1302	1301	
雄白	5	4	3	2	化大	3	2	1	13	
成庚	酉己	申戊	未丁	午丙	巳乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑辛	
二月十五日改元(改元の始) 十月丈六輔佛像扶持八部等四十六像を造る。	二月冠位十九階を制し八省百官を置く。○三月阿倍大臣薨じ蘇我石川麻呂自殺す。	四月古冠を罷じ○是年發舟楫を修めて蝦夷に備へ越後信濃の民を備戸とす。	是年七色十三階の冠を制す又降足櫛を造り櫛戸を置く。	前年難波長柄豊崎に遷都○正月改新の詔を宣ふ○八月新に百官設置。	四月筑紫太宰百濟王子の來朝を奏す飛鳥根蓋新官に移る○十一月入鹿山背大兄王を害す○女を王子と稱す。	六月入鹿蝦夷に伏す是月十日天皇受禪中大兄皇子を皇太子とし左右大臣内臣國博士を置く。	正月十五日天皇即位○百濟新羅國喪を弔す○十一月蝦夷變を造り大陵小陵と云ふ。	四月筑紫太宰百濟王子の來朝を奏す飛鳥根蓋新官に移る○十一月入鹿山背大兄王を害す○女を王子と稱す。	十月九日天皇崩す壽四十九。	
主女徳眞					主女徳善					
4	3	2	1	15	14	13	12	11	10	
王 藏 寶										王榮留
9	8	7	6	5	4	3	2	1	24	
王 慈 義										
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
宗高										宗太
徽永	23	22	21	20	19	18	17	16	15	
九月高祖突厥車鼻可汗を擒す。	五月高祖卒す、帝璽す○六月高祖即位す○九月李勣左僕射となる。	五月高祖卒す、帝璽す○六月高祖即位す○九月李勣左僕射となる。	五月高祖卒す、帝璽す○六月高祖即位す○九月李勣左僕射となる。	五月高祖卒す、帝璽す○六月高祖即位す○九月李勣左僕射となる。	五月高祖卒す、帝璽す○六月高祖即位す○九月李勣左僕射となる。	五月高祖卒す、帝璽す○六月高祖即位す○九月李勣左僕射となる。	五月高祖卒す、帝璽す○六月高祖即位す○九月李勣左僕射となる。	五月高祖卒す、帝璽す○六月高祖即位す○九月李勣左僕射となる。	五月高祖卒す、帝璽す○六月高祖即位す○九月李勣左僕射となる。	五月高祖卒す、帝璽す○六月高祖即位す○九月李勣左僕射となる。
6E0	649	648	647	646	645	644	643	642	641	
サラセン人アラブスを取る。	サラセン人キプス島を掠す。		サラセン人、アフリカを侵しローマ人を逐ふ。			サラセン人、アフリカを侵しローマ人を逐ふ。				
六五〇										六四〇

明 舒										新羅
1300	1299	1298	1297	1296	1295	1294	1293	1292	1291	
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	
子庚	亥己	戌戊	酉丁	申丙	未乙	午甲	巳癸	辰壬	卯辛	
五月僧惠暉を徴し禁裡に齋を設け經を誦せしむ○十月留唐學生高向玄理南淵懷安等還る。	九月入唐學僧僧惠暉等京に入る○十二月伊豫温泉に幸す。	十月再び有馬温泉に幸す○百濟新羅任那朝貢す(以下朝貢を略す)。	蝦夷反す上毛野形名之を撃つ。	六月岡本宮吳し皇居を田中宮に遷す○七月群臣の朝參鐘を以て期となす。	六月百濟朝貢す。	八月懸屋始て史に見ゆ。	正月唐使國に歸る遣使對馬に至る○七月詔して大寺を造らしむ。	十月遣唐使歸朝、唐使高表仁と俱に來り僧旻等隨ひ歸る。	二月城玖人歸化す○三月百濟の王子費來り貢となる○九月有馬温泉に幸す。	
王 女 德 善										王平眞
9	8	7	6	5	4	3	2	1	53	
王 留 榮										
23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	
王 武										
41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	
宗 太										(唐)太宗
14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	
八月俄羅占を殺す○十一月林邑新羅入貢す○大秦寺を立つ○十二月唐國內附を求む。	正月群臣封禪を請ふ魏徵諫止す○三月封禪を罷く。	正月七湯九功の舞を奏す○死囚を赦す○十一月長孫無忌を司空とす。	正月僧諡大使を分遣す○吐蕃入貢す○阿羅本具教を唐に傳ふ。	正月民貧を九等に分つ○五月高祖崩す○李靖吐谷渾を破る。	正月突厥阿史那社利來降す○上書告新君を請ふ○十二月朱俱波、甘泉入貢す。	正月律令を定む○二月新羅を行ふ○十月武氏を才人とす。	正月氏族志を頒つ○五月唐世南卒す○十一月屯營飛騎を置く。	正月王珪卒す○三月封制史を停む○七月李思摩を突厥可汗とす○十二月高昌を伐つ。	五月侯君集高昌を滅す○服制更定○孔穎達等に五經疏を定めしむ。	
640	639	638	637	636	635	634	633	632	631	
			サラセン人ダラシファンを取る。			カデシヤの戦、サラセン人ベルシヤ軍を破る。				
			サラセン人、シリヤ、パレスチナの征服を終はる。							
			サラセン人、アラブの征服を終はる。							
六四〇										

一三三〇、 天智(三十七代)	智天									明齊				
	1330	1329	1328	1327	1326	1325	1324	1323	1322	1321				
	9	8	7	6	5	4	3	2	1	7				
	庚巳	己巳	辰戊	卯丁	寅丙	丑乙	子甲	亥癸	戌壬	酉辛				
	正月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	正月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	正月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	正月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	正月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	正月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	正月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	正月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	正月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	正月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	正月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國			
	王武文									新羅				
	10	9	8	7	6	5	4	3	2		1			
	王藏寶										高麗			
	19	18	17	16	15	14	13	12	11			10		
	王慈義											百濟		
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11					
宗高									(唐)高宗					
5	4	3	2	慶顯	6	5	4	3					2	
七月高麗を征せしむ○六月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。					三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。
670	669	668	667	666	665	664	663	662					661	
六七〇										六六〇				
東ローマ帝コンスタンチヌス四世(一六八五) ○サラセン人カルケドンに進み一時アキリウ を保つ。 サラセン人シレリを侵す。														

(祚重極皇)明齊										德孝			一三三〇、 白雉(孝德)(三十六代) 齊明(三十七代)				
1320	1319	1318	1317	1316	1315	1314	1313	1312	1311								
6	5	4	3	2	1	5	4	3	2								
申庚	未己	午戊	巳丁	辰丙	卯乙	寅甲	丑癸	子壬	亥辛								
三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國	三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國		三月高麗使來朝す○七月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國 道行神劍を奪む○八月越國			
王烈武										主女德真				新羅			
7	6	5	4	3	2	1	7	6	5								
王藏寶										高麗							
19	18	17	16	15	14	13	12	11	10								
王慈義											百濟						
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11								
宗高												(唐)高宗					
5	4	3	2	慶顯	6	5	4	3	2								
七月高麗を征せしむ○六月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。				三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。		三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。	三月高麗を征せしむ○八月西 城諸國を七十六州八府とす。
660	659	658	657	656	655	654	653	652	651								
六六〇													六六〇				
サラセン人ローマを敗る。 サラセン人東ローマ帝をフニクス山附近の 海軍に敗る。 サラセン教主オスマン暗殺、アリ立つ(一六六一)。 サラセン東ローマと和す。																	

1350	(帝女)統持				武 天					
	1349	1348	1347	1346	1345	1344	1343	1342	1341	
4 庚	3 巳	2 戌	1* 丁	鳥 丙	13 乙	12 甲	11 癸	10 壬	9 辛	
正月朔日天皇即位○二月新羅歸化人を武藏に置く○十一月始て元嘉曆儀風曆を行ふ。	二月草壁皇子薨す(年二八)○六月攝善司を置き令二十四卷を諸司に頒つ○八月攝善司兵士に武藝を習はしむ○十二月雙六を廢禁す。	六月天下今年調賦の半を免す○八月耽羅朝貢す○十二月蝦夷男女二百十三人を饗し位を授く。	九月新羅王子等國政を請ひ且物を獻す○十二月天智天皇の國忌齋を崇福寺に設く。	六月草壁皇子を熱田社に納む○七月廿日建元○九月九日天皇崩す○十月大津皇子に死を賜ふ。	吹簫或琴等私藏を禁す○十一月鼓吹等儀等御座の私藏を禁す。	四月高向曆等を新羅に遣る。	二月大津皇子に朝政を請かしむ○四月銅鑄を用ひ銀鑄使用を禁す○十一月諸國に詔し陣法を習はしむ○十二月諸國の疆地を定む。	九月詔諸國司馬を罷し立禮を用ふ。	三月境部石積等に新字四十四卷を撰せしむ○四月男女結髮せしむ○八月儀禮官語の制を定む○九月詔諸國司馬を罷し立禮を用ふ。	三月草壁皇子を皇太子とし萬壽を賜せしむ○三月帝紀を撰せしむ○四月禁式九十二條を立つ○八月多羅島其地圖を上る。
新羅										
王 文 神										
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
宗 中										
7	6	5	4	3	2	聖嗣	道弘	淳永	耀開	
九月武氏國號を周と改め帝を稱す○十月西突厥内地に入居す。	(太后永昌)太后自ら聖と名け詔を制と改む○唐宗室の屬籍を除く。	六月狄仁傑奏して淫祠を毀つ○八月太后大に唐宗室を殺す。	七月突厥入寇す○太后御史監軍を罷す。	七月突厥入寇す○三月太后銅鑄を罷き密奏を發く。	正月太后稱制す○三月太后銅鑄を罷き密奏を發く。	(太后垂拱)三月太后帝を房州に遷し又垂拱格を頒つ○七月太后僧懷義を白馬寺主とす。	五月突厥入寇す○十二月帝崩す。	(睿宗文明)太后光宅(二月)太后帝を廢す○九月太后武氏(五)廟を立つ、李敏業兵を起し敗死す。	四月裴行儉卒す○王方翼突厥を平ぐ○薛仁貴突厥可汗骨篤祿の入寇を破る。	九月裴行儉突厥阿史那伏念を討降す。
690	689	688	687	686	685	684	683	682	681	
(唐)高宗、中宗(周)則天武后										
六九〇										

\* 萬葉集引日本紀持統天皇元年を以て朱鳥元年となし以下數へて八年に至る

1340	武 天						文弘		智天	
	1339	1338	1337	1336	1335	1334	1333	1332	1331	
8 庚	7 巳	6 戌	5 丁	4 丙	3 乙	2 甲	1 癸	1* 壬	10 辛	
一月樂師寺を建つ新羅入貢す。	五月始て金光明經を宮中及諸寺に設かしむ○十一月樂師寺を建つ新羅入貢す。	十月文武官の考績進階の制を定む。	二月多羅島人を饗す○八月耽羅王子入貢す。	八月放生を詔す○十一月新羅朝貢、肅慎人之に従ひ來る。	八月諸氏に女を貢せしむ○十月僧尼の服色を制す○十一月額田山大江山の二關を置き難波に羅城を築く。	正月始て占星寮を興す○四月遺獵を制し權牟施獵を禁じ牛馬鶏犬猪を食するを禁す○十月諸王以下初位以上各兵を備へしむ。	三月對馬より白銀出づ○八月石上神宮の神寶を理む。	二月廿七日天皇飛鳥淨見原宮に即位、皇姪河間皇女を皇后とす○三月一切經を河原寺に寫す○五月人材登庸を詔す。	六月大海人皇子兵を舉ぐ(壬申の亂)○七月廿三日天皇崩す○二十五(白鳳元年)。	正月大友皇子を始て太政大臣とす又冠位法度を頒ち天下に大赦す○十月大友皇子を皇太子とす○十二月三日天皇崩す○四十六。
新羅										
王 武 文										
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
宗 高										
隆永	露訓	3	2	鳳儀	2	元上	4	3	2	
二月吐蕃贊普死す○六月裴行儉を遣し波斯王を立つ。	三月裴行儉突厥を討平す○七月吐蕃寇す○八月太子賢を廢す。	二月吐蕃贊普死す○六月裴行儉を遣し波斯王を立つ。	正月百官四夷則天武后に朝す○九月李敏安吐蕃と戦ひ敗績す。	二月高麗を朝鮮王とし扶餘陸を帶方王とす○十二月吐蕃を伐つ○是年安東都護府を遼東に移す。	閏三月吐蕃入貢す○九月狄仁傑を侍御史とす○後漢書注成る。	二月高麗を朝鮮王とし扶餘陸を帶方王とす○十二月吐蕃を伐つ○是年安東都護府を遼東に移す。	閏三月吐蕃入貢す○九月狄仁傑を侍御史とす○後漢書注成る。	二月高麗を朝鮮王とし扶餘陸を帶方王とす○十二月吐蕃を伐つ○是年安東都護府を遼東に移す。	二月吐蕃贊普死す○六月裴行儉を遣し波斯王を立つ。	二月吐蕃贊普死す○六月裴行儉を遣し波斯王を立つ。
680	679	678	677	676	675	674	673	672	671	
(唐)高宗										
六八〇										

\* 日本紀壬申の年を以て天武天皇元年とす



1390	武 聖						(帝女)正 元			
	1389	1388	1387	1386	1385	1384	1383	1382	1381	
2 庚午	平 巳	天 辰	5 戊	4 丁卯	3 丙寅	2 乙丑	神 甲子	7 癸亥	6 壬戌	5 辛酉
<p>四月諸國に力加を賜はしむ。六月方國を                  離く。○十二月七日元明上皇崩す。六十一                  (始て三國固守)。                  二月學者二十三人に賜田す。○七月備前備後                  の諸國に備前備後備前備後を配す。○十一月                  女醫博士を置く。                  四月田邊國を置く(三世一身法)。○七月太                  安藤因卒す。○八月新羅朝貢す。                  二月四日受禪即位、改元。○四月蝦夷の反を                  征せしむ。○十一月五位以上及富者に五穀丹                  塗を許す。○是年多賀城を置く。                  九月三千人を出家せしむ。○十一月唐より柑                  子を齎らせしものに位を授く。                  六月新羅朝貢す。○是年行基山崎の橋を造る。                  諸國疫病流行す。                  二月使を遣し諸司の政績を巡察す。○三月大                  和長谷寺を造る(一燈長老五年)。○十二月大                  海使入京す。                  正月渤海使朝貢す。○九月皇太子基王薨す。                  十月僧徒海寂す。○是年始めて進士を試む。                  二月左大臣長屋王に死を賜ふ。○八月五日改                  元、藤原夫人光明子に立つ。○是年大                  安寺を平城に建つ。                  四月雲龍寺塔立。皇后官職に遷葬院を置                  九月發生聖斷を令す。○此頃迄薩隅未だ班                  田制行はれず。</p>										
<p>新羅 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20</p> <p>海渤 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3</p> <p>宗 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9</p> <p>(唐)玄宗 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9</p>										
730	729	728	727	726	725	724	723	722	721	
<p>東ローマ領内の偶像崇拜禁止。○法王ク                  レアリー東ローマ帝レオを破門す。</p>										

一三九〇、  
 (養老・神龜・天平)元正(四十四代)  
 聖武(四十五代)

新羅

海渤

(唐)玄宗

七二〇

(帝女)正 元						(帝女)明 元			
1380	1379	1378	1377	1376	1375	1374	1373	1372	1371
4 庚申	3 未己	2 午戊	老 巳丁	2 辰丙	龜 卯乙	7 寅甲	6 丑癸	5 子壬	4 亥辛
<p>四月丹後後英作大隅を置く。權衡度量を頒つ                  五月詔して諸國の風土記を編ましむ。                  正月食封の田租全給を始め。○二月紀伊人等                  に國史を頒ばしむ。○九月櫻餅を禁ず。○十一                  月僧徒來人來る。                  七月知太政官事藤原親王薨す。○九月二日天                  皇受禪即位、同日改元。○十月勸農の詔。                  四月和泉監を置く。○八月志貴親王薨す。多治                  比縣守を遣唐使とす。                  四月調停の斤兩長短を定む。僧徒の誣謗を                  禁ず。○三月吉備真備阿倍仲麻呂入唐。○五月上                  總信濃始て撫調す。                  五月能登安房石坂石背を置く。○十一月畿内                  兵に始て宮城を衛らしむ。○是年藤原不比等                  律令を修す。                  二月始て右謀せしむ。粟田真人薨す。○七月                  始て按察使を置く。○十二月始て婦女の服制                  を定む。                  正月渡島津經の津司等に蘇我の風俗を觀せ                  しむ。○二月華人反す。○五月舍人親王日本書                  紀を上る。○八月不比等薨す(年六十一)。</p>									
<p>新羅 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10</p> <p>海渤 2 仁安 武王 6 5 4 3 2 宋大 高王</p> <p>宗 8 7 6 5 4 3 2 元開 極太 2</p> <p>(唐)睿宗、玄宗 8 7 6 5 4 3 2 元開 極太 2</p>									
720	719	718	717	716	715	714	713	712	711
<p>四月政事睿太子の處分を取る。○六                  月十道按察使を置く。                  (玄宗先天)八月帝位を太子隆基に                  傳ふ。○十月沙陀金山入貢す。                  大辟案を渤海郡王とす。○七月太平                  公主謀逆死を賜ふ。高力士を將軍                  とす。○十二月官名を改む。                  正月左右教坊を置く。僧尼を沙汰                  す。○七月玉錦細を殿前に禁ず。○                  十二月幽州節度使路大德を置く。                  九月始て待讀官を置く。○西域八國                  降を請ふ。                  六月太上皇崩す。按貞固突厥獻                  を斬り降る。○天竺の無畏三藏來る。                  十二月邊書を求む。○開元中書人李                  思訓武備將軍となる。                  正月懸鐘を禁ず。○加賦を官俸に給                  す。○吐蕃和を請ふ。                  突厥鹿蹄を中朝可汗とす。                  正月宋璟蘇頌薨む。○十一月突厥寇                  す。○天竺より不空三藏至る。</p>									
<p>東ローマ帝レオ三世(一七四〇)○カラセン                  人小アヂヤを侵す。                  サラセン人、ベルガムム及コンスタンチノール                  を圍む。                  サラセン人、コンスタンチノールより驅逐せ                  らる。                  サラセン人ナルボンスを取る。</p>									

一三八〇、  
 (和銅・靈龜・養老)元明(四十三代)  
 元正(四十四代)

新羅

海渤

(唐)睿宗、玄宗

七二〇



一四三〇、 天勝寶、天平神護、神護景雲、寶龜、 淳仁(四十七代)稱徳(四十八代)光仁(四十九代)	仁光	(帝女祚重)德 稱					仁 淳				
	1430	1429	1428	1427	1426	1425	1424	1423	1422	1421	
	龜 寶 庚	3 酉 己	2 申 戊	2 未 丁	2 午 丙	8 辰 甲	7 卯 癸	6 寅 壬	5 丑 辛		
	四月五萬塔を造る。八月四日稱徳天皇崩す。五月十三日、道鏡を貶し、九月清原を召還す。十月朔日天皇即位、改元。	九月和氣清原を字佐に遣す、道鏡清原を大隅に流す。	二月貞徳孝子を賞す、怡土等成る。七月秋神殿成る。	四月東院玉宮成り瑠璃瓦を葺き道鏡を盡く。八月十六日改元。十月伊治城を築く。	三月藤原眞實(年六九)十月道鏡法王となる。福壽(年六九)十月道鏡法王となる。	正月七日改元。二月授刀衛を近衛府とす。十月廿三日淳仁(帝)崩す。三十三日、淳仁(帝)崩す。道鏡太政大臣(年六三)十一月右大臣藤原成實(年六三)。	九月押勝反し近江に據る、道鏡を大臣(年六三)とす、官名復舊。十月九日天皇を廢す、上皇(年六三)十二月藤原の海中に三島形成す。	八月藤原朝賀す。五月藤原朝賀す(年七七)。八月藤原朝賀す。大行曆を行ふ。九月道鏡少僧都となる。	五月戒壇を招提寺等に置く。六月孝謙上皇大事親決を詔す。十一月新羅征討の爲め調練す。	十月近江保良に行幸、遣唐使遣唐使任命。是年秋田城成る。	
	王 恭 惠					王 德 景					
	6	5	4	3	2	1	23	22	21	20	
	海 34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	
	(唐) 肅宗、代宗	宗 代					宗 肅				
		5	4	3	2	曆大 泰永	2	德廣	應寶	2	
		三月魚朝恩誅に伏す、杜子英卒す。	五月、固懷恩の女を回院に嫁せしむ。十月杜鴻漸卒す。十二月裴冕卒す。	正月帝僧尼千人を度す。四月李泌を徵す。八月吐蕃使武に入寇す。十二月馬燾を逐逐使とす。	二月郭子儀入朝す。九月吐蕃入寇す。	九月、固懷恩回院吐蕃入寇す。十月回院盟を受けて還る。	正月固懷恩回院吐蕃入寇す。十月固懷恩回院吐蕃入寇す。八月固懷恩回院吐蕃入寇す。八月固懷恩回院吐蕃入寇す。	五月五紀曆を行ふ。七月、固懷恩回院吐蕃入寇す。八月固懷恩回院吐蕃入寇す。	正月李懷德史朝義を殺す。八月固懷恩反す。十月吐蕃入寇し長安に入る。郭子儀之を擊退す。	四月帝崩す。十月、雍王を天下兵馬元帥として史朝義を破る。李輔國を殺す。十一月、李自卒す。	正月、史朝義を破る。三月、史朝義を破る。九月、道場を三殿に置く。明を殺す。九月、道場を三殿に置く。
770		769	768	767	766	765	764	763	762	761	
			フランク王国の分裂ビセン死し、其子チャールス(大帝)及カールマン立つ。		偶像崇拜禁止令勅行。				是歳、バグダード市建設、後やがて東ラセンの首府となる。		

一四二〇、 天勝寶、天平寶字、 淳仁(四十六代)淳仁(四十七代)	仁 淳	(帝女) 謙 孝					仁 淳				
	1420	1419	1418	1417	1416	1415	1414	1413	1412	1411	
	4 子 庚	3 亥 癸	2 戌 壬	2 酉 辛	8 申 丙	7 未 乙	6 午 甲	5 巳 癸	4 辰 壬	3 卯 辛	
	正月、實内相藤原朝賀す。六月七日入賞す。三月、開基勝寶等を鑄る。六月七日光明皇后崩す(年六〇)。	正月、實内相藤原朝賀す。六月七日入賞す。三月、開基勝寶等を鑄る。六月七日光明皇后崩す(年六〇)。	正月、實内相藤原朝賀す。六月七日入賞す。三月、開基勝寶等を鑄る。六月七日光明皇后崩す(年六〇)。	正月、實内相藤原朝賀す。六月七日入賞す。三月、開基勝寶等を鑄る。六月七日光明皇后崩す(年六〇)。	正月、實内相藤原朝賀す。六月七日入賞す。三月、開基勝寶等を鑄る。六月七日光明皇后崩す(年六〇)。	正月、實内相藤原朝賀す。六月七日入賞す。三月、開基勝寶等を鑄る。六月七日光明皇后崩す(年六〇)。	正月、實内相藤原朝賀す。六月七日入賞す。三月、開基勝寶等を鑄る。六月七日光明皇后崩す(年六〇)。	正月、實内相藤原朝賀す。六月七日入賞す。三月、開基勝寶等を鑄る。六月七日光明皇后崩す(年六〇)。	正月、實内相藤原朝賀す。六月七日入賞す。三月、開基勝寶等を鑄る。六月七日光明皇后崩す(年六〇)。	正月、實内相藤原朝賀す。六月七日入賞す。三月、開基勝寶等を鑄る。六月七日光明皇后崩す(年六〇)。	正月、實内相藤原朝賀す。六月七日入賞す。三月、開基勝寶等を鑄る。六月七日光明皇后崩す(年六〇)。
	王 德 景					王 德 景					
	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	
	海 24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	
	(唐) 玄宗	宗 肅					宗 玄				
		元上	2	元乾	2	德至	14	13	12	11	10
		七月、李輔國太上皇を遷す。十一月、割居反す。此頃、燕人王維反す。	七月、李輔國太上皇を遷す。十一月、割居反す。此頃、燕人王維反す。	七月、李輔國太上皇を遷す。十一月、割居反す。此頃、燕人王維反す。	七月、李輔國太上皇を遷す。十一月、割居反す。此頃、燕人王維反す。	七月、李輔國太上皇を遷す。十一月、割居反す。此頃、燕人王維反す。	七月、李輔國太上皇を遷す。十一月、割居反す。此頃、燕人王維反す。	七月、李輔國太上皇を遷す。十一月、割居反す。此頃、燕人王維反す。	七月、李輔國太上皇を遷す。十一月、割居反す。此頃、燕人王維反す。	七月、李輔國太上皇を遷す。十一月、割居反す。此頃、燕人王維反す。	七月、李輔國太上皇を遷す。十一月、割居反す。此頃、燕人王維反す。
760		759	758	757	756	755	754	753	752	751	
									ビセン、フランク王位に登る、メロヴィス王朝亡びカールス王朝興る。	ビセン、フランク王位に登る、メロヴィス王朝亡びカールス王朝興る。	

一四五〇、(天應・延暦)桓武(五十代)	武 桓									
	1450	1449	1448	1447	1446	1445	1444	1443	1442	1441
	9 午庚	8 巳己	7 辰戊	6 卯丁	5 寅丙	4 丑乙	3 子甲	2 亥癸	曆延 戌壬	天應 百辛
	閏三月殿僧以東の諸國に軍甲二千領を作り、 被十四萬石を賜せしむ。○十月復讐録司を置	七月美濃伊勢越前の三國を賜す。紀古佐美 等敗軍す。○九月右大臣藤原是公薨す。(年六 三)	七月美濃伊勢越前の三國を賜す。紀古佐美 等敗軍す。○九月右大臣藤原是公薨す。(年六 三)	七月美濃伊勢越前の三國を賜す。紀古佐美 等敗軍す。○九月右大臣藤原是公薨す。(年六 三)	七月美濃伊勢越前の三國を賜す。紀古佐美 等敗軍す。○九月右大臣藤原是公薨す。(年六 三)	七月美濃伊勢越前の三國を賜す。紀古佐美 等敗軍す。○九月右大臣藤原是公薨す。(年六 三)	七月美濃伊勢越前の三國を賜す。紀古佐美 等敗軍す。○九月右大臣藤原是公薨す。(年六 三)	七月美濃伊勢越前の三國を賜す。紀古佐美 等敗軍す。○九月右大臣藤原是公薨す。(年六 三)	七月美濃伊勢越前の三國を賜す。紀古佐美 等敗軍す。○九月右大臣藤原是公薨す。(年六 三)	七月美濃伊勢越前の三國を賜す。紀古佐美 等敗軍す。○九月右大臣藤原是公薨す。(年六 三)
新羅	王 聖 元					王 德 宣				
	6	5	4	3	2	1	5	4	3	2
海渤	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45
(唐)德宗	宗 德									
	6	5	4	3	2	元貞	元興	4	3	2
	十月回纥使貞可汗殺さる。○吐蕃安 西を陥る。	三月李泌卒す。○十二月回纥天親可 汗死し其子を忠貞可汗とす。	二月諸道の税外の錢帛を大盈庫に 輸す。○十月吐蕃顔入寇す。回纥 回纥と改む。	正月雲南王異牟尋内附を請ふ。○九 月回纥の和親を許す。	四月陳仙奇、李希烈を殺して降る。 ○十月李晟吐蕃を破る。	三月馬燧李懷光を破る。○六月朱泚 死す。○八月李懷光自殺す。	正月李希烈僧賊す。○二月李懷光反 す。○六月朱泚京城を復し伏誅す。○ 八月顔真卿殺さる。	四月高麗王を捕す。○十一月朱滔田 悅武俊李納各王を自稱し十二月李 希烈天下都元帥を稱す。	間架税を課す。○十月涇原兵亂を作 す朱泚反して長安に據る。○十一月 孫璋朱泚を破る。	五月兩稅增加、田悅寇す。○六月郭 子儀卒す。○七月李晟等大に田悅を 破る。○是年長安流行中國碑建立。
七九〇	790	789	788	787	786	785	784	783	782	781
		最遠頃ノルマン人始てイギリスに侵入す。	チャールズ大帝、バヴァリア公國を征服す。	チャールズ大帝、バヴァリア公國を征服す。	チャールズ大帝、バヴァリア公國を征服す。	チャールズ大帝、バヴァリア公國を征服す。	チャールズ大帝、バヴァリア公國を征服す。	チャールズ大帝、バヴァリア公國を征服す。	チャールズ大帝、バヴァリア公國を征服す。	チャールズ大帝、バヴァリア公國を征服す。

一四四〇、(寶龜)光仁(四十九代)	仁 光									
	1440	1439	1438	1437	1436	1435	1434	1433	1432	1431
	11 申庚	10 未己	9 午戊	8 巳丁	7 辰丙	6 卯乙	5 寅甲	4 丑癸	3 子壬	2 亥辛
	正月新羅使入貢。○三月元官を省く。兵農始 て分る。陸奥伊弉志廢反す。○七月諸國海防 を嚴にす。	八月僧尼を戒む。○九月渤海來貢を却く。 ○十月大伴旅人等天草に漂着す。	三月内臣藤原魚名を忠臣とす。○十一月遣唐 使大伴旅人等天草に漂着す。	六月遣唐使小野石根發す。風に遇ひて歿す。○ 九月藤原良繼薨す。(年六二)○是年藤原寺成 る。	正月海運使朝貢。藤原魚名内大臣任。○五 月豐後使來朝。○七月藤原百川薨す。(年四八)○ 八月僧尼を戒む。○九月渤海來貢を却く。	六月遣唐使任命。○十月天長節を行ふ。吉備 眞備薨す。(年八二)。	正月山部親王を皇太子とす。○三月穀價を定 む(常平法)。○六月渤海使能登に來る無難を 責め御く。○十一月良辨薨す。	三月新羅朝貢す之を却く。○七月奥州夷入寇 す。○十月大伴旅人等河野襲て蝦夷を平ぐ。○十二 月始て佛名會を宮中に行ふ。	四月遣唐使來貢す。○五月他戸太子を廢す。 ○正月渤海來貢す。表文違例を以て之を御く。○	正月他戸親王を皇太子とす。○二月藤原永手 薨す。(年五八)○三月右大臣吉備眞備致仕す。
新羅	王 德 宣					王 恭 惠				
	1	15	14	13	12	11	10	9	8	7
海渤	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35
(唐)代宗、德宗	宗 代									
	中建	14	13	12	11	10	9	8	7	6
	正月始て兩稅法を作る。○二月段秀 實を司農卿とす。	二月田承嗣卒す。○三月淮西の將其 節度使を逐ひ留後となる。○五月帝 殂す。○十月吐蕃南鄙入寇す。	三月元載を誅す。○七月顔真卿を刑 部尚書とす。○九月段秀實を臣原節 度使とす。	正月回纥太原に入寇す。○十二月郭 子儀入朝す。	二月田承嗣の罪を赦す。○五月汴宋 軍亂る。○十二月馬燧卒す。	正月田承嗣反す。○四月諸道の兵に 田承嗣を討せしむ。	六月胡僧不空寂す。○九月盧龍節度 使朱泚入朝す。	正月昭義節度使薛平卒す。○十月吐 蕃寇す。渾瑊之を却く。	正月回纥の使朱希範を記す。○七月 盧龍節度使朱希彰其下に殺さる。	八月李栖筠を御史大夫とす。○韓滉 に度支を判せしむ。
七八〇	780	779	778	777	776	775	774	773	772	771
	東ローマ帝コンスタンティヌス六世(七九七)、 母后イレネ執政。		チャールズ大帝、イスパニヤのサラセンを伐つ。			東ローマ帝レオ四世(七八〇)。	チャールズ大帝、ランゴバルド王國を滅し、イ タリヤの王となる。	チャールズ大帝、サクソン人と戦ふ(七八四)。	フランク王國の統一、カールマン死し、チャ ールズ大帝獨り政を執る。	



一四七〇、(延暦・大同・弘仁)桓武(五十代)平城(五十一代)嵯峨(五十二代)	嵯峨	城平				武桓					
	1470	1469	1468	1467	1466	1465	1464	1463	1462	1461	
	仁弘	4	3	2	同大	24	23	22	21	20	
	寅庚	丑己	子戊	亥丁	戌丙	酉乙	申甲	未癸	午壬	巳辛	
	三月藤原所を置く○九月平城上皇詔許を圖る、上皇御養所藤原子自殺す太子高岳親王を廢し、大伴親王を皇太子とす十九日改元。	三月藤原所を置く○九月平城上皇詔許を圖る、上皇御養所藤原子自殺す太子高岳親王を廢し、大伴親王を皇太子とす十九日改元。	四月朔日天皇位を皇太弟に禪る○四月十三日嵯峨天皇即位、高岳親王を皇太子となす○十月朔日入貢す。	二月古語拾遺成る○五月大同類聚方成る○七月衛門府を左右衛門府に合す○是年靈龜百濟河成左近衛となる。	四月参議を罷め又近衛府中衛府を左近衛府右近衛府と改む○八月憲法十五條を頒つ○十一月伊豫内親王に死を賜ふ。	三月十七日天皇崩す壽七十○五月十八日平城天皇即位是年親察使を六道に置く○八月空海歸朝し眞言宗を傳ふ。	七月遣唐使及最澄歸朝す最澄天台宗を傳ふ。	一月行賀親王(年七七)○三月田村野志波城を築く○五月足柄路を廢す遣唐使藤原葛野麿等遣唐使を遣す。	五月田村野志波城を築く○五月足柄路を廢す遣唐使藤原葛野麿等遣唐使を遣す。	正月藤原城を築き領守府を移す○四月夷倉降伏す○五月足柄路を廢し前根路を開く。	五月藤原城を築き領守府を移す○四月夷倉降伏す○五月足柄路を廢し前根路を開く。
	新羅	王德憲				王莊哀					
	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2	
	海渤	2	永德	定王	14	13	12	11	10	9	8
	(唐)德宗、順宗、憲宗	宗憲				宗順		宗德			
		5	4	3	2	和元	貞永	20	19	18	17
十一月斐拍罷む○十二月李絳を中書舍人とす。		吐蕃和を乞ふ之を許す○安國寺碑を築つ○十一月吳少誠死す。	四月賢良方正の士を賜ふ○五月沙陀來降○九月斐拍相となる○杜黃裳卒す。	正月武元衡宰相となる○十月李瑋反して十一月斬らる○白居易を翰林學士とす。	正月太上皇崩す○九月劉闢を斬る。を拾遺とす○九月劉闢を斬る。	正月帝崩す○陸贄陽城卒す○八月即位、章宗卒す。史官日歷を撰す○十一月回鹘使臣可汗死す。	吐蕃の贊普死す○九月太子疾む。	十二月轉意を陽山の令に貶す。	七月百官の正牙奏事を禁ず。	六月成德節度使王武俊卒す○九月章宗大に吐蕃を破る。	
810		809	808	807	806	805	804	803	802	801	
ハ一〇		ハ一〇	ハ一〇	ハ一〇	ハ一〇	ハ一〇	ハ一〇	ハ一〇	ハ一〇	ハ一〇	
		ハルンリルラシッド死す。	デーン人チャールス大帝の子チャールスに敗られ、プイタル河を離れて退く。					マラセン人、小アジヤに侵入し、キアルスを擧す○イレネ配死す。	東ローマ帝ニクファウス一世(八一―一〇〇)メタスタスの王エタパト(一八三七)。		

一四六〇、(延暦)桓武(五十代)	武桓										
	1460	1459	1458	1457	1456	1455	1454	1453	1452	1451	
	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	
	庚辰	卯己	寅戊	丑丁	子丙	亥乙	戌甲	酉癸	申壬	未辛	
	二月藤原求實を禁ず○六月富十川燬く○七月早良親王に崇道天皇と追尊す。	二月私船出帆を許す、此月和氣清原兼光(年六七)○七月天竺一人夢河に漂着す、綿種を賣らす。	五月使を渤海に遣す○七月清水寺建立○九月藤原史民の書儀を禁ず。	二月南海道に新道を開く○七月右大臣藤原實(年七〇)○八月諸國地圖を作る○十一月陸平永寶鑄造○鞍馬寺東寺西寺を建立。	二月日本紀成る○四月大納言紀古佐美(年六五)善珠親王(年七五)○十一月坂上田村麿を征夷大將軍となす。	正月征夷大將軍大伴弟麿等凱旋す○十二月諸國逃亡軍士を陸奥櫛戸とす。	十月廿二日軍駕新宮に遷る○十一月山背を改めて山城となす(新宮を平安京といふ)、越前水田を勘學田として大學寮を増置す。	二月藤原を賀茂社に告ぐ○三月藤原職を改めて國となす。	七月富良野に於て風教を密するを禁ず○十一月渤海使來朝○十一月新制彈令八十三條を彈正臺に下す。	三月制定律令を行ふ○八月藤内田使を任ず○十一月坂東諸國に檢校十二萬餘斛を備へしむ。	
	新羅	王聖元									
	1	1	14	13	12	11	10	9	8	7	
	海渤	6	5	4	3	2	正康	康王	中興	成王	57
	(唐)德宗	宗德									
		16	15	14	13	12	11	10	9	8	7
五月張建封卒す○十月吳少誠を殺す。		九月諸道の兵に吳少誠を討たしむ○十二月陳瑊卒す。	二月陸贄法苑珠林撰成○八月神策軍を置く○吳少誠反す○陽城を貶す。	吐蕃の贊普乞立贊死す○十二月宣者を宮中使とす。	四月魏博節度使田緒卒す○九月裴延齡卒し中外之を賀す帝悼惜す。	四月陸贄を貶す○回鹘奉誠可汗死し懷信可汗立つ○八月馬燧卒す。	正月雲南大に吐蕃を破る○具牟尋を南詔王とす○十二月陸贄太子賓客となる。	正月魏博節度使田緒卒す○八月宣武軍亂る○八月李晟卒す○十二月宣武軍を南詔王とす○十二月陸贄太子賓客となる。	五月平盧節度使李納卒す○八月遣使諸道を宣撫せしむ。	二月回鹘奉誠可汗を立つ○回鹘軍の驍勇を殺す○八月陸贄を兵部侍郎とす。	
800		799	798	797	796	795	794	793	792	791	
ハ〇〇		ハ〇〇	ハ〇〇	ハ〇〇	ハ〇〇	ハ〇〇	ハ〇〇	ハ〇〇	ハ〇〇	ハ〇〇	
西ローマ帝國の復興、チャールス大帝、帝位に即く。				東ローマ太后イレネ、帝を失明にし自ら政を執る。				チャールス大帝、メタスタス人及びデーン人と戦ふ(一八〇四)。		チャールス大帝、アヴァール人を破る(一七九六)。	

一四九〇、 (弘仁・天長) 嵯峨(五十二代) 淳和 (五十三代)	和 淳					嵯 峨					
	1490	1489	1488	1487	1486	1485	1484	1483	1482	1481	
	7 庚戌	6 己酉	5 戊申	4 丁未	3 丙午	2 乙巳	長 庚	天 甲	14 卯癸	13 寅壬	12 丑辛
	四月萬多親王薨す(年四二)〇七月良岑安世薨す(年四六)〇十月新撰格式成る。	五月諸國に水車を作らしむ。	正月渤海朝貢〇三月秋原王を討殺せる大 中臣善繼を流す〇是年延暦寺戒壇院成る。	正月畿内校田使を置く〇二月正子内親王を 皇后とす〇五月良岑安世等經國策を撰す。	冬嗣孫(年五二)〇九月上總常陸下野の三 國守を改めて太守とし親王任國とす。	五日朔日恒世親王薨す(年二二)〇七月藤原 冬嗣孫(年五二)〇九月上總常陸下野の三 國守を改めて太守とし親王任國とす。	〇八月延寧使を置く〇十一月二十八日嵯峨 上皇の壽四十を賀す(賀儀の始)。	〇四月十六日即位、廿七日淳和天皇即位、是 月文武官遷轉(年五九)。	〇四月十六日即位、廿七日淳和天皇即位、是 月文武官遷轉(年五九)。	〇四月十六日即位、廿七日淳和天皇即位、是 月文武官遷轉(年五九)。	〇四月十六日即位、廿七日淳和天皇即位、是 月文武官遷轉(年五九)。
新羅	王 德 興					王 德 憲					
海渤	5	4	3	2	1	17	16	15	14	13	
	11	10	9	8	7	6	4	3	2	1	
(唐)穆宗、敬宗、文宗	宗 文			宗 敬		宗 穆			慶長		
	4	3	2	和太	2	曆寶	4	3	2	慶長	
	正月李宗閔牛僧孺を相として李德 裕の黨を拏す(李牛の争始る)。	正月魏徳の亂平を平ぐ〇八月李宗 閔復相となる〇九月宣官の抄羅を 服するを禁ず〇十一月南詔入寇す。	三月魏徳の亂平を平ぐ〇八月李宗 閔復相となる〇九月宣官の抄羅を 服するを禁ず〇十一月南詔入寇す。	六月王樞、銀器綾絹を獻じて相と なる。	二月裴度相となる〇五月幽州軍亂 る〇十一月李逢吉罷らる〇十二月 宣官帝を弑す。	二月裴度相となる〇五月幽州軍亂 る〇十一月李逢吉罷らる〇十二月 宣官帝を弑す。	二月裴度相となる〇五月幽州軍亂 る〇十一月李逢吉罷らる〇十二月 宣官帝を弑す。	二月裴度相となる〇五月幽州軍亂 る〇十一月李逢吉罷らる〇十二月 宣官帝を弑す。	二月裴度相となる〇五月幽州軍亂 る〇十一月李逢吉罷らる〇十二月 宣官帝を弑す。	二月裴度相となる〇五月幽州軍亂 る〇十一月李逢吉罷らる〇十二月 宣官帝を弑す。	四月李宗閔を貶す(李牛朋黨の陰 謀)〇五月太和長公主を回纥に嫁 す〇十月李直臣伏誅す。
八三〇	830	829	828	827	826	825	824	823	822	821	
											レリスの大僧正エマボ、ゲマルクにキリスト教 を説く。

一四八〇、(弘仁) 嵯峨(五十二代)	嵯 峨										新羅
	1480	1479	1478	1477	1476	1475	1474	1473	1472	1471	
	11 庚子	10 己亥	9 戊戌	8 丁酉	7 丙申	6 乙未	5 甲午	4 癸巳	3 壬辰	2 辛卯	
	四月冬嗣孫仁格式内書式を撰す〇弘仁の末 に菅原清公文書院を建つ、後大江氏と共に 之を管す。	二月畿内人民の貧富を録す〇是年最澄戒壇 を建てんことを請ふ、藤原冬嗣等勅を受け 日本後紀を撰す(承和八年に成る)。	二月畿内人民の貧富を録す〇是年最澄戒壇 を建てんことを請ふ、藤原冬嗣等勅を受け 日本後紀を撰す(承和八年に成る)。	二月畿内人民の貧富を録す〇是年最澄戒壇 を建てんことを請ふ、藤原冬嗣等勅を受け 日本後紀を撰す(承和八年に成る)。	二月畿内人民の貧富を録す〇是年最澄戒壇 を建てんことを請ふ、藤原冬嗣等勅を受け 日本後紀を撰す(承和八年に成る)。	二月畿内人民の貧富を録す〇是年最澄戒壇 を建てんことを請ふ、藤原冬嗣等勅を受け 日本後紀を撰す(承和八年に成る)。	二月畿内人民の貧富を録す〇是年最澄戒壇 を建てんことを請ふ、藤原冬嗣等勅を受け 日本後紀を撰す(承和八年に成る)。	二月畿内人民の貧富を録す〇是年最澄戒壇 を建てんことを請ふ、藤原冬嗣等勅を受け 日本後紀を撰す(承和八年に成る)。	二月畿内人民の貧富を録す〇是年最澄戒壇 を建てんことを請ふ、藤原冬嗣等勅を受け 日本後紀を撰す(承和八年に成る)。	二月畿内人民の貧富を録す〇是年最澄戒壇 を建てんことを請ふ、藤原冬嗣等勅を受け 日本後紀を撰す(承和八年に成る)。	三月新羅使肥前に來る〇九月對馬に新羅歸 詔一人を置く〇是年多爾南園堂を建つ。 三月大安寺安澄薨す(年五二)〇六月萬多親 王姓氏録を上る〇九月渤海朝貢す〇十月新 羅人歸化す。
新羅	王 德 憲										新羅
海渤	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	
	宣王	太始	蘭王	5	4	3	2	朱雀	5	4	3
(唐)憲宗	宗 憲										(唐)憲宗
	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	
	正月李承宗を討つ〇二月李逢吉を 相とす〇十二月王樞を相とす。	正月李承宗を討つ〇二月李逢吉を 相とす〇十二月王樞を相とす。	正月李承宗を討つ〇二月李逢吉を 相とす〇十二月王樞を相とす。	正月李承宗を討つ〇二月李逢吉を 相とす〇十二月王樞を相とす。	正月李承宗を討つ〇二月李逢吉を 相とす〇十二月王樞を相とす。	正月李承宗を討つ〇二月李逢吉を 相とす〇十二月王樞を相とす。	正月李承宗を討つ〇二月李逢吉を 相とす〇十二月王樞を相とす。	正月李承宗を討つ〇二月李逢吉を 相とす〇十二月王樞を相とす。	正月李承宗を討つ〇二月李逢吉を 相とす〇十二月王樞を相とす。	正月李承宗を討つ〇二月李逢吉を 相とす〇十二月王樞を相とす。	正月李承宗を討つ〇二月李逢吉を 相とす〇十二月王樞を相とす。
八二〇	820	819	818	817	816	815	814	813	812	811	
											東ローマ帝ニコラウス(二箇月間)、イカエ ル一世(一八一三)。



一五三〇、 貞觀(清和五十六代)(良房)	和 清									
	1530	1529	1528	1527	1526	1525	1524	1523	1522	1521
	12 寅庚	11 丑己	10 子戊	9 亥丁	8 戌丙	7 酉乙	6 申甲	5 未癸	4 午壬	3 巳辛
	房					良				
	<p>正月朔日天皇元服す。此月圓仁寂す(年七)。○二月僧綱の位階を改む○七月富士山禰く。</p> <p>三月七道貫賦達期の國司五位已上位祿を兼ひ六位已下公廩五分二を取ることとす。</p> <p>閏三月唐天門燒亡(九月伴善男伊豆に流さる)○七月最澄に傳教大師と謚す○九月唐商の張晉太宰府に至る。</p> <p>三月諸國毎縣結保して奸盜を督察せしむ○四月始て東西京に常平倉を置く○十月右大臣藤原良相薨す(年五)○十一月上總に檢非違使を置く。</p> <p>閏十二月新に内外交響式を頒つ。左大臣源信實(年五九)。</p> <p>二月貞明親王皇太子となる○四月貞觀格八月經日本後紀成る○十月太宰府に徳政を施さしむ。</p> <p>正月貞觀永寶錢を鑄る○十一月太宰少貳藤原元利廢新羅に通じ露はる。</p>									
新羅	王 文 景									
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
海渤	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3
(唐)懿宗	宗 懿									
	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
	<p>正月白居易罷む○八月南詔入寇す。二月南詔復安南に寇す○四月戒壇を置き僧尼を度す。</p> <p>二月南詔文趾を陥る○八月吳德輝を以て館驛使となす。</p> <p>四月南詔入寇し官軍敗没す○十一月路巖を相とす。</p> <p>杜宣猷を宣歙觀察使とす。</p> <p>十月高駘大に南詔を破り交趾を復す○吐蕃の陰謀殺さる是より吐蕃衰ふ。</p> <p>七月懷州の民其刺史を逐ふ。</p> <p>七月桂州戊卒亂をなす○十一月康承訓諸道の兵を發して反律を討つ。</p> <p>四月勸助自ら天將軍と稱す○十月南詔入寇す。</p> <p>二月南詔進て成都を攻む○八月魏博其節度使を殺す。</p>									
八七〇	870	869	868	867	866	865	864	863	862	861
	<p>ルウー人イスラントを發見して植民す(一八七五)。</p> <p>コシヤ帝國の起原、ノルマンの一派ルスカの酋長ルーリク、ノアゴドに建國の基を開く。</p> <p>アルガリヤ王キリスト教を信ず(八六四?)。</p> <p>ルスカ族コンスタンチノールに水路遠征す。</p> <p>デー人東アングリヤに植民す○東ササンのトルコ軍隊敗退。</p> <p>東ローマ、パシヤ朝(一〇五七)○コンスタンチノール管長ローマ法王を破門す。</p> <p>デー人メルシャに植民す。</p> <p>コンスタンチノールの宗教會議(一八七〇、第八次宗教會議)。</p> <p>メルセンの條約、フランク國イタリヤ、ドイツ、フランス三國に分裂す○ササセン再び首府をバグダードに遷す。</p>									

一五二〇、 仁壽・齊衡・天安・貞觀(文德五十五代)清和(五十六代)(良房)	和 清									
	1520	1519	1518	1517	1516	1515	1514	1513	1512	1511
	2 辰庚	觀貞 卯己	2 寅戊	安天 丑丁	3 子丙	2 亥乙	齊衡 戌甲	3 酉癸	2 申壬	仁壽 未辛
	房					良				
	<p>二月僧實濟(年六一)○十二月舞臺式を頒つ。大春日禮佛天皇に孝經を授け奉る○是年八幡神宇佐より男山に移る。</p> <p>四月十五日改元・總發神寶鑄造○五月渤海入貢○是年男山八幡宮創立。</p> <p>八月廿七日文德天皇崩す(年三十二)○十一月七日清和天皇即位(年九)藤原良房攝政○十二月始て十陵四墓を定む。</p> <p>正月大衍曆を廢し五紀曆を用ふ○二月藤原良房太政大臣となる、廿一日改元○四月近江相坂關を復し大石陸奥二關を置く。</p> <p>四月五世王の服色は諸臣に准ぜしむ○六月酒濱姫薨す○是年櫻林寺成る。</p> <p>正月貞觀の兵備を嚴にす○二月詔して國史を修めしむ○五月東大寺大佛頭落つ。</p> <p>六月左大臣源實朝(年四三)○十一月廿日改元。</p> <p>二月天皇藤原良房の第に幸す○六月葛原親王薨す(年六八)○七月圓珍入唐す。</p> <p>二月滋野貞主卒す(年六八)○十二月小野宮薨す(年五一)。</p> <p>四月廿八日改元。</p>									
新羅	王 安 憲									
	4	3	2	1	18	17	16	15	14	13
海渤	2	見度	28	27	26	25	24	23	22	21
(唐)宣宗、懿宗	宗 懿 宣									
	通成	13	12	11	10	9	8	7	6	5
	<p>五月吐蕃論恐熱入朝す○十月魏嘗相となる。</p> <p>二月維山群盜寇す○八月嬰休相となる○十二月僧尼の私度を申禁す。</p> <p>四月杖笞法を定む○十二月鄧光右羽林統軍となる。</p> <p>九月高少逸を陝西觀察使とす○帝甘露の變の變を雪がしむ。</p> <p>閏四月州縣に差科簿を作らしむ○七月浙東軍亂る。</p> <p>五月韋諷京兆尹となる○六月嬰休罷らる○十一月回鶻地特勤を懷遠可汗とす。</p> <p>七月重鄭相となる○十月道士新羅集を造ふ。</p> <p>正月王式を安南都護とす○五月瑋卒す○七月宣州軍亂る。</p> <p>八月帝崩す、鄭王隆復即位す○十二月南詔の管領自ら皇帝と稱し國號を大國とす。</p> <p>正月浙東の賊寇南詔を作す○五月州縣稅外奉を禁ず○六月雲南を新羅○十二月南詔文趾を攻陥。</p>									
八六〇	860	859	858	857	856	855	854	853	852	851
	<p>是歲頃ガムル始めて全デンマルタの王となる(一九三五)。</p> <p>オランダの海岸ノルマン人に荒らさる。</p> <p>東ローマ、ササセンと大に小アヂヤに戦ふ。</p> <p>イギリス王エセルウルフ(アルフレド大王の父)デー人人を破る○コルシカ、サルディヤ、ササセン人に劫掠せらる。</p>									

一五五〇、 孝(元慶・仁和・寛平)陽成(五十七代)光 孝(五十八代)宇多(五十九代)基經	多字		孝光			成陽				
	1550	1549	1548	1547	1546	1545	1544	1543	1542	1541
	2	平寛	4	3	2	和仁	8	7	6	5
	戊庚	百己	申戊	未丁	午丙	巳乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑辛
	經基									
	五月山陰南境及山形嶺津等の海賊を 追捕す。○是年在原行平始て陸軍院を 置く。 二月關西天竺○十一月渤海海入貢す。○ 十二月畿内諸國の温種を禁ず。 二月上總俘囚の叛を追捕す。○五月渤海 海入貢す。○七月太宰府司の怠慢責。 二月四日遷位始て聖賢陣子を立つ。○ 二月廿三日光孝天皇即位。○十二月百 事基經に諮察し後奏聞せしむ。 二月廿一日改元。○十月太宰府をして 唐物私買を禁せしむ。 六月敷して奥羽太宰府の警備を嚴に す。 八月廿六日天皇崩す。○五十八。○十一 月十七日宇多天皇即位。基經開白とな る。 八月仁和寺成る。○十月巨勢金岡御所の 障子に詩人の像を畫く。天皇易を善羅 變成に受く。右大臣藤原多實(年五八)。 四月廿七日改元。○十一月始て賀茂臨 時祭を修む。○是年平姓を高望王に賜 ふ。 始て正月七種の粥を獻ず。○正月還照叙 す(年七五)。○五月播磨相卒す(年五 四)。○十二月基經開白を辭す。									
新羅	主女聖眞			王定唐		王康憲				
	4	3	2	1	1	11	10	9	8	7
海渤	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
(唐)僖宗、昭宗	宗昭		宗僖							
	順大	紀龍	徳文	3	2	啓光	4	3	2	和中
	正月帝成都に幸す。○四月官軍長安 に入る。黃巢走り復長安に據る。○ 六月李克用涇州を陥る。 八月劉漢安復涇州置昌之を破る。○ 九月朱道降る。○十一月李克用始所 に歸す。 四月李克用長安を復す。○七月朱全 忠を宣武節度使とす。 五月李克用等黃巢を破る。○六月尚 書黃巢を破る。賊黨巢を斬り降る。 三月梁宗權親親す。○十二月李克用 京城に逼る。帝鳳翔に奔る。 三月帝興元に至る。○八月李克用卒 す。○十月朱道王燭を立て帝と稱 す。○十二月朱道殺さる。 六月李克用を招討使とす。○九月高 駢殺さる。○十月楊行密揚州に克つ。 二月帝長安に至る。翌月崩す。○十一 月申養宗權を執て降る。 二月梁宗權伏誅す。○二月全忠を東 平郡王とす。○六月楊行密宣歙觀察 使とす。 四月李克用の官爵を削る。○十月王 建勳州を取る。									
八九〇	890	889	888	887	886	885	884	883	882	881
	ナルマン人、グリーンランドを發見す。○オク スワールド大學創立。 チャールス(肥滿)勝せらる。 カールス帝國の全然且つ最後の分裂。○ト ランス・シュレーン・ブルグンド王國建設。 ナルマンの酋長ロバリーを圍む(一八八 六)。 チャールス(肥滿)、チャールス大帝の舊帝 國を統一す。 フルフレッド大王海軍を創立す。									

一五四〇、 貞觀・元慶(清和)五十六代(陽成) (五十七代)良房・基經	成陽		和清							
	1540	1539	1538	1537	1536	1535	1534	1533	1532	1531
	4	3	2	慶	18	17	16	15	14	13
	子庚	亥己	戌戊	酉丁	申丙	未乙	午甲	巳癸	辰壬	卯辛
	經基									
	五月渤海人薩摩の蝦島に漂着す。 二月貞觀寺供養。○四月淳和院火く。○七月薩 摩開山噴火。○八月新羅人對馬に漂着す。 正月冷泉院火ありて圖書寶財燬く。○五月下 總俘囚の叛を討つ。○十一月出羽渡島のヲ狄 の反を討す。 三月值嘉島司を置く。○四月大極殿火 く。○一月廿九日天皇讓位。藤原基經 攝政。 正月三日天皇即位年十。此月渤海朝貢 す。○四月十六日改元。○十一月大江音人 興(年六七)。○元慶寺を定領寺とす。 三月秋田の蝦夷亂る。藤原保則小野春 風等之を討つ。○四月興福寺燒く(後傳、 災す)。○十二月都良香卒す(年四六)。 正月眞雅親(年七五)。○五月藤原上 皇御髮。圓覺寺創立。○十一月藤原基經 文德實錄を上る。 五月藤原平卒(年五六)。八月是善興(年 六九)。○十二月清和上皇崩す(年三十一 一)。○是年高岳親王(印度)の途中に崩す。									
新羅	王康憲				王文景					
	6	5	4	3	2	1	14	13	12	11
海渤	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
(唐)懿宗、僖宗	宗僖				宗懿					
	明廣	6	5	4	3	2	符乾	14	13	12
	四月路羅羅む。○五月帝安國寺に幸 す。○十月劉鄩相となる。 八月鄭義節度使張勳卒す。是上 り朝命及ばず回鹘甘肅二州を陥る。 正月使を遣して佛骨を迎ふ。四月到 る。○七月帝短す。晉王儼即位す。時 年十二。 正月路羅に死を賜ふ。○八月劉鄩卒 す。○南詔入寇し王仙芝亂を作す。 正月高駢を四川節度使とす。○六月 王仙芝涇州を陥る。黃巢之に應ず。 二月鄭村に可刀を備へ盜を防がし む。○十二月王仙芝涇州に寇す。 二月南詔の酋長卒し子法立つ。其和 を許す。○王仙芝涇州を陥る。 正月大同。亂れ李克用留後となる。 二月元元。元祐王仙芝を斬る。○七月 黃巢浙東に入寇す。 正月高駢大に黃巢を破る。○十月劉 漢安亂を作す。 正月沙陀部晉陽に逼る。○劉漢安降 る。○十二月黃巢長安に入る。尋て齊 帝と號す。									
八八〇	880	879	878	877	876	875	874	873	872	871
	ナルマン人イスラントに植民す。 東ササンのエフアト太守ウルン獨立す。ツル ン朝を立つ(一九〇五)。○イタリヤのカロル ス朝斷絶。 デーン人ノーマンアリアに植民す。 サレン人セラフチを取りシシリイの主とな る。○フルフレッド大王デーン人の侵寇を取 る。 シスワレーン・サルゲンド王國の建設。									

\* 公卿補任藤原基經貞觀十四年十一月攝政任とす

		醒					酬				
		1570	1569	1568	1567	1566	1565	1564	1563	1562	1561
一五七〇、 延喜(醍醐六十代)	10	庚午	己巳	戊辰	丁卯	丙寅	乙丑	甲子	癸亥	壬戌	辛酉
	9	正月菅原道實左遷○七月十五日改元○八月藤原時平等三代實録及延喜格を上る○二月本康親王薨す									
	8	二月菅原道實薨す(年五九)○十月唐人羊白龜を獻す									
	7	二月崇徳親王を皇太子とす(文獻太子)○三月安守仲行を殺す○八月日本紀を撰す○延年字多法皇仁和寺に徙居									
	6	正月天皇仁和寺に幸す○四月紀實之等古今集を上る									
	5	七月大納言藤原定國薨す(年四〇)○九月鈴鹿山の群盜を捕ふ○十二月日本紀竟宴									
	4	十月大井河行幸○十一月延喜通寶を鑄る									
	3	正月渤海朝貢す○十月藤原實根卒す(年五四)○十二月延喜格を頒つ									
	2	正月天下常平倉の穀價を定む○四月藤原時平薨す(年三九)○七月下總國賊亂す									
	1	三月二條皇太后崩す○八月僧暹御馬天覽○九月法皇瀧頂秘法を受く									
	新羅										
王 恭 孝											
14		13		12		11		10		9	
8		7		6		5		4		3	
9		8		7		6		5		4	
31		王哀		2		3		4		5	
唐(昭宗、哀帝)											
宗 昭											
7		6		5		4		3		2	
4		3		2		1		0		0	
4		3		2		1		0		0	
906		905		904		903		902		901	
910		909		908		907					
九一〇		キヤクト、フチマ朝(一一七二)									

		多					字					
		1560	1559	1558	1557	1556	1555	1554	1553	1552	1551	
一五六〇、 寛平・昌泰	3	庚申	己未	戊午	丁巳	丙辰	乙卯	甲寅	癸丑	壬子	辛亥	
	2	二月惟喬親王薨す(年五四)○六月右大臣源能有光薨す(年五三)○七月三日讓位、十三日、醍醐天皇即位年十三										
	1	二月紀長谷雄書治要を天皇に授く○四月十六日改元○七月相摸人の貢を停む										
	0	二月藤原時平左大臣となり菅原道真右大臣となす○十月宇多上皇落飾										
	30	十月三善清行革命議を上る○十一月前左大臣藤原良世薨す(年七七)○是年勧修寺創立										
	新羅											
	主女 聖 眞											
	4		3		2		1		10		9	
	28		27		26		25		24		23	
	21		22		23		24		25		26	
	唐(昭宗)											
宗 光												
3		2		1		0		9		8		
2		1		0		9		8		7		
2		1		0		9		8		7		
890		889		888		897		896		895		
891		890		889		888		897		896		
九〇〇												

一五九〇、(延喜・延長)醍醐(六十代)	醍醐									
	1590	1589	1588	1587	1586	1585	1584	1583	1582	1581
	8	7	6	5	4	3	2	長延	22	21
	寅庚	丑己	子戊	亥丁	戌丙	酉乙	申甲	未癸	午壬	巳辛
	五月新羅國使入貢を請ふ許さず ○七月大風雨。 ○四月東丹使を仰ぐ○九月廿二日即位廿九日天皇崩す○四十六日即位廿一日朱雀天皇即位 ○七月大風雨。 ○四月東丹使を仰ぐ○九月廿二日即位廿九日天皇崩す○四十六日即位廿一日朱雀天皇即位	○七月大風雨。 ○四月東丹使を仰ぐ○九月廿二日即位廿九日天皇崩す○四十六日即位廿一日朱雀天皇即位	○七月大風雨。 ○四月東丹使を仰ぐ○九月廿二日即位廿九日天皇崩す○四十六日即位廿一日朱雀天皇即位	○七月大風雨。 ○四月東丹使を仰ぐ○九月廿二日即位廿九日天皇崩す○四十六日即位廿一日朱雀天皇即位	○七月大風雨。 ○四月東丹使を仰ぐ○九月廿二日即位廿九日天皇崩す○四十六日即位廿一日朱雀天皇即位	○七月大風雨。 ○四月東丹使を仰ぐ○九月廿二日即位廿九日天皇崩す○四十六日即位廿一日朱雀天皇即位	○七月大風雨。 ○四月東丹使を仰ぐ○九月廿二日即位廿九日天皇崩す○四十六日即位廿一日朱雀天皇即位	○七月大風雨。 ○四月東丹使を仰ぐ○九月廿二日即位廿九日天皇崩す○四十六日即位廿一日朱雀天皇即位	○七月大風雨。 ○四月東丹使を仰ぐ○九月廿二日即位廿九日天皇崩す○四十六日即位廿一日朱雀天皇即位	○七月大風雨。 ○四月東丹使を仰ぐ○九月廿二日即位廿九日天皇崩す○四十六日即位廿一日朱雀天皇即位
新羅	王順敬			王哀景			王明景			
	3	2	1	4	3	2	1	7	6	5
高麗	祖 太									
	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4
渤海	二主四十凡は渤海 ふじにて年五十百									
	宗 明					宗莊(唐後)				
後唐(後梁末帝)	興	4	3	2	成天	3	2	光同	19	18
後唐(莊宗、明宗(五代))	八月孟知祥反す○十一月王昶卒	(吳大和)三月王昶其子希範に政を總しむ○九月魏王昶を削る。	(漢大有)八月王昶を削る○十一月高季昌卒。	(吳大和)三月王昶其子希範に政を總しむ○九月魏王昶を削る。	(漢大有)八月王昶を削る○十一月高季昌卒。	(吳大和)三月王昶其子希範に政を總しむ○九月魏王昶を削る。	(漢大有)八月王昶を削る○十一月高季昌卒。	(吳大和)三月王昶其子希範に政を總しむ○九月魏王昶を削る。	(漢大有)八月王昶を削る○十一月高季昌卒。	(吳大和)三月王昶其子希範に政を總しむ○九月魏王昶を削る。
丹契	4	3	2	大天	4	4	3	2	贊天	6
九三〇	930	929	928	927	926	925	924	923	922	921
							モロワール、全アフリカの主権を握る ○マサール人ドイツに侵入す。			

一五八〇、(延喜)醍醐(六十代)	醍醐									
	1580	1579	1578	1577	1576	1575	1574	1573	1572	1571
	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
	辰庚	卯己	寅戊	巳丁	子丙	亥乙	戌甲	酉癸	申壬	未辛
	五月渤海朝貢す。	七月唐商人孔雀を獻す○十一月空海入唐求法諸文冊子を經藏に置く。	九月朱雀院に幸し詩宴を命ず○十二月東大寺講堂火く。	二月三善禪行卒す(年七二)。	九月深根輔仁掌中要方を撰す○十月三善禪行卒す(年七二)。	三月天皇朱雀院に幸し法皇五十の奉賀○五月貞純親王薨す(年三二)○八月下野國藤原秀房を流す。	十月天皇痘瘡を病む。	五月京都大火○六月美服紅花深淺色等を製す○八月藤原忠平右大臣となる。	三月右大臣源光純薨す(年六八)。	二月紀長谷雄薨す(年六八)。
新羅	王明景			王德神			王恭孝			
	4	3	2	1	5	4	3	2	1	15
高麗	祖 太									
	3	2	1							
渤海	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
	新羅の末に方り弓を射す。新羅の末に方り弓を射す。新羅の末に方り弓を射す。									
	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
	帝 末					祖 太				
	6	5	4	3	2	明貞	4	3	2	化乾
	五月吳王隆演卒す○八月蜀主北遷す。	蜀光天(漢乾亨)八月蜀を伐つ○十一月越漢と改む○是年王建高麗王を稱す。	(蜀通正)梁晉陽を襲ふ○蜀丹阿保稱帝を稱す。	蜀光天(漢乾亨)八月蜀を伐つ○十一月越漢と改む○是年王建高麗王を稱す。	蜀光天(漢乾亨)八月蜀を伐つ○十一月越漢と改む○是年王建高麗王を稱す。	蜀光天(漢乾亨)八月蜀を伐つ○十一月越漢と改む○是年王建高麗王を稱す。	蜀光天(漢乾亨)八月蜀を伐つ○十一月越漢と改む○是年王建高麗王を稱す。	蜀光天(漢乾亨)八月蜀を伐つ○十一月越漢と改む○是年王建高麗王を稱す。	蜀光天(漢乾亨)八月蜀を伐つ○十一月越漢と改む○是年王建高麗王を稱す。	蜀光天(漢乾亨)八月蜀を伐つ○十一月越漢と改む○是年王建高麗王を稱す。
丹契	5	4	3	2	神册	9	8	7	6	5
九二〇	920	919	918	917	916	915	914	913	912	911
										東フランクのカロルス朝、フランク公コンラド王位に選立○西フランク王チャールズ、ノルマンの酋長ロロをノルマンデー公に封ず。コルドウのアデルターマン三世の世(九六一)、ノルマンのキャラセンの黄金時代。
										ケンブリッヂ大学の創立。
										アルガリヤ人コンスタンチノールを圖む。
										サクソニア公ヘンリー一世、ドイツ王に選立、サクソニア王統(一〇二四)始る。

一六二〇、(天慶・天曆)朱雀(六十一代) 村上(六十二代)(忠平)	上村										
	1610	1609	1608	1607	1606	1605	1604	1603	1602	1601	
	4	3	2	曆天	9	8	7	6	5	4	
	戌庚	酉己	申戊	未丁	午丙	巳乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑辛	
	平忠										
	三月文選竟寧大學北堂に行はる○七月遠 保親友を誅す○十月藤原忠平攝政をやめ十 一月關白となる。										
	四月廿二日改元、藤原實賴左大臣任○十一 月檢約法を令し物價を減定す○飛騨流行。										
	二月防鴨河使を任す○三月強盜右近衛府に 入る。										
	八月關白忠平薨す(年七〇)○九月廿九日陽 成法皇崩す(年八十二)○十一月前使を忠平 の墓に遣す、大江朝綱に坤元諱を撰せしむ。										
	正月藤原安子遂平親王を生む○七月遂平親王を 皇太子に立つ。										
高麗	宗光	宗定	宗惠	祖太						高麗	
1	4	3	2	1	2	1	26	25	24		
帝隱											
3	2	祐范	12	3	2	運開	8	7	6	高祖	
八月吳越王錢元璣卒す○十月劉知 遠吐谷潭を招く閩主帝を稱す○十 一月南唐田税を定む。											
(南唐保大)○殷天德(南唐乾和)二 月閩延政帝を稱し殷と稱す○三月 漢弘其主を試し自立す。											
正月契丹諸州を陥る○八月劉知遠等 に契丹に備へしむ○閩亡ぶ。											
正月殷國を討とむ○六月使を契 丹に遣す○南唐閩を滅す七主凡六 十年。											
十月杜威契丹を伐つ○十二月晉契 丹に降り亡ぶ二主十一年。											
(楚馬希範)正月契丹主大梁に入る ○二月劉知遠帝を晉陽に稱す○六 月知遠大梁に入り國を漢と號す。											
(吳越弘徽)正月高祖殂す○三月李 守貞反す。											
七月李守貞敗自殺す○十月契丹 河北に寇す。											
(楚馬希範)十一月馬希範帝廣を殺 し自立す○郭威自立し後漢亡ぶ二 主四年。											
遼	4	3	2	天	世宗	10	9	8	7	6	4
九五〇	950	949	948	947	946	945	944	943	942	941	
ボヘンヤ、オットー大帝に屬す。											
ロシヤ人コンスタンチノールを襲ふ (第三次)。											

朱雀											
1600	1599	1598	1597	1596	1595	1594	1593	1592	1591		
3	2	慶天	7	6	5	4	3	2	平承		
子庚	亥己	戌戊	酉丁	申丙	未乙	午甲	巳癸	辰壬	卯辛		
平忠											
五月左右京職に番樹を管漙せしむ ○十月追捕海賊使を定む。											
三月延曆寺火く○九月吳越始て入 貢す○是年新羅王高麗に降る、平 將門伯父國香を殺す。											
六月伊豫守紀取人海賊を降す○八 月吳越の使太宰府に来る忠平返歸 す攝政忠平太政大臣任。											
正月藤原仲平左大臣となる○八月 高麗使を遣し朝貢を請ふ許さず○ 十一月富士山火く。											
五月廿二日改元○四月空也京都に 念佛を唱ふ。											
三月高麗方物を貢し互市を請ふ○ 十一月平將門反し關東亂る○是年 藤原親友叛す。											
二月藤原忠文を遣し將門を討す○ 四月小野好古等親友を討つ。											
王順敬					新羅						
8					4						
二年に てじふ											
祖太											
23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	高麗	
祖高(昏後)											
5	4	3	2	福天	2	2	4	3	2	後唐	
二月楚辭書を平ぐ○是年張昭遠等 に唐書を修めしむ。											
(閩通文)十一月契丹石敬瑭を立て 晉帝とす○後唐四主十四年にて亡 ぶ○是年後百濟亡ぶ。											
(南唐昇元)四月件に遷都す○吳越 諸帝を稱し國を唐と號す吳亡ぶ四 主四十六年○契丹遼と改む。											
(後蜀廣政)三月民の銅器を作るを 禁ず○十一月公私の鑄錢を許す。											
(閩永隆)七月駐錫を禁ず、閩王 其主を試し自立す○十二月造佛寺 を禁ず。											
閏五月太師安重勳を殺す○六月田 税を均にす○十二月毎に稅錢を 收む。											
二月始て九經版印を刻書す○三月 吳越王錢鏐卒す○五月孟知祥東川 を取る。											
(閩龍啓)正月閩王延鈞帝を稱す○ 二月孟知祥を蜀王とす○七月錢元 璣吳王とす。											
(後蜀明德)蜀王孟知祥帝を稱す○ 唐主從珂蜀王從厚を弑す○七月蜀 王知祥殂す。											
(吳天祥)閩永和)十月閩其主璠を 弑す○十二月馮道を司空とす○是 年新羅亡ぶ。											
(閩通文)十一月契丹石敬瑭を立て 晉帝とす○後唐四主十四年にて亡 ぶ○是年後百濟亡ぶ。											
(南唐昇元)四月件に遷都す○吳越 諸帝を稱し國を唐と號す吳亡ぶ四 主四十六年○契丹遼と改む。											
(後蜀廣政)三月民の銅器を作るを 禁ず○十一月公私の鑄錢を許す。											
(閩永隆)七月駐錫を禁ず、閩王 其主を試し自立す○十二月造佛寺 を禁ず。											
二月楚辭書を平ぐ○是年張昭遠等 に唐書を修めしむ。											
遼	4	3	2	同會	10	9	8	7	6	5	遼
九四〇	940	939	938	937	936	935	934	933	932	931	
ドイツ王ヘンリー一世、ボンガリヤ人を 破る○アルケン二王國合してアル レス王國となる。											
バゲードのニルリブルサムラ(諸王 の王)政權を握り、カラフは單に 歌繻を有するのみ。											
ドイツ王オットー一世(大帝、九七 三)。											
アルナンバーの戦、イギリス王エセルス タン、デン人、スコットランド人を 擊敗す。											



上村											一六二〇、(天曆・天德)村上(六十二代)
1620	1619	1618	1617	1616	1615	1614	1613	1612	1611	5	
4	3	2	徳天	10	9	8	7	6	5	辛	
申庚	未己	午卯	巳丁	辰丙	卯乙	寅甲	丑癸	子壬	亥辛	也六波羅密寺を建つ。	
三月始て清涼殿に歌合を行ふ○九月内裏火く遷都後百六十七年○十一月冷泉院に遷幸。 正月吳越の使來る○三月感徳院清水寺と号す。安子守平親王を生む(圓融天皇)○十二月紫宸殿坤角に橋を修繕す。 七月諸田の調庸を免す。 七月吳越王書を相府に寄せ黄金を贈り釋書を求む○十月廿七日改元○十二月參議大江朝綱卒す○是年常平倉を置く。 三月乾元大寶鏡を鑄る。 正月始て禁中に八講を修む。 三月冷泉院を冷泉院と改む○七月菅原文時封事を上る○九月重明親王薨す(年四九)。											
宗 光											高麗
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	2	
宗 世											祖太(周後)
隆建	6	5	4	3	2	徳顯	3	2	順廣	順廣	
正月民田を度る○七月石守信等の禁兵を興るを罷む○八月女眞入貢す。 (荆南高潯)正月東京城を度む○十二月蜀鏡を鑄る。 (南唐李煜)正月文臣にて州事を知らす○二月荆南亡ぶ五主五十七年○四月諸州通判を置く。 正月趙晉を同平章事とす○七月荆鏡を頒つ○是年僧鑑義印度に赴く。 正月蜀主昶降る二世三十二年にて亡ぶ○諸路驛使を置く○八月諸道兵を禁衛に補す○封樞庫を置く。 五月秋餘賞格を罷む○同五月遺書を求む○十一月寶儀卒す。 正月曹彬嘗徽南院使となる○二月沈倫樞密副使となる○同十月舊五代史成る。 (北漢廣運)三月始て貢舉を置試す○八月北漢を伐つ○十一月遼北漢を救ふ。 正月遼其主を試す○三月太祖自ら太原を圍む○四月遼復北漢を救ふ。 正月王昭女を國子博士とす○七月州縣官吏を省き増修す○十月潘美に南漢を伐たしむ。											
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	1	
960	959	958	957	956	955	954	953	952	951	九六〇	
三月趙匡胤帝を稱し奉命を賜す後周三主九年○十一月帝行す。 (北漢承鈞)正月周主昀卒す○二月北漢主昀丹兵にて周を襲つ○三月高平の戦○四月遼道卒す。 五月無頼寺院を廢し私度僧尼を禁ず○九月佛像等にて鑄鏡す。 二月趙匡胤に命じ唐を討む之に克つ○八月欽天曆を行ふ。 (北漢天會)三月大に唐兵を破る○十月賢良經學等の科を設く。 (南唐中興)南漢天寶(三月唐江北の地を獻じ帝號を去る○十月境内の田租を均定す。 四月帝自ら遼を伐ち瀋陽の地を取る○六月趙匡胤を殿前都監檢校とす帝理し子宗訓立つ(恭帝)。 八月十日レヒフノルノ戦、オットー大帝ホンガリヤ人を破る。											
オットー大帝再びイタリヤを征し、ベネチアを襲し、自ら其王位を兼ね。 神聖ローマ帝國の創立、オットー大帝神聖ローマ皇帝となる。 東ローマ帝ニケファルスリノカスの世(一九六九)、戰勝を以て名あり。											

一六三〇、(應和・康保・安和・大祿)村上(六十二代)冷泉(六十三代)圓融(六十四代)實賴	融 泉 冷 上 村										
	1630	1629	1628	1627	1626	1625	1624	1623	1622	1621	
祿天	2	和安	4	3	2	保康	3	2	和應	辛	
午庚	巳己	辰戊	卯丁	寅丙	丑乙	子甲	亥癸	戌壬	酉辛	二月十六日改元○十一月宮殿成りて從御○是年酒經基卒す(年四五)。	
六月奉幣使を伊勢以下の諸社に發す。 八月南都北嶺の僧に各宗義を論ぜしむ○同十二月勸學院に准じて勸學院年官を給す。 七月十日改元○十一月勸學院を大藏寮別曹とす○是年櫻を紫宸殿に栽す。 正月橘を紫宸殿に栽す○四月右大臣藤原顯忠薨す(年六八)。 正月源高明右大臣となる○十二月小野道風卒す(年七)○是年良源(慈覺僧正)天台座主となる。 三月敦實親王薨す(年七五)○五月廿五日天皇崩す四十二日○六月藤原實賴自任○七月延喜式を頒つ○十月十一日冷泉天皇即位。 正月小野好古薨す(年八五)○八月十五日改元○十月藤原賴子節貞親王を生む(花山天皇)。 三月源高明及橘宗延藤原千尋等葬せらる○八月十三日即位、實賴攝政○九月廿三日圓融天皇即位○十月左大臣藤原師實薨す(年五〇)。 三月廿五日改元○五月攝政實賴崩じ(年七)○伊尹代る○十月左大臣藤原在衡薨す(年七九)。											
宗 光											高麗
21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	2	
宗 太											祖太(周後)
3	2	實開	5	4	3	2	徳乾	3	2	順廣	
正月王昭女を國子博士とす○七月州縣官吏を省き増修す○十月潘美に南漢を伐たしむ。											
2	18	17	16	15	14	13	12	11	10	1	
970	969	968	967	966	965	964	963	962	961	九七〇	
フアマ家のマイツァレマン、エツァトを征服し、アマ教主の祖となる。 東ローマ帝ニケファルス、カラセンよりアソチオキヤを取る。 オットー大帝三たびイタリヤに遠征す(一九六七)○ギラン島の主、エチラス、キリスト教を奉ず。											

一六五〇、(天元・永觀・寛和・永延・永祚・正暦) 圓融(六十四代) 花山(六十五代) 一條(六十六代) 頼忠・兼家(六十四代)	條	一	山	花	融	圓					
	1650	1649	1648	1647	1646	1645	1644	1643	1642	1641	
	曆正庚	祚永己	2子戊	延永丁	2戊丙	和寛乙	2申甲	觀永癸	5午壬	4巳辛	
	家兼			忠頼							
	九月菅原文時薨す(年八三)〇十月新造内膳(遷御)。 八月僧資然入宋〇十一月内裏火く〇十二月酒高明薨す(年六九)〇宋高若狹に來る。 四月十五日改元徳名抄著者源順卒す(年七三)。 五月非職者帶劔(兵仗)の罰法を定む〇八月廿七日即位〇十月十日花山天皇即位〇丹波康賴心方三十巻を撰ぶ。 正月良源薨す(年七四)〇四月廿七日改元〇五月藤原實明伏誅〇七月女御藤原氏子卒す〇八月酒師上皇薨す。 三日法興法を定む〇六月廿三日天皇花山院入御翌日即位、藤原兼家攝政〇七月廿二日一條天皇即位。 二月入宋僧資然歸朝〇四月五日改元〇九月兼明親王薨す(年七四)〇十二月賀茂行幸。 閏五月藤原保輔を捕ふ〇六月僧徒奇服を着し武器携帶を禁ず〇十月兼家の第に行幸。 三月始て春日社に幸す〇六月太政大臣藤原頼忠薨す(年六六)〇八月八日改元〇十二月兼家太政大臣任。 五月兼家開白帶て藤原道隆之に代り又攝政〇七月兼家薨す(年六二)〇十月菅達子皇後に女御定子中宮に進む〇十一月七日改元。										
	高麗										
	宗 成 宗景										
	9 8 7 6 5 4 3 2 1 9										
	宗 太										
	化淳 2 拱端 4 3 2 燕雍 8 7 6										
三月皇子芳徳卒す〇六月藤原正平す〇七月使を清海に遣す〇京朝官を置く。 三月秦王延美を罷め西京留守とす〇九月兼主理す、遠復契丹と號す。 正月曹彬をやむ〇三月進士を豫林苑に置す〇十月趙晉をやむ〇十一月太平御覽を修めしむ。 正月遺書を求む〇延美卒す〇十月藤原朝臣入朝す。 寺觀の増置を禁ず〇使を高麗に遣す。 三月契丹と戦ふ(岐瀋の戰)〇十二月契丹大舉入寇して諸州を陥る。 使を遣し諸州に募兵す尋て河北のみを返し諸路を罷む。 二月昌宗正相となる〇五月秘閣を作する〇李遵勗に姓名を遺保忠と賜ふ〇九月契丹寇す。 正月契丹易州を陥る〇開寶寺塔を作る大に契丹兵を敗る。											
遊											
8 7 6 5 4 3 2 4 3											
九九〇											
990 989 988 987 986 985 984 983 982 981 フアマ家ガマックスを取る。 オットー二世ワラセン人(エジプト、アマタ)アリヤ人と南イリヤに戦ひて敗績す(九八一-九八二)。 神聖ローマ帝オットー三世(一〇〇二)〇ノルウェー人エリク、グリーンランドを發見して植民す。 ノルマン人グリーンランドに植民す。 ノルウェー人アルヤニ、アメリカのウインランド海岸を眺めしが、上陸せず。 西フランクのカルス朝斷絶、ユーゲルカペー王位に選立、カペー王朝(一〇一三-一〇二八)始まる。 ロシヤのウラヂル大王キリスト教を奉ず。											

一六四〇、(天祿・天延・貞元・天元) 圓融(六十四代) 伊尹・兼通・頼忠	融	圓									
	1640	1639	1638	1637	1636	1635	1634	1633	1632	1631	
	3辰庚	2卯己	元天寅	2丑丁	元貞酉	3亥乙	2戌甲	延天酉	3申辛	2未辛	
	忠頼			通兼				尹伊			
	二月石清水臨時祭を行ひ永式とす〇十月太宰權帥源高朝を召還す。 九月空也薨す(年七七)、高麗の使者對馬に至る〇十月伊尹攝政をやむ翌月薨す(年四九)〇十一月藤原兼通攝政となる。 四月並あり源清仲の家を火く〇五月兼通寺建立の諸國を定む〇十二月廿日改元。 二月大安寺寶燧燒亡〇是年痘瘡流行。 二月武徳殿火あり〇十二月外記局文書自然燒失す。 五月内裏燒亡〇六月大地震〇七月十三日改元〇十一月朱雀院より閑院へ遷幸。 四月源兼明を親王とす〇七月皇居成る〇十月關白兼通やめ藤原頼忠代る〇十一月兼通薨す(年五三)。 十月藤原頼忠太政大臣となる〇十一月廿九日改元。 三月石清水行幸〇六月皇后藤原氏子崩す(年三三)〇十二月僧良源僧正となる。 六月藤原詮子櫻仁親王を生む(一條天皇)〇十月賀茂社行幸〇是年京都大風。										
	高麗										
	宗 景 宗 光										
	5 4 3 2 1 26 25 24 23 22										
	宗 太 祖 太										
	5 4 3 2 興 太平 8 7 6 5 4										
二月南漢亡ぶ四主五十五年〇十一月南唐國號を罷し江南と受ひ宋に朝す。 五月宋後宮三百八十餘人を出す〇辛仲甫四川兵馬監となる。 貢士を殿試す〇五月開寶通鑑を行ふ〇交州丁璠を交趾郡王とす〇八月趙晉をやむ。 九月曹彬江南を伐つ〇始めて日曆を修む。 三月遼好を通ず〇十一月曹彬金陵に克つ江南主燭降る三主三十九年。 二月曹彬樞密使となる〇八月北漢を伐つ遼之を救ふ〇十月太祖祖す。 正月、江南に權茶蕓を置く〇十月、陽ふ、江南に權茶蕓を置く〇十月、陽ふ、江南に權茶蕓を置く。 二月華文院を立つ〇五月吳越王俶降り亡ぶ五主八十四年〇七月李煜卒す〇十月内難を置く。 五月北漢降り亡ぶ四主二十九九年(天下統一)〇七月帝位を伐ち高深河に戰ふ〇八月武功王徳昭自殺す。 二月差役法を定む〇三月衡公劉緝卒す〇十月遼入寇す。											
遊											
2 亨乾 10 9 8 7 6 5 4 3											
九八〇											
980 979 978 977 976 975 974 973 972 971 デーン人のインランド侵入久しく止みたりしが、また始まる。 オットー二世フランスに進入、パリを圍みしが利なし。 東ローマ帝國最盛時期の初。 フアマ家新カイロ市を建つ〇エジプト大寺(大寺院)建立。 神聖ローマ帝オットー二世(九八三)〇エジプト教主使節をオットー大帝に送る。											

一六七〇(長保・寛弘)一條(六十六代)(道長)	條									
	1670	1669	1668	1667	1666	1665	1664	1663	1662	1661
	7	6	5	4	3	2	弘寛	5	4	3
	庚	己	戊	丁	丙	乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑辛
	長					道				
	十一月内理火く、公卿宮女の美服を禁ず○十二月東三條院皇子薨す(年四〇)○十月右近衛府火く○十二月始て内侍所神樂を置く									
	七月廿日改元○十月始て北野松尾神社へ行幸○是年高麗人因幡に漂着す									
	八月宋使來る○十一月禁内火く、翌月高麗の宣命を大神宮に奉り神饌の福災を告ぐ									
	七月神饌改竊の事を諷す○十月冷泉院火く○寛弘年中行圓一條革堂を立つ									
	三月書寫山性空寂す(年八〇)○十二月道長淨妙寺塔供養す									
二月八日花山法皇崩す(年四十一)○十月中宮皇子敦成親王を生じ(後一條天皇)										
七月具平親王薨す(年四六)○十月一條院火く(延喜天曆御記反盛)○十月中宮皇子敦良親王を生じ(後朱雀天皇)										
正月藤原伊周薨す(年三七)○二月一條院成る天皇即ち之に遷る○寛弘、寛仁中土佐禮の關祖春日基光あり										
高麗	宗顯									高麗
1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	10
(宋)眞宗	宗									
	3	2	大中	4	3	2	德景	6	5	4
	四月同福米貢○六月冗吏を汰す○九經を州縣學校に頒つ○九月趙保吉反す○十月契丹寇す									
	三月趙保吉靈州を陥る○九月神放を昭文館に直せしむ○暹羅三國寇す									
	四月王德用契丹と戦ひ敗績して執へらる○十二月田錫卒す 趙保吉敗死し子德明嗣ぐ									
	七月李茂卒す○同九月契丹大舉入寇○十二月帝親征澶州に次す契丹請盟して退く(澶淵の役)									
	正月契丹と媾和の爲大赦す、國僧司を置く○七月高麗將を契丹に贈る									
	二月高麗將を賜め陝州を知らせしむ、諸州に常平倉を置く○十月李德明降を請ふ									
	三月契丹遣西に中京を築く○七月黎利延を交趾郡王とす○八月丁謂會計録を上る									
	十月華山を封ず○十一月孔子に文聖文宣王と諡す									
四月丁謂封相、權を上のる○十二月制誦諸科を罷む○是年高麗康光其主を弑す										
二月交州將李公蘊其主を弑す公蘊を交趾郡王とす○契丹主高麗に入寇す										
1010	1009	1008	1007	1006	1005	1004	1003	1002	1001	1000
ガズニのマーメイド始て印度を征す										
○ノルウェー人レーフ・アフリカのヘルランド、マルランド、ヴァンランドを發見す										
神聖ローマ帝(ハリー二世)(一〇二四)										
ハリー二世イタリヤに遠征し、イタリヤ王となる○ハリー二世ポーランド王ボレスワフと戦ふ(一〇一八)										

一六六〇(正暦・長徳・長保)一條(六十六代)道隆・道兼・道長	條									
	1660	1659	1658	1657	1656	1655	1654	1653	1652	1651
	2	保長	4	3	2	徳長	5	4	3	2
	子庚	亥己	戌寅	酉丁	申丙	未乙	午甲	巳癸	辰壬	卯辛
	長					兼道		隆		
	二月藤原影子中宮となる○五月興福寺僧徒の遊行を禁ず									
	四月伊周及藤原隆家共に流する○七月道長左大臣となる									
	四月伊周隆家を召還す○六月高麗の使者來り書を獻ず、報せず									
	七月書案前參議藤原佐理薨す(年五八)○是年始て赤斑瘡(麻疹)流行す									
	正月十三日改元○六月内理火あり○八月太宰府高麗の賊を討て之を却く○十二月新制十一條を頒つ									
二月藤原影子中宮となる○五月興福寺僧徒の遊行を禁ず										
高麗	宗穆									高麗
3	2	1	16	15	14	13	12	11	10	10
(宋)太宗、眞宗	宗									
	3	2	平威	3	2	道至	5	4	3	2
	四月李繼遷を討つ○七月寇津免す									
	天下を十五路に分つ○三月帝崩し太子恒立つ○十二月李繼遷降る									
	張養浩李茂同平章事となる○十一月耶律休哥卒す									
	六月魯公朝彰卒す○七月始て侍讀待學士を置く○十二月帝自ら契丹の寇を防ぐ									
	正月契丹引還る○四月呂端卒す○十二月張養浩罷めらる									
	二月高麗將を賜め陝州を知らせしむ、諸州に常平倉を置く○十月李德明降を請ふ									
	三月契丹遣西に中京を築く○七月黎利延を交趾郡王とす○八月丁謂會計録を上る									
	十月華山を封ず○十一月孔子に文聖文宣王と諡す									
四月丁謂封相、權を上のる○十二月制誦諸科を罷む○是年高麗康光其主を弑す										
二月交州將李公蘊其主を弑す公蘊を交趾郡王とす○契丹主高麗に入寇す										
1000	999	998	997	996	995	994	993	992	991	1000
イギリス王エドワード二世ゲーン人に貢を納る										
オットー三世ローマに遠征、法王により戴冠式を行ふ										
ヴェニス(聖マルコ)の聖マルコ公の凱を祝す										
アレクサンダス、ローマを軍ひてオットー三世に殺さる										
ハンガリーの主スチファン、法王より王號を許さる										

一六九〇	後									
	1690	1689	1688	1687	1686	1685	1684	1683	1682	1681
3 庚午	2 己巳	元長 辰戊	4 卯丁	3 寅丙	2 丑乙	壽萬 子甲	3 亥癸	2 戌壬	治辛 安酉	
通 頼										
<p>二月二日改元、老人僧尼の百歳以下七十歳以上に歳を給す。○是年源頼光卒す。</p> <p>七月道長建立法成寺供養天皇臨幸。○是年佛工定期を法橋に補す。</p> <p>二月宮庭長殿を火く。</p> <p>三月京都大火。○七月十三日改元。○十一月勢田橋火く。</p> <p>八月尚侍藤原頼子親仁親王を生む(後冷泉天皇)。○是年赤坂崩流す。</p> <p>三月太皇太后影子を號して上東門院と云ふ。</p> <p>○八月大風官舎多く壞る。</p> <p>二月盜賊中に入り女官の衣物を奪ふ。○十一月道長病の爲法成寺へ行幸。○十二月道長薨す(年六二)藤原行成(世尊寺流祖)薨す(年五六)。</p> <p>六月平忠常下總に反し安房守惟忠を殺す。○七月廿五日改元。○十月金峯山の僧大和守藤原保昌の苛政を訴ふ。</p> <p>二月平直方忠常を伐つ克たず。○十月太政大臣藤原公季薨す(年七三)。</p> <p>四月六位已下雲畑増皮袴の家屋造作を禁ず。○九月源頼信に勅して忠常を伐たしむ。</p>										
高麗										
宗 顯										
21 20 19 18 17 16 15 14 13 12										
宗 眞										
8 7 6 5 4 3 2 聖天 興乾 5										
<p>九月吐蕃の禮勅新贊來降す。○十一月王欽若疑せらる。</p> <p>二月帝殂す皇后に遺詔して軍國の事を處分せしむ。○六月丁酉薨せらる。○十一月吐蕃李立遣來附す。</p> <p>正月計置司を立つ。○九月王欽若復相となる。○閏九月遷葬す。○十一月益州に父子を置く。</p> <p>八月帝孔子に謁す十一月皇后郭氏を立つ。○是年龜茲等來貢す。</p> <p>五月帝劉彥を親る。○十一月王欽若卒す。</p> <p>五月契丹回鶻を伐ちて敗績す。○契丹は天聖中の進士。</p> <p>正月夏竦樞密副使となる。○二月西域僧法吉祥等來り梵書を獻す。</p> <p>二月張知白卒す。○五月趙德明其子元昊に回鶻を攻めしめ其州を取る。</p> <p>二月魯宗道卒す。呂夷簡相となる。○閏二月制誦諸科を復す。○契丹大延謙反す。</p> <p>八月解鹽通商法を復す。○九月趙樞密副使となる。○回鶻降を趙德明に乞ふ。</p>										
遼										
10 9 8 7 6 5 4 3 2 平太										
一〇三〇										
<p>1030 1029 1028 1027 1026 1025 1024 1023 1022 1021</p> <p>コンラド二世ボヘミア人を伐ちて利あらず。</p> <p>イギリス王カヌート、ノルウェーに侵入す。○イスパニヤのナワール王サンチー、カステラを獲得す。</p> <p>コンラド二世シレスウィヒをアーン人に割譲す。</p> <p>イギリス王カヌート、ノルウェーに侵入す。○イスパニヤのナワール王サンチー、カステラを獲得す。</p> <p>コンラド二世イタリヤに遠征、イタリヤ王となる。</p> <p>神聖ローマ帝ヘンリー二世死し、コンラド二世嗣ぐ(一〇三九)。ヤクンニヤ王統絶えフランコニヤ王朝興る(一一二五)。</p> <p>イギリス王カヌート、キリスト教に改宗す。</p> <p>コンラド二世イタリヤに遠征、イタリヤ王となる。</p> <p>ヘンリー二世イタリヤに遠征、南方に於てギリヤ人と戦ふ。</p>										

一六八〇	後									三			一			
	1680	1679	1678	1677	1676	1675	1674	1673	1672	1671						
4 申庚	3 未己	2 午戊	仁寛 巳丁	5 辰丙	4 卯乙	3 寅甲	2 丑癸	和長 子壬	8 亥辛							
通 頼											長			道		
<p>二月大政大臣道長薨す。○三月道長の女威子女御となる。</p> <p>三月道長入道、刀伊賊入寇。○四月藤原陸家等刀伊賊擊退。○十二月頼通關白となる。○是年法成寺建立。</p> <p>四月天皇痘瘡を患ふ。○閏十二月南蠻賊薩摩國人を掠む。○寛仁年中安倍晴明卒す。○抄門始て牛車を許さる(儀禮)。</p>											<p>二月東三條院火く。○十月石清水宮に幸す。</p> <p>二月内裏火く。○五月道長の第に幸し競馬騎射の遊天覧。</p> <p>五月僧寂照等入宋(？)。○閏六月宋所獻の孔雀天覽。○九月新法内裏へ入御。○十一月内裏遷す。</p> <p>正月廿九日即位、道長嫡政となる。○二月七日後一條天皇即位。○三月齋院崩す。</p> <p>三月藤原頼通攝政。○四月廿三日改元。○五月九日三條天皇崩す。○四月十二日八月皇太子政明親王即位(小一條院)。○十二月道長太政大臣任。</p>			<p>六月十三日即位、廿二日一條法皇崩す。○三十二日十月十六日三條天皇即位、此月廿四日冷泉上皇崩す(年六十二)。</p> <p>二月宋の使白銀鑄錢等を上る。○七月大江匡衡卒す(年六一)。○十二月廿五日改元。</p>		
高麗											高麗					
宗 顯											宗 眞					
11 10 9 8 7 6 5 4 3 2											4 3 2 禧天 9 8 7 6 5 4					
<p>呂蒙正卒す。○十月會靈觀を作り五嶽を奉祀す。</p> <p>五月陳士林通に粟帛を賜ふ。○九月王欽若陳龜吳丁開政事に預る。</p> <p>正月内臣の公事に干預するを禁ず。○七月是器製を廢す。</p> <p>正月應天府を南京とす。○六月王欽若等免す張若賢卒す。○道長樞密使となる。○十月高麗來貢す。</p> <p>四月寇津陽めらる。○九月吐蕃夏州の征伐を請ふ許さず。○道士張正隱に眞形先主と賜號す。</p> <p>契丹大に高麗を破る。○八月吐蕃を破る。○是年高麗復宋の年號を行ふ。</p> <p>八月王欽若復相となる。○九月王且卒す。</p> <p>十月契丹高麗を伐つ。○十月張知白薨す。</p> <p>六月王欽若免じ海運代る。○八月道長一萬三千餘人を天安殿に會す。○僧道誠得氏要覽を撰す。</p> <p>三月向敏中卒す。○高麗成を契丹に求む。○七月丁酉等相となり寇津陽せらる。</p>											<p>呂蒙正卒す。○十月會靈觀を作り五嶽を奉祀す。</p> <p>五月陳士林通に粟帛を賜ふ。○九月王欽若陳龜吳丁開政事に預る。</p> <p>正月内臣の公事に干預するを禁ず。○七月是器製を廢す。</p> <p>正月應天府を南京とす。○六月王欽若等免す張若賢卒す。○道長樞密使となる。○十月高麗來貢す。</p> <p>四月寇津陽めらる。○九月吐蕃夏州の征伐を請ふ許さず。○道士張正隱に眞形先主と賜號す。</p> <p>契丹大に高麗を破る。○八月吐蕃を破る。○是年高麗復宋の年號を行ふ。</p> <p>八月王欽若復相となる。○九月王且卒す。</p> <p>十月契丹高麗を伐つ。○十月張知白薨す。</p> <p>六月王欽若免じ海運代る。○八月道長一萬三千餘人を天安殿に會す。○僧道誠得氏要覽を撰す。</p> <p>三月向敏中卒す。○高麗成を契丹に求む。○七月丁酉等相となり寇津陽せらる。</p>			<p>呂蒙正卒す。○十月會靈觀を作り五嶽を奉祀す。</p> <p>五月陳士林通に粟帛を賜ふ。○九月王欽若陳龜吳丁開政事に預る。</p> <p>正月内臣の公事に干預するを禁ず。○七月是器製を廢す。</p> <p>正月應天府を南京とす。○六月王欽若等免す張若賢卒す。○道長樞密使となる。○十月高麗來貢す。</p> <p>四月寇津陽めらる。○九月吐蕃夏州の征伐を請ふ許さず。○道士張正隱に眞形先主と賜號す。</p> <p>契丹大に高麗を破る。○八月吐蕃を破る。○是年高麗復宋の年號を行ふ。</p> <p>八月王欽若復相となる。○九月王且卒す。</p> <p>十月契丹高麗を伐つ。○十月張知白薨す。</p> <p>六月王欽若免じ海運代る。○八月道長一萬三千餘人を天安殿に會す。○僧道誠得氏要覽を撰す。</p> <p>三月向敏中卒す。○高麗成を契丹に求む。○七月丁酉等相となり寇津陽せらる。</p>		
遼											泰開			29		
1020 1019 1018 1017 1016 1015 1014 1013 1012 1011																
一〇一〇																
<p>カヌート全イギリスの王となる(シマカヌートとして一〇一六年以來)。</p> <p>ルカ王としては一〇一六年以來)。</p> <p>ノルマン人イタリヤを侵す。○東ローマ帝バシール二世アルガリヤ王國を討滅す。</p> <p>ロシヤ王ヤロスラフの治世(一一〇五四)王の死後國分裂す。</p> <p>セルジョイトロコの時加はる。○ペルシヤ詩人フィアル死す。</p>											<p>カヌート全イギリスの王となる(シマカヌートとして一〇一六年以來)。</p> <p>ルカ王としては一〇一六年以來)。</p> <p>ノルマン人イタリヤを侵す。○東ローマ帝バシール二世アルガリヤ王國を討滅す。</p> <p>ロシヤ王ヤロスラフの治世(一一〇五四)王の死後國分裂す。</p> <p>セルジョイトロコの時加はる。○ペルシヤ詩人フィアル死す。</p>			<p>カヌート全イギリスの王となる(シマカヌートとして一〇一六年以來)。</p> <p>ルカ王としては一〇一六年以來)。</p> <p>ノルマン人イタリヤを侵す。○東ローマ帝バシール二世アルガリヤ王國を討滅す。</p> <p>ロシヤ王ヤロスラフの治世(一一〇五四)王の死後國分裂す。</p> <p>セルジョイトロコの時加はる。○ペルシヤ詩人フィアル死す。</p>		

一七二〇 後冷泉(七十代)(頼通)	泉冷後					雀朱後				
	1710	1709	1708	1707	1706	1705	1704	1703	1702	1701
	5 寅庚	4 丑己	3 子戊	2 亥丁	承永 丙乙	2 酉乙	徳寛 申甲	4 未癸	3 午壬	2 巳辛
	通 頼									
	正月頼通の第(行幸)馬場天覽(年七六)〇十二月新宮成る、換律始て譜習を敷ず。 九月頼通の第(行幸)馬場天覽(年七六)〇十二月内裏火あり。 五月大早、仁海僧正雨を祈りて驗あり。〇十一月一椽院火く。 八月宋商但馬に来る。〇十月上東門院病む、一萬僧を集めて供養す。〇十一月廿四日改元。 正月十六日讓位、十八日後朱雀法皇崩す。三十七〇四月八日後冷泉天皇即位。 正月右大臣藤原實家(年九〇)〇二月大禮冠儀破る、大政官朝所火く。〇四月十四日改元。〇十二月興福寺火く。 八月頼通の子歌通を右大臣に任じ弟頼宗を内大臣に任ず。〇十二月清原守武來に往き私質房の爲に流さる。 五月大宰府新羅を敷ず。〇十一月内裏火く、大宰府宋曆を敷ず。〇是年頼通信卒(年八一)。 三月式部卿平親王(年五一)〇十一月佛舍利を諸國の神社に奉納す。 正月興福寺の所により大和守頼親父子を流す。〇三月大宰府の安樂寺火く。〇十二月頼通の女皇子を女御とす。									
	宗 文					宗 靖				
	4	3	2	1	12	11	10	9	8	7
	宗 仁									
	2	祐皇	8	7	6	5	4	3	2	暦慶
	二月元吳復入寇す。〇十月陝西を四路に分ち轉琦范仲淹等を經略安撫相討使とす。 正月頼通法を復す。〇二月頼通車を置く。〇五月大名府を北京とす。〇九月契丹と平ぐ。 正月元吳和を請ふ。〇二月四門學を立つ。〇十月曆法更定。〇十一月曆法更定す。 六月契丹始めて國史を修む。〇九月呂夷簡卒す。〇十一月契丹五京を定む。〇十二月元吳を夏國主とす。 正月杜衍范仲淹富弼を罷む。〇五月諸路轉運判官をやむ。 八月吳官樞密副使となり丁度參知政事となる。 三月夏珠相となる。〇十一月李迪卒す。 閏正月文彦博相となる、元吳卒し子諒亦立つ、他士亂を作す。〇四月政許を夏國主に冊す。 (西夏延嗣軍國)八月諸路の兵を汰す。〇九月僧智高反す。〇十月契丹夏を伐つ。 (西夏天祐垂聖)十一月外戚の二府任官を禁ず。〇四月雅樂を更定す。									
	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9
	1050	1049	1048	1047	1046	1045	1044	1043	1042	1041
一〇五〇	ノルマン人東ローマ領アフリカの大部分を征服す。 ヘルカースト死す、イギリスのゲーン人統治開始、藍王族エドワード王位に上る(一〇六六)。 (ヘンリー三世相争)へる三法王を廢し、レノックス二世を立て、帝冠を受く。 聖アン・武士團起る。									

一七〇〇 後朱雀(六十九代)(頼通)	雀朱後					條一後				
	1700	1699	1698	1697	1696	1695	1694	1693	1692	1691
	久長 辰庚	3 卯己	2 寅戊	曆長 丑丁	9 子丙	8 亥乙	7 戌甲	6 酉癸	5 申壬	4 未辛
	通 頼									
	二月延暦寺の僧歌新し頼通の第を觀ふ。〇六月禁内火あり。 五月京都靈藏司符を帶して往來す。〇九月京極院火け神鏡福良す。〇十一月十日改元。 三月頼通の女皇子を中宮となす。〇四月廿一日改元。〇八月皇王親仁親王を立て、皇太子となす。頼通白故の如し。 六月佛舍利を諸社に遺す。〇十二月春日社へ行幸。 七月内親王頼子(仁親王を生じ)後三條天皇。〇八月大風殿舎門前寺社民屋多く倒る。〇十二月醫得業生を撰試す。 三月大納言藤原實家(年六九)〇十月實院にて歌合あり。 四月十七日天皇崩す。二十九〇七月十日後朱雀天皇即位。〇九月中宮成子(高)寂照來地に寂す。 二月頼通の女皇子を中宮となす。〇四月廿一日改元。〇八月皇王親仁親王を立て、皇太子となす。頼通白故の如し。									
	宗 靖					宗 徳				
	6	5	4	3	2	1	3	2	1	22
	宗 仁									
	定康	2	元寶	4	3	2	祐景	2	道明	9
	六月元吳の賜姓官爵を削る、浮費を省く。〇夏人入寇す。 正月元吳大に入寇す。〇二月起職官事の禁を除く。〇三月轉琦范仲淹に陝西を撫せしむ。 四月王曾宰相めらる。〇元吳警漢二字院を設く。 (西夏延嗣)十月元吳反す、大夏帝を稱す、百官の服色を戒む。〇十一月王曾卒す。 六月元吳の賜姓官爵を削る、浮費を省く。〇夏人入寇す。 正月元吳大に入寇す。〇二月起職官事の禁を除く。〇三月轉琦范仲淹に陝西を撫せしむ。 四月王曾宰相めらる。〇元吳警漢二字院を設く。 (西夏延嗣)十月元吳反す、大夏帝を稱す、百官の服色を戒む。〇十一月王曾卒す。 九月頼通宅を作る。〇十一月郭太后崩す。五代及諸國の後を録す。〇十二月吐蕃趙元昊を破る。 三月致仕の官俸を給す。〇五月歐陽修等を起す。〇七月太宗正可を置く。〇十月契丹始めて進士を設試す。 五月契丹主其母蕭氏を幽す。〇十月趙元昊反す。 二月張士遜相となる。〇十一月夏王趙德明卒し子元昊嗣ぐ。 三月郭太后崩し帝親政す。〇四月呂夷簡夏竦等罷めらる。〇元昊赤髮令を下す。									
	8	7	6	5	4	3	2	熙重	興宗	長
	1040	1039	1038	1037	1036	1035	1034	1033	1032	1031
一〇四〇	西チタセンのオスマン朝回ゆ、緬後國土分崩す(一〇九一)。 アルゼンドのアル王院斷嗣。 ナワール王サンチャー、カスチラを獨立王國となす。 カスチラ死す、二子ハロルド、ハルカス、イギリスの主となる。〇アラゴン、ナワールより分離し獨立王國となる。 アラビヤの哲學者醫學者アヴェセンナ死す(一〇三七)。 ハロルド、イギリスの獨裁君主となる。〇トルバルメド、ベルシヤにセルジウツトリト國を建つ(一〇五〇)。 神聖ローマ帝(ヘンリー三世)一〇五六)〇マックス、ゲンカンを殺しスロトランドの王となる。 ハルカス、イギリス王となる。									

一七三〇、 〔康平・治暦・延久〕後冷泉(七十代) 後三條(七十一代)〔頼通・教通〕	條三後		泉 冷 後							高麗	
	1730	1729	1728	1727	1726	1725	1724	1723	1722		1721
	2	久延	4	3	2	曆治	7	6	5		4
	成庚	酉己	申戊	未丁	午丙	巳乙	辰甲	卯癸	寅壬		丑辛
	通 教			通 頼							
	二月絹布の制を定む○三月關白教通太政大臣となる○十月感神院火く。			十一月出雲杵雲社倒る○十二月頼通太政大臣となる。 九月頼通太政大臣を罷む。是月頼清原武則等と貞任を誅し宗任を降し亂平ぐ。 二月頼義家以下の軍功を賞す○十月僧靜菴を伊豆に流す。 閏三月頼義京師に歸る○九月源頼實佐渡に流さる。 二月前右大臣頼宗薨す(年七三)○源房内大臣任(源氏内大臣の始)○八月二日改元○宋人擧到す。 五月宋商賈及端端を獻す○七月流入源頼實僧形等を獻す。 十月頼通の請にて平等院に幸す○十二月頼通關白を罷む。 四月藤原教通關白となる○四月十九日天皇崩す○四月十四日後三條天皇踐祚、七月廿一日即位○是年宋人土物を上る。 二月新置の莊園を併む○四月十三日改元○八月平惟盛等を遣し賊帥致親を大和國蓋原多山に討す○閏十月始めて記録所を置く。							
	宗 文										
	24	23	22	21	20	19	18	17	16		15
	宗 神			宗 英			宗 仁				
	3	2	寧熙	4	3	2	平治	8	7		6
(西夏)天福(寧熙)三月利法科を置く○八月夏入寇す○十二月保甲法及募役法を行ふ。			二月三司條例を創置す○七月均輸法を行ふ○九月青苗法を行ふ○十一月諸路提舉官を置く。			六月司馬光王安石各任官○閏八月歐陽修參知政事となる○十月夏國の漢衣冠を用ふるを許す。 四月包拯卒す○十月諸路に轉錢を賜ひ常平倉を助成せしむ。 (西夏)拱化)三月帝昀す○五月富弼樞密使となる○耶律重元反し敗死す。 九月経寇を開く○十二月吐蕃木征内附を乞ふ○治平年中曾鞏南蕃書を校讐す。 四月懷王崇奉の典禮を議せしむ○七月富弼等やみ文彦博任官す○十一月吐蕃の置勅新設死す。 正月契丹復國號を遣と改む○夏人の入寇を撃退す○十二月子項を皇太子とす。 正月帝昀す○三月歐陽修罷る○十二月夏主諒祚卒し子梁常立つ。					
達	6	5	4	3	2	雍咸	10	9	8	7	
一七四〇	1070	1069	1068	1067	1066	1065	1064	1063	1062	1061	
	イギリス王ハロルド、イギリス王位に登る○十月十四日(ヒースタン)の戦、ノルマンディー公ウィリアム、イギリスに侵入ハロルドを敗死せしむ。而してイギリス王に選立せらる。										
	トルコ人ロバート、イギリス王位に登る○イギリスの兄弟サラセン領を征服す。										
	トルコ人ロバート死す○ハロルド、ウィルスを征服す。										

一七二〇、 〔永承・天喜・康平〕 後冷泉(七十代)〔頼通〕	泉 冷 後										高麗
	1720	1719	1718	1717	1716	1715	1714	1713	1712	1711	
	3	2	平康	5	4	3	2	喜天	7	6	
	寅庚	亥己	戌戊	酉丁	申丙	未乙	午甲	巳癸	辰壬	卯辛	
	通					頼					
	五月興福寺又焼亡○七月宋商を越前に安置す○八月伊勢守藤原義孝を流す、新造賀陽院へ還幸。 正月一條院火く意切創災す。 二月一條院成る○八月源頼義再任を奏請し安倍頼時を討つ。 九月頼時伏誅す○十二月頼義を陸奥守とし貞任を討たしむ。 二月禁内火あり大極殿に及ぶ、天徳四年内理の災上より九十九年間に十回罹災、法成寺全焼○八月廿九日改元。 正月一條院火く意切創災す。					正月小一條院薨す(年五八)○七月新造の冷泉院へ遷御○是年安倍頼時陸奥を亂す。 三月宇治別業成り平等院と號す○八月長谷寺焼亡す。 正月十一日改元○三月鳳凰堂建立○六月從一位源倫子(道長の妻)薨す(年九〇)、藤原茂子貞仁親王を生む(白河天皇)。 正月賀陽院火く○十二月京極院火く。 三月犯人禁中に籠る職人源頼時等之を捕ふ○九月法成寺僧房火く。 二月一條院成る○八月源頼義再任を奏請し安倍頼時を討つ。 九月頼時伏誅す○十二月頼義を陸奥守とし貞任を討たしむ。 二月禁内火あり大極殿に及ぶ、天徳四年内理の災上より九十九年間に十回罹災、法成寺全焼○八月廿九日改元。 正月一條院火く意切創災す。					
	宗 文										
	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	
	宗 仁					宗 嘉					
	5	4	3	2	祐嘉	2	和至	5	4	3	
四月寛徳民力司を置く○五月王安石を度支判官とす○六月契丹國子監を新置す○七月新曆書成る。 二月權茶法を更む○十一月處士郡雍を召す至らず。 四月包拯卒す○十月諸路に轉錢を賜ひ常平倉を助成せしむ。 (西夏)拱化)三月帝昀す○五月富弼樞密使となる○耶律重元反し敗死す。 九月経寇を開く○十二月吐蕃木征内附を乞ふ○治平年中曾鞏南蕃書を校讐す。 四月懷王崇奉の典禮を議せしむ○七月富弼等やみ文彦博任官す○十一月吐蕃の置勅新設死す。 正月契丹復國號を遣と改む○夏人の入寇を撃退す○十二月子項を皇太子とす。 正月帝昀す○三月歐陽修罷る○十二月夏主諒祚卒し子梁常立つ。					六月瑞物の貢獻を禁ず○十月夏瑞卒し羅維相となる。 五月范仲淹卒す、樞密高諸州を陥る○十月胡瑗國子監直學となる。 (西夏)寧熙)正月欽苴哥高を伐ち之を平ぐ○閏七月内侍員を定む。 正月貴妃張氏卒す○八月劉沆相となる。 六月文彦博富弼相となる○宋守備糧餉を討ち克たす○十二月六塔河を修む。 閏三月唐介知諫院となる○十二月劉沆免ず包拯を開封府に知せしむ。 (西夏)寧熙)二月杜衍卒す○三月欽苴哥卒す○八月諸州に唐軍倉を置く○九月契丹來聘す。 四月包拯卒す○十月諸路に轉錢を賜ひ常平倉を助成せしむ。 二月權茶法を更む○十一月處士郡雍を召す至らず。 四月寛徳民力司を置く○五月王安石を度支判官とす○六月契丹國子監を新置す○七月新曆書成る。						
達	6	5	4	3	2	清道	22	21	20	19	
一七六〇	1060	1059	1058	1057	1056	1055	1054	1053	1052	1051	
	ギリシャ、ローマの二教會全く分離す。 セルビア、ブルガリア王(パトリック)セルビア、パトリックの召により行きて反對派を斥く。 神聖ローマ帝ヘンリー四世(一一〇六)。 東ローマ帝國衰頹時期(一一二〇四)。 セルビア、ブルガリアの全盛、王はパトリックの兄弟サラセンの權威を併す。 ローマ法王ニコラス二世(後法王)の選立はカルダナル會の決定に依ると定む。										

一七五〇、 堀河(七十三代)(師實)(白河上皇)	河 堀					河 白				
	1750	1749	1748	1747	1746	1745	1744	1743	1742	1741
	4 午庚	3 巳己	2 辰戊	治 卯丁	寛 寅丙	2 丑乙	德 子甲	3 亥癸	2 戌壬	保 酉辛
	皇上河白			實 師						
	二月十日改元○四月興隆寺僧多武峰を賛く○六月延暦寺の僧三井寺を賛く○九月源朝家を遺し園城寺の児冠を賛く○八月宋高麗を賛く○十月右大臣家兼(年四六)熊野僧徒を賛く○十一月宋に報謝す○是年源朝家を賛く○八月高麗に遣使す○二月富士山火く○是年義家陸奥守兼鎮守府將軍となる○五月僧頼朝(年八三)○九月中宮賢子(年二八)天皇故事に在る○是年筑前の人高麗に赴き貿易す○七月檢非違使に勅し親徳神長神白社社の淫祠を毀たしむ○八月故中宮賢子の爲に供養す○十一月皇太弟實仁親王薨す(年一五)○七月鳥羽院宮を興す○九月藤原通俊後給遣車上○十一月廿九日即位○十二月廿九日堀河天皇即位○是年源朝家清原武衡を討つ○四月七日改元○十二月義家清原武衡の伏誅を奏す○政上皇に出づ(院宣の政治起る)○二月上皇高野山に幸す○十月宋高麗を賛く○十一月大政大臣僧長やめ翌月藤原實代る○是月名賢丹波源氏卒す(年六八)○四月藤原大政大臣を罷む○十二月上皇叡山に止宿し又彦根山西寺に幸す○正月上皇熊野山に幸す○十二月師實執政を罷め開白となる									
高麗	宗 宣					宗 順 宗 文				
	7	6	5	4	3	2	1	1	36	35
(宋)神宗、哲宗	宗 哲					宗 神				
	5	4	3	2	祐元	8	7	6	5	4
	二月呂公著相となる○四月經義詩賦を以て士を試む○五月呂公著を新州に安置す(天祐民安)二月文彦博致仕○三月韓忠彦同知樞密院事となる○蘇轍御史中丞となる					四月河陽を築く○七月夏を伐つ師潰ゆ○選格を定む○四月王珪等相となる○曾鞏中書人となる○九月夏人進に入寇す○二月夏人入寇す○同九月富弼卒す○十一月文彦博致仕○正月夏人復入寇す○五月孟昶を孔子に配食す○十二月馬光質通鑑を上る○三月帝崩す、太后高氏既に崩す○五月程頤王珪卒す○是年保甲保馬市易等の新法を罷む(西夏天安遷延)同二月馬光相ととる○青苗免役兩法をやむ○四月王安石卒す○七月夏主秉常死し子乾順立つ○九月馬光卒す(西夏乾順天德治平)正月安石が經義字説を罷す○四月呂公著相となる○同十二月薨卒す				
遼	6	5	4	3	2	安太	10	9	8	7
一〇九〇	1090	1089	1088	1087	1086	1085	1084	1083	1082	1081
	アフリカ、モロッコ、フルメラ、アムール(サラセン人)イスパニヤのサラセン領を大半征服す(一一〇二)									

一七四〇、 白河(七十二代)(教通・師實)	河 白					條三後				
	1740	1739	1738	1737	1736	1735	1734	1733	1732	1731
	4 申庚	3 未己	2 午戊	曆 巳丁	承 辰丙	3 卯乙	保 寅甲	5 丑癸	4 子壬	3 亥辛
	實 師			通 教						
	十一月天皇高陽院より大内に還御○二月伊勢内宮の外院火く○六月延暦寺僧徒強訴す○七月源朝子善仁親王を生む(堀河天皇)○八月源朝家清原房等の構兵討つ○八月藤原僧長大政大臣となる○同八月高麗王の求賢を却く宋高麗貢に来る			七月侍臣の詩を試む○八月新造内裏へ還幸○十月始て日吉行幸○三月僧成尋入宋す○八月物價を定む○九月斗升の法を定む(延久宣旨)○十二月即位、廿九日白河天皇即位○五月七日後三條法皇崩す○十月僧成尋歸朝す、宋主一切経等を贈る○二月宇治白河通鑑(年八三)○六月叡山の僧園城寺を賛く○八月廿三日改元○十月上東門院薨す(年八七)○二月延暦寺の僧園城寺の僧と相闘ふ○八月法勝寺を創む○九月白河通鑑(年八〇)○十月藤原師實開白となる○十月大井川に幸し三條の御遊あり○十二月六條宮成る天皇之に徙る○二月源朝房薨す(年七〇)宋高麗羊を獻す○十一月十七日改元○十二月法勝寺成る○是年瘧疾流行○二月天皇高陽院より大内に還御						
高麗	宗 文					宗 神				
	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25
(宋)神宗	宗 豐元					宗 神				
	3	2	豐元	10	9	8	7	6	5	4
	六月官制を詳定し雅楽を定む○九月百官寄諱の格を定む○五月高麗參知政事となる○八月蘇軾赴る○九月内刑を復し大理獄を復す○是年通鑑外記の著書創起す○九月高麗僧長大政大臣となる○八月高麗王の求賢を却く宋高麗貢に来る					二月科擧法更定○五月呂公著卒、高麗來貢す○六月富弼を罷す○三月文彦博日暮死し子乾順嗣ぐ、市易法を行ふ○保馬法を行ふ○八月歐陽修卒す方田均稅法を罷む○六月軍器監を置く、周敦頤卒す○九月王昭世著の四城を取る、兗行録を收む○四月權に新法を罷む復行ふ、王安石免す○七月手實法を立つ○是年女眞烏古遜卒す(西夏天安)二月王安石復相となる○六月韓琦卒す○七月河東を割地して遼に與ふ○一月交趾入寇す○正月交趾邕州を陥る○十月王安石免す○十二月郭進交趾王李乾徳を降す○九月郭守志卒す○十一月張勳王乙辛其君の子相を殺す○張勳卒す○是年通鑑外記の著書創起す○九月高麗僧長大政大臣となる○八月高麗王の求賢を却く宋高麗貢に来る				
遼	6	5	4	3	2	康太	寧太	9	8	7
一〇八〇	1080	1079	1078	1077	1076	1075	1074	1073	1072	1071
	ヘンリー四世ローマ遠征に敗績す○クヌート五世のハルム(ヘンリーに抗してドイツ王となる)○アレクシス、コンスタンチノールを陥れ東ローマ帝となる○去年ロバート・ハースカルド、アレクシスと戦ひ、アラバに於て之を敗る									





		德 崇					羽 鳥				
		1790	1789	1788	1787	1786	1785	1784	1783	1782	1781
一七九〇、(保安・天治・大治)鳥羽(七十四代) 崇徳(七十五代)(白河法皇・鳥羽上皇)	5	4	3	2	治大	2	治天	4	3	2	
	庚辰	酉己	申戊	未丁	午丙	巳乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑辛	
皇 上 羽 鳥		皇 法 河 白									
二月忠通の女皇子を立て、中宮となす。十月、神護の戒を嚴にす。		三月忠通の海賊を捕ふ。○四月忠通大政大臣を罷む。○七月忠通、是月七日、白河法皇崩す。○七月、忠通、是月七日、二月忠通の女皇子を立て、中宮となす。○十月、神護の戒を嚴にす。									
高麗		宗 仁					宗 睿				
8		7	6	5	4	3	2	1	17	16	
宗 高(宋南)		宗 欽			宗 徽						
4		3	2	炎建	康靖	7	6	5	4	3	
(宋)徽宗、欽宗、高宗		○九月、徽宗、欽宗、高宗、宋の都統、耶律和孫を降す。○九月、徽宗、欽宗、高宗、宋の都統、耶律和孫を降す。○九月、徽宗、欽宗、高宗、宋の都統、耶律和孫を降す。									
金		8	7	6	5	4	3	2	天會	6	5
一一一〇		1130	1129	1128	1127	1126	1125	1124	1123	1122	1121
シリー、伯ロジャー、二世シリー王と稱す。		マホメド、ロジャー、アフガニスタンに於て反す。○アルモラビド、唯一論者の國の興、マホメド、ロジャー、アフガニスタンに於て反す。									

		羽 鳥									
		1780	1779	1778	1777	1776	1775	1774	1773	1772	1771
一七八〇、(天永・永久・元永・保安)鳥羽(七十四代)(白河法皇)	2	永元	5	4	3	2	久永	3	2	2	
	安保	亥己	永元	酉丁	申西	未乙	午甲	巳己	辰壬	卯辛	
皇 上 羽 鳥		皇 法 河 白									
四月十日改元。八月、國城寺延壽寺と号ふ。十一月、白忠實文書内覧を罷む。		五月高陽院災す。○十月、大炊殿成る。○十二月、忠實大政大臣となる。○四月、延壽寺を建て、二寺に和音を勧す。○七月、十三日改元。○十二月、僧仁寛を流す。○七月、十三日改元。○二月、京都民間の捲衣を服するを禁ず。○七月、延壽寺僧徒の兵仗を帯ぶるを禁ず。○十二月、大納言源俊明死す(年七十一)。○四月、久我雅實を右大臣、藤原忠通を内大臣とす。○是年、鳥千歳若の前女御す(白拍子の始)。○二月、我が朝、高麗に赴き貿易す。○五月、宋、高麗に書到る。○七月、新調七條を下す。○是年、三井寺行尊僧正となる。○五月、内裏に關籠草あり。○九月、堀河宮災す。○十二月、藤原女子女御となる。○正月、皇子中宮となる。○三月、宋、高麗に此し書を贈る。○四月、三日改元。○九月、法皇崩す。○幸す。○十二月、最勝寺建立。○五月、中宮、藤原女子を生む(崇徳天皇)平正盛に益殿常洲を命ず。									
高麗		宗 睿					宗 徽				
15		14	13	12	11	10	9	8	7	6	
宗 徽		和宣		和重	7	6	5	4	3	2	和政
(宋)徽宗		八月、張商英を罷め、蔡京の官を復す。○九月、張商英の職起る。○九月、官名を更定す。○十二月、童貫に太尉を加ふ。○二月、太后劉氏自殺す。○十二月、童貫を求む。○女眞、阿骨打、都統、極烈と目録す。○二月、童貫を罷し、國を稱して、十一月、女眞、淮河に遼軍を破る。○(西夏)夏宗、正月、遼軍を破る。○正月、女眞、帝を稱し、國を稱して、金といふ。○九月、金、遼の襄陽府を取る。○正月、童貫を西、西河、宣撫使とす。○同、正月、遼軍を立つ。○十月、夏人入寇す。○二月、大理入寇す。○七月、揚州、前入船所を置く。○八月、遼軍、軍を置く。○二月、馬政を金に遣し、遼を夾攻せん。○(西夏)元德、正月、寺院を更て、官職とす。○占城入寇す。○八月、金、女眞文字を制す。○二月、童貫、遼軍を破る。○九月、金、入寇す。○遼、遼軍を破る。○九月、金、入寇す。○遼、遼軍を破る。○九月、金、入寇す。									
金		10	9	8	7	6	5	4	3	2	慶天
一一一〇		1120	1119	1118	1117	1116	1115	1114	1113	1112	1111
ハンス、五世法王、バスカル二世を捕へ、僧官、叙任の帝、權に同意せしむ。○(ヘンリー)六世法王の戴冠式を受く。○バスカル二世、去年の擧歩を根絶し、ワイルドの會議にて、ヘンリー五世を破門す。		ハンス、五世法王、バスカル二世を捕へ、僧官、叙任の帝、權に同意せしむ。○(ヘンリー)六世法王の戴冠式を受く。○バスカル二世、去年の擧歩を根絶し、ワイルドの會議にて、ヘンリー五世を破門す。									

一八〇〇	衛 近									德崇
	1810	1809	1808	1807	1806	1805	1804	1803	1802	1801
代(永治・康治・天養・久安)崇徳(七十五 近衛(七十六代)(鳥羽法皇)	6 午庚	5 巳己	4 辰戊	3 卯丁	2 寅丙	安久乙 丑	養天甲 子	2 亥癸	治康壬 戌	治永辛 酉
	皇 法 羽 鳥									
<p>三月鳥羽上皇御節○七月十日改元○十二月七日即位○廿七日近衛天皇即位(年三歳)關白藤原忠通攝政。</p> <p>三月園城寺の僧延曆寺を焼く○四月廿八日改元。</p> <p>正月源成雅藤原頼朝を鳥羽宮中に傷く○六月太宰府の觀世音寺火く○十二月僧覺範(年四九)。</p> <p>二月廿三日改元○六月藤原頼朝花巻を撰上す○十月白河離宮成る。法皇徒御○是年藤原光卒す。</p> <p>三月興福寺の僧東大寺を攻む○七月廿二日改元○八月待賢門院崩す(年三五)○九月興福寺の僧徒金峰山を攻む。</p> <p>三月園城寺の僧延曆寺の僧坊を焼く。</p> <p>二月前左大臣頼有仁薨す(年四五)○五月白山延曆寺の末寺となる○十月延曆寺の僧徒の首惡を捕ふ。</p> <p>六月内膳火く○八月興福寺の僧徒入京訴へんとす○十二月大德寺被破裂○是年攝政忠通法性寺を建つ。</p> <p>五月高野大塔雷火○十月攝政忠通復太政大臣となる太政大臣の再任に始る。</p> <p>三月忠通薨す(十二月崩白任)○四月忠通皇子を女御に立て藤原頼長と稱す○八月僧隆覺興禪師別當任○九月頼長氏長者となる。</p>										
高麗	宗 毅			宗 仁						19
	4	3	2	1	24	23	22	21	20	
(南宋)高宗	宗 高									11
	20	19	18	17	16	15	14	13	12	
金	2	帝亮 天德	8	7	6	5	4	3	2	總皇
一一五〇	1150	1149	1148	1147	1146	1145	1144	1143	1142	1141
<p>イギリス王スワフン、マールガ(ン)ン、伯の妃(氣)に擁せらる。</p> <p>コンラド三世、ヘンリー(獅子)をサドニヤ公國に封ず。</p> <p>ローマに共和的革命起る○東ローマ帝マヌエルコムネヌスの世(一一一八)○セルジュ族、ノルマン人、ホンガリヤ人ととの戦絶えず。</p> <p>トルコ人エテヤを陥れ、イェルサレムに迫る。</p> <p>フアン・ロドリゲス(マホメッド)リシアガタの繼承者(イスパニヤに渡る)○イスパニヤのアルモラヴイド王國の分裂。</p> <p>シリヤ王ローシャ、東ローマ領を劫掠す○西サラセン、アルモハド朝(一一三三)、始祖アブ・ムスリム。</p> <p>第二次の十字軍(一一四九)ドイッ皇帝コンラド三世フランス王ルイ七世主將たり。</p> <p>十字軍、ガマラスを圍みて利あり○アルモハド人コルドワを占領す。</p> <p>十字軍、聖地より歸る。</p>										

一八〇〇	德 崇									一八〇〇
	1800	1799	1798	1797	1796	1795	1794	1793	1792	
鳥羽上皇	6 申庚	5 未己	4 午戊	3 巳丁	2 辰丙	延保乙 卯	3 寅甲	2 丑癸	承長壬 子	天承辛 亥
	皇 上 羽 鳥									
<p>正月晦日改元○二月豐利産削失す○十二月家忠左大臣有仁右大臣藤原宗忠内大臣各任。</p> <p>二月良忍薨す(年六)○三月三十三間堂成る。平忠盛院昇殿を許さる○八月十一日改元○九月新制十四條を定む。</p> <p>七月延曆寺西塔學徒中堂僧と闘ふ。</p> <p>三月上皇の女御藤原泰子を尊び皇母といふ。京番條路を修め決水平途す○是年天下飢饉。</p> <p>四月西園海賊頻起。是月廿七日改元○八月平忠盛海賊三十餘人を獲て入京○是年式部大輔藤原光七勢を疏陳す。</p> <p>五月前左大臣家忠薨す(年七五)○十二月有仁左大臣宗忠右大臣頼長内大臣となる。</p> <p>二月興福寺の僧徒京師に入訴す○九月鳥羽天養○十二月平季盛を佐渡に流す。</p> <p>三月京師大火○六月園城寺の僧徒別當頼仁房を焼く○十一月土御門殿火く累代御笏等燬失す。</p> <p>五月興福門院體仁親王を生む。八月立て、皇太子となす。</p> <p>閏五月延曆寺の僧園城寺の僧と闘ひ園城寺を焼く○九月鳥羽僧正覺範薨す(年八八)數名に名あり○佐藤教清遺世出家西行と稱す。</p>										
高麗	宗 仁			宗 高						9
	18	17	16	15	14	13	12	11	10	
(南宋)高宗	宗 高									興紹
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	
金	3	2	春天	15	14	13	12	11	10	9
一一四〇	1340	1139	1138	1137	1136	1135	1134	1133	1132	1131
<p>八月秦檜相となる○十月吳玠吳玠金人を大に和尙原に破る。始て見續子に置く。</p> <p>正月帝臨安に往く○八月秦檜免す○十二月始て湖南に月結鑄を取る。</p> <p>十月李成京西諸郡を陥る○十一月金の副將兀朮和尙原を陥る。</p> <p>三月吳玠吳玠大に兀朮を破る○十月韓世忠金人を大儀に破る帝出て金を防ぐ。</p> <p>(西夏大德)四月徽宗金に租す、楊時卒す○六月岳州賊楊太を平ぐ○十一月金蒙古を伐つ。</p> <p>(西遼成清)七月程氏學を禁ず○九月岳州中軍恢復を請ふ許さず○是年西遼大石租す。</p> <p>三月王倫を金に遣す○七月金の結没喝卒す○十一月金計を騙て齊帝(劉豫)を廢す。</p> <p>(金天眷)二月臨安に眞都す○八月金官制を頒つ○十一月金との和議に付胡銜撤す。</p> <p>正月和金大敗○二月王倫を東京留守とす尋てやむ○六月夏主乾順卒し仁孺立つ、吳玠卒す。</p> <p>(西夏大德)正月李綱卒す○六月吳玠劉錡各金兵を破る○七月岳州大に金兵を破る。</p> <p>ホルドゥン二世死し、養子ファンシのフルコ(一一四三死)繼ぐ○フルコ王の世イェルサレム王國最大域に達す。</p> <p>ロタール二世法王インセント二世を擧げんがためローマに遠征す(一一三三)。</p> <p>イギリス王ステファン(一一五四)○ロタール・ホーエンシュタウフェン家を降す。</p> <p>ロタール、イタリヤ及シリヤに遠征して勝つ(一一三七)。</p> <p>フランス王ルイ七世(一一八〇)。</p> <p>スタンダードの戦○ドイッ帝コンラド三世(一一五二)、ホーエンシュタウフェン王朝の祖。</p> <p>第二次ラテラン會議(第十次宗教會議)○ホルトガル伯(ヘンリー)を稱す。</p> <p>ウァンズベルヒの戦、ゲルフ六世、コンラド二世に敗らる。</p>										



一八五〇、 養和、壽永、元暦、文治、建久、安徳、(八十二代)後鳥羽、(八十三代)後白河法皇、(廣元)	羽鳥後					徳安				
	1850	1849	1448	1847	1846	1845	1844	1843	1842	1841
久建 成庚	5 百己	4 申戊	3 未丁	治文 2 午丙	(元治文) 4 巳乙	(元暦元) 3 辰甲	2 卯癸	永壽 寅壬	和養 丑辛	
皇法河白後										
元 廣*										
<p>五月廿七日改元○明年宋佛工陳和卿大佛修補、法皇願成に千載集を撰せしむ。</p> <p>去年九月源朝仲兵、翌月平軍富士河に潰す○正月十四日高倉上皇崩す○閏二月廣盛(年六四)○七月十四日改元。</p> <p>五月廿七日改元○明年宋佛工陳和卿大佛修補、法皇願成に千載集を撰せしむ。</p> <p>五月平維盛源並山に大敗す○七月義仲京都に逼り平族天皇を奉じて西奔す○八月廿日法皇後鳥羽天皇を立つ。</p> <p>正月義仲東津に敗死す○二月一谷の戦○四月十六日京都元暦と改元○十月頼朝鎌倉に公文所を開き問注所を置く。</p> <p>二月義経平兵衛に破る○三月廿四日平氏亡ぶ、寶剣海に入る○四月神皇入京○八月十四日改元○十一月守備地頭を置く○十二月義経十八人を置く。</p> <p>三月源政基通やめ九條兼實代る○源行家殺さる○是年義経藤原秀実に投ず。</p> <p>二月記録所を復す○七月寶剣を長門海中に嘗めしむ○九月千載集成る○十月藤原秀衡卒す。</p> <p>二月鳥羽の國司に義経を捕へしむ○五月藤原信房天野遠景等鬼界島を平ぐ。</p> <p>閏四月衣川合戦、藤原泰衡義経を殺す○九月頼朝奥羽を平定す。</p> <p>二月頼朝奥人大河兼任の亂を平ぐ、西行寂す(年七三)○四月十一日改元○十一月頼朝入朝○是年遠民宋に遷す。</p>										
高麗										
宗 明										
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
宗 孝										
宗光	16	15	14	13	12	11	10	9	8	
熙紹	16	15	14	13	12	11	10	9	8	
<p>七月呂維翰卒す○八月王推相となる○十二月朱熹の社會法を諸路に下す。</p> <p>九月朱熹を江南の擄刑とす固辭す。</p> <p>三月李綱贖資治通鑑長編を上る○六月道學を禁ず。</p> <p>三月金主會景に之く。</p> <p>四月金主會景に服恤し諸に還る。</p> <p>講臣を宴す○五月歲士郭雍に頌正先生の號を賜ふ。</p> <p>二月周必大相となる○十月高宗瑄す○十二月金文那服を著するを禁ず○小學章句成る。</p> <p>正月補綱拾遺の官を復置す翌年之を罷む○五月王推罷む。</p> <p>朱熹の大學章句成問成る○帝、位を太子棹に傳ふ。</p> <p>二月道學の誹議を禁ず○三月金給て制舉及安詞科を置く。</p>										
金										
一八九〇										
<p>第三次の十字軍(一一九二)、フレデリック一世の子ヘンリー二世(英王)及びフリードリヒ二世(佛王)主將たり。</p> <p>ドイツ騎士團設立○フレデリック一世カリカドラス河に溺死す、子ヘンリー四世、(ドイツ帝)ヘンリー六世、(一一九七)。</p> <p>東ローマ帝國コムネヌス朝の終焉。</p> <p>フレデリック一世の子ヘンリー二世の女嗣と婚す○アルカトリウスが女王國の建設○印度のコール朝興る。</p> <p>カラマン、イェルサレム王國を滅す。</p> <p>コンスタンツの和約、フレデリック一世、ロンバルディア同盟と和し、其自由を許す。</p> <p>第三次ラタランの會議(第十一次宗教會議)</p> <p>フランス王フィリップ二世(一二二二)。</p>										

\* 執權は政所別當大江廣元を呼びて執權と稱せしに權興するが故廣元の別當たりし年より始む

一八四〇、 承安、安元、治承、 高倉(八十代)後白河法皇	倉					高				
	1840	1839	1838	1837	1836	1835	1834	1833	1832	1831
4 子庚	3 亥己	2 戌戊	承治 西丁	2 申丙	元安 未乙	4 午甲	3 巳癸	2 辰壬	安承 卯辛	
皇法河白後										
政執の盛清										
<p>四月基房太政大臣免、廿一日改元○十二月天皇(年十一)清盛の女徳子(年十五)女御となる○是年僧覺阿宋より歸る。</p> <p>二月平徳子中宮となる○九月宋明州の制史方物を上る○十二月基房白河任。</p> <p>三月法皇書及陸奥抄金を宋に贈る、宋使復使る○六月南都の僧多武峰を焼く○十月清盛陸奥を築く。</p> <p>七月相模節を復す○是年義経鞍馬寺を脱し奥州に下る(年十六)。</p> <p>七月廿八日改元○是年痘疫流行す、僧源空專修念佛を唱ふ。</p> <p>三月平盛方を佐渡に流す○七月建春門院崩す(年三五)是月十七日六條上皇崩す(年十三)○十二月源義経を佐渡に流す。</p> <p>三月廣盛大臣に任ず○四月京都大火○五月延暦寺座主明雲流さる○七月藤原成親を斬る○八月四日改元。</p> <p>七月源入藤原成経平康頼を召還す○九月叡山の僧圓ふ○十一月平徳子宣仁親王を生む(安徳天皇)。</p> <p>七月重盛(年四二)○十一月大地震、清盛前關白基房を脱し法皇を幽す。</p> <p>二月廿一日源朝仲白基通攝政○四月廿二日安徳天皇即位○五月源頼政以仁王を奉じて兵を擧ぐ○六月源頼朝○八月頼朝攝兵(石橋山の戦)。</p>										
高麗										
宗 明										
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
宗 孝										
7	6	5	4	3	2	熙淳	9	8	7	
<p>(西夏乾祐)五復劉球を起復す至らず○十月金使至る。</p> <p>二月左右僕射を左右丞相と改む李衛等四人罷む○十一月金銀坑治税を廢す。</p> <p>金女眞人の漢姓に譯すを禁ず○高麗の鄭仲夫其前王を試す。</p> <p>二月成允文卒す○四月姚燾參知政事となる。</p> <p>四月輔臣を玉律園に宴す○高麗の叛將四十餘城を以て金に附す、金を受けず。</p> <p>四月金女眞學校を設く○六月朱熹を召す至らず。</p> <p>正月高麗金に貢す○朱熹の註成る○西遊道立つ。</p> <p>七月李綱忠卒す○十一月右丞相史浩罷み趙鼎代る。</p> <p>夏直言を求む。</p> <p>二月魏王愷卒す○張栻卒す○十二月朔餘卒す。</p>										
金										
一一八〇										
<p>エジプトのファタマ朝の滅亡、ムスリムの酋長カラマン、エジプトを領有す。</p> <p>スコットランド王ウイリアム、ヘンリー二世の配下に歸す○エジプト王カラマン、シリヤとモンゴリアの大部とを征服す(一一八三)。</p> <p>レグナンの戦、ロンバルディア同盟の軍フレデリック一世を破る。</p> <p>フレデリック一世、法王アレクサンデル三世とパニスに會し和す。</p> <p>第三次ラタランの會議(第十一次宗教會議)</p> <p>フランス王フィリップ二世(一二二二)。</p>										

1870	門御土									
	1869	1868	1867	1866	1865	1864	1863	1862	1861	仁建
4 午庚	3 巳己	2 辰戊	元承 卯丁	永建 寅丙	2 丑乙	久元 子甲	3 亥癸	2 戌壬	仁建 酉辛	仁建 辛酉
朝實家頼										
時義政時*元廣										
<p>二月十三日改元、増長茂に伏す○三月千重常胤卒す(年八四)○上皇和歌所を置き藤原定家等に新古今集を撰せしむ。</p> <p>七月頼朝征夷大将軍任○十二月基通頼政を羅め九條良経代る○是年建仁寺建立學西を開山とし禪宗を弘む。</p> <p>八月幕府全國を二分して千種及一幡に購るの議起る○九月北條時頼頼朝を臨し比企氏を滅す、實朝將軍に任ず。</p> <p>二月廿日改元○七月時政頼朝を弑す○是年藤原俊成薨す(年九)</p> <p>三月新古今集成る○閏七月時政實朝を弑せんとして敗る、義時執權となり源朝雅發さる○是年僧清原(?)。</p> <p>三月攝政藤原良経依に薨す(年三八)○四月廿七日改元○九月藤原公定を流す○十二月近衛家實開白となる。</p> <p>四月前白兼實薨す(年六〇)○十月廿五日改元。</p> <p>正月間注所災す○二月尊徳念佛宗を禁じ僧道空觀を流す○九月熊谷直實卒す○十二月中原親能卒す(年六六)。</p> <p>正月太政大臣頼實やじ○十二月美作朝親小鹿島公業と歿ふ。</p> <p>十一月廿五日讓位○十二月廿八日順徳天皇即位。</p>										
高麗										
宗 熙										
6	5	4	3	2	1	7	6	5	4	宗 神
宗 寧										
3	2	定嘉	3	2	禧開	4	3	2	泰嘉	高麗
<p>三月臨安大火○是年西邊乃魯王屈出律に滅さる二一主七十七年。</p> <p>二月儒學の黨禁を弛む○私史を禁ず○十二月轉院胃に太師を加ふ。</p> <p>五月陳自強相となる○七月職權を造る(復権に水軍を置く)。</p> <p>正月轉院胃伐金を議定す○五月岳飛を追討す○十二月宰相に國用使を兼ねしむ。</p> <p>四月韓象祖を參知政事とす○七月轉院胃相となる○九月使金に行く。</p> <p>(西夏廢天)正月夏の李安全自立す○金人入寇○蒙古鐵木眞、成吉思可汗を稱す(太祖)。</p> <p>正月吳曦自ら蜀王と稱す二月伏誅○十一月轉院胃諫に伏す。</p> <p>九月金と和成る○十一月金主章宗崩す。</p> <p>夏李安全蒙古に降る○十二月月長吾兒國蒙古に降る。</p> <p>(西夏廢)八月夏金の蘭州を侵す○十二月蒙古金を侵す。</p>										
金										
南宋(寧宗)										
2	大	水	8	7	6	5	4	3	2	和泰
古蒙										
5	4	3	2	祖太	古蒙	4	3	2	和泰	金
1210 1209 1208 1207 1206 1205 1204 1203 1202 1201										
<p>第四次十字軍(一二〇四)○ヤレヤ帝國に於けるアレクサス三世皇帝の亂○イギリス王ジョン、フランス國に於ける領地を失ふ。</p> <p>十字軍コンスタンチノールを陥れ、皇帝を復す。</p> <p>東ロー帝國の滅び、ラテン帝國の建設(一二六)○アレクサス、トラス帝國を建つ○チチクルスカリス、ニケーヤを保つ。</p> <p>チチクルスカリス、ニケーヤに於てギリシャ帝國を建設す○印度の奴隷王朝(一二九〇)。</p> <p>法王インセント三世アルビスタ、十字軍を布告す○インセント三世イギリスを禁制の下に置く。</p> <p>對アルビスタの十字軍(一二一二)○異教徒を懲殺す○フランススコ渡創立○イギリス王ジョン、破門せらる。</p> <p>インセント三世、四世ホーエンシュタイン領主レリリーの征服を企つ(一二一一)。</p>										

\*建仁三年源實朝就職に及び時政廣元並び政所別當たりしも時政のみを掲ぐ

1860	門御土									
	1859	1858	1857	1856	1855	1854	1853	1852	1851	後鳥羽
2 申庚	治正 未巳	9 午戊	8 巳丁	7 辰丙	6 卯乙	5 寅甲	4 丑癸	3 午壬	2 亥辛	後鳥羽 白河注
朝粗家頼										
元廣										
<p>正月公文所を改所と改む○四月延暦寺の断にて注々木定重一族を流置す○七月榮西歸朝○十二月藤原兼實開白。</p> <p>三月後白河法皇崩す○六月十六日七月頼朝征夷大将軍となり幕府を開く。</p> <p>三月平氏餘黨を追討せしむ○五月頼朝富士野に狩す、曾我兄弟の復讐○八月酒親頼發さる。</p> <p>二月樂所を置く○三月沙金を京都に獻じ東大寺大佛の實に充つ、法華八講を長壽堂に修す○十一月海運路支配を定む。</p> <p>三月頼朝入朝(六月)○東大寺供養、山徳記著者藤原忠親薨す(年六五)○八月東國使禁制○九月奥州使奉行を定む。</p> <p>六月平知忠亂を作す平く○十一月兼實の開白を認め基通を開白とす。</p> <p>三月藏人權兼仲を流す○是年疫疾流行。</p> <p>正月十一日讓位○三月三日土御門天皇即位○是年羽毛重成相柳川に架橋す。</p> <p>正月頼朝薨す(年五三)翌月頼朝其後をつぐ○三月僧文覺を流す○四月三善康僧開注所執事となる廿七日改元○十二月梶原景時を遣ふ是年泉涌寺校務入宋。</p> <p>正月長時を流す○三浦義澄卒す(年七四)○四月富壽寺建立○五月念佛僧を禁ず。</p>										
高麗										
宗 神										
3	2	1	27	26	25	24	23	22	21	高麗
宗 寧										
6	5	4	3	2	元慶	5	4	3	2	(南宋)光宗、寧宗
<p>二月群臣各時政闕失を行はしむ。</p> <p>十一月日南至る陸九淵卒す。</p> <p>(西夏天慶)三月金骨持國相となる○六月朝晉臣卒す○十二月西夏主仁季卒し既立つ。</p> <p>正月金遣番を講求す○八月朱熹待講となり趙汝愚相となる。</p> <p>二月趙汝愚罷らるる○四月太學生楊安中等六人誅さる。</p> <p>正月趙汝愚罷所に卒す○八月鶴學の禁○十二月朱熹の官を削る。</p> <p>八月金骨持國を免す○十二月鶴學を誅す(罪を得る者名士五十九人)。</p> <p>五月韓侂胄を韓國公に封ず、鶴學の禁を廢にす○十月金承安薨す。</p> <p>正月彭龜年等の官を考ふ○九月韓侂胄を平原郡王に封ず。</p> <p>三月朱熹卒す○九月呂相兼韓侂胄を誅せんと請ふ○十月韓侂胄太傅を加へらる。</p>										
金										
南宋(光宗、寧宗)										
5	4	3	2	安承	6	5	4	3	2	金
1200 1199 1198 1197 1196 1195 1194 1193 1192 1191										
<p>七月リチャード一世、フィリップ二世兵を合して、ポカを陥る。</p> <p>リチャード一世、チチクルスカリスと休戦を約す、歸途オーストリアに幽囚せらる。</p> <p>リチャード一世の弟ジョン王位を奪はんと圖る。</p> <p>リチャード一世、贈金にて救はる○ヘンリー六世、兩レリリーのノルマンを滅して之を領す。</p> <p>アラゴスの戦、マール人、カステラニアルジャン八世を破る。</p> <p>ドイツ帝ヘンリー六世死す○マール人マドリッドを取る。</p> <p>スウェーデン公アリク(一二〇八)及アラゴス公オットー四世(一二一一)五(一二一八)ドイツ帝に選立せられ、帝位を争ふ。</p> <p>イギリス王リチャード一世死し、弟ジョン(失土)嗣ぐ(一二一六)。</p>										

河堀後										恭件
1890	1889	1888	1887	1886	1885	1884	1883	1882	1881	
2 寅庚	喜寬 己丑	2 子戌	貞安 丁亥	2 戌丙	祿喜 乙酉	仁元 甲申	2 未癸	應貞 壬午	3 巳辛	
經 頼					(經 頼)					
時 泰					時 義					
<p>四月廿日即位○五月時時追討の院宣下る、泰時等京都に向ふ○七月九日即位、三上皇遷幸○八月三上皇崩御卒す(年八二)○十一月朔日後堀河天皇即位。</p> <p>四月十三日改元○是年兩六波羅の始。</p> <p>二月僧道元入宋加補正之に従ひ、陶器を學ぶ○五月後高倉院遷す(年四五)○十二月家實開白となる。</p> <p>正月親賢寺土藏宗を開く○六月時時卒し(年六二)○時時執權となる○八月伊賀光宗を流す○十一月廿日改元。</p> <p>四月廿日改元○六月大江原元卒す(年七八)○七月政子卒す(年六九)評定家を置く○十月新制三十六條を下す○是年僧徳圓寂(年七九)此頃高田専修寺建立。</p> <p>正月頼朝將軍となる○八月准布を停め、綱渡を行ふ、太政官文殿火く。</p> <p>閏三月僧俊が寂す(年六二)○四月内裏炎上○五月高麗の使状来る○十二月十日改元○是年道元及加藤景正(藤四郎)歸朝。</p> <p>四月興福寺僧徒多武峰堂舎を焼く、鴨河沿る○十二月藤原道隆開白となる。</p> <p>三月五日改元○八月源石大臣藤原忠経薨す。</p> <p>六月北條時氏卒す(年二八)米價一石銀一貫文と定む○九月新羅國を討つ○十二月關白基房薨す(年八七)。</p>										
高麗					高麗					
17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	
宗 理					宗 寧					
3	2	定紹	3	2	慶實	17	16	15	14	
<p>十月蒙古の木曜金の賊州等を遣す○閏十二月宋使を蒙古に遣す。</p> <p>二月金人復宋を侵す○十二月蒙古主回々國を滅し印度に迫る。</p> <p>三月木曜金卒す○十二月速不魯敦を滅す、夏主位を其子徳旺に傳ふ。</p> <p>(西夏乾定)金使來りて和を請ふ○十月夏金と和す。</p> <p>正月史彌遠王法を殺す○二月李全亂を作す○十月蒙古夏を伐つ。</p> <p>(西夏徳王親)三月蒙古李全を圍む○七月夏主徳旺愛死し弟子親立つ。</p> <p>五月李全蒙古に降る○六月鐵木眞夏を滅す主二百一年○十二月鐵木眞六盤山に殞す。</p> <p>三月金將陳和尚大に元兵を大昌原に破る○元人夏珠及馬遠は此頃の人。</p> <p>八月蒙古の太宗立つ○十二月蒙古古路路稅所を立つ○五部蒙古主陝西に侵入す。</p>										
金	7	6	5	4	3	2	正天	2	光元	5
古蒙	2	宗太	23	22	21	20	19	18	17	16
1230	1229	1228	1227	1226	1225	1224	1223	1222	1221	
<p>フランス王ルイ八世(一二二六)。</p> <p>モンゴル人南シヤの諸侯をカルカ河畔に破る。</p> <p>フランス王ルイ九世(一二七〇)○シヤルマン同盟再びフレデリック二世に抗す。</p> <p>第五次十字軍(一二二九)ドイツ帝フレデリック二世主將たり。</p> <p>フレデリック二世、エジプト王と和し十字軍を止む、聖地ヤリト教徒の手に歸す。</p> <p>レオン・カスチラ最後の合併。</p>										

一八九〇、(承久・貞應・元仁・嘉祿・安貞・寛喜)仲恭(十五代)後堀河(十六代)頼朝(義時・泰時)

徳 順										一八八〇、
1880	1879	1878	1877	1876	1875	1874	1873	1872	1871	建曆・建保・承久順徳(八十四代)
2 辰庚	久承 己卯	6 寅戌	5 丑丁	4 子丙	3 亥乙	2 戌甲	保建 酉癸	2 申壬	曆建 未辛	
(經 頼)*					朝 實					
時 義					時 義					
<p>二月和徳直寧捕へらる○九月朝夷奈養寺高麗に入る、和徳直寧北條義時を攻め敗死す○十月朝夷卒す(年五〇)○十二月六日改元。</p> <p>四月延暦寺の徒園城寺をやく○十一月和徳の餘黨起る之を討滅す。</p> <p>正月時政卒す(年七八)○六月管榮西鎌倉に寂す(年七五)。</p> <p>六月宋陳和卿鎌倉に來る○十一月實朝大船を造らしむ。</p> <p>六月公卿鶴岡別當に補す○十二月商船金に漂着す金主報を給して送還す。</p> <p>十一月政子從二位に叙す○十二月實朝右大臣となる。</p> <p>正月實朝若せられ頭氏亡ぶ○四月十二日改元○六月藤原賴經を鎌倉の主とす二歳○七月頼朝及誅せらる。</p> <p>三月清水寺火く○四月興福寺僧徒樂師寺別院を火く。</p>										
高麗					高麗					
7	6	5	4	3	2	1	2	1	7	
宗 寧					宗 康					宗 熙
13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	
<p>(西夏光定)金和を蒙古に求む許されず○八月夏主安全卒す○閏九月金蒙古を防ぎ敗北す。</p> <p>五月安南王李福嗣卒し陳日煚國事を圖ぐ。</p> <p>三月耶律留哥遼王を稱す○八月金其主を弑し昇王珣を立つ○十月蒙古大に金軍を破る。</p> <p>四月金蒙古と婚して和す○五月金許に遷都○七月蒙古蘇を圍む。</p> <p>五月蒙古兵蘇に入る○十月夏の金の艦隊を取る。</p> <p>四月遼王蒙古に降る○十月蒙古の蒲淵に克つ。</p> <p>六月詔して金を伐つ○十二月蒙古夏を伐つ夏主遣兵出奔す。</p> <p>十二月金主和を來に求む納れず○高麗蒙古に従ふ。</p> <p>正月金人宋を侵す○紅巾賊起る○六月蒲陽の戰○成吉思汗西域諸國を伐つ。</p> <p>七月金和を蒙古に求む○九月宋夏の聯合軍金を攻め克たず。</p>										
金	4	3	2	定興	3	2	昇王	2	崇	6
古蒙	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
1220	1219	1218	1217	1216	1215	1214	1213	1212	1211	
<p>トロンクの戰、イスパハの諸王マル人を破る○兒童十字軍聖地に遠征す。</p> <p>イギリス王ジョン法王に屈し王國を法王の封土として受く。</p> <p>アヴィニヨンの戰、フィリップ二世オットー四世を破る。</p> <p>ドイツ帝フレデリック二世(一二五〇)○イギリス王ジョン大憲章に署名す○第四次ラタン會議(第十二次宗教會議)○ドミニコ派の創立。</p> <p>イギリス王ヘンリー三世(一二七二)。</p> <p>モンゴル王アムル二世十字軍を起す、效なし○シモン・ド・モンフォール、ブルーノを圍み敗死す(一二一八)。</p> <p>アムル二世十字軍より歸る。</p> <p>モンゴル人トルクスを征しアカラ及サマルカンドを取り、ホラズムを滅す(一二二〇)。</p>										

\* 承久元年藤原頼朝鎌倉の主となり嘉祿元年まで將軍に補せられざるもなほ將軍欄に掲ぐ

一八八〇、(建曆・建保・承久順徳)八十四代

一九一〇 代後深草(八十九代) (賴朝) (泰時) (時頼)	草深後			峨嵯後			四條			
	1910	1909	1908	1907	1906	1905	1904	1903	1902	1901
	2	長建	2	治實	4	3	2	元實	3	2
	成庚	酉己	申戊	未丁	午丙	己乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑辛
	嗣			賴			經			賴
	時			賴			時			經
	時			賴			時			經
	時			賴			時			經
	時			賴			時			經
	時			賴			時			經
<p>二月鹿島社火く〇八月定家薨す(年八〇)〇十月武藏野に水田を開く〇是年開闢朝、崇徳承大兩寺を創む。</p> <p>三月御書所を置く〇四月賴朝薨す其子賴朝將軍となる〇八月前大政大臣公經薨す(年七四)。</p> <p>四月北條朝時卒す(年五二)〇七月前將軍賴朝薨す。</p> <p>正月廿九日即位〇三月十一日即位、經時病み時頼執權〇四月經時卒(年三三)〇五月名光時流さる〇宋僧道隆歸化。</p> <p>正月近衛兼經薨す〇二月廿八日改元〇六月時頼三浦氏を滅す。</p> <p>五月安達長盛卒す〇閏十二月鎌人西詔法を定む。</p> <p>二月内院内侍火く〇三月十八日改元〇七月佐渡院に順徳院と追號す〇十二月引付衆を置く〇是年建長寺創立。</p> <p>四月熊民の太刀を帶ぶるを禁ず〇七月神社修理慶院復興を沙汰す〇十月法價法を下す。</p>										
高麗	宗									高麗
37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	3
(南宋)理宗	宗									(南宋)理宗
10	9	8	7	6	5	4	3	2	祐淳	4
<p>三月高麗王族子を蒙古に質とす〇十一月蒙古太宗殂し皇后乃馬真氏稱制す、成都の將叛き蒙古に降る。</p> <p>正月蒙古蜀に寇す孟珙之を擧ぐ〇七月蒙古兵淮水を渡り入寇す。</p> <p>二月余玠四川制置使となる〇三月耶律楚材卒す。</p> <p>九月大學生上書し史嵩之の復起を切諫す〇十二月孟珙江陵府に如す。</p> <p>四月杜範卒す〇六月徐元杰卒す。</p> <p>七月蒙古定宗立つ〇九月孟珙卒す〇十二月史嵩之致仕、蒙古京湖江淮を侵す。</p> <p>八月蒙古高麗を伐つ。</p> <p>三月蒙古定宗殂し、皇后海迷失稱制す、内外離心し蒙古の政衰ふ。</p> <p>九月中外上書の禁を嚴にす。</p> <p>三月賀正遣兩淮制置使となる〇趙葵罷む。</p>										
古蒙	宗									古蒙
5	4	3	2	1	17	16	15	14	13	3
一二五〇	1250	1249	1248	1247	1246	1245	1244	1243	1242	1241
<p>第六次の十字軍(一二三四)フランス王ルイ九世之を起す〇ケルンの寺院の建設始まる。</p> <p>オーストリア大学の創立〇ルイ九世がエナポリ市を取る。</p> <p>コンラド四世ドイツ帝位に即く、オラフ伯ウィリアム二世之と帝位を争ふ〇ルイ九世エナポリ人に取られ、囚へられしが、直に許さる〇マメルク人エナポリの主権を握る。</p> <p>オーストリアのバイエル朝綱ゆ。</p> <p>ワイルスツァットの戦、蒙古人北ローバ諸侯の連合軍を破る〇ハンガリー、リベチアの兩市同盟す(ハンザ同盟の基)。</p> <p>モンゴル人小アジア侵入す。</p> <p>キプチャク汗國の建設、蒙古の將校都ワルガ河畔に國を建つ(首府ヤライ)。</p> <p>ホラズム人イムラマを劫掠す〇アルビノ、アズナバを劫掠す。</p> <p>小アルメニア王ヘートン蒙古の被擄及び遺宗を往訪す〇法王の使僧アランガルヒニ及びマサクト和林に至る〇新十字軍の布告。</p> <p>西カラセンのゲラチ王國建設(一四九二)マウル人の一諸侯(マコソット)一世(マコソット)の兩市同盟す(ハンザ同盟の基)。</p> <p>イギリス、フランスの貴族、騎士等の十字軍(一二四一)。</p> <p>蒙古の將校都ワルバ諸侯を臣従たらしむ。</p>										

一九〇〇 治後堀河(八十六代) (四條) (八十七代) (賴朝) (泰時)	河堀後			四條			條			
	1900	1899	1898	1897	1896	1895	1894	1893	1892	1891
	治仁	應延	仁曆	3	2	禎嘉	曆文	福天	永貞	3
	子庚	友己	成戊	酉丁	申丙	未乙	午甲	巳癸	辰壬	卯辛
	時			泰			賴			
	時			泰			賴			
	時			泰			賴			
	時			泰			賴			
	時			泰			賴			
	時			泰			賴			
<p>四月大臣以下の惡制を定む〇九月京都府民の鹽屋爲新を禁ず〇十月土御門上皇崩す(年三十七)。</p> <p>正月梅尾明應院(年六〇)〇四月二日改元〇八月泰時等貞永式目を撰む〇十月定家新勅撰集を上る〇十月四日即位〇十二月五日四條天皇即位。</p> <p>四月十五日改元調福延曆寺の僧徒争ふ〇五月前通政基通薨す(年七四)。</p> <p>二月北野社火く〇五月仲恭上皇崩す(年七〇)〇八月後堀河上皇崩す(年七三)〇十一月五日改元。</p> <p>三月攝政敦實薨す(年二六)〇道家復代る〇七月興隆寺の僧、石清水神人と争ふ〇九月十九日改元〇是年僧圖入宋。</p> <p>九月南都の僧起す、翌月泰時興福寺領田を没収す。</p> <p>三月慈圓に惡職と諷す、道家罷り近衛兼經攝政〇四月家隆薨す(年八〇)〇七月社寺國司領家の訴訟は式目不據とす。</p> <p>正月將軍賴朝入朝す〇二月二日院堂行村卒す(年八四)〇十月前通政松殿家隆薨す(年六七)〇十一月廿三日改元。</p> <p>二月七日改元、是月後鳥羽上皇崩す(年六六)〇十二月三浦義村卒す〇是年道家東福寺を創む。</p> <p>正月北條時房卒す(年六六)〇四月鳥羽書を致す無難なり尋て邊に遷す〇五月人身賣買を禁ず〇七月十六日改元。</p>										
高麗	宗									高麗
27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	4
(南宋)理宗	宗									(南宋)理宗
4	3	2	嘉熙	3	2	平端	6	5	4	8
<p>正月李金伏誅〇五月淮安を復す〇八月蒙古耶律楚材を中書令とす。</p> <p>(金天興)十月蒙古古雷卒す〇十二月蒙古金を伐つを宋と議す、蒙古の連不台作を誦む。</p> <p>六月蒙古洛陽を取り金主泰州に走る〇七月宋將孟珙大に金兵を破る。</p> <p>正月金蒙古に滅さる十主百二十年〇十二月蒙古の使來る。</p> <p>正月程昉を蒙古通好使とす〇二月蒙古和林を都とす〇五月眞德秀卒す〇六月蒙古の調略入寇す。</p> <p>二月蒙古初て文鈔を行ふ〇三月襄陽叛し蒙古に降る〇十月陳日叟を安南王とす。</p> <p>二月蒙古初て官府符に印を給し歸令を定む〇蒙古欽察諸部を降す〇八月蒙古人材を試す。</p> <p>九月蒙古瀟湘を圍む〇蒙古大極書院を燕京に建つ。</p> <p>正月史嵩之相となる〇三月孟珙襄陽を寇す。</p> <p>二月孟珙大に屯田を興す〇蒙古の使來る。</p>										
古蒙	宗									古蒙
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	3
一二四〇	1240	1239	1238	1237	1236	1235	1234	1233	1232	1231
<p>ドイツ武士國バルト海地方に領土を興す。</p> <p>西カラセンのフルモド朝の滅亡、フルリムカール反し王アルリマンをフリカに逐ふ。</p> <p>カステラ人大にマウル人を敗る。</p> <p>フレデリック二世、コンバルド同盟軍と戦ふ〇カステラ王アルリマン三世コルドワを占領す。</p> <p>蒙古の將校都、コルヤに入りモスコ、キエフを取る〇フレデリック二世コンバルド同盟を破る〇アルリマンカール殺さる。</p> <p>西カラセンのゲラチ王國建設(一四九二)マウル人の一諸侯(マコソット)一世(マコソット)の兩市同盟す(ハンザ同盟の基)。</p> <p>イギリス、フランスの貴族、騎士等の十字軍(一二四一)。</p> <p>蒙古の將校都ワルバ諸侯を臣従たらしむ。</p>										

一九三〇 （弘長・文永・龜山） （九十代） （宗尊親王・ 惟康親王） （長時・政村・時宗）	山 龜										
	1930	1929	1928	1927	1926	1925	1924	1923	1922	1921	
	7	6	5	4	3	2	永	文	3	2	長
	庚	己	辰	卯	寅	丑	子	亥	壬	辛	庚
	王 親 康 惟					王 親 尊 宗					
	宗 時					村 政					
	十一月良實亮が○是年蒙古世子暴來る。					十一月親賢が○是年九月○。					
	二月蒙古の使者を都へ、蒙古の難を大略討つに告ぐ○三月時宗執權○十二月時宗親王青蓮院門跡を没す○四月五月引付を創む○九月高麗書を致す報ぜず。					七月初心愚草成る○四月高麗再び使を遣し邊民侵掠停止を求む、切通運行停止○十一月時宗卒す（年三三）。					
	二月廿八日改元○五月延暦寺の徒園城寺を焼く○八月北條政村執權、長時卒す（年三五）。					二月廿八日改元○五月延暦寺の徒園城寺を焼く○八月北條政村執權、長時卒す（年三五）。					
	七月時宗、將軍宗尊親王を襲し惟康親王を立つ三歳○是年僧曉元入宋。					十月藤原公相亮が（年四五）○是年僧紹明豐年僧慧雲各宋より歸朝。					
高 麗											
宗 元											
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2		
6	5	4	3	2	淳	咸	5	4	3	2	
宗 度											
五月蒙古史天澤を中書右丞相とす○十月忽必烈阿里不哥と戦ひ敗る。											
正月買似道に第宅家廟を賜る○陳光燾を安南王に封ず○十月蒙古回鶻人阿合馬を任用す。											
八月蒙古劉秉忠を太保とし燕京を中書とす○九月附勢得蒙せらるる○十月帝崩す。											
四月買似道を封じて魏國公となす○九月蒙古安童を中書右丞相とす。											
正月江萬里やむ○高麗人趙彥日本との交通を蒙古に絶む。											
○十二月蒙古の阿朮入寇を謀る。											
九月阿朮等襄陽を圍む○十一月義法を行ふ。											
○二月蒙古八思巴製作の新字を行ふ。											
○十月蒙古高麗を討つ○十二月呂文德卒す。											
○正月蒙古蒙哥即位○三月蒙古許衡中書左丞となる○四月文天祥臨○十一月蒙古萬山に城く。											
古 蒙											
7	6	5	4	3	2	元	至	4	3	2	
一九二〇											
1270	1269	1268	1267	1266	1265	1264	1263	1262	1261		
フランス帝國の滅亡、東ローマ帝國再興、ニケーヤ皇帝カエリパレオロゴス、コンスタンチノールを回復す。											
スコットランド王アレクサンデル二世ノルウェー人の最後の侵襲を撃退す。											
セモン・ド・モンパル、ヘンリー三世王を殺す。											
イギリス國會（下院）創設、一月廿日セント・ヒンズ・パウル市の代表者を召集す○八月イェーサハムの戦、セモン戦死す。											
フランス、伯爵ルイス・ラシリーを征服す。											
法王（フィリップ）皇帝（ルイ）をフロンクスに敗る。											
ドイツ帝コンラート、南シチリーを回復せんとし、アンジュー伯爵チャールスに破られて殺さる。											
去年エジプト及びシチリーの王ビバルス、アンチオキヤを略す。											
第七次の十字軍、フランス王ルイ九世之を起す。											

一九二〇 （建長・康元・正嘉・正文・文應） （後深草） （八十九代） （賴朝・宗尊親王） （時頼・時宗）	山 龜											
	1920	1919	1918	1917	1916	1915	1914	1913	1912	1911		
	7	6	5	4	3	2	嘉	正	元	康	7	
	庚	未	己	午	辰	卯	乙	甲	癸	壬	辛	
	王 親 康 惟					王 親 尊 宗						
	宗 時					村 政						
	二月鎌倉火く○六月中原師員卒す（年六七）。					二月道長亮が（年六〇）○四月宗尊親王將軍任○九月鎌倉法酒禁制○鎌倉に金銅佛造像を講る。						
	四月日蓮日蓮宗を唱ふ○七月新制十八條を下す○八月僧道元寂す（年五四）。					十月奴隸雜人の法を定む○建長寺城功。						
	四月入宋貿易船歌を定む○十一月足利義氏卒す○是年僧覺心宋より歸る。					二月雅成親王但馬に薨す○是年僧圓爾東照寺開堂。						
	八月赤坂流行、前將軍賴朝亮が（年一七）○十月五日改元○十一月長時執權、時頼最明寺にて薨す。					二月大政官顯亮が○三月十四日改元○是年藤原鎌倉大地位。						
正月攝津寺災す○四月延暦寺城兩寺災す○八月攝津仁親王を皇太弟とす。					三月廿六日改元○是年疫流行○五月前關白兼經亮が（年五〇）○十一月廿六日即位○十二月廿八日即位。							
正月關白兼經亮が○二月廿八日即位。					正月關白兼經亮が○二月廿八日即位。							
高 麗												
宗 元												
1	46	45	44	43	42	41	44	43	42			
宗 理												
定	景	慶	開	6	5	4	3	2	祐	實	12	11
六月蒙古憲宗立つ○七月蒙古忽必烈に漢南を總べしむ○蒙古西域僧那摩を歸朝とす。												
六月蒙古漢地を宗廟に分封す○八月忽必烈大理を撃つ。												
六月蒙古西域を伐つ○七月余玠卒す○十二月忽必烈大理を滅し吐蕃を降す○ルンギヤ和利に至る。												
正月忽必烈漢地を徵用す○十一月忽必烈漢地を京兆宣撫使に任ず。												
二月忽必烈許衡を京兆提學とす○七月蒙古元良合西南夷を平ぐ。												
五月文天祥進士に及第す○九月蒙古開平府に城く○蒙古旭烈兀木剌夷を滅す。												
正月買似道知樞密院事となる○蒙古襄陽に寇す○六月元良合台交趾を侵す○回鶻蒙古に貢す。												
二月旭烈兀西域諸國を平ぐ○九月蒙古主劍門に侵入す○高麗崔瑗を誅す。												
七月蒙古軍に租す○九月忽必烈鄂州を圍む○閏十一月買似道和を蒙る。												
古に乙ふ忽必烈還る。												
三月忽必烈即位○四月蒙古阿里不哥和林に即位す○蒙古始て官制を定む○十二月蒙古八思巴を國師とす。												
1中世												
9	8	7	6	5	4	3	2	1	聖	宗		
一九一〇												
1260	1259	1258	1257	1256	1255	1254	1253	1252	1251			
ホーエンシュタウフェン王統斷絶。												
オランダのウィリアム戦死す○ドイツの大空位時代（一二七三）。												
カステラのアルフォンソ及びゴーンウォールのリチャード、ドットに選立○明年オーストリアの條約制定。												
バグダード主國の滅亡、蒙古の將ラガ、バグダードを陥る○ワスマス、シラクと開戦。												
ホーエンシュタウフェン二世ハンガリー王を破り、スチリアの領有を安全にす。												



一九五〇 久明親王(後) 伏見(九十二代)(時宗・貞時)	見伏									
	多字後									
	1950	1949	1948	1947	1946	1945	1944	1943	1942	1941
3 庚久明親王	2 丑己	應正 子戊	10 亥丁	9 戌丙	8 酉乙	7 申甲	6 未癸	5 午卯	4 巳辛	
王親康惟										
貞時					宗時					
<p>五月元兵衛時を襲し翌月大宰府を以て ○閏七月殿座遷改我兵掩襲す○十月興 ○十月日蓮宗(年五)○十二月興隆寺 の断に因て四國守頼重中納言具房 等を流す○是年時宗圓覺寺を立つ 正月時宗の僧徒禁闕を記す○六月源 具房を召還す 四月時宗卒(年三四)翌年貞時執權(年 一四)○七月前白實親(年六二) ○八月北條時光叛を謀り佐渡に流さる 十一月貞時安達源盛父を殺す 九月源元寂(年六一)○是年宇治十三 重塔立つ 六月北條兼時卒(年四七)○十月廿一 日即位、伏見天皇踐祚 三月十五日即位、後深草上皇院政を院 中に遷く○四月廿八日改元 四月皇子胤仁立太子○八月一還京す (年五二)○九月將軍惟康親王廢せらる ○十月久明親王將軍任○十二月圓覺寺 焼く 三月密遣原爲頼禁中に入る、天皇親政 ○八月西大寺僧取等(年九〇) ○八月西大寺僧取等(年九〇)</p>										
高麗										
王烈忠										
16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	
祖世										
27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	
<p>三月時宗卒す○七月日本に還し翌 月大敗す○閏八月江南戸口税を括 す○十二月遣密を覽讀す 二月時宗を伐つ○三月阿合馬を殺す ○九月俄國入貢○十二月天文詳 殺さる、海邊を始す 四月日本攻勢の準備を命ず○十一 月時宗を破れ西南夷降る 七月時宗に占城を襲たしむ○十一 月時宗を行ふ○十二月脱歐安南に 次す 二月時宗所を立つ○五月脱歐陳口 類を破る○十一月時宗伏誅す○ 十二月四萬を率ゐる會をなす 正月日本入寇の企を止む○二月漢 人の兵器を持つを禁ず○三月江南 の人才を求む 正月安南を伐つ○二月江南各路に 備軍揚揚司を置く○三月至元鈔を 行ふ○四月乃反す 二月宋の故官を殺し佛寺とす○四 月謝枋得を殺す至らず、江南盜起 る○九月漢理司を置く、江南盜起 四月謝枋得得死せずして死す○六月 海都和林に還す翌月帝之を討つ 十一月高麗府を増置す○是年洪水 流民四十五萬餘人</p>										
元世祖										
1290	1289	1288	1287	1286	1285	1284	1283	1282	1281	
<p>トルウーの王位繼承の亂○ユキヤ人 リスより追放せらる オスマン、小アジアにオスマンリトルコ帝國の 基を開く○モンテシコロウノ蒙古に遣さ る</p>										
二二九〇										

一九四〇 字多(九十一代)(惟康親王)(時宗)	多字後									
	山總									
	1940	1939	1938	1937	1936	1935	1934	1933	1932	1931
3 辰庚	2 卯己	安弘 實戊	3 丑丁	2 子丙	治建 亥乙	11 戌甲	10 酉癸	9 申壬	8 未辛	
王親康惟										
宗時					宗時					
<p>九月高麗、蒙古の來寇を告ぐ、西陲に敷 し警備す○十月蒙古使者趙良弼來る○ 十二月蒙古の師を大廟に告ぐ 二月後醍醐法皇崩す(年五十三)遺詔あ り○九月高麗復讐を致す○十二月前將 軍宗尊親王稱號○此頃本願寺建立 三月元使趙良弼復十宰府に至る○四月 詔して封事を上らしむ北條政村卒す (年六九) 正月廿六日即位○三月廿六日即位○七 月宗尊親王崩す(年三三)○十月元兵衛 馬寶殿に還し宗助國平展降戰死す 四月元使杜世忠等至る、此月廿五日改 元○九月時宗元使を斬る○十一月北條 實政筑紫探題○是年一還時宗を聞く 三月高麗高麗征伐を謀る○五月前太政 大臣通雅(年四三)○十月北條實時 卒す(年五三) 六月宋にある我商船難を避けて逃げ歸 る○是年高麗元往きて貿易す 二月廿九日改元○七月僧道隆寂す(年 六六)○十一月經拾遺集成る 六月時宗又元將夏等々の使周等を斬 る○八月元僧祖元等來る○十月時宗兵 を筑紫に遣し元寇に備ふ 十月僧祖元寂す(年七九)○十一月編岡 八幡宮火く</p>										
高麗										
王烈忠										
6	5	4	3	2	1	15	14	13	12	
祖世(元)										
17	2	興祥	2	炎景	祐德	10	9	8	7	
<p>五月蒙古入寇○十一月蒙古國號を 元と改む○十二月始て十萬を遣く 五月襄陽を攻め襄陽元の圍を破る 五年○十一月劉整を燕王に封ず 正月樊城陥る○二月呂文煇漢陽を 以て元以降る○七月元の許衡羅む 七月帝崩す○八月元の劉承忠卒す 元將史天澤伯顔大入寇す○十二 月天下に勸王を誦す 正月范文虎等元以降る○二月元の 史天澤卒す、天文詳勸王の兵を起 す○十月實似道殺さる 正月諸將皆憤ゆ○三月元の伯顔臨 安に入る○十一月帝遂に湖州に走 る 八月天文詳の兵潰走す○十一月張 世傑帝を奉じて秀山に走る○十二 月元諸將を討つ 四月帝湖州に逃れ(帝崩)立つ ○六月帝岳州に遷る○閏十一月文 天祥執へらる 二月南宋亡ぶ、張世傑陸秀夫等之 に死す○九主百五十二年南宋合三 百二十年 正月張弘範卒す○八月統福卒す○十月 日本入寇の部番を定む○十一月時宗 を行ふ、康帝崩す</p>										
元										
1180	1279	1278	1277	1276	1275	1274	1273	1272	1271	
<p>マルコポーロ(一二五)の生、一三 二四(死)の東洋漫遊(一二九 五)○グリゴリオモロコイ支那に傳 教す 十字軍の終局、イギリス王子エドワ ード聖地を獲つ○イギリス王エドワ ード一世(一二一〇七) ドイツ王ルドルフ二世(一二九一) フランス王ルドルフ、ドイツ王に選 立、ハابسブルグ王朝の祖 第二次のロン會議(第十四次宗 教會議)○イタリヤ領環習學者ト マスリク、ナス死す(一二二五頃生 る) マルコポーロ元に至り世祖に謁す オーストリア家の勃興、ドイツ王ル ドolf二世、ボヘミア王オットカールを破り、 其領地オーストリア等を併はす イギリス王エドワード一世、ウェールズを 征す(一二八三) マルコポーロの戦、ルドルフ一世、ボヘ ミア王オットカールを殺す</p>										
二二八〇										

Table 208: 伏見 (Emperor Yomei). Columns for years 1960-1951, reign names (e.g., Ansei, Meiwa), and historical events in Kanji. Includes a section for Emperor Yomei's reign (貞時).

Table 209: 久明 (Emperor Kumei). Columns for years 1970-1961, reign names (e.g., Heisei, Shunni), and historical events in Kanji. Includes a section for Emperor Kumei's reign (貞時).



後醍醐				
(嚴光)				
1995	1994	1993	1992	1991
2 亥乙	建武 戌甲	3 (2) 酉癸	2 (慶正) 申壬	元弘 未辛
王親良成		王親良護		王親邦守
時守				
<p>五月僧圓觀等捕へらる○七月六波羅兵再俊基を執ふ○八月十日改元、是月天皇登壇に幸す○九月高時光院を擁立す並置院を起す○十月赤坂陥り正成走る</p> <p>三月天皇隠岐に遷幸○四月正成赤坂を復す二十八日正慶と改元○六月實朝俊基等殺さる○冬正成干早に護良親王吉野に各奔く</p> <p>閏二月天皇伯耆へ遷幸、是月土居得能兩氏翌月菊池氏各義兵を率ぐ○四月高時自殺、義貞鎌倉を陥る、高時伏誅、車駕船上山登壇、詔して光院院を廢す○六月天皇還幸、護良親王征夷大將軍に任ず</p> <p>二月二條道平薨す(年四九)○七月北條時行鎌倉を改む、護良親王試せらる○八月成良親王任將軍○十月尊氏自ら征東將軍と稱して反す○十一月尊氏の官爵を削る○十二月官軍竹下に敗る、赤松則村反す</p>				
高麗 (元)文宗、寧宗、順宗				
4	3	2	1	1
宗順		宗寧		宗文
元至	2	統元	3	2
三月高麗の姪女を采るを罷む○六月尊氏其勢反して伏誅す○七月伯顔皇后を弑す○十一月科擧を罷む	三月水旱疫民饑ゆ○十月才守令に堪ゆる者を擧げしむ	三月燕帖木兒卒す○六月順宗上都に即位す○八月東葉病を謝して歸る○十一月伯顔を棄王とす	四月月魯帖木兒謀反伏誅す○六月起復の勢を嚴にす○八月帝殂す○十月寧宗即位○十一月寧宗殂す	二月廣教總督府を立つ○雲南平定○六月翰林學士吳澄卒す
1335	1334	1333	1332	1331
ガリシヤ文學復興、バルタール、ペトルカに歌授し、レオンチウス、フロレンスにホーマーを講ず		イギリス王エドワード三世スコットランドに侵入しハリドン位に於てスコットランド軍を敗る○ポーランドのカシムス大王即位○是歲切チメルラン生る(一四〇五死)	エドワードハリバル、スコットランドに侵入す	

一九九五、(元弘・建武・正慶)後醍醐(九十六代)  
(光嚴)守邦親王(護良親王・成良親王)

高麗 (元)文宗、寧宗、順宗

一三三五

後醍醐				
1990	1989	1988	1987	1986
2 午庚	徳元 巳己	3 辰戊	2 卯丁	嘉暦 寅丙
王親邦守				
時守				時守顯貞
<p>正月道平薨み近衛経忠親白となる○三月春日社及東大興福寺(行幸)○八月經忠親み鷹司冬教親白となる○九月世良親王薨す傳親房刺髪削官す</p> <p>六月前大臣實重薨す(年七二)○八月廿八日改元○十二月前大臣大臣通通薨す(年七二)○是年僧友梅元より歸朝</p> <p>十月久明親王薨す(年五三)○再び法勝寺(行幸)前年十月行幸○十二月石清水神輿入京</p> <p>正月開白冬平薨す(年五二)○二月道平復開白となり、尊徳法親王天台座主となる○三月興福寺火く、僧圓觀等高時を呪す○六月高時の兵與人安福季長事の亂を伐ちて克たず、是年元僧正澄來る</p> <p>三月太子邦良親王薨す(年二七)或は二九日改元、赤橋守時執權○七月量仁親王立太子、天皇還宮により高時を賞め給ふ○十月惟康親王薨す(年六三)</p>				
高麗 (元)晉宗、天順帝、明宗、文宗				
17	16	15	14	13
宗文		帝順天		宗晉
順至	2	曆天和致	4	3
三月雲南王禿堅報す○五月南平定及び脱木兒殺さる○八月始て南郊を觀祀す	正月明宗和寧の北に即位す○八月明宗薨に殂す○經世大典を修む○十二月西僧眞眞乞別恩を帝賜とす	閏帖睦爾を遣す○四月蒙古の色目人親帳に居るを擧す○七月帝上都に殂す○八月天順帝上都に即位○九月閏帖睦爾僧して十月上都を陥る帝還走す	四月益武宗の神主を罷む○十二月張珪卒す	四月畿内河北山東饑ゆ○西僧の驢驢糞民を禁ず
1330	1329	1328	1327	1326
モルチマー威刑、母后イサバラ幽閉○オスマンリトルコ帝(バシ)オルカン、ニケーヤを取る○オスマンリトルコ、ローマを侵す(一三三七)	トルコ新軍隊を用ふ	フランス王チャールズ四世殒す、カペー王朝絶ゆ○フランス王フィリップ六世(一三三五)○、セワフ王(一四九八、一五八九)の祖○イギリス王エドワード二世、スコットランドの獨立を認可す	イギリス國會エドワード二世を廢す、尊でエドワード二世殺さる○トイン帝、イタリヤに入り法王クレンツの位を奪取す、これを布告す、されど退却を餘儀なくせらる(一三二八)	イギリス王エドワード二世の皇后イサバラ、ローマに逃れ、イギリスに侵入し王を擁にす

一九九〇、(嘉暦・元徳)後醍醐(九十六代)  
(守邦親王)貞顯(守時)

高麗 (元)晉宗、天順帝、明宗、文宗

一三三〇

二〇〇五 (興國・康永・貞和)後村上(九十七代) (光明)(尊氏)	上村後				
	(明光)				
	2005	2004	2003	2002	2001
6	5	4	3	2	
(和貞)乙酉	(3)甲申	(2)未癸	(永康)壬甲	(4)巳辛	
(氏尊)(代一)					
五月都下殿終武士直義の第に集る ○七月僧士徳妙在元より歸朝○ (十月廿一日北朝改元)○是年兄鳥 高徳京師を遷はんと成らず。	二月間冬歸京○閏二月五條頼元 良惟澄の忠節を褒す○三月北風 國書に遺ふ○六月河内觀心寺火 く、楠木正行再建を奏請す。	二月尊氏諸城親朝を招く、六月親 朝歌を尊氏に送る○十一月開大寶 二城陥り親房吉野に走る○飢工正 宗鎌倉の亡後京師に住す。	五月臨海義助南海に向ふ尋て卒す (年三二)(此月廿七日北朝改元)○ 六月征西將軍義隆親王鳥羽貞久を 隨摩に破る○九月細川和氏卒す (年四七)○十二月土時頼遠謀せら る○足利氏五山十刹を置く。	五月興良親王常陸に着す○十一月 小田治久歎を高麗冬に通ず、親房 關城に入り北風顯時大寶城に移る ○十二月足利直義天龍寺船を元に 遣し什器を求む。	五月興良親王常陸に着す○十一月 小田治久歎を高麗冬に通ず、親房 關城に入り北風顯時大寶城に移る ○十二月足利直義天龍寺船を元に 遣し什器を求む。
高麗	王穆忠	(復位)王惠忠	忠	忠	
1	5	4	3	2	
宗順					
5	4	3	2	正至	
五月機々卒す○九月使を遣し天下 を巡行せしむ。	正月守令關涉法を定む○五月托克 托羅められ阿魯圖相となる○十一 月人民票を入るもの官に補す○是 年楊侯斯卒す。	正月遼陽亂る○三月托克托に遼金 宋の三史を修せしむ○十二月處士 杜本を徵す至らざ。	正月金口河を開く○大同饑え人相 食む。	四月崔敬帝に勸學をす、む○湖廣 蕪南山東賊起る。	
1345	1344	1343	1342	1341	
一三四五			アルタイのワン三世死し、繼承の紛 闘起る。	モロワート三世アルタイに破る○ゲグ ドアルリス、スコットランドに遷り復位す、ス コットランド國來獨立○ハンガリー王ルイ大 王(一二三二)王の世ハンガリー歐洲の 強國となる。	

二〇〇〇 (延元・興國・建武・暦應)後醍醐(九十 六代)後村上(九十七代)(光明)(尊氏)	上村後				
	(明光)(朝北)				
	2000	1999	1998	1997	1996
國興	4	3	2	延元 子丙	
(3)辰庚	(2)卯己	(應曆)寅戊	(4)(武建)丑丁		
(氏尊)(代一)					
二月親房顯慶鈔を上る○四月廿八 日改元○八月高麗軍井伊谷城を抜 く○九月斯波高経の軍越前府中を 陥る○是年上杉顯朝關東執事とな る。	八月皇太子義良親王受讓、後醍醐 天皇崩す○五月十二、十月即位○是 年親房神皇正統記を上る、僧神石 尊氏に脱き天龍寺を創む。	三月顯宗奈良に改る○三月阿倍野 の戦○四月恒長成良顯親王試せら る○五月顯宗石津に閏七月尊貞臨 駕に各戦死○八月尊氏將軍を稱す (二十八日北朝改元)○九月懷良親 王征西將軍となる。	二月瓜生保金崎城を擧げて戦死○ 三月金崎城陥る、皇太子恒良親王 執ら九尊良親王新田義興等と戦死 す○十二月顯宗等鎌倉を陥る。	正月天皇延曆寺行幸、尊氏入京二 月西走す○二月廿九日改元○四月 尊氏大軍九州を發す○五月尊氏東 上正成戦死、東軍再延曆寺行幸、尊 氏入京○八月尊氏光明院を擁立す ○十一月建武式目十七條成る○十 二月天皇吉野に遷幸。	
高麗	(復位)王惠忠	(復位)王惠忠	忠	忠	
9	8	7	6	5	
宗順					
6	5	4	3	2	
二月伯顯宣死す○六月高松古愚を 殺す○十二月科擧取士の制を復行 す、文宗増置の官制を罷む。	十月伯顯大丞相となる○十一月宣 月魯帖木兒等を殺す。	五月鄧縣官の功過を評定せしむ○ 遼州袁州の兵起る。	正月廣東河南盜起る○二月服色器 皿輿馬の制を定む○三月漢人南人 の軍器を執り且蒙古字を習ふを申 禁す○十月處士許謙卒す。	四月帖木兒不花を平定取事とす○ 是年水旱饑饉。	
1340	1339	1338	1337	1336	
一三四〇	英軍佛軍をスロイスの海戦に破る○英 王モロワート佛王を兼稱す。	百年戦争(一四五三)、英佛兩國田戰 ふ○シモネリ・カネラ、ジョノアの第一代の 統領(シ)となる。	獨の選舉侯レンゼに會し選舉侯の選立 したる帝王は法王の認可を要せずと 宣言す○ニコル・ジャ、オルカンに降る。	英佛間に始めて公然の戦闘かる○蒙 古軍ドナウ河を渡る。	

二〇一五 (正平・文和) 後村上(九十七代) (崇光・後光嚴)(尊氏)	上村後				
	(嚴光後)				(光崇)
	2015	2014	2013	2012	2011
10	9	8	7	6	
(4) 未乙	(3) 子甲	(2) 巳癸	(和文) 辰壬	(2) 卯辛	
(氏尊)(代一)					
正月直冬山名時氏足利高經等入京す。二月直冬等、尊氏と京師に戦ふ。三月尊氏入京す。四月尊氏高麗船を借遣に起す。	四月親房等(年六三)邊民高麗船を奪ふ。十月天皇天野に幸す。十一月直冬山名時氏等と共に尊氏を討ちて近江に走らす。	三月直冬親西を拘ふ。六月官軍京に入る。九月尊氏後光嚴院を奉じて入京す。	二月尊氏直義を殺す(年四七)。二月天皇還幸又南幸す。六月光嚴院を奪取す。六月光嚴院を奪取す。七月直冬親王を賀名生に幽す。八月十七日後光嚴院立つ。九月廿七日北朝改元。十二月直冬歸順す。	二月尊氏直義和し。閏直義を殺さる。九月尊氏直義を殺す(年七六)。十月尊氏の降を請ふ。十一月尊氏と光嚴院及皇太子直仁親王を廢す。後村上天皇北朝の神器を奪む。是年邊民高麗を侵す。	
高麗	王 愍 恭				王定忠
4	3	2	1	3	
宗 順					
15	14	13	12	11	
二月劉暉通韓沐兒を宋帝と稱す。六月宋元璋太平路を取る。十一月茶失八都魯大に劉暉通を破る。十二月哈麻托克托を殺す。大兵應司を置く。	九月托克托に張士誠を撃たしむ。十二月帝福丹を内苑に幽す。是年高麗王僧還照を帥とす。	五月張士誠高郵に據り。張王と稱す。十月方國珍を招く。至らざる。十二月ト帖木兒大に張士誠を斬る。朱元璋兵を潞州に起す。	正月徐壽輝が兵漢陽を陥る。二月郭子興等兵を起す。三月泰不魯方國珍を撃ち敗死す。七月徐壽輝杭州を陥る。十一月星吉戦死す。	五月劉福通及徐壽輝等兵(紅軍)を起す。十月徐壽輝帝を斬る。斬す。	
1355	1354	1353	1352	1351	
ヴェニスに於けるマリニフアエリの陰謀。	ドイツの僧マルトルドレワルク火薬を發明す。リニテ、ローマに於て暴政を爲し仕さる。トルコ、ガリボリを略す。歐洲領の始。	ヴェニス人、サルヂニヤ沖にシチリア人を敗る。	コンスタンチノール沖にシチリア人ヴェニス人と戦ふ。		

二〇一〇 (正平・貞和・觀應) 後村上(九十七代) (光明・崇光)(尊氏)	上村後				
	(光崇)		(明光)		
	2010	2009	2008	2007	2006
5	4	3	2	平正	
(應觀) 寅庚	(5) 丑己	(4) 子戊	(3) 亥丁	(2) 戌丙	
(氏尊)(代一)					
正月赤松圓心卒す(年七二)僧澄家寂す(年九二)此月廿七日北朝改元。四月吉田兼好寂す(年六八)元。七月鹽治高貞敗死。十月足利直冬兵を九州に擧ぐ。十二月直義歸順す。是年邊民高麗を侵す。	正月四條顯合戦。正行戦死。高麗直吉野行宮を燒く。五月伊達行朝卒す(年五八)。十月尊氏崇光院を擁立す。十一月一日花園法皇崩す。五十三。	四月足利直冬長門探題となる。六月四條河原原野集衆戦。無算。八月尊氏上杉重能岡山直宗を流す。九月足利基氏鎌倉管領となる。十月足利義隆鎌倉より還る。	八月細川顯氏官軍を攻めんとす。九月楠木正行顯氏を襲撃す。十月懷良親王宇治惟時の暴兵を促す。十一月正行顯氏及山名時氏を破る。	六月懷良親王に勝軍討伐を圖らしむ。七月改元。簡練寂す(年六九)。十一月風雅集成る。十二月尊氏雪村寂す(年五七)。	
高麗	王 定 忠		王 穆 忠		
2	1	4	3	2	
宗 順					
10	9	8	7	6	
十一月更紗法を定む。十二月方國珍温州を攻む。	七月托克托相となる。十月皇子に漢人の文字を習はしむ。	四月帝國子學に遷む。八月威遠卒す。十一月方國珍の兵起る。	六月馬札兒台を西軍に放つ。九月鐵木兒塔魯卒す。十月沿江の兵起る。	五月窩太爾の神主を羅む。六月汀州亂る。阿魯圖やむ。	
1350	1349	1348	1347	1346	
フランス王シャルル二世(一三三四)。	ナボリの女王ジャンヌ・ド・ナポリを法王に賣る。テイルス四世アラックに大學を創立す。ドイツ大學の噴火。黒死病。ローバを擧る(一三五一)。	ドゥッパチアルス四世(一三七八)エドワード三世カレールを取る。ローマに於てリニテの革命。	八月廿六日カレールの戦い。イギリス王エドワード三世ノルマンディーに上陸しフランス兵を破る。カレールにアルニス、英國を侵し潰はる。セルヴェイアの王スティーヴン・ラッシュを稱す。		

二〇二五、 後光嚴(義詮)	上村後 (嚴光後)				
	2025	2024	2023	2022	2021
	20	19	18	17	16
	(4) 巳乙	(3) 辰甲	(2) 卯癸	(治貞) 寅壬	(安康) 丑辛
(詮義)(代二)					
<p>○正月加開白藤原師基爲す(年六六) ○八月吉野行宮火く。</p> <p>三月大内弘世義詮に降る、菊池武光弘世を翌後に破る○藤原爲明新拾遺集の一部を成す等て爲す(年七〇)○五月和泉堺の人道祐論語を刻す○是年山名時氏仁木義長上杉政綱等叛く(七月七日光嚴院丹波に崩す(年五十二))</p> <p>是年高麗の俘虜を遣す、菊池武光、大友時氏を斬る、河野通直歸順す。</p> <p>二月後光嚴院京都に還幸○七月細川頼之清氏を讃岐に侍す、新波義將管領となる○九月廿三日北朝改元、菊池武光親題新波氏経を破る。</p> <p>(二月廿九日北朝改元)○八月菊池武光大友少貳時氏を破る○九月楠木正儀等佐々木秀重同氏監を斬る○十月細川清氏歸順す○十二月官軍京都を収む(三回)等て義詮復入京す。</p>					
高麗 王 愍 恭					
14 13 12 11 10					
(元)順宗 宗 順					
25 24 23 22 21					
<p>八月朱元璋江州に克ち陳友諒武昌に走る○九月阿里哀帖木兒伏誅す。</p> <p>三月明玉珍雲南を陥れ五月楊瑄王と稱す○十二月塔思帖木兒を高麗王として送る高麗兵を以て之を拒む元璋大敗して還る。</p> <p>(夏天統○吳張士誠)</p> <p>正月明玉珍帝を成都に稱し國を夏と號す○七月陳友諒朱元璋と戦ひ敗死す其子理立つ○張士誠吳王を稱す。</p> <p>(漢德帝)</p> <p>正月朱元璋自立して吳王と稱す○二月漢主陳理吳に降る○三月朱元璋官制を定む。</p> <p>三月元の太子大に兵を發し李羅帖木兒を討て之を破る○七月李羅帖木兒等伏誅す○閏十月廣順帖木兒に諸道軍馬を總べしむ。</p>					
一三六五					
<p>○テュグレン、カスアラ王ベートル(見懸)を伐ちて其弟(ヘンリー)を擧ぐ○ウーイン大學の創立○トルコ帝ムラド一世、トラキヤを略し、都をアドリアノールに實む。</p> <p>英佛兩軍交戦、互に勝敗あり、佛將デュゲレン生擒せらる。</p> <p>ラシニ世アルカンド侯國を子フィリアに與ふ○オーストリア家チロルを獲得す。</p> <p>イギリスにてフランスの刑律書を英譯す。</p> <p>トルコ帝ムラド一世アドリアノールを取る○第一アルカンド侯家滅ぶ。</p>					

二〇二〇、 後光嚴(尊氏・義詮)	上村後 (嚴光後)				
	2020	2019	2018	2017	2016
	15	14	13	12	11
	(5) 子庚	(4) 亥己	(3) 戌戊	(2) 酉丁	(文延) 申丙
(詮義)(代二)					
<p>三月邊民高麗を焚掠す○四月尊氏遣く(年五四)○十月新田義興矢口に誘殺せらる○十二月義詮將軍を稱す。</p> <p>三月菊池武光山少貳時氏を破る○四月新千歳成る○八月源良親王菊池武光と少貳時氏を筑後川に破る○十二月尊氏吉野に遁る天皇觀心寺に幸す○是年邊民全羅道追捕使と職ふ。</p> <p>四月朝院公賞爲す(年七〇)興良親王賀名生を擧ぐ○五月山田國清亦坂城を陥る、楠木正儀金剛山に走る○七月仁木義長歸順す○十二月尊氏復す(年八四)。</p> <p>正月足利高麗尊氏に降る○三月義詮破る(是月廿八日北朝改元)○九月尊氏法親王(晉蓮院直親)爲す(年五九)○十一月尊氏官公攝卒す(年五五)。</p> <p>二月光嚴崇光兩院及直仁親王歸京を聽ざる○七月義詮破集を勃興に准す○是年成王皇太子となる。</p>					
高麗 王 愍 恭					
9 8 7 6 5					
(元)順宗 宗 順					
20 19 18 17 16					
<p>正月陳友諒安慶を陥る○五月劉福通許都を陥る韓林兒之に據る○十月朱元璋婺州を陥る。</p> <p>五月方國珍温台慶元の三郡を朱元璋に附す○九月朱元璋劉福通の二州を取る○十二月陳友諒徐壽輝を江州に移し自ら漢王と稱す。</p> <p>(漢天統)</p> <p>五月漢主陳友諒其主徐壽輝を巢谷に弑し自ら帝と稱す天統亡ぶ○十月陽翟王阿里哀帖木兒反す。</p> <p>正月陳友諒安慶を陥る○五月劉福通許都を陥る韓林兒之に據る○十月朱元璋婺州を陥る。</p> <p>五月朱元璋寧國寧の諸路を陥る○八月張士誠降る○十二月明玉珍成都を陥る、天下の義兵を團結す。</p> <p>正月哈麻等伏誅す○二月張士誠平江に據る○三月方國珍降る○七月朱元璋吳國公と稱す。</p>					
一三六〇					
<p>九月十九日ゲテチエーの戦、イギリスの黒太子エドワード、フランス軍を破り、ラシニ世を擒にす○ドイツ帝マクシミリス二世黄金勲章を發布し七人の選擧侯を定む。</p> <p>フランスに於ける百姓一擧(1357)。</p> <p>アレキサンダーの和約(英佛間)、佛王ジャン二帝釋放する。</p>					

二〇三五 (建徳・文中・天授・應安・永和) 後龜山 (九十八代)	山 龜 後				
	(融 圓 後)				(殿光後)
	2035	2034	2033	2032	2031
	授天	3	2	中文	2
	(和永) 卯乙	(7) 寅甲	(6) 丑癸	(5) 子壬	(4) 亥辛
(滿 義) (代三)					
<p>二月山名時氏歿す(年七三)○三月廿三日後醍醐院立つ○八月細川頼朝之楠木正儀を擯く○十一月赤松則祐歿す(年五八)○是年明主邊寇を禁せんと乞ふ。</p> <p>二月菊池武政今川了俊を破る○頃阿蘇す(年七〇)或は元中元年三月寂年四八)○七月各處に段鐘を懸す○是年邊民高麗の諸州を侵す○是年改元。</p> <p>三月細川氏春天野の行宮を犯す○六月明使祖國克勤來る○八月佐々木高氏歿す年六八○十一月菊池武光卒す○邊民高麗の江華漢陽を攻む。</p> <p>(正月廿九日後光院崩す○二月高麗使を遣し寇を禁せんと請ふ○四月上杉顯定歿す(年三〇)○五月藤原經光家を率ゐて高麗に侵す○是年菊池武朝今川貞世と水島に合戦。</p>					
高麗					
(僞主) 禍辛					
1	23	22	21	20	
祖 太					
8	7	6	5	4	
<p>正月江廣洋胡惟庸並び相となる○六月明昇明に降り夏亡ぶ○九月長を設く○是年高麗辛旽伏誅す。</p> <p>正月陳理明昇を高麗に徙す、鄭憲湖南廣西の蠻を討つ○二月安南陳叔明其主を弒して自立す、茶馬司を置く○十二月王禮殺さる。</p> <p>正月天下府州縣官に入觀せしむ、江廣洋を罷む○二月賢才を察擢す○六月京師城成る○閏十一月大明律を定む。</p> <p>正月西北に屯田兵を置く、吳頌を遣し倭寇に備へしむ○五月大明日曆成る○十一月服制を定む○是年豊人倪瓚卒す。</p> <p>正月天下に社學を立つ○三月鈔法を立つ○四月劉基卒す○八月元擴廓帖木兒卒す○十月都衛指揮使司を都指揮使司と改む。</p>					
高麗					
(明)太祖					
1375	1374	1373	1372	1371	
<p>イタリヤのルネッサンス死す○ロバート二世スコットランド王位に登る、スチアート王朝の祖。</p> <p>イタリヤの文豪ベトルカ死す(一三〇四生)。</p> <p>イタリヤの文豪ボッカチオ死す(一三三三生)。</p>					
一三七五					

二〇三〇 (正平・建徳・貞治・應安) 後村上(九十七代) 後龜山(九十八代) 後光嚴(義詮・義満)	山 龜 後				
	(嚴 光 後)				上村後
	2030	2029	2028	2027	2026
	徳健	24	23	22	21
	(3) 戌庚	(2) 酉己	(安應) 甲戌	(6) 未丁	(5) 午丙
滿 義 (代三)			詮 義 (代二)		
<p>五月邊民高麗の香桐を屠る○九月高麗の使來りて禁寇を請ふ、桃井直常死す(或は建徳二年か)。</p> <p>二月高麗使海寇を禁せんと請ふ○四月足利基氏死す(年二八)子氏満繼ぐ○七月新波高經死す(年六三)○十一月細川頼朝之香桐となる○十二月義詮逝く(年三八)。</p> <p>二月頼朝之禁寇條條を作る○三月十一日後村上天皇崩す、壽四十一(此月十七日北朝改元)○七月新田義宗歿す○上杉顯朝歿す(年六二)○十二月義満將軍を稱す(年十一)○是年後龜山天皇踐祚、明主好を通ず、備中津入明求法。</p> <p>正月楠木正儀北朝に降る○四月明主邊寇の禁を請ふ○七月山徒神興を率じ南禪寺門を擯る○九月桃井直常越中松籠寺城に據る○是年河野通直伊豫を復す。</p> <p>七月宇都宮氏綱歿す(年四五)○十月今川貞世西粟題となる○是年改元、邊民高麗山東浙江を擯ふ。</p>					
高麗					
王 愍 恭					
19	18	17	16	15	
祖 太 (明)					
3	2	武洪	27	26	
<p>三月明玉珍卒し子昇帝と稱す○四月吳王孫安諸路を取る○九月吳王の兵張士誠を撃ち湖州諸路を取る○十二月韓林兒卒し宋亡ぶ。</p> <p>九月吳王朱元璋張士誠を執ふ○十月吳王孫安命を定む○十二月吳王方國珍を降す、吳王山東諸郡縣を降す。</p> <p>正月吳王朱元璋帝を稱し國を明と號す○四月徐達常遇春大に元兵を破る○八月徐達大郡に入り元亡ぶ、世祖より十三百九年鐵木眞より十五百六十三年、金陵を南京とし開封を北京とす。</p> <p>正月後山山東に寇す(明倭寇の始)○二月元史の編修を宋濂等に命ず○六月常遇春開平に克つ元帝和林に奔る○七月常遇春卒す○八月高麗王を討つ○十月府州縣官學を立てしむ○是年陶宋儀卒す。</p> <p>四月王子及從孫九人を討つ○陳日輝を安南王とす元主羅昌に租す○十一月大に功臣を封ず○高麗始て洪武の年號を用ふ○是年詩人高啓歿さる。</p>					
高麗					
(明)順宗					
宗 順					
1370	1369	1368	1367	1366	
<p>イタリヤのカシール大王死す、ピラスト朝終結○ボニガリヤ王ルイ一世、ポーランド王位を兼ね(一三三八)○チャムールレン、サルカントに都す。</p> <p>ベートル(兎懸)弟ヘンリーと戦ひて敗死す。</p> <p>黒太子エドワード、ベートル(兎懸)を援け弟ヘンリーを廢す。</p> <p>ベートル(兎懸)放たる○チャムールレン(タムラン)征服を始む、北コラズム汗を滅しバルグを取る(一三六九)。</p>					
一三七〇					



二〇四五 (弘和・元中・永徳・至徳) 後龜山(九十)	山龜後				
	(松小後)		(融圓後)		
	2045	2044	2043	2042	2041
2	中元	3	2	和弘	
(2) 丑乙	(徳至) 子甲	(3) 亥癸	(2) 戌壬	(徳永) 酉辛	
(満義)(代三)					
三月新田義朝義兵を関東に起す○七月頼之寶冠寺を立つ○八月宗良親王薨す(年七三)。	二月廿七日北朝改元○五月今川範國卒す(年九〇)○六月重刻元享釋書成る○是年僧加瑞・明の胡惟庸と謀を通ず、事覺はれ非に處す○是年改元。	正月義隆、淳和齋學兩院別當を兼ね氏の長者に補し准三宮となる○三月徳良親王薨す(年五五)○十月夢窓國師を追して相國寺開山とす○十二月新後拾遺集成る。	正月楠木正儀諱して山名氏稱と戦ふ○閏正月山名氏清官軍と戦ふ、楠氏の族多く戦死す○(四月一日)後小松院立つ○小山義政足利氏請と戦ひ敗死す○十月即位の設儀を令す○十一月相國寺上棟す。	(二月廿四日北朝改元)○十一月鎌倉兵小山義政を破る○十二月宗良親王新羅集を上る○是年改元。	
高麗	11	10	9	8	7
(明)太祖	祖太				
	18	17	16	15	14
	二月徐達卒す○三月進士を選び始めて翰林に入る○九月古州亂る楚王楨之を平ぐ(明の親王親兵の始)○十二月西を平ぐ。	正月湯和倭寇を防ぐ○三月李文忠卒す、科擧條式を頒つ。	二月天下の學校に士を貢せしむ○新羅、占城、琉球等五十九國の勦合を賜ふ。	閏二月雲南平定○四月錦衣衛を設く○八月科擧を復行す○九月僧を擧げて諸王に侍せしむ○十一月段朗大學士を擧ぐ。	正月賦役總を定む○三月五經四書を北方學校に頒つ○十二月海友徳大に元兵を破る、監玉沐英遂に雲南に克つ。
1385	1384	1383	1382	1381	
英王リチャード二世スコットランドを侵す○ボルトガルのジョン大王(一四三三)即位す。	アルゴンドのフィリッポ・フランソワ・ブルトア及びフランソワ・ロコタを獲得す○ウィリアム死す(一三三四生)。	イギリス人カレの防戦に始て大砲を用ふ○英國の宗教改革者ウィリアム・サウスを英譯す。	フランスの動亂、佛兵進入して諸主を復す○ボナパルト及び、ホルランドのルイ大王死す○アラゴンのチャールズとフランスのルイ一世とナボリの王位を争ひしがルイ一世死して亂定まる(一三三四)。	英國に於けるワット・タイラーの反○アラゴンのチャールズ、ナボリ女王マリアを介す○イギリス始て金銀兌換律を定む。	
一三八五					

二〇四〇 (天長・永和・康暦) 後龜山(九十八代)	山龜後				
	(融圓後)				
	2040	2039	2038	2037	2036
6	5	4	3	2	
(2) 申庚	(曆康) 未己	(4) 午戊	(3) 巳丁	(2) 辰丙	
(満義)(代三)					
五月小山義政義兵を起す○(六月廿四日)光明院崩す(年七十)○七月官軍橋本正高戦死○十一月大内弘世親王○是年明主建民の侵掠禁絶を請ふ。	(三月廿一日北朝改元)○四月執事上杉重春氏諱を諱て死す○五月波義將再び管領となる○十月僧初花を天下禪寺僧諱と稱す○十一月河野通直頼之と戦ひ伊豫に敗死す。	三月室町花亭成る○四月上杉能登親(年四六)○七月了俊僧信弘を遣し鄧夢周と共に高麗に往かしむ○九月淡路親王菊池武朝等と了俊を破る○是年竹田昌隆入明醫を學ぶ。	八月懷良親王大内義弘と戦ひ敗績す、菊池氏一族多く敗死す○九月等持寺を十刹第一とす、高麗使鄭夢周來り修好禁絶を請ふ。	正月僧中津等明より歸る○是年菊池武朝今川貞世と戦ふ、懷良親王好を明に通ず、建民全羅道を侵す。	
高麗	6	5	4	3	2
(明)太祖	祖太				
	13	12	11	10	9
	正月胡惟庸謀反し其黨と共に伏誅す○始て南北人を更用す○三月燕王棟國に之く○九月四輔官を置く○十月宋濂卒す。	沐英に池州等を丁玉に松州等を擊たしむ○十二月汪廣洋に死を賜ふ。	正月王子五人を封ず○四月元の愛猷禮理達達卒し其子脱古思帖木兒つぐ○僧宗勳を西域に遣す。	正月宋濂致仕す○四月鄧愈吐蕃を平ぐ○七月通政使司を置く御史に州縣を巡按せしむ○九月胡惟庸汪廣洋を復相とす○十一月鄧愈卒す。	正月湯和に延安を鎮せしむ○六月行中書省を改め承宣布政使司とす○閏九月直官を求む○十一月蕭伯巨を獄に下す。
1380	1379	1378	1377	1376	
チムール・レンク、ペルシャを征服す(一三三九三)○チムール・レンクの戦にシノフ軍降伏。	シノフ艦隊がコーラ沖にバヌス艦隊を敗る○二法王相戦ふ。	ローマ教會の大分裂(一四一七)、ウルバノ六世ローマに遷立せられ、クレメンテ七世ワテニに遷立せらるる○英人ウィリアム・ワットの首位を攻撃す。	法王路易十一世に復讐す○法王クレリ十一世ウエリクを賞む。	法王クレリ十一世、アウグスティンの法王住所たることを廢す○英國黒太子死○スウェーデン市同盟の成立。	
一三八〇					

二〇五五、 後小松(九十九代) (元中・明德・應永) (後龜山(九十八代)) (義滿・義持)	山龜後				
	松小後				
	2055	2054	2053	2052	2051
	2 亥乙	永應 甲戌	明 4 百癸	9 (3) 申壬	8 (2) 未辛
	(義持(代四)) (滿義) (代三)				
	<p>三月新渡義將管領をやめ四月細川頼之に代る○九月義満田樂樂を觀る○十二月山名氏清叛死す(大宮内野の合戦)○此頃大内弘世周防に機業を起す</p> <p>正月山名氏満國を諸將に分つ○三月頼之卒す(年六四)○四月細川頼元管領○閏十月後龜山天皇神器を後小松天皇に傳ふ○十二月高麗使邊民禁室を請ふ、僧允を高麗使遣す○是年高麗好を宗氏に通ず</p> <p>四月河野通義に山名滿幸をうたしむ○(四日廿六日)後醍醐院勅ヲ發三十六、始て泉涌寺に遷る○六月新渡義將再び管領となる○九月義滿左大臣を辭す</p> <p>七月五日改元○十一月關白二條師範辭し一經經嗣代る○十二月義滿軍職を子義持(九歳)に譲り太政大臣となる○是年上杉謙定足利學校を修す</p> <p>二月山名滿幸諫に伏す○四月氏滿鎌倉管領となる、天皇義滿の邸へ行幸○六月義滿太政大臣を辭し強髪道義と稱す</p>				
朝鮮	祖太 (鮮朝) 王讓恭				
	4	3	2	1	3
(明)太祖	祖太				
	28	27	26	25	24
	<p>四月王子十人を封じ王とす○八月皇太子をして陝西を巡遊せしむ○十月准聖を食毒御史とす○高麗の鄭周殺さる</p> <p>四月皇太子標卒す○六月沐英卒す○七月高麗王氏亡び李成桂之に代り國を朝鮮と號す○九月方孝孺を漢中教授とす</p> <p>二月藍玉誅せらる○三月晉王桐蔭王棟化山西北平軍事を節制せしむ○九月鄭濟左庶子となり王駁右庶子となる○是年帖木兒伊兒汗を併す</p> <p>正月預備倉を開き大に貧民に穀を貸す○九月庭表例を議す○十一月傅友德及び王弼に死を賜ふ</p> <p>正月越州の變復叛す○二月馮勝殺さる○八月馮和卒す○九月皇明祖訓を頒つ○高麗恭讓王卒す</p>				
一三九五	1395	1394	1393	1392	1391
	<p>トルコ帝バクシャッド、ニコポリに大に東ローマ軍を敗る</p> <p>アヴィニヨンの法王ベネクト十三世(一七)。</p> <p>スコットランド王ロバート三世即位。</p>				

二〇五〇、 後小松(九十八代) (元中・至徳・嘉慶・康應・明德) (後龜山) (義滿)	山龜後				
	(松小後)				
	2050	2049	2048	2047	2046
	7 (德明) 午庚	6 (應康) 巳己	5 (2) 辰戊	4 (慶嘉) 卯丁	3 (3) 寅丙
	(滿義) (代三)				
	<p>三月前關白近衛直綱死す(年五五)○七月足利直冬死す○(八月廿三日)北朝改元○十二月土持頼康死す(年七〇)○甲寅工明珍宗安、此頃の名あり</p> <p>三月楠木正秀山名氏清と戦ひて敗る○四月義堂頼朝死す(年六四)○六月北朝攝政二條良基死す(年六九)○八月妙範死す(年七八)○義満富士を觀る○是年邊民兵船八十艘高麗の瀋陽光州を侵す</p> <p>(二月九日)北朝改元、高麗將朴叔謙等對馬に寇す○三月義満島に詣づ○山名時義死す(年四一)○元中年間京、堺、山口にて難及紛糾を繼る</p> <p>(三月廿六日)北朝改元○三月楠木和時河内にて山名山名氏清の兵と戦ふ○十月山名氏清同族幸族の時、幸伯書を領す</p>				
高麗	王讓恭 (昌主) 昌辛 禍 辛				
	16	15	14	13	12
(明)太祖	祖太				
	23	22	21	20	19
	<p>六月義老令を行ふ○七月経明を修行し時務に練達の士を擧ぐ</p> <p>正月馮勝をして北伐せしむ○八月藍玉をして馮勝に代らしむ○九月商税を課す○十一月馮和に倭寇を防がしむ</p> <p>四月藍玉元の脱古思帖木兒を破る○九月沐英等に越州の變を討平せしむ○十月元の也速迭兒其主脱古思帖木兒を弑す○十二月安南王黎季犛其王位を弑す</p> <p>二月武臣の民事に預るを禁ず○五月義堂桑原頼朝の三衛を置く</p> <p>正月晉王桐蔭王棟をして北伐せしむ○五月李齊長殺さる○十二月天下の文綺を繕るを罷じ</p>				
一三九〇	1390	1389	1388	1387	1386
	<p>リクワニヤ大公ヤケロン、ポーランド王となり、ヤケロン王朝を創む○七月九日セルビアの戦、オーストリア大公レオポルド、スウィス同盟を伐ちて敗死す○ハイデルベルグ大學の創立</p> <p>シヤモンド(ウシチヌス帝の弟)ボンガリヤ王となる</p> <p>オデルバインの戦(英法間)、マダラス伯殺さる</p> <p>コンヴェットの戦、トルコ帝ムラド一世セルウイヤ軍を敗りて戦死す、子バジリド一世嗣ぐ</p>				

二〇六五、(應永)後小松(九十九代)(義持)	松 小 後				
	2065	2064	2063	2062	2061
	12 百乙	11 申甲	10 未癸	9 午壬	8 巳辛
	(持 義) (代四)				
	三月朝鮮人入京す○五月義持明使を北山第に引見す○七月菅領山基國やめ斯義重代る○八月義持船を兵庫に置く○是年義持の病歿明國より來る。伊達政宗卒す。	二月前太政大臣徳大寺實時薨す(年六七)○五月明使來る義持引見す○七月義持明使を明に遣す○八月明使再び來る○是年明の勅令符を得貿易船數及び人數を定む。	二月明使歸る○五月義持頼朝弟武朝と千栗に戦ふ○八月時時経書經の新註を明より寫らす○十一月明主即位を義持に告ぐ。	五月御兼上杉氏を遣し伊達政宗の叛を討ず○八月義持邊民の明國侵寇を禁ず○九月義持明使を北山殿に引見す、伊達政宗降る○十月北山殿願義持す○是年使僧を明國に遣はす。	二月皇居火く○三月義持始て明主に好を通じ書を贈る○九月義持船を兵庫に置く○十二月経義持(年六六)○是年明の理民を發還す。
朝鮮	宗 太				
5	4	3	2	1	
(明)惠帝、成祖	祖 成 帝 惠				
	3	2	樂永	4	3
	正月魏觀内屬す○六月中官鄭和をして南洋に使せしむ○安南粘木兒卒す○十二月八百機船を降す○朝鮮復漢陽に都す。	三月始て進士を選びて翰林院庶吉士とす○四月高熾を皇太子とし高煦を漢王とし高燾を趙王とし高安克帖木兒を思順王とす。	正月周齊代岷の四王國を復す○二月北平を北京とす○四月中官侯景等を南洋等の諸國に遣す○八月慶泰自殺す○十一月胡客を安南國王とす○朝鮮寫字所を設く。	五月勅王兵を天下に徵す○六月諸兵京師を陪帝遣れ出づ○燕王自立して皇帝と稱し方季孺等を殺す○十月置て太祖實錄を修む。	三月慶唐諸王の軍を夾河に破る韓で敗績す、齊魯諸子澄を脱し燕王棟に兵を賜めしむ○十二月燕王大舉南犯す、京師震駭。
	1405	1404	1403	1402	1401
	キチンク汗國滅し、カザン、クリムヤ等に分裂す○ニス、ゲノナ及びハゲアを征服す○サムールレンク死す。	ローマ法王インノセント七世選立(一四〇六)。	七月シリスベリの戦、イギリス王ヘンリー四世、オーウェン・グレンドワーの同盟者ハリーパーシーを敗りて殺す。	ファンゴラの戦、サムールレンク、パコヤド一世を破り之を擒にす。	英國議會ウヰリアムの僧徒(僧)の賛判を決す。

一四〇五

二〇六〇、(應永)後小松(九十九代)(義持)	松 小 後				
	2060	2059	2058	2057	2056
	7 辰庚	6 卯己	5 寅戊	4 丑丁	3 子丙
	(持 義) (代四)				
	正月今川頼朝に駿河遠江守護職を命ず○二月義持滿蒙に足利庄を興ふ○三月滿蒙議合に遣る、足利直冬卒す○五月前關白九條経敬薨す(年六四)○十月信濃大塔合戦。	四月一經経國復國自任○六月河内公定薨す(年六〇)○九月相國寺大塔供養○十月大内義弘兵を甲斐に討つ○十一月大内義隆兵を武藏に出し義弘に殺す○十二月義弘伏誅す。	(正月十二日)崇光院崩す(年六十五)○二月經國經國少貳千歳の族を伐つ○三月關白經國經國二條経國代る○四月菅領義隆薨す○八月山基國代る○十一月氏滿薨す(年四二)○翌月子義隆兼會管領を繼ぐ○是年三管領四職七頭を置く鎌倉亦管領八家を置く。	正月小山若丸自殺す○四月義持北山に金閣寺を建つ○五月關白頼元卒す(年五五)○八月使を明に遣す○是年大内義弘に少貳氏を討たしむ。	二月足利氏滿小山若丸を古河に撃つ○三月性海寂す、小笠原長考等に武臣の歸順を請定せしむ○七月氏滿鎌倉に還る。
朝鮮	宗 定 祖 太				
2	1	7	6	5	
(明)太祖、惠帝	帝 惠 祖 太				
	2	文建	31	30	29
	五月燕王棟徳州を陥る○八月慶唐等燕王を破り徳州を復す○十二月慶唐大に燕王を破る○朝鮮の朴苞亂を作す。	正月太祖實錄を修む○二月帝の弟三人を王とす○四月湘王柏自焚す○齊王傅代王桂駟王薨せらる○七月燕王棟兵を起し鎮撫の節と稱す○八月官軍燕王を征し敗績す○朝鮮開城に遷都す。	閏五月帝薨す○六月州縣の冗員を省く方季孺翰林院侍講となる○七月周王橈廢せらる○朝鮮鄭道演亂を作し太祖威儀に奔る。	五月帝薨す○八月西陽の吏高綱亂を作す○九月平遥都長刀於孟叛す、朝鮮成均館を建つ。	二月燕王棟をして逃過せしむ○御史王許を殺す○朝鮮都を漢陽に定む。
	1400	1399	1398	1397	1396
	フアルク伯ルベルト、ドイツ帝に選立(一四〇一)○英國詩人チヤーチー死す(一三二八頃)成は一三四〇生○オーウェン・グレンドワー主謀の下にサムールレンク反す。	イギリス王ヘンリー四世(一四一三)、ランカスター王朝(一四六一)の祖○アラゴンのチャールズの子カスチラスとアラゴン、ルイ二世とのナボリ婚事はカスチラスの勝利に歸す。	サムールレンク印度の一部を降し、ゲリリを取る。	カルマルの統一、ノルウェー女王マーガレット、デンマルク、スウェーデン及ノルウェー三國を統一す。	九月二十八日ニコポリの戦、パジャッド一世ボンナリヤ王シヤサモンドを破る。

一四〇〇

二〇七五、(應永)後小松(九十九代)(義持) 稱光(百代)(義持)	光 稱			松 小 後	
	2075	2074	2073	2072	2071
	22 未 乙	21 午 甲	20 己 癸	19 辰 壬	18 卯 辛
	持 義 (代四)				
	五月鎌倉執事大野氏(禮秀)罷み山内親基之に代る。六月日吉神興入京。八月將軍北畠親隆と和す。十一月會津黒川の兵新宮城を攻む。應永中備前燬再興。	六月新渡義重高野山に遁る。八月上杉朝宗卒す(年七六)。九月北畠親隆兵を伊勢に起す。十二月即位の段錢を諸國に課す。是月十九日稱光天皇即位。	四月奥州の伊達輝元等兵を起す。持氏之を討す。九月後醍醐天皇を諸國に課し賀茂太田社更迭。十二月奥州大佛城陥る。	四月管領畠山満家やめ細川満元之に代る。六月南蠻船若狭小濱に着す。八月廿九日即位。稱光天皇踐祚。十二月山内親隆卒す(年三八)。	正月鎌倉執事山内上杉定幹解し翌月大野氏毒代る。八月島津元久卒す(年四九)。九月幕府將軍細川頼朝を誅す。明船兵庫より歸航す。十二月僧一休將軍に謁す。
朝鮮	宗 太				
	15	14	13	12	11
(明)成祖	祖 成				
	13	12	11	10	9
	正月馬哈木使を遣し來朝せしむ。海運をやむ。四月輔張交趾に出鎮す。金忠卒す。	三月張輔陳季賢を老嫗に追捕す。六月大に衛拉特を破る。閏八月王濟燧を獲し弟濟燧を王とす。十一月大金書を頒行す。	二月貴州布政司を置く。帝北京に赴く。五月死罪納賄例を定む。十月阿魯台を和寧王とす。是年馬哈木本雅失里を殺し答里巴を立つ。朝鮮八道を定む。	八月邊將に曠垣を治めしむ(長安嶺より洗馬林に至る)。十一月甘肅を經略す。	二月陳瑛殺さる。七月張輔大に交趾を破る。十月哈密の兎力帖木兒を恩親王とす。琉球中山入貢す。朝鮮四學を設く。
一四一五	1415	1414	1413	1412	1411
	七月フスの賛利。十月二十五日アゼンクールの戦。英王(ヘンリー)五世佛兵を破る。ホーエンツォレルン家アランデルアルグを獲得す。コンスタンツス宗教會議(二二三)世を廢す。ホルトガル王(ン)大王セウタを取る。	コンスタンツスの宗教會議(一四一八)。	ナポリのラファエッス、ローマを取る。	ボ(キヤ)人フス(一三六九)生、ナラゲ大學教授(免罪符(シシ))販賣に抗し破門せらる。	ドイツ帝シヤモント(一四三七)スコットランドのセントランドルス大學創立。

二〇七〇、(應永)後小松(九十九代)(義持)	松 小 後				
	2070	2069	2068	2067	2066
	17 寅 庚	16 丑 己	15 子 戊	14 亥 丁	13 戌 丙
	持 義 (代四)				
	三月天龍寺を五山第一とす。五月新渡義將卒す(年六)。六月畠山満家管領。八月大内氏書を朝鮮に求む。十二月足利持氏元服。一松經嗣開白。是年邊民明の廣州を攻む。	三月二條滿基開白。朝鮮使者來る。六月幕府朝鮮に將軍の喪を告げ大禮經を求む。七月明使來り義滿の喪を弔し(恭獻)を贈る。鎌倉管領足利滿兼卒す(年二二)。八月新渡義將管領。是年滿川滿朝使を朝鮮に遣す。	二月新渡義將卒す(年五七)。三月天皇義滿の別第北山に幸す。四月近衛忠嗣開白。五月義滿薨す(年五)。太上天皇の號を贈る。義持之を許す。六月南蠻船渡來す。馬術家大坪道綱(應永)は義滿義持に仕ふ。	正月大地震鎌倉傾倒。八月明使來る。九月幕府京都に地口錢を課す。是年光嚴司(明兆)、東福寺の佛堂を畫く。菊池武朝卒す(?)。	正月畠山基國卒す(年五六)。六月明使冊書を贈り阿蘇山を封じて慶安親國となすの碑文を齎らす。九月義滿明使を引見す。京師火。十月邊民明の沙門島を侵す。
朝鮮	宗 太				
	10	9	8	7	6
(明)成祖	祖 成				
	8	7	6	5	4
	二月帝自ら將として驪祖を伐ち之を破る。六月驪祖の阿魯台降る。八月何福自殺す。	五月衛拉特馬哈木を順寧王とし把禿魯を安樂王とす。七月邱福驪祖を討ちて敗はす。十一月張輔交趾を破る。	正月暹王梗罪あり。八月交趾復亂る。九月歐囚を理す。帖木兒の子沙合魯起る。	三月西僧哈里瑪を大寶法王とす。五月張輔安南王親季賢父子を擒す。六月交趾布政司を置く。	四月遺書を求む。七月宋能張輔等に安南を伐たしむ。八月齊王博を庶人とす。本雅里矢可汗となる。于闐入貢す。
一四一〇	1410	1409	1408	1407	1406
	ポーランド王ヤケロン(ラヂスワス二世)ヤンネンブルグ附近にドイツ武士團を破る。○法王(ルネ)二十三世(一四一五)。	ビヤの宗教會議、グレゴリー十二世、パナチト十三世の二法王を廢しアレクサンデル五世(一四一〇)を立つ。二法王服せず。同時に三法王あり。○ライプツヒヒ大學の創立。		オルケン公ルイ、アルグンド公ジョンに暗殺せらる。	フロレンス、ビヤを征服す。○ローマ法王(グレゴリー)十二世(一四〇九)服せず。一四一五没位)。

二〇八五、(應永)稱光(百代)(義持・義量・義持)	光 稱				
	2085	2084	2083	2082	2081
	32 巳乙	31 辰甲	30 卯癸	29 寅壬	28 丑辛
持義	量義 (代五)	持義 (代四)	持義 (代四)	持義 (代四)	持義 (代四)
二月將軍義景卒(年一九)○四月貞成親王宣下○六月天皇聖德太子を召す上皇之を止む○九月大友率親戰死す(年三二)。	二月京都護國寺和隆○四月白濁散辭し二條持基代る○六月興福寺東大寺と闘ふ○八月義持使を高麗に遣す○十月京都護國寺和隆に討つ○十二月武府より歸る○是年飢饉人多く死し往々塚村無人に至る。	三月義持將軍を辭し義量之に代る○五月版圖を朝鮮に求む○八月藤原朝臣の事を命ず○十一月上皇義持室町第に幸す。	五月義持大禮を朝鮮に求む○七月十五日後進山法皇崩す七十五、建武式目追加十一條を下す○閏十月持基佐竹上總入道を殺す○是年明使を遣す、大内盛見使を朝鮮に遣す。	八月山内實朝家督となる○九月持基武田僧長を甲斐に討す○十一月上杉房方卒す(年五五)○是年邊民明を侵す。	八月山内實朝家督となる○九月持基武田僧長を甲斐に討す○十一月上杉房方卒す(年五五)○是年邊民明を侵す。
朝鮮	宗 世				
	7	6	5	4	3
(明)成祖、仁宗	宗 仁 祖 成				
	熙洪	22	21	20	19
	正月弘文閣を建つ○五月帝崩す○六月宣宗即位○閏六月楊溥入閣す、科擧法を更定す○八月巡撫官を置く。	七月帝北途中に崩す○八月太子高麗即位○三公孤官を復置す○九月南京守備を置く○十月賢才を擧ぐ。	五月孟買等逆を謀り誅に伏す○七月李時勉を擢す○八月帝北征す○十月也先上于來降し師を班す。	正月李彬卒す○三月阿魯台入寇す帝親征し七月大に之を破る○八月鄭和還る○十月天下の倉儲を賑せしむ○是年朝鮮太宗卒す。	正月京師を南京とし北京を京師とし北京に遷都す、鄭和復南洋に使す○四月李時勉を擢に下す、使を分遣し天下の軍民を安撫せしむ。
	1425	1424	1423	1422	1421
一四二五	東ローマ帝シムンハレオグスの即位。	フス黨の主將スカ死し、アロコピウス大之に代はり其一派をカリ黨の主將となる○備法王クレメンヌ八世選立。	ドイツ帝ヤコブ五世、ロマン家のフレデリックにヤコブニヤ選帝侯國を授く。	イギリス王ヘンリー六世即位、ロアル河以北を領し、フランス王と稱す○フランス王チャールズ七世即位、ロアル河以南を領するのみ○トルコ帝ムラト二世コンスタンチノーブルを圍む。	

二〇八〇、(應永)稱光(百代)(義持)	光 稱				
	2080	2079	2078	2077	2076
	27 子庚	26 亥己	25 戌戊	24 酉丁	23 申丙
持義	義 (代四)	義 (代四)	義 (代四)	義 (代四)	義 (代四)
八月今川貞世(了俊)卒す(年九六)○十月義持、賢師高天を流し、弟之を殺す○是年天下凶飢、滋川義俊使を朝鮮に遣す。	○八月義持内大臣を辭す。	正月山内實朝家督となる○六月蒙古朝鮮兵對馬に來侵す、滋川義俊之を破る○七月明使呂淵來る、其府邸して其來朝を拒つ○八月義持内大臣を辭す。	正月護國寺執事基基卒す(年二七)、將軍義持弟義嗣を殺す(年二五)○五月足利滿隆死す(年五〇)○八月新波重隆死す(年四八)○十一月關白一條經綱死す(年六六)○十二月九條實朝崩す○是年進川義俊筑紫探題となる。	正月氏直護國寺敗死、持基護國寺を復す○二月武田信清自殺す○春、邊民明の平陽等を攻む○四月鎌倉執事山内實朝を辭し、六月復職す。	五月邊民明境を犯す○八月大德寺持基の叔父護國寺に反を勧めて兵を起す(護國寺の亂)○十月氏直護國寺府を圍む○十二月鎌倉執事持基根絶に遁る。
朝鮮	宗 世 宗 太				
	2	1	18	17	16
(明)成祖	祖 成				
	18	17	16	15	14
	二月秋婦所嬰兒亂を作す之を討平す○十月李彬黎利を老嫗に破る。	六月劉江倭寇を破る○七月鄭和還る○十二月死刑を償ましむ。	正月交趾復亂る○五月胡廣卒す、重修太祖實錄成る。	二月谷王儀を廢す李彬交趾を鎮す○三月漢王高煦を徙す○十一月北京に幸す、皇太子に監國せしむ。	三月阿魯台位拉特を破る○十月帝京師に歸る○十一月張輔を召還す。
	1420	1419	1418	1417	1416
一四二〇	フス黨の亂(一四三六)スカ將たり、アラゲに起る○ポルトガル人マデイラ島に到る。	トルコの續和、英王ヘンリー五世佛王、イリス六世の王女と婚し佛國の攝政及繼承者となる。	コンスタンツスの宗教會議閉會○パリに於てアルマニ、黨徒殺せらる。	オールドカスルの賛刑○コンスタンツスの宗教會議、マルチン五世を選立す。	アラゲのシャロームの賛刑。

二〇九五、(永享)後花園(百一代)(義教)	園花後				
	2095	2094	2093	2092	2091
	7 卯乙	6 寅甲	5 丑癸	4 子壬	3 亥辛
	義 (代六)				
六月河野通久頼西に戦死(年二五)〇七月僧道長が將軍に謀す〇八月道観親王玉葉集を述む〇十月貞成親王古今著聞集を獻す	五月藤原通直少貳頼房と戦ひ敗死す(年四五)〇二月貞成親王明德記撰記を獻す〇四月馬術家伊勢貞長歿す(年七二)〇六月明使入京禁煙を請ふ〇十月醍醐寺僧徒神興を奉じ入京〇十一月滋川義俊卒す(年三五)〇是年僧中誓を明に遣す	五月藤原通直少貳頼房と戦ひ敗死す(年四五)〇二月貞成親王明德記撰記を獻す〇四月馬術家伊勢貞長歿す(年七二)〇六月明使入京禁煙を請ふ〇十月醍醐寺僧徒神興を奉じ入京〇十一月滋川義俊卒す(年三五)〇是年僧中誓を明に遣す	〇四月大内持世兄持盛を攻め敗死す(年四〇)〇六月僧道明より歸る〇九月扇山滿家卒す(年六三)〇十月廿日後小松法皇崩す(年五十七)〇十二月新波義淳卒す(年三七)〇兼山家徒降参	正月將軍朝使を引見す〇三月二條持基關白〇四月大内持世兄持盛を攻め敗死す(年四〇)〇六月僧道明より歸る〇九月扇山滿家卒す(年六三)〇十月廿日後小松法皇崩す(年五十七)〇十二月新波義淳卒す(年三七)〇兼山家徒降参	三月多武峯僧徒大和小川氏弘と合戦〇六月大内盛見肥前に戦死す〇七月朝鮮進貢〇八月僧道明兆叙す(年八)〇持氏始て永享の號を用ふ
朝鮮 世 宗 宣					
17 16 15 14 13					
10 9 8 7 6					
四月王通に黎利を征せしむ〇七月内書堂を立つ〇八月漢王高麗報す帝親征之を降す〇撤馬見早入貢す	四月菅王濟續を廢す〇十月王通文趾を襲て黎利と盟ひて還る〇十一月黎利を敗し文趾布政司を罷む〇朝鮮神延願卒す	二月鄧暲を太子とす、帝則改二十五歳を作る〇七月順佐右都御史となる〇八月帝巡邊し鳥嶽海の徒を破る	四月始て大臣に禮儀を經略せしむ、禮史の職を許さず〇六月始て鈔關を設く	正月夏原吉卒す〇二月寬河の詔を下す〇十月帝洗馬林に武を閲す〇朝鮮五禮儀を修む	六月天下府州證會を修む官儀を作り百官を收む〇八月諱訪の者の罪を宥す、蘇州府に濟農倉を設く
1435	1434	1433	1432	1431	
コロンブス生る(一殺一四四七年頃、一五〇六死)	バイシミアロードの戦、オボリ黨カリダスタン黨に敗られ主將アロコピウス大及びアロコピウス小殺される	ポルトガル王王宮をコインフラよりリスボンに移す〇パーセルの宗教會議〇オウズに於けるフスカリクスタン黨と妥協す	ポルトガル人アゾールを取る	五月イギリス人ジャンストルガを殺す〇パーセルの宗教會議〇オウズに於けるフスカリクスタン黨の勝利	
一四三五					

二〇九〇、(應永・正長・永享)稱光(百代)後花園(百一代)(義持・義教)	園花後		光 稱		
	2090	2089	2088	2087	2086
	2 戌庚	享永 酉己	長正 甲戌	34 未丁	33 午丙
	義 (代六)		持 義		
二月幕府小倉宮の御用途を定む〇九月洛中外に酒屋土倉の事を令す〇十一月借物返償法を定む〇四月一月加賀白山僧徒南嶽寺領に亂入す、勢月僧徒多く誅せらる	三月將軍朝使を引見す〇三月二條持基關白〇四月大内持世兄持盛を攻め敗死す(年四〇)〇六月僧道明より歸る〇九月扇山滿家卒す(年六三)〇十月廿日後小松法皇崩す(年五十七)〇十二月新波義淳卒す(年三七)〇兼山家徒降参	〇三月將軍朝使を引見す〇三月二條持基關白〇四月大内持世兄持盛を攻め敗死す(年四〇)〇六月僧道明より歸る〇九月扇山滿家卒す(年六三)〇十月廿日後小松法皇崩す(年五十七)〇十二月新波義淳卒す(年三七)〇兼山家徒降参	〇三月將軍朝使を引見す〇三月二條持基關白〇四月大内持世兄持盛を攻め敗死す(年四〇)〇六月僧道明より歸る〇九月扇山滿家卒す(年六三)〇十月廿日後小松法皇崩す(年五十七)〇十二月新波義淳卒す(年三七)〇兼山家徒降参	〇三月將軍朝使を引見す〇三月二條持基關白〇四月大内持世兄持盛を攻め敗死す(年四〇)〇六月僧道明より歸る〇九月扇山滿家卒す(年六三)〇十月廿日後小松法皇崩す(年五十七)〇十二月新波義淳卒す(年三七)〇兼山家徒降参	〇三月將軍朝使を引見す〇三月二條持基關白〇四月大内持世兄持盛を攻め敗死す(年四〇)〇六月僧道明より歸る〇九月扇山滿家卒す(年六三)〇十月廿日後小松法皇崩す(年五十七)〇十二月新波義淳卒す(年三七)〇兼山家徒降参
朝鮮 世 宗 宣					
12 11 10 9 8					
5 4 3 2 德宣					
四月王通に黎利を征せしむ〇七月内書堂を立つ〇八月漢王高麗報す帝親征之を降す〇撤馬見早入貢す	四月菅王濟續を廢す〇十月王通文趾を襲て黎利と盟ひて還る〇十一月黎利を敗し文趾布政司を罷む〇朝鮮神延願卒す	二月鄧暲を太子とす、帝則改二十五歳を作る〇七月順佐右都御史となる〇八月帝巡邊し鳥嶽海の徒を破る	四月始て大臣に禮儀を經略せしむ、禮史の職を許さず〇六月始て鈔關を設く	正月夏原吉卒す〇二月寬河の詔を下す〇十月帝洗馬林に武を閲す〇朝鮮五禮儀を修む	六月天下府州證會を修む官儀を作り百官を收む〇八月諱訪の者の罪を宥す、蘇州府に濟農倉を設く
1430	1429	1428	1427	1426	
去年よりフス黨ヲクシニヤ、フランコニヤ及びペウリヤを蹂躪す	オルレンの少女ジャンヌドルク、イギリス軍を破り、オルレンの圍を解く(四月二十九日、五月八日)〇佛王シャルルス七世レニスに即位式を行ふ〇攝法王クレメンス八世法王ルネ五世に服す、教會の大分裂全く終焉を告ぐ	英軍オルレンを攻圍す、フランス滅亡に瀕す	ニエスに於けるフス黨の勝利	アウレツに於けるフス黨の勝利	
一四三〇					

二一〇五、 義勝・義政 後花園(百一代)	園花後				
	2105	2104	2103	2102	2101
	2 丑乙	安文 子甲	3 亥癸	2 戌壬	吉嘉 酉辛
政義 (代八)	勝義 (代七)				
	<p>二月十七日改元○四月幕府瑞珠を島津氏に 屬す○六月赤松隆徳を討つ○七月春王安王を斬 る○九月山名持朝等謀逆を誅す○閏九月 幕府徳政條目を定む</p> <p>二月幕府遣明使を遣す○六月山崎持國等領 となる○幕府酒税を徴す○八月細川持之(年 四三)小笠原政康(年六九)各卒す○十一月 義勝任將軍</p> <p>六月朝鮮使者來る○七月將軍義勝卒す(年 一〇)○義政家督をつぐ○九月賊禁中に入り て放火し神皇寶劍を奪去す○義政實朝拾得 す○是年朝鮮和を議して俘を還し宗貞盛朝 鮮と歲遣船五十隻を約す</p> <p>二月五日改元○五月奥濃近江亂る○八月藤 原有光等吉野に據る○是年宗盛家使を朝鮮 に遣し、歲に船四隻を遣るを約す</p> <p>三月櫻庭通川瀧頼卒す(年七五)○四月細川 勝元山崎持國に代りて管領となる○九月關 白二條持基等(年五六)○是年松浦元吉は 歲給一隻を宗盛弘は四隻を遣るを朝鮮に約 す</p>				
朝鮮	宗世				
	27	26	25	24	23
(明)英宗	宗英				
	10	9	8	7	6
一四四五	1445	1444	1443	1442	1441
	<p>正月王永王が非難を言ひ殺せら る○四月天下學校に附學生を置く ○十月苗衷高毅入閣し曹繁等と議 務に預る</p>	<p>正月烏珠海を撃つ○三月湯士奇卒 す○四月陳循入閣機務に預る○八 月脱歡死し子也先つぎ自ら太師と 稱す</p>	<p>正月王直吏部尚書となる○五月復 讐川蠻を伐つ○六月太監王振、劉 球を殺し誣言を獄に下す</p>	<p>六月無安を倭寇に備ふ○十一月衛 拉特入貢す</p>	<p>正月蔣貴王驥に贛川蠻思任殺を伐 たしむ○三月于謙を獄に下す○十 二月思任殺孟養に遁走す</p>

三三〇〇、 永享後花園(百一代)(義教)	園花後					
	2100	2099	2098	1097	2096	
	12 申庚	11 未己	10 午戊	9 巳丁	8 辰丙	
教義 (代六)	義 (代六)					
	<p>五月幕府貸借償令を下す、僧徒女僧樂を 観るを禁ず○六月九州平定、僧中誓明より 歸る○是年僧惠風明に遊ぶ</p> <p>三月義教諸將を遣り多武峰を攻む○六月持 氏上杉重實と不和○八月楠氏の族、兵を河 内に起す○十月天皇義教の館に幸す、幕府 貸借償書二十年以上者は判理せざるを令 す</p> <p>六月足利持氏先例に従はずして子義久に加 冠す○八月上杉重實上野に赴く、持氏重實 を討たしむ、藤原雅世教を奉じて新羅古今 集を撰す(勅撰の終)○幕府持氏を討つ○十 一月持氏大敗朝野○是年三十三間堂を造る</p> <p>三月持氏父子自殺す○三月琉球王奉貢○四 月徳民明の近東に寇す○十一月(或は六月) 兼實職を弟清方に譲りて出家す○十二月朝 鮮使高神宗等來聘す</p> <p>二月朝鮮の使歸る○三月結城氏朝持氏の子 春王安王を擁して結城に據る○五月幕府一 色義實土岐持頼を誅す○七月北風驟降降る ○十月幕府貸借償制を改む○十一月公卿以 下に各所蠲書目を上らしむ</p>					
朝鮮	宗世					
	22	21	20	19	18	
(明)英宗	宗英					
	5	4	3	2	統正	
一四四〇	1440	1439	1438	1437	1436	
	<p>正月黃福卒す○六月僧道二萬餘人 を度す○七月楊榮卒す○十一月河 南の僧楊行詳諱文帝と僞稱し軌へ られ獄死す</p>	<p>三月瑩王貴始を襲す、沐晟軍に卒 す○五月贛川の叛蠻思任殺を討つ ○朝鮮頭孫式を頭つ</p>	<p>四月大同馬市を設け密拉特と互市 す○十一月巡遊工匠四千餘人を捕 ふ</p>	<p>五月王驥に甘肅の邊務を經理せし む○是年阿爾台脱脫不花に殺さる ○朝鮮始て北邊大綱を置く</p>	<p>五月始て揚善學校官を置く○七月 聖賢の後裔を復す○九月黎利の子 顯を安南國王とす</p>	<p>シヤセンド帝死す○スコットランドのウォーム ス一世欲せられ子ジョージ二世嗣ぐ○ 法王ユージン四世パーゼル宗教會議の解 散を命ず</p> <p>ドイツ帝アルバート二世即位、爾後ハアステ ル王朝永履す(一八〇六)○是歲頃 イアンバルヒ活字印刷を創む</p> <p>フロレンスの宗教會議、ギリヤ、ローマ二教 會の合一を布告す○フランス國會議 兵の殺伐を決す</p> <p>ドイツ帝レオパルト三世(一四九三)</p>

後花園				
2115	2114	2113	2112	2111
正康 亥乙	3 戌甲	2 酉癸	德享 申壬	3 未辛
政 義 (代八)				
七月成氏上杉房顯と分幣河原に戦ふ。○三月 高山持國死す(年五九)○六月二條持通復國 白任、幕府今川勘忠に使者を討しむ。成氏古 河に據る○七月廿五日改元○是年幕府東常 陸に四東を平定せしむ。	四月高山政長義就家督を争ふ○七月成氏房 平親白○十月常時使歸朝、重て徳政禁令を 出す○十二月成氏重忠を殺す、關東大亂○ 是年大内教弘朝鮮と武遣船三隻を約す。	四月二條持通關白任○五月義成義政と改名 ○九月加太政大臣久我通時死す(六一)○ 十二月若狭國人蜂起す、略て平く。	三月伊勢國司北畠具時謀を辭し國に就く ○七月廿五日改元○九月新渡義健卒(年一 八)○十二月勝元持國に代り再び管領とな る○是年琉球王天照大神の祠を那覇に建つ。	七月琉球商船兵庫に寄す、細川勝元其版物 を抑留す、琉球人之を訴ふ○八月一級兼良 亭に伊呂波連歌あり○十月南都一揆徳政と 稱して蜂起、義政學問所を遷す○是年僧元 澄を明に遣す。
宗 端		宗 文		
3	2	1	2	1
宗 景				
6	5	4	3	2
四月藤頼入賞○十一月方原をして 幽廣の報苗を討たしむ、是年高麗 端宗位を世繼に譲る。	八月兩京の銀鈔を減ず○十月南拉 特其主也先を殺し、脱不化の子藤 兒可兒を立つ、是より南拉特衰へ 難復徳となる。	四月生員粟を納れて國子監に入り しむ○八月也先自立し大元天皇可 汗と稱す○十一月太子見酒卒す。	五月帝見深を獲し見濟を以て太子 とす○六月大隆福寺を建つ○十月 諸將を大同宣府に鎮せしむ。	正月天下僧道を度す○十二月廣通 王管陽宗王徵福廢せらる、國營を 立つ、也先其主脱不化を弑す○ 朝鮮高麗史を撰す。
1455	1454	1453	1452	1451
イギリス番船戦争(一四八五)、ランカステ 一家とヨーク家と王位を争ふ○五月廿 二日セントラルバンスの戦、ヨークの勝 利。	ヨーク公イギリスの保護者と稱せらる。	東ローマ帝國の滅亡、五月廿九日トルコ 帝マホメット二世コンスタンチノールを陥る ○カスチヨンの戦、フランス軍、イギリス軍を 破る、百年戦争終はる、イギリス僅にカレ ーを保つのみ。	スコットランド王クエーン・メアリー二世(一四三七 —一四六〇)アラス伯ウリアムを殺す。	佛軍英軍を取りヤエヌヌを取る。

二二五、(寶徳・康正)後花園(百一代)

朝鮮

(明)景宗

一四五五

後花園				
2110	2109	2108	2107	2106
2 午庚	德寶 巳己	5 辰戊	4 卯丁	3 寅丙
政 義 (代八)				
四月成氏義忠等亂、幕府大内修理の段鐵を 島津忠國に譲す○九月幕府關白に佛徳國 の號を加賜す○十月四條河原大橋を新築す。	正月持氏の遺子成氏東國の主となる○四月 義政將軍に任ず○七月廿八日改元○八月琉 球人入賞○九月管領細川勝元やめ翌月高山 持國代る○十一月山内憲忠鎌倉執事となる ○是年宗盛家朝鮮と約し船三隻を増す。	五月幕府浪人の排溺を禁ず○七月洪水死亡 多し○是年岩根元延奥州路を開く、琉球人 來る。	六月關白房嗣辭し一級兼良代る○九月東大 寺關白の僧徒守關す○十二月高山持國が 兵前大僧正尊光を紀伊北山に改殺す○是年 周布和兼、朝鮮と約して歲に船一隻を遣る。	正月東大寺戒壇院火上○四月邊民浙西に入 り海軍を居る○七月瀧州合戦、菊池持朝卒 す○八月飯高山合戦。
宗 世		宗 英		
32	31	30	29	28
宗 景				
泰景	14	13	12	11
三月南拉特復入寇す○五月南拉特 和を請ふ○八月上皇德拉特より還 る。	二月師茂七段さる、王職管領思繼 發を破る○七月南拉特入寇す○八 月親征軍土木に調帝帝補へらる、 王振が族を與す、調帝帝を召す○九 月太子師王即位○十月也先京師を 犯す。	三月王職に細川勝元を任せしむ○五 月調帝の使用を禁ず○七月保寧を す○八月福建の賊師茂七亂を作 す○十一月大興隆寺に幸す。	三月抄州府の衆を出東に能す、李 時勉致仕す○六月張輔を殺す○十 一月楊洪をして宣府に鎮せしむ。	正月王振等に錦衣衛世職を予ふ○ 七月市税を増す、湯沐卒す○十一 月秋死以下の罪を減ず○朝鮮諺文 を作る。
1450	1449	1448	1447	1446
イギリスに於けるジャコブ・グレイドの反亂○ トランにエノルカ家起る。	フラン人ノルマンディーを克復す(一四 五〇)。		ミランのヴィスコンチ朝終ゆ。	

二二〇、(文安・寶徳)後花園(百一代)(義政)

朝鮮

(明)英宗、景宗

一四五〇



二二二五、 後土御門(百二代)	後花園				
	2125	2124	2123	2122	2121
	6 酉乙	5 申甲	4 未癸	3 午壬	2 巳辛
	義 (代八)				
	<p>五月幕府遣明使文を僧周鳳に作りしむ○九月大内教弘卒す○十一月武田信繁卒す(年七六)義尚生る○十二月廿七日即位。</p> <p>四月親世香阿彌樂を乳河原に興行す○七月十六日後土御門天皇踐祚・此月僧眞福明に當る書目を進諫す○八月銅鑄を明に求む○十一月高山政長細川勝元に代て管領となる○十二月義政親を嗣に定む○是年村上國重朝鮮に通ず。</p> <p>四月二條持通三度開白となる、義就吉野に走る○六月義就吉野に敗走す○十二月義就し船額を定む。</p> <p>二月幕府書を朝鮮に遣す○五月高山政長義就を金胎寺に攻めて之を殺す○十月伊達成宗三萬匹を幕府に進む幕府賊徒防諱を諸大名に命ず○是年新設義慶、好を朝鮮に通ず。</p> <p>去冬以來是年夏に及び人疫饑に苦み戸數悉に充つ○正月鎌山合戦○六月大和弘川合戦○十一月幕府天龍寺僧の堂宇造營費を朝鮮に募るを許す○十二月山後義隆、幕府書を上杉房定に與へて成氏を討しむ。</p>				
朝鮮					
祖 世					
10	9	8	7	6	
宗 英					
化 成					
<p>六月季來河西に入寇す馬昂をして之を撃つ○七月曹吉祥叛して伏誅す○八月季來和を乞ふ。</p> <p>五月細起廣西の僞賊を撃破す○九月錦衣衛の職を廣む○十一月呂原やむ。</p> <p>二月陳文入閣して機務を預る○四月季善を殺す○十一月宸彬を獄に下し釋で釋さる。</p> <p>正月帝祖し遺詔して官人の殉葬を罷じ○二月始て内批を以て授官す○三月官人を放つ○七月人蘇瑄卒す、始て皇莊を置く、威暴法を立つ。</p> <p>正月韓雍等廣西寇を討つ○三月精裏盜起る○十一月季來延綿に入寇す、韓雍寇賊を大屠戮に破る。</p>					
朝鮮					
宗 景					
順天					
1465	1464	1463	1462	1461	
<p>七月十日ノイランの戦、ランカスター家の敗北○十二月三十日ウーロクワイの戦、ウーロクワイ家の敗北○三月廿九日ウーロクワイの全土を領す○ホルトガル王子(亨利)死す(一三九四生)。</p> <p>イギリス王エドワード四世即位、ウーロクワイ(一四八五)の祖○正月セント、アルバンスの戦、ウーロクワイ家の敗北○三月廿九日ウーロクワイの戦、ランカスター家の敗北○トルコ、オスマン帝國を滅す。</p> <p>ロシア帝イワン四世(大帝、一五〇五)○トルコ人ボスニヤ、ワラキヤを略す(一四六四)。</p> <p>前英王(亨利)六世塔墩に幽せらるる○佛王ルイ九世と公普同盟との戦。</p>					
一四六五					

二二二〇、 義政	後花園				
	2120	2119	2118	2117	2116
	正寛 辰庚	3 卯己	2 寅戊	長 丑丁	2 子丙
	義 (代八)				
	<p>正月兩總將士多く成氏に屬す○七月皇居落成○八月後崇光上皇(貞成)崩御○是年幕府使を朝鮮に遣す、佐藤等諸氏亦朝鮮に約して遣船を出す、僧頼天鎮西を撰す。</p> <p>四月太田道灌江口城を築く○六月藤川義興關東殿となる○九月廿八日改元○十一月南方輝起、南都殿兵起○十二月赤松氏家人等吉野にて南方宮打取、足利政知を關東の主とす(堀越公方)。</p> <p>三月幕府尼寺禁法條件を合す○八月神皇入洛○十二月幕府不書を琉球に與ふ○是年京極山名兩氏使を朝鮮に遣す、義政大藏經を朝鮮に求む。</p> <p>五月東福寺僧正徹寂す(年七九)○八月入京の七路に關を置き關稅を神宮造營費に充つ○十月幕府新築關稅の費を五山の僧徒に課す○十一月質物土倉利平の事を合す、徳政録起。</p> <p>二月帝時を義政に賜ふ○八月僧清啓を遣明使とす○十月義就政長と戦ひ敗走す○十二月廿一日改元○是年高山義就新設義政好を朝鮮に通ず。</p>				
朝鮮					
宗 世					
5	4	3	2	1	
宗 英 (祚重)					
宗 景					
順天					
1460	1459	1458	1457	1456	
<p>七月木工朝鮮石工陸鮮の二人工部侍郎となる○十二月方集大に湖廣の苗を破る、帝疾む。</p> <p>正月上皇復位し許彬蘇瑄俱に機務に預る、于謙王文發さる○二月景帝(景宗)廢せらる。國營を罷む○三月韓毅入寇す○六月蘇瑄致仕す。</p> <p>四月復還無官を置く○八月大明一統志を修めしむ○朝鮮國朝警備を慎す。</p> <p>正月韓毅部長季來邊に寇す、石彪等事を撃破す○四月方集大に東苗を破る○七月石彪十月石季各謀せらる。</p> <p>二月石季反し從子石彪と共に謀に伏す○八月季來毛里孫と共に入寇す。</p>					
朝鮮					
一四六〇					

二一三五、 〔義改・義尚〕 〔文明〕後土御門(百二代)	門御土後				
	2135	2134	2133	2132	2131
	7 未乙	6 午甲	5 巳癸	4 辰壬	3 卯辛
	尙義(代九)		政義(代八)		
	正月新會除目再謀○五月大内政弘大和而并 幕の衆と相繼にて合戦す○六月南都合戦○ 八月義政明に頼朝勸合符及書物を求む。	四月山名政豊細川政元と和す○九月其府使 を朝鮮に遣し明の勸合符を求む○十二月畠 山政長管領となる。是月朝鮮攻め○是年 冬大に地震し神社佛閣及屋舎等傾倒甚多し。	正月伊勢貞親卒す(年七五)○三月山名宗全 卒す(年七〇)○五月僧綱源寂(年八三)、 細川勝元卒す(年四四)○八月東常陸和歌の 興義を宗義に傳ふ○十二月義尚將軍となる (九歳)。	二月京都盜賊蜂起○三月成氏古賀城を收復 す○八月山名宗全隱居○十月使を朝鮮に遣 す○十一月前關白准司房平奈良にて薨す (年六二)。	正月後花園法皇を茶毘し奉る○三月伊勢國 司北畠具實薨す(年四九)山内顯定の兵古河 成氏を三島に破る○五月朝倉兼光越前守護 となる○六月成氏古河を逐て千葉に走る。
朝鮮	宗成				朝鮮
	6	5	4	3	2
(明)憲宗	11	10	9	8	7
	宗憲				
	三月彭時卒す○六月皇子母紀氏暴 死す○十月益をを立てて皇太子と す。	正月王位をして延綏甘肅寧夏の三 邊を總制せしむ○十月李方土魯番 を討ちて克たす○十二月採金をや む。	正月土魯番哈密に據る○四月武臣 の驕縦を聞す○九月王位邊疆を破 る○述聖卒す。	五月占城使を遣し難を告ぐ○十一 月轉運の賊平ぐ、流民の復業する 百四十餘萬人。	正月始て禮樂長進法を定む○十一 月補給を立てて太子とす、豊人沈 周は此頃の人。
一四七五	1475	1474	1473	1472	1471
	モワド四世フランスに遣征し、やがて 和す○チャールズ(勇將)ロートリンゲン占を 領す○トルコ、クリヤを取る○ヒュン ロ生る(一五六四死)。	イチャラ及びフェルナンド共にカスチラの王 位に登る。	ルイ十一世諸侯と戦つて勝つ(一四七 七)○アルマニョの家及び其他の諸侯滅 ぶ。	チャールズ(勇將)ノルマンデーを征服す。	英王エドワード四世再びイングランドに入 る○カスター家の軍敗北、ワルウィック伯 殺さる○ヘンリー四世死す。

二一三〇、 〔義改〕 〔文正〕應仁・文明〔後土御門(百二代)〕	門御土後				
	2130	2129	2128	2127	2126
	2 寅庚	明 文己丑	2 子戊	仁 應丁亥	正 文丙戌
	政義(代八)				
	正月島津忠國卒す(年六八)○三月吉野朝の 遺臣蜂起す○八月二條政綱開白となる○十 二月吉野朝の遺臣の首領日尊殺さる。是月 廿七日後花園法皇室町第に崩す(年五十二)。	正月義政義尚を嗣とす○三月細川勝元の兵 山名宗全を芝罘の營に圍ふ○五月廿八日 改元○此頃香道家志野宗信、志野燦を創む。	七月勝元復管領○十一月勝元義親に説て京 を出でしむ宗全之を逐ふ○是年織工匠を白 雲の原野に占む且之より新在家の織物出 づ、仁和寺天龍寺兵隊に罹る、一様兼良以下 亂を避け四方に流寓す。	正月新成義義政長に代て管領となる○三月 五日改元、細川勝元孝義備を修む○七月細 川山名兩氏大に京師に戦ふ○八月天皇土 御器を備し室町第に幸す○十月將軍相國寺 門前に戦ふ○是年宗全貞船七隻を朝鮮に出 す、僧雲舟明に赴く。	二月廿八日改元○三月上杉憲賢同房願卒す (年三二)○四月新成義義政備定書を呈ふ○ 八月琉球入貢の制を定む○十二月義誠入京 す。
朝鮮	宗成	宗睿	祖	世	朝鮮
	1	1	13	12	11
(明)憲宗	6	5	4	3	2
	宗憲				
	二月使を遣し州郡を分感せしむ○ 王時等毛里蝦を越前に防ぐ難粗の 邊越前汗となる○朝鮮大典を頒つ。 誓せしむ。	五月萬安嶺を預る○八月劉定之 卒す○十一月韓雍を起し兩廣に總 督せしむ。	三月勅成民田を請ふを禁ず○四月 陳文卒す○六月開城の僉憲俊反し 十一月伏誅す。	二月毛里蝦三たび上書し入貢を請 ふ許さる○三月韓特復入関す○八 月江西督賦官を増置す。	三月李麗貞州首を破る○十二月李 賢卒し劉定之入関す。
一四七〇	1470	1469	1468	1467	1466
	ウァルウィック伯イングランドに上陸、勅王 リ一六世の幽囚を解きて王位に復せ しむ、モワド四世還る。	ウァスコリアガマ生る(一五二四死)○アラ ゴン王子アルナンド、カスチラの女王イサ ラと婚す○ロシヤ帝イワン、カサンを征服す。	佛王ルイ十一世アルナンド公チャールズ(勇 將)とパロニスに會す。	チャールズ(勇將)父に嗣ぎて、ブルゲン となる。	ドイッ武十團ホーランド王と和し、西アロ ンヤを割き王の封土として東アロシヤを得。

門御土後				
2145	2144	2143	2142	2141
17 巳乙	16 辰甲	15 卯癸	14 寅壬	13 丑辛
尙義 (代九)				
二月明進貢法を定めんとす。三月明主書及方物を呈す。閏三月飯尾彦六左衛門歿す。七月清明使僧周瑞寧波にて歿す。六月義政御製。十月防長二州より段錦を貢す。十二月清明船難。是年東西調和。	三月朝廷奏樂。應仁亂後始て復興。六月義就長卒。治に歿す。七月上杉謙房卒。年四九。〇十一月幕府寺堂宣社の法却を禁ず。島津豊久日向に歿す。	四月唐船歸す。之が等固の事を島津氏に令す。〇六月東山山莊成る。名を東山殿と起る。(銀閣寺)。〇八月大内政弘兵船渡航開設の事を定む。〇十月義尚新百人一首を撰す。	五月朝鮮大觀經、聖朝を足利氏に贈る。〇七月細川政元歿。就と和す。〇八月政長歿。就の兵河内に歿す。〇十二月義政書を與て成氏と和す。	三月結城氏廣卒。年三二。〇四月一後兼良、就(年八)。〇七月幕府山城守藤隆を代官と改む。(赤松政則任)朝倉孝景卒。〇八月一休寂す。年八八。〇是年興正寺建立。
朝鮮				
宗 成				
16	15	14	13	12
(明)憲宗				
宗 憲				
21	20	19	18	17
正月群臣に時政を極言せしむ。〇九月劉瑄やむ。〇十二月彭華入朝し機務を預る。	正月大同陣亡の士卒に恤む。〇十月雲南元氏諸府の銀坑を罷む。	六月驪祖小王子入寇す。〇八月汪直王越脱免せらる。胡居仁卒す。〇九月陳獻章翰林院檢討となる。	二月西廠をやむ。〇四月哈密を復す。〇六月驪祖還す。〇十二月胡脚文華大削成る。	四月驪祖宣府に還す汪直等之を襲ぐ。〇十一月大倉の銀三分の一を内庫に入る。〇東國輿地勝覽成る。
一四八五				
1485	1484	1483	1482	1481
八月廿二日オーストリアの戦、英王リチャード三世、ランカスター家の支流、アムル家のリチャード(ヘンリー七世)と戦て歿す。奮戦終はる。〇(ヘンリー七世)イギリス王位に登る。アムル王朝(一五六〇-一三〇三)の祖。	アムル生る(一五三三死)。	ルートル生る(一五四六死)。(ラファエル生る(一五二〇死))。	フルゲント及びイマボラ、グアナチ王国の征服戦を始む。	アロワンス、フランスに併せらる。〇トルコ、オトランドを奪はる。

門御土後				
2140	2139	2138	2137	2136
12 子庚	11 亥己	10 戌戊	9 酉丁	8 申丙
尙義 (代九)				
正月神木入浴。〇南都百人婦起。〇五月東山に於て東常流古今集傳授。〇七月一後兼良機談治要撰進。〇九月復武人京師に七調を設く。〇是年唯一神道唱者占部兼信侍らり。	二月近衛政家關白。〇五月九州探題藤川敏直卒。年五八。〇七月北小路行宮突す。太田道灌白井城を敷く。兩上杉謙朝。〇曆の十月小を大に改む。〇十二月上皇土御門皇居に還幸。	正月成氏願定政と和す。〇二月明國幕府請ふ所の銅鑄事を許す。〇七月太田道灌願定を鉢形城に置く。〇八月義政親視と和す。〇是年大田實長鴻臺に築く。	正月長尾景春其上杉願定を關ふ。〇五月太田道灌願定及扇谷定政を迎へ。景春を破る。〇七月成氏景春を援け願定政に抗す。〇十一月大内政弘土岐成頼扇谷山義就等東西軍將各歸國す。〇十二月扇谷山義就等東西軍將各歸國す。	正月多武峰大藏冠像破毀。〇五月九條政基關白。〇七月飛騨國司師小路兼綱通官。〇十一月室町災す。後土御門天皇北小路殿に幸す。
朝鮮				
宗 成				
11	10	9	8	7
(明)憲宗				
宗 憲				
16	15	14	13	12
二月王地驪祖を襲て之を敗る。〇六月勢家の民田を侵占するを禁ず。〇十二月東西の驪を破る。	正月開國功臣の墓を修む。〇五月馬升を獄に下す。	二月儒臣を東宮に充つ。〇三月遼東馬市を開く。〇朝鮮の鄭麟趾卒す。	正月西廠を置き大監汪直之を領す。〇六月南朝やむ。〇八月錦衣衛工部尙書張賢文を獄に下す。	五月驪祖の流民を撫治す。〇十一月大學士商辂等賢治通鑿驪目を進む。王越雲南を還撫す。
一四八〇				
1480	1479	1478	1477	1476
佛王ルイ十一世アングレーム公國を併はす。〇イスパニヤに宗教裁判所を設く。〇トルコ、オトランドを關ふ。〇モスコ大公イワン三世欽察汗國を滅し、ロシア蒙古人の驪を脱す。	佛王ルイ十一世アングレーム公國を併はす。佛軍を敗る。〇フルゲント、アラゴン王位に登る。是に於てアラゴン、カスチラ二王國合一す。	英王エドワード四世弟ラレンス公を殺す。〇トルコ帝マフメット二世アルバニアを略す。	一月五日ナンシーの戦、アルゴン公チャールズ(勇健)スウイスと戦ひて歿す。〇アルゴン公佛王の領となる。	三月三日アラゴン公、六月廿二日ムルタンの戦、アルゴン公チャールズ(勇健)スウイスを伐ちて敗る。

門御土後				
2150	2149	2148	2147	2146
2 戌庚	德延 百己	2 申戊	享長 未丁	18 午丙
植義(代十)		尙義(代九)		
<p>正月義政持佛堂を東求と名く○七月政元管領となる、上杉定正太田道灌を殺す(年五五)○八月扇山政長管領○九月京都大風災關北門倒る○十二月兵亂の爲に伊勢外宮火</p> <p>二月九條政忠開白○七月廿日改元○八月政元再び管領○九月將軍親ら近江に六角高頼を討つ○十一月山内親定扇谷定正と對陣す○十二月加賀一向宗徒亂を作す、富樫政親之を討す</p> <p>正月幕府扇山義就討令を下す○五月加州一向一揆蜂起○六月富樫政親自殺す、山内親定扇谷定正須賀原に戦ふ○七月一條冬良開白○八月將軍親工長給勝光等を召す○九月義尚陣中左傳書義を賜く</p> <p>三月將軍義尚陣中に死す(年二五)○四月義一日改元○六月關東兩上杉氏合戦○八月廿朝す</p> <p>正月義政薨じ(年五六)義植嗣ぐ○三月土寇德政を唱へ北野社に據る○七月將軍宣下狩野正信殺す(年三八)○十二月扇山義就卒す○是年僧慶影を朝鮮に遣す</p>				
宗 成				
21	20	19	18	17
宗 孝		宗 憲		
3	2	治弘	23	22
<p>三月天下に預備倉を設く○十一月群臣に政事の關失を言はしむ</p> <p>二月價額を賦に下す、馬文升に國營を賜せしむ○七月直言を求む○楊守謙卒す</p> <p>正月具才を擧ぐ○二月哈密の鄭番哈爾を忠順王とす○三月備臣に日罰せしむ○四月種租貢を求む○十月妖僧過海伏誅す○是年土魯番忠順王を殺す</p> <p>八月帝崩す○九月孝宗即位○十月備軍官を罷め僧道の封號を奪ふ○十一月尹直を罷め、以芳李汝省を賦に下す、大學衍義補を進む</p> <p>九月陳暹卒す尹直職務を預る○十一月占城安南に侵さる</p>				
1490	1489	1488	1487	1486
<p>ヘンリー七世、ヨーク家のエリザベスと婚し、ヨーク、ランカスター兩家合一す○パインロム、リリアン、喜望峯を發見す○コロン、紅海より南進してマダガスカル島の對岸に達す</p> <p>ランバート・ド・メルク、イギリス王位を奪はんと圖る</p> <p>スコットランド王ジェームス三世、諸侯と戦つて死す</p> <p>佛王チャールス三世アルカール公女と婚しアルカールを併はす</p>				

二一五〇、(文明・長享・延徳)後土御門(百二代)

朝鮮 (明)憲宗・孝宗

一四八〇

門御土後				
2155	2154	2153	2152	2151
4 卯乙	3 甲癸	2 丑癸	應明 子壬	3 亥辛
澄義(代一十)		龜義(代十)		
<p>正月義親薨す(年五三)○四月政和薨す(年五七)○六月顯定正と戦ひて敗る○七月政知の子茶々丸其母を害し惣公方家亂る○八月義植六角高頼を伐つ○十月朝鮮國王佛經を贈る○是年北條氏茶々丸を殺し伊豆を略す</p> <p>二月遣使佛物注文を定む○三月江州松瀬合戦、備中國合戦○七月十九日改元○八月元愷帝を朝鮮に遣す○十二月近江平ぎ義植還る、此冬天澤澤州兩僧を明に使す</p> <p>二月遣明使僧天澤等を罷め、論夫を正使とす、義植扇山義隆を伐つ○三月近江通關白○四月政元義隆を擁立す○閏四月扇山政長自殺す○五月義植幽せられ六月越中に逃走す○十月扇谷定正卒す(年五二)</p> <p>四月東常陸卒す(年九四)○九月三浦義綱父時高を害す○十二月細川政元管領となり義隆將軍に任ず</p> <p>二月長氏小田原を取り之に據る○六月宗紙の著新撰筑波集成る、歌謡に准ず○九月早雲北條氏と改む</p>				
宗 成				
1	25	24	23	22
宗 孝				
8	7	6	5	4
<p>十月邱增職務を預る○十二月土魯番哈密城を還す</p> <p>二月陝西織造絨絨の半を減ず○六月彭程を賦に下す○八月劉吉やむ○十一月饑饉の爲に東例を停む</p> <p>四月土魯番復哈密に據る○閏五月王都罷む○八月彭程罷む○朝鮮大典探録を頒つ</p> <p>二月邱增職務を預る○七月徐貫湖の水利を修理す</p> <p>二月邱增卒す、李東陽謝遷並に入閣職務を預る○十二月哈密を復す</p>				
1495	1494	1493	1492	1491
<p>佛王チャールス三世アルカール公女と婚しアルカールを併はす</p> <p>三月十五日コロンバス、イスパニヤに歸る○五月三日法王アレクサンドル六世大西洋上に分界線を定む○九月廿五日コロンバス第二回の航海を試む○コロンバス、ポルトリコを發見す</p> <p>佛王チャールス八世イタリヤに入りナポリ王國を侵す○メテオ家プロレンスより還はる○ピサ、プロレンスより獨立○シマヤカ島の發見</p> <p>チャールス八、ナポリを略す○法王、ヴェニス、ドイツ帝、フランソワ、公、對佛同盟を結ぶ、チャールス八世佛國、ナポリ王復位</p>				

二一五五、(延徳・明應)後土御門(百二代)

朝鮮 (明)孝宗

一四九五

二二六五(文龜・永正)後柏原(百三代)(義澄)	原 柏 後				
	2165	2164	2163	2162	2161
	2 丑乙	正永 甲子	3 亥癸	2 戌壬	文 龜辛
	澄 義 (代一十)				
	六月前關白近衛政家卒(年六二)○十一月 政元高山朝頼を河内に攻む。	二月晦日改元○四月里見成義歿す○九月政 元被官樂師元一澄元を立てんとして叛し 尋で歿す○十月德政後目を願示す。	三月即位段鐘を攝津丹波に徴す、僧周背を して勅合符を朝鮮に求めしむ○十月政元京 に還る。	三月政元將軍と陳を生々丹波に赴く○五月 珠光歿す(年八)○七月宗祇歿す(年八)○ 將軍義高義澄と改名○八月冷泉宮廣和歿所 宗匠となる。	二月廿九日改元○三月幕府に勅し即位の實 を上らしむ(十一月降勅)○五月幕府義植と 内通の宮諸宮院家の領邑を收む○六月九條 前經開白○八月幕府大内義興を討つ○十二 月國役未進に付即位の禮遅引。
朝鮮	君 山 燕				
	11	10	9	8	7
	宗 孝				
(明)孝宗	18	17	16	15	14
	五月帝昺す、武宗即位す○十月小 王子甘肅を祀す。	五月中官の監獄造を誅む○六月驍 祖大同に入寇し鄭瑄歿す○八月 東西征軍を置く。	四月大に邊備を嚴にす○五月雲南 邊視を命ず○九月曠法を嚴詰す。	七月王弼未魯を斬る○十一月廣州 の黎賊亂を作す○十二月大明會典 成る。	四月邊延可汗大舉入寇して寧夏を 陷る○七月曹安の苗裔未魯を作 す○十一月劉大夏兵部尚書となる。
	1505	1504	1503	1502	1501
一五〇五	ポルトガル人の印度經營、印度總督アルメ イダ(在職一五〇四—一五〇九)、印度西 岸にカナル等の數市を建て、アラブ人の の東洋貿易權を奪ふ。	カステラ女王イサベラ歿す○パベル、カプー ルを略す。	スコットランド王ジョージ四世英王ヘンリー 七世の女マーガレットと婚す○ ガリヤンの戦に於て佛軍敗る○アラゴン 王フェルナンド、ナポリを征服す○チチ レ・ホルン、ローマより逐はる。	フランス、イスパニヤとイタリヤに戦ふ○コロン ブス第四回航海を試み中央アメリカを發 見す○オランダの選擧侯フレデリック(實 明)ワッテンバルト大學を創立す。	ルイ十二世及アキオン王フェルナンド、ナポリ を略す○コロンブス、ヒスパニオラの太守に 因はれ、イスパニヤに隨從せらる。

二二六〇(明應)後土御門(百二代)(義澄)	門 御 土 後				
	2160	2159	2158	2157	2156
	9 申庚	8 未己	7 午戊	6 巳丁	5 辰丙
	澄 義 (代一十)				
	九月高山朝頼義興と戦ひ敗る、是月廿八日 天皇崩す(年五十九)○十月廿五日後柏原天皇 踐祚○先帝黒戸に在る四十餘日十一月奉葬。	○十一月義植近江に陣し敗れて周防に走る。 鮮に求む○七月細川政元延暦寺諸堂を火く。	五月一色義秀土賊と戦ひ丹波に敗死す○八 月大地震○十月義植越前朝倉氏に頼る○此 頃門入地朱排黒を始む。	四月土師成頼卒す○七月二條尚基開白○九 月古河公方成氏卒す(年六四)子政氏嗣ぐ○ 九月信濃如大坂に築く○十月關白尚基(年 二七)薨じ冬良復之に代る。	四月赤松政則薨す(年四)○五月義政夫人 日野富子薨す(年五七)義通薨る、石丸利光 歿す○六月大友政親長門に戦死す(年五 三)○十二月豊前國六角高頼を攻めて敗 死す。
朝鮮	君 山 燕				
	6	5	4	3	2
	宗 孝				
(明)孝宗	13	12	11	10	9
	四月諫令を更定す、驛租入増す○ 五月劉臣を召し軍政を面議す。	二月左道惑衆の禁を嚴にす○六月 孔廟に天災火あり。	三月太子出閣請讀す○七月王越小 王子を賀蘭山に破る○九月徐溥致 仕す○十月李廣自殺す。	五月小王子入寇す○十月王越に三 邊の軍務を總べしむ、禁兵を簡閱 す。	四月劉紳等を獄に下す○六月將才 を擧ぐ○八月勢家の民利を侵奪す るを禁ず○十二月徐瑋東廠の革弊 を請ふて罷けらる。
	1500	1499	1498	1497	1496
一五〇〇	ルイゴイスフ、モスク、シランを恢復す○ウ ェンセントヤニス、スリペン、アタル海峽を發 見し、カタル此處に上陸しポルトガル領 となす。	佛王カイス十二世イタリヤに侵入しシラン を占領す○ホム、ウスマ、チチアメリカ の海岸を發見す○佛王カイス十二世、ウ スマと戦て利あらざ、スマ、ス金く獨帝國 より獨立す。	コロンブスの第三回航海、南米の本土に 達す○ウスマ、シランに上陸す○チ チアメリカ、シラン人に刑罰せらる。	ウスマ人、シラン人、チチアメリカ本土を發見 す○シラン、チチアメリカ、中央アメリ カを發見す○ウスマ、シラン、チチアメリ カを略す。	佛王カイス十二世イタリヤの子フィリッパ、イスパニヤの 王女ジョアンと婚す。

二二七五、(永正)後柏原(百三代)(義種)	原 柏 後				
	2175	2174	2173	2172	2171
	12 亥乙	11 戌甲	10 酉癸	9 申壬	8 未辛
	種 義				
六月小笠原貞朝卒(年五五)○是年長尾景長山内意房を平井城に奉ず○永正年間宗慶樂焼を始め紹臨信樂焼を始め長門に萩焼を創む。	三月關白一敏冬良薨(年五一)○四月幕府故戦防戦の事を令す○八月軍司兼輔關白○是年北條長氏三浦義興を破る。	三月義種近江に奔り五月關京○八月高山尚頼同義英と河内に戦ふ○十月近衛尚通關白○十一月將軍義種と改名○是年僧桂悟及詳瑞五郎大夫明より歸る。	三月宗盛長朝鮮との密約を更定す○四月幕府諸社祭禮及法會の訴訟を規定す○五月彰工後藤経家歿(年七九)・山内意房關東管領○八月早雲相模の岡崎住吉等の城を取る。	七月澄元萬國の兵と攝津に戦ふ○八月前將軍義種薨(年三三)・丹阿彌山合戦・澄元等敗走す○九月義種入京す○十二月幕府何事歟件を定む○是年大内義興僧桂悟を明に遣し佛典儀注を求む・幕府僧領中を朝鮮に遣し雲和す。	七月澄元萬國の兵と攝津に戦ふ○八月前將軍義種薨(年三三)・丹阿彌山合戦・澄元等敗走す○九月義種入京す○十二月幕府何事歟件を定む○是年大内義興僧桂悟を明に遣し佛典儀注を求む・幕府僧領中を朝鮮に遣し雲和す。
朝鮮	宗 中				
	10	9	8	7	6
(明)武宗	宗 武				
	10	9	8	7	6
三月楊廷和やむ○閏四月楊一清復職を預る○八月小王子入寇す○十月劉尤を烏思藏に遣す。	二月新貴機務を預る○四月蒙王の護衛を復し屯田を予ふ○十一月歸善王當汪を殺す。	四月蒙王寔嘉善院を建て離宮を營す○八月土魯番密哈密に據る○朝鮮の成希顔卒す。	閏五月河南の賊平ぐ○九月義子に國姓を賜ふ○十二月李東陽罷免らる。	二月江西盜起る○八月陸完賊寇を討す○十二月賈宏機務を預る。	二月賈元機務を預る○四月安化王寔錫反す之を討平す○六月馬文昇卒す・帝自ら大慶法王と稱す○八月劉瑄蘇に伏す・劉忠瑄機務を預る○十月流賊亂を作す。
一五二五	1515	1514	1513	1512	1511
マリニアノの戦、佛王フランシス一世、オランを破る○ウルター、タンセラーに任ぜらる○フランシス人ロンバルディアの艦を破る○アルケル死す(一四五二生)○ホルトガル人アラビヤ人よりホルムズを取る。	フランス、イスパニヤと休戦す○英王(ヘンリー)八世フランス及びスコットランドと和す。	イヌパニヤ人パルボア、パナマ地峡より太平洋を發見す○法王レオ十世聖ペートル寺院建立のため免罪符を販賣す○ゴンゼリデレオン、フロロラに上陸す○英王(ヘンリー)八世阿帝と同盟しフランスに侵入す○スコットランド王ジョージ四世イングランドに侵入し、敗死す。	四月十一日ラヴェンナの戦、ルイ十二世、フルルデンド及ニコラス二世の聯合軍を破る○第五次のララン會議○アラゴン王フルルデンド、ナセルを征服す○メルクスのフルルデンド朝の復讐○フロレンスのメヂチ家の復讐。	法王ニコラス二世、フルルデンド及ニコラス二世に對して神聖同盟を結ぶ○イスパニヤ人キューバを略す○ホルトガル人マラカ及びセイロンを取る。	ホルトガル印度總督アルケルケ(在職一五〇九一五一五)ゾアを取る○イスパニヤ人ゴンゼリデレオン、ホルトリコを略す。

二二七〇、(永正)後柏原(百三代)(義澄・義種)	原 柏 後				
	2170	2169	2168	2167	2166
	7 午庚	6 巳己	5 辰戊	4 卯丁	3 寅丙
	(任重) 種 義		澄 義 (代一十)		
二月義種兵を近江に出して義澄を伐つ・諸軍敗北す○四月宗盛弘朝鮮を攻め釜山等諸城を陥れ遂に戦死す○六月山内顯定長尾景長と戦ひ敗死す(年五七)○八月大地震遠江の橋本歸海となる(今切通)○十二月判判地買買を對す。	五月幕府訴訟法を定む○六月三好之長父子如意嶽に據る・義興等之を破る○七月山内顯定長尾景長を破る○十二月伊勢貞宗卒す○是年宋高麗朝鮮に往く。	二月幕府諸將に義種の入京を拒がしむ○三月福川高國澄元を疑ひ出奔す○四月澄元出奔し高國入京・三好長房自殺す○六月義種入京し翌月將軍に重任す○八月幕府諸將の禁を京都に布く○是年高麗管領となる。	六月政元其家幸香西元近等に試せらる○八月福川澄元同澄之と戦ひ澄之敗死・長尾高景其主上杉房能を害す○十二月大内義興義種を奉じて安藝に入る。	二月三好元長入京・大内義興使を朝鮮に遣す○四月福川澄元入京○七月加賀一向宗亂をなす○八月雪舟寂寂(年八七)○是年諸國一揆蜂起。	
朝鮮	宗 中				
	5	4	3	2	1
(明)武宗	宗 武				
	5	4	3	2	德正
二月劉瑄等罷を乞ふ、許さず○三月劉大夏罷む○十月韓文上疏して劉瑄等の罪惡を論ず、王怒等機務を預る。	五月僧道四萬人を度す・蒙王寔嘉の護衛を復す○十月楊廷和機務を預る。	六月劉瑄朝官三百餘人を獄に下す○八月劉瑄劉米法を創む○八月劉大夏を獄に下す。	二月劉健謝遷を乞ふ○五月李宗質録成る○六月劉瑄江西四川盜起る。	二月賈元機務を預る○四月安化王寔錫反す之を討平す○六月馬文昇卒す・帝自ら大慶法王と稱す○八月劉瑄蘇に伏す・劉忠瑄機務を預る○十月流賊亂を作す。	二月劉瑄等罷を乞ふ、許さず○三月劉大夏罷む○十月韓文上疏して劉瑄等の罪惡を論ず、王怒等機務を預る。
一五二〇	1510	1509	1508	1507	1506
カンアレーの同盟、同帝マシヒリヤン佛王フイ十二世、法王ニコラス二世及アラゴン王フルルデンド、ニコラス二世に對して同盟す○イクラシヨ、シヤン堂の裝飾を試む。	イギリス王(ヘンリー)八世(一五四七)、アラゴンのカザリンと婚す○佛軍アザゴに於てニコラス軍を敗る○フロレンス人ビヤを復す○イスパニヤ人オランを取る○カールヴン生る(一五六四死)。	ホルトガル印度總督アルケルケ(在職一五〇九一五一五)ゾアを取る○イスパニヤ人ゴンゼリデレオン、ホルトリコを略す。	フランス、イスパニヤと休戦す○英王(ヘンリー)八世フランス及びスコットランドと和す。	イヌパニヤ人パルボア、パナマ地峡より太平洋を發見す○法王レオ十世聖ペートル寺院建立のため免罪符を販賣す○ゴンゼリデレオン、フロロラに上陸す○英王(ヘンリー)八世阿帝と同盟しフランスに侵入す○スコットランド王ジョージ四世イングランドに侵入し、敗死す。	法王ニコラス二世、フルルデンド及ニコラス二世に對して神聖同盟を結ぶ○イスパニヤ人キューバを略す○ホルトガル人マラカ及びセイロンを取る。

原 柏 後				
2185	2184	2183	2182	2181
乙酉	甲申	癸未	壬午	辛巳
晴 義 (代二十)				義 穂
四月近衛権家開白、山内康房卒し(年五九)子藤政つぐ○是年古河義明下總小弓城に自立し里見義弘之を率ず。	正月北條氏綱上杉朝興と戦ひ江戸城を取る○五月大内義興安藝を攻む○七月浪山衆徒等日蓮宗の事につき會議す○八月法華宗徒を洛外に追ふ、元就大内義興と修好す。	四月義穂阿波に薨す(年五八)、養子義多平島公方と稱す○七月毛利幸松丸薨し元就つぐ○是年高國は僧頼佐及宋素卿を義興は僧宗説を各明に遣し貿易す、使船眞偽を争ひ宗説遂に瑞佐を殺す。	三月縣召除目を復す○六月尼子大内の兵安藝に戦ふ、毛利元就岡山城を陥る○七月六角定頼近江日野城を攻む。	二月幕府即位の賞萬足奉獻○三月義穂高國を思ひて出奔す、是月廿二日即位、踐祚後二十二年○八月浦上村宗其主赤松義村を害す廿三日改元○十一月高國管領○十二月武田元信薨す、晴晴將軍任。
朝鮮				
中 宗				
20	19	18	17	16
宗 世				
4	3	2	靖嘉	16
三月世廟を作る○八月孝猛叛し伏誅す○十二月大補編纂を天下に頒つ。	正月染願入寇す○二月陵延和罷めらる○九月追尊大禮の議定まる○朝鮮の新増東國興地勝覽成る。	二月河南山東の賊平ぐ、毛澄卒す○四月朱熹の裔を五經博士とす。	正月皇考聖母本生父母の稱號を定む、甘州軍亂る○此頃何景明卒す。	三月帝崩す、江彬等を獄に下す○四月世宗即位し興獻王崇奉の議起る○五月袁宗胤職務を預る○六月江彬誅に伏す○十一月王守仁を新羅伯に封ず。
(明)武宗、世宗				
一五二五				
1525	1524	1523	1522	1521
二月廿四日チャールズ一世をバグダッドに敗り、これを虜にす○佛英同盟す○トーマス・シムルの軍フランケンハウゼンに於て全滅、農民の亂平ぐ○東テロシヤ、プロシヤ公國となりポーランド王に臣屬す。	フランス一世イザベラを侵し、ミランを取りバグダッドを圍む○スウェーデンがフランスに於て農民亂を起す(一五二五)。	チャールズ五世及びヘンリー八世の軍佛國を侵す○佛軍イタリヤを侵す○インフラント・スコットランドを侵す○スウェーデン・マルクより獨立し、グスタフ・ワサ王となる。	張帝チャールズ五世と佛王フランシス一世との戦開かる○ルーテル、ウラムスの國會に出席す○ルーテル、ワルトアルグ城中に隠れ聖書を翻譯す○マゼラン、フィリピン群島に達し、殺さる○コルテス、メキシコを征服す。	法王レオ十世、ルーテルを破門す、ルーテル破門狀を擲棄す○マゼラン、南米南端の海峡を通過す○ラフ・エル死す(一四八三生)。

原 柏 後				
2180	2179	2178	2177	2176
辰庚	卯己	寅戊	丑丁	子丙
穂 義				義 穂
二月高國澄元と戦ひ敗れて近江に走る、幕府進政を令す○三月三好之長入洛○五月高國大進入京、長瀬澄元逃走し、長瀬遂に自殺す○六月澄元阿波に卒す(年三二)○閏六月三條西實隆即位費を幕府に促す。	四月高國津田城を築く○八月北條早雲、葦山城に死す(年八八)○十一月澄元四國勢を備し兵車に進む○十二月高國出陣し、田原に戦す○是年大内義興少貳大友宗氏と交戦す。	三月二條尹房開白○四月扇谷朝良卒す○七月早雲三浦義同を滅し新井城を取る○八月義興歸國す○是年松前慶廣蝦夷を平ぐ。	正月朝廷幕府の獻金により貫馬踏歌節會を復す○八月大内義興國用不給の爲に就國せんとす○十月毛利元就武田元繁を斬る。	四月前關白九條政基薨す(年七二)○七月毛利興元卒す(年二四)○八月大内義興使を朝鮮に遣す、今川氏親遠江を併有す○九月淺井宗政漸く自立す。
朝鮮				
中 宗				
15	14	13	12	11
宗 武				
15	14	13	12	11
七月小王子大同に遷す○十二月宸濠伏誅し帝南京より還る。	六月寧王宸濠叛す○七月王守仁宸濠を擒す○八月帝自ら宸濠を討す○十二月南京に幸す。	帝北征を議し七月復宣府に往く○九月守仁江西の賊を平ぐ。	五月毛紀職務を預る○八月宣府に幸す○十一月楊廷和復入閣す○是歲葡牙の使臣加必丹未明に来る。	五月劉大夏卒す○八月楊一清罷み蔣冕職務を預る、王守仁食都御史となる○九月土魯番哈密に據る。
(明)武宗				
一五二〇				
1520	1519	1518	1517	1516
法王レオ十世、ルーテルを破門す、ルーテル破門狀を擲棄す○マゼラン、南米南端の海峡を通過す○ラフ・エル死す(一四八三生)。	イスパニヤ王チャールズ一世ドイツ帝となる○イスパニヤ人コルテス、メキシコを略す(一五二一)○ホルトルガル人マゼラン世界一周の航途に上る(九月三日)○レオナルド・リッセルンチ死す(一四五二生)。	法王レオ十世免罪符販賣を是認す○ウァチカン七大學教授ルーテル九十五箇條の意見書を草し、寺門に掲示す(十月三十一日)、宗教改革の發端○トルコ帝セリム一世マムルク人を滅しエジプトを併す○ホルトルガルの使節明國に至る。	法王レオ十世免罪符販賣を是認す○ウァチカン七大學教授ルーテル九十五箇條の意見書を草し、寺門に掲示す(十月三十一日)、宗教改革の發端○トルコ帝セリム一世マムルク人を滅しエジプトを併す○ホルトルガルの使節明國に至る。	イスパニヤ王チャールズ一世即位○ホルトルガ人始めて支那(廣東)に至る○イタリヤ詩人アリオストの時篇オルランドリリオーン世に出づ○海賊バロサ(ホルツ)アルジュエーの君主となる。

二一九五、(享祿・天文)後奈良(百四代)(義晴)	後 奈 良				
	2195	2194	2193	2192	2191
	4 未乙	3 午甲	2 巳癸	文天 辰壬	4 卯辛
	晴 義 (代二十)				
	二月美濃洪水死者二萬餘○八月僧光明明上り○十月古河高基卒○十一月朝倉孝景高四を内陣に上る○十二月松平康房殺され高四つぐ、大内義隆高四を内陣に上り太等大貳に任ぜらる。	四月里見義隆同義隆を滅す○八月木暮三好等一向徒を伐つ○九月將軍義隆近江より入京す○十二月二條伊房再び關白、大内義隆少貳宣元と調和す。	二月九條恒通關白、本願寺光教等を頼み、晴元淡路に走る○三月木暮長政法蓮宗徒と一向徒を破る○六月晴元及木暮長政等光教と和す○是年大内氏の兵備西諸城を攻めず。	正月將軍義隆關白、晴元管領○五月樂通、川瀬長内義隆を圍る○六月晴元海雲を殺す○七月廿九日改元、南都一向一揆與福寺を鎮く○八月一向僧徒法蓮僧徒と合戦す○十二月晴元等大に一向宗徒を殺す。	六月三好海雲晴元を奉じ高國を攻め殺す(年四八)○七月古河政氏卒す、川河伊賀自殺す○九月關東管領山内意隆を逐政に請る、北國一向宗徒朝倉教長を破る。
朝鮮	宗 中				
	30	29	28	27	26
(明)世宗	宗 世				
	14	13	12	11	10
	正月善理會場中官を罷む○二月九月朝倉を破る○三月遠東軍亂る○四月張孚敬罷む○十月張貫安卒す。	正月皇后張氏を廢す○二月大同の亂卒を定む○四月方獻夫罷む○六月南京の大廟災す。	正月張孚敬復入朝す○十月大同の卒亂を作し總兵官李遂を殺す、張鶴齡の爵を削り張廷勳を獄に下す○十二月吉甯入寇す。	五月方獻夫機密を預る○八月馮恩上疏して張孚敬方獻夫等三森を斬らんことを請ふ、張孚敬罷めらる。	正月桂賊罷む○八月安陸州を承天府とす○九月李時機を預る、備臣を亂風亭に害す○是年謝遷卒す、安南の阮海黎編の首謀を擧げて分立す。
	1535	1534	1533	1532	1531
一五三五	ヘンリー八世英國教會の首長となる○チャールズ五世チニスを征服す○アナバプス、アムステルダムに併せらる○アナバプス、機密に○リマ及アンソワイスの艦隊○シタリカチエー、セントロレンス河を測る○アルマテロ、チリを征して效なし。	アナバプス派の創唱、再洗禮の必要を主張し、急進改革主義を鼓吹す○ヘンリー八世、首長令を發布し、法王との關係を絶つ○ルーテル聖書の翻譯を完了す。	ヘンリー八世皇后カザリンを離婚しアンボレーンと婚す○ロジャ帝イワン四世(一五八四)始てツールの砲臺を用ふ○カルウェン、パリより退放○スワビヤ聯合解散。	トルコ、ウィーンを脅す○ニルムルビの宗教和約、皇帝新教の自由を許す○フロレンス公國となる○カルウェン宗教改革を唱ふ。	ドイツの新教諸國シマルカタン同盟を組織す○ツワンテリ、カペルの役に戦死す○ピサロ、ペルーを征服す(一五三三)。

二一九〇、(大永・享祿)後柏原(百三代)後奈良(百四代)(義晴)	後 奈 良				原 柏 後
	2190	2189	2188	2187	2186
	5 寅庚	2 丑己	祿享 子戊	7 亥丁	6 戌丙
	晴 義 (代二十)				
	正月寶輪秀龍其主土岐盛頼を退ふ○六月朝倉宗治殺さる、北條氏康上杉朝興合戦○七月前關白九條尚経死す(年六二)○是年明國邦人の往來を禁ず。	正月楠本三好の兩兵山崎合戦○四月大内義隆少貳氏の殘黨を討す○八月三好元長河波に還る○十月日蓮宗徒多く誅せらる○比叡代に天然の人周防に來り眼瞶遠運を傳ふ。	正月楠本三好等本國に還る○三月扇山義忠僧昌虎を明に遣す○五月三好黨京に逼り將軍晴六角定頼と近江に奔る○八月廿日改元○十二月大内義興死す(年五二)子義隆つぐ。	二月楠本賢治等京都を侵す、高國將軍義隆と共に近江に走る○四月歌人舟泊死す(年八〇餘)○十月義隆入京す、朝倉教長元長に破らる。	四月七日天皇此録所に崩す壽六十三、廿九日後奈良天皇踐祚○五月豊人土佐光信死す(年九二)○六月今川氏親卒す○十二月三好元長細川澄賢を擁し堺浦に據す。
朝鮮	宗 中				朝鮮
	25	24	23	22	21
(明)世宗	宗 世				(明)世宗
	9	8	7	6	5
	四月楊一傑卒す○十一月孔廟祀典を改め孔子を至聖先師と追尊す。	正月新建伯王守仁卒す○二月桂萼機密を預る○三月沐希元九敗兼官を上る○六月楊廷和卒す○十月外戚の世封を除く。	六月明倫大典を頒つ○七月王守仁兩廣總督を平ぐ○十月土魯番入寇す。	二月小王子宣府に寇す○三月劉燾卒す、王守仁田州警を撫降す○八月欽明大獄録を頒つ○十月張璉機務を預る。	二月有司久任法を定む○五月楊一傑復入朝す○十月朝陽歌一傑を學官に擢つ。
	1530	1529	1528	1527	1526
一五三〇	フランス一世マドリッド和約の無効を宣言す○ドラールボンの兵ローンを劫掠す○マテオラフランスより返はる○マキヤウリ死す(一四六九生)。	フランス一世とヘンリー八世、チャールズ五世に對し宣戰す○シエゴ、フランスの羅針を脱す○マテオラ伯スコットランドより返はる。	トルコ帝スレイマン、ウィーンを圍みて利あらず○カンブレの和約、チャールズ五世、フランス一世と和す○第二次スバイエル國會議會、新教禁止の勅令を殺し、新教徒これに抗闘す(四月十九日)。	コペルニクス、太陽中心説及地動説を唱ふ○チャールズ五世、ローマ法王の戴冠を受く(法王戴冠の最後)○アケテスアルゲの國會議會、マントワの借印關係を否決し新教徒を決議す○聖ジョアン武士團、チャールズ五世よりマルボ島を擧げ。	マドリッドの和約、チャールズ五世フランス一世と和す、フランス殺さる○八月廿九日セバチの戰、ヘンリー王ルイ二世トルコと戦て敗死す○パニャットの戰、パベルダリーのイブラヒムを征服し印度にムガル帝國を建つ。



良 奈 後				
2205	2204	2203	2202	2201
14 巳乙	13 辰甲	12 卯癸	11 寅壬	10 丑辛
晴 義 (代二十)				
六月一様房通開白○七月三好範長丹波開城を抜く○九月榎平廣忠備前田信秀を安祥城に破る○十月古河晴氏山内憲政と河越を攻む○天文年間筑前博多織田木綿布を輸出す。	四月氏康河越を愛ひ意政敗走す、信光等入明す○八月織田信長齋藤秀龍を攻む、前關白近衛尚通誅す(年七三)○十一月葡萄牙船薩摩に來り貿易を求む。	二月織田信秀内裏の築地を修む○五月大内義隆尼子晴久と戦ひ敗績す○六月今川義元内裏修理料を上る○八月葡萄牙人多摩島に來り島嶼を奪ふ○九月上杉政河越城を圍む○是年西班牙人平戸に着す。	二月辻切あるに由り博奕、賭湯、夜行、遊船等を禁ず、慶司忠冬開白○三月水滸長政高麗城に戦死す○閏三月漢語を禁ず○七月藤親重武田晴信に降りて自殺す○八月齋藤秀隆其主土岐頼義を逐ひて美濃を領す。	正月毛利元子兩氏備後後に合戦す○五月大内義隆石見備前山城を抜く○七月北條氏顯平卒(年五五)、明船隻後神宮寺に着す、我が商人朝鮮神浦の民と闘ふ○十一月元子經久卒(年八四)○是年醫吉田宗桂明より歸る。
朝鮮	宗 仁	宗 中	中	朝鮮
1	39	38	37	36
宗 世				
24	23	22	21	20
八月張瑄卒す○九月夏官復入明す、麓の世子英補諫に伏す○十一月許讚やむ。	九月張瑄を預る○十月俺答入寇す○十一月方士陶仲文に少節を加ふ。	八月俺答延緩を犯す○九月張瑄遂に瀕死を致す○十月朵顏入寇す。	六月俺答山西に入寇す○八月張瑄機務を預る○十月官婢の楊金英誅に伏す。	二月楊瑄を獄に下す○四月莫登庸降る、安南國を改めて安南都統使司を設く○九月明助敵死す○朝鮮始て書院を建つ。
(明)世宗	宗 仁	宗 中	中	(明)世宗
1545	1544	1543	1542	1541
トレントの宗教會議(一五六三)○パルマ及ヒアツェンツ公國となる○イスパニヤ人ボトシの銀鑛を發見す。	英將ハートフォード伯スコットランドを襲しエデンバラを燒く○クレビーの和約○チールス五世フランス一世と和す○クレーニヒスベルヒ大學の創立。	ヘンリー八世、チールス五世と同盟してフランスに抗す○天文學者コペルニクス死(一四七三)○セザリウス解剖學を始む。	○チールス五世、チールス王位を得○チールス五世とフランスの第四次開戦(一五四四)○ヘンリー八世スコットランド王○チールス五世をソルウェーレイに敗る○セザリウス印度に至る。	ピヤロ暴徒のために殺さる○チールス五世アルプエーを征して克たす○トルコ帝スレイマン、ボンガリヤを劫掠す○カルヴェンチネーに歸る○アフリカ、エチオピア河に達す。
一五四五				

良 奈 後				
2200	2199	2198	2197	2196
9 子庚	8 亥己	7 戌戊	6 酉丁	5 申丙
晴 義 (代二十)				
六月織田信秀安祥城を略す○八月朝倉孝長美濃にて土岐氏に破らる○九月元子經久元就を吉田城に攻む、大内義隆之を援ふ○是年春夏の間京都及諸國疫癘大流行。	三月大内義隆大内親興を朝鮮に永め十月朱註五經書及刻漏器を請ふ○三月武田晴信父信虎を逐て自立す○七月大内義隆山名氏政を攻殺す○十月北條氏綱小弓義明と鴻臺に戦ひ義明敗死す。	正月三好範長入京す○閏六月三好範長晴元と不和其黨起す○九月毛利元就の兵元子氏と安藝に戦ふ○十二月外郎法眼集を獻す○是年僧東彦入明、幕府使を遣し明の勘合印を求む。	四月扇谷朝興卒す(年五〇)○五月松平廣忠岡崎に遷る○七月北條氏綱扇谷朝定と河越に戦ふ○十月三條西實隆死す(年八三)○十月毛利元就買を大内氏に遺す○是年僧周良明主に編し詩を賜はる。	二月廿六日即位○四月今川氏輝卒し弟義元つぐ○七月延壽寺僧徒京都の日蓮寺院を燒く○九月少貳元大内氏に攻められ自殺す○十二月明主邦人の邊海掠奪の禁を請ふ。
朝鮮	宗 中	中	朝鮮	朝鮮
35	34	33	32	31
宗 世				
19	18	17	16	15
八月楊最を殺す○九月劉天和吉備を黒水苑に破り其子錫沙王を斬る○十月順雅臣卒す○十一月慈慶官成る。	二月曾子の蘇賢幹を世襲五經博士とす、張亨敬卒す。	三月毛伯温に安南を討たしむ、尋て蘭を罷む○八月順雅臣機務を預る○十二月李時卒す○朝鮮の鄭光瑄卒す。	二月安南黎寧使を遣し其登庸の難を告ぐ○六月吉露宣府に入寇す○十一月張福齡を獄に下す。	五月葉中佛殿を燒つ○十二月道士邵元節を樞密尚書とす○閏十二月夏吉慶濟を預る。
(明)世宗	宗 中	中	朝鮮	(明)世宗
1540	1539	1538	1537	1536
イエス會成る(一五三四年)イスパニヤ人ロヨラの組織せるイエス會を是歲法王公認せるなり普通シス、ト派といふ。	イギリスの大修道院解散○イギリス國會、教會の制令六箇條を議定す。	ニースの休戦、チールス五世フランス一世と和す○アルマゲロ、ピヤロに敗られて殺さる○カルヴェンチネーより追放○ワルデン、南米の西岸を探検す。	ポルトガル人始めてマカオに植民す○コルチアス、下カリフォルニヤを發見す○フレンチス公フレデリック、ロドリゲス殺す。	チールス五世とフランス一世の第三次開戦(一五三八)チールス五世アロワンを侵す○チールス、イギリスと合併す○カルヴェン、スウスのシネーにて宗教改革説を唱ふ○イギリスの小修道院解散。
一五四〇				

後 奈 良				
2215	2214	2213	2212	2211
治弘 卯乙	23 寅甲	22 丑癸	21 子壬	20 亥辛
輝 義 (代三十)				
二月伊勢神宮造營の議あり、長慶播磨三木城を下す○五月前衛牙人來り砲術を傳ふ○七月川中島前衛○十月毛利元就討つる敵島に滅す、廿二日改元○十月茶人紹興歿す(年五三)。	三月北條氏康信の兵と戦ふ、近衛晴嗣(後改前嗣又前久)開白○十月長慶淡路に渡り襲て上京す○十一月氏康古河を陥れ晴氏を波多野に移す。	正月一條兼冬開白○三月義輝信に關東鎮定を命ず、信玄信濃を略す○八月長慶入洛し義輝出奔す、村上義清義輝に依る。	正月六角定頼卒す、義輝三好長慶と和し晴元出奔す○二月細川氏綱常領○三月陶晴賢大友義長を迎立す○十二月小笠原長時上杉謙信に依る○是年信玄の女を氏政に義元の女を信玄に各一嫁す。	三月三好長慶京中に市税を課す○七月三好長慶相國寺を焼き細川晴元を走らす○九月大内義隆陶晴賢に害せらる(年四五)○十二月山内康政氏康に攻められ越後に奔る。
宗 明				
10	9	8	7	6
宗 世				
34	33	32	31	30
五月張經大猷大に倭寇を撃破す○七月倭寇南京を犯す○十月張經楊繼盛を殺す。	正月六科給事中を延杖す○五月張經大に倭寇を討たしむ○七月勳威大臣に西内入直せしむ。	正月嚴嵩を獄に下す○三月汪直倭寇を糾して海濱諸郡を犯す○七月俺答大舉入寇す○是年李錦龍卒す。	三月内府督を置く○四月倭寇浙江を侵す○七月王守仁をして倭寇に備へしむ○八月仇鸞卒す○九月馬市を罷む○十二月馬從謙を殺す○フランシス、サビエール支那布教中に卒す。	三月馬市を大同宣府に開く○十一月俺答大同を犯す。
1555	1554	1553	1552	1551
アウクスブルグの宗教和約、ルター教の自由を許す(カルウェンを除く)○イワン四世シベリヤ侵略の緒を開く○チャールズ五世子フィリップにネーデルラントの主権を譲る。	レオパルド公、養女レオポリーナを娶り、イスマニヤ王フィリップと婚す○イワン四世アストカンを征服す。	ローマ教皇パウル四世の死、パウル五世即位○イスマニヤ王フィリップと婚す○イワン四世アストカンを征服す。	マクシミリアン二世の死、マクシミリアン三世即位○イスマニヤ王フィリップと婚す○イワン四世アストカンを征服す。	マクシミリアン二世の死、マクシミリアン三世即位○イスマニヤ王フィリップと婚す○イワン四世アストカンを征服す。

三二五、(天文)後奈良(百四代)(義輝)

朝鮮

(明)世宗

一五五五

後 奈 良				
2210	2209	2208	2207	2206
19 戌庚	18 酉己	17 申戊	16 未丁	15 午丙
輝 義 (代三十)				
二月大友義長其家臣に害せらる(年四九)○五月前衛牙人來り砲術を傳ふ○七月川中島前衛○十月毛利元就討つる敵島に滅す、廿二日改元○十月茶人紹興歿す(年五三)。	三月北條氏康信の兵と戦ふ、近衛晴嗣(後改前嗣又前久)開白○十月長慶淡路に渡り襲て上京す○十一月氏康古河を陥れ晴氏を波多野に移す。	正月一條兼冬開白○三月義輝信に關東鎮定を命ず、信玄信濃を略す○八月長慶入洛し義輝出奔す、村上義清義輝に依る。	正月六角定頼卒す、義輝三好長慶と和し晴元出奔す○二月細川氏綱常領○三月陶晴賢大友義長を迎立す○十二月小笠原長時上杉謙信に依る○是年信玄の女を氏政に義元の女を信玄に各一嫁す。	三月三好長慶京中に市税を課す○七月三好長慶相國寺を焼き細川晴元を走らす○九月大内義隆陶晴賢に害せらる(年四五)○十二月山内康政氏康に攻められ越後に奔る。
宗 明				
5	4	3	2	1
宗 世				
29	28	27	26	25
八月俺答京師に逼る○十月張治本各機務を預る○七月倭寇浙東を侵す○九月月梁蘭遊東を犯す。	二月俺答入寇す、張治本各機務を預る○七月倭寇浙東を侵す○九月月梁蘭遊東を犯す。	三月曾鉄を殺す○八月俺答大同を犯す○十月夏言を殺す。	四月俺答貢を求む之を拒む○羅欽順卒す。	三月四川の白草番亂る○九月俺答寧夏を侵す○十月張廷齡諫に伏す。
1550	1549	1548	1547	1546
イギリス、フランス及スコットランドと和す○ネーデルラントに宗教裁判所設置。	イギリス統一令の發布○チャールズ五世イスマニヤ王位の下にネーデルラントを合併す。	アウクスブルグ布告發布、新舊兩教の緩和を圖る。	ムールマルヒの戦い、チャールズ五世シムルマルヒを破り之を擒にす○イワン四世始めてチャールズの尊號を用ゆ(一説、一五三三)。	シムルマルヒの戦い(一五四七)始まる、チャールズ五世シムルマルヒ同盟の首領マクシミリアン二世、シムルマルヒと戦ふ○ルイーゼル死す(一四八三生)。

三三〇、(天文)後奈良(百四代)(義輝)

朝鮮

(明)世宗

一五五〇

11115、(永祿)正親町(百五代)(義輝)	町親正				
	2225	2224	2223	2222	2221
	8 丑乙	7 子甲	6 亥癸	5 戌壬	4 酉辛
	輝 義 (代三十)				
	<p>三月鎌倉大に小田原に逼る○五月信長齋藤義興を攻む○十月川中島合戦後○十二月足利學校火く○是年宇喜多直家自立、宣教師ウイレラ京都に在りてヤソ教を弘む。</p> <p>正月家康信長と盟約す○三月三軒賣休崩山政高と戦ひ敗死す(年三五)、義輝八幡に逃走す○四月洛中徳政悉行○五月信長還洛、武田と戦ふ○六月六角義賢長慶と和し義輝歸京す、毛利元就物を内裏に上る○十二月上杉景虎輝虎と改名。</p> <p>三月細川晴元卒す(年五〇)、武田義統物を内裏に上る○七月家康今川氏真と結つ○八月毛利隆元卒す(年二二)○九月一向宗徒家康に背く、廿三日伊勢外宮正運官百三十年目(慶光院尼清願の靈力)。</p> <p>正月氏康里見義弘と鴻臺に戦ふ○二月一向宗の徒家康に降る○三月信長淺井長政と和す○五月安藝銀嶺所出の金銀を内裡に獻ず○七月三軒長慶卒す(年四三)○八月長尾輝虎越後布衣を内裏に上る、信長稻葉山城を陥れ、野上と改稱す。</p> <p>五月三軒義輝松永久秀等と義輝を害す(年三〇)○七月義輝の弟義昭近江に奔る○十一月信長養女を武田勝頼に嫁す○是年宗氏朝鮮遠征船を損ず。</p>				
朝鮮	宗 明				
	20	19	18	17	16
	宗 世				
	44	43	42	41	40
	<p>十一月義輝職務を預る○十一月把都兒遠東を犯す○是年萬曆官災す。</p> <p>五月義輝を獄に下す、土貳特入寇す○十一月御史を分遣して方書を求む。</p> <p>四月倉大威威光大に倭寇を捕縛に破る○十月把都兒入寇す。</p> <p>二月伊王典義を勝す、威揚光福建の倭寇を平ぐ。</p> <p>三月嚴世番伏誅す○四月嚴訓李春芳機務を預る○十一月嚴訓羅比(西班牙人)イリピン群島を取る。</p>				
(明)世宗	宗 世				
	1565	1564	1563	1562	1561
	<p>イギリス教會の三十九箇條公布○ヤーズ公フランシス暗殺○トレント宗教會議終はる○カルウェン、ハイデルベルと信條を公にする。</p> <p>イギリス教會の三十九箇條公布○ヤーズ公フランシス暗殺○トレント宗教會議終はる○カルウェン、ハイデルベルと信條を公にする。</p> <p>ユグノー、プロテスタントに植民す○カルウェン死す(一五〇九生)○メランシオン死す(一四七五生)。</p> <p>ラッセル、トルコ軍に抗してマルタを拒守す○イスパニヤ人フロリダのユグノー植民を没す○イスパニヤ人セントオーガスチンを建設す。</p>				
1565	1564	1563	1562	1561	

11110、(弘治)永祿後奈良(百四代)正親町(百五代)(義輝)	町親正				
	2220	2219	2218	2217	2216
	3 申庚	2 未己	祿永 午戊	3 巳丁	2 辰酉
	輝 義 (代三十)				
	<p>二月廿八日改元○五月長慶松永久秀風を作す、義輝近江に走る、信玄豊後筑前川を隔てて會見す○九月木下福吉細川信長に仕ふ○十一月義輝長慶と和し歸京す。</p> <p>三月邊民明の福安浙東を陥る○五月毛利隆元備中を取る、信長上洛し關原菅原頼朝に補す○十月古法法元信長す(年八四)○十二月本願寺門跡に列す。</p> <p>正月廿七日即位○二月毛利元就隆元即位の賞金納を賞せらる○五月信長今川義元を桶狭間に斬る、古河晴氏卒す○六月義輝内裏修理を奏請す○十一月松永久秀天主廟を起す○十二月尼子晴久卒す(年四七)。</p> <p>四月豊後國親父秀頼を害す○十月鎌倉氏康上州に對陣○十一月明再書を對馬に贈り邦人侵掠の禁を請ふ○十二月古河義氏關宿城に移る。</p> <p>二月大内義長自殺す○四月京都火あり○九月五日後奈良天皇崩す壽六十二○十月廿七日正親町天皇踐祚。</p>				
朝鮮	宗 明				
	15	14	13	12	11
	宗 世				
	39	38	37	36	35
	<p>五月道文羅をして江南浙江の軍務を攝せしむ○六月倉大威倭寇を黃浦に敗る○八月胡宗憲海賊徐海を破る○九月嚴世番王殺害を諫す。</p> <p>九月道文羅を免し沈諫を殺す○十一月俺入寇す、胡宗憲海盜沈直を誘殺す(葡萄牙人澳門を取る)。</p> <p>三月揚州を獄に下す○八月信長甘州を圍む○十月禮部瑄芝を遣む。</p> <p>二月老把都路部入寇す○五月李汝江北の倭寇を平ぐ○八月俺答土木を犯す○是年又嚴明卒す。</p> <p>七月割眞俺答を破る○八月胡宗憲白鳥芝草を獻す○十二月土警海州を犯し閩廣賊江西を犯す。</p>				
(明)世宗	宗 世				
	1560	1559	1558	1557	1556
	<p>イギリスの新首長令通過○カトリックカンブレ社の和約、イギリス、フランス及イスパニヤ和す○ウヰルンダス、スコットランドに偶像破壊を説く○スコットランドの宗教改革派を説く○スコットランドに反す○スウェーデン二世農母姉マルガレトをネーデルランドの攝政となす。</p> <p>スコットランドの宗教改革派イギリス女王エリザベスと同盟を結ぶ○攝政ヤーズのメリー死す○メリー、スコットランド及其夫佛王フランシス二世はエリザベス及宗教改革派とエニグマ協約を結ぶ○スコットランド議會議改革法案を通過○メランシオン死す(一四九七生)。</p> <p>フィリッパ七世佛軍をサンレオナンに敗る。</p> <p>ヤーズ公カローレを取る、佛國に英領全く消失○イギリス女王エリザベスの即位(一六〇三)○メリー死す、佛國王子フランシス二世と婚す○イスパニヤの將エドゥアードをアラゴリアに敗る○エドゥアール五世死す○イワン四世、スウェーデンヲ武士國と改む。</p> <p>イギリスの新首長令通過○カトリックカンブレ社の和約、イギリス、フランス及イスパニヤ和す○ウヰルンダス、スコットランドに偶像破壊を説く○スコットランドの宗教改革派を説く○スコットランドに反す○スウェーデン二世農母姉マルガレトをネーデルランドの攝政となす。</p> <p>スコットランドの宗教改革派イギリス女王エリザベスと同盟を結ぶ○攝政ヤーズのメリー死す○メリー、スコットランド及其夫佛王フランシス二世はエリザベス及宗教改革派とエニグマ協約を結ぶ○スコットランド議會議改革法案を通過○メランシオン死す(一四九七生)。</p> <p>フィリッパ七世佛軍をサンレオナンに敗る。</p> <p>ヤーズ公カローレを取る、佛國に英領全く消失○イギリス女王エリザベスの即位(一六〇三)○メリー死す、佛國王子フランシス二世と婚す○イスパニヤの將エドゥアードをアラゴリアに敗る○エドゥアール五世死す○イワン四世、スウェーデンヲ武士國と改む。</p> <p>イギリスの新首長令通過○カトリックカンブレ社の和約、イギリス、フランス及イスパニヤ和す○ウヰルンダス、スコットランドに偶像破壊を説く○スコットランドの宗教改革派を説く○スコットランドに反す○スウェーデン二世農母姉マルガレトをネーデルランドの攝政となす。</p> <p>スコットランドの宗教改革派イギリス女王エリザベスと同盟を結ぶ○攝政ヤーズのメリー死す○メリー、スコットランド及其夫佛王フランシス二世はエリザベス及宗教改革派とエニグマ協約を結ぶ○スコットランド議會議改革法案を通過○メランシオン死す(一四九七生)。</p> <p>フィリッパ七世佛軍をサンレオナンに敗る。</p>				
1560	1559	1558	1557	1556	

町親正				
2235	2234	2233	2232	2231
3 亥乙	2 戌甲	正天 百癸	3 申壬	2 未辛
長信*		昭義(代五十)		
<p>三月大村純忠長崎を葡萄酒人に開く○五月長崎島一向一揆を征す○六月毛利元就(二十七)島津貴久(年五十八)各卒す○九月信長(年五十五)北條氏康卒す(年五十六)○十二月今川氏眞北條氏政に逐はる</p> <p>七月信長小谷城を攻む○九月信長將軍義昭を誅す○十月信長大津京都に向はんとす○十二月三方原の戦○此頃天主教盛に九州に行る</p> <p>正月將軍義昭晴信に信長及家康と和せしむ肯ぜず○三月義昭信長を圍る、翌月信長二條城を圍む○四月信長卒す(年五十三)○七月信長將軍を誅し足利氏にす、此月廿八日改元○八月信長朝倉義隆井内氏を滅す○十一月信長三好義隆を滅す</p> <p>三月信長入朝す、義昭晴信及武田勝頼北條氏政等と信長を討たんとし成らず○四月信長石山城に迫る○七月義昭兵を越中加賀に出す○九月信長長島を陥る</p> <p>正月信長東海東山の道路を修む○二月義昭頼朝より書を毛利吉川兩氏等によせ恢復を謀る○三月明船船隻後に来り貿易す○五月信長家康と勝頼を長篠に破る○九月信長柴田勝家を越前に對す○十月本願寺光佐和を信長に求む</p>				
祖 宣				
8	7	6	5	4
宗 神			宗 穆	
3	2	曆萬	6	5
<p>三月後谷を封じて頼義王とす○五月李芳春罷む○八月河野部部互市を許す(西班牙人マニラ政廳を建つ)</p> <p>四月高橋橋濟を預る○五月帝祖す○六月神宗即位高橋卒し呂調陽代る○帝文華殿にて講讀す○十二月張居正帝師職を上げる</p> <p>三月將才を擧ぐ○九月四川の都寧豊平々○十一月章奏考成法を立つ○十二月梁成亮憲を犯す成瑞光之を廢退す</p> <p>正月廉羅官を皇極門に召見す○四月内外官の久任法を行ふ○十月決囚す</p> <p>二月日講官に起居を記注せしむ○八月張四維職務を預る○九月萬士和罷む</p>				
1575	1574	1573	1572	1571
<p>イバニヤ、ニコシ及び法王、トルコに對し神聖同盟を結ぶ○十月七日レバントの海戦、神聖同盟軍の艦隊大にトルコの艦隊を破る○トルコ、イバニヤよりキプロス島を取る○フリアピン諸島イバニヤ領となる</p> <p>八月廿四日未明聖パソロミー祭日の虐殺、コリー殺さる、ユグノー再擧を企つ○オランダ人イバニヤ人の虐殺に對し大擧反抗す○オランダのヤケロン朝臣、王位選挙となる○オランダ公ワイルム、沈黙ネーデルラント軍の總司令官に選ばれる</p> <p>ユグノー、カロレルを堅守す○カロレルの條約、ユグノーの自由を許す○イバニヤ軍ライデンを圍む、アルセ公召還レケイセニスに代る</p> <p>イバニヤ軍已むなくライデン城の圍を撤す○アンジュー公ヘンリー、ポーンワード王となる、聯いて退位してフランス王ヘンリー三世となる</p> <p>トランシルヴァニア公スラフニバトリ、ポーンワード王となる○ライデン大學の創立</p>				

二二三五、(元龜・天正)正親町(百五代) (義昭・信長)

朝鮮 (明)穆宗、神宗

一五七五

織田信長將軍に補せられざりしも足利將軍家滅亡の後政權を握りしを以て尙將軍欄に掲ぐ

町親正				
2230	2229	2228	2227	2226
龜元 午庚	12 巳己	11 辰戊	10 卯丁	9 寅丙
昭義(代五十)		榮義(代四十)		
<p>二月松永久秀前井頼慶と戦ふ、三好義隆山崎政を破る○五月義昭越中を略す○八月義昭若狹に奔り、野で朝倉義景に依る○十一月毛利元就富田城を抜き尼子氏亡ぶ</p> <p>五月信長女を徳川信康に嫁す○六月朝鮮國王書及方物を呈す○十月信長御料所恢復の詔書を拜す、松永久秀三好三郎を破る、大佛粉炎上○十一月信長子信忠の爲に信玄の女を娶るを約す</p> <p>二月義隆將軍に任ず○七月信長義昭を立政寺に迎ふ○八月信長の妹浅井長政に嫁す○九月信長入京し久秀等降る、義隆阿波に卒す○十月義昭將軍に任ず○十二月信玄駿河に入りて氏眞を破る、家康遠江を略す、二條晴良開白</p> <p>正月徳川武田兩氏の交誼破る○四月義昭二條城に移る○五月家康遠江を攻め今川氏眞出走す○八月信玄小田原を攻めて返く○十月信長北條氏康と和す</p> <p>正月家康廣松に移る○二月信長内藏を修理す、翌年成る○四月廿三日改元、信長朝倉長恒を降す○六月姉川合戦○九月本願寺元佐大坂に據る○十二月織田朝倉兩氏の和議成る○是年明船長崎に来り葡萄酒亦來る</p>				
祖 宣				
3	2	1	22	21
宗 穆			宗 明	
4	3	2	慶隆	45
<p>七月章華の浮詞を禁ず○十月後谷の子把漢那吉内附す○是年鄭有光に世宗實錄を修めしむ○朝鮮の李撰卒す</p> <p>七月徐階罷む○八月廣東海賊曾一本津に伏す○八月後谷入寇す○十月二月高拱復入閣す</p> <p>六月廣東賊曾一本廣州に寇す○十月遊王嘉瑞を廢す</p> <p>正月香宗の明堂配享を罷む○五月高拱罷む○九月後谷山西に寇す、郭權罷む</p> <p>二月月大猷廣東の山賊を破る○三月郭權高拱罷む○四月後谷遊東を犯す○十二月帝祖す穆宗即位す、宋元通鑑の著者蘇轍卒す</p>				
1570	1569	1568	1567	1566
<p>メリーリス、アイト、イギリスに連れ出せらるる○ネーデルラントの自由戦争(一六四八)○ネーデルラント人虐殺を認りイバニヤと戦ふ</p> <p>イギリスの海教徒徒亂を起す○ユグノー、ジャムナクに敗れコンデ公捕はれて殺さるる○メデチのコスモ、フロレンス領をトスカナ大公國となす</p> <p>サンリツ、ルマンの和約、フランスの新舊海教徒和す○スコットランドの攝政マレー暗殺○イギリス、スコットランドを征す○レンノ、ス伯スコットランドの攝政となる</p> <p>スコットランド女王メリーリス、アイト追られて即位○ネーデルラントの反亂、フリアア二世アルセ公をして反徒を鎮壓せしむ、アルセ公流血戦死所を設く○ネーリオネル敗れて暗殺せらるる</p> <p>ネーデルラントの貴族同盟し攝政マルゲレタに權利擴張を爲す○ネーデルラント人國內の偶縁を破る○フリアア二世世宗敬義所を設立す○スレイマン、ホセガリヤに侵入す</p>				

二二三〇、(永祿・元龜)正親町(百五代) (義榮・義昭)

朝鮮 (明)世宗、穆宗

一五七〇

二三四五(天正)正親町(百五代)(信長・秀吉)	町親正				
	2245	2244	2243	2242	2241
	13 酉乙	12 申甲	11 未癸	10 午壬	9 巳辛
	吉秀*		長信		
	二月二條御寶開白○三月秀吉根來を伐つ○七月秀吉四國を平ぐ、昭賢開白を討し秀吉代る○八月秀吉佐佐成政を降す○十一月秀吉五奉行を置く○十月内宮遷宮百二十四年目也○是年秀吉南蠻寺を毀つ。	三月家康備前と會盟す○四月家康秀吉の兵を長久手に破る○五月秀吉比叡山を再興す○十一月秀吉備前と和す○十二月秀吉備前を討つ○是年大村有馬の使羅馬に違す、朝鮮修好を求む。	正月秀吉備前一益を伐つ○四月秀吉備前家康を討つ○五月秀吉備前家康を討つ○六月一益秀吉に降る○十一月秀吉大阪に城く○天正年間京郡西陣織始る。	正月信長神宮遷宮費奉獻言上、大村有馬大友三氏使を歸馬に遣す○三月勝頼滅さる(年三七)○五月秀吉高松城を圍む○六月明習光秀信長を本能寺に害す(年四九)秀吉光秀を山崎に破る○十一月家康甲斐を降す。	二月信長備前入京、西班牙船來る○春秀吉姫路に城く○四月一統内基開白○八月信長高野山僧徒を殺戮す○十一月朝鮮勦合銅印を京極晴成に贈る。
朝鮮	祖 宣				
	18	17	16	15	14
(明)神宗	宗 神				
	13	12	11	10	9
	三月辛酉倭寇の巴土兒を破る○十二月順義王乞慶哈卒す。	四月劉綎瀾川の賊を討平す○十月余有丁卒す○十二月王錫爵王家屏二人並び職務を預る王守仁陳獻章胡居仁を孔廟に從祀す○朝鮮の李珣卒す。	閏二月俺答の子乞慶哈順義王を圍ぐ、順義王に降す○四月徐階卒す、許國職務を預る○五月滿洲部長努兒哈赤兵を起す○是年滿洲の努兒哈赤部長となり遼東を侵す。	二月順義王俺答卒す○三月泰寧部の速把衣義州に寇す○李成梁之を斬る○六月張居正卒す。	四月土默特邊陽を犯し人畜を大擄して去る○五月民間の稱馬を賣る。
一五八五	1585	1584	1583	1582	1581
	フランスに於ける内亂(一五八九)セロア伯(ヘンリー三世、ナヴァル王ヘンリー、ギーズ公ヘンリー)相戦ふ、三ヘンリーの戦○アントワーヌ裕城、エリザベス後兵をオランダに送る○ドレーク、アメリカのイスマニヤ領を侵す。	オランダ公ウイリアム(沈黙)暗殺○パルマ公フリードリッヒを圍む○オランダ公フリードリッヒ北カラコラ(後のウァシニヤ)に至る。	アシムト公オランダ共和国の大統領職を罷む○エリザベス女王のためにハンズレーン、ザルト、ニューファンランドを取る。	法王グレゴリー十三世曆法を改正す(最歳の十月五日を十月十五日と改む)。	オランダ共和国獨立を宣言す○イェルマ、コスタ、を率ゐてペリヤの西部を征服す(一五八二)○法王の使節支那に至る。

\*豊臣秀吉秀次將軍に補せられざりしも信長の後を受けて相繼ぎしを以て尙將軍欄に掲ぐ

二二四〇(天正)正親町(百五代)(信長)	町親正				
	2240	2239	2228	2237	2236
	8 辰庚	7 卯己	6 寅戊	5 丑丁	4 子丙
	長		信		
	正月三木城陥り別所長治自殺す○三月本願寺光佐降る、一向の徒大板に據りし以來十一年を經たり○九月福徳寺隆信死後を侵す○是月京郡織工の天下一字を影すを禁ず。	四月勝頼家康と對陣す○五月安土宗論○波多野氏亡ぶ○九月北條氏政家康と和す、氏政勝頼と對陣す○十月宇喜多直家信長に降る○十一月信長秀吉を平ぐ。	正月順會復讐○三月上杉謙信卒す(年四九)○四月毛利輝元秀吉を上月城に圍む○七月上月城將尼子勝久自殺す○島津義久大友宗麟を日向に破る○十二月九條兼孝開白。	二月信長紀伊雜賀を征す○十月松永久秀自殺す、信長秀吉に稱賀を略せしむ○十一月信長右大臣となる、秀吉上月城を陥る。	二月信長安土城に修る○五月信長大板一向徒を伐つ○六月義隆武田上杉毛利三氏に信長を伐たしむ○七月毛利氏兵糧を大板城に入る○十一月信長北島具教を殺す○十二月島津義久隔日二州を併す。
朝鮮	祖 宣				
	13	12	11	10	9
(明)神宗	宗 神				
	8	7	6	5	4
	七月倭寇大敗す○十月元官を汰す○十一月民田を度す○十二月張居正、順義王乞慶哈を修進す○是歲和親寶漢門に上陸す。	正月天下の書院を毀ち公廟とす○四月大體を繕る。	二月島自強申時行機務を預る○七月呂陽陽やむ○十二月高拱卒す○八月戸部天下の戸一千六百二十二萬一千四百三十六口六千六百九十九萬二千八百五十六を奏す。	二月廣東羅陽寇賊す○四月陳綸卒す○王崇古やむ○十一月百官を考察す。	正月劉燾張居正を勅して罷せらる○大明會典を重修す。
一五八〇	1580	1579	1578	1577	1576
	アンクムト公、オランダ共和国の大統領となる○フリリア二世ザルトガンを征服す。	ネーデルラントの北部七州とヒト同盟を結ぶ、コスタにオランダ共和国成る○イェルマ、ペリヤに遠征す○イェルマ人始て印度に至る。	オランダ、イギリスの同盟成る○ザルトガル王セバスチアン、セロコを征して敗死す。	ベルギーの和約、ヘンリー三世ユグノーと和す○水久命によりてネーデルラントの反亂を鎮靜せんとせしが成らず。	ザール公ヘンリー、ユグノーに對し海放同盟を結ぶ○ザン、ネーデルラント諸州イスマニヤ兵驅逐のため同盟す○オーストリアのドンブリッセン(西王フリナ二世の異母弟)ネーデルラントの知事となる。

二三五五、 天正・文祿 秀吉・秀次 後陽成(百六代)	成 陽 後				
	2255	2254	2253	2252	2251
	4 未乙	3 午甲	2 巳癸	祿文 辰壬	19 卯辛
	吉 秀	次 秀*			吉 秀
	正月由直瀬道三殿す(年八九)○二月彌生氏 繼徳(年四〇)○七月秀次高野山にて出家 自殺す○八月法令六條を頒つ、秀吉繁榮第 を毀つ○九月秀吉妻女を家康に嫁す○是年 檢地了り租法定る。	正月伏見城を築く○二月秀吉吉野に觀樓す ○七月堺商茶屋助右衛門呂宋より歸る○是 年内藤如安明に使す、明より木綿を得て大 和に種う秀吉取敢徒を刑す。	正月五日正親町上皇崩す壽七十五、小早川 隆景等明軍を警踏館に破る○四月行長沈惟 敬と和を講す○五月諸將釜山に還る、明使 來りて和を請ふ○十一月秀吉使を臺灣に遣 す○是年小笠原諸島發見、家康歸國後高を 召す。	正月征韓諸將を部署す、聚樂等行幸○四月 京城陷落○七月朝鮮二王子捕獲、安定館の 戰、大政所賜す○八月明人沈惟敬和を講す ○十一月本願寺光佐還す(年五〇)○十二月 八日故元○是年朱印船額を定む、西班牙及 葡葡牙船貿易を禁ふ。	閏正月寛政節ヲリニヤン印度副王の書を秀 吉に進む○二月秀吉利休に死を命ず(年六 九)○四月豊元慶島に城く○九月九日政實 降りて豊羽平々○十二月秀次關白○是年秀 吉征韓令を下す、五大老を置く。
朝鮮	祖 宣				
	28	27	26	25	24
(明)神宗	宗 神				
	23	22	21	20	19
	九月青海の部長永部ト甘肅を犯 す、遠東之を變故す、建文年號を復 す○是年南黎氏の將鄭松北其氏を 滅して安南を一統す。	二月順遠成制籍せらる(東林黨議 の始)○三月詔して國史を修む○ 五月陳子陸沈一貫並に禮部を預る ○七月河套部長のト失免經綏を犯 す。	正月李如松警踏館に敗績す、王錫 爵復入關す○九月崇禎帝見哈赤の 古勒山の戰○是年河南浙江山東等 饑ゆ、王世貞卒す。	三月種痘の法拜反して夏夏に據る ○四月日本軍朝鮮王城を陥る○七 月祖承訓日本軍に破る○九月寧 夏平々○十月李如松朝鮮を救ふ。	正月緬甸水昌驛城に寇す、暹羅等 兒哈赤長白山鴨綠江地方を略し其 家を收む○六月王錫爵罷りぬる○ 九月申時行やむ、趙志昂張位並に 機務を預る。
一五九五	1595	1594	1593	1592	1591
	ヘンリー四世イェスバニヤに宣戰す○オランダ 人の喜望峯を襲りて東印度に至る最 初の航海(一五九七)。	ヘンリー四世シャルトルに即位式を擧げ、 葬てパリに入る。	オランダ船ヤニの黄金海岸に至る○英 國國教を奉せざる徒に對し峻法を發 布す○ヘンリー四世漸教を擧つ。	スコットランドの議會、教會のエピスコパリアン 政治を廢しアレクサンドリアン政治を定む。	フアン・デ・ニセアガンの反抗者を壓服す。

二三五〇、 天正正親町(百五代) 後陽成(百六代)秀吉	成 陽 後				町親正
	2250	2249	2248	2247	2246
	18 寅庚	17 丑己	16 子戊	15 亥丁	14 戌丙
	吉 秀				
	四月天幕繁榮第行幸諸侯皆賀す、松前慶廣 入朝す○十月秀吉北野に若瀨す○是年秀吉 大小判金を作り又利休に茶碗を作らしむ (樂焼)。	三月秀吉使を琉球に遣す○十月秀吉北條氏 討伐軍令を頒つ○是年秀吉宗義習を遣し朝 鮮來聘を促す、蘆名氏じよ○天正年間京黨 常備烟燭部始る。	四月秀吉小田原を圍む○六月大友有馬大村 の使羅馬より歸る○七月北條氏直降る、秀 吉關東の地に家康を封ず○八月家康江戸城 に入る○野野永徳歿す(年四八)○十月秀吉 朝鮮使者を延見す○是年秀吉山科田を供御 料に充つ。	三月秀吉島津義久を攻む○五月義久降り九 州平々大友宗麟卒す(年五八)○九月秀吉繁 榮第に移る○是年秀吉天主教を禁じて長崎 を官地とし又天正通寶を鑄る○天正年間堺 に支那の織工輸金欄子子欄子を鑄る。	正月秀吉家康と和す○二月繁榮第成る○五 月家康秀吉の妹を娶る○十月家康大坂にて 秀吉に會見○十一月七日天皇讓位、吉川元 春卒す(年五七)○十二月秀吉太政大臣に任 じ姓御臣下賜○是年秀吉方廣寺を造り大佛 殿を立つ。
朝鮮	祖 宣				
	23	22	21	20	19
(明)神宗	宗 神				
	18	17	16	15	14
	正月申時行を誠德官に召見す○二 月日講を罷む○六月青海部長火落 赤入寇す○七月鄭福に邊防を經時 せしむ。	正月劉汝國等亂を作す○三月陞授 官而罷を罷む○四月王家屏復入關 す○六月南陽浙江に賊す○是年妖 僧李爾蘭を作す。	三月南陽浙江山西陝西河南大凱投 す○九月青海部長他不囊西家を見 し爾蘭を殺す○十一月鞏泰の浮元 を申禁す。	三月乙斐哈の子補力克爾王を 定む○六月鄭福等兒哈赤始て國政を 定む○十月海瑞卒す○是歲利瑪竇 南京に入る。	二月鄭福を册して皇貴妃とす○三 月部曹の官事を罷す○六月松茂の 諸部平々○九月王家屏やむ。
一五九〇	1590	1589	1588	1587	1586
	ヘンリー四世マイエンス公をイタリーに敗る ○バルム公イェスバニヤ軍に將として奮敵同 盟を擧げてパリーの圍を破る。	ドレーク等引率の英國遠征軍ポルトガルの 獨立を覆けしかど成らざ○カザリン メテ死す○ヘンリー三世暗殺せらる、 マリア朝政ゆ○ヘンリー四世フランス王位 に登る、ブルボン朝の始祖。	八月ドレーク、ワード等イェスバニヤの必勝 艦隊を破る○佛王ヘンリー三世國會を 召集す○ギョーヌ公ヘンリー暗殺。	前スコットランド女王メアリー・リスチアートの 處刑○ドレーク、イェスバニヤの艦隊をカマス に擊破す。	パピスト等女王エリザベスを弑せんとし て事覺はれ殺さる。

成陽後				
2265	2264	2263	2262	2261
10 巳乙	9 辰甲	8 卯癸	7 寅壬	6 丑辛
忠秀(代二)	康家(代一)	將軍	將軍	將軍
三月朝鮮交通再び開く○四月秀頼右大臣に秀忠内大臣征夷大將軍に任ず○五月織田秀信卒(年二二)○七月林道春家康に就す○近衛信尹開白○九月山内一豊卒(年六〇)○十二月書院番組創置○是年南蠻傳来の煙草を禁ず、後徳光次一分金を頒る。	正月呂宋來聘、家康書を東浦漢に賜ふ○二月家康征夷大將軍に任ず○三月小笠原一庵始て長崎奉行となる○四月秀頼内大臣に任ず○東浦漢來聘○七月家康孫女を秀頼に嫁す○八月秀家八丈島に流さる○九月曾呂利新左衛門歿す○十二月頼宣水戸に封ぜらる。	正月家康東本願寺を建つ○五月家康二條城經營を諸侯に命ず、前田玄以卒す○六月家康江戸に文庫を建て金澤文庫の書を移す○八月家康書を大泥呂宋に遣す○十一月秀頼方廣寺大佛を改造す、翌月煇失○是年家康東鑑刊行を命ず。	正月東海道五十三驛を定む○五月家康大小判金を造る○八月家康上杉景勝を未澤に移封す、榎倉勝武京所司代となる○九月家康御料及公卿以下采邑を査定す、學校を伏見に建て元信を贈とす○是年宋義智使を朝鮮に遣す、朱印船額を定む、安南國始て遣使修好す。	二月家康東本願寺を建つ○五月家康二條城經營を諸侯に命ず、前田玄以卒す○六月家康江戸に文庫を建て金澤文庫の書を移す○八月家康書を大泥呂宋に遣す○十一月秀頼方廣寺大佛を改造す、翌月煇失○是年家康東鑑刊行を命ず。
朝鮮 祖 宣				
38	37	36	35	34
宗 神				
33	32	31	30	29
四月福餘等誅に伏す○十一月嘉宗生る○十二月天下の開鎖を罷む。	四月京師大雨○閏九月武昌の宗人福餘等亂を作す。	六月楚の華越の獄起る○十一月妖書を獲たり、王家崩卒す。	三月越寇の民税監吏を殺す○七月福餘邊を侵す。	八月李汝梁遼東を襲す○九月趙志臯卒す、沈體朱廣燾務を預る○十月二月梁頤の馬市を復す○是年利瑪竇北京に會堂を立つ。
1605	1604	1603	1602	1601
イギリスの火藥陰謀、王及國會を破滅せんとす○イスパニヤのセルヴァンテス(一五四七-一六一六)、其著ドンキホーテ一巻を出版す。	ジョージ一世の第一次國會(一七一六)○フランスの東印度會社の設立○イスパニヤの將スピンノラ、オランダを取る○アサカワのモリス、スロイスを取る○露人トムスク市を建つ。	エリザベス死す、チャールズ二世朝始ゆ○スコットランドエドワード二世六世イギリス王位に登る、ジョージ一世と稱す、スチアート王朝の祖、一人にて二王國に君臨す。	獨帝ルドルフ二世ホヘンシュタットの遺放令を發す○オランダの東印度會社設立○オランダ人セイロン島に上陸○パルシヤ人ゴスルド、マサチューセツの海岸に植民を企つ。	エモグス反を謀り誅せらる○マラカシュイライルランドの亂を平む○フランス、サウイと和す○ホルトガ人オーストリアを發見す(最初の發見)。

二二六五、(慶長)後陽成(百六代)(家康・秀忠)

朝鮮 (明)神宗

一六〇五

成陽後				
2260	2259	2258	2257	2256
5 子庚	4 亥己	3 戌戊	2 酉丁	長慶 申丙
吉 秀				
四月英人アダムス江口に来る○六月家康上杉景勝を伐つ○七月家康江戸城に入る、三成兵を擧ぐ○八月伏見城陥る○九月關原の戰○十月三成等斬らる、家康功行賞○十二月九條兼孝關白○是年家康活字新彫眞觀政要等の印刷を命ず。	正月前田利家等秀頼を大坂に移す○三月家康五奉行と誓ふ○四月三月利家歿す(年六二)、物販日本記成る、官帳大學中斷新に成る○四月豊國大明神の號下賜○五月長曾我部元親卒す(年六六)○六月島津忠信高野山供養碑建立○十一月前田利長家康に質を致す○是年一分判金を造る。	三月上杉景勝會津に移る○五月宇喜多秀家等朝鮮より還る○六月小早川隆景歿す(年六三)○八月秀吉歿す(年六三)家康利家等謀して在韓諸將を召還す○十月西川の戰○是年朝鮮海工勵化し長門肥前に製葉す(萩、有田、萩)。	正月再び征韓軍を出す、清正行長名古屋を發す○七月呂宋入貢○八月大泥國使來貢、足利義昭歿す(年六六)、勅版錦織段を頒つ○十二月前山山崎の戰○是年秀吉明韓の議を收封す(耳察)。	五月家康内大臣に任ず○六月明使伏見に到る、在韓諸將成を釜山に置き凱旋す○七月京都地蔵方廣寺大佛殿破損○九月秀吉明使を逐ふ、西班牙船土佐に滞到す(?)○十月廿七日改元。
朝鮮 祖 宣				
33	32	31	30	29
宗 神				
28	27	26	25	24
六月楊應龍自ら縊死し播州平ぐ○十月南蠻寇起る○此頃阮演嗣化府に據り廣南王を稱し安南二分す○在韓明軍還る○利瑪竇燕京に入る。	三月李化龍をして楊應龍を討たしむ、滿洲等兒哈赤蒙古を以て國語とし國文を創立す○十月田賦を加徴す○十二月武昌漢陽の民饑使を賑濟す。	四月土默特遼東を犯す李如松伏に遇ふて死す○六月楊鶴張位罷めらる○十一月明軍日本兵を退撃す。	三月楊鶴をして朝鮮軍務を經略せしむ○七月楊應龍叛す○十月黎惟澗を安南都統使とす。	二月麻貴河番部を破る○三月劉繼火格赤を破る○七月始て中官を遣し開鎖せしむ○十二月陳于陞卒す。
1600	1599	1598	1597	1596
露帝キエフ、アカタの二汗國を屬國と宣言す○イギリス人東印度會社を設立す○フランス人サウイを購取す。	エリザベス、エモグスをアイルランドに遣はし反亂を鎮定せしむ、效なし○イギリスの詩人スペンサー死す(一五五三生)。	ナントの勅令發布、ヘンリー四世新教徒に自由を許す○フリア二世死す○ロシヤ帝フョードル一世死し、ルーリク統絶ゆ、ボリスゴロウノフ王位に登る。	ナヤウのモリス、英國の援兵を借リリスパニヤ軍をターニハットに敗る○ヘンリー四世ローニー(後のシャリー)公に財政を委任す○アイルランドに反亂起る。	マイエンス公田服、新教同盟滅ぶ○ハワード及びエモグス、カサスを占有す○ドレーク死す○英佛二國オランダ共和国と同盟す。

二二六〇、(慶長)後陽成(百六代)(秀吉)

朝鮮 (明)神宗

一六〇〇

二二七五、 慶長・元和 後陽成(百六代)後水尾 百七代(秀忠)	尾水後				成陽後
	2275	2274	2273	2272	2271
	和元 卯乙	19 寅甲	18 丑癸	17 子壬	16 亥辛
	忠 秀 (代二)				
	<p>正月池田輝政卒(年五〇)〇四月大久保長安(年六九)其罪誅露顯す〇六月紫衣勅許の制を下す〇八月英人に通商を許す〇九月交會常長羅馬へ赴く〇十二月天主教徒檢察〇是年宗氏遺弟五十隻復舊を朝鮮に求む</p> <p>三月三浦義隆、山崎闇斎を遣送し放つ〇四月秀頼再建大佛殿の鐘成る〇六月船橋秀賢卒(年六〇)〇七月角倉了以(年六二)〇八月大佛殿供養停止〇十一月大坂冬の役〇八月和成〇長年問摩羅始り京都織工〇十月天竺談及蘭製兜羅縷を織出す</p> <p>正月宗義習卒(年四八)大坂城遺理立を畢ふ〇三月大坂再講〇五月大坂夏の役豊臣氏亡ぶ〇片桐且元卒(年八〇)〇六月豊臣氏北友松(年八三)〇銅製活字にて群書類要等刊行〇七月武家諸法度を頒布〇豊臣法度を廢す〇十三日改元、二條昭賢關白、公家法度を定む</p> <p>三月京都天主教堂を毀ち布教嚴禁、有馬晴僧除封、秀頼再建大佛殿を許す〇六月諸國無頼の徒捕縛〇七月家司信尚關白、家康シムムロ人を引見す〇是年鄭芝福平戸に來住す、て切支丹宗を禁ず</p> <p>正月島津義久卒(年六八)〇三月筑前家稻富直家(年六八)〇三月廿七日天皇即位〇四月十二日後水尾天皇即位、田中勝助、西より歸る〇六月堀尾吉晴加藤清正卒(年五〇)〇七月蘭人變を上る〇八月幕府始て切支丹宗を禁ず</p>				
朝鮮	君 海 光				
	7	6	5	4	3
	宗 神				
(明)神宗	43	42	41	40	39
	<p>五月男子張差なる者持挺して慈慶宮に入り伏誅す〇閏八月河套諸部監錮白を設けて八旗となす</p> <p>三月福王常洵國に之く〇八月于慎行、向高、魏之樞〇是年安南の廣南王阮演卒〇朝鮮永昌大君を殺す</p> <p>正月努兒哈赤、吳爾圖を滅す〇六月ト失、免、明教王を賜ぐ〇八月方從哲、吳道南、蔡懋徳を預る〇九月趙如やむ</p> <p>八月趙煥、吏部尚書に補す〇九月李朝國を征す〇是年滿洲の努兒哈赤、吳爾圖を征す</p> <p>二月李三才、暗殺〇五月東林黨の攻撃起る〇王錫爵卒</p>				
	1615	1614	1613	1612	1611
一六一五	<p>ドイツ帝ルドルフ二世、ヘンリッヒ王位を失ひ弟マクシミリアン二世に登る〇ジョージ一世勳命の聖書翻譯完成す</p> <p>ルドルフ二世死し、マクシミリアン二世に登る</p> <p>ニコロロマーノフ、ロシア皇帝となる、ロマノフ朝の祖〇英人日本に遠征す</p> <p>佛蘭西國會最後の召集(一六一一—一六一五)佛蘭西革命まで召集せず〇スコットランド國學者キーク(一五五〇—一六一七)對數表を發明す〇アマムラの東印度會社設立〇和蘭の航海者スピルベルゲン、の世界周航(マゼラン海峡を経てモルガ群島に至る(一六一一—一六一五))</p> <p>佛王ルイ十三世、西王フアン三世の女アーンと婚す〇英人チャールストマスロー、ムガル帝國に使す</p>				

\*幕府切支丹宗の禁を台徳院實紀は慶長十七年三月となすも東照宮實錄の記事に従ふ

二二七〇、 慶長(百六代)(秀忠)	成陽後			
	2270	2269	2268	2267
	15 戌庚	14 酉巳	13 申戊	12 未丁
	忠 秀 (代二)			
	<p>九月生駒一正、淺野幸長、榊原康勝を江戸に移す〇十月鳥鉞を通過に求む〇十二月九條忠榮關白、諸侯に課し大内侍の石垣を修む、再び水藥錢通用を禁じ、錢錢を流通せしむ</p> <p>四月島津家久琉球國王を生擒す〇七月和蘭人に通商を許す〇八月諸大名大船製造を禁ず〇九月幕府始て伊勢兩宮正運官を行馬〇十一月名古屋城經營を命ず〇十二月有馬晴信、播磨船を警備す、水戸城主頼宣、駿遠兩國主となり頼房水戸に封ぜらる</p> <p>四月奴儀の制を定む〇七月増上寺僧存應に國號下賜(淨土宗に開號の始)〇八月琉球始て來聘し、東洋通の便路を訴ふ、細川幽齋卒(年七七)〇十月水多忠勝卒(年六三)〇十二月幕府本多正純に御合符を賜ふ、總督に求めしむ〇是年平戸を蘭人宿務となす</p>			
朝鮮	君 海 光			
	2	1	41	40
	宗 神			
(明)神宗	38	37	36	35
	<p>二月雲南の賀世勳、楊榮を殺す〇五月河套諸部監錮に入寇す〇六月、朝鮮本邦を陥る〇七月、沈一貫沈黙羅む〇十一月、蔡顯入犯す</p> <p>二月邊備を戒飭す〇四月、順義王、力克卒す〇五月、于慎行、向高、魏之樞を預る〇十一月、于慎行卒す〇十二月、金沙江の饑、武定を陥る</p> <p>六月、李成梁、薨む〇九月、武定の賊平す〇十月、朱廣卒す〇十二月、蔡顯入寇す〇朝鮮、柳水慶等を殺す</p> <p>四月、倭寇、温州を犯す〇十二月、諸省、稅銀三分一を饑民に賑す、徐州の賊、其の知縣を殺す〇朝鮮、臨海諸將を殺す</p> <p>四月、正陽門外に福る〇五月、河南の賊亂を作す</p>			
	1610	1609	1608	1607
一六一〇	<p>ジョージ一世、ロンドン及びアリスの兩會社に北米の特權を許す</p> <p>オランダ海軍、マラカセルに於てイスパニヤ海軍を破る〇ロンドン會社、ジョージ一世、マラカセル市を建つ</p> <p>ドイツ新教國、同盟を造る〇フランス人、マダガスカル市を建つ</p> <p>ドイツの海軍同盟成立〇イスパニヤ、オランダの休戰條約(十二年間)〇イギリスの航海者、ヘンリーハドソン、ハドソン河を開る〇アマムラ、銀行創立〇ケレル、遊星運動の規則を發見す</p> <p>ヘンリー三世暗殺、子ルイ十三世嗣ぐ(九歳)〇ハドソン、ハドソン河を探検す〇イオリヤ人ガレオ、木星の衛星を發見す</p>			



尾水後				
2285	2284	2283	2282	2281
2 丑乙	永寛 子甲	9 辛癸	8 戌壬	7 酉辛
光家(代三)			忠秀(代二)	
<p>二月騎馬賦賀を定む○五月宗智頼朝○六月見見忠義死し家絶ゆ○七月文倉常長歿す(年五二)○八月上義俊本多正純各除封せらる○十二月川船奉行を置く</p> <p>正月大奥法度を定む○二月越前忠直を朝後流す○五月上杉謙信死す(年六九)○六月秀忠入朝○七月家光征夷大将軍に任ず○八月黒田長政卒す(年五六)○幕府御料一萬石を上る○閏八月暹羅國使來朝○近衛信實關白○十月十八日頭を置く</p> <p>二月晦日改元○三月西班牙船薩摩に來る○日光の日嘗門成る○四月板倉勝重卒す(年八三)○七月藤島正則卒す(年六四)○九月豊太閤政所高臺院焼く(年七六)○十一月島津宗久給て妻子を江戸邸に置く○女御和子中宮となる○十二月朝鮮使を芝の本營寺に館す</p> <p>四月毛利輝元死す(年七三)○八月關所取締の制を定む○十一月信原山嶽す(年五四)○信天海に忍岡に寛永寺を建てしむ○十二月明の禮部書寫を幕府に呈す</p>				
朝鮮				
<p>祖 仁 君海光</p> <p>3 2 1 14 13</p>				
(明) 熹宗(清太祖)				
<p>宗 熹</p> <p>5 4 3 2 啓天</p> <p>三月清兵瀋陽を取る○袁繼泰張設等之に死す○五月太監魏忠賢罰を賜て王女を殺す○六月魏忠賢に遼東を略せしむ○九月四川の奢崇明反す</p> <p>正月清兵西堡平を取り熊延碩等走りて關に入る○二月貴州の安邦彦反す○三月内撫を罷く○四月紅丸進上の罪を論ず○五月山東白蓮賊亂を作す○九月弟由檢を信王とす</p> <p>正月順慶鎮朱國前等職務を預る○荷蘭人澎湖島に據る○五月奢崇明を殺す○十月越南星入關す○十二月魏忠賢東廠を掲奮す</p> <p>正月何宗彦卒す○六月楊福臨魏忠賢の大罪を劾す○七月萬福庵段松卒す○朝鮮の李適反し國王走る</p> <p>三月清太祖都を瀋陽に建つ○六月清南軍等進せらる○八月天下の書院を毀つ○熊延碩段松卒○十二月東林黨人の姓名を天下に榜示す○是年景教流行研習會</p>				
清				
<p>1625 1624 1623 1622 1621</p> <p>一六二五</p> <p>三十年戦争第二期デンマルク戦役(一六二九)○デンマルク王クリスチヤン四世、ドイツの新教徒を助けて侵寇す○英王チャールズ一世第一議會を解散す</p> <p>新教同盟の解散○イスパニヤ、ポルトガルと再び開戦○ヴェーリヤ、植民地代議政治を取る○編花朝作法ヴェーリヤに輸入○フランス王ルイ十三世とユグノーとの戦(一六二三)</p> <p>藩政同盟の將マリーのウニバンに於ける勝利○オランダ西印度會社、新ネーデルラントを領す○ヴェーリヤに於けるインド人の虐殺</p> <p>パワアヤ公マダシリヤン、ポルトガル艦隊となる○オランダ人アルバニーにオランダ城を築く○オランダ人ベルシャと通商條約を結ぶ○オランダ人の虐殺、オランダ人、英日蘭の三國人を捕へて殺戮す</p> <p>リヌルー、佛國主相となる○英人南洋より逐はる○オランダ人の臺灣占領(一六六二)○ロンドン會社解散○ヴェーリヤ、英王の直轄となる</p>				

三二八五、(元和・寛永)後水尾(百七代)  
秀忠・家光

尾水後				
2280	2279	2278	2277	2276
6 庚申	5 未己	4 午戊	3 巳丁	2 辰丙
忠秀(代二)				
<p>三月家康に正一位神階宣下、翌月日光山に改葬す○八月廿六日徳陽成上皇崩す壽四十六○十二月野野原勘十郎の番工となる○是年東海道三度飛脚を定む</p> <p>正月大奥法度を定む○二月向井將監(忠勝)に相州三輪造船検査を命ず○八月平戸及長崎貿易の制を定む○豊家野野原信俊(年四八)其子守信尚信安省三人領治橋本茂町中橋の各野野原を稱す○是年釜山日本館成る</p> <p>六月福島正則除封せらる○七月關白二條昭實死す(年六四)○頼宣紀伊に封せらる○島津義弘卒す(年八五)○九月藤原操死す(年五九)○九條忠房關白、金地院崇徳僧正となる○十月田村流魂術の祖田村長澄歿す○十二月人身賣買及欠格を禁ず</p> <p>二月磐須賀至鎮卒す(年三五)○六月秀忠女和子女御となる○八月田中忠政卒し後嗣なく除封、支倉常長歸朝す○閏十二月京都所司代板倉勝重老し其子重安代る○當時暹羅呂宋等に日本町あり</p>				
朝鮮				
<p>君海光</p> <p>12 11 10 9 8</p>				
(明) 神宗(光宗清太祖)				
<p>宗 神</p> <p>昌泰 47 46 45 44</p> <p>正月清太祖葉赫部を討つ○三月楊麟等敗績す(魏國語の載)○六月楊麟に遼東經略を命ず○此頃清の疆土東は海に臨み西は遼東に北は嫩烏喇江に南は朝鮮境に抵る</p> <p>正月清太祖朝鮮に入る○七月帝昶す○九月光宗李可灼の紅丸を服し俄に殞す○福妃選待を他官に移らしむ○熹宗即位す○十月袁應泰に遼東經略を命ず</p> <p>四月清太祖無頼を取る○閏四月楊麟をして遼東を經略せしむ○九月天下の田賦を加ふ○十二月河套部長猛克什力來降す</p> <p>七月吳道南罷む○是年天下大に饑う○朝鮮の黃慎卒す</p> <p>正月努兒哈赤皇帝太祖を稱し天命と總元す○六月河套道都尉綏に遷す○七月山東盜賊大に起る○八月太子出關請學す</p>				
清				
<p>1620 1619 1618 1617 1616</p> <p>一六二〇</p> <p>三十年戦争(一六四八)、第一期ホーヤ戦役(一六二三)○アロンヤ公國アランデンクと合併○ヴェーリヤ、ホルローリーの裁判</p> <p>マヤス死し、フルテナド二世帝位に登る○ワラルト選擧侯フレデリク五世ホーヤ王となる○ヴェーリヤ、植民地代議政治(北米英國領土)の最初の代議院(北米英國領土)に輸入○オランダ人パワアヤ市を立て總督府を置く</p> <p>白山の戦、フルテナド二世帝位同盟の軍を率ゐてホーヤ王フレデリク五世を破る○英國哲學者ベーコン(一五六一-一六二六)其著「ノイアム・オルガナム」を發表す○十二月清教徒北米アリスに居住す</p> <p>リヌルー、佛國國務大臣となる○イギリスの戯曲作者ルイス・ド・カステル(一五六四生)○此頃英國生理學者ハートウィー(一五七八-一六五七)血液循環の法を發見す</p> <p>ストルボバの和議、ロシア、スウェーデンと和す、カレリヤ、イングリヤをスウェーデンに割く</p>				

三三九五、〔寛永〕明正〔百八代〕〔家光〕	正 明				
	2295	2294	2293	2292	2291
	12 亥 乙	11 戌 甲	10 酉 癸	9 申 壬	8 未 辛
	光 家 (代三)				
	<p>四月織物の制を定む尾張直地織を幕府に獻ず○九月加藤嘉明卒(年六九)○閏十月豐後守竹中重門卒(年六九)○閏十月純殺さる○是年安宅丸を送る</p> <p>正月委忠亮(年五四)家光諸大名を試みる○六月加藤忠廣の封を没す○九月野野長辰卒(年四七)駿河忠長の封を没す○十二月始て大目付を置く○是年道春聖堂を忍岡に建つ</p> <p>正月巡撫使分國を定む、金地院崇徳(年六五)佐竹義宣卒(年六〇)○二月軍役の制を定め外國往來條例を頒つ○三月始て若年寄を置く○七月將軍忍岡孔廟に謁す○九月堀尾忠晴卒後除封</p> <p>四月左衛門五郎歿す○五月耶蘇教及奉書船以外渡禁止の高札を長崎に建つ○閏七月院の御料二萬石に増し奉る○八月譜代大名の妻子を江戸に置かしむ○十一月伊賀越復讐○是年長崎出島を築く</p> <p>四月家光朝鮮人馬術を觀る○五月石川丈山歿(年九〇)○六月勤王の制を定む○八月京野山樂歿(年七七)○九月耶蘇教徒掃蕩○十月二條康道攝政、茶人神谷宗猛歿(年八五)○十一月始て寺社奉行を置く</p>				
祖 仁					
13	12	11	10	9	
宗 毅					
8	7	6	5	4	
<p>三月賊神一騎等降を請ひ還て復反す○六月李自成亂をなす○八月清兵大凌城を圍む○閏十一月孔有徳反す</p> <p>正月清始て疆を造る○五月鄭以偉徐光啓並に機務を預る○八月朱大典登萊賊を討す○九月流賊山西州縣を陷る</p> <p>正月曆文詔山西の賊を破る○二月山東の賊平ぐ○五月孔有徳耿仲明清に降る○七月清兵旗順を取る○十月徐光啓卒す</p> <p>正月尚可喜清に降る○四月山西陝西饑つ○六月陳奇瑜賊を率捕映に圍む○七月清兵宣府に至る○是年李自成陳州を陷る</p> <p>正月洪承疇に覆關を出て賊を討たしむ○四月賊張獻忠平涼等を犯す○六月賈文詔歿す○九月李自成張獻忠と合す○是年董其昌卒す</p>					
清					
9	8	7	6	5	
1635	1634	1633	1632	1631	
<p>九月アライチンフルド(或はライチンビ)の戰、グスターフ・アドルフ、ドイツの將アライを破る○フランス皇太后マリー・リザリーと爭ひ幽せられ尋て國外に遁る</p> <p>四月アライ、グスターフとラインに戦ひ重傷を負ひて死す(七十三歳)○同月アライの死後、グスターフの弟、オットー・フォン・ボレンスタインがラインに即位す○王女クリスチーナ、スウェーデン王位に登る</p> <p>ハイルブロン同盟、スウェーデンとドイツ新教國と同盟す○英人ベンガル海岸に植民す○伊國天文學者ガリレオガリレオ</p> <p>二月十五日ワレンスタイン暗殺せらる○九月ホルン川の戰、ドイツ帝軍、スウェーデン軍及びプロシヤ新教軍を撃滅す○十月アライの死後、オットー・ボレンスタインがラインに即位す○英人コネチカウトに植民す(一六三五)</p> <p>三十年戰爭第四期スウェーデン、フランス、プロシヤ、オランダ、デンマーク、ポランド、プロシヤ、オーストリア、イタリヤに對し積極的行動に出づ</p>					
一六三五					

三三九〇、〔寛永〕後水尾〔百七代〕明正〔百八代〕家光	尾 水 後				
	2290	2289	2288	2287	2286
	7 午 庚	6 巳 己	5 辰 戊	4 卯 丁	3 寅 丙
	光 家 (代三)				
	<p>三月幕府仙洞及大坂城造營の規則を定む○五月重て天主教を禁ず○八月然田神宮領を定む○九月鳥居忠政卒(年六三)○此頃濱田彌兵衛臺灣に至り蘭人を懲らす</p> <p>三月始て辻番を設く○七月信濃藩等を流に定む○八月一條兼通關白○九月武家法度改定○十月山田長政通關白に託し方物を獻じ通關朱印を請ふ、春日局天顔を拜す○十一月八日天皇讓位關白兼退位○是年路傍の令を發す</p> <p>二月日蓮宗兩派の訴訟判決○四月不受不施僧日蓮等を流す○田代信隆(年七三)板倉重政呂宋征伐の意あり○九月十二日明正天皇即位、中院通村禰らる○十月福堂真虎卒(年七五)○十二月道春弘文院を建つ○是年ヤブ教洋書輸入禁止</p> <p>正月補生忠輝卒(年二五)除封、奴婢の制を定む○七月僧侶出家の制を定む○八月東捕毒人互市を求む○九月和蘭王書を呈す○十一月高(臺灣)人引見、酒井忠利卒(年六九)○是年藤田長助通關に赴き問語を傳ふ、津田又左衛門佛像を齎らし還羅より歸る</p> <p>七月將軍上洛、大坂城定番の制を定む○九月天皇二條城に行幸○十一月反物の制を定む○是年高砂徳兵衛東印度に至り貿易す、山田長政鐵砲圖を渡間社に獻ず、長崎奉行水野守信等跡繪を案出す</p>				
祖 仁					
8	7	6	5	4	
(宗思又帝烈莊) 宗 毅 宗 熹					
3	2	禎 崇	7	6	
<p>正月三朝要典を作る○二月清兵寧遠を圍む、袁崇煥西洋互砲を發して圍を解く○七月清太祖顯祖聖に殯す○九月清太宗嗣位す</p> <p>正月清兵朝鮮を伐つ○五月清兵錦州を圍む、登州を解く○八月帝祖す、僧王由檢立つ○十一月魏忠賢等伏誅す○十二月魏忠賢等機務を預る</p> <p>正月宣臣の禁門を出づるを停む○五月三朝要典を竣つ○九月清兵察哈爾圖を襲つ○十二月流賊大に起る</p> <p>三月楊鶴をして流賊を捕へしむ○五月西洋人羅華若(羅代)推歩せしむ(羅代の死後、羅華若の死後、洋船は一月清兵大舉入寇す)</p> <p>二月慈儀を皇太子とす○六月流賊府谷を陷る、温仁仁吳宗遠機務を預る○七月袁崇煥を磔す○十一月田賦を増す</p>					
清					
4	3	2	太宗 天 惠	11	
1630	1629	1628	1627	1626	
<p>イギリス王第三國會を解散す○コグネーの戰終る○レリ、佛國の宰相となる○フランス王二世ルイ十四世に於て、フランス王二世ルイ十四世と和す○宗教復舊令布告○英人ケベックを略す</p> <p>三十年戰爭第三期スウェーデン戰役(一六三五)、七月スウェーデン王グスターフ・アドルフ新教徒救護のためドイツに侵入す○九月フランス王ルイ十四世がプロシヤ市建設○ドイツの天文學者ケプラー死す(一五七一生)</p> <p>チールス一世第二國會を解散す○佛王ルイ十三世コグネーと和す○ワレンスタイン、フランス王二世の爲に兵を起し、アサワにマンスフルドを敗る○ドイツ帝軍の將アライ、アマンルク王をルッセルに敗る</p> <p>ユグノー英國の援助を請り佛王と戦ふ○ラロッシュ(新教徒の聖城)圍まる、パキカン駐軍せしが克たす○ワレンスタイン、アマンルクを侵す</p> <p>チールス一世議會の權利討論を許可す○バレンガ暗殺○ラロッシュを圍む○ワレンスタイン、ストラスブルグを圍みて克たす</p>					
一六三〇					

1305 (寛永・正保・明正(百八代)後光明 (百九代)家光)	明 光 後		正 明		
	2305	2304	2303	2302	2301
	2 百乙	保正 申甲	20 未癸	19 午壬	18 巳辛
	光 家 (代三)				
	七月刀削の寸法を定む。豆腐海軍成斌殿の地を譲す。十一月日光廟に東照宮の號下賜。十二月細川忠尚卒す(年八二)。吉原娼家悉く焼く。○是年清僧徳然長崎に來り飛法を傳ふ。池田光政熊澤善山を用ふ。	六月琉球使登城。七月大老土井利勝卒す(年七二)。○十月評定所會議式日を定む。○十二月廿三日改元。○是年長崎船長崎を侵す之を撃退す。	二月私塾講義。○五月葡人及宗徒筑前に來る之を捕ふ。○八月諸大名は引見次第を定む。○九月春日局歿す。○寛永系圖成る。○十月僧天海歿す(年百八)。○此月三日天皇即位。同廿一日後光明天皇即位。○是月吉田安實は攝津に粟崎道喜は呂宋に各醫を學ぶ。	○四月朝鮮國書を贈り貿易船を増す。○五月重て那羅致徒檢査。○六月皇居成り。○移徙。○九月譜代大名交代の制を改む。○十一月立花宗茂卒す(年七四)。○是年春夏の間天下下に飢ゆ。	正月江戸大火。○二月太田資宗林羅山等に寛永系圖を編ましむ。平戸蘭人を長崎出島に遷す。○四月蘭人將軍に見ゆ國禁衛守を論ず。○八月風流踏等を禁ず。
朝鮮	23	22	21	20	19
	王福	宗 毅			
(明)毅宗、福王(清太宗、世祖)	光弘	17*	16	15	14
	四月清兵揚州を陥る。史可法戦死す。○五月清兵福王を擒す。○閏六月黃周道等唐王を福州に奉ず。○八月清國編髮嚴官を令す。○九月李自成	正月李自成西安に僭號す。○三月李自成京師を陥る。帝自經して殞す。○四月清兵李自成一を山海關に破る。帝とす。○五月史可法等福王由棧を奉じて	正月李自成承天を陥る。○八月清太宗殞す。張獻忠湖南諸郡を陥る。○十月李自成西安延安諸郡を陥る。○是年露國の探検隊黒龍江上流に達す。	二月洪承疇前に降る。○九月李自成開封城を陥る。○是年清漢軍を分ちて更に正鐘の黃白紅藍の八旗とす。○二月李自成河南を陥れ福王を擒す。○十一月李自成南陽を陥れ唐王李聿錫を殺す。○是年朝鮮光海君卒す。	正月李自成河南を陥れ福王常向を殺す。○二月張獻忠襄陽を陥れ襄王福王を殺す。○十一月李自成南陽を陥れ唐王李聿錫を殺す。○是年朝鮮光海君卒す。
清	2	順治 世祖	8	7	6
1645	1644	1643	1642	1641	
一六四五	佛州兩軍フライブルクに戦ふ。○マルス世廟々(五歲)マザレン等相となす。○ワッパレンに於て佛軍帝軍に敗る。○オヤルコフ黒龍江探險の爲め遠征す。○イタリヤ人トリチアリ晴雨計を發明す。	佛州兩軍フライブルクに戦ふ。○マルス世廟々(五歲)マザレン等相となす。○ワッパレンに於て佛軍帝軍に敗る。○オヤルコフ黒龍江探險の爲め遠征す。○イタリヤ人トリチアリ晴雨計を發明す。	英國の内亂(一六四六)。チャールズ一世殞命。○一六四六。チャールズ一世殞命。○一六四六。チャールズ一世殞命。○一六四六。チャールズ一世殞命。	英國の内亂(一六四六)。チャールズ一世殞命。○一六四六。チャールズ一世殞命。○一六四六。チャールズ一世殞命。○一六四六。チャールズ一世殞命。	イギリスの短期議會(四月・五月)。○スコットランド人イギリスに侵入。○十一月イギリスの長期議會(一六六〇)。○ポルトガル、イスパニヤより獨立す。

\* 史家或は崇禎十七年毅宗の殞を以て明の滅亡となすものあり

1300 (寛永)明正(百八代)家光	正 明				
	2300	2299	2298	2297	2296
	17 辰庚	16 卯己	15 寅戊	14 丑丁	13 子丙
	光 家 (代三)				
	正月板倉重昌島原に戦死す。○二月島原の亂平ぐ。島津家久卒す(年六三)。○五月信綱亂旋す。○九月耶麻致殿歿す。○十月樂園を品川牛込に移し、始て大老を置く。○是年僧澤庵東海寺を開く。	五月蘭人巨砲を獻ず。○七月外國貿易を禁じ蘭人と支那人とのみ通商を許す。○八月江戸城大火。○九月豊人松花堂歿す。○是年江戸築地海濱を濱地とす。	正月檢約令を重む。○四月江戸城修築成る。○六月旗本六十一人を斬る。○十月紅葉山下寶藏移成す。○前右大臣三條西實経歿す(年六六)。○寛永年間九谷焼酎所創始る。	正月阿茶局薨す(年八三)。○二月豊人本阿彌光悅歿す(年八一)。○五月松浦隆信卒す(年四七)。○七月本多政武卒し家絶ゆ。○十月五人組制を嚴にす。島原の亂起る。○十一月倉重昌を島原に遣し、磔て松平信綱を遣す。○十二月島津重豪の古城址に據る。	正月江戸城惣領造營を詰候に課す。○三月酒井忠世卒す(年六五)。○四月日光正遷宮を始む。○五月福船の外航を禁ず。伊達政宗卒す(年七二)。○南蠻人の風子を攝津に放つ。○六月始て寛永錢を鑄る。○八月幕府關令の制定。○十二月朝鮮使節を引見す。
朝鮮	18	17	16	15	14
	祖 仁				
	13	12	11	10	9
(明)毅宗(清太宗)	二月詔崇徳大に張獻忠を破る。○七月張獻忠四州諸州を陥る。○九月李自成走りて河南に入る。○ローヤンヤウワンに至る。	三月清兵青山口に出づ。○五月張獻忠寧遠城に反す。○十月欽定保民四事。全書成る。○是年清漢軍を分ちて饒黃鎮白鎮紅鎮藍四旗とす。	四月張獻忠歸り降る。○七月清國六部理藩院都察院八衙門の官制を定む。○九月清兵入塞。○十月十月月孫承宗歿す。○十一月李自成を破る。○十一月孫承宗歿す。	正月張獻忠等の賊安慶を犯す。○十月賊李自成四川を犯す。○是年清漢軍を分ちて左右旗となす。○朝鮮清に降り封冊を受く。	四月清太宗國を清と號す。○七月清兵盛に入る。○張獻忠歸り降る。○八月清王軍饒勳王兵を起す。○是年清太宗朝鮮を親征す。
清	5	4	3	2	德崇
1640	1639	1638	1637	1636	
一六四〇	スコットランド人英國國教の禮拜式を容る。○スコットランド人イギリスに侵入。○スコットランド人イギリスに侵入。○スコットランド人イギリスに侵入。○スコットランド人イギリスに侵入。	スコットランド人英國國教の禮拜式を容る。○スコットランド人イギリスに侵入。○スコットランド人イギリスに侵入。○スコットランド人イギリスに侵入。○スコットランド人イギリスに侵入。	スコットランド人英國國教の禮拜式を容る。○スコットランド人イギリスに侵入。○スコットランド人イギリスに侵入。○スコットランド人イギリスに侵入。○スコットランド人イギリスに侵入。	スコットランド人英國國教の禮拜式を容る。○スコットランド人イギリスに侵入。○スコットランド人イギリスに侵入。○スコットランド人イギリスに侵入。○スコットランド人イギリスに侵入。	七月イスパニヤ軍及び帝軍佛國に侵入す。○十月四日ワットストンの戦。○スウェーデン軍軍を敗る。○ニコルムデン船隻納附を拒み、高審法院に審問せらる。(一六三八年)。

二二一五、 後西院(百十代)(家綱)	院西後				
	2315	2314	2313	2312	2311
	曆明未乙	3 午甲	2 巳辰	應承壬	4 卯辛
	綱家(代四)				
	正月市井兒童の紙幣禁止○二月戸田氏鑑卒す(年七九)○四月十三日改元○八月新編費の制を定む○十月轉使引見○是年醫板坂ト龍殿す。	四月内裏差役を諸侯に課す○六月玉川上水竣工す○八月明僧元來る○九月廿日天皇崩す○十一月廿八日後西院天皇踐許す。	○正月玉川上水工事を許し金七千五百兩を賜ふ○六月内裏差役を諸侯に課す○八月西院天皇崩す○九月廿日天皇踐許す○十一月廿八日後西院天皇踐許す。	○正月毛利秀就卒す(年五七)○四月將軍家光薨す(年四八)○堀田正盛等殉死す○大奥女三千七百餘人を放つ○五月後水尾上皇薨す○七月將軍宣下、由井正雪反す○八月將軍宣下の禮始て江戸に舉行○九月守禮法親王武藏下向(給王寺宮祖)○十二月近衛尚綱開白。	○正月歌麿伎者を追捕す○五月賈賣して耶蘇宗徒搜捕す○九月浪人別木庄左衛門等亂を圍りて殺さる○廿八日改元○十月浪人改を令す。
	宗孝				
朝鮮	6	5	4	3	2
	王明永				
(明)永明王(清世祖)	9	8	7	6	5
	三月清兵大に李定國を破る、兩廣地方清に降る○六月孫可望敗る○是年清兵鄭成功を撃つ、學者汪琬進士となる。	三月孫可望吳真誠等を殺す○十月清兵李定國を破る、清復鄭成功を召す、遂に從はず○是年學者侯方域卒す○朝鮮清の爲に鬻人を撃つ。	正月清世祖通鑑を閲す○三月清兵孫可望を破る○十二月孫可望等湖廣を蹂躪す○是年朝鮮始て時憲曆を行ふ。	二月孫可望永明王を安陸所に劫運す○七月李定國桂林を降る○十月孫可望成都に據る○十一月李定國清兵に敗らる○是年朝鮮の金尙憲卒す。	二月清兵肇慶梧州等に克つ○八月清兵舟山に克つ、魯王海に入る○十二月永明王廣南に奔る。
	清				
	12	11	10	9	8
	一六五五				
	1655	1654	1653	1652	1651
	イギリス、イスパニヤと戦ひ、マイカ島を取る○チャールズ十世ホーランドを蹂躪す○ロシア始て支那に使節を遣はす。	イギリスとオランダの和成る○スウェーデン女王クリスタナ退位、チャールズ十世嗣ぐ○ロシア、ホーランドと戦ふ。	ポトランド島沖に於てアレクシ、トロンパを敗る○マゼン佛國に歸る○英國海軍和蘭海岸に於て和蘭海軍を敗る、トロンパ戦死○クロンウルフ、インランドリス、コトランド、リイルランドの共和政治の保護者(アムステルダム)となる。	マゼン佛國を去る、コンデ公等放免○オースターの戦、ジョン・ルイス二世を敗る、チャールズ二世大陸に遁る○十月英國の航海條例發布。	フィリスドの反亂平定○七月イギリスオランダ戦争起る(一六五四)○九月英將アレックの勝利○十一月蘭將トロンパの勝利。

三三三〇(正保・慶安)後光明(百九代)(家光)	明光後				
	2310	2309	2308	2307	2306
	3 寅庚	2 丑己	安慶子	4 亥丁	3 戌酉
	光家(代三)				
	二月城地の制を定む、雜具の華美を禁ず○三月諸侯の儀令す○九月琉球使登城○十月近衛惟山薨す(年五五)○十二月谷時中稜卒(年五二)○慶安年間相馬燦始る。	四月町奴崎院院長兵衛殺さる○五月尾張義直薨す(年五一)○八月蘭人に大砲を演習せしむ○九月織田信勝卒し除封、農民織物所持を禁ず○十月毛利秀元薨す(年七二)	正月攝政九條道房薨す(年三九)三月一條昭良攝政○七月佛人長崎に來る○八月大砲を本陣野に試む○九月守禮法親王輪王寺門跡となる○十月酒井忠勝卒す(年五四)○十一月寺澤聖高自殺除封○是年伊萬里陶工徳右衛門清人に彩色色法を學ぶ。	正月那波活所薨す(年五四)○二月十五日改元○四月天海に慈眼大師と物益す○八月稻葉紀通自殺除封、中江藤樹卒す(年四二)○十二月武蔵國製作を命ず、町人家當相續の制を定む○是年燈明臺を浦賀及三輪に設け。	四月日光例幣使を創め伊勢例幣使再興○五月柳生宗矩歿す(年七六)○十月鄭芝龍救護の請を許さず○十二月僧澤庵寂す(年七三)○是年切支丹邸を作る、此頃茶道道州流小堀政一朝日燦を創む。
	宗孝				
朝鮮	1	27	26	25	24
	王明永				
(明)唐王、永明王(清世祖)	4	3	2	曆永	武隆
	正月永明王梧州に奔る、清國漢文三國演義を頒行す○九月鄭成功福州に入る○十一月清兵桂林に克つ、羅式桓等殺す。	正月何騰蛟戦死す○五月清國孔有徳を定南王に取仲明を鎮南王に尙書を平南王に改封す○八月清兵湖南を定む○九月魯王舟山に遁る。	正月魯王海島に遁る○二月清兵豐州に至り永明王南寧に奔る○三月魯王連に諸州縣を復す○八月永明王肇慶に至る。	正月清兵肇慶に克ち永明王(桂王)桂林に奔る○三月清兵長沙を取る○十一月清兵遂に梧州に至る。	八月清兵汀州に至り唐王を執ふ、鄭芝龍漢に降る、其子成功從はず○十一月丁魁楚桂王由榔を肇慶に奉ず○十二月張獻忠清兵に殺さる。
	清				
	7	6	5	4	3
	一六五〇				
	1650	1649	1648	1647	1646
	一月三十日スコットランド人チャールズ一世をイギリス議會に送る、囚監せらる○クエーカー派の崩壊、イギリスに宗教改革を始む。	一月イスマニヤ、オランダの獨立を承認す○英國の王黨兵を起す○スコットランド人チャールズ一世の爲に英國に侵入、ロンドンに敗らる○十月二十四日ワットソン、リヤの條約成る、三十年戦争終結○ドイツ帝國、オランダ及スウェーデンの獨立を承認す○ロシア人ペーリリンが海峽を發見す(ア?)	一月三十日チャールズ一世處刑、二月上院及王政を廢す、共和政布告○同月チャールズ一世の子、チャールズ二世エジンバラにて王位布告さる○チャールズ二世と平定す○ハバロフ黒龍江に還征。	コンデ公等マゼンに逮捕監禁さる○チャールズ二世スコットランドに上陸、王位布告○クロンウルフ、ランパーに於てスコットランド軍を敗る○カカルト死す。	五月チャールズ一世スコットランド人に頼る○八月英國内亂終はる。

元 號	院 西 後				
	2325	2324	2323	2322	2321
	5 乙	4 甲	3 癸	2 壬	文寬 丑辛
三三五、 寛文(後西院) 百十代(寛元) 百十一 家綱	綱 家 (代四)				
	三月分銅私造禁止○七月諸人の制を廢す○十二月不受不離僧徒を罰す○秋原員從等に豐國廟再興を許す○是年布帛の長を二丈六尺と定む、徳川光圀封内程三千餘を廢つ。	四月老臣連署の制を定む○永井尚闇本朝編年史編纂總裁となる○九月富田房輔執政○十月弘祖を禁ず○十二月火災の制を定む○是年三都定飛脚を始む。	正月廿六日即位天皇踐祚、關白光平攝政○四月廿七日靈元天皇即位○五月殉死を禁ず○九月時禰師古儒休意歿す○十月朝鮮五島流民を送る○十二月林春齋に弘文院學士號を賜ふ、野中兼山歿す。	三月松平信綱卒す(年六七)○五月小笠原忠貞長崎探題となる、野野原宗景に叙す○七月明月記寫本成る、酒井忠勝卒す(年七六)○十一月内藏成る、金銀相場を令を下す。	正月内藏成る○二月江戸圍を改正す、鑑定家古軍了佐歿す(年八二)○三月關人通商新令を定む○四月廿五日改元○七月徳川頼房薨す(年五八)○八月關所通行女子形の制定。
朝鮮	宗 顯				
	6	5	4	3	2
清 明 聖祖	祖 聖 (清)				
	4	3	2	熙康	15
	二月暹羅國王使を遣し進貢す○三月科場經書成驗の舊制に復す、是月暹東の曾王輝祖等新朝にり據て借號す、六月平ぐ。	三月鄭經臺灣に奔る○七月鹿港をして鄭經を討伐せしむ○八月鄭の賊李來亨を平ぐ○是年詩人鍾謙益卒す。	八月考試に八股文を止め頭場等々に改む○十月耿精忠等廈門を攻め鄭成功の子鄭經等を走らす。	四月永明王薨す○五月鄭成功の弟成賜を廈門に擯す、成功臺灣に卒す○六月李定國死す○十月雲南平定す。	正月清世祖薨す○五月白文選題句を改め克たず○十月鄭芝龍殺さる、鄭成功臺灣に據る○十二月清兵鄭句に至る、國人王を執へて清に獻ず、明は二十世二百九十四年。
一六六五	1665	1664	1663	1662	1661
	ロンドンに疫癘大流行○イギリス、オランダと戦ふ○イスパニヤ王フィリプ四世死し、チャールズ二世嗣ぐ。	セントピートル島の戦、獨帝の將モントックリ、トルコ軍を敗る○英國ニューハンプシャーを占領し、ニューハンプシャーと改稱す○佛國の東印度會社創立。	トルコ、ハンガリーを蹂躪す○コロライラ植民地設け(一六六五)○ロシア、アルパタン城を築く○英人のヤニ海峽の遠征○マルトンの著失樂圍成る。	五月英國統一令の通過、八月鹿行○チャールズ二世、カール王女カザリンと婚す○英國の國教に從はざる僧侶生活に窮す。	マザレン死す、ルイ十四世親政、宰相を置かず、コルマール主相となる○ボトガル、ボンナイを英國に歸與。

院 西 後					
2320	2319	2318	2317	2316	
3 子庚	2 亥己	治萬 戌戊	3 酉丁	2 申丙	
綱 家 (代四)					
六月大坂城天主權門幕等當火○十月堀田正信封事を幕府に呈す○十二月漢草文庫を立つ○是年豊後耶麻敷法を刑にす。	正月京師火○六月耶麻敷令を頒つ、井伊直孝卒す(年七二)○十月長崎町人の新議を編造し外國貿易用となすを許す○八月鹽運司制を令す○十一月内宮成る○十二月江戸兩國編成る○是年明人朱之瑜陳元賀等歸化す。	正月江戸大火(災死男女十萬八千餘)、林道春歿す(年七六)○二月徳川光圀大日本史編纂に着手す○七月伏見宮王女淺宮家綱に降嫁○九月商工業の制を定む。	正月江戸大火(災死男女十萬八千餘)、林道春歿す(年七六)○二月徳川光圀大日本史編纂に着手す○七月伏見宮王女淺宮家綱に降嫁○九月商工業の制を定む。	正月廿三日天皇即位○五月大老酒井忠勝致仕○十月漢草に應鐘座を置く○十二月關東諸國の盜賊を逮捕せしむ。	
朝鮮	宗 顯 孝				
	1	10	9	8	7
清 明 聖祖	宗 明 永				
	14	13	12	11	10
	七月清世祖薨す○鄭成功を征せしむ○九月白文選題句を改め克たず。	二月清兵永昌に克つ、永明王歸句に奔る○三月清兵永昌の碑を立つ○八月鄭成功瓜州江寧等を犯す、八月清兵之を征す。	五月鄭成功平陽瑞安を陥る○十二月清兵雲南に入り永明王永昌に奔る○是年安南の大越廣南の二王和親す、其臥兒帝アウランタセフ即位す。	二月清孔子を尊びて至聖先師孔子神位と改む○十月清僧永覺、鄭經を八月鄭成功臺州府を犯す○十一月孫可望清に降る。	二月李定國永明王を奉じて雲南に奔る○九月清軍丹山を取る。
一六六〇	1660	1659	1658	16 7	1656
	二月スウェーデン、デンマークと和す○七月アムステルダム、英佛聯合軍イスマニヤ軍を敗る○八月スウェーデン、デンマークと和す○九月スウェーデン、デンマークと和す○スウェーデン、デンマークと和す。	五月二十五日リチャード・ロンドンブルグと和す○ビレーの條約、フランス、イスパニヤと和す。	英國の王政復古、チャールズ二世即位○佛王ルイ十四世イスマニヤ王、リチャードの女メアリー・カタレタと婚す○オランダの和約、スウェーデン、デンマーク、フランス、プロシヤ、普魯シヤと和す○オランダ、フランス、プロシヤと和す○オランダ、フランス、プロシヤと和す。	スウェーデン、デンマークと和す○スウェーデン、デンマークと和す○スウェーデン、デンマークと和す。	アランデンブルグ公フレデリック、リチャード、チャールズ一世と同盟す○七月、リチャード、チャールズ一世に於て、チャールズ一世を敗る○オランダ人ホルトホル人よりセイロン島を略取す。

元	靈				
	2335	2334	2333	2332	
	3 卯乙	2 寅甲	寶延 丑癸	12 子壬	
綱	家 (代四)				
	三月鳥銃私藏の申禁○五月阿部忠秋卒す(年七四)市井に乘轡を禁ず○六月代官伊奈忠易無人馬を檢す○十一月京都大火行在災上す。	二月天主教徒嚴禁○五月私に宅地を僧侶に貸すを禁ず○八月京都吉田家無位官社人監束扱の事を定む○十月野野原守信歿す(年七三)。	四月僧徒元強す(年八〇)○五月京都大火内裏炎上、老中板倉重矩卒す(年五七)○六月英船通商を乞ふ許さず○九月廿一日改元○十二月阿部正能老中となる。	二月秋田出警期を定む○三月京坂堺の市人に支那和蘭交易の事を命ず○六月書家大橋長左衛門歿す○十月茶道千家祖宗佐歿す○十二月保科正之卒す(年六二)○是年光園始て彰考館を開く。	正月紀伊頼宣馬子(年七〇)○三月伊達騒動○四月伊達宗義父子を土佐前に配す○五月老中阿部忠秋致仕○六月肥後人陳元寶歿す(年八五)○十二月五味酒白酒煉酒の醸造を禁ず。
朝鮮	宗 肅	宗 顯			
	1	15	14	13	
(清)聖祖	祖 聖				
	14	13	12	11	
	正月秋精忠の兵吳三桂の兵と合し遼州を犯す之を破す○三月蒙古察哈爾反す之を討平す○十一月吳三桂の兵を關山嶺に破る○監護漢州を陥る○是年備者孫奇勳卒す。	三月秋精忠反す○五月鄭經泉州に入り同安を取る○七月黃梧卒す、大軍の進剿を助く。	三月平南王尚可喜老を請ふ之を嘉獎す○七月平西王吳三桂嶺南王耿精忠各叛藩を請ふ、之を嘉す○七月吳三桂雲南に反す。	八月孫可望の孫を降す○十二月諸官等を勦ます○是年朝鮮の宋浚吉卒す。	六月嶺南王耿精忠の子耿精忠に襲撃せしむ○十二月翰林院員を勦ます○是年詩人吳偉業卒す○朝鮮の李景奭卒す。
	1675	1674	1673	1672	
一六七五	五月一六月ドーヴェーの秘密條約英王チャールズ二世とルイ十四世との締結○イスパニヤ英國のシマイカ島の占領を承認す。	一月イギリス、オランダ、スウェーデンの三國同盟して佛國に抗す○五月フリーデンの和約、ルイ十四世三國同盟と和す○イスパニヤ、ポルトガルの獨立を承認す○英王チャールズ二世ボンベイ島を東印度會社に賜ふ。	トルコ、ヴェニスよりカンヂヤを奪取す○アラント捕鯨業を發見す。	ルイ十四世の第二次侵略戦争(一六七八)○ルイ十四世イギリス、スウェーデンと同盟し五月オランダを侵す○六月一十月、オランダ、佛國、プロシヤ、普魯シヤが同盟す○七月オランダ公、リッパム三州オランダの大統領(グロト)となる○佛國東印度會社ボンヂヤを取り取る。	アランデン公フレデリック、グロウ、リッパム、追られて佛國と中立を結ぶ○英國憲法(一六七九)通過す○ホンガリア人オーストリアに背き亂を起す○オランダ人、ニールローグ、ニールシャーシーを占領す○佛國文豪モリエール死す(一六二三)。

元	靈			
	2330	2329	2328	2327
	10 戌庚	9 酉己	8 申戊	7 未丁
綱	家 (代四)			
	三月檢校令を重ぬ、攝政房輔白○四月足利學校落成○八月殉死の嚴禁を重ぬ○十月寺院の新築を禁ず○十二月拜賣買券を守護彦太郎に掛屋検査券を土屋五郎左衛門に各授く。	二月淡川淡利費を諸侯に課す○五月十七歳以下の養子國を許さず、文鏡を頒つ○七月松前藩廣に蝦夷の重を平げしむ○九月雜屋立捕殺す○十二月末次某に明船を模造せしむ、酒井忠直深天儀を獻す○是年池田光政藩校を設く。	六月本朝通商を京都に上る、清商の密賣を禁ず、土佐領書家住吉廣通歿す○八月大阪海濱○是年末次平爾蘭式船を製造して幕府に獻す。	五月伊勢山口祭執行○六月渡船の制を定む○十月山鹿素行を赤穂に配す、樂商の制を定む○寛文年間甲斐郡内甲斐細編を始む。
朝鮮	宗 顯			
	11	10	9	8
(清)聖祖	祖 聖			
	9	8	7	6
	二月刑部に論じて罪囚を詳驗せしむ。	三月西洋人南懷仁を欽天監監調とす○帝太學に入学○八月輔臣公電尋罷めらる○八月天主教を嚴禁す○十一月乾清宮成る。	二月鄭經を招降す○七月會試に復八股文を用ふ○八月官吏に棍傘を用ひしむ。	正月王貝勒等の執事人役の衣服を藍色に定む○五月慶慶の業を勦む○七月大臣蘇爾哈哈殺さる。
	1670	1669	1668	1667
一六七〇	フランス、イギリスに宣戦す○九月二日ロンドンの大火○スコットランドに宗教の亂起りしが鎮定せらる○ニールトン、光學及び宇宙重力に關して發見す(一六六六)。	ルイ十四世の第一次侵略戦争(一六六八)フランス、イスパニヤ領ネーデルラントを侵す○アレクサンドリア、オランダ、フランス及びデンマルク相和す○ニールトンの失樂園出版せらる。	五月一六月ドーヴェーの秘密條約英王チャールズ二世とルイ十四世との締結○イスパニヤ英國のシマイカ島の占領を承認す。	トルコ、ヴェニスよりカンヂヤを奪取す○アラント捕鯨業を發見す。

二三四五、(天和・貞享)靈元(百十一代)(綱吉)	元 靈				
	2345	2344	2343	2342	2341
	2 丑乙	享貞 子甲	3 亥癸	2 戌壬	和天 酉辛
	吉 綱 (代五)				
	二月廿二日西院上皇崩す壽四十九○三月 住吉具慶齋願となる○六月下河邊長流渡す (年六三)○七月福州門の商船始て長崎に 来る○九月野野安信(年七〇)山鹿藩行歿す (年六四)	正月僧木庵齋(年七四)○二月廿一日改元、 服忌令を頒つ○四月書翰出版の禁令を頒つ ○八月若年寄船運正休大老堀田正俊を判す ○十一月安井算哲新曆を獻す	二月朝仁親王を皇太子とす○三月内宮正遷 宮○四月宗氏の館を朝鮮草津に建つ○六月 河村瑞軒に淀河水路巡察を命ず	二月開白房輔解し一後冬経代る○四月琉球 王子引見、朱辨水歿す(年八三)○五月池田 光政卒す(年七四)○七月工人天下一の字使 用を禁ず、木下順庵を召す○九月山崎闇齋 歿す(年六五)安宅九を襲つ○天和年間京都 戒治職を襲す	二月護國寺を建てしむ○三月阿部正武老中 となる○五月酒井忠清卒す(年五八)○六月 將軍自ら越後騒動裁決○九月廿九日改元○ 十二月堀田正俊大老となる、伊勢内宮炎上
朝鮮	11	10	9	8	7
	宗 肅				
	祖 聖				
(清)聖祖	24	23	22	21	20
	五月公彭春等雅克薩城を收復す○ 六月帝葬外を巡幸す○七月薩布素 等を以て墨爾根黑龍江地方に備へ しむ○是年佛兵遼東に入る	正月臺灣澎湖二島に守兵を置く○ 五月薩布素等雅克薩城を圍む○七月 を伐つ○六月遼東薩布素進軍す○是 年朝鮮の金鑄買入す	六月薩布素等を伐つ、劉國軒遣走 す○周六月詩人施潤章卒す○七月 鄭克塽降り臺灣清に歸す○十月十 三経註疏二十一史刻板を修補せし む	正月故の秋精忠諫に伏す、賊徒降 將皆處分せらる○五月帝憤憤動の 三大字を誓して各督撫に頒つ○九 月太宗文皇帝寢殿修成る	正月鄭經卒す、其黨の子克塽を 擁す○七月鄭經澎湖島臺灣を取 ○十月大軍雲南を圍む、吳世璠自 殺し餘黨悉く平ぐ(三藩の亂鎮定) ○是年學者顧炎武卒す
一六八五	1685	1684	1683	1682	1681
	英王チャールズ二世死し、ジェームズ二世嗣ぐ ○アイルランド及びケルメイ公亂を起し、 殺さる○十月二十日セント勅令の發 止ルイ十四世新教徒を迫害す○英國 海軍行政の改革(一六八八)	三月神聖同盟成立、トルコに對しオース トリア、ポーランド及びヴェニス同盟す○ルイ 十四世ルクセンブルグの主となる○ルイ十 ニツグの發明を發表す○佛蘭詩人 コルネイユ死す(一六〇六生)○シマの使 節フランスに着す	七月トルコ人ウィーンを攻圍す○九月ホ ーランド王、ローレン公、ヤクソン公及びバ リヤ公聯合してウィーンを救ひ、トルコ軍 を敗る○佛蘭主相コルネイユ死す(一六 一九生)○フランス人再びアルジェーを砲 撃す	ロシア帝イワン三世、ベートル大帝(一六七 二生)相並んで即位、帝師ツツヤ攝政○ オーストリア、トルコと戦ふ○フランス、アル ジェーを砲撃す○ベンルウ、ニヤ植民地の 設置	ルイ十四世スタラスブルグを占領す○ロシア、 トルコと和す

二三四〇、(延寶)靈元(百十一代)(家綱)	元 靈				
	2340	2339	2338	2337	2336
	8 申庚	7 未己	6 午戊	5 己丁	4 辰丙
	吉綱(代五) 綱 家 (代四)				
	三月佐渡頼徳天皇陵の邊地奉獻○四月元園 一代要記扶桑拾遺等を獻す○五月林春勝 歿す(年六二)○綱吉將軍後、家綱(年四 〇)○七月將軍宣下○八月十九日後水尾法 皇崩す壽八十五○十二月大老酒井忠清罷免	四月老中土屋敷直卒す(年七二)○六月老中 久世廣之卒す(年七)○七月土井利房堀田 正俊老中となる○八月石清水放生會を復す ○十月越後騒動裁決(將軍綱吉の時再訴興 る)	六月東福門院和子崩す(年七二)○八月江戸 大慶、茶店の制を定む○九月甲府綱軍(年七 二)○十月御定家古案了榮歿す(年七 二)○十二月天主教甲禁○是年僧心越歸化 す	五月堀田正信を幕府實綱通に預く○七月大 久保忠朝老中となる○八月市井の隙を禁ず ○十一月左大臣九條兼時(年三七)	五月長崎代官末次平讓父子密通の爲隠岐に 流さる○八月家綱正室淺宮(年二七)○ 九月増上寺火く、那羅敬徳を判す○十月老 中阿部正能罷免○十二月京都大火
朝鮮	6	5	4	3	2
	宗 肅				
	祖 聖				
(清)聖祖	19	18	17	16	15
	二月將高定巴都經を破る、康熙 王劉國軒を厦門に走らす○八月南 之經に死を賜ふ○是年劉國軒卒す○ 朝鮮大顯慶を行ふ	正月劉國軒長春を犯す○三月博學 鴻詞を試む○六月廣西湖南平定す ○九月鎮制を定む	二月鄭經泉州を犯す○閏二月電報 丹兵を興す(鄭經推暹羅部天山南 路を併す)○八月吳三桂死す○九 月漢兵劉國軒を走らし泉州の圍解 く○是年毛奇齡等に明史を分纂せ しむ	二月鄭經を破り福建を平ぐ○五月 向之經廣東を以て降る○六月向可 喜軍中に死し、之信平南王を襲ぐ ○十月始めて南書房を設け張英萬士 奇を顧問とす	二月尚可喜の子之信反す○十月康 親王延平に抵る、耿繼英耿精忠共 に降り福建路を定る○十一月鄭經 の將福州に迫る○十二月向之信降 を乞ふ
一六八〇	1680	1679	1678	1677	1676
	マダガスカルの條約(ロシア、トルコ間)○英 國印度會社支那と貿易を始む	スコットランドの誓約軍兵を罷げモンマス公 に獻せらる○英國の人身保護律(Habeas Corpus)の通過○オランダの和約、佛蘭 西帝國と和す○オランダ、ルマン、シラ の和約、フランス、スウェーデンと和す ○ルイ十四世の和約、フランス、スウェーデンと 和す	ナイメーヘンの和約、フランス、オランダ、イスパ ニヤの二國と和す○テケリ、オーストリア に對し國民運動の首領となる	四月オランダのオランダ公ウリヤム、フランス ルのカサセルに於て佛軍に敗らる○オレン ジ公ウリヤム、ロータ公(後の英王ジョージス 二世)の女メアリーと婚す○ロシア、トルコと 戦ふ○オランダの哲學者スピノザ死す(一 六三二生)	デンマルク、オランダ聯合艦隊エーランド島に 於てスウェーデン艦隊を敗る○フランス海 軍オランダ海軍をシリー海岸に敗る

一三五五、〔元祿〕東山(百十二代)〔綱吉〕	山 東				
	2355	2354	2353	2352	2351
	8 亥乙	7 戌甲	6 酉癸	5 申壬	4 未辛
	吉 綱 (代五)				
<p>二月江戸大火○五月大久保四谷に大小屋を置く○六月キリシタン本人及顯族を定む○八月金貨を改鑄せしむ○九月知足院を遷移院と改め陸光を大僧正とす○十月途上製糖禁止○十一月江戸の犬を中野犬小屋に畜ふ。</p> <p>正月林信篤に東襲せしめ大學頭に就す○四月日蓮宗の妙法蓮華堂を創立○六月僧堂に開教大僧號を賜ふ○八月僧正に叙す○八月熊澤蕃山歿す(年七三)○九月聖人土佐光起歿す(年七五)。</p> <p>七月雅樂家上近衛卒す(年七二)○八月瀧川光顯楠木正成の碑を瀧川に建つ○九月高野山斷絶滅亡○十二月京町大火。</p> <p>二月綱吉諸大名を召し中庸を講ず○八月大成殿釋奠・并原西鶴歿す(年五二)・江戸新大橋を架す○十一月諸大名宮本等の遊女町に遊ぶを戒む○十二月木下順庵東襲す。</p> <p>正月聖人狩野翁信歿す(年七〇)○二月卑服の著作出版禁止○六月誠齋杉山和一歿す(年八二)○十月松尾芭蕉歿す(年五三)○十一月吉川惟足歿す(年七九)・柳澤保明老中格となる。</p>					
朝鮮	宗 廟				
	21	20	19	18	17
(清)聖祖	宗 聖				
	34	33	32	31	30
<p>正月張家口大同に兵を遣し噶爾丹の侵寇に備ふ○四月帝遊外蒙古等を巡察す。</p> <p>正月各州縣に米穀を積貯せしむ○五月噶爾丹使を遣し歸化城に至る○是年火器營を立つ・又朝鮮國王烏銃三千桿を進む謂して其貢を免す。</p> <p>十月噶爾丹入寇す○是年儒者黃宗儀卒す。</p> <p>是年噶爾丹と會盟を約す報ぜず、噶爾丹喀爾喀を侵掠し且使臣を殺す、爲使復來る。</p> <p>十月噶爾丹使來聘す。</p>					
一六九五	1695	1694	1693	1692	1691
	<p>五月二十九日オランダの海軍、佛羅倫ス、イギリス、オランダ同盟艦隊に敗る○ハノーヴァー選帝侯國創設(第九選帝侯國)。</p> <p>佛地魯アルヴェーユ、セリウマン沖にイギリス艦隊を敗る○ネールウアンに於けるウ、リヤム三世の敗北○オランダ、ポナペリーを占領(一六九九)。</p> <p>イギリス女王メリー死す○イギリス出版の検閲停止○英蘭銀行の創設○ハレ大學の創立。</p> <p>ウ、リヤム三世が、メーニルを再び占領す○フランス出版の自由許さる。</p>				

一三五〇、貞享・元祿(百十一代)東山(百十二代)〔綱吉〕	山 東				
	2350	2349	2348	2347	2346
	3 午辛	2 巳己	祿元 辰戊	4 卯丁	3 寅丙
	吉 綱 (代五)				
<p>正月近衛基経開白○五月蘭人ケンベル長崎に來り日本此事を著す○七月聖堂を湯島臺に移す○八月綱吉自ら四書を講ず○十月光國改仕○十一月兵學家長沼守敬歿す(年五六)○十二月昌平坂孔廟成る。</p> <p>三月攝政冬經開白○四月清國商館を長崎に造る(唐人屋敷)○十二月坂村季吟父子を召す○元祿年間尾形深省乾山嶽を始め。</p> <p>四月將軍側用人牧野成貞の邸に臨む(家臣に臨第の始)○九月廿日改元○十一月柳澤保明側用人となる。將軍孔廟に就す(後廢爲す)。</p> <p>正月主簿橋本を發す○二月林信篤弘文院學士を擢ぐ○三月廿一日東山天皇受禪、開白冬經攝政○四月廿八日即位○七月河村瑞軒の浚河疏通の功を賞す、不受不施の僧を流す○十一月大嘗會を行ふ(百三十年開廢す)。</p>					
朝鮮	宗 廟				
	16	15	14	13	12
(清)聖祖	祖 聖				
	29	28	27	26	25
<p>二月噶爾丹の官員以上を殺す○七月噶爾丹の圍を撤す、噶爾丹土謝圖汗を攻む、よりて九月八旗兵等を遣し歸化城に駐備せしむ○是等兩懷仁卒す。</p> <p>十二月噶爾丹と黑龍江國境を定め、各領必齊河に立つ(尼布楚條約)○是年噶爾丹亂る○朝鮮宋時壽等を殺す。</p> <p>四月大清會典成る○七月噶爾丹侵入す裕祿王福全等をして伐たしむ、噶爾丹降る○九月義烏の禁を弛む。</p> <p>露兵復雅克薩の番館に據る、二月福和素等をして雅克薩城を救めしむ○四月博く天下の遺書を求めしむ○九月露の請に従ひ雅克薩の圍を解かしむ。</p> <p>是年清露講和の爲露使ゴロヴィン來る、索額圖を遣はし露使と協議せしむ。</p>					
一六九〇	1690	1689	1688	1687	1686
	<p>二月英國の權利宣言、ウ、リヤム及びメリーに同意し王及び皇后の位に即く○對佛大同盟成る・アラスカ同盟イギリス及びオランダと合同して、北緯十四世に抗す○ペートル大帝、近衛兵の亂を鎮定し兵艦を救む○ウ、リヤム王の戰(一六九七)・アメリカに於て英佛兩植民敗ふ○ネルソン條約(露清同盟)。</p> <p>佛地魯アルヴェーユに於て同盟軍を敗る○イギリス、オランダの同盟艦隊にイギリス、オランダの艦隊に敗る○英王ウ、リヤム三世が、メーニルを再び占領す○フランス出版の自由許さる。</p> <p>アラスカに於けるウ、リヤム二世の最後之の城、メリー、クック、パーマンのル、マランカンに於てトルコ軍を敗る。</p> <p>ウ、リヤム二世が、メーニルを再び占領す○フランス出版の自由許さる。</p> <p>アラスカに於けるウ、リヤム二世の最後之の城、メリー、クック、パーマンのル、マランカンに於てトルコ軍を敗る。</p> <p>ウ、リヤム二世が、メーニルを再び占領す○フランス出版の自由許さる。</p>				



二三六五、(元祿・寶永)東山(百十二代)(綱吉)	山 東				
	2365	2364	2363	2362	2361
	2 酉乙	永寶 申甲	16 未癸	15 申壬	14 巳辛
	吉 綱 (代五)				
	三月綿澤吉保甲斐國主となる、伊藤仁齋歿す(年七九)○六月北村季時歿す(年八二)、將軍生母桂昌院尼尊す(年七九)○九月大久保忠増井上正岑老中となる。				
朝鮮	宗 廟				
	31	30	29	28	27
	祖 聖				
	44	43	42	41	40
	二月帝南巡して河間す○十一月露使來りて貿易を求む、翰林院に外國文字を習はしむ○是年和碩部の拉薩汗西疆の第巴愛詩を殺す。				
一七〇五	宗 廟				
	1705	1704	1703	1702	1701
	祖 聖				
	二月帝南巡して河間す○十一月露使來りて貿易を求む、翰林院に外國文字を習はしむ○是年和碩部の拉薩汗西疆の第巴愛詩を殺す。				
	イスマニヤ王位繼承戦争(一七一四)○對西佛大同盟成る○アラビヤ王國崩壊、アラビヤ王位繼承戦争(一七一四)○一世としてアラビヤの王位に登る○英國踐踏令の通過○チールス十二世、ポーランド人及びキリシヤ人を敗る。				

二三六〇、(元祿)東山(百十二代)(綱吉)	山 東				
	2360	2359	2358	2357	2356
	13 辰庚	12 卯巳	11 寅戊	10 丑丁	9 子丙
	吉 綱 (代五)				
	二月堀伏見兩奉行を廢す○四月伏原重秀勤定頭となる○七月金御慶造禁止、常盤井宮貴官に京儀官號を賜はる○十月僧源空に眞光大師と勲號○十一月十日明正上皇崩す(七十四、内海興地圖を改造せしむ)。				
朝鮮	宗 廟				
	26	25	24	23	22
	祖 聖				
	39	38	37	36	35
	二月帝南巡して河江を閱視す○九月帝杭州府に至る○是年四川提督唐希順打羅羅に克つ。				
一七〇〇	宗 廟				
	1700	1699	1698	1697	1696
	祖 聖				
	二月帝南巡して河江を閱視す○九月帝杭州府に至る○是年四川提督唐希順打羅羅に克つ。				
	カールスバッツの和約、オーストリア、トルコ、ポーランド、プロシヤ、スウェーデンに對し、プロシヤ、ポーランド同盟す(九月)○對スウェーデン同盟に加入す(十一月)○ベール大皇帝の大改革を始む○フランス、プロシヤの同盟を結ぶ。				

Table with columns for years (1706-1710), generations (代五), and events. Includes entries for 東, 山, 門御中, and 宗廟. Key events include the death of Emperor Kan'ei and the Battle of the Marston.

Table with columns for years (1711-1715), generations (代六), and events. Includes entries for 中御門, 家宣, and 宗廟. Key events include the death of Emperor Kan'ei and the Battle of the Marston.

二三八五(享保)中御門(百十三代)(吉宗)	門御中				
	2385	2384	2383	2382	2381
	10 巳乙	9 辰甲	8 卯癸	7 寅壬	6 丑辛
	宗吉(代八)				
	二月宗氏に朝鮮王即位を賀せしむ。三月大判改鑄を命ず。五月新井白石卒す(年六九)。十二月室鳩巢西丸愚問となる。是年蘭人波斯及瓜哇の馬を獻ず。桂川甫筑に洋樂を關せしむ。	正月豊人英一蟻歿す(年七三)。○五月細井廣澤を召す。○六月儉約を命ず。○八月始て甲府勤番を置く。○九月西川如見歿す(年七七)。○十一月近松門左衛門歿す(年七二)。○十二月松平忠周老中任。	三月諸國戸口調査。○四月松平乗色老中となる。○五月老中戸田忠直罷む。○六月尾高の制を定む。○十一月菅野彦兵衛醫學を起す。幕府醫學を興む。	正月二條綱平開白、逸書を索む。○五月老中井上正幸卒す(年七〇)。安福僧及老中となる。儉約を命ず。○七月税米を諸大名に課す(上米の制)。○八月備前高天原支位歿す(年七四)。○十二月應樂院を小石川樂園に設く。出版條例を定む。	四月將軍三奉行の裁決を聽く。○七月林信如に令撰文字改正を命ず。○閏七月日安輪を置く。○八月小石川樂園を設く。○九月秋生徂徠に六條衍義を譯せしむ。
朝鮮	祖英 1	宗 4	景 3	2	1
	宗世		祖聖		
(清)聖祖、世宗	3	2	正雍	61	60
	二月臺灣の降蕃を安輯す。○四月東安阿拉布坦入貢す。○五月年滿夷罪を以て誅せらる。○是年朝鮮歷法を除く。	二月年滿夷岳鐘琪等羅卜羅丹津を破りて青海を平ぐ。駐藏大臣を一等に撤に置く。○十月明裔朱之璣を一等侯に封ず。○西洋人を廣州に安置す。○十二月廢太子允弼薨す。○雲南の擄賊を討平す。昭忠祠を立て開國以來致命立功の者を祀る。	三月駐藏官兵を撤回す。○六月孔子先世五代を封じて王とす。○八月青海の羅卜羅丹津反す。年滿夷をして伐たしむ。○十二月耶蘇教に入る者を禁錮す。西洋人を澳門に安置す。	正月大に宴を乾清宮に開く。○九月北巡す。○十一月帝殂す。○是年邊疆運米の税を蠲く。	五月朱一貴兵を臺灣に擧ぐ。六月平阿拉布坦吐魯番城を記す。
	1725	1724	1723	1722	1721
一七二五	ウィーン條約、オーストリア、イスパニヤと同盟す。○ハノーヴァー條約、ウィーン條約に對しイギリス、フランス、プロシヤ同盟す。	ドイツ帝チャールス六世の女子相續可能法(ウルフスブルグ)の公式發表。○一月フリア、ア五世即位、子ルイ嗣ぐ。八月ルイ死す、フリアア五世復位。	ペートル大帝ベルシヤよりカスピ海南岸の地方を擧取す。	ジョージ一世に對するジャコバイト陰謀の發覺。○ペートル大帝ベルシヤと戰ふ。	ニスキッドの和約、スウェーデン、ロシアと和す。○ワルホール再び宰相となる。

二三八〇(享保)中御門(百十三代)(吉宗)	門御中				
	2380	2379	2378	2377	2376
	5 子庚	4 亥己	3 戌戊	2 酉丁	保享 申丙
	宗吉(代八)				
	三月元祿銀寶永銀等通用期限を定む。○六月老中久世重之卒す(年六二)。○十月水戸宗廟大日本史を獻す。○十二月捕鯨奉行を置く。○是年始て宗欵以外の洋書輸入を許す。	二月豊人野野永叔同知川を法眼に叙す。○九月船運若水河鹿物類を獻す。日本輿地圖を製せしむ。○十月貴賤に備員の需書聽聞を許す。○是年西川如見を召し洋書を譯せしむ。	三月老中土屋政直やむ。將軍始て鳥追狩す。○四月並河天民歿す(年四〇)。○八月三宅綱淵歿す(年四五)。○閏十月新金銀引換法を定む。○是年吉宗御午儀を製す。	二月大岡忠相奉行となる。蘭人吉宗に謁す。○三月護國寺を護持院觀音堂を護國寺と改稱す。○七月朝鮮聘禮復舊。士庶農商學問所の聽詞を許す。○九月老中阿部正奮罷み水野忠之老中任。○十二月元祿金停鑄。	正月江戸大火。○二月五十歳以後養子を令ず。○四月家繼亮す(年八〇)。○五月吉宗院を繼ぐ。○六月廿二日改元。○七月將軍宣下。○十月漢草書所を廢す。安福年山歿す(年五〇)。○十一月攝政輔實開白。
朝鮮	宗 46	肅 45	44	43	42
	宗世		祖聖		
(清)聖祖	59	58	57	56	55
	二月清軍拉撒に入り六世達賴喇嘛を立つ。滿漢兵及青海兵を西疆に送る。○是年東安阿拉布坦コサック兵と厄爾齊斯の上流に戰ふ。佛人テムアレックス印度に来る。	二月皇興全覽圖成る。○四月允を嗣して哲西蒙に駐蹕せしむ。○是年王士禎卒す。	正月復允を立てて皇太子とす。○七月泰升元省方盛典を纂せんとす。○九月總督額爾特齊海にて陣歿す。皇子允禩をして西疆に向はしむ。	二月富寧安に東安阿拉布坦の邊境等を圍撃せしむ。○四月陳昂耶蘇敬等を誅す之に従ふ。○十月東安阿拉布坦西疆の拉撒汗と交戦し尋て拉撒汗を殺す。	三月大學士等に起風下雨の時を奏報せしむ。○是年康熙字典成る。
	1720	1719	1718	1717	1716
一七二〇	サウジア領サルデーニヤ王國となる。○ストロホルムの和約、ロシア、スウェーデンと和す。	ロシアの使節イスマロフ始て北京に至る。○佛將ベルグ、イスマニヤを攻撃す。○ロビンソンクルーソー出つ。	七月バザロウツの和約、トルコ、ヴェニス、オーストリア相和す。○八月四國同盟、英、佛、獨、蘭、プロシヤ條約維持のため、イスマニヤに對し同盟す。○チャールス十二世フレデリクスハルトを圍みて戰死す。	フランス、イギリス、オランダの三國同盟。○英國ワルポール内閣瓦解。○イスマニヤ王フレデリク五世サルデーニヤを占領す。○ニーサン、ベルグランドにトルコを敗る。	英國の七年間國會法案通過。○チャールス十二世ノルウェーを伐ちて克たす。○オーストリア、トルコと戰ふ。○ロシアの中央アジア遠征(一七一七)。○ドイツ哲學者ライプニッツ死す(一六四六生)。

二三九五、(享保)中御門(百十三代)(吉宗)	門御中				
	2395	2394	2393	2392	2391
	20 卯乙	19 寅甲	18 丑癸	17 子壬	16 亥辛
	宗吉(代八)				
	三月廿一日櫻町天皇受讓○閏三月吹上園裁培の甘藷等通○五月老中酒井忠實卒(年四六)西九老中本多忠良代○十月有職家重(年七九)○十一月三日即位○十二月細井廣澤(年七八)○是年長崎工人始て清製朱印に請書員漆器法を傳ふ。	三月庶物類纂を輯せしむ○四月紀伊國屋文左衛門(年六六)○六月本多忠良西九老中となる○八月室鳩巢(年七七)○十月水戸宗廟續類纂を獻す。	○五月奥羽米を運漕して西國凶飢を救はしむ○五月銀座年寄中根玄圭に曆算全書を撰せしむ○六月秋生祖傳著度量考を發行せしむ○八月金工横谷宗環(年八三)。	六月林風園信篤卒(年八九)○七月平野金華(年四五)自安論投書の制を定む○八月六日豐元法皇崩(年七九)○九月草鹿騎射の儀を興す○是年大砲製造す。	三月練額給料の制を定む、吹上演砲○四月江戸大火○六月浪人を檢査す○十二月清人沈南蘋畫法を傳ふ○是年諸國賑濟流行す。
朝鮮	祖英				
	11	10	9	8	7
	宗世				
(清)世宗	13	12	11	10	9
	五月苗疆の事務を整理せしむ○八月帝殂○九月乾隆殞を痛る、寺職神祇の禮儀を禁ず○十二月八旗氏族の通語を禁せしむ、纂修明史成る。	三月晉恩魯を破す○七月噶爾丹策零和を請ふ、厄魯特平定す○是年世宗實錄を重修す。	二月販鐵の輸出を禁ず○五月雲南土司刁興國等の叛を平ぐ、大捷會典成る○十二月姦民秦祖伏誅す○是年朝鮮烙刑を除く。	閏五月臺灣大甲の蕃亂を平ぐ○七月軍艦國を傾けて入寇す、大學士蔣廷鑑卒○是年郭公泰屯田の事宜を奏す、瑛典人來る。	二月多羅敏都元允殞卒○四月將軍傅爾丹進んで科布多に抵る○六月傅爾丹丹軍と戦ひ大敗す○七月岳鍾琪烏魯木齊を襲撃す○九月郭王軍凌等小軍等を破る。
	1735	1734	1733	1732	1731
一七三五	ウーレンの假條約成る、スタニスラスレスチンスキー即位、オーガスト三世王位承認。	オーストリア、北イタリアに於てフランス及びサルデーニヤと戦ふ○オーストリア軍、ピントに敗る○ロシア、キルギス諸部を降す。	ポーランド王位繼承戦争(一七三五)、一月オーガスト二世死す、九月多敏貴族、國人スタニスラスレスチンスキーを選び(佛王ルイ十五世、イスパニヤ、サルデーニヤ援助)、十月少數貴族、オーガスト三世(オーガスト二世の子、サクシヤ選帝侯)を選ぶ(ロシア、オーストリア援助)、かくて戦争開始す○ポーランド植民地の設立(十三州の最終)。	オジャールツル、ジョーシヤ植民地設立のため移民を伴ひて英國を發す○ジョーシヤ、ワシントン生る(一七九九死)。	イギリス、オランダ二國、アラバマ、カリフォルニアを保護す○ロビンソンクルソーの著者、英人デュー死す(一六六一生)。

二三九〇、(享保)中御門(百十三代)(吉宗)	門御中				
	2390	2389	2388	2387	2386
	15 戌庚	14 酉己	13 申戊	12 未丁	11 午丙
	宗吉(代八)				
	三月藤人の馬術を試む、足利學校修復○四月諸大名の上納米を傳め勤勤文書を呈に復す○六月老中水野忠之(年七九)○七月松平信敬、松平頼貞各老中となる○十一月吉宗子宗武に田安邸を賜ふ、(田安家の祖)。	四月天一坊處刑、交趾國大衆を獻す、米商に買占を許す○十月老中戸田忠真卒(年七九)○十二月前關白九條輔實(年六一)。	正月秋生祖傳(年六三)○四月足利學校圖書を檢せしむ、老中松平忠周卒(年六八)○五月大久保常春老中となる(九月卒)年五四)○十月酒井忠實老中となる。	六月幕府料租税を檢す、醫後藤良山(年七五)○九月目安齋を大坂町奉行に置く○十二月康富記二水記宣風記等校合せしむ○是年甘藷栽培を試む。	三月將軍小金原に狩す○六月近衛家久開白、清國射騎法を傳ふ○十月清國遊船來る○十二月中井樂庵徳徳書院を建つ。
朝鮮	祖英				
	6	5	4	3	2
	宗世				
(清)世宗	8	7	6	5	4
	五月浙江總督李衛杭州の天主堂を毀つ○七月賢良祠を京城内に建つ○十月鳥魯魯を撃つ○是年貴人賈鼎復す。	正月貴州平ぐ○三月傅爾丹岳鍾琪を以て噶爾丹策零を討たしむ○四月嘉慶親王の薨る○六月遊獵の民を戒む○是年英國等の諸國來りて互市す。	正月安南王に諭して邊界を定む○二月朝鮮貢米を減ず○五月西蔵平定す○閏七月暹羅米出洋を禁ず○是年朝鮮の李麟佐亂を作す。	三月閩省洋禁を開く、鴻臚寺衙門を定め禮部に屬す○四月黃銅の器血を禁ず、葡葡牙人來る○七月恰克圖條約を結ぶ○九月俄國阿拉布坦死し子噶爾丹策零立つ○十月西藏反す兵を遣し伐たしむ。	正月王大臣等慶親王允禩及允禩允禩の請狀を奏す○三月兵を派し東安阿拉布坦を撃がしむ○五月允禩諒に伏す○十月岳鍾琪成都に處死して苗族に備ふ。
	1730	1729	1728	1727	1726
1710	ロシア女帝アン(一七四〇)。	モウリヤ條約、イスパニヤ、イギリス、フランス媾和す、イスパニヤ、アラカルをイギリスに割譲す○オクスフォードにメソヂスト運動起る。	ソフランに於ける諸強國の會議○オランダ人ペーリン太平洋北水洋間の海峽を發見す。	イスパニヤ人アラカルを攻圍して克たす○モウリヤ條約(露清間)○ニュートン死す(一六四二生)。	ロシア、ウーレン同盟に加盟す○スタルハワゼンの條約(オーストリア、プロシヤ間)。

町 樓				
2400	2399	2398	2397	2396
5 申庚	4 未己	3 午戊	2 巳丁	文天 辰丙
宗 吉 (代八)				
四月廿八日改元○五月金銀改鑄を命ず○六月清船の数を減ず○七月阿波島に樓を築き伊藤東涯(年六七)歿す○八月大岡忠相寺社奉行となる、二條吉忠關白、赤松義隆を禁ず				
四月中御門上皇崩す○三十七○八月一候兼香開白、御遺密を封ず○九月飛鳥山に樓を築き○十一月書物を封ず○是年復大砲鑄造を命ず				
四月大坂綱座を設く○五月熊物類騷擾集成る○七月煙火を禁ず○十一月大當會再興す○此頃近江横瀬橋を繕り出す				
三月青木昆陽を召す○五月露船安房沖に来る○八月町奉行玉川上水を管せしむ○是年再濟船の敷を減す				
三月疊工を檢す○十一月天文學者西川正休を召す、新書案を復す(二百八十年間廢す)吉宗子宗尹に江戸城一橋内の邸を賜ふ(一橋家の祖)○元文年間薩摩加須利木綿を關し伊勢萬古燭を始め				
英 祖				
16	15	14	13	12
宗 高				
5	4	3	2	隆乾
正月民力休養を諭す○三月盛京に宗學多羅學を設く、張廣西貴州の苗を平ぐ○九月楊名時及朱斌卒す○十月和蘭の商稅を減ず○是年劉大權を博學鴻詞に擧げ湯斌と追從す				
二月歸化城を建つ、安南國王黎維禎卒す○閏九月琉球の遷民を歸國せしむ○十一月七政時憲書を增修せしむ				
五月張廣西復貴州の叛苗を平ぐ○十月孫嘉瑞を直隸總督とし水利を興さしむ○是年推遷總督の喀爾丹策零西藏に通商を請ふて許さる				
三月貢士を親試す○八月張廷玉等明史を刊刻す○十二月各省の流民を安輯す				
正月湖廣等の苗匪起る○五月喀爾略と推遷總督との分界を定む、蒙古王に五年一回家譜を出さしむ○十月一月重輯大清律例及大清一統志成る				
二月欽定四書文を各官學に頒つ○十二月蒙古律例成る、武職の民事に干預するを禁ず○是年朝鮮院廟三百餘を毀つ				
七月江南販米出津を申禁す○十一月英船の擄着を賑恤す				
四月纂修醫宗金鑑成る、沿海に飭して洋匪を嚴禁せしむ○七月各省の流民を賑恤す				
二月貯蓄備荒の要務を諭す○六月三教堂の設置を禁ず○十月翰林院に古今圖書集成を賜ふ○是年朝鮮の糧大典成る○英人クライヴ印度に来る				
四月大學士鄂爾泰卒す○天下貢士を策試す○是年噶爾丹策卒す				
1740	1739	1738	1737	1736
四月モルヴィツの戰、フレデリック二世オーストリア兵を破る○五月フランス、パペリヤ及イタリヤ秘密同盟を結びオーストリアに抗す(後にプロシヤ、最後はプロシヤ加入)○ワルシャワ、アレクサンダーのホンガリ國會議に復讐す				
五月プロシヤ王フレデリック二世(大王)崩す(一七一一生、一七八六)○十月、プロシヤ領を擴張す(一七一七生、一七八〇)○十二月フレデリック二世シレシヤに侵入す、第一次シレシヤ戰役(一七四一)起る○オーストリア繼承戰役起る(一七四一)○オーストリア、プロシヤ及びポーランドを征服す				
十一月ウィーン確定條約(第三次)成る○プロシヤ六世とフランスとの間、○プロシヤ人オーストリアを破る○プロシヤ王ナポレオン、プロシヤ領を征服す				
二月プロシヤ、イタリヤ、ナポリ、ウィーン條約に同意す○イタリヤ、イタリヤの國戰(一七四八)○ベルグランドの和約、○プロシヤ、トルコと和す○プロシヤ、トルコと和す○ナポレオン、デリーに侵入す				
四月モルヴィツの戰、フレデリック二世オーストリア兵を破る○五月フランス、パペリヤ及イタリヤ秘密同盟を結びオーストリアに抗す(後にプロシヤ、最後はプロシヤ加入)○ワルシャワ、アレクサンダーのホンガリ國會議に復讐す				

二四〇〇、(天文)櫻町(百十四代)(吉宗)

朝鮮

(清)高宗

一七四〇

町 樓				
2405	2404	2403	2402	2401
2 丑乙	享延 子甲	3 亥癸	2 戌壬	保寬 酉辛
宗 吉 (代八)				
二月廿一日改元○四月中松平信祝卒す(年六八)○五月酒井忠勝老中となる○九月册府元龜文獻通考等を支那に読ふ、老中土持頼經卒す(年五〇)、心學者石田梅巖歿す(年六〇)○十月甘藷の栽培法を蘭傳へしむ○是年昆陽に蘭學を講ぜしむ、蘭天儀成る				
九月將軍退陣す、松平乘賢西尾忠尚各老中となる○十月老中松平乗邑やむ、將軍宣下○十一月堀田正亮老中となる、八文字屋自突歿す(年八〇餘)				
六月尾形乾山歿す(年八一)○十月暹南を禁ず○十一月權衡を檢す○是年復濟船の敷を減す				
四月雲木昆陽古文書を授る、六道鏡を禁ず○六月土持頼經老中なる				
正月三宅尚書歿す(年八〇)○二月廿七日改元○三月青木昆陽に古記書書を抄訪せしむ				
英 祖				
21	20	19	18	17
宗 高				
10	9	8	7	6
二月欽定四書文を各官學に頒つ○十二月蒙古律例成る、武職の民事に干預するを禁ず○是年朝鮮院廟三百餘を毀つ				
七月江南販米出津を申禁す○十一月英船の擄着を賑恤す				
四月纂修醫宗金鑑成る、沿海に飭して洋匪を嚴禁せしむ○七月各省の流民を賑恤す				
二月貯蓄備荒の要務を諭す○六月三教堂の設置を禁ず○十月翰林院に古今圖書集成を賜ふ○是年朝鮮の糧大典成る○英人クライヴ印度に来る				
四月大學士鄂爾泰卒す○天下貢士を策試す○是年噶爾丹策卒す				
1745	1744	1743	1742	1741
四月モルヴィツの戰、フレデリック二世オーストリア兵を破る○五月フランス、パペリヤ及イタリヤ秘密同盟を結びオーストリアに抗す(後にプロシヤ、最後はプロシヤ加入)○ワルシャワ、アレクサンダーのホンガリ國會議に復讐す				
五月プロシヤ王フレデリック二世(大王)崩す(一七一一生、一七八六)○十月、プロシヤ領を擴張す(一七一七生、一七八〇)○十二月フレデリック二世シレシヤに侵入す、第一次シレシヤ戰役(一七四一)起る○オーストリア繼承戰役起る(一七四一)○オーストリア、プロシヤ及びポーランドを征服す				
十一月ウィーン確定條約(第三次)成る○プロシヤ六世とフランスとの間、○プロシヤ人オーストリアを破る○プロシヤ王ナポレオン、プロシヤ領を征服す				
二月プロシヤ、イタリヤ、ナポリ、ウィーン條約に同意す○イタリヤ、イタリヤの國戰(一七四八)○ベルグランドの和約、○プロシヤ、トルコと和す○プロシヤ、トルコと和す○ナポレオン、デリーに侵入す				
四月モルヴィツの戰、フレデリック二世オーストリア兵を破る○五月フランス、パペリヤ及イタリヤ秘密同盟を結びオーストリアに抗す(後にプロシヤ、最後はプロシヤ加入)○ワルシャワ、アレクサンダーのホンガリ國會議に復讐す				
一月佛國首相大僧正フリーリール死す○オーストリア軍、パペリヤを占領す○六月アムステルダム、英王ジョージ二世統率のフランス軍、佛軍を破る○オーストリア、プロシヤの二國オーストリア同盟に加和す				
第二次シレシヤ戰役(一七四五)、フレデリック二世オーストリアに侵入○英佛開戦○ジョージ王の戰起る(一七四八)、アメリカの英佛兩植民相戰ふ				
ドイツ帝フランシス一世(一七四五、チャールズ七世死す、マリアテレーザの夫フランシス一世)○五月フランス、パペリヤ及イタリヤ秘密同盟を結びオーストリアに抗す(後にプロシヤ、最後はプロシヤ加入)○ワルシャワ、アレクサンダーのホンガリ國會議に復讐す				
二月プロシヤ、イタリヤ、ナポリ、ウィーン條約に同意す○イタリヤ、イタリヤの國戰(一七四八)○ベルグランドの和約、○プロシヤ、トルコと和す○プロシヤ、トルコと和す○ナポレオン、デリーに侵入す				

二四〇五、(天文)櫻町(百十四代)(吉宗)

朝鮮

(清)高宗

一七四五

二四一五、 〔寶曆〕桃園(百十五代)〔家重〕	園 桃				
	2415	2414	2413	2412	2411
	5 癸乙	4 戌甲	3 酉癸	2 申壬	脣寶 未辛
	重 家 (代九)				
	二月婚政道香開白となる○七月朝鮮艦隊し 對馬難波により宗對馬守義蕃に向三年間年 資萬兩宛贈給○九月足利學校焼失。	二月諸大名に租入十分一を貯へしむ○九月 浮世繪師西川祐信歿す(年八)○十一月寶 曆曆原行○十二月開院宮直仁親王の女五十 宮將軍に降嫁。	二月民家濶に遷す○七月被褥を申禁す ○八月豊人彭城百川歿す(年五六)○九月訴 狀書を長崎奉行所に設く。	八月山縣周南歿す(年六六)○十一月浮世繪 師宮川長春歿す(年七一)○十二月琉球使引 見。	四月越後の高田大難○六月吉宗薨す(年六 八)○八月荷田在清歿す(年四六)○九月置 人○國海海歿す(年七五)○十一月廿七日改 元○十二月大同忠相卒す(年七五)○濱船我 河民を送還す。
祖 英					
31	30	29	28	27	
宗 高					
20	19	18	17	16	
三月將軍班第、阿睦撤納と共に遠 瓦齊を破す○四月琉球國王に改 藩清家印を賜ふ○八月阿睦撤納反 りて互市す○朝鮮尹志零を殺す。	三月奸民陳環を作す、岳鍾琪之 を毒殺し軍中に卒す○九月阿睦撤 納軍安阿拉布坦の從孫達瓦齊に 逐はれて内附す○是年薩哈爾哈 雅爾牙に遷はる。	二月暹羅の使來る○四月葡葡牙の 使復來る○六月滿洲官吏の外城に 住するを禁す○七月小説の翻譯を 禁す○十二月孫嘉淦卒す○是年薩 哈爾哈祖入貢す。	八月難谷土司蕃廷反す、岳鍾琪之 を討平す○九月葡葡牙の使來る。	三月張允隨卒す○經史を書院に賜 ふ○九月苗人苗福兵に補する を禁す。	
朝鮮					
(清)高宗					
1755	1754	1753	1752	1751	
アメリカの英佛領植民地戦争(一七六 三)○十一月一日リスボンの大地震○モ ンテスキュー死す(一六八九生)	エトナ山の噴火○北米の英國植民地の 代表アルバニーに會議を開く○デラウェア ス本國に召還。	英國博物館の創立○カウニツ、マリヤド レサの内大臣となる。	フランクリン電光と電氣と同一物なるこ とを確證す○イギリス新太陽曆を用ふ。	佛人の百科全書世に出づ○クライヴ、ア ルコトを取る。	
一七五五					

二四一〇、 〔享和・寛和〕櫻町(百十四代) 桃園(百十五代)〔家重〕	園 桃				
	2410	2409	2408	2407	2406
	3 午庚	2 巳己	寛 辰戊	4 卯丁	3 寅丙
	重 家 (代九)				
	正月百姓の強訴を禁す○四月廿三日櫻町上 皇廟ヲ遷三十一。	正月老中酒井忠恭やむ○九月酒井忠寄老中 となる○十月足利學校修理費を下す○十二 月従者の制を定む。	二月鷹米等書所を裁革に置く○六月朝鮮 使引見○七月一日改元○閏十月大同忠相 を諸侯に列す○十一月大寶會○十二月琉球 使引見。	正月西川正休等に貞享曆を改めしむ○二月 贈日本左衛門自前す○五月二日讓位、關白 道香攝政、大宰春盛歿す(年六八)○六月小 石川登翁歿す(年八四)○八月板倉勝頼關川 完孝を殺す○九月秋元涼朝老中任、此月廿 一日桃園天皇即位。	三月蘭人を戒む○五月中老中乗賢卒し(年二 九)○弘平元老中任○六月老中本多忠良免 ○七月本草家松岡應庵歿す○十一月本多正 珍老中任○十二月仙約を令す、一條道香關 白。
祖 英					
26	25	24	23	22	
宗 高					
15	14	13	12	11	
二月親王武慶卒す○西瀛の逆風左 副都阿史拉布敦等を殺す、薩清之 を平ぐ○九月地味樹の寧愛薩喇喇 來降す。	正月岳鍾琪沙羅奔を降し金川平ぐ ○三月樂器の出洋を禁す○十二月 張廷玉致仕す。	二月帝東巡關里孔廟に幸す○五月 福建商民の呂宋より天主教に従ふ を禁す○張廣酒を金川征討軍より 召還す○十二月張廣酒に死を賜ふ。	二月金川土司沙羅奔歿す、雲貴總 督張廣酒を討平せしむ、喪葬の儀 を申禁す○六月通商通志文獻通 考を校刊せしむ○七月蘭人の苗民 子女を販ぐを禁す。	三月沈德潛内閣學士となる、民人 の山海關を出洋を申禁す○閏三 月重修明通商綱目成る○是年姚培 壽寧通鑑要を輯す。	
朝鮮					
(清)高宗					
1750	1749	1748	1747	1746	
アカデヤの境界に關し英佛兩國植民相 戦ふ。	オハイオ會社の設立許可○英人マドラスを 恢復す。	十月十八日アーヘンの和約、オーストリア、 フランス、イギリス、プロシヤ及イスパニヤ間を 約し、オーストリア繼承の亂終結す○アレ ックス・ポテンツィーを防衛す○佛人セ ンテスキューの英法律の精神出づ。	フィニステールの海戦、英國海軍、佛國海 軍を取る○オーストリア、プロシヤにカンパ ラント公を取る○ロシアの女帝エリザベス、マ リヤ・テレサに援兵を送る。	二月佛將ヤクス、アリヤセルを取る○十月 ローターの戦、ヤクス、オーストリア同盟軍 を取る○佛將ラウドノー、マドラスを取 る(九月)。	
一七五〇					

二四二五、 後櫻町(百十六代)(家治)	(帝女) 町櫻後			園桃	
	2425	2424	2423	2422	2421
	2 百乙	和明 申甲	13 未癸	12 午壬	11 巳辛
	治家(代十)				
	六月朝鮮使來朝を停じ○十二月皇多 紀安元に醫學館(講義館)建設を許す、阿部 正右老中となる、檢校座頭等の高利貸を禁 ず。	二月圖書集成一萬卷清國より船載す、朝鮮 國使引見○三月老中秋元涼朝やむ○六月二 日改元○十月長崎大火を廢す○十一月琉 球國使引見。	六月本草家田村玄雄を召す○八月廣東人參 の私費を禁ず○十一月廿七日即位○十二月 松平康親老中となる。	七月廿一日天皇崩す○廿二、此月廿七日皇 統御子内親王踐祚、園白内前攝政○八月山 脇東洋烈す(年五八)。	二月老中堀田正亮卒す(年五〇)、老中に園 用を司らしむ○五月將軍池田の坊主意の叛花 の技を顯す○六月家重死す(年五二)○十二 月空米相場を禁ず、萬石以下に知行所の米 を買ひ米價暴落を防がしむ。
朝鮮	祖英				
	41	40	39	38	37
	宗高				
(清)高宗	30	29	28	27	26
	閏二月鳥什復亂る、尋て平ぐ○是 年饑飢入寇す。	回部烏什の變起る、後平ぐ○三月 歴代帝王廟重修の工成る○八月尚 書泰運卒す○十一月大清一統志 を重修せしむ、兆胤卒す。	正月奉天の海禁を弛む○五月陳安 龍入りて兵部尚書となる○九月準 電報架設成る○十一月大學士探時 正卒す。	三月帝福運水師を閱す○九月投獄 せし英人流任輝を釋す○十月伊犁 軍を設く。	二月安南國王黎維輝卒す○六月貴 州民苗結婚の禁を弛む○七月協辦 大學士郭爾丹卒す○是年參贊大臣 を葉爾光に駐せしむ。
	1765	1764	1763	1762	1761
一七六五	印紙條令の發布○第一次國民會議ニ イリロクに開かる○ドイツ帝、セア二世 (一七九〇)○印度ムガル皇帝ベンガル、ス ハル、オリッサをイギリス東印度會社に割譲。	佛王ルイ十五世、シュスイット宗派を壓迫 す○スオンスラトボヤトウスキー、カザリン二 世の援助によりポーランド王となる (一七九五)○フランス人セントルイスに 植民す。	二月十日パリーの和約、イギリス、フランス と和す○二月十五日、ベルグスアルグの和 約、ロシア、オーストリア、プロシヤ、ポーランドと和し、 七年戦役終結す○ポーランド王、オースト リヤに降す。	一月ロシア女帝エリザベス死す、ペートル三 世嗣ぐ○五月プロシヤ、ロシア及びスウェー デンと和す○七月皇后カザリン、ペートル 三世を廢して自立す(カザリン二世、一 七九六)○アルケルスドルフに於けるフレ ドリク二世の克勝○ロシア、プロシヤ、ポー ランドの三國同盟の成立。	八月一九月、フレデリク二世、普魯軍と 對陣す(後一七六三年の和議によりプロ シヤ人に還す)○印度パニパトに於てマ ラーター人アンガシ人に敗るる○ビクトリア の戦い。

二四二〇、 寶曆(桃園(百十五代)(家重)	園桃			重家(代九)	
	2420	2419	2418	2417	2416
	10 辰庚	9 卯己	8 寅戊	7 丑丁	6 子丙
	(治家)代十				
	二月江戸大火○三月老中西屋忠尚卒す(年 七一)○五月將軍職を家治に譲る○七月將 軍宣下○九月成島錦江死す(年七二)○十二 月井上正經老中となる。	五月竹内式部非せらる○八月金札銀札を禁 ず○九月平賀源内電氣學を唱ふ○十一月家 重子重好に清水邸を賜ふ(清水家の祖)○此 頃羽屋九郎兵衛清水焼を創む。	六月中井覺庵死す(年六六)、竹内式部捕へ らる○七月式部の遺書を讀みし公卿十七人 罷せらる○八月老中本多正珍やむ、田沼意 次諸侯に列す○九月松平理高老中となる。	三月近衛内前園白となる○七月園田鏡殿死 す(年八六)○此頃杉田玄白西洋外科術を唱 ふ。	二月大阪川口渡利賃を船船に課す○十月竹 田出雲死す(年六四)、前左大臣園田冬島死 す(年七八)○閏十一月隨陽日琉の地志要略 を作らしむ。
朝鮮	祖英				
	36	35	34	33	32
	宗高				
(清)高宗	10	9	8	7	6
	二月兆惠等凱旋して天山南路清に屬 す○五月八旗の驍騎練習を飭す○ 是年廓爾喀部泥波爾部を滅す。	正月兆惠等進みて庫車阿克苏を陷 る○六月回疆各城を收復す○十月 巴達克山逆回の首領を獻す○十一 月回部の平定を願す。	正月雲南阿騰撤納の叛を討じ擒 部平ぐ○二月教育を奨む○四月 將軍兆惠等和卓木を撃つ○是年塔 什干來附す、葉爾羌の回營電氣占 の叛を討つ。	三月將軍兆惠成賓札等をして阿騰 撤納を撃たしむ武臣の乘輿を禁ず ○阿騰撤納敗奔して雲南に遁る○ 八月雲南黑龍江に由り本國の糧米 挽運を請ふ許さず○十一月英商の 來浙互市を禁ず。	五月將軍奕劻伊犁に屯し功なし、速 爾圖阿代て之を討つ○七月阿騰撤 納を追撃し哈薩克を征して之を破 る。
	1760	1759	1758	1757	1756
一七六〇	八月、リーゲニアの戦、フレデリク二世オ ーストリア軍を敗る○十月オーストリア、ロ シヤの聯合軍ベルリンを占領す(數日)○ トルゴウの戦、フレデリク二世オーストリア軍 を敗る○セントリール落城カナダ、イギリス の支配となる。	八月タネルスドルフの戦、オーストリア、ロシア の聯合軍フレデリク二世を敗る○九月 十三日アラハムの原の戦、佛軍全敗、 佛將センカルム、英將ウルフ共に戦死す ○同月十八日、ケベック落城。	八月ワルンドルフの戦、フレデリク二世ロシ ヤ軍を敗る○マドラス佛人に圍まる (一七五九)○タライワ、ベンガル知事とな る。	六月ニューカズルとビッドの内閣成る○ 十一月ロシアの戦、フレデリク二世フラン ス軍を敗る○十二月ロイヤルの戦、フレ デリク二世オーストリア軍を敗る○アラ ハムの戦、クワイワ、フランス及びベンガルの聯 合軍を敗る。	第三次シレシヤ戦役二名七年戦役(一 七六三)、オーストリア、プロシヤと戦ふ○ベ ンガル王フランシスと聯合してカルカッタを陥 れ、イギリス人を黒穴に投ず。

町 櫻 後				
2430	2429	2428	2427	2426
7 庚 寅	6 丑 巳	5 子 戊	4 亥 丁	3 戌 丙
治 家 (代十)				
三月朔羅門徒を捕ふ。詩人高陽谷歿す(年四八)○十一月工藤受領の制を定む○是年清商金を賣し來る。	七月田沼意次側用人となる○八月藤井右門山崎大貳死刑に處せられ式部流さる○十二月旅人病氣の處置を定む。	二月浮世世補聞興村政信歿す(年七九)・英仁親王皇太子となる○四月眞綿(四文總)・講選○十二月備白隠歿す(年八四)・朝鮮の需により銅の輸出を許す。	二月農民の徒黨を禁ず○七月老中阿部正右卒す(年四六)阿部正允老中となる○八月板倉勝清老中任○十月賀茂眞福(年七三)青木昆陽歿す(年七二)○十二月天文方佐々木秀長曆書を獻す。	八月書家藤井西河歿す(年四一)○十一月英仁親王受領○明年間存慈繼選及加邪乎利稱を創製す。
祖 英				
46	45	44	43	42
宗 高				
35	34	33	32	31
六月金山復亂る○十二月大濟會典の重修成る○是年楊應選等緬甸を征す。	二月楊應選緬甸を撃ち非あつて死を賜はる。將軍明瑞之を征す○是年緬甸王曼達牙其子孟駸應選羅の國都地帯を陥る(或は暹羅の遺民漢人鄭昭を擁立す)。	正月調批歴代通鑑輯覽成る○二月明瑞緬甸と戦て死す○八月鄭人恰克圖に來りて互市す。	二月洋船の破滅後復の禁を弛む○七月大學士傅恆緬甸を征し後平ぐ○是より緬甸清に朝貢す○八月唐德元朝の古錢私鑄を禁ず○九月沈德潛卒す。	正月平定遠電報方略成る○七月傅恆卒す○十月宗室王公の僧道用人を容る。を禁ず○是年東國文獻備考成る。亂政亂問の刑を除く。
朝 鮮				
1770	1769	1768	1767	1766
一月ダラトン内閣内閣のノースウエストに代はる○三月ボストン市の常設○同月イギリス政府アメリカ領地の茶以外の輸入税を廢す○ロシア軍トルコに侵入。海軍連勝○オーストリアを擁護す。	一月ダラトン内閣内閣のノースウエストに代はる○三月ボストン市の常設○同月イギリス政府アメリカ領地の茶以外の輸入税を廢す○ロシア軍トルコに侵入。海軍連勝○オーストリアを擁護す。	一月ダラトン内閣内閣のノースウエストに代はる○三月ボストン市の常設○同月イギリス政府アメリカ領地の茶以外の輸入税を廢す○ロシア軍トルコに侵入。海軍連勝○オーストリアを擁護す。	一月ダラトン内閣内閣のノースウエストに代はる○三月ボストン市の常設○同月イギリス政府アメリカ領地の茶以外の輸入税を廢す○ロシア軍トルコに侵入。海軍連勝○オーストリアを擁護す。	一月ダラトン内閣内閣のノースウエストに代はる○三月ボストン市の常設○同月イギリス政府アメリカ領地の茶以外の輸入税を廢す○ロシア軍トルコに侵入。海軍連勝○オーストリアを擁護す。

二四三〇、(明和)後櫻町(百十六代)(家治)

朝鮮

(清)高宗

一七七〇

園 桃 後				
2435	2434	2433	2432	2431
4 未 乙	3 午 甲	2 巳 癸	永安壬辰	8 卯 辛
治 家 (代十)				
五月銀及銀箔の私賣を禁ず○八月石灰會所を設く○九月俳女加賀千代歿す(年七四)。	三月俳人藤部凌波歿す(年五三)○十月大川橋を架す○十二月具禮頭巾を禁ず。	正月醫者瀧邊慶歿す(年六五)○七月諸家從者の非道を戒む○九月醫者益東詞歿す(年七二)○十月角力興行の制を定む○十一月野永徳法眼に歿す。	正月田沼意次老中となる○二月江戸大火○四月内膳新宿を賜とす○八月攝政内閣開白○九月南蠻二朱銀の通行を令す○十一月十六日改元○十二月靈人熊代江歿す(年八〇)。	四月廿八日後桃園天皇即位○六月田安宗武薨す(年五七)○七月露船阿波に漂着す○是年杉田玄白等人身内景圖を譯す。
祖 英				
51	50	49	48	47
宗 高				
40	39	38	37	36
六月廣西商民の出口貿易を禁ず○七月重刊金史成る○十一月明季監節諸臣の諱を定む○是年日本大宰純校正の古文孝經を釋す。	四月四庫全書の活字版を英武殿家珍板と名く○九月山東の王倫の叛を討たしむ。	正月温福等鎮に力を奏す○二月四庫全書原を聞き紀昀を總纂官とす○是年阮文翁弟文應と共に兵を起し安南大亂る。節翁孟駸死し子雲角牙立す。	正月烏魯木齊城を建つ○是年大學士福爾丹桂をして金川を伐たしむ。七運福阿桂をして金川を伐たしむ。	五月大學士陳宏謀卒す○七月金川復反す○九月土司噶特來歸す○十一月廣東福建に官督學を設けせしむ○是年暹羅緬甸に滅さる。
朝 鮮				
1775	1774	1773	1772	1771
アメリカ獨立戦争(一七八三)○四月レキシントンに戦○五月第二次大陸會議○六月ワシントン總司令官となる○同月バンカーヒルの戦○ボストン攻圍(七月、明年三月)。	ボストン洋の封鎖○九月五日ワシントンに於ける第一次の大陣會議○ワシントンがイギリスの條約、ロシア、トルコと和す○ワシントン、ヘスター、第一代の印度總督となる○イギリス人アフリカ、アフリカを發見す○ゴルドスミス死す(一七八八)○クライヤー自殺。	ローマ法王クレメンス十四世、ポアト宗派の解散を布告す○十二月ボストン港内茶箱投棄○ロシア軍アルゲリヤに進む。	ボストン洋の封鎖○九月五日ワシントンに於ける第一次の大陣會議○ワシントンがイギリスの條約、ロシア、トルコと和す○ワシントン、ヘスター、第一代の印度總督となる○イギリス人アフリカ、アフリカを發見す○ゴルドスミス死す(一七八八)○クライヤー自殺。	ボストン洋の封鎖○九月五日ワシントンに於ける第一次の大陣會議○ワシントンがイギリスの條約、ロシア、トルコと和す○ワシントン、ヘスター、第一代の印度總督となる○イギリス人アフリカ、アフリカを發見す○ゴルドスミス死す(一七八八)○クライヤー自殺。
一七七五				



二四四五、(天明)光格(百十八代)(家治)	格 光				
	2445	2444	2443	2442	2441
	5 巳乙	4 辰甲	3 卯癸	2 寅壬	明 天 丑辛
	治 家 (代十)				
	正月老中久世實明卒(年五五)、水野忠友老中任(年九四)○十月細川重賢卒(年六八)稻葉小僧新助を刑す。	三月佐野政言田沼意和を備く○四月意和死す、政言に死を賜ふ○五月歌人萩原宗因歿(年八二)、牧野貞長老中任(年五二)○八月伊勢貞丈(年七〇)井上金藏歿(年五二)○八月荷田圃風歿(年五七)○十一月井伊直幸大老となる。	二月近松半二歿(年九九)○六月俳人横井也有歿(年八二)○七月淺間山噴火死者二萬人○十一月田沼意和若年寄となる○十二月谷口蘆村歿(年六七)○此頃諸國飢饉。	三月樺取魚彦(年六〇)片山兼山歿(年五三)○五月府内重修地圖成る。天文臺を淺草に移す○十二月伊勢の民諸國東部に遷到す。	四月二日改元、湯淺常山歿(年七四)○閏五月一掃治済の子家齊を世子とす○九月久世實明老中任、老中松平輝高卒(年五七)○此頃大槻支藩書を著し蘭學を唱ふ、蘭學階梯成る。
朝鮮	祖 正				
	9	8	7	6	5
(清)高宗	祖 高				
	50	49	48	47	46
	二月明の諸陵を修む○七月伊犁將軍伊勒圖卒(年九四)○十二月邊金元三史國語解成る。	三月帝南巡す、翌月安南王黎維瑞使を遣し迎駕す○四月島魯木賽に保甲法を行ふ、甘肅の回教亂る、尋て阿桂討て之を平ぐ○七月河湟紀略成る。	八月邊疆噴噴に玉冊玉寶を賜ふ、太子太保英陳卒(年九四)○十月古今備載金鑑成る。	正月四庫全書成る○四月改譯邊金元三史成る○八月邊疆王鄭華使を遣し父鄭昭の死を告げ且進貢す○是年爾魯孟魯其主賽角牙を殺して自立す國人孟魯を殺し孟魯を立つ。	四月蘭州の回教徒叛す、阿桂討て之を平ぐ○閏五月熱河志成る○十月歴代名臣の奏疏を纂す○是年邊疆の鄭羅維甸に捷つを告ぐ。
	1785	1784	1783	1782	1781
一七八五	二月ウーレンハーステンズ國○七月フレデリック二世、ドイツ諸侯を連衡して、シエラ二世を制す○オランダ人サガレンを発見す○ラッセル太平洋探検の大航海をなす。				

二四四〇、(安永)後桃園(百十七代)光格(百十八代)(家治)	格 光				
	2440	2439	2438	2437	2436
	9 子庚	8 亥巳	7 戌戊	6 酉丁	5 申丙
	治 家 (代十)				
	六月老中板倉勝清卒(年七四)○八月鑑眞鑪座を大坂に設く○十月山岡清明歿(年六五)○十一月老中阿部正允卒(年六五)○十二月四日即位、狩野東川法印に叙す。	二月河野起齋歿(年三七)○七月老中松平武元卒(年六七)○十一月九日天皇崩(年六二)○此月二十五日德川親王(兩院宮典仁親王子)踐祚、關白尚賢攝政○十二月平賀源内歿(年五七)○是年和學者富士谷成章歿(年四二)。	二月九條尚賢關白○三月兩宮大猷歿(年五一)○四月伊豆大島噴火○六月露人關後島に來る○十月機多非人の風俗を戒む。	五月農民耕作を廢して奴僕となるを禁ず○六月和學者加藤英樹歿(年五三)、秋篠鏡を禁ず○九月新墾地の制を定む。	三月朝鮮貿易絶えしに付宗氏に幕府年金一萬二千兩を下す○四月豐人大雅堂歿(年五四)○五月關西諸侯の山路通行禁止○十月谷川土清歿(年七〇)、寄合組肝煎を停止す○十二月水油賣買の制を定む。
朝鮮	祖 正				
	4	3	2	1	52
(清)高宗	祖 高				
	45	44	43	42	41
	七月班羅額爾德尼後嗣より入嗣す○八月程長伊卒。	正月大學士高晉卒す、烏魯木齊に城く○十二月大學士于敏中卒す。	四月邊金元三史中の人名字義を疏一せしむ○是年邊疆の遺民漢人鄭昭を主とし大に緝甸を破る、朝鮮の欽廉典則成る。	三月烏魯木齊領隊大臣を置く○五月大學士舒赫德卒す○八月滿洲瀋遼成る。	正月金川平定す○二月金川平定の功臣五十人を紫光閣に繪き阿桂を第一とす○四月金川の俘を商社に獻す○朝鮮洪麟漢鄭厚壽を殺す。
	1780	1779	1778	1777	1776
一七八〇	三月イギリスの將士ボストン市を去る○七月四日アメリカ獨立の宣言○八月ワシントンがフランスの戦○アムステルダム富國論や、ボンボローニエ史出づ○シエラの第三次航海(歸路一七七八年ハライ島に於て土人に殺さる)。				

Table with 5 columns and 5 rows. Columns: 2455, 2454, 2453, 2452, 2451. Rows: 7 卯乙, 6 寅甲, 5 丑癸, 4 子壬, 3 亥辛. Includes vertical text '二四五五、(寛政)光格(百十八代)(家齊)' and '光格' at the top. Content includes dates and historical events.

朝鮮

(清)高宗

一七九五

Table with 5 columns and 5 rows. Columns: 2450, 2449, 2448, 2447, 2446. Rows: 2 戌庚, 政寛百己, 8 申戊, 7 未丁, 6 午丙. Includes vertical text '二四五〇、(天明)寛政(百十八代)家治' and '光格' at the top. Content includes dates and historical events.

朝鮮

(清)高宗

一七九〇

二四六五、〔享和・文化〕光格(百十八代)〔家齊〕	格 光				
	2465	2464	2463	2462	2461
	2 丑乙	化文 子甲	3 支癸	2 戌壬	和享 百辛
	齊 家 (代一十)				
	正月、青山忠裕老中任。○二月中、竹山山房を對馬にて受くること。○九月、露使レヲノフ仙臺澤民を送りて、長崎に來り交易を求む。○十二月、幕使(坂本)菅野久老死す。○年五九。○是年、頼山陽の日本外史草稿成る。	六月、心學者中津道二死す。○年七九。○十月、蘭醫前野良澤死す。○年八〇。○十一月、佐渡地大農す。○十二月、老中松平信明病免。○此頃、加藤民吉瀬戸燬を始む。	二月、羽太正善戸川安倫を蝦夷奉行とす。○五月、蝦夷奉行を諸館奉行と改む。○七月、永く松前氏の東蝦夷地を収め、年金を給す。○十月、土井利厚老中となる。	正月、目付羽太正善等蝦夷地に遣す。○高田屋高兵衛、徳島に木柵を建つ。○二月、五日、改元。○六月、老中、大田資愛やみ。○翌月、牧野忠精代。○七月、歌人小澤蘆庵死す。○年七九。○地理學者長久保赤水死す。○年八五。○九月、水居宣長死す。○年七二。	正月、月日付渡邊、北等蝦夷地巡察に赴く。○九月、吉田寛成死す。○年六八。○十月、老中格本多忠嘉やみ。○十一月、西山拙齋死す。○年六四。○是年、近藤重藏、提島に欄柱を立つ。
	祖 純				
朝鮮	5	4	3	2	1
	宗 仁				
(清)仁宗	10	9	8	7	6
	正月、天子太傅王恭卒す。○英國の使臣來聘す。○協辦大學士紀昀卒す。○四月、西洋人の刺書頒教を禁ず。○八月、月領勅登保卒す。○十一月、皇朝詞林典故成る。○粵省儒教の禁を廢にす。	八月、李長庚定海にて再番者を破る。○十月、鎮大新卒す。○是年、教匪の殘賊悉く平ぐ。○真臥兒帝、國英人の保護となる。	正月、李長庚海賊本を破る。○八月、研福映の使臣來聘す。○九月、阮福映を封じて、越南國王とす。	三月、英人澳門を襲ふ。○十二月、教匪の亂始りて平定す。○是年、阮福映東京黎氏の舊地を取り、安南を一統す。○越南國の獨立。	正月、貴州石硯苗反す。○二月、楊遇春逆賊王廷詔を俘にす。○五月、德符春賊徐天德を追ふ。○天德溺死す。○是年、朝鮮西教徒を誅す。
	1805	1804	1803	1802	1801
一八〇五	三月、ナポレオン法典の發表。○五月、ナポレオン帝位に登る。○十二月、戴冠式舉行。○ピット再び首相となる。○八月、無帝ランシス二世、煥帝としてフランス一世と稱す。○カント死す。○一七二四生。○明年、セルレル死す。○一七五九生。	ナポレオン、イタリヤ王を兼ね。○十月、廿一日、トランカルの戰、ネルソン、佛西の聯合艦隊を破り、戰死す。○第三次對佛大同盟戰中、佛國三たび列國の聯合軍と戰ふ。○十一月、アウステルリッツの戰、ナポレオン、獨逸聯合軍を敗る。○同月、アレクサンドル(佛蘭西)の和約(佛蘭西)。	アメリカ合衆國、佛國よりルイジアナを購ふ。○五月、イギリス、フランスに宣戰。	一月、ナポレオン共和國イタリヤ共和國に改選。○ナポレオン大統領たり。○三月、アムステルダム(英國)と佛國、イギリス、ハノーヴァー共和國との間。○八月、二日、ナポレオン終身統領となる。	リネウールの和約、(ドイツ及びオーストリアとフランスの間)。○ナポレオン、露國に合併。○露帝カール十世、アレクサンドル一世稱す。○一月、英國、アイルランドと立法上合併す。○三月、ビクトリア。

二四六〇、〔寛政〕光格(百十八代)〔家齊〕	格 光				
	2460	2459	2458	2457	2456
	12 申庚	11 未己	10 午戊	9 巳丁	8 辰丙
	齊 家 (代一十)				
	正月、寛永以後諸家譜訂を命ず。○七年、間東蝦夷を幕府直轄とす。○五月、歌僧僧月寂死す。○年八五。○六月、費人長澤重雪死す。○年四五。○十月、南浦津經兩家より各五百人を徴し、箱館附近を成らしむ。○聖堂改造上棟す。	四月、目付渡邊、北等蝦夷地巡察に赴く。○九月、吉田寛成死す。○年六八。○十月、老中格本多忠嘉やみ。○十一月、西山拙齋死す。○年六四。○是年、近藤重藏、提島に欄柱を立つ。	二月、費人野村春成死す。○年五一。○七月、英船蝦夷に來る。○十月、寶曆曆を廢し、寛政曆頒行す。○十二月、聖堂を幕府の學校とす。○蘭醫宇田川玄隨死す。○年四三。○是年、費人板谷廣富死す。	正月、白牛齋齋翁を命ず。○五月、古賀精里召さる。○八月、破戒僧を罰す。○十二月、琉球使引見。○是年、南海群島巡察を命ず。	
	祖 正				
朝鮮	24	23	22	21	20
	宗 仁				
(清)仁宗	5	4	3	2	陽嘉
	三月、賊將冉天元を擒にす。○閏四月、各營糧の調運應用を禁ず。○是年、大艦大砲を造りて海寇に備ふ。	正月、太上皇殂す。○大學士和坤等を以て獄に下さる。○是年、ビニョー安南にて死す。○廣南の阮福映海賊を擒にす。	正月、貴州苗匪の首謀に伏し、苗匪平ぐ。○將軍額勒登保及明亮、德福、索額、千餘萬に及ぶ。○神首教匪征討費八千餘萬に及ぶ。	七月、羅賓通緝の著者湯沅卒す。○八月、大學士阿桂卒す。○是年、七經孟子刻成る。○學者袁枚卒す。	正月、帝受禪す。○白蓮教匪亂を作す。○湖北巡撫鹿傳霖に勅使せしむ。○五月、福康安卒す。○七月、孫士毅卒す。○八月、四川總督和珅卒す。○十二月、明亮等苗族石柳歸父子を生擒す。
	1800	1799	1798	1797	1796
一八〇〇	二月、佛國羅馬を占領し、羅馬共和國を設立。○四月、ヘルゲ、チヤ共和國設立。○五月、ナポレオンの埃及征伐。○一七九九、七月、アレクサンドリヤに入る。○八月、一日、アキールの海戰、ネルソン、佛艦隊をナイル河口に擊滅す。	一月、佛國ナポリに入り、パルチノー、共和國を設立す。○第二次對佛大同盟戰中、(一八〇四)、佛國再び露、英、普、ナポリ等の聯合軍と戰ふ。○十一月、ナポレオン相繼官政府を併す。○十二月、佛領政治を和告す。○ワレントン死す。	佛國の統領政(一八〇四)。○五月、ナポレオン、大サンリナルド岬を越ゆ。○六月、マレンゴの戰、ナポレオン、雄軍を破る。○十二月、三日、ホーエンリッテンの戰、佛將モロ1、雄軍を敗る。	二月、ナポレオン、法王領に侵入す。○法王ナポレオンと和す。○五月、佛軍セ、ニス共和國を滅す。○六月、リグリア共和國及びチチニブ共和國建設。○十月、カンホリ、オーストリアの和約(佛蘭西)。○十二月、ナポレオン、パリに凱旋。	ナポレオン、イタリヤ軍の司令官となる。○五月、ナポレオン、玉割地してフランスと和す。○十一月、ナポレオン、アルコにオーストリア軍を破る。○ロシア女帝カトリニ二世死す。○ボール一世、關々、シオン、補佐の有効を證す。○オランダ領セイロン、英領となる。

二四七五、〔文化〕光格〔百十八代〕〔家齊〕	光 格				
	2475	2474	2473	2472	2471
	12 亥乙	11 戌甲	10 酉癸	9 申壬	8 未辛
	齊 家 (代一十)				
	三月木挽町野野川殿(年三八)○四月酒井忠進老中となる○是年和蘭公使等對譯辭書を撰ぶ、杉田玄白蘭學事始を著す○文化年間八王子黒旗を繰出す。	二月和蘭人來聘す○九月一級忠良開白○十月賀茂臨時祭を復す○是年北地皮兵を撤す、伊能忠敬沿海實測全圖成る。	三月大樽鑿水殿(年七一)石清水臨時祭再臨○五月露船高田屋嘉兵衛を返還す○七月蘭生若年殿(年四六)○九月露人ゴロウ、ンを放還す○閏十一月三日後櫻町上皇崩す○七十四○是年尾尾二洲殿(年六九)。	四月松平定信樂翁と稱す○五月山本北山殿(年六八)○八月露船高田屋嘉兵衛を捕へ去る○十一月寛永重修諸家譜成る。	正月備前空に弘覺大師號加授○二月町田春海殿(年六六)○六月露船高田屋嘉兵衛を捕へ去る○七月朝野郎を對馬に受く○十二月備前中に設置す。○是年觀露局を江戸淺草天文臺中に設置す。
	祖 純				
朝鮮	15	14	13	12	11
	宗 仁				
(清)仁宗	20	19	18	17	16
	三月鴉片煙の輸入を嚴禁す○七月川西蕃亂を平ぐ○重慶鎮の總兵羅思善之を平ぐ○十月長齡を伊黎將軍とす○十一月洋人の奇巧貨物買物を禁す。	十月朱毛里明齋に假託して逆を謀る、江西巡撫阮元之を平ぐ○十一月英人の傳教を禁す○十二月洋商の互市章程を申定す○是年詩人間陥す。	六月宗室覺羅の漢人と結婚を禁す○七月私販鴉片煙を禁じ官民服食罪を定む○九月天理教匪(八卦教)匪徒大に起る、鄂平ぐ○十二月山東教匪の首逆朱成賞誅に伏す。	九月盛京移住の宗室海戶田三十六歳を抄す。	六月湖南按察使傅鍾幹卒す、帝廟を苗漢に立て巡撫を附る○七月洋人傳教の禁を申嚴し且教匪を懲懲するを禁す。
	1815	1814	1813	1812	1811
一八一五	二月廿六日ナポレオン、エルバを脱す、三月一日フランス上陸、廿八日ワーテルローの戦○七月パリの陥落、ルイ十八世の重祚○ナポレオンをセントヘレナ島に流す○神聖同盟の組織○十一月パリの和約(第二次)。	三月三十一日パリの陥落、ナポレオン位、ルイ十八世王位に登る、ナポレオン、エルバ島に流さる、五月パリの和約(第一次)、九月ワーテルローの戦(一八一五、六月)○法王ビュクス七世がスイスに逃れ、英人スタンレーン汽車を發明す。	自由大戦争、歐洲列國聯合してナポレオンに抗す○十月ライプツィヒの戦、ナポレオン大に諸國と戦ふ○ライオン同盟及ワスタラヤ王國の解散○ボナパルト、ニールドク、ワグネルを経て進み軍報ふ。	五月大戦争、歐洲列國聯合してナポレオンに抗す○十月ライプツィヒの戦、ナポレオン大に諸國と戦ふ○ライオン同盟及ワスタラヤ王國の解散○ボナパルト、ニールドク、ワグネルを経て進み軍報ふ。	ニールドク、ワグネルを経て進み軍報ふ○ボナパルトの革命の起る○ニールドクの革命第一巻出づ○ナポレオン二世生る。

二四七〇、〔文化〕光格〔百十八代〕〔家齊〕	光 格				
	2470	2469	2468	2467	2466
	7 午庚	6 巳己	5 辰戊	4 酉丁	3 寅丙
	齊 家				
	三月西武藏災地を公收す○四月露人殿災に冠す(後復す)○五月前川淇園殿(年七四)○六月若年客卿田正政等に賑災地賑濟を命ず○八月間田宗景死す(年七)○十月前館奉行を松前奉行と改む○十二月雄野栗山殿(年七四)。	正月會津仙臺の兵賑災地向ふ○四月下田補實附近に砲臺を設く、間宮津藩神太殿檢に赴く○八月英船長崎を掠む、松平康英自殺す○九月加藤千隆殿(年七五)○十二月南部津輕兩氏に賑災地を分掌せしむ。	三月暹仁親王を立て皇太子とす○四月備前伊東田殿(年七六)○六月蘭醫桂川南周殿(年五九)○九月大草公彌南山巡狩録を獻す、間宮津藩黒江地方を探検し歸る○是年砲臺を長崎に新設す。	正月本陣家小野蘭山殿(年八二)○二月具船防禦を令す○五月英船常陸に来る、老中安藤信成卒す(六三)○八月竹内式部殿(年五四)○十一月上田秋成殿(年七八)○是年水戸紀治大日本史紀傳を京都及幕府に獻す。	正月露船來習の處置を令す○二月番人土佐光貞殿(年五三)○四月老中戸田氏教卒す(年五三)○五月松平信明老中再任○七月伴蒿殿(年七四)○九月露人神太に冠す。
	祖 純				
朝鮮	10	9	8	7	6
	宗 仁				
(清)仁宗	15	14	13	12	11
	二月粵賊平定す○英商行用銀を減せんと欲ふ許さず○十二月順平三省邪匪方略成る。	二月澳門の駁艇を掃蕩す○三月暹羅泰卒す○四月吳光光を甲申に誅す○五月廣東の互市章程を定む○七月盛京省の各校に書籍を頒つ。	九月英吉利兵艦門に來り毀壞を占す、吳光光を論して去らしむ。	二月廷臣の諸王と交接するを禁す○四月地方官の非刑を申禁す○八月八旗の案請を嚴禁す○十二月李長庚海賊を討ちて戰死す。	二月李長庚海賊にて三度擒獲を破る○三月浙江江蘇等の賑米出洋を嚴禁す○十二月太子大傅朱珪卒す。
	1810	1809	1808	1807	1806
一八一〇	四月、五月ナポレオン四班牙王を廢し、六月ジョゼフを以て之に代へ、八月、ジョゼフをナポリ王となす○半島戦争(一八一四)ナポレオン、西班牙南端に於て英國と戦ふ○ナポレオン、普王に迫り、スタインを免せしむ○アメリカ合衆國奴隷貿易を禁す。	五月アムステルダム及エヴリンゲの戦○同月ナポレオン法王領を併はす、六月法王ナポレオンを破つ、七月ナポレオン法王を佛國に幽す○七月ワグラームの戦○十月、佛國の和約(佛蘭間)○ナポレオン、皇后、セシオンを離す。	四月、五月ナポレオン四班牙王を廢し、六月ジョゼフを以て之に代へ、八月、ジョゼフをナポリ王となす○半島戦争(一八一四)ナポレオン、西班牙南端に於て英國と戦ふ○ナポレオン、普王に迫り、スタインを免せしむ○アメリカ合衆國奴隷貿易を禁す。	二月、アムステルダム及びエヴリンゲの戦○七月、ナポレオン、法王領を併はす、八月、ナポレオン、法王を佛國に幽す○七月、ワグラームの戦○十月、佛國の和約(佛蘭間)○ナポレオン、皇后、セシオンを離す。	ビクトリア(一七五九生)○ルイ、スミス及びベルグの大公、ジョゼフ、ナポリ及びシチリアの王、ルイ、オランヂ王となる○十月、ライオン同盟成立○八月、六日、神聖羅馬帝國滅亡○十月、イナ、アウエルシュタットの戦○十一月、ナポレオン大陸封鎖令を布告す。

二四八五、 〔文政〕〔仁孝〕〔百十九代〕〔家齊〕	孝 仁				
	2485	2484	2483	2482	2481
	8 酉乙	7 申甲	6 未癸	5 午壬	4 巳辛
	齊 家 (代一十)				
	<p>四月伊能忠敬歿す(年七七)○七月賈人森田仙一歿す(年七五)○八月新島襄を歿す(年七六)○十二月松平定信を歿す(年七六)○是年南無津輕兵の北伐を罷じ。</p> <p>正月式亭三馬歿す(年四八)○三月將軍左大臣從一位に叙す、上杉謙山卒す(年七二)○四月英船捕獲に來る○七月老中土井利厚卒す(年六四)○八月相馬大作を利す○九月松平乘寛老中任、又八月九月慶内及山崎山陽等虎列刺病流行。</p> <p>三月儒司政通開白○四月太田南畝(年七五)詩人著西因是歿す(年六〇)○八月詩人菅茶山歿す(年八〇)○八月詩人シボルト長崎に來る○十月老中阿正正精罷む○十一月松平輝延老中任○十二月富士谷綱枝歿す(年五六)。</p> <p>二月南蠻二朱銀鑄造○五月一朱金鑄造、英船常陸に來る、陸奥賣女嚴禁○七月英船寶島に寇す○八月和學者清水瀧臣歿す(年四九)○九月足立左内閣西田學堂を歿す○是年名古屋の人梶常吉七寶燒を始め。</p> <p>正月浮世繪師初代歌川豊國歿す(年五七)○二月老中松平輝延卒す、外國船打捕令を發す○四月太田謙城歿す(年六六)○五月英船陸奥沖に來る○八月將軍の父一橋治濟に准大臣宣下。</p>				
朝鮮	祖 純				
	25	24	23	22	21
(清)宣宗	宗 宣				
	5	4	3	2	光道
	<p>正月張格倭使を悉にす○四月安省通志を創修す○十一月世子鄭福を暹羅國に封ず、長齡を伊犁將軍とす。</p> <p>七月成都將軍呢瑪善卒す○九月張格倭邊境を侵す○是年英國領土を破り阿撤母阿羅漢等の地と價金とを獲得す。</p> <p>正月休則徐江蘇按察使となる(決獄平賊人人林霄天と頭す)○三月商民と蒙古との市場章程を定む○七月民間私に鑄票を植え煙片を禁するを禁ず。</p> <p>正月休則徐江蘇按察使となる(決獄平賊人人林霄天と頭す)○三月商民と蒙古との市場章程を定む○七月民間私に鑄票を植え煙片を禁するを禁ず。</p> <p>正月休則徐江蘇按察使となる(決獄平賊人人林霄天と頭す)○三月商民と蒙古との市場章程を定む○七月民間私に鑄票を植え煙片を禁するを禁ず。</p> <p>正月休則徐江蘇按察使となる(決獄平賊人人林霄天と頭す)○三月商民と蒙古との市場章程を定む○七月民間私に鑄票を植え煙片を禁するを禁ず。</p> <p>正月休則徐江蘇按察使となる(決獄平賊人人林霄天と頭す)○三月商民と蒙古との市場章程を定む○七月民間私に鑄票を植え煙片を禁するを禁ず。</p>				
一八二五	1825 1824 1823 2822 2821				
	<p>一月タイバハの會議○ヤシヤの獨立戰爭(一八二九)○メキシコに革命起り獨立す○中央アメリカ獨立を宣言す○コロンビアのイスマイヤの主權消滅○ペルー獨立を布告す○ナポレオン死す(五月五日、一七八八生、一七六九)。</p> <p>一月ヤシヤ獨立布告○五月イタルピア、メキシコ皇帝となる○九月アララ、ホルトガルより分離獨立、十月ドンリベール(シシ)六世の子、シシ六世は一八二一年(國)皇帝となる○十月ワノナの會議。</p> <p>グアテマラ、サンサルワドル、ホンデュラス、ニカラガ、及コスタリカ、中央アメリカ聯合共和國を組織す○十二月二日モンロー主義宣言○イタルピア辭職。</p> <p>佛王ルイ十八世死す、弟チャールズ十世嗣ぐ○埃及藩王メヘマトリアリ、ヤシヤ戰爭に干渉す○英國バルマと開戦す○メキシコ共和國となる○南米に於ける西班牙の權力全く消滅す○英國シシガキールを請ふ○英國詩人バイロン、ヒンロンヤに死す(一七八八生)。</p> <p>ボリウェヤ共和國の建設○ホルトガル、アララルの獨立を承認す○イアラヒムルハ、モレヤの主となる。</p>				

二四八〇、 〔文化〕〔文政〕〔光格〕〔百十八代〕〔仁孝〕 〔百十九代〕〔家齊〕	孝 仁				格光
	2480	2479	2478	2477	2476
	3 辰庚	2 卯己	政文 寅戊	14 丑丁	13 子丙
	齊 家 (代一十)				
	<p>二月賴春水歿す(年七一)○九月山東京傳歿す(年五六)○十月老中牧野忠精病歿、英船琉球に來り互市を乞ふ○是年國友能當蘭人に倣ひ氣砲を造る。</p> <p>三月廿二日仁孝天皇受禪○四月杉田玄白歿す(年八五)○五月古賀精里歿す(年六八)○八月阿部正精老中となる、老中松平信明卒す(年五八)○九月廿一日即位、英船捕獲に來る。</p> <p>二月備前村瀧村卒歿す(年七三)○四月廿二日改元○五月英船捕獲に來る○六月眞字二分判通用○八月水野忠成大久保忠眞各老中となる○十月賈人司馬江漢歿す(年七二)。</p> <p>正月水戸書修大日本史紀傳四十五冊を獻す○六月草字彙分金を繕る○七月物價下落を令す○文政年間尾張の人野助樂燒を始め、大山嶺此頃より始る。</p> <p>六月新銀鑄造○八月國學者内山眞福歿す(年八八)○十月高橋作左衛門澤洲文字の書を繕して獻す○十二月浦賀學者内藤正弘に相州海軍守備を命ず。</p>				
朝鮮	祖 純				朝鮮
	20	19	18	17	16
(清)仁宗	宗 仁				(清)仁宗
	25	24	23	22	21
	<p>七月英吉利の使臣來聘す○内閣學士湯金利を紅藍學政の督とす○十一月兩江總督百齡卒す。</p> <p>三月雲南嶺外の逆夷高羅衣伏誅す○九月帝親臨を關して都察院に頒つ○是年學者惲敬卒す。</p> <p>二月内地無賴民の蒙古地に入るを戒飭す○四月匿名計告を禁ず○五月府廳に倣ひ明鑑を作る○七月大學士劉權之卒す。</p> <p>五月旗人の民人及戸下人を養ふを禁ず○九月松筠を盛京將軍とす○十二月厦門洋船の運茶を禁ず。</p> <p>七月仁宗崩じ宣宗即位○越南王阮福映卒し阮福成嗣ぐ○暹羅を朝鮮琉球邊境越南領土に領つ○道光親を繕る。</p>				
一八二〇	1820 1819 1818 1817 1816				
	<p>十月エーラスリヤ(アーヘン)の列國會議○十一月同盟國の兵佛國を去る○サンリマル、マイアの戦に勝つ、西、西班牙より獨立す○ハーステンダス死す。</p> <p>フロリダ購與(イスマニヤよりアメリカ合衆國に)の條約成る○カールスバートの會議○ドイツ開國同盟(フランク)の締結○ニールラタ、ワノナ合してコロンビア共和國となる、ボリウェヤ大總統たり。</p> <p>ボルトガルの革命及内亂(一八三四)○モンローの再選○西班牙の將リネロを起す○炭坑黨(マナナ)に對するトロババの會議○フロリダの購與實行。</p> <p>アメリカ合衆國大統領ジョージムスリモンロー(一八二五)○ドイツ小僧組(愛國的學生の集團)のワルトブルグ(十月十八日)○ボリウェヤ、ワノナの主權を認る。</p> <p>十月エーラスリヤ(アーヘン)の列國會議○十一月同盟國の兵佛國を去る○サンリマル、マイアの戦に勝つ、西、西班牙より獨立す○ハーステンダス死す。</p> <p>フロリダ購與(イスマニヤよりアメリカ合衆國に)の條約成る○カールスバートの會議○ドイツ開國同盟(フランク)の締結○ニールラタ、ワノナ合してコロンビア共和國となる、ボリウェヤ大總統たり。</p> <p>ボルトガルの革命及内亂(一八三四)○モンローの再選○西班牙の將リネロを起す○炭坑黨(マナナ)に對するトロババの會議○フロリダの購與實行。</p>				

二四九五、〔天保〕仁孝〔百十九代〕〔家齊〕	孝 仁				
	2495	2494	2493	2492	2491
	6 未乙	5 午甲	4 巳癸	3 辰壬	2 卯辛
	齊 家 (代一十)				
四月古瀧寛親歿す(年六九)○九月老中青山忠裕領免○同七月野村宗賢歿す(年六一)○八月藤人田能村竹田歿す(年五九)○十月天保禱造、松平宗發老中任老中松平康任病免○十二月仙石騒動裁斷、井伊直宗大老任。	二月江口大火、老中水野忠成卒す(年七二)○三月水野忠邦老中となる○十二月宇田川支調歿(年六六)○是年宗對馬守義賢に金一萬圓を賜ふ。	二月腎腎地林宗歿す(年五九)○四月書家巻菱湖歿す(年六七)○六月一朱金の鑄造をやむ○九月本居大平歿す(年七八)○是年宇田川棺庵植學啓原を著す、諸國醫誌。	五月水戸光圀に從二位權大納言追贈○八月強盜鼠小僧を捕す、水戸藩昭昭臣に海防を請ぜしむ○九月頼山陽歿す(年五三)○十月二朱金を鑄る。	二月より大阪川口渡し天保山を築く○四月老中牧野正精隱居○八月十返舎一九歿す(年五七)○武家輩の日傘使用禁止○十月松平康廣一萬石格となる○十二月全國總石高調査。	
朝鮮	宗憲	祖	純	宗	宣
	1	34	33	32	31
(清)宣宗	15	14	13	12	11
五月工部侍郎松筠卒す○八月滇坤城に入る。○是年佛國宣教師羅利朝鮮京城に入る。	二月大學士富俊卒す○五月英船零丁洋及大嶼山に衝突して鴉片密販するを飭む。	二月直隸總督那蘇圖卒す○三月臺灣匪徒の首魁就擒を擒にす○四月太子少保玉麟卒す○是年英商公司をやむ。	二月鴉片輸入の禁を廢除す○五月湖廣總督張之洞等賊匪金匪を斬り殺す○十月朝鮮の金祖淳卒す。	二月英商の廣東貿易通例を飭む○四月兩廣總督李鴻章廣東警備の備風を平む○五月鴉片輸入を申禁す○十月清軍復通商を求む之を許す。	六月内地鴉片行銷の禁を定む○十月張蔭桓の兄玉麟入寇す、兵部左侍郎蔣德舒依劄卒す。
	1835	1834	1833	1832	1831
一八三五	メキシコ共和國中央集權國となる○ケニア植民地よりアル人移住を始む○ニューヨークの大失火(十二月)○飛逸の鐵道始めて開通。	四月四國(英、佛、西、葡)同盟成る(借王ドミニケルに對して)、五月ドミニケル、ポルトガルを去る。	七月ウヰンヤルリスケレン條約(露土間)○英領西印度に於ける奴隸廢止案通過○メキシコ初て大政領職を置く○パリ、大統領制を布く○西人カウス及ワーベル常備を發明す○獨逸の關稅同盟成立。	六月英國憲法改革案通過○ポーランド、露帝國の一部となる○イアラヒム、コーニに於て大にトルコ軍を敗る○コレラ病西歐に蔓延、米國に進入す○ゲーテ(一七九生)、スワト(一七七一生)、死す。	一月ロンドン議定書、ベルギーの獨立を承認す、七月オーストリアがオランダ、ベルギー王となる○九月ポーランド反亂鎮定、王國廢せらる○メドムリ反し子イアラヒムをしてシベリヤを征せしむ○マアテ青年イアラヒヤ黨を創立す。

二四九〇、〔文政〕天保〔百十九代〕〔家齊〕	孝 仁				
	2490	2489	2488	2487	2486
	保天 實庚	12 丑己	11 子戊	10 亥丁	9 戌丙
	齊 家 (代一十)				
閏三月石川雅望歿す(年七八)○十二月十日改元○足立長萬西洋雜科を首唱す。	二月高橋左衛門歿す(年四六)○三月江戸大火○五月松平定信卒す(年七二)○六月近藤重藏歿す(年五九)○南鐘一朱銀鑄造○七月二月判金改鑄○十一月仙石初代、頼山陽北歿す(年七五)○十二月秋川實慶歿す(年六五)。	正月秋川實慶歿す(年八〇)、老中酒井進卒す(年五九)○五月隱岐半田浪山を開く○七月木茂町野村宗賢歿す○十一月越後地蔵、酒井抱一(年六八)本居春庭(年六六)各歿す。	三月將軍太政大臣に任ず、大槻玄澤歿す(年七一)○七月婦女醫員の外日傘濫用禁止○九月高田重隆兵衛歿す(年五九)○是年伊藤圭介始て物理學を唱ふ。	三月龜田鵬齋歿す(年七三)○七月老中松平乘保卒す(年七九)○十月近藤重藏を罰す○十一月高橋左衛門、露西亞書和將を上る、松平康任老中となる○是年青地林宗賢海嶽澤地學正宗を譯す、藤田鳴谷歿す(年五三)。	
朝鮮	祖	純	宗	宣	
	30	29	28	27	26
(清)宣宗	10	9	8	7	6
六月臺灣の匪徒擾亂す、遷て平定す○七月長齡及映甘總督楊昌濬に張格を討たしむ○八月臺灣の逆匪李通漢に就く、喀城英利爾沙、義和蘭の諸將を降る。	三月楊過登英吉沙を復す○六月長齡等張格を生擒す○七月楊昌濬、書成孫珍卒す○是年雲貴總督阮元邊夷を鎮む。	三月回疆の亂平定す○五月張格爾に伏す○六月内大臣費世阿卒す○九月回疆防兵操練行團を定む。	秋格草の賊將喀什噶爾を攻め回莊を焚く、長齡を遣し伊犁將軍玉麟と共に邊事を整理せしむ。	六月内地鴉片行銷の禁を定む○十月張蔭桓の兄玉麟入寇す、兵部左侍郎蔣德舒依劄卒す。	
	1830	1829	1828	1827	1826
一八三〇	二月露波新と和す○四月露土開戦(一八二九)○アラビムパル、モレヤを去る。○トルグ、獨立共和國と承認せらる。	英國が教目由法を通過○ポーランド議會に勝を占む○アリヤイアルの和約、露土用和して土國アリヤの獨立を承認す○ボスニア、コロンビヤより分離○歐洲に於けるコレラの始めての大流行、露國に傳播す。	パリーの七月革命○ベルギー反きて獨立す○ポーランドの反亂(一八三二)○ロンドン議定書、列強アリヤの獨立を宣言す○エドワール共和國(ロシアの一部)創立○佛國アルプエーを奪る○リヤアイハ、マンタ、スエー間鐵道開通。	七月ロンドン條約、アリヤのため英佛露協賛す○十月廿日アリヤの戦、英佛露三國の艦隊、トルコの艦隊を破る○アメリカ合衆國鐵道の始。	トルコ軍アリヤ軍を破り、ミソロンギを陥れ、アテネを占領し、アフロカリスを攻圍す、アリヤ政府エヤナに移る○第一次バルム戦争終結○露國ベルシヤと開戦○ロンドン大學創設。

二五〇五、〔天保・弘化〕仁孝〔百十九代〕〔家慶〕	孝 仁				
	2505	2504	2503	2502	2501
	2	化弘	14	13	12
	巳乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑辛
	慶 家 (代二十)				
	<p>正月間部詮勝老中任○三月破仁親王立太子          五月市中齋樂番板の蘭字禁止、蘭書翻譯          の事職業外に取扱ふを禁ず○八月清商來り          英兵廣東に犯入を報ず○十一月十五日光格          上皇崩す○七十○是頃鈴木春山西洋兵制を          考す</p> <p>十月江戸湯島天神にて富興行を許す○十二          月中松平英寛卒す、土井利位老中となる、          渡邊華山高野長英罪せらる○是年宇田川精          庵化學を首唱す</p> <p>閏正月家齊薨す(年六九)○三月西九老中堀          田正徳(正高本九任)○五月老中太田實亮や          む(政治革新を令す)○八月老中太田實亮や          む(田幸實代る)○八月國學者藤井高尚卒す          (年七七)○十月渡邊華山自及す(年四九)○十          二月豊人谷文英歿す(年七八)</p> <p>六月學問教授所再建、高島秋帆に砲術教授          を許可す○七月戲作者爲永春水歿す、外          國船打掃令を擬む○八月海防を嚴にす○十          月天保曆頒行、醫學所を京都に建つ</p> <p>正月僧契神寂す(年六二)○三月歌人香川景          樹歿す(年七六)○六月印籠沼開鑿○九月青          山延于歿す(年六八)○閏九月老中水野忠邦          堀田正徳間部詮勝並やみ阿部正弘代る、平          田篤胤歿す(年六八)○十一月牧野忠雅老中          となる、俳人村田了阿歿す(年七二)</p> <p>四月松崎檢堂歿す(年六四)○五月宮内省に          儀を命ず(十一月解儀)老中幸田幸實免○六          月印籠沼開鑿停止、水野忠邦堀田正徳老中任          ○七月蘭使歐洲形勢を告ぐ○十月老中土井          利位免、伴信友歿す(年七四)○十二月二日          改元、青山忠良老中任、學問所を學問院と勅          命</p> <p>正月備前新砲臺築造○二月老中水野忠邦免          ○三月戸田忠徳老中任○四月老中堀田實亮免          ○七月英船長崎に來る○十一月蘭醫杉田玄          圃歿す(年六〇)</p>				
朝鮮	宗 憲				
	11	10	9	8	7
	宗 宣				
(清)宣宗	25	24	23	22	21
	<p>正月瑞善英人に香港割與等を約す          ○二月瑞善英人に香港割與等を約す          里布と共に免す○五月皇極奕山及          參贊大臣楊芳等英兵と戦ふ○九月          英人復定海を陥る○是年越南王阮          福校殞し子福嗣繼ぐ</p> <p>英人乍浦吳淞等を陥る○八月南京          條約、英國の爲に福州等五港を開          き香港を割與す○布電報造字を派          す○十二月重修大清一統志成る○          是年魏源聖武記及海國圖志を著す</p> <p>二月欽差大臣伊里布卒す○六月雲          南の南甸土匪の亂平ぐ○是年兩江          總督耆英各國領事を會見す</p> <p>七月湖南來陽縣の賊首陽大鵬擒に          つく○九月武人の乘輿禁例を嚴に          ぶ○是年合衆國及佛國と條約を結          ぶ</p> <p>回疆七和卓木の亂○十一月林則徐          を陝甘總督とす、林則徐巨砲を演          ず</p>				
一八四五	1845	1844	1843	1842	1841
	<p>英佛二國アルジャンテン共和国のデクオトル、          ローマスと開戦○第一シク戦争開始○          チャーリス・ニラングリン西北航路探險の          ため最後の航海をなす</p> <p>オランダ、フランス、プロシヤ、普魯シヤ、          スイス、プロシヤの自由教會の成          立○イスパニヤの革命、エスパニヤの攝政          廢す○シンド、英領印度と合併</p> <p>支那、アメリカ合衆國及びフランスと條約          を結ぶ○ハイチ島の東部、サンクトドミンゴ          共和国となる○ギリシヤ立憲政體とな          る○米人モリス製作のバルチモーア、ブレ          ント間の電信開始</p> <p>メキシコ、フランス、プロシヤと和し、シリアを獲          つ○列強とトルコの條約</p> <p>アルバーチン條約(英國と合衆國との          間)、合衆國の東北國境を定む○南京          條約、鴉片戰爭終はる○英人、ナポレ          ンのアル共和国を略す○英軍アフガニス          タンを去る</p>				

二五〇〇、〔天保〕仁孝〔百十九代〕〔家齊・家慶〕	孝 仁				
	2500	2499	2498	2497	2496
	11	10	9	8	7
	子庚	亥巳	戌戊	酉丁	申丙
	慶 家 (代二十)				
	<p>二月江戸町會所改革○五月徳川齊昭砲臺を          助川に築く○六月官製入参の賣許可○九          月老中松平宗發大御所付に轉じ太田資始代          る○十一月中山信名歿す(年五〇)</p> <p>二月大鹽平八郎亂を大坂に起す(翌月自及)          ○三月老中大久保忠實卒す○四月家齊職を          家慶に譲る○五月松平信順老中任○七月臨          坂安置老中任、堀田西郷西九老中となる、五          兩判一分判鑄造○八月將軍宣下、米船陸摩          に來る、老中松平信順免</p> <p>閏四月無益の散物に資金するを禁ず(天保          改革の始)○六月大判改鑄○八月水戸齊昭          封事を上る○十一月鳥居理藩に豆相等沿海          巡視を命ず○十二月豊人岸駒歿す(年九〇)、          松本汁機織英船モリソンに付きて上書す</p> <p>十月江戸湯島天神にて富興行を許す○十二          月中松平英寛卒す、土井利位老中となる、          渡邊華山高野長英罪せらる○是年宇田川精          庵化學を首唱す</p> <p>閏正月家齊薨す(年六九)○三月西九老中堀          田正徳(正高本九任)○五月老中太田實亮や          む(政治革新を令す)○八月老中太田實亮や          む(田幸實代る)○八月國學者藤井高尚卒す          (年七七)○十月渡邊華山自及す(年四九)○十          二月豊人谷文英歿す(年七八)</p> <p>六月學問教授所再建、高島秋帆に砲術教授          を許可す○七月戲作者爲永春水歿す、外          國船打掃令を擬む○八月海防を嚴にす○十          月天保曆頒行、醫學所を京都に建つ</p> <p>正月僧契神寂す(年六二)○三月歌人香川景          樹歿す(年七六)○六月印籠沼開鑿○九月青          山延于歿す(年六八)○閏九月老中水野忠邦          堀田正徳間部詮勝並やみ阿部正弘代る、平          田篤胤歿す(年六八)○十一月牧野忠雅老中          となる、俳人村田了阿歿す(年七二)</p> <p>四月松崎檢堂歿す(年六四)○五月宮内省に          儀を命ず(十一月解儀)老中幸田幸實免○六          月印籠沼開鑿停止、水野忠邦堀田正徳老中任          ○七月蘭使歐洲形勢を告ぐ○十月老中土井          利位免、伴信友歿す(年七四)○十二月二日          改元、青山忠良老中任、學問所を學問院と勅          命</p> <p>正月備前新砲臺築造○二月老中水野忠邦免          ○三月戸田忠徳老中任○四月老中堀田實亮免          ○七月英船長崎に來る○十一月蘭醫杉田玄          圃歿す(年六〇)</p>				
朝鮮	宗 憲				
	6	5	4	3	2
	宗 宣				
(清)宣宗	20	19	18	17	16
	<p>三月清漢對音字式を頒つ○是年鴉          片煙食罪を定む、英國政府大尉          リットを支那領事となす</p> <p>正月林則徐湖廣總督となる、山西          陝西甘肅等天災賑に據る○六月四          川の夷匪亂を作す○是年英人鴉片          三萬四千箱を賣らす、復廣東に水          師巡緝船を設く</p> <p>正月大學士長齡卒す○閏四月鴻臚          寺卿黃寶鼎鴉片流入以來滿銀の巨          額を上言す、八月林則徐鴉片の害          を奏す○大に鴉片の禁を嚴にす○東          十二月林則徐を欽差大臣とし廣東          に臨ましむ</p> <p>四月林則徐英商舘の鴉片二萬二          百八十三箱を燒棄す○五月鴉片禁          條三十九條を定む○五月英人廣          東を犯す○十二月林則徐湖廣總督          となる○是年朝鮮大に西敵徒を殺          す</p> <p>六月英人舟山島を陥れ家波を圍む          ○七月伊里布を欽差大臣とし英人          と和を議せしむ○八月瑞善を欽差          大臣とし伊里布と共に事を辦せし          む、林則徐及鄭廷樞罷めらる</p>				
一八四〇	1840	1839	1838	1837	1836
	<p>十月ルイジアンオン、ストラスブルグに於て革          命運動を企つ○イスパニヤ革命運動起          る、攝政皇后一八一二年の憲法遵守          を誓ふ</p> <p>英王ウリアム四世死す、経ウヰクトリア調          々、女子繼承のためハノーヴァー、イギリス          より分離す○ベルシヤ人(ラット)を圍む○          カールスル諸佛國大革命出づ</p> <p>汽船始て大西洋を渡航す○佛人、ゲ          ル富貴術の發明を完成す</p> <p>オランダ、經バルパールの獨立を承認す○          トルコ帝、エジプト王と開戦○イギリス、          デンを取る○英兵アフガニスタンに侵入す          ○佛國のアルジリアの征服終る○中央          アメリカの聯合共和制瓦解</p> <p>ルイジアナオン、プロシヤに於て革命運          動を起す、捕はる○列強のロンドン條          約(佛、加入せず)、メキシコに干渉          す○鴉片戰爭(一八四二)</p>				

二五二五、 嘉永・安政 家慶・家定 孝明(百二十代)	明		孝		
	2515	2514	2513	2512	2511
	2 卯乙	政安 寅甲	6 丑癸	5 子壬	4 亥辛
	定家(代三十)		慶家(代二十)		
	<p>二月水戸慶大日本史記傳を獻す○四月土佐光孚歿す○五月大森に砲臺を築く○八月和蘭加比丹復讐告す○九月廿二日明治天皇御降臨○十月朝鮮來聘を延期す遂に來らざる</p> <p>六月米使ベリ捕貨に來る、幕府外國來航を上奏す、將軍家慶死す(年六二)○七月米國の書を示して諸侯の意見を徵す、齊昭に登城を命ず、露使フーチャナン長崎に來る○八月砲臺を品川灣に築く○九月内閣信親老中任、大船製造解禁○十月家定將軍宣下</p> <p>正月米使ベリ再捕貨に來る○三月米と和親條約締結、吉田松陰捕へられ翌月佐久間象山亦捕へらる○七月日章旗を日本國懸船印と定む○閏七月英船長崎に來る○八月英と和親條約締結○十一月廿七日改元○十二月露と和親條約締結</p> <p>二月講武所新設、江川英龍歿す(年五三)、蝦夷地を幕府直轄とす○三月梵鐘にて大砲端透せしむ○六月蘭人蒸氣船鐵砲を獻す○八月老中松平乘全、松平勇優各免○十月江戸地盤、藤田東湖歿(年五〇)、堀田正篤老中任○十二月蘭と和親條約締結</p>				
朝鮮	宗		哲		
	6	5	4	3	2
(清)文宗	宗		文		
	5	4	3	2	豐成
	<p>正月鄭王僧塔林松賊將林鳳祥を擒にす○三月賊復武昌を陥る○江蘇巡撫吉爾杭阿上海を復す、佛國提督聯元軍を助く○四月僧塔林松賊將李開芳を擒にし河北平ぐ</p> <p>二月瑞典諾威國と通商の約を定む○五月曾國藩内閣學士となる○八月回疆の勢弱し、尋て平定す○十一月廣東の民英人と爭鬪す</p> <p>正月越南王阮福暉卒す○八月露國の商人上海貿易を求め許さず○是年朝鮮擄國朝貢を編す</p> <p>十一月大學士阮元卒す、逆匪李沅發兵を唱へて貴州の邊境を侵す</p> <p>六月洪秀全遂に反す、兵皆髮を蓄ふ故に長髮賊と稱す○賊廣西の諸城を陥る○十一月欽差大臣林則徐卒す</p> <p>二月都統烏爾恭額永安を復し賊の謀將陸大全を擒にす○四月烏爾恭額死す、尋て湘江知縣江忠源賊の謀主馮雲山を殲す○十一月賊漢陽府を陥る</p> <p>二月賊金陵を陥れ直隸に入る○五月禮部侍郎曾國藩漢陽の兵を起す○七月揚州を圍む○十月江忠源湖北の賊を平ぐ○十二月廣州城陥り江忠源之に死す</p> <p>正月兩湖總督吳文鎬死す○二月曾國藩賊船を破く○四月より七月に至り湖南揚州塔齊布及曾國藩岳州武昌等を收復す○十一月楚北の賊略平ぐ</p>				
	1855	1854	1853	1852	1851
一八五五	<p>三月英佛同盟、露に宣戦すクリミア戦争始る(一八五六)○九月英佛聯合軍クリミアに上陸す○十月セバストポールの攻圍○十一月インケルマンに於て露軍敗績○英國、オレンジリバー共和国の成立に同意す</p> <p>一月サルデーニヤ、英佛同盟の對露戰爭に加入す○二月英國パーモントン首相となる○三月露帝ニコラス一世歿、アレクサンダー二世嗣ぐ○五月サルデーニヤ兵クリミアに到着○九月セバストポールの陥落○パリーの國際博覽會</p> <p>オーストリアの會議、プロシヤ、オーストリアの要求に服す○英佛間に海底電線敷設</p> <p>パリイの二月革命、佛國再び共和政となる、十二月ルイボナパルト大統領となる○埃國サルデーニヤと戦ふ(一八四九)○ハンガリーの反亂○カリフォルニアの金銀発見○アルルの一部トラスカヤール共和國を建つ○第一次シレスワヒル戦争開始</p> <p>フランスの革命、獨逸憲法を制定す○ノヴァラの戦、伊軍を敗る○ハンガリー人獨立を宣言せしも成らず○英國航海法を廢す○バンジャブ、英領印度に合併○リヴァン、シリア、メカ、湖を設け見す</p> <p>ナイロビ、非常處分(パル)を行ふ、尋て十年間の大統領となる(十一月)○埃國二國シレスワヒル戦争に事起す○オーストリアの革命運動○オーストリアに金の大量積發見</p> <p>ロンドン議定書、丁棟及シレスワヒル戦争に關し列強記名す(十二月二日)ルイボナパルト帝位に登る(ナポレオン三世)一八七〇○英軍バルマを敗る</p> <p>ロシア、トルコの開戦(一八五六)○佛人ニューカレドニアを占領す○始めて印度に鐵道開通す</p>				

二五二〇、 弘化・嘉永(仁孝) 百十九代(孝明) 百二十代(家慶)	明		孝		孝仁
	2510	2509	2508	2507	2506
	3 戌庚	2 酉己	永嘉 申戊	4 未丁	3 午丙
	慶家(代二十)				
	<p>二月相模安房上總沿海守備を命ず○六月蘭人再外交に付忠告す○九月水戸慶喜一橋家をつぐ、是月廿三日即位○是年川本幸民氣を觀望廣義を著す</p> <p>二月廿八日改元○五月米船蝦夷に擄去す○九月老中青山忠良免○十月松平乘全松平忠優老中各任○十一月講武所新設(年八二)○是年福井三郎英學を村上英俊佛學を各首唱す、佐久間象山洋式野戰砲を造る</p> <p>二月黒住頼綱黒住宗忠歿す(年七二)○四月貴人葛飾北齋歿す(年九〇)○閏四月英艦浦賀に來る○五月老中三奉行等に海防の議を上らしむ○是年蘭人始めて牛痘を傳ふ</p> <p>正月佐藤信淵歿す(年八二)○六月蘭人又忠告す○十月高野長英自歿す(年四七)○十一月海防鐵筋の勸諭再幕府に下る○前年肥前五島松前福山に是年神島及佐渡相川に各砲臺を築く</p>				
朝鮮	宗哲		憲		朝鮮
	1	15	14	13	12
(清)宣宗	宗		宣		
	30	29	28	27	26
	<p>三月鄭延禧卒す○十二月雲貴總督李星沅病歿○回疆を討つ、翌年之を平ぐ</p> <p>二月瑞典諾威國と通商の約を定む○五月曾國藩内閣學士となる○八月回疆の勢弱し、尋て平定す○十一月廣東の民英人と爭鬪す</p> <p>正月越南王阮福暉卒す○八月露國の商人上海貿易を求め許さず○是年朝鮮擄國朝貢を編す</p> <p>十一月大學士阮元卒す、逆匪李沅發兵を唱へて貴州の邊境を侵す</p> <p>六月洪秀全遂に反す、兵皆髮を蓄ふ故に長髮賊と稱す○賊廣西の諸城を陥る○十一月欽差大臣林則徐卒す</p> <p>二月都統烏爾恭額永安を復し賊の謀將陸大全を擒にす○四月烏爾恭額死す、尋て湘江知縣江忠源賊の謀主馮雲山を殲す○十一月賊漢陽府を陥る</p> <p>二月賊金陵を陥れ直隸に入る○五月禮部侍郎曾國藩漢陽の兵を起す○七月揚州を圍む○十月江忠源湖北の賊を平ぐ○十二月廣州城陥り江忠源之に死す</p> <p>正月兩湖總督吳文鎬死す○二月曾國藩賊船を破く○四月より七月に至り湖南揚州塔齊布及曾國藩岳州武昌等を收復す○十一月楚北の賊略平ぐ</p>				
	1850	1849	1848	1847	1846
一八五〇	<p>三月英佛同盟、露に宣戦すクリミア戦争始る(一八五六)○九月英佛聯合軍クリミアに上陸す○十月セバストポールの攻圍○十一月インケルマンに於て露軍敗績○英國、オレンジリバー共和国の成立に同意す</p> <p>一月サルデーニヤ、英佛同盟の對露戰爭に加入す○二月英國パーモントン首相となる○三月露帝ニコラス一世歿、アレクサンダー二世嗣ぐ○五月サルデーニヤ兵クリミアに到着○九月セバストポールの陥落○パリーの國際博覽會</p> <p>オーストリアの會議、プロシヤ、オーストリアの要求に服す○英佛間に海底電線敷設</p> <p>パリイの二月革命、佛國再び共和政となる、十二月ルイボナパルト大統領となる○埃國サルデーニヤと戦ふ(一八四九)○ハンガリーの反亂○カリフォルニアの金銀発見○アルルの一部トラスカヤール共和國を建つ○第一次シレスワヒル戦争開始</p> <p>フランスの革命、獨逸憲法を制定す○ノヴァラの戦、伊軍を敗る○ハンガリー人獨立を宣言せしも成らず○英國航海法を廢す○バンジャブ、英領印度に合併○リヴァン、シリア、メカ、湖を設け見す</p> <p>ナイロビ、非常處分(パル)を行ふ、尋て十年間の大統領となる(十一月)○埃國二國シレスワヒル戦争に事起す○オーストリアの革命運動○オーストリアに金の大量積發見</p> <p>ロンドン議定書、丁棟及シレスワヒル戦争に關し列強記名す(十二月二日)ルイボナパルト帝位に登る(ナポレオン三世)一八七〇○英軍バルマを敗る</p> <p>ロシア、トルコの開戦(一八五六)○佛人ニューカレドニアを占領す○始めて印度に鐵道開通す</p>				





二五三五、 〔明治〕 〔百二十一代〕	治 明				
	2535	2534	2533	2532	2531
	8 亥乙	7 戌甲	6 酉癸	5 申壬	4 未辛
	一月大阪會議の議案、郵便官制施行○四月元 老院大審院を置く○五月上等裁判所を置く、千 鳥神大交換の約成る○六月地方官會議召集、新 聞紙検査及議院制制定○九月江華島事件○十月 招魂場を招魂社と改む。	一月副島種臣等民選議院設立を建白す○二月佐 賀の亂起る○四月臺灣征伐○六月北海道田邊 兵制を改む○八月大久保利通を清國に差遣す、 始て海軍提督府設置○十月臺灣征伐償金五十萬 兩收受を約す○十二月大久保利通西郷從道歸京。	一月五箇旬を慶し祝日を定む、六箇旬を置く、徴 兵令發布○五月島根火あり○七月地租改正(地 價百分の三)○九月岩倉大使等歸朝○十月祭 日の休暇制定、征韓論を論じ西郷從道等辭職 ○十一月内務省設置○十二月選挙の制を定む。	二月陸軍海軍二省設置、東京横濱間鐵道成る○ 三月親兵を廢し近衛兵を置く○五月軍部西遷、 七月還幸○八月學制頒布、國立銀行創設○九月 琉球藩王冊封○十一月曆制の改定、神武天皇即 位年を紀元とす。	正月陸軍海軍二省設置、東京大阪間に郵便設置 ○二月親兵を廢し長土三藩に撤す○四月山西海 南兩省設置、廣西置縣、清國と修好條約締結○八月 散髮脫刀許可○十月大使を歐米に發す○十一月 三府七十二縣とす、琉球民臺灣生蕃に發さる。
	(熙) 王 太 李				
朝鮮	12	11	10	9	8
	宗德	宗 穆			
	緒光	13	12	11	10
	正月鄭成功を思慕烈と追慕す○ 三月欽差大臣左宗棠新軍運籌を辨 す、漢臣を改置し文華殿大學士と す○七月松魯國と條約を結ぶ○是 年沈葆楨卒す。	三月佛安和親盟約締結○四月日本 兵臺灣征伐に着手す○六月沈葆楨 生蕃を撫降す○十月日本と臺灣の 判議調ふ○十二月帝昶す。	五月雲南回匪平々○英國公使威妥 瑪等各國書を呈す○七月鐵道局を 設く○十一月佛兵河内城を陥る○ 是年臺灣基隆汗を保護國とす、朝 鮮大院君の廢政。	二月内閣大學士曾國藩卒す○四月 貴州苗匪を平々○十二月科場文體 を改む。	二月香港上海間海底線成る○三 月回運使首馬化體謀に伏す○五月 露兵伊犁地方を占領す○七月日本 との修好條約成る○是年浩罕阿古 柏露國と通商條約を結ぶ、朝鮮米 穀を砲撃す。
	1875	1874	1873	1872	1871
一八七五	一月アルフォンソ十二世、イスマニヤに上陸す、 反對派服従、イスマニヤの王政恢復す○ 二月フランス共和憲法の制定○七月、 ルンゴウ、八月ボスニヤ亂る○英國スエ 運河の株券を買収す。	英國アラビヤ兵、アラビヤに代 る○イスマニヤ後の子アルフォンソ十二 世として軍隊に擁立せらる○ 十月九月萬國郵便同盟調印、○英國東 印度會社の形式的存在消滅。	一月チチカカ三世死す○五月チチカカ 職、マクオン大統領に當選、十一月大統 領の年限七年と定めらる○イスマニヤ共 和國となる○キヤ、アカラ二汗國ロシヤの 保護國となる○ウイーンの國際大博覽 會。	一月十八日曾王ウァン、一世皇帝位に 登る○同月廿八日ハリーの陥落○二月 ウァルツェの假條約、五月フランツの 本條約、佛、エルクス、ローリヤ二州を 獨に割譲す○八月チチカカ、佛國大統領 となる。	一月十八日曾王ウァン、一世皇帝位に 登る○同月廿八日ハリーの陥落○二月 ウァルツェの假條約、五月フランツの 本條約、佛、エルクス、ローリヤ二州を 獨に割譲す○八月チチカカ、佛國大統領 となる。

二五三〇、 〔慶應〕 〔百二十代〕 〔明治〕 〔百二十一代〕 〔慶應〕	治 明				
	2530	2529	2528	2527	2526
	3 午庚	2 巳己	治明 辰戌	3 卯丁	2 寅丙
	二月神田大團使設置○三月西國と條約書交換○ 四月補法法施行○七月大友大九條三天皇退位 ○九月藩制改革、庶人稱氏許可○閏十月英佛協 定○十二月新律綱領頒布。	正月薩長土肥四藩主版籍奉還奏請○二月新聞紙 刊行許可○三月再東京に行幸○五月榎本武揚等 降る○六月版籍奉還允許、公卿諸侯を華族と改 稱○七月官制改革六省設置○八月北海道を置く ○九月版大村益次郎を刺す○十二月信創設。	正月島羽伏見の戰、舊地收領○二月征東大總督 出發、各國公使始て朝見○三月慶喜討罪、五條の 御誓文○四月江戸城を收む○七月江戸を東京と 改む○八月即位大禮○九月八日一元、一世一、始 て天皇節、會津降る○十月奥羽鎮定、東京に行幸、 江戸城を東京城と改む○十二月還幸、皇后冊立。	喜慶(代五十) 正月九日明治天皇踐祚○二月征長軍を解く ○四月高杉晋作歿す(年二九)○五月兵庫開 港○五月鹽谷岩陰歿す(年五九)○十月山内 豐信大政奉還を警告す、討幕の密勅下る、慶 喜大政奉還○十二月王政復古の大号令下る、 攝關以下を廢し總裁議定奉與の三職を置く。	正月高島秋帆歿す(年六九)○五月毛利敬親 父子に豐后封を命ず○六月幕軍長州に逼 る運戰不利、伊白兩國と條約締結○七月將 軍家茂歿す(年二一)○九月征長軍停止○十 二月慶喜將軍宣下、日丁條約締結、是月廿五 日天皇崩す(年三十六)。
	(熙) 王 太 李				
朝鮮	7	6	5	4	3
	宗 穆				
	9	8	7	6	5
	正月曾國藩武英殿大學士となる○ 六月官軍大に賊を破り西珍賊首張 總魁投水して死す西珍賊平々○九 月始て蒸汽船を造る○是年露國布 哈拉汗を保護國とす。	四月左宗棠西回匪賊を平々○七月 在臺灣の洋人運葉を飭む、澳大利 亞と通商章程を約す。	四月曾國藩武英殿大學士となる○ 六月官軍大に賊を破り西珍賊首張 總魁投水して死す西珍賊平々○九 月始て蒸汽船を造る○是年露國布 哈拉汗を保護國とす。	正月劉銘傳等東捻を破る○七月洋 米採買民食を濟ふ○十月王積功首魯 王任桂敗死し十一月次王積功首魯 を破る○是年佛國東補撫 を保護國とす。	正月回教徒伊犁城を陥る○八月左 宗棠喀什噶爾を定む、伊犁東塔西塔 と通商章程を定む、伊犁東塔西塔 の二派となる○是年李鴻章曾國藩 に代る、佛艦朝鮮に遣す。
	1870	1869	1868	1867	1866
一八七〇	普魯戰役(六月十六日七月二十二日)、 七月ケール、エーデルスドルフの戰、八月 月アラーグの條約、ドイツ聯邦解散、普魯 を盟主として北ドイツ聯邦成立○歐米 間の電信開通○カール・マルクス國際労働 會を創立す。	埃帝國、埃國となる○北米合衆國ア ラスカを露國より購入○ルグゼンブルグの中 立(二月ロンドン條約)○ドイツ南北諸國開 税同盟再興を約す○佛兵メキシコを去る、 マクシミリアン殺さる○パリ万国博覽會。	九月イスマニヤの革命、アリム及びセルラン革 命を企て、女王イスマニヤ出奔す○十二月 英國首相アズレーリ辭職、グラフトン首相 となる○露國マカドを陥す。	イスマニヤ革命亂頓定○アメリカ合衆國の 大統領グラフトン(一八七七)○太平洋鐵 道及スエズ運河の開通○ウァシントン會 議。	普魯戰役(一八七〇)、九月二日セーデンの 降参、オーストリア三降伏、四日フランス人 共和制を立つ、十九日ハリーの包圍、十 月ガベ、輕氣球に乗じパリを脱出す ○十二月北ドイツ聯邦議會ドイツ帝國の 再興を決す○ウァシントン會法王無過失 を決す○伊國ローマを併せ統一完成。

二五四五、〔明治〕明治(百二十一代)	治 明				
	2545	2544	2543	2542	2541
	18 酉乙	17 申甲	16 未癸	15 午壬	14 巳辛
	一月朝鮮との講和條約成る。○四月伊藤博文を清國に派遣す。○四月國防會議條例制定。天津條約成る。○七月車馬山陽巡幸。八月還幸。○九月日本郵船會社成立。○十一月大阪事件起る。○十二月内閣組織(伊藤内閣)成る。工部省を廢し逓信省を置く。	三月地租條例制定。制度取調局設置。朝鮮への海底電線敷設。○五月區町村會法改正。兌換銀行條例制定。○六月商標條例制定。○七月華族令を定む。○九月加波山事件決獄。○十月自由黨解黨を決議す。○十二月清兵朝鮮兵と我が公使館を襲ふ(京城の變)。	一月叙勳條例を定む。○四月新聞紙條例改正。米國下關償金を還附す。○七月官報發行。岩倉具視、立憲帝政黨解黨。○八月伊藤博文歸朝。○九月福島事件決獄。	一月軍人に勳章を下る。○二月開拓使を廢し南滿州州府を置る。○三月伊藤博文を歐洲に遣す。九州改進黨及立憲帝政黨組織。○六月日本銀行條例制定。○七月朝鮮京城の變。○八月朝鮮との講和條約成る。○十月日本銀行開業。○十二月清國規則を定む。	一月警視廳設置。○三月憲兵設置。○四月農商務省設置。○五月小學校教則綱領を定む。○七月東北及北海へ行幸。○十月還幸。○十月國會設立の詔下る。○十一月日本鐵道會社創設計可。○是年自由黨起る。
朝鮮	(熙) 王 太 李				
	22	21	20	19	18
(清) 德宗	宗 德				
	11	10	9	8	7
	一月朝鮮事件に付日本大使京城に入る。清國亦欽差吳大澂を派す。是月朝鮮日本との講和條約成る。○四月天津條約(日清交渉)・パトリール條約成る。○秋左宗棠卒す。○北京條約(清佛の和)成る。	六月清佛兩軍復交戦。是月朝鮮露伊兩國と修好條約締結。○十月佛將クルールベール臺灣を封鎖す。○十一月甘肅新疆巡撫とす。○十二月金玉均の亂起る。○是年阿富汗境界問題落着す。	五月劉永福佛軍に開戦を宣言す(黒旗黨起る)。○李鴻章に越南兩廣等の軍務を命ず。○八月佛安條約成る。○清國安南國境に出兵す。○十一月朝鮮露英兩國と修好條約締結。○是年佛國越南を保護國とす。	三月清韓元山電線規約を定む。○四月未轉條約成る。○八月清物捕條約締結。○是年新編省省とし陝甘總督の下に置く。○曾紀澤卒す。	正月伊犁條約成る。露國との陸路通商改定章程を定む。○是年佛人東京の紅河及黒江地方を際除す。公使黎庶昌日本に赴任し何如璋に代る。
朝鮮	(熙) 王 太 李				
	17	16	15	14	13
(清) 德宗	宗 德				
	6	5	4	3	2
	五月左宗棠哈密に至る。○六月曾紀澤を欽差大臣とし伊犁事件を交渉せしむ。○七月左宗棠を召還す。○佛國河内順化府等に兵を派す。	○秋崇厚露國と伊犁還行條約を決す。○寫に朝鮮に議起る。○是年阿富汗英國と和約を結ぶ。	侍郎崇厚を露國に遣す(初度の伊犁談判)。○十月劉銘傳等阿里達什を破る。是月趙李楊材散山等を陥れ東京大に亂る。	三月留學生を英佛二國に遣す。○四月胡里後を襲ぐ。○八月欽差大臣何如珊等を日本に遣す。○十月左宗棠天山南路を恢復す。○是年英國女王印皮女皇を稱す。	上海江浦開鑿道成る。○九月芝罘條約締結。○左宗棠回疆を破りて烏魯木齊瑪納斯等に克つ。○是年欽差大臣郭嵩焘等を英國に遣す。露國樞罕汗國を滅す。
朝鮮	(熙) 王 太 李				
	13	12	11	10	9
(清) 德宗	宗 德				
	1885	1884	1883	1882	1881
	二月地方官會議内閣と諸省との分權。横濱正金銀行創立。○四月集會條例發布。○六月備兵備蓄法制定。山梨三重京師(行幸)七月還幸。○七月刑法治罪法公布。○八月朝鮮國修信使來る。	一月地租減額の詔下る(地價百分二平)。○二月西南の役起る。九月平ぐ。○三月露國郵便會社條約に加盟。○五月佐野常民大祐恒博愛社を置く。木戸孝允薨す。○八月内閣醫業博覽會開會。○十月學宮院開校式。○十一月始めて電話を試設す。	五月賤大久保利通を殺す。○六月春秋二季皇靈祭日設置。大樽警備憲兵容儀改す。○六月日米關稅改正條約調印。都區町村編制法制定。○八月陸奥宗光林有造國事犯にて罪せらる。在露北陸東海へ行幸。十一月還幸。○十二月陸軍參謀本部設置。	一月諭示刑を廢す。○三月勅諭の命下る。始て府縣會開會。○四月琉球藩を廢し沖繩縣を置く。○五月露國皇孫(イシノリ)と朝見。○七月米國前大統領グラント朝見。○八月三十一日今上天皇御降臨。○九月學制を廢し教育會制定。○十二月三編の有志國會開設を請願す。	一月朝鮮との講和條約成る。○三月士民の帶刀禁止。○四月官吏懲戒令を定む。○六月奧羽(行幸)七月還幸。○八月金龍公債證書發行條例を定む。揚善府を廢し瀨守府を置く。○十月神風連の變。熊本秋月萩に賊起る。尋て皆平ぐ。
朝鮮	(熙) 王 太 李				
	2540	2539	2538	2537	2536
(清) 德宗	宗 德				
	13	12	11	10	9
	二月露國冬官殿内の變。虛無黨擁護の革命出づ。○三月佛國政府(スイート)の解散を命ず。○十一月トランスワール、イギリスに反す。	三月三日サンスタフの條約。○六月ベルリン會議。列國(ロシア、フランス、普魯士、プロシヤ)の條約を改定し、ベルリン條約を締結す。○十一月英兵アラガニスタンに入る。○オーストリア軍ボスニヤ及びヘルツェゴヴィナを征服。露國の虛無黨頭官を暗殺し暗殺を企つ。○英國キヤルズ島占領。	アラガニスタンのヤクアラン、英使と平和條約を結ぶ。○オーストリア、ボリヤ、及ベルリンと戦ふ。○虛無黨、モスコ行きの皇帝の列車を要撃せん。○獨逸同盟。	露土戰爭(一八七八)。十二月ロシア軍アレクサンダーを陥れ、オスマン・パシャを降す。○イギリス、トランスワール共和國を取る。○米人デラハム・ハレル電話を實用に供す。	露土戰爭(一八七八)。十二月ロシア軍アレクサンダーを陥れ、オスマン・パシャを降す。○イギリス、トランスワール共和國を取る。○米人デラハム・ハレル電話を實用に供す。
朝鮮	(熙) 王 太 李				
	17	16	15	14	13
(清) 德宗	宗 德				
	6	5	4	3	2
	三月露帝アレクサンドル二世の暗殺。○フランスのチニス占領。○エジプトのフランス(一八八二年三月以後)の反。○七月アラガニスタン大戦領ガブリエルの暗殺。○ルーマニア王國となる。○パナマ地峽開鑿起工。○カール死す(一七九五生)。	コンスタンチノールの會合。諸強國(エジプト、プロシヤ)に宣戰す。○九月十三日アル・カリカビルの戰、アラビヤ軍敗れ捕はる。尋て流される。○カンベタ(一八三三生)及びガリバルディ(一八〇七生)死す。	フランス人安南を攻む。○六月フランス人マカガカルを攻む。○十月アリ、ペルーと平和條約を締結す。○露英伊三國同盟成る(一八八二年、五年間)。○露のゴルヂヤフ死す(一七九八生)。	一月ポルトガル軍スタンの兵を破る。○六月フランス・カンボヂヤを領有す。○八月支那戰をフランスに宣す。○九月露國獨逸三帝のスキエルニエウィツの會合。○十月クリエニヤ子午線を露國普通の子午線と定む。○ドイツ、アフリカの植民を始め。	ポルトガル軍の戦死。○フランス支那と條約を締結す。○ドイツ人マールシャル島を占領す。○マカガカル佛國の保護となる。○コンゴ自由國の創立。○東ルメラ、アルガヤと合併。○英國、バルマと開戦。○カナダ太平洋鐵道完成。
朝鮮	(熙) 王 太 李				
	1880	1879	1878	1877	1876
(清) 德宗	宗 德				
	1885	1884	1883	1882	1881
一八八五					

二五四〇、〔明治〕明治(百二十一代)	治 明				
	2540	2539	2538	2537	2536
	13 辰寅	12 卯己	11 寅戊	10 丑丁	9 子丙
	二月地方官會議内閣と諸省との分權。横濱正金銀行創立。○四月集會條例發布。○六月備兵備蓄法制定。山梨三重京師(行幸)七月還幸。○七月刑法治罪法公布。○八月朝鮮國修信使來る。	一月地租減額の詔下る(地價百分二平)。○二月西南の役起る。九月平ぐ。○三月露國郵便會社條約に加盟。○五月佐野常民大祐恒博愛社を置く。木戸孝允薨す。○八月内閣醫業博覽會開會。○十月學宮院開校式。○十一月始めて電話を試設す。	五月賤大久保利通を殺す。○六月春秋二季皇靈祭日設置。大樽警備憲兵容儀改す。○六月日米關稅改正條約調印。都區町村編制法制定。○八月陸奥宗光林有造國事犯にて罪せらる。在露北陸東海へ行幸。十一月還幸。○十二月陸軍參謀本部設置。	一月諭示刑を廢す。○三月勅諭の命下る。始て府縣會開會。○四月琉球藩を廢し沖繩縣を置く。○五月露國皇孫(イシノリ)と朝見。○七月米國前大統領グラント朝見。○八月三十一日今上天皇御降臨。○九月學制を廢し教育會制定。○十二月三編の有志國會開設を請願す。	一月朝鮮との講和條約成る。○三月士民の帶刀禁止。○四月官吏懲戒令を定む。○六月奧羽(行幸)七月還幸。○八月金龍公債證書發行條例を定む。揚善府を廢し瀨守府を置く。○十月神風連の變。熊本秋月萩に賊起る。尋て皆平ぐ。
朝鮮	(熙) 王 太 李				
	17	16	15	14	13
(清) 德宗	宗 德				
	6	5	4	3	2
	五月左宗棠哈密に至る。○六月曾紀澤を欽差大臣とし伊犁事件を交渉せしむ。○七月左宗棠を召還す。○佛國河内順化府等に兵を派す。	○秋崇厚露國と伊犁還行條約を決す。○寫に朝鮮に議起る。○是年阿富汗英國と和約を結ぶ。	侍郎崇厚を露國に遣す(初度の伊犁談判)。○十月劉銘傳等阿里達什を破る。是月趙李楊材散山等を陥れ東京大に亂る。	三月留學生を英佛二國に遣す。○四月胡里後を襲ぐ。○八月欽差大臣何如珊等を日本に遣す。○十月左宗棠天山南路を恢復す。○是年英國女王印皮女皇を稱す。	上海江浦開鑿道成る。○九月芝罘條約締結。○左宗棠回疆を破りて烏魯木齊瑪納斯等に克つ。○是年欽差大臣郭嵩焘等を英國に遣す。露國樞罕汗國を滅す。
朝鮮	(熙) 王 太 李				
	13	12	11	10	9
(清) 德宗	宗 德				
	1880	1879	1878	1877	1876
一八八〇					



明治				
2565	2564	2563	2562	4561
38 巳乙	37 辰甲	36 卯癸	35 寅壬	34 丑辛
一月近衛篤磨死す、都督部條例廢止○二月旗願及仁川の戦、露國對の宣戰勅下の、日韓議定書成る○五月英米に公債發賣、南山の戦○六月得利寺の戦、滿洲軍總司令部設置○八月黃海及蔚山沖の戦、日韓協約成る○九月遼陽の占領○十月沙河の會戰○十一月三高地占領	一月旗願開城、皇族官制誕生、副島種臣死す○三月奉天占領○五月日本海海戰○七月樺太占領○八月日英同盟擴張○九月日露平和條約成る、東京市暴民の燒打事件○十月大觀禮式行幸○十一月伊勢神宮御參拜、日韓協約再締結○十二月大使館設置、露監府設置	二月彰仁親王薨す○三月專門學校令公布○四月大阪博覽會へ行幸○五月帝國議會開會○九月久我建通死す○十月追加日清通商條約成る○十一月兵庫縣演習地へ行幸○十二月衆議院解散	一月日英同盟成る○四月英皇戴冠式參列の爲淺間宮邸二層被燒、骨牌稅法公布○五月皇皇誕生令成る○六月皇太子淳宮御誕生○七月西郷從道薨す○八月島嶼噴火○十一月九州演習地へ行幸○十二月教科書事件疑獄起る	二月薩摩藩論吉死す、帝國議會開會○三月再帝國議會開會○四月皇太子迪宮御誕生○六月桂内閣成立、星亨殺害せらる○七月ベリ記念碑建設、澎湖島馬公要港を定む○九月清國謝罪使入京○十一月宇都宮演習地へ行幸○十二月日本赤十字社條例公布
(熙) 王 太 李				
9	8	7	6	5
宗 德				
31	30	29	28	27
五月刑法改正○七月兵士の射撃を勵し新式銃術を課す、浙江東海の亂起る○九月日露平和條約成る○十月露親王理藩院尙書となる、斷髮許可○十一月露親王を日本及歐米に派遣す	正月奉天東部の開放○二月日露開戦に就き局外中立の布告○七月長沙港開港○九月英露新條約調印、清葡通商條約調印	二月廣西の土匪起る○五月日本との郵便條約成る○雲南に匪徒起る○七月上海南京間鐵道契約成る○九月支那商務局設置○十一月露兵奉天占領	正月帝及西太后還京○四月滿洲還婚條約成る○薩摩人の婚約許可○婦人纏足禁止○宋慶卒す○九月劉坤一卒す○十月欽使親王改革案を建白す○是年福建雲南等採礦契約を成す	端郡王以下置詳等處刑○四月露國との特約撤去宣言を發す○八月各國使臣會議、謝罪使辭親王は露邊に歸朝は日本に赴く○九月北清使臣會議、定章調印○十月通州鐵道開通○十一月李鴻章卒す
(清) 德 宗				
1905	1904	1903	1902	1901
七月露佛協商(モロコ問題)○同月佛國議會致敬分難可決○八月日英同盟更新○同月露國憲法發布○九月ホーワースの和約○同月アルジュラスの列國會議(モロコ問題)○十月ルウー、スワーデンより分離す○十二月モンテネグロの憲法發布	日露戰爭(一九〇五)○北アフリカに關し露佛協約○佛大統領ルベール、ローマを訪問し、露佛協商成立○英國遠征隊(ヤンクス)パナマ(西)ラッパに入る(一九〇三)○一九〇四)キラー夫妻の殺害を見す○バルタック艦隊東航發進	マケドニアの改革に關し、露の二國トルコに通牒を送る○パナマ共和国成立○米國、パナマ共和国を承認し、運河地方を借る○セルビア王暗殺○露英伊、ウエネスエラに對し艦隊運動を示す	日英同盟(五年間)○露佛宣言(東亞關係)○英露通商條約○露佛伊三國同盟の又々更新(十二年間)○露英佛の艦隊ウエネスエラ海峽を封鎖す○キーパー米國宗主權の下に共和國となる	一月滿洲六植民地の聯合成る○英女皇ウエドクトリヤ崩す○セルビア鐵道ラツァストの通過○十一月英王大アチン、アイランド王印度帝の外に海外アチン領の皇帝と稱す○十二月露佛伊條約、モロコ協約となる○バルギー、コンゴ自由國の合併を延期す

二五六五、(明治)明治(百二十一代)

韓

(清) 德 宗

一九〇五

明治				
2560	2559	2558	2557	2556
33 子庚	32 亥巳	31 戌戊	30 酉丁	29 申丙
二月品川第二部死す○三月外山正一死す○四月未成年喫煙禁止法施行、海軍大演習地兵庫縣へ行幸、皇室婚嫁令制定○五月皇太子殿下御結婚○六月東京市街鐵道私設特許○七月五日露國全部渡清○八月黒田清隆死す○九月政友會成立○十月伊藤内閣成立	一月薩安芳死す○二月東京大阪間長距離電話開始○三月著作權法公布○五月川上操六死す、○六月希國との條約締結○七月帝國黨組織成る、内地難民實地○八月私立學校令公布○九月大木喬任死す○十月小學校教育令公布○十月大木喬任死す	一月元帥府設置、監軍部を廢し教育總監部を置く、伊藤内閣成立○二月暹及亞國翌月佛國との條約締結○四月東京市市民黨三十年祭執行○六月衆議院解散、憲政黨組織成る、保安條例廢止、憲政黨内閣(大隈内閣)成る○九月日露協約發表○十一月攝河泉特別演習へ行幸、山縣内閣成立	一月英皇國大后崩す、是月西樺太第四國翌月伯國との條約締結○三月貨幣金貨本位制施行、足尾銅山鐵毒事件起る○五月露露との條約締結、六月京都市帝國大學設置○八月後藤象二郎死す○九月露國との條約締結	一月臺灣土匪蜂起(翌月平定)○二月竹敷を軍港とす○四月大本營開鎮○五月丁國六月白國との條約締結○六月日露協成る○七月清國との條約締結○八月佛國九月露國と各條約締結○九月松方内閣成立○十月露國駐露領事館開通、瑞露兩國との條約締結○十二月毛利元徳死す
(熙) 王 太 李				
4	3	2	武光	陽建
宗 德				
26	25	24	23	22
二月互濟島租借に付露韓協約○三月露韓協約及日本公使館を築く、○四月露韓協約及日本公使館を築く、○五月露韓協約及日本公使館を築く、○六月露韓協約及日本公使館を築く、○七月露韓協約及日本公使館を築く、○八月露韓協約及日本公使館を築く、○九月露韓協約及日本公使館を築く、○十月露韓協約及日本公使館を築く、○十一月露韓協約及日本公使館を築く、○十二月露韓協約及日本公使館を築く	二月互濟島租借に付露韓協約○三月露韓協約及日本公使館を築く、○四月露韓協約及日本公使館を築く、○五月露韓協約及日本公使館を築く、○六月露韓協約及日本公使館を築く、○七月露韓協約及日本公使館を築く、○八月露韓協約及日本公使館を築く、○九月露韓協約及日本公使館を築く、○十月露韓協約及日本公使館を築く、○十一月露韓協約及日本公使館を築く、○十二月露韓協約及日本公使館を築く	二月互濟島租借に付露韓協約○三月露韓協約及日本公使館を築く、○四月露韓協約及日本公使館を築く、○五月露韓協約及日本公使館を築く、○六月露韓協約及日本公使館を築く、○七月露韓協約及日本公使館を築く、○八月露韓協約及日本公使館を築く、○九月露韓協約及日本公使館を築く、○十月露韓協約及日本公使館を築く、○十一月露韓協約及日本公使館を築く、○十二月露韓協約及日本公使館を築く	二月互濟島租借に付露韓協約○三月露韓協約及日本公使館を築く、○四月露韓協約及日本公使館を築く、○五月露韓協約及日本公使館を築く、○六月露韓協約及日本公使館を築く、○七月露韓協約及日本公使館を築く、○八月露韓協約及日本公使館を築く、○九月露韓協約及日本公使館を築く、○十月露韓協約及日本公使館を築く、○十一月露韓協約及日本公使館を築く、○十二月露韓協約及日本公使館を築く	二月互濟島租借に付露韓協約○三月露韓協約及日本公使館を築く、○四月露韓協約及日本公使館を築く、○五月露韓協約及日本公使館を築く、○六月露韓協約及日本公使館を築く、○七月露韓協約及日本公使館を築く、○八月露韓協約及日本公使館を築く、○九月露韓協約及日本公使館を築く、○十月露韓協約及日本公使館を築く、○十一月露韓協約及日本公使館を築く、○十二月露韓協約及日本公使館を築く
(混) 德 宗				
1900	1899	1898	1897	1896
三月露佛協商(モロコ問題)○同月佛國議會致敬分難可決○八月日英同盟更新○同月露國憲法發布○九月ホーワースの和約○同月アルジュラスの列國會議(モロコ問題)○十月ルウー、スワーデンより分離す○十二月モンテネグロの憲法發布	三月露佛協商(モロコ問題)○同月佛國議會致敬分難可決○八月日英同盟更新○同月露國憲法發布○九月ホーワースの和約○同月アルジュラスの列國會議(モロコ問題)○十月ルウー、スワーデンより分離す○十二月モンテネグロの憲法發布	三月露佛協商(モロコ問題)○同月佛國議會致敬分難可決○八月日英同盟更新○同月露國憲法發布○九月ホーワースの和約○同月アルジュラスの列國會議(モロコ問題)○十月ルウー、スワーデンより分離す○十二月モンテネグロの憲法發布	三月露佛協商(モロコ問題)○同月佛國議會致敬分難可決○八月日英同盟更新○同月露國憲法發布○九月ホーワースの和約○同月アルジュラスの列國會議(モロコ問題)○十月ルウー、スワーデンより分離す○十二月モンテネグロの憲法發布	三月露佛協商(モロコ問題)○同月佛國議會致敬分難可決○八月日英同盟更新○同月露國憲法發布○九月ホーワースの和約○同月アルジュラスの列國會議(モロコ問題)○十月ルウー、スワーデンより分離す○十二月モンテネグロの憲法發布

二五六〇、(明治)明治(百二十一代)

韓

(混) 德 宗

一九〇〇

二五七二、(明治・大正) 明治(百二十一代) 今上(百二十二代)	上	今	治	明	治	明
	2572			2571		
	正大 45 子壬			44 亥辛		
<p>一月東久世通商條約、國際紛争平和の處理條約等公布○二月高崎正風西寛二郎各艦ヲ、日佛通商航海條約公布○三月西德二郎各艦ヲ、日佛通商航海條約公布○四月石本新六各艦ヲ、日佛通商航海條約公布○五月高橋新六各艦ヲ、日佛通商航海條約公布○六月日丁通商航海條約公布○七月三十日明治天皇崩御六十一、今上天皇踐祚○七月三十日以後を大正元年と改めらる、同三十一日朝見式舉行○八月臨時帝國議會召集○九月李慕公去、大喪儀舉行、乃木希典薨○十二月桂内閣成立。</p>			<p>二月島地獄電報○四月修正日米通商航海條約公布○五月日英通商航海條約公布、堀田正善谷千城各艦ヲ○六月大島圭介各艦ヲ、帝國外十三國通商航海條約公布○七月日佛日語及日佛通商航海條約公布、高等中學校令公布○八月日佛通商航海條約公布、西園寺内閣成立○九月朝鮮貴族同盟會成立、日露通商航海條約公布○十月朝鮮貴族同盟會成立、日露通商航海條約公布○十一月日露通商航海條約、日露西問居住通商條約公布。</p>			
國民華中			統宣			
元紀			3			
<p>一月孫逸仙南京にて大總統就任を宣言す、革命軍艦隊式舉行○二月蒙古土謝圖汗王卒す、帝政を辭し袁世凱に假政府を組織せしむ○三月袁世凱大總統就任宣言式を舉行す、袁紹統帥となる○四月參議院開會式舉行○六月唐紹儀辭し陸徵祥代る○七月周學熙辭し袁世凱に辭職を呈す○八月和蘭事件落着、民國國務員に選舉す○八月和蘭事件落着、民國議會法發布、陸徵祥總理を辭し趙秉鈞代る、蒙古軍起る○十月連順順對號復古○十一月露蒙密約締結。</p>			<p>一月宣統院會期終了、漢口に暴動起る、廷杰卒す○四月四國借款調印○五月新内閣任命慶親王總理大臣となる、英清阿片條約調印○九月四川暴動起る○十月革命軍起る○十月袁世凱入京○十二月革命軍南京を陥る○起黃興大元帥に推され孫逸仙大總統當選。</p>			
1912			1911			
<p>鄂國政分難運動起る○伊國軍艦ベイルト、海内に十國軍艦二隻沈没○伊帝遣艦、無事○モロコシの保護國となる○バルカン戰役(一九一三)、十月希臘、アルガリア、セルビア、モンテネグロの四國聯合して各土間に宣戰す○四月ローマの和約(伊土間)○アルバニア獨立宣言○三國同盟締結(十二年間)。</p>			<p>モスコの憲法發布○米國のニカラガ新政府承認○日米新條約(ワシントン)の簽署○ロスチャイルド死○伊和蘭問題(露佛間)解決○英米仲成條約成立○日英同盟の改正○露獨協約(布列斯特)につき○アラガガ、露國第一世大總統當選○九月伊土開戰(一、九一三)○十一月伊國トリポリ、ケルナイカ併合宣言○モロコシ問題(佛獨間)定まる○イルワー人アマントセン南極を發見す。</p>			
一九二二						

(清)(宣統宗)(中華民國)

二五七〇、(明治) 明治(百二十一代)	治					二五七〇、(明治) 明治(百二十一代)			
	2570	2569	2568	2567	2566				
	43 戌庚	42 酉己	41 申戊	40 未丁	39 午丙				
<p>三月倭木高行薨す、皇族身位令皇室親族令公布○五月富貴宮内親王朝香宮へ御成婚○七月日露協約成る○八月韓國併合條約成る○九月曾爾野助薨す○十月一等勳章河内進水式舉行○十二月東北帝國大學及九州帝國大學官制公布。</p>					<p>一月九條道署署ヲ、西園寺内閣成立○二月英國皇族コンノト朝來朝○三月朝香宮田兩宮御創立○四月凱旋大觀兵式舉行○七月兒玉源太郎薨す○加奈陀通商條約成る○八月開東都督府官制公布○九月旅順鎮守府條約公布○十一月智利通商條約成る。</p>				
(王) 李					(熙) 王太李				
4					3				
統宣					宗德				
2					34				
<p>二月上海にて萬國阿片會議開議○五月軍政統一の詔を下す○六月慶親王薨す○七月袁世凱大總統就任宣言發布○十月清新協約成る○九月張之洞卒す○十一月陸軍軍官任用令成る、國會議院運動起る。</p>					<p>二月集會社條例發布○六月清議院約發布、各省諮議局建設を命ず○八月國會開議期限發布○十月西太后及德宗帝崩す、醇親王攝政○十一月宣統帝即位式舉行○十二月禁衛門の新設。</p>				
1910					1909				
<p>二月、露獨協約(モロコシ)問題○北米合衆國西部の排日運動○中米のサルトルとニカラガの開戰○土耳其帝國アルバニア、マケドニア、セルビアの併合○アルバニアの獨立を承認○西露牙内閣○波斯變亂國王即位○米國海陸軍部改組○二月、露獨協約(モロコシ)の暗殺○マケドニア改革問題○トルコ軍隊の叛亂○トルコ憲法の發布○アルバニアの獨立宣言○地地利ボニア、ヘルツェゴヴィナ二州の合併○土耳其國會議員、ヘルツェゴヴィナ、飛行船の十二時間飛行に堪ゆることを確證す○ワグネル、希臘に合同を要求す○モロコシ、コンゴ自由國を合併す。</p>					<p>二月、露獨協約(モロコシ)問題○北米合衆國西部の排日運動○中米のサルトルとニカラガの開戰○土耳其帝國アルバニア、マケドニア、セルビアの併合○アルバニアの獨立を承認○西露牙内閣○波斯變亂國王即位○米國海陸軍部改組○二月、露獨協約(モロコシ)の暗殺○マケドニア改革問題○トルコ軍隊の叛亂○トルコ憲法の發布○アルバニアの獨立宣言○地地利ボニア、ヘルツェゴヴィナ二州の合併○土耳其國會議員、ヘルツェゴヴィナ、飛行船の十二時間飛行に堪ゆることを確證す○ワグネル、希臘に合同を要求す○モロコシ、コンゴ自由國を合併す。</p>				
1910					1907				
<p>二月、露獨協約(モロコシ)の暗殺○マケドニア改革問題○トルコ軍隊の叛亂○トルコ憲法の發布○アルバニアの獨立宣言○地地利ボニア、ヘルツェゴヴィナ二州の合併○土耳其國會議員、ヘルツェゴヴィナ、飛行船の十二時間飛行に堪ゆることを確證す○ワグネル、希臘に合同を要求す○モロコシ、コンゴ自由國を合併す。</p>					<p>二月、露獨協約(モロコシ)の暗殺○マケドニア改革問題○トルコ軍隊の叛亂○トルコ憲法の發布○アルバニアの獨立宣言○地地利ボニア、ヘルツェゴヴィナ二州の合併○土耳其國會議員、ヘルツェゴヴィナ、飛行船の十二時間飛行に堪ゆることを確證す○ワグネル、希臘に合同を要求す○モロコシ、コンゴ自由國を合併す。</p>				
1910					1906				
<p>二月、露獨協約(モロコシ)の暗殺○マケドニア改革問題○トルコ軍隊の叛亂○トルコ憲法の發布○アルバニアの獨立宣言○地地利ボニア、ヘルツェゴヴィナ二州の合併○土耳其國會議員、ヘルツェゴヴィナ、飛行船の十二時間飛行に堪ゆることを確證す○ワグネル、希臘に合同を要求す○モロコシ、コンゴ自由國を合併す。</p>					<p>二月、露獨協約(モロコシ)の暗殺○マケドニア改革問題○トルコ軍隊の叛亂○トルコ憲法の發布○アルバニアの獨立宣言○地地利ボニア、ヘルツェゴヴィナ二州の合併○土耳其國會議員、ヘルツェゴヴィナ、飛行船の十二時間飛行に堪ゆることを確證す○ワグネル、希臘に合同を要求す○モロコシ、コンゴ自由國を合併す。</p>				

(清) 德宗(宣統帝)

一九一〇

二五七七、 〔大正〕今上 〔百二十二代〕	今	
	2577	2576
	6 巳丁	5 辰丙
	<p>一月萬島嶼之助艦、臺灣警備令公布 ○二月加藤弘之、三月日本ボリウイア開通商條約調印、中津田會之助艦 ○五月北海道鐵道一千哩實式舉行 ○七月關島生命保險法公布、日露條約締結、岡市之助艦 ○八月工場法施行令、上村彦之丞、日支兩兵艦衝突 ○九月縣族世襲財產法施行規則 ○十月宮内省臨時編纂部職制 ○十一月立太子の大禮を行はせ給ふ ○十二月海軍召集令制定、大山巖薙す。</p>	<p>一月公立學校職員制公布 ○三月黒田清綱薙す ○四月訓令公布 ○六月臨時外交調査委員會設置 ○七月軍事教護法公布、花房實武薙す、關島實武勳法公布 ○八月國立感化院令公布、菊池大福、田養人各薙す ○九月星野稔薙す、臨時教育會議官制公布 ○十月青島守備軍民政部例公布 ○十一月日米共同宣言 ○十二月山尾庸三、青山嵐通各薙す。</p>
	中華民國	
	6	5
	<p>一月劉永福薙す各各殊す ○三月國交斷絶通告 ○五月總理段祺瑞免職(後再任) ○六月國會解散、李經羲總理任 ○七月張勳復辟運動開始、張勳段祺瑞等と戦ひて敗る、馮國璋大總統任 ○八月參戰可決、對德宣戰布告 ○九月廣東軍政府組織(徐文大元帥となる)、孫文等逮捕令發布 ○十月籌備國會事務局長例制定 ○十一月總理段祺瑞辭任(大塚代班) ○十二月停戰令布告。</p>	<p>一月日露英客公使に帝制延期通告 ○三月廣西獨立帝政取消令 ○四月廣東浙江獨立、段祺瑞內閣成立 ○五月山東省運動起る日本兵一名即死、陳其美殺さる ○六月袁世凱卒す、黎元洪大總統となる、段祺瑞內閣組織 ○八月軍事事件起る ○九月憲法編纂會開會 ○十月袁世凱卒す ○十一月曹錕參事卒す、國葬條例制定、馮國璋副總統就職式舉行。</p>
	1917	
	1916	1915
一九一七	<p>一月聯合軍がボリを破る、連軍黒山國首府を陥れ、スターリ占領、二月國軍がスターリ大敗開始(六月)三月、聯軍に宣戰、五月北海の英獨海戦、六月聯合軍經濟會議パリに開催、八月伊萬開戦、ルーマニアに宣戰、十一月、俄國獨立宣言、連軍フランスに占領、十二月、メキシコ、獨逸等聯合國に調和の通牒を發す ○モツチ元帥死。</p>	<p>一月英佛露伊のローマ會議、蘭國停戦の英獨海戦、四月米獨交戰狀態、メキシコ占領、六月米獨遠征軍パリに到着(パリ宣言) 七月、露獨に第一女軍國の調和式舉行、八月支那、緬甸に宣戰、法王交戰國に調和を通告す、九月獨逸軍が占領、十月伊萬インゲンに大敗、十二月末、埃に宣戰、英軍トルヴェル占領、アレストリトウスタの休戰(露と中歐國) ○三月露國革命勃發、新政府成立、皇帝幽閉、七月ウラヂナ及フランス獨立宣言、新政府首領リヂーナ公辭職(レンスキー代る、十一月レンスキーの政府、レーニンの過激派政府(一名勞農政府)代る。</p>

二五七五、 〔大正〕今上 〔百二十二代〕	今		
	2575	2574	2573
	4 卯乙	3 寅申	2 丑癸
	<p>一月畜産組合法、米價調節法公布 ○二月日支交渉開始、宮中席次令公布、岩村通俊薙す ○三月香川敬三薙す ○四月松平正直薙す ○五月日支條約調印 ○六月無業業法公布 ○七月日西條約公布、日佛宣言書交換 ○八月佐久間左馬太薙す、大體紀念奉制定 ○九月井上馨薙す ○十月朝鮮鐵道一千哩祝賀式舉行 ○十一月恩赦詔、米田虎雄薙す ○十二月吉川重吉薙す。</p>	<p>一月鹿兒島縣櫻島噴火、海軍救済問題起る ○三月松田正久薙す、大正博覽會開設 ○四月皇太后陛下崩御、大隈內閣成立 ○八月對露邊境警備勅令、日露國交斷絶 ○十月我軍ハルト島占領 ○十一月我軍青島占領 ○十二月衆議院解散、赤十字救護班英國派遣。</p>	<p>一月帝國大學改稱 ○二月山本內閣成立 ○四月日華國民會成立 ○五月東亞氣象委員長會議(於東京) ○六月行政整理、日露日伊通商條約公布 ○七月有栖川宮威仁親王薙去 ○九月東北帝國大學開校 ○十月日露通商航條約公布 ○桂太郎薙す ○十一月瀋陽地方(行幸) ○十二月臺灣革命的臨時事件判決。</p>
	中華民國		
	4	3	2
	<p>一月露蒙文恰克圖條約調印 ○四月山東省土曜起る ○五月日支交渉開議 ○十月國民代表大會組織法公布 ○十一月山東省福口開議 ○十二月袁世凱登極承詔 ○奉天雲南に獨立。</p>	<p>二月露俄船輪やむ、直隸總督趙秉鈞卒す ○四月新聞紙條約公布、昌黎事件解決 ○五月支那新約法條約公布、徐世昌內閣成立、參政院大總統選舉法決定。</p>	<p>一月地方長官官制發布、蒙通條約調印 ○二月清國陸海軍皇后崩、英國通商新條約締結 ○三月宋教仁殺さる ○四月支那國會開設 ○六月憲法起草委員會成立 ○七月討袁軍蜂起、南北兩軍砲火を交す、總理趙秉鈞辭任、曹錕代る ○九月南京事件、日支交渉開始、昌黎事件起る、南京陥る ○十月袁世凱大總統當選、黎元洪副となる ○十一月露支條約調印。</p>
	一九一五		
	1915	1914	1913
	<p>一月北海の英獨海戦、三月二十七日獨逸艦隊の英艦沈没開始、三月、メキシコ占領、聯合軍がボリ半島に上陸、五月伊萬開戦、八月ローマ法王交戰國に調和を通告す、ワルター降格、九月英佛露獨不調和を約し十一月日伊加入、十月、アルチバドに占領、獨逸軍ベルギーに占領、十二月聯合國軍事會議パリに開催 ○三月、ワルター死 ○四月英國宮中の禁酒。</p>	<p>一月北極の英獨海戦、三月、メキシコ占領、聯合軍がボリ半島に上陸、五月伊萬開戦、八月ローマ法王交戰國に調和を通告す、ワルター降格、九月英佛露獨不調和を約し十一月日伊加入、十月、アルチバドに占領、獨逸軍ベルギーに占領、十二月聯合國軍事會議パリに開催 ○三月、ワルター死 ○四月英國宮中の禁酒。</p>	<p>愛蘭自治案上程、上下兩院の協議成らず ○米獨海軍交戰敗る ○七月歐洲大戰起る(六月二十八日)獨逸軍太子夫婦暗殺、七月二十八日獨逸國軍と露軍(八月一日)獨逸開戦、二日俄軍ルンペン占領、三日佛獨開戦、四日獨逸軍白海に入る、同日英獨開戦、八日露、獨逸國と開戦、十二日英佛、獨逸國と開戦、二十三日日露開戦、九月、メキシコ河津の戰、十月、獨逸軍が占領 ○八月、メキシコ運河開通。</p>

二五七八、(大正)今上(百二十二代)

上 今

2578

7 午戌

二月押川則吉自殺す。三月電氣博覽會開設。四月池田謙吉死す。五月農相米穀賣占人に戒告。米人へ一デー罷職す。東司通船罷職す。日支軍事協定締結。七月河内艦隊沈没。西伯利亞出兵決定。八月米穀動京大販其他に起る。浦邊渡邊總指揮官出發す。穀物收用令公布。我軍クラスノヤハルスキを占領す。九月經濟調查會設置。原内閣成立。大浦武蔵死す。十月中野武蔵卒す。尾崎三良輔死す。十一月土方久元死す。歐洲大戰後休戰條約成立す。西園寺公望、牧野伸顯調和使節に決定す。皇宮典範増補御治定。

中華民國

7

二月國會組織法兩院院選舉法公布。陝西の獨立宣布。三月北軍岳州回復。四月段祺瑞漢口會議を開く。全會商會天津に開會す。公債令公布。五月對歐通商禁止令公布。日支軍事協定締結。八月新國會議院開會式舉行。湯化龍復職。十月徐世昌の大總統就任式舉行。總理段祺瑞職を免じ。熊希齡代理總理に任ず。十一月停戰命令發布。教育振興及鴉片清廢令發布。

1918

一月米國大統領ワシントン十四條の平和意見を發表す。三月アレクサンドロフの條約(獨、澳、土、軸と露)。二十一日獨軍西部戰線に大攻撃開始。フランドル將軍西部の聯合軍總司令官となる。四月獨の艦艇艦隊退却。九月アルカリアの大攻撃。十月獨軍總退却。七月獨軍の大攻撃。聯合軍ヒンデンブルグ陣地を突破す。土耳其の休戦。ボスニアの共和宣言。十一月三日獨軍の休戦。二國同盟破る。四日獨軍に反亂起り(キール軍水兵反す)。四方獨軍。九日獨軍退位。和議に亡命。十一月獨軍の休戦(歐洲大戰終結)。十二日獨軍退位。十三日獨軍に社會黨の假政府樹立。獨逸の諸君主退位。諸共和和を宣言す。七月八月獨の皇帝退位。歐露及シベリアの諸所に新政府樹立せらる。九月全露臨時政府成立(初めワシントン)。後オムスクに遷る。十一月チエリシロフ、キヤ共和国成る。

中華民國

一九一八

二五七九、(大正)今上(百二十二代)

上 今

2579

8 未巳

一月臺灣教育令發布。李太王殿下薨去。有地品之尤福島安正各死す。アンドレフカ附近の激戦。二月流行感冒熱。伊東義五郎死す。寺崎廣業死す。三月日支戰事狀態終了。三島潤太郎。橋本孝弟各死す。四月竹田官佐久殿王下薨去。橋本市大火。七月七百餘戶焼失。五月兩陛下。續續社へ行幸。皇太子殿下御成式。東京。東京。五月二十年祝賀會舉行。渡邊國武三島設(中世)各死す。六月通大寺實則。第二十師團開會式舉行。岡田通和條約調印。七月平和祝賀會舉行。板垣退助死す。寬城子事件起る(將校一名下士以下十六名死)。東京市各新聞休刊三日(活版工増給強請)。八月調和大使西園寺公望歸朝。實作元八姓田家門各死す。九月調和使牧野伸顯歸朝。河津義孝死す。十月三井八郎次郎死す。國際労働會議委員出發。國際空中協約成る。帝國飛行會飛行郵便を試む。明石元次郎死す。十一月寺内正毅死す。大村益次郎五十年祭舉行。久原野茂死す。世界大戰調和條約正文發表。十二月小松原英太郎死す。

中華民國

8

一月商工業振興令及禁烟密查令發布。軍政府を護法政府と改稱。陸軍部顧問等歐洲諸和員に決定。二月南北和平會議開催。未開銀行家ジョアンボット來支す。三月陸軍司法權限令發布。四月上海商業公團對外宣言。五月北京大學山東問題に付舉行す。南北和平會議決議(後再會議開催)。英國と西園寺問題交渉。六月日英米伊米五國公使第二次南北和平勸告。總理段祺瑞提出(眞心漢總理代理)。對俄調和條約不調印。七月寬城子にて日支南兵衝突。八月山東居留民大會青島に開催。國會閉會(翌月再會議)。九月寬城子事件交渉開始。總理代理眞心漢。十月新國會と契約。十一月新國會議務總理に任ず。廣東國會にて憲法制定會議す。十二月小幡公使排日運動に抗議す。

中華民國

一九一九

1919

一月ルースベルト死(一八五八生)。獨逸スパルタクス國首領リーアウキヒト殺さる。パリに對獨備前議和會議開始。愛蘭獨立宣言。二月獨逸大統領選舉を行ふ。エーハルト當選。三月伊國フシテ國成立(國長ムッソリーニ)。四月印度各地不獨。五月首相會議。日本の委任狀を決定す。六月開始して大西洋無停留橫斷飛行舉行。聯合國と獨逸の調和條約調印(ヴェルサイユに於て。廿八日)。七月英米佛三國協約發表。米國上院盛に山東問題を論ず。八月英國と波斯の協約發表(波斯英國の保護國となる)。九月聯合國と獨逸の調和條約調印(ヴェルサイユに於て)。十月國際労働會議(ワシントンに於て)。十一月オムスク政府(獨裁官コルチコフ提督)過激軍に敗れオムスクを潰滅す。米國上院、對獨調和條約批准を否決す。聯合國とアルカリアの調和條約調印(パリに於て)。





上 今

2582

11 戊壬

一月大隈重信病歿、神太町村制公布... 二月山縣有朋病歿、三月華盛頓會議開幕...

國民華中

11

一月段芝貴等六名特赦、孫文陳炯明討伐會宣言、青島濟南膠州列國通商港として開放...

1922

開逸賠償金支拂停滯す(去年末—今年初)一月カンヌ會議、佛蘭克林ケラー内閣成立...

上 今

2583

12 亥癸

一月郵便規則改正、海軍大將島村速雄に元帥の稱號を贈はる... 二月伏見官費増徴王陛下詔去(國葬)、黒木爲楨病歿...

國民華中

12

一月山東鐵道引續完了、張紹曾總理任官、張總理の南北統一案議院通過...

1923

一月パリ會議(ロンダン會議)の繼承、決闘、賠償委員會ル地方の占領を決定...



(1)

錄附表年界世新最

敏 達 三十一代 一一二 二四三 五二	仁 賢 二十四代 一一一 五八八	反 正 十九代 一〇〇 七六一	成 務 十三代 八七九 五〇一	孝 靈 七代 四三七 四六一	神 武 二代 七六一
用 明 三十一代 一一二 四七五	武 烈 二十五代 一一一 六六八	允 恭 十九代 一一〇 一七三	仲 哀 十四代 八八五 〇二	孝 元 八代 五四七 〇三七	綏 靖 二代 一一八 二〇
崇 峻 三十二代 一一二 五二七	繼 體 二十六代 一一一 九六七	安 康 二十代 一一一 六三	(神功皇后九二九)	開 化 九代 五五〇 三三	安 寧 三代 一一一 〇二
○推 古 三十三代 一一一 八八二	安 閑 二十七代 一一一 九五	雄 略 二十一代 一一一 三九六	應 神 十五代 九八六 〇〇	崇 神 十代 六五六 一四	懿 德 四代 一一一 八四一
舒 明 三十四代 一一一 〇八九	宣 化 二十八代 一一一 九九五	清 寧 二十二代 一一一 四三九	仁 德 十六代 一〇九 五七三	垂 仁 十一代 七六三 〇二	孝 昭 五代 二一八 八六
○皇 極 三十五代 一一一 〇〇五	欽 明 二十九代 一一一 三九九	顯 宗 二十三代 一一一 四七五	履 中 十七代 一一〇 六六〇	景 行 十二代 七七三 〇一	孝 安 六代 三二六 〇九

附  
錄

本朝聖帝表(御在位年間は足かけの計算になすまた○は女帝なり)

孝德	三十一代	一一三〇	齊明	三十七代	一一三一	天智	三十八代	一一三二	弘文	三十九代	一一三三	天武	四十代	一一三四	持統	四十一代	一一三五
文武	四十二代	一一三五	元明	四十三代	一一三六	元正	四十四代	一一三七	聖武	四十五代	一一三八	孝謙	四十六代	一一三九	淳仁	四十七代	一一四〇
稱徳	四十八代	一一四三	光仁	四十九代	一一四四	桓武	五十代	一一四五	平城	五十一代	一一四六	嵯峨	五十二代	一一四七	淳和	五十三代	一一四八
仁明	五十四代	一一五〇	文徳	五十五代	一一五一	清和	五十六代	一一五二	陽成	五十七代	一一五三	光孝	五十八代	一一五四	宇多	五十九代	一一五五
醍醐	六十代	一一五五	朱雀	六十一代	一一五九	村上	六十二代	一一六〇	冷泉	六十三代	一一六一	圓融	六十四代	一一六二	花山	六十五代	一一六三
一條	六十六代	一一六四	三條	六十七代	一一六七	後一條	六十八代	一一六八	後朱雀	六十九代	一一六九	後冷泉	七十代	一一七〇	後三條	七十一代	一一七一
白河	七十二代	一一七三	堀河	七十三代	一一七四	鳥羽	七十四代	一一七五	崇徳	七十五代	一一七六	近衛	七十六代	一一七七	後白河	七十七代	一一七八
二條	七十八代	一一八二	六條	七十九代	一一八三	高倉	八十代	一一八四	安徳	八十一代	一一八五	後鳥羽	八十二代	一一八六	土御門	八十三代	一一八七
順徳	八十四代	一一八七	仲恭	八十五代	一一八八	後堀河	八十六代	一一八九	四條	八十七代	一一九〇	後嵯峨	八十八代	一一九一	後深草	八十九代	一一九二
龜山	九十代	一一九三	後宇多	九十一代	一一九四	伏見	九十二代	一一九五	後伏見	九十三代	一一九六	後二條	九十四代	一一九七	花園	九十五代	一一九八

後醍醐	九十六代	一一九七	後村上	九十七代	一一九九	後龜山	九十八代	一二〇〇	後小松	九十九代	一二〇一	稱光	百代	一二〇二	後花園	百一代	一二〇三
後土御門	百二代	一二〇四	後柏原	百三代	一二〇六	後奈良	百四代	一二〇七	正親町	百五代	一二〇八	後陽成	百六代	一二〇九	後水尾	百七代	一二一〇
明正	百八代	一二二八	後光明	百九代	一二三〇	後西院	百十代	一二三一	靈元	百十一代	一二三二	東山	百十二代	一二三三	中御門	百十三代	一二三四
櫻町	百十四代	一二三九	桃園	百十五代	一二四〇	後櫻町	百十六代	一二四一	後桃園	百十七代	一二四二	光格	百十八代	一二四三	仁孝	百十九代	一二四四
孝明	百二十代	一二五〇	明治	百二十一代	一二五二	今上	百二十二代	一二五三	後櫻町	百二十三代	一二五四	光格	百二十四代	一二五五	仁孝	百二十五代	一二五六

(北朝)

本朝將軍表(將軍在職年間は足かけの計算とす)

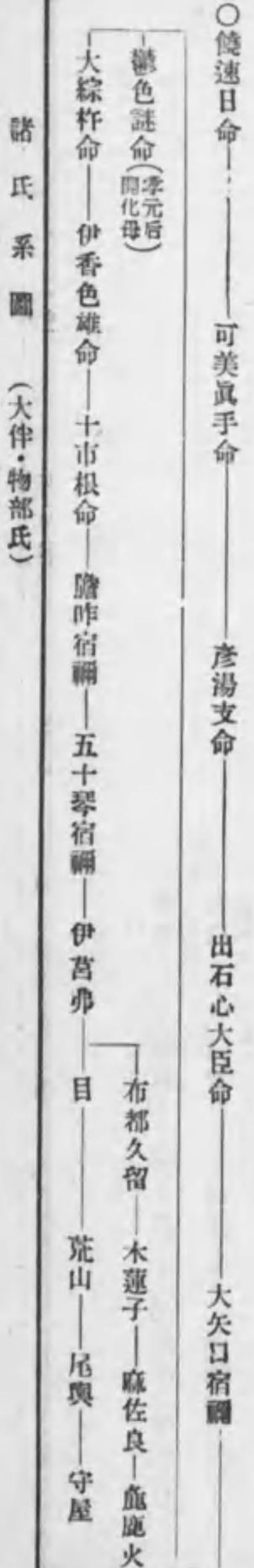
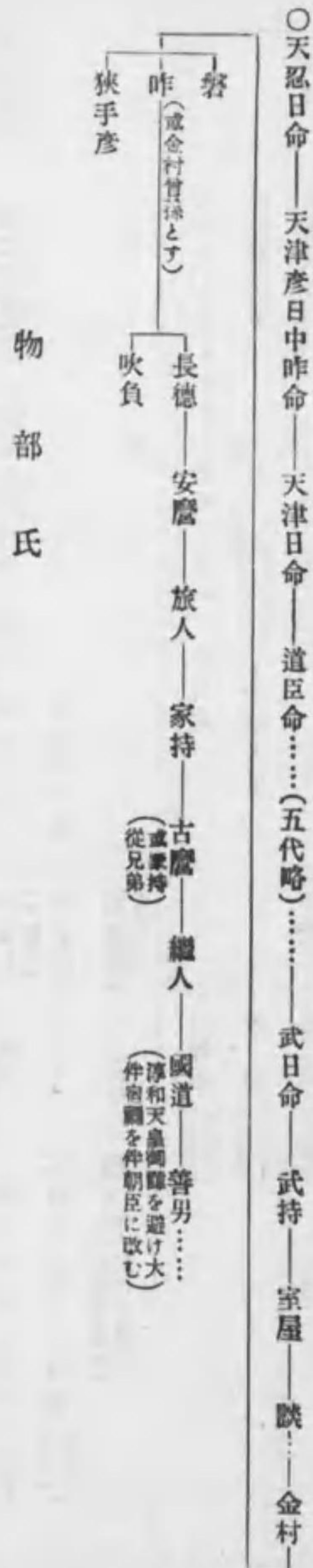
源頼朝 一八五二 源頼家 一八六二 源實朝 一八七三 藤原頼經 一八八六 藤原頼嗣 一九〇二

(光明) 一九九六 (崇光) 二〇〇九 (後光嚴) 二〇二二 (後圓融) 二〇三二 (後小松) 二〇四三

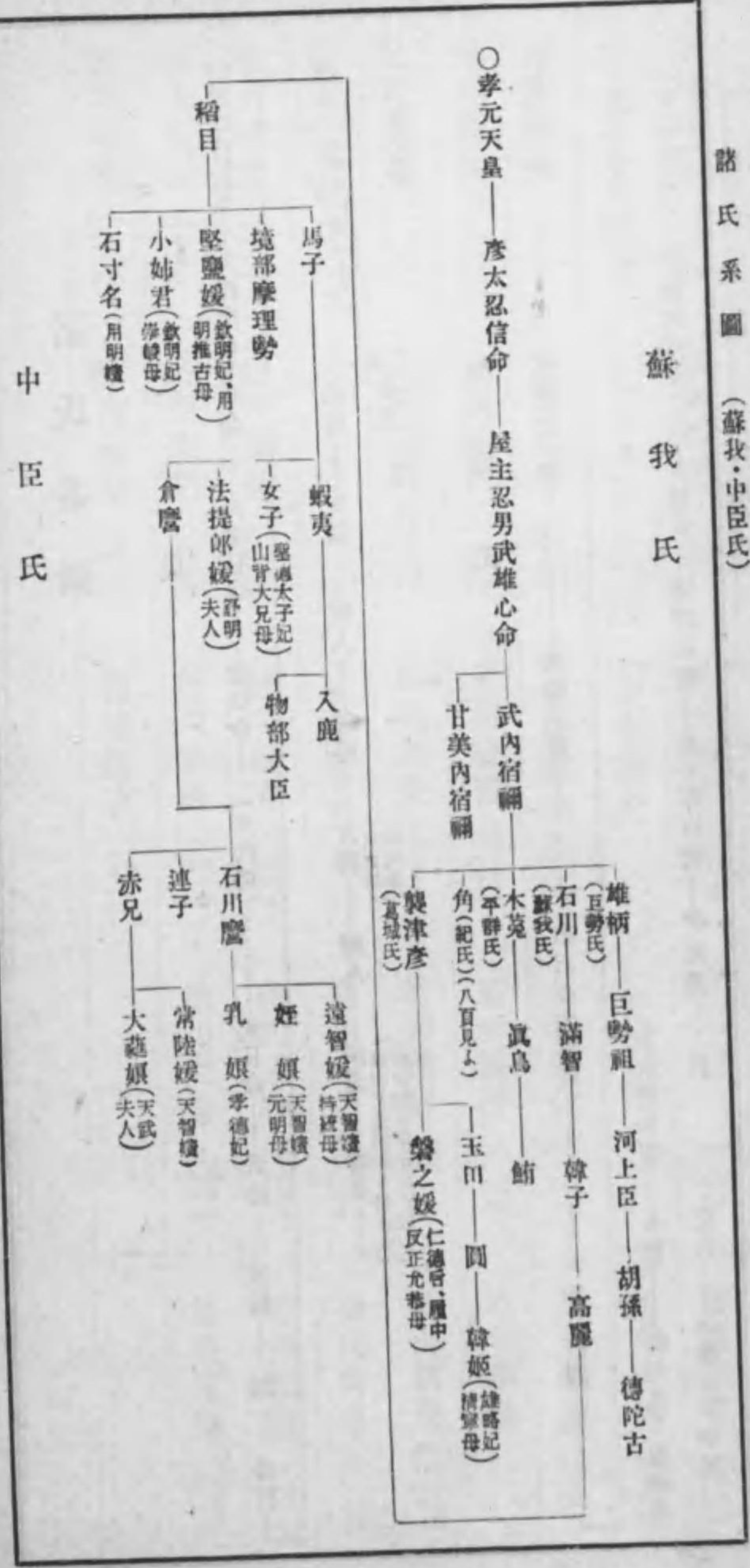
宗尊親王 一一九二六	惟康親王 一一九二六	久明親王 一一九四九	守邦親王 一一九六八	護良親王 一九九三
成良親王 一九九五	(足利尊氏 二〇一八)	(足利義詮 二〇二七)	(足利義滿 二〇二八)	足利義滿 二〇五二
足利義持 二〇八三	足利義量 二〇八三	(足利義持 二〇八五)	足利義教 二〇八九	足利義勝 二〇〇三
足利義政 二一〇九	足利義尚 二一三三	足利義種 二一五〇	足利義澄 二一五八	足利義種 二一六八
足利義晴 二一八一	足利義輝 二二〇六	足利義榮 二二三八	足利義昭 二二三三	(織田信長) 二二四二
(豐臣秀吉) 二二四五	(豐臣秀次) 二二五二	(豐臣秀吉) 二二五五	德川家康 二二六三	德川秀忠 二二八五
德川家光 二二八三	德川家綱 二二九〇	德川綱吉 二二九〇	德川家宣 二二九二	德川家繼 二二九七
德川吉宗 二二七六	德川家重 二二〇五	德川家治 二二四〇	德川家齊 二四九七	德川家慶 二四九七
德川家定 二二八三	德川家茂 二二八八	德川慶喜 二二七六		

諸氏系圖

大伴氏

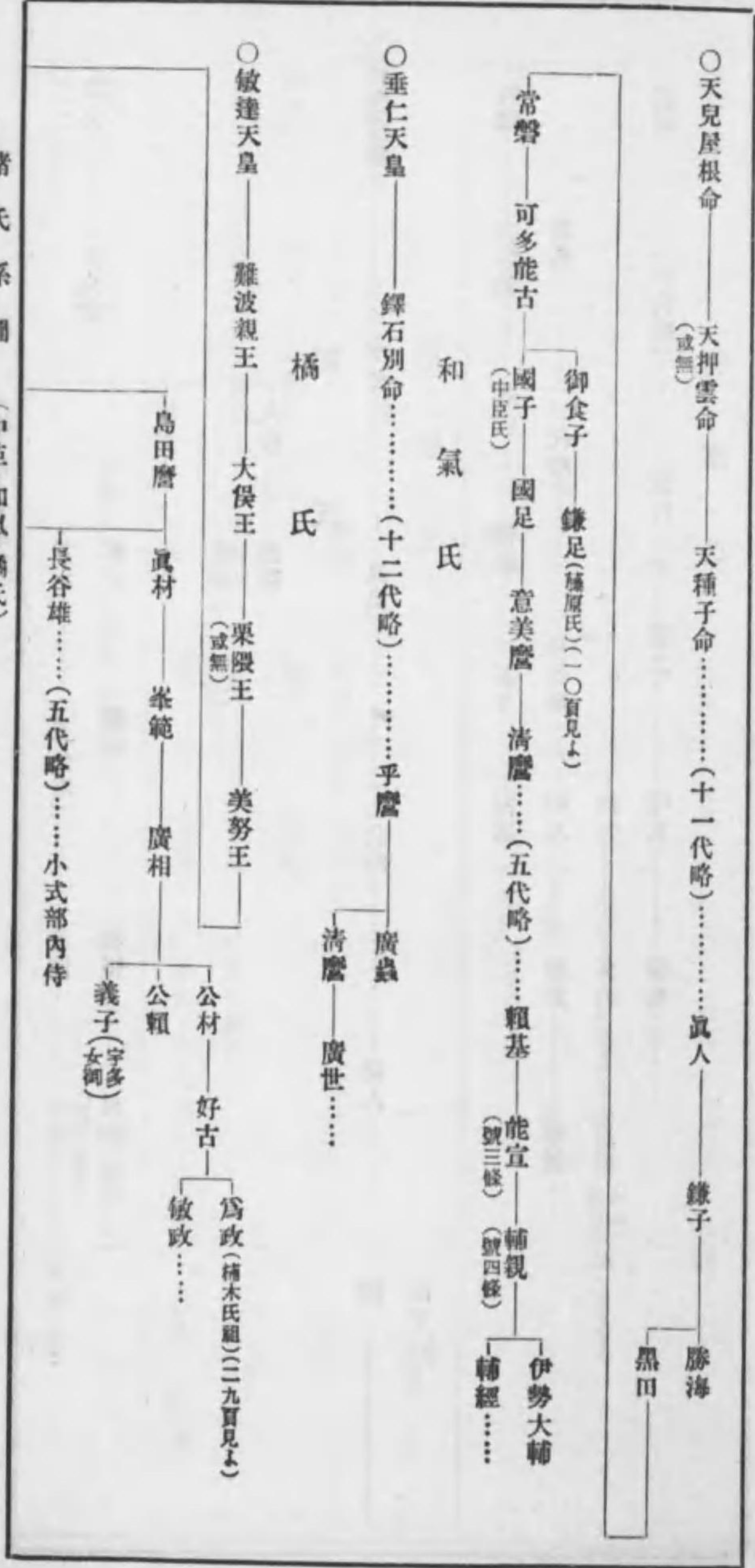


諸氏系圖 (蘇我·中臣氏)

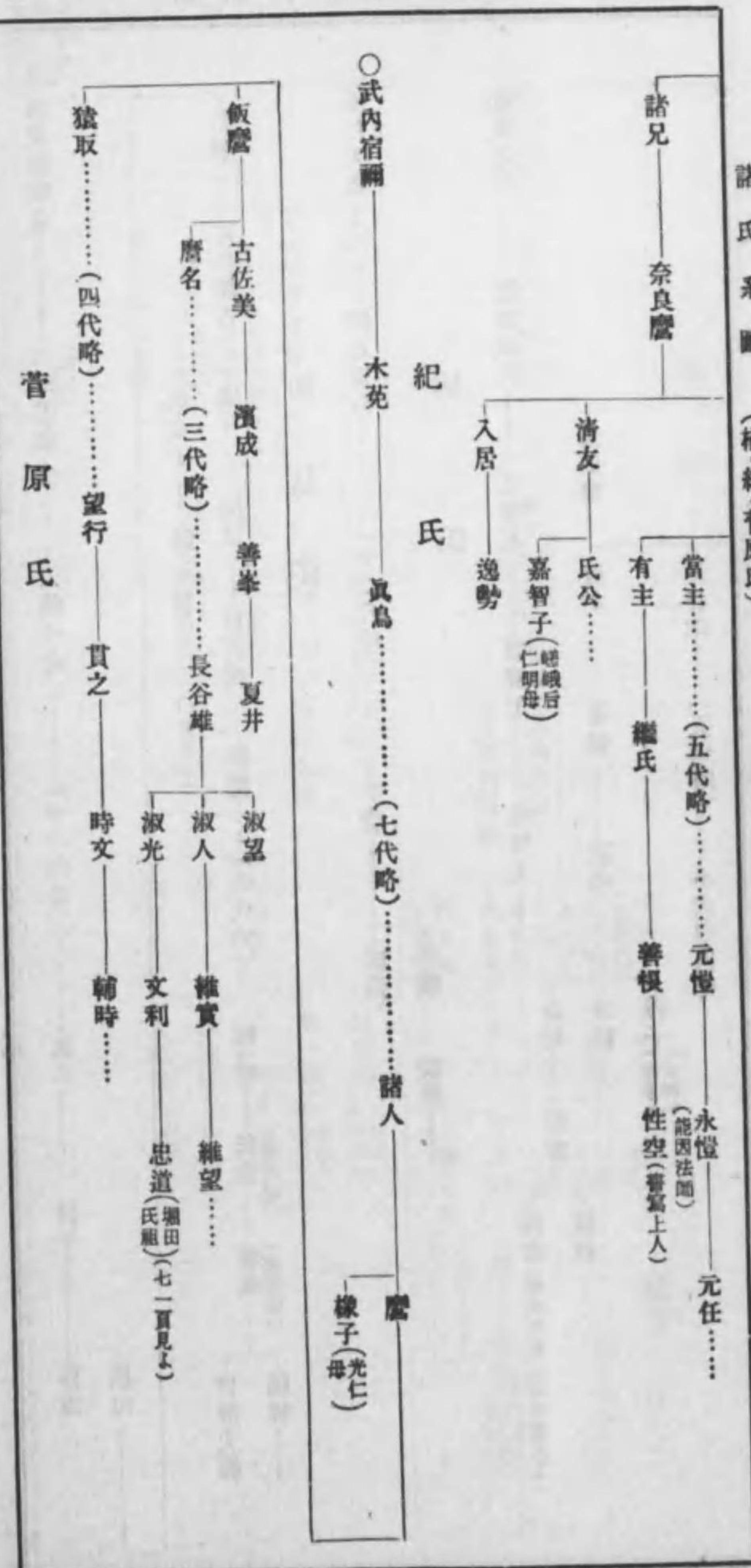


中臣氏

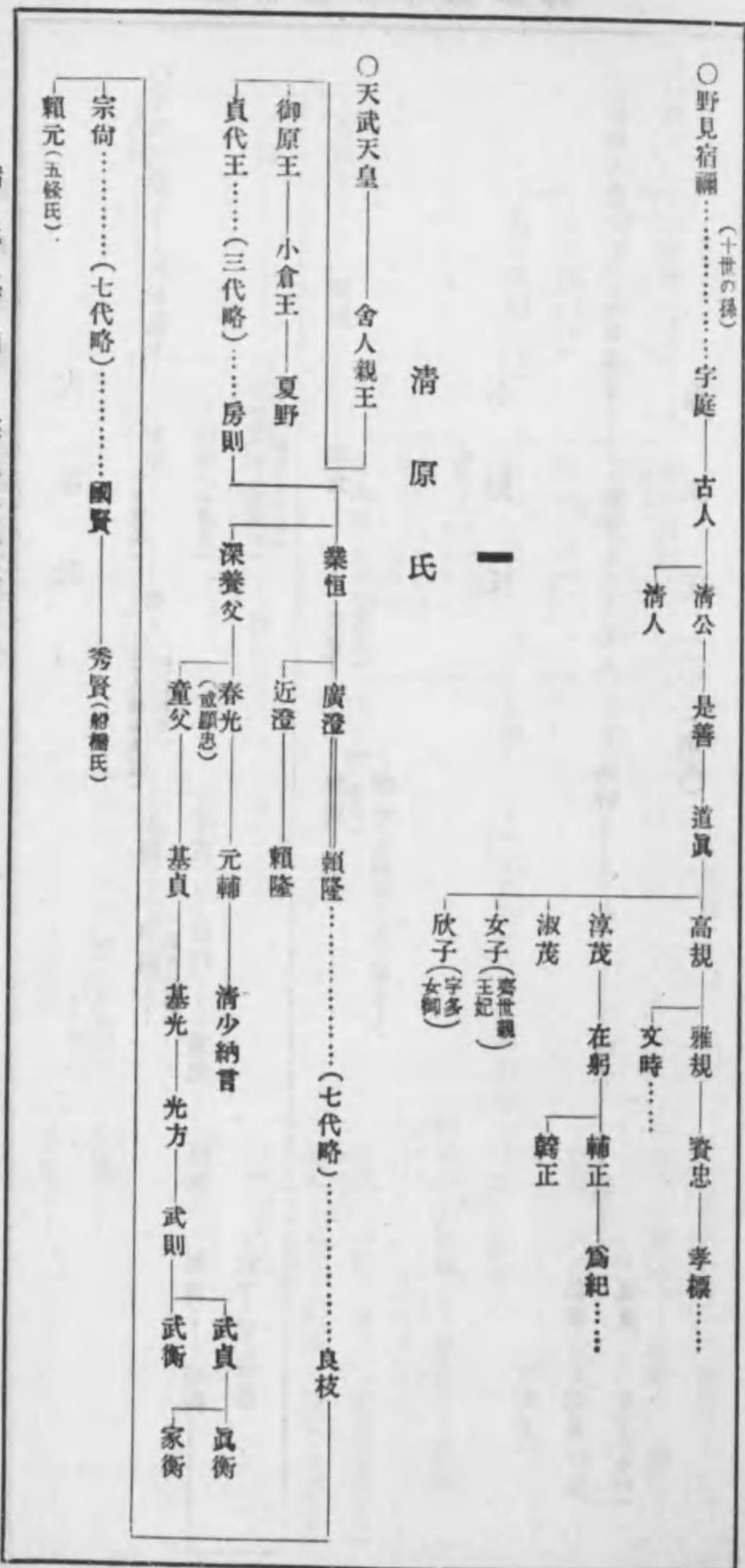
諸氏系圖 (中臣·和氣·橋氏)



諸氏系圖 (橘・紀・菅原氏)

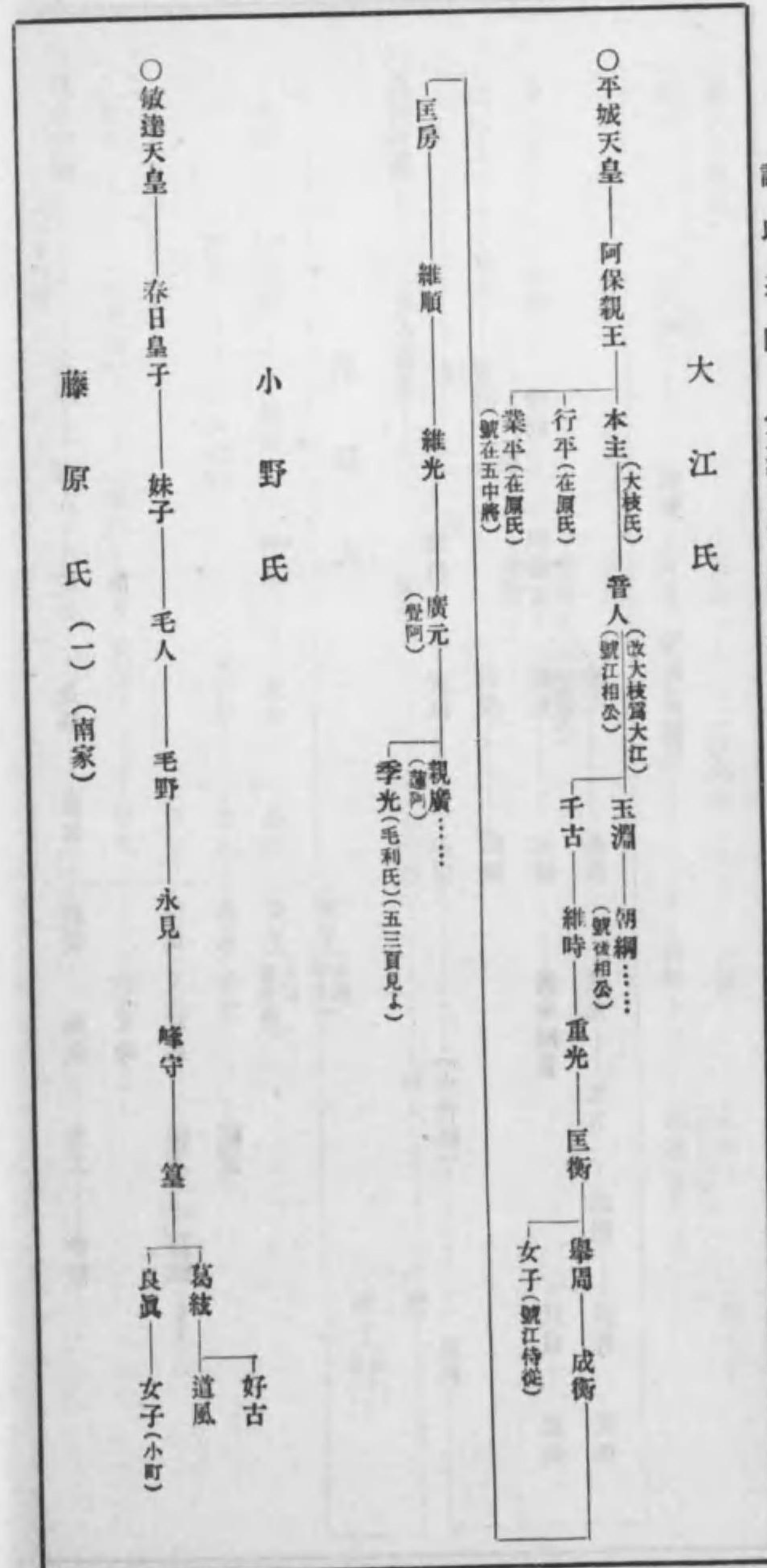


諸氏系圖 (菅原・清原氏)

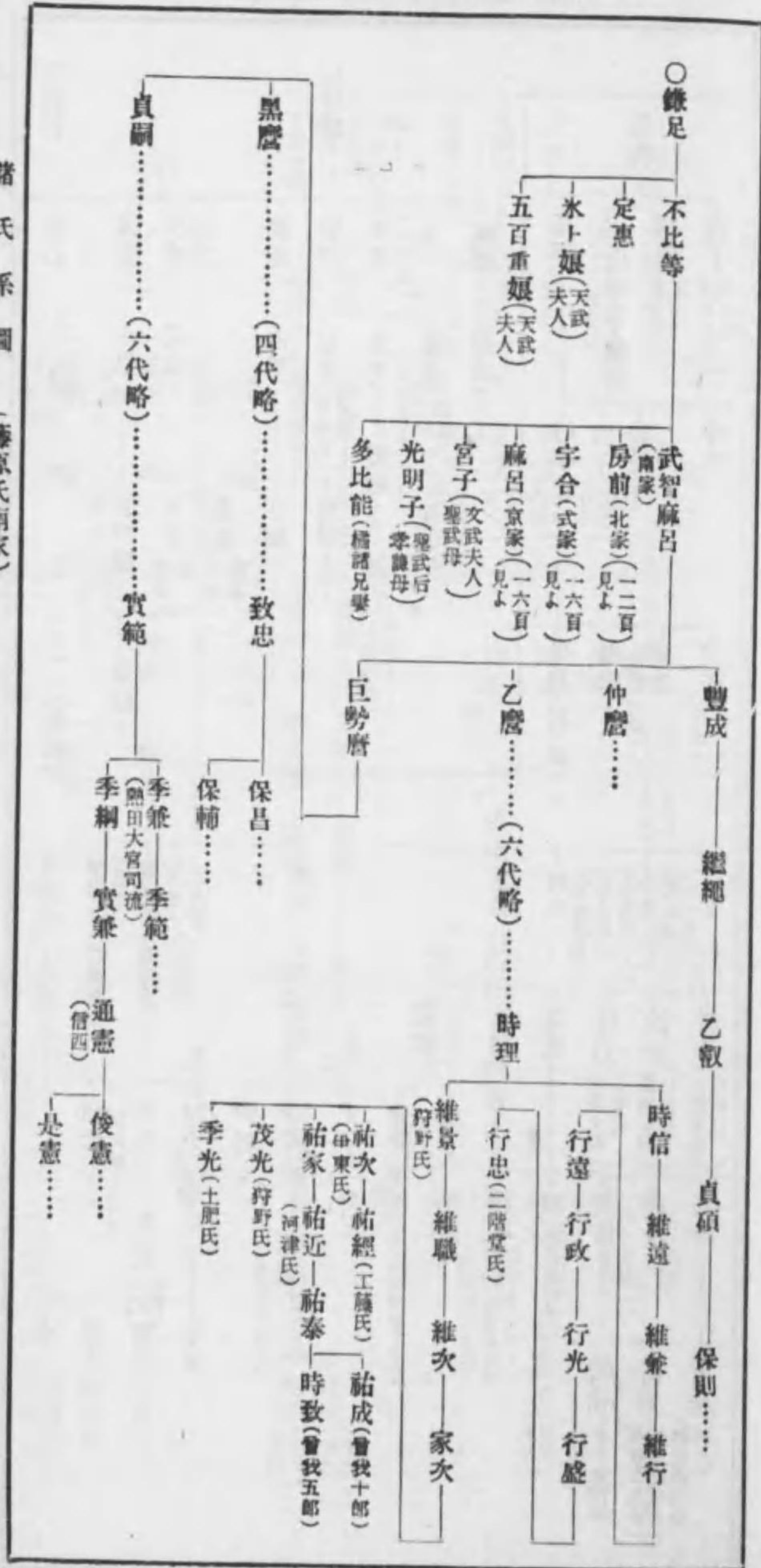




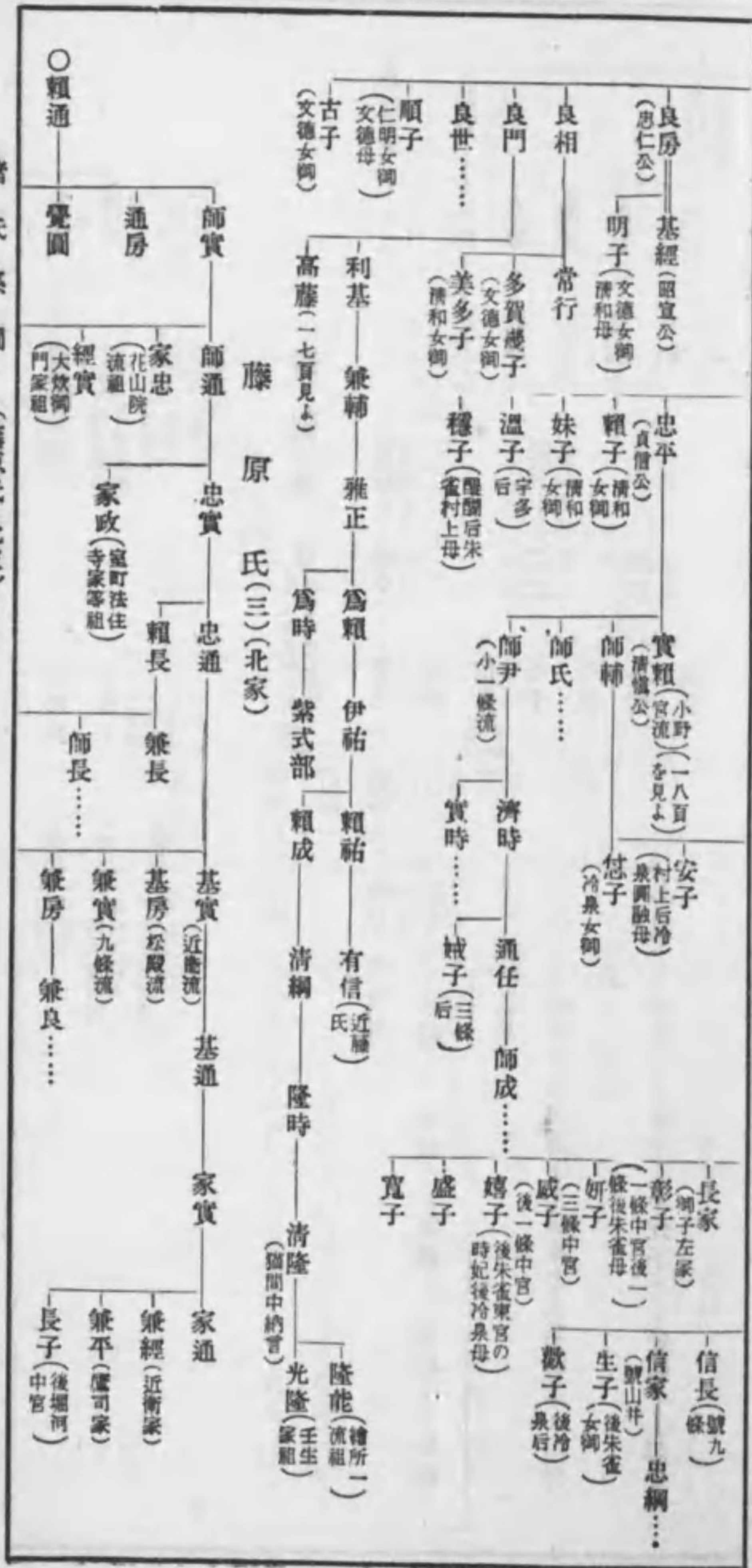
諸氏系圖 (大江・小野・藤原氏)



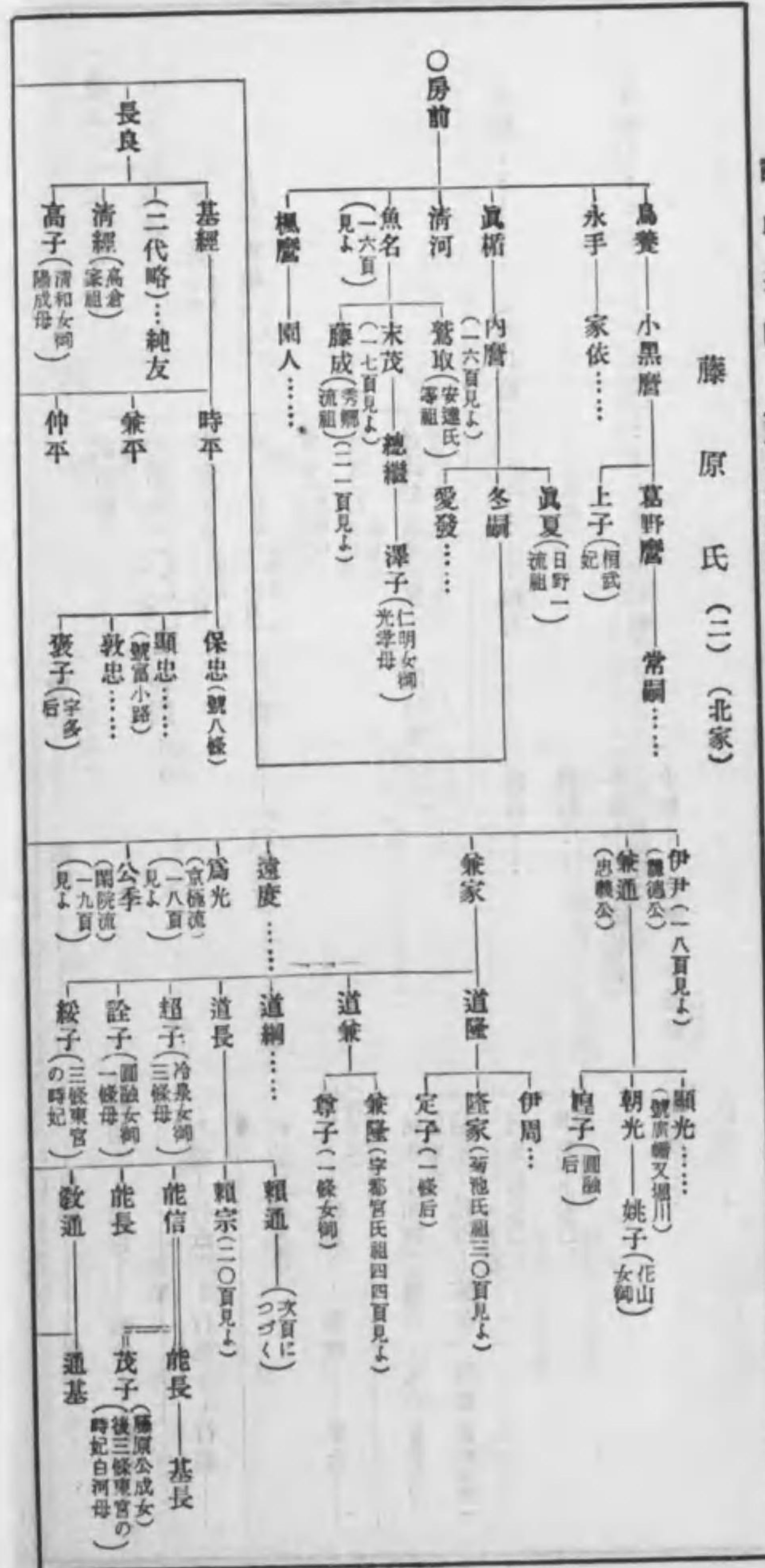
諸氏系圖 (藤原氏南家)



諸氏系圖 (藤原氏・北家)

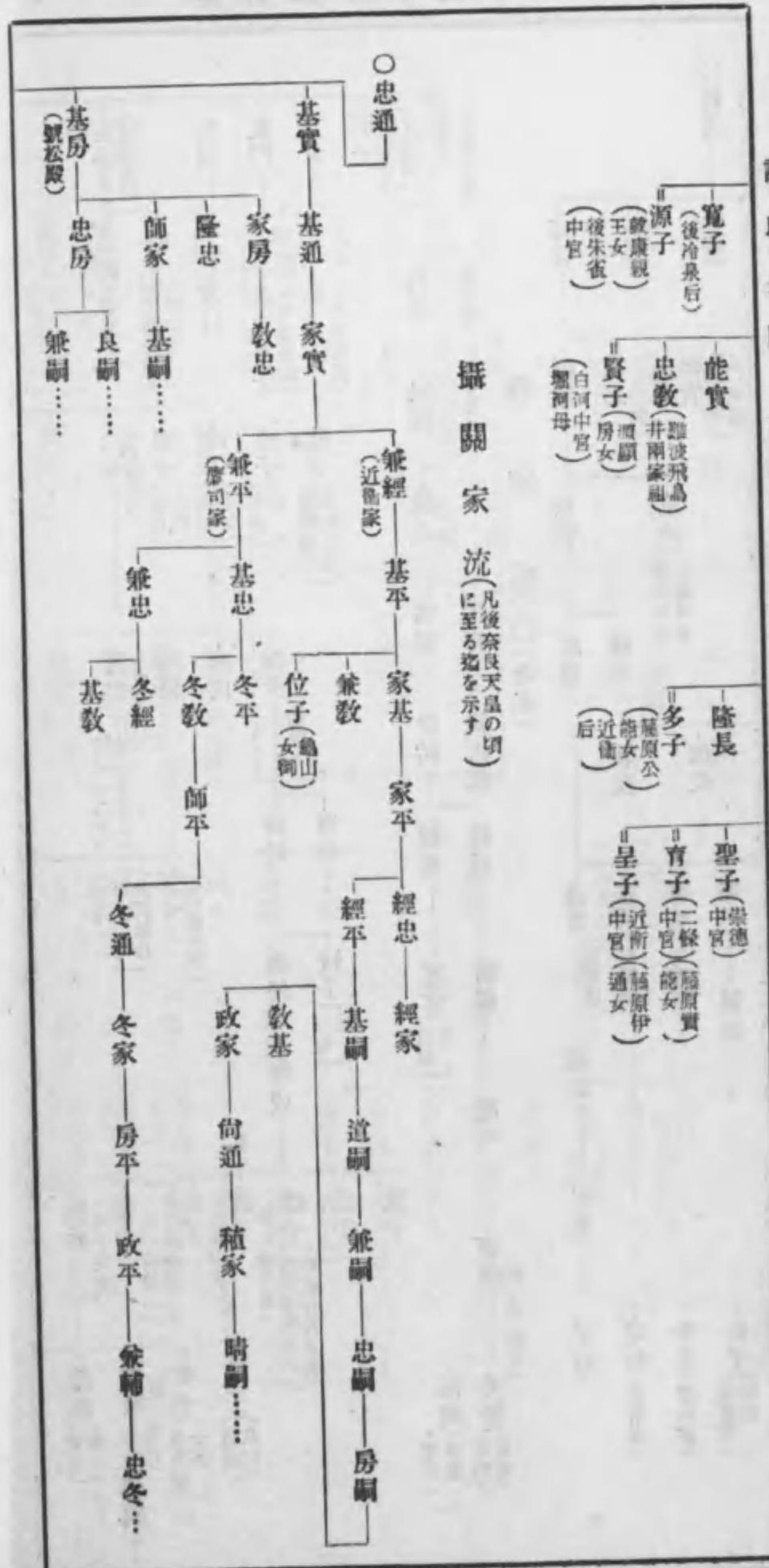


諸氏系圖 (藤原氏北家)



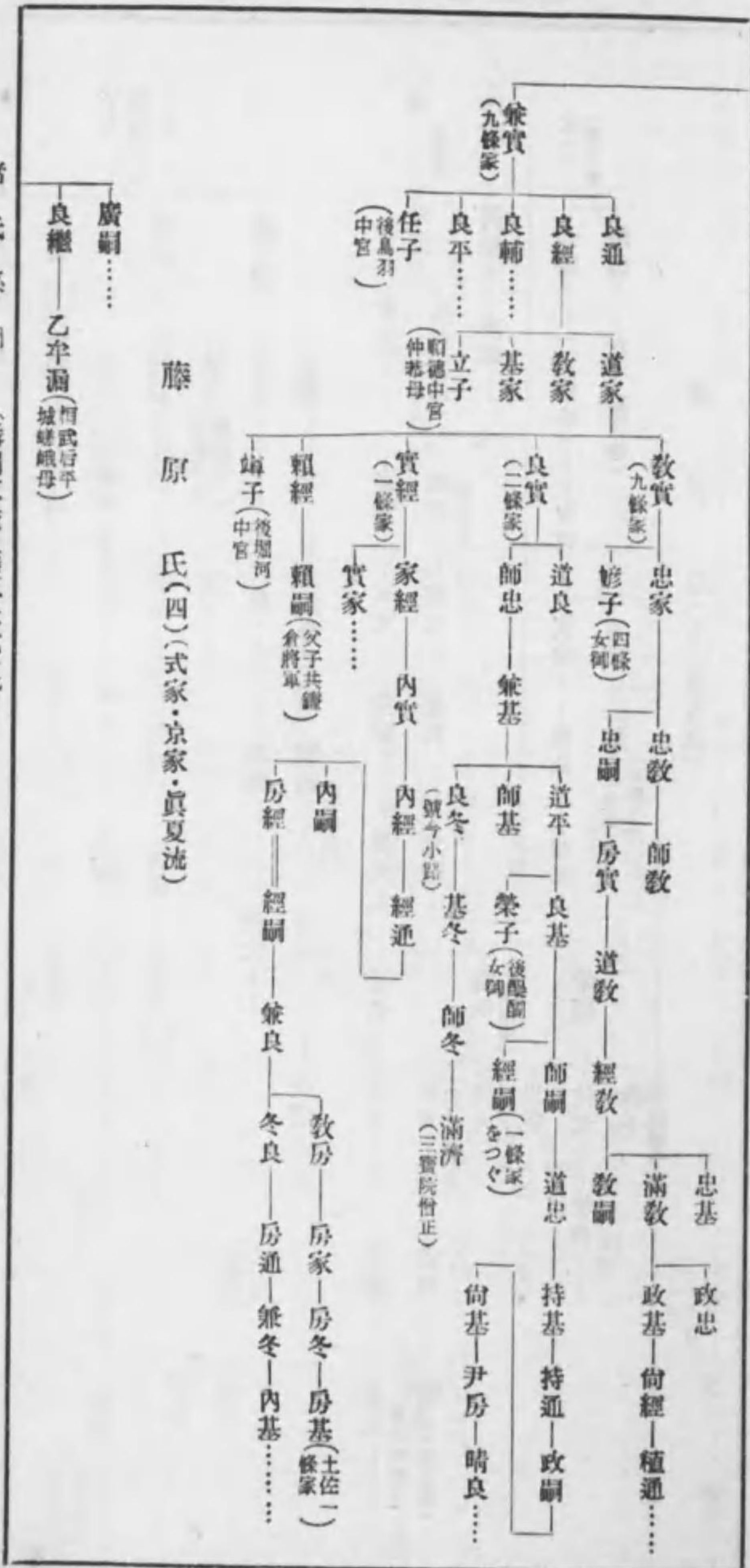
諸氏系圖 (藤原氏・攝關家流)

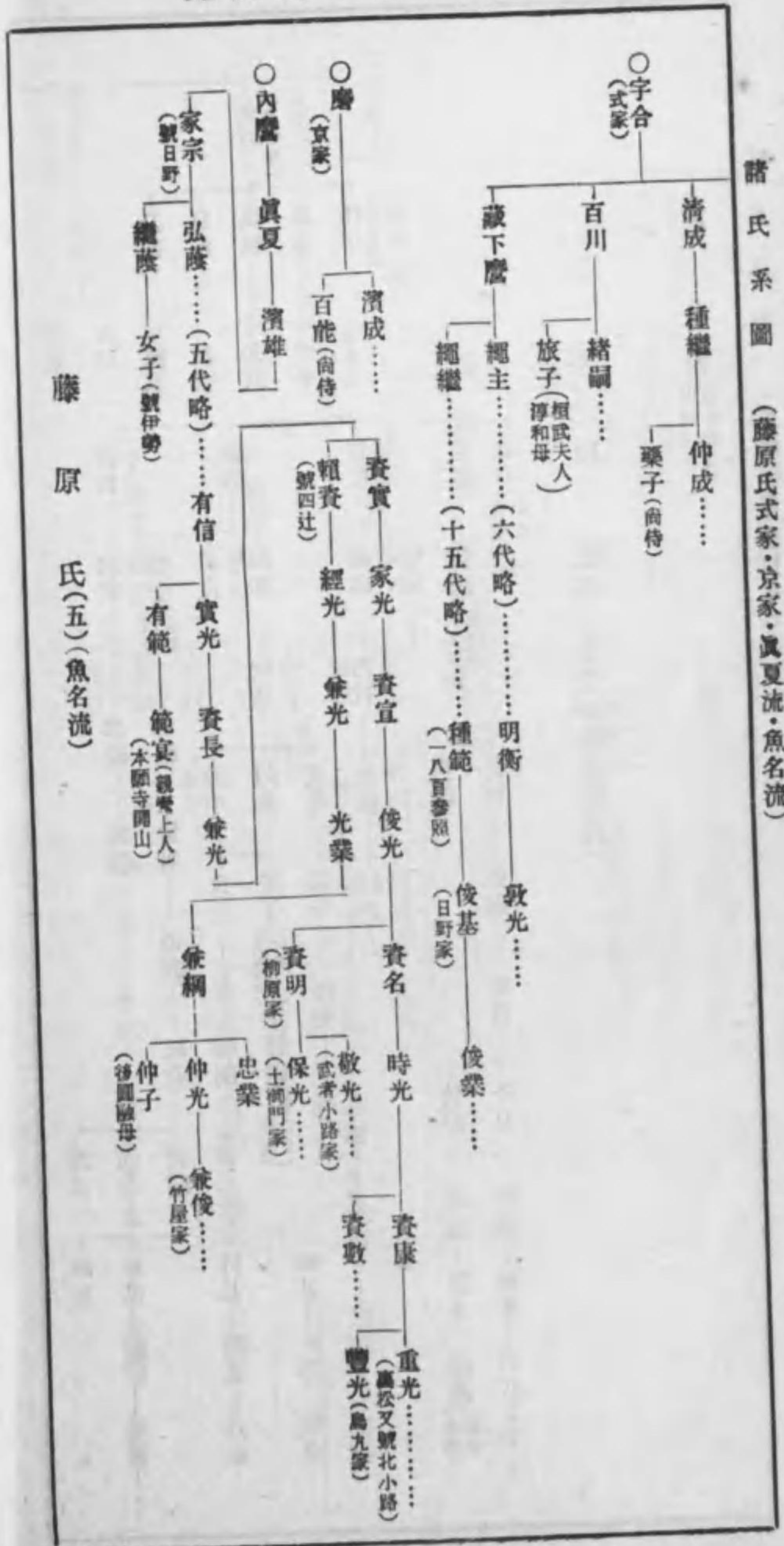
攝關家流 (凡後奈良天皇の頃に至る迄を示す)



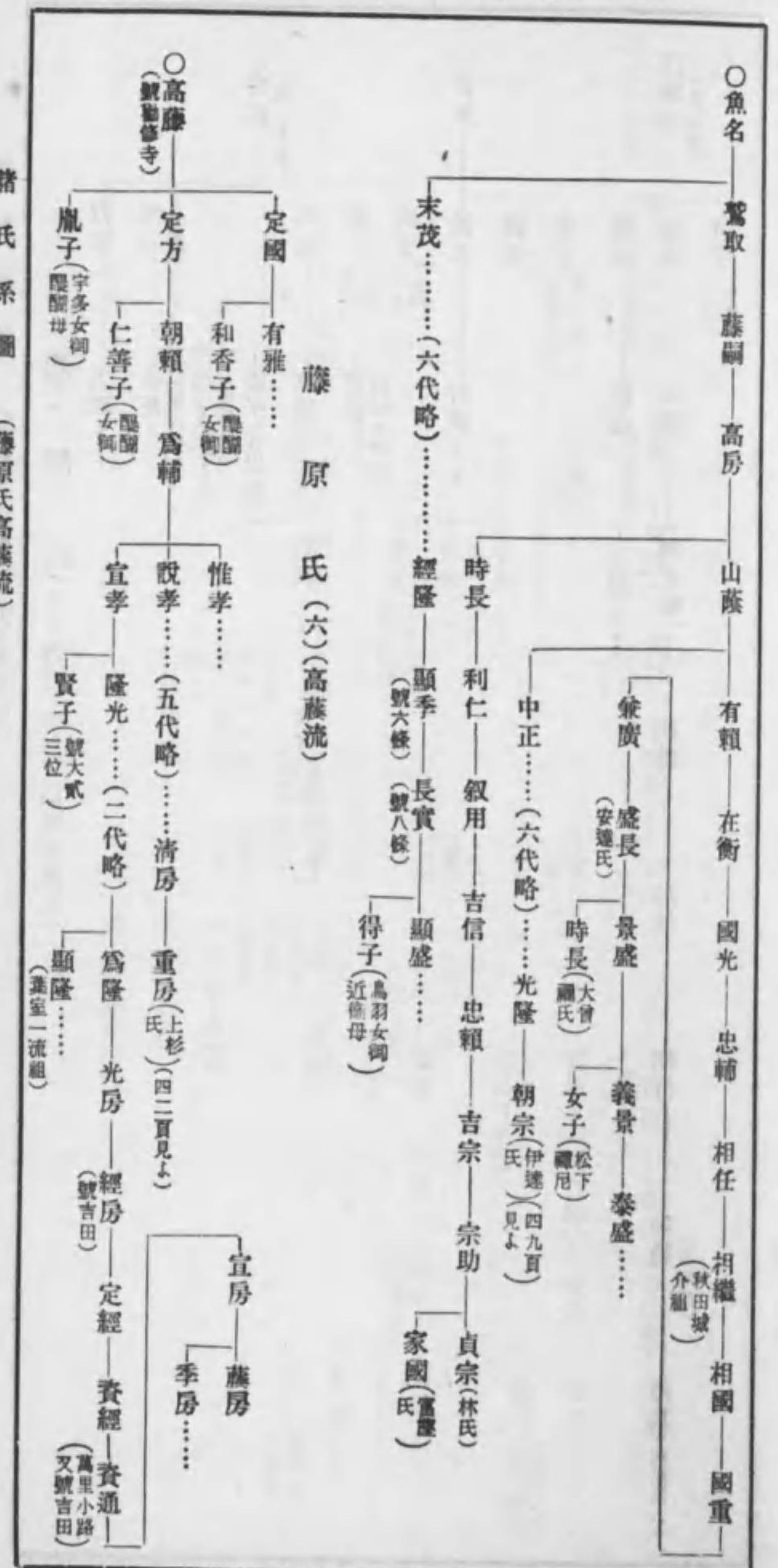
諸氏系圖 (攝關家流・藤原氏式家)

藤原氏(四)(式家・京家・眞夏流)



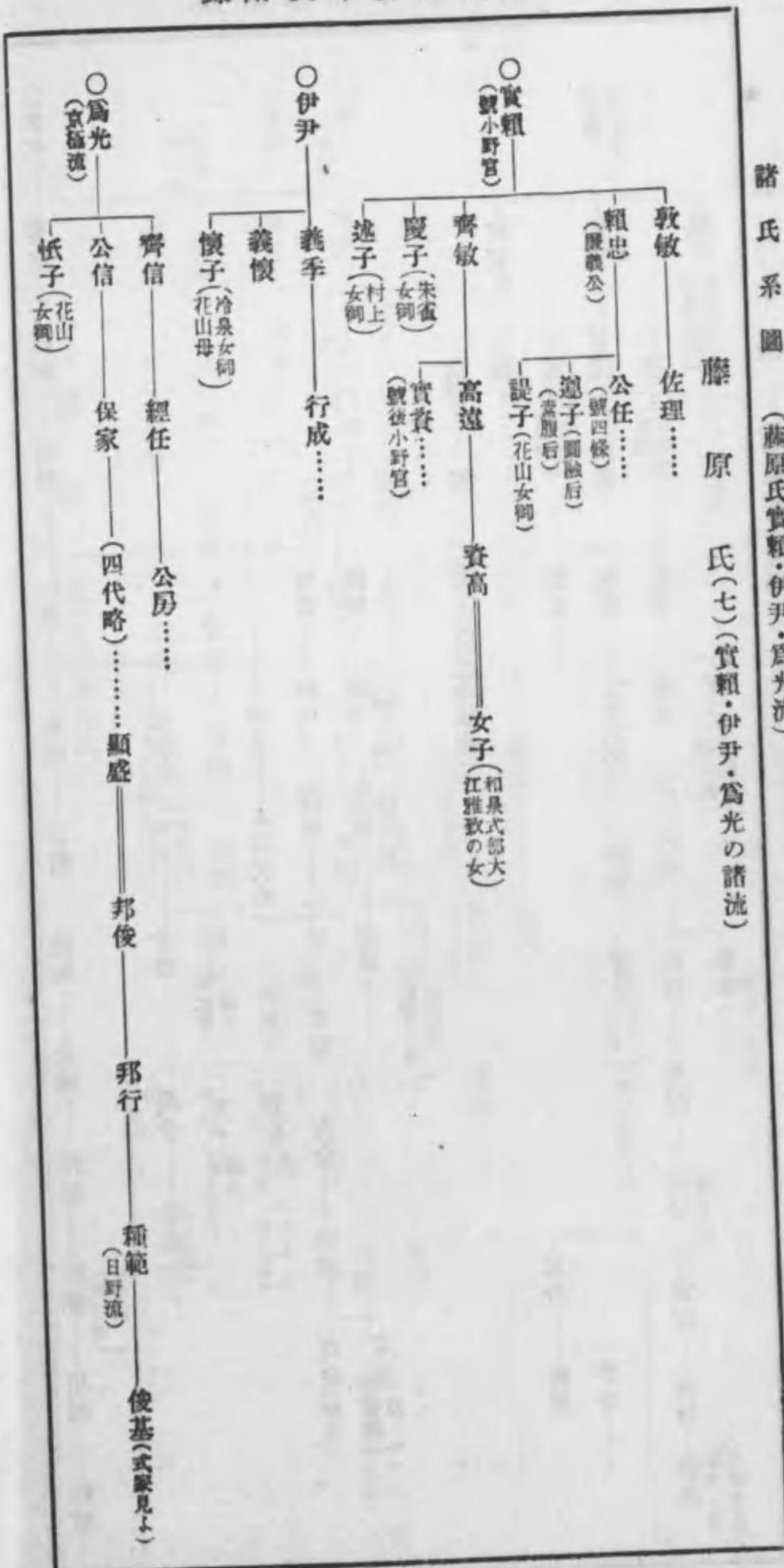


諸氏系圖 (藤原氏式家・京家・眞夏流・魚名流)

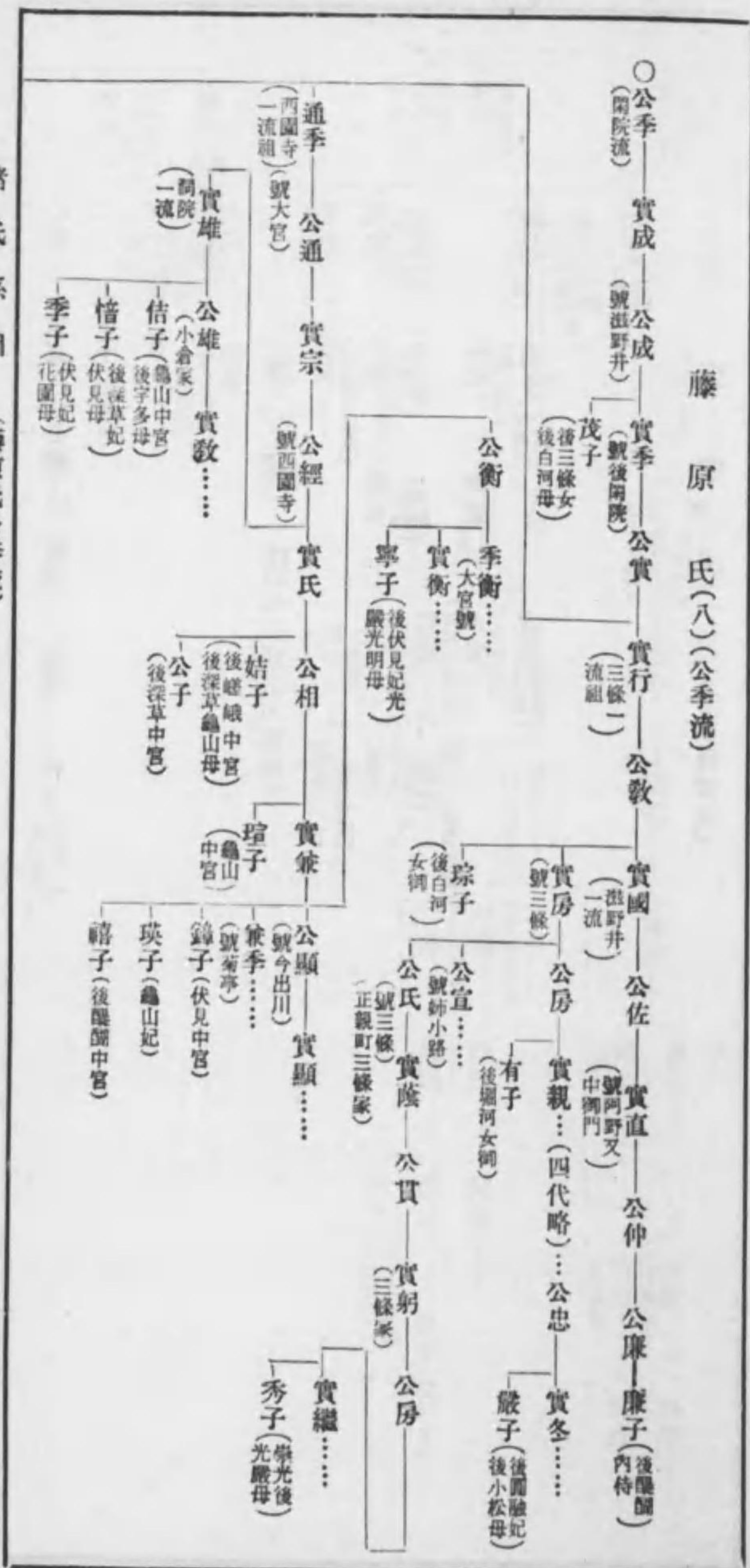


諸氏系圖 (藤原氏高藤流)

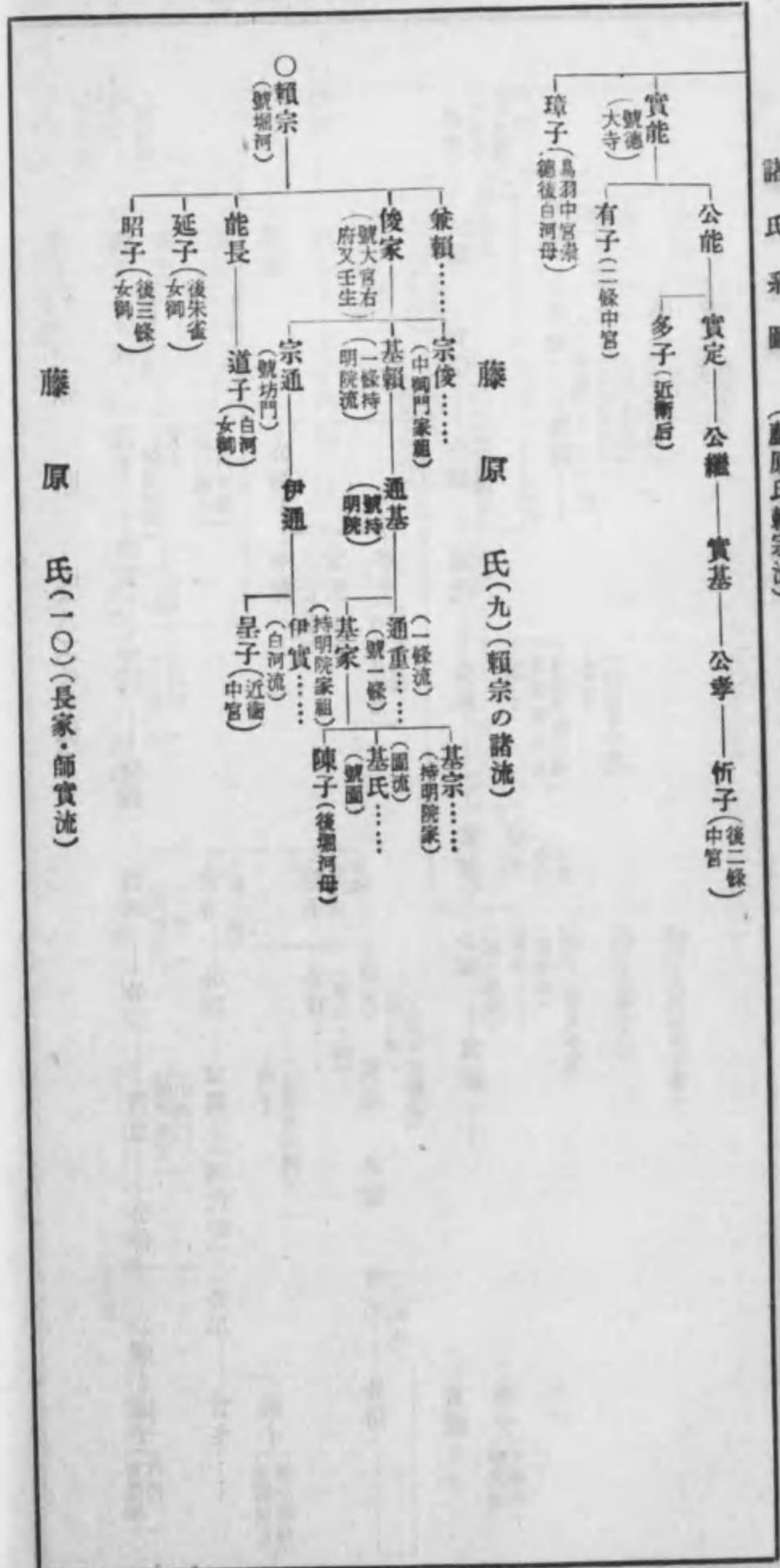
諸氏系圖 (藤原氏實賴・伊尹・爲光流)



諸氏系圖 (藤原氏公季流)

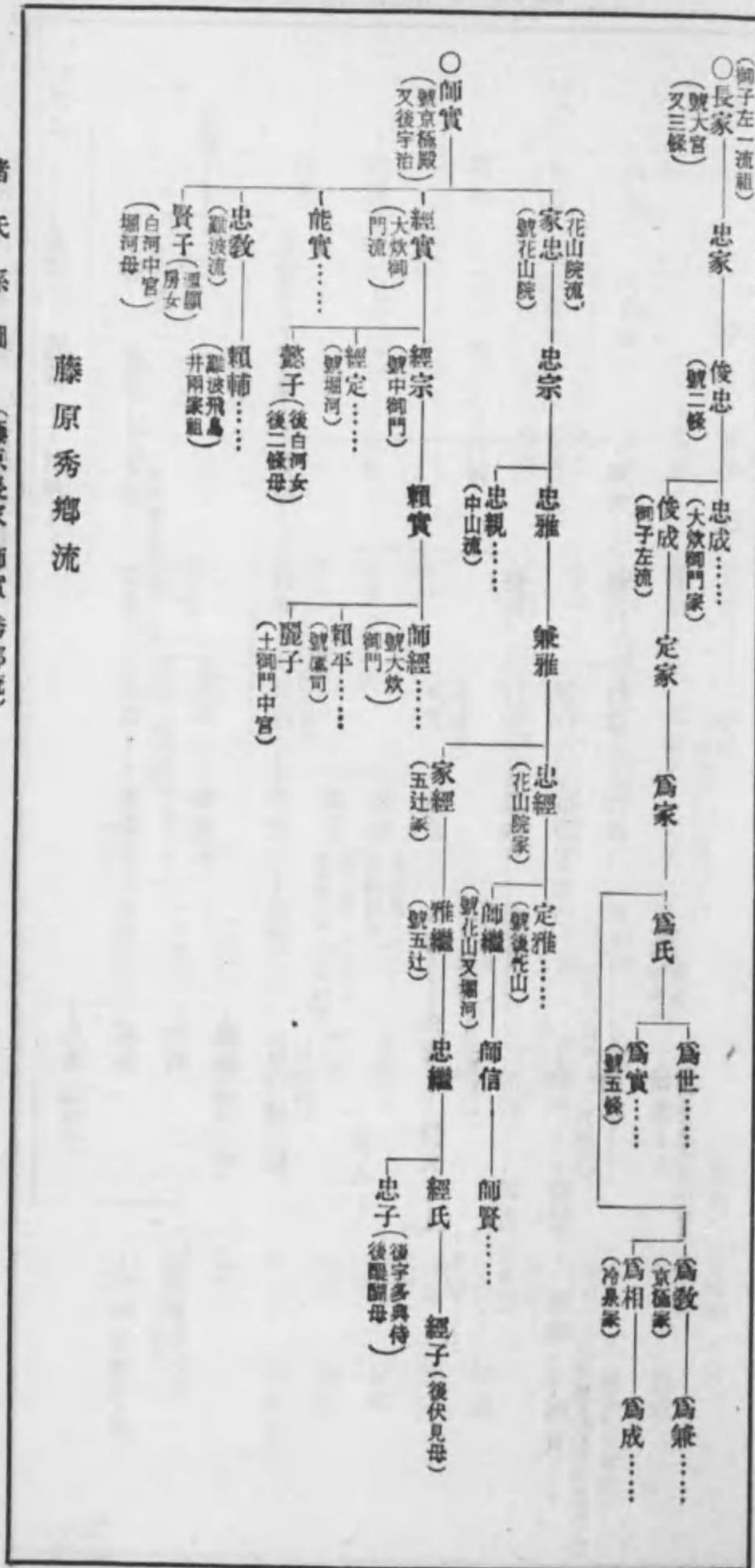


諸氏系圖 (藤原氏賴宗流)



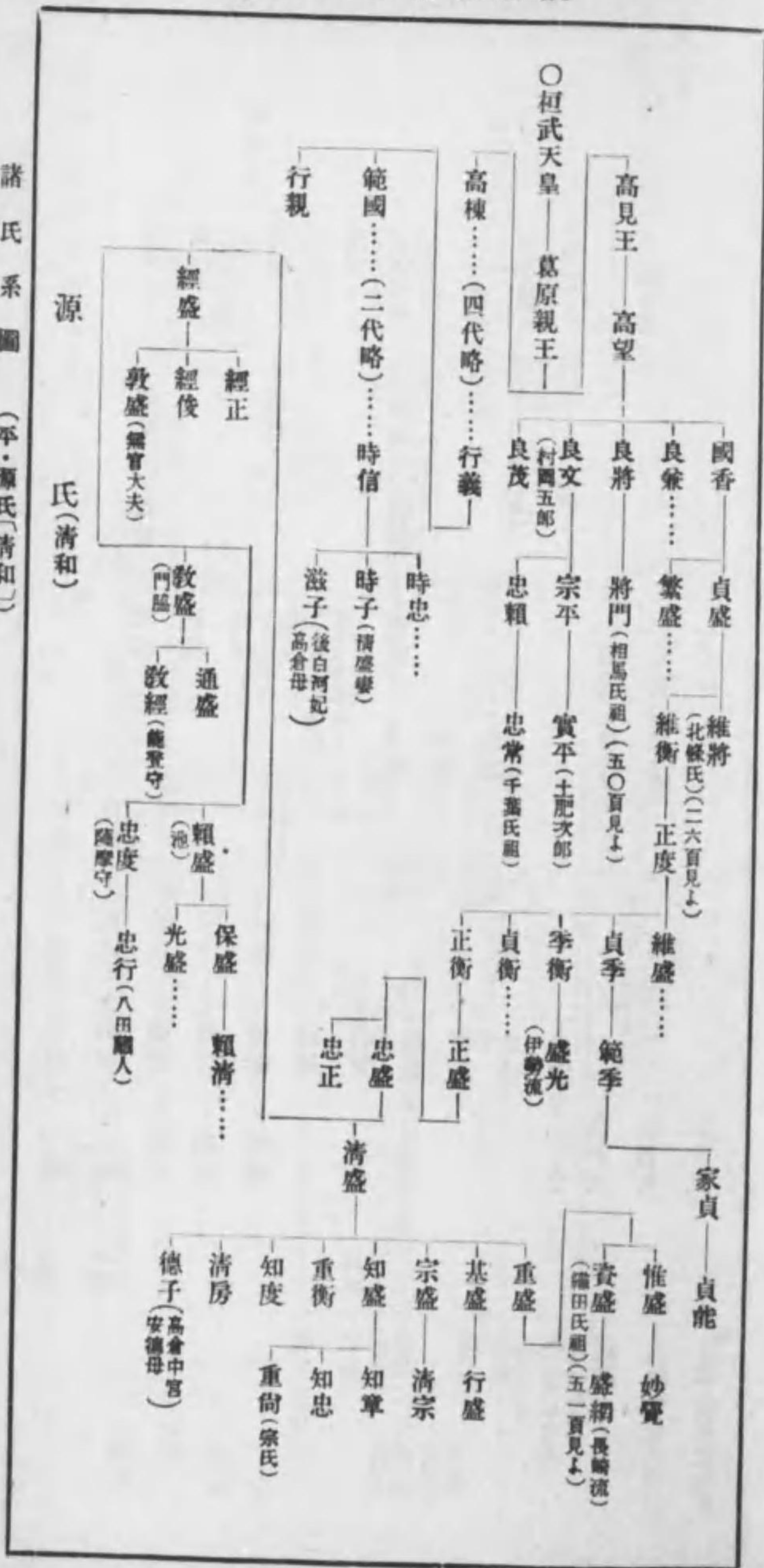
藤原氏(一〇)(長家・師實流)

諸氏系圖 (藤原長家・師實・秀鄉流)

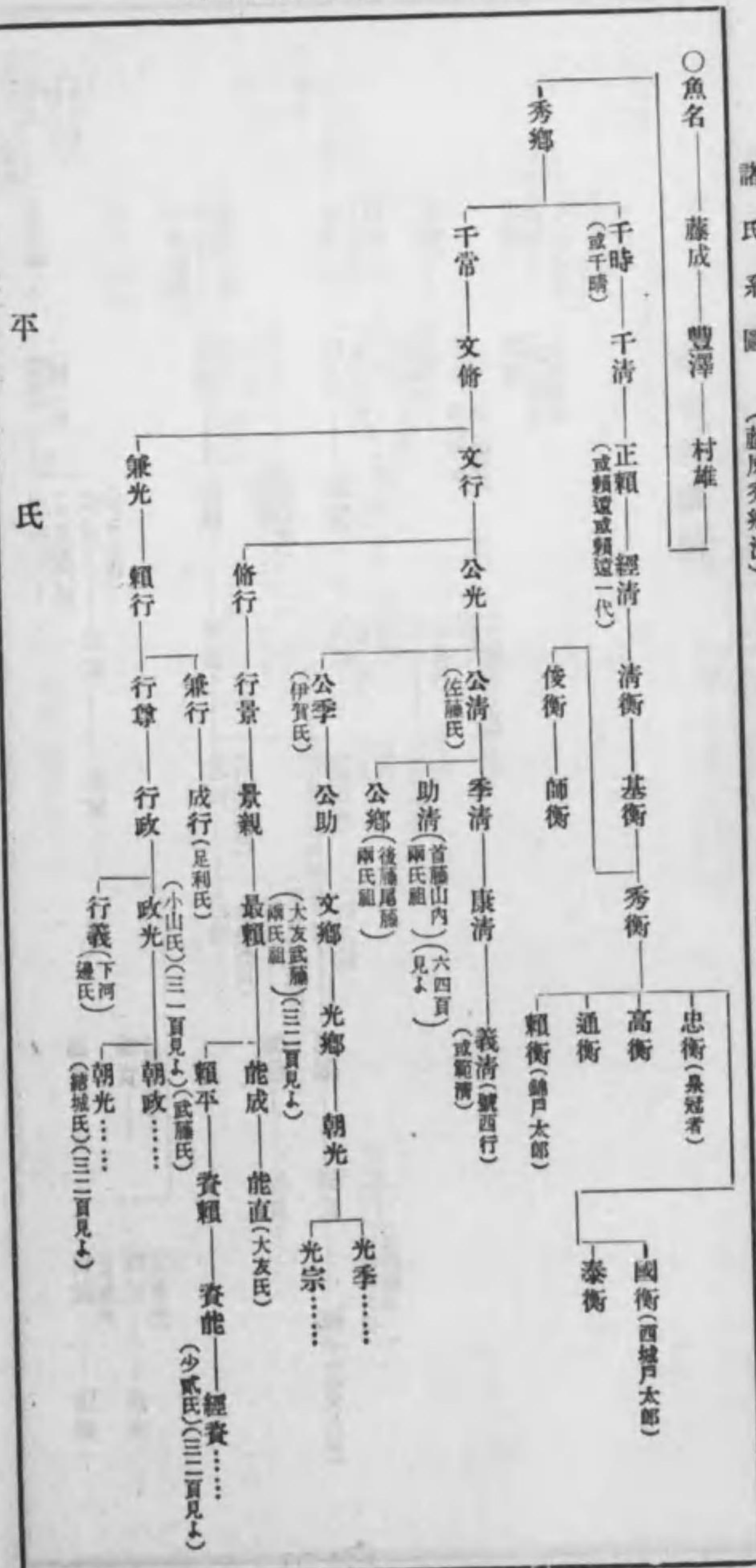


藤原秀鄉流

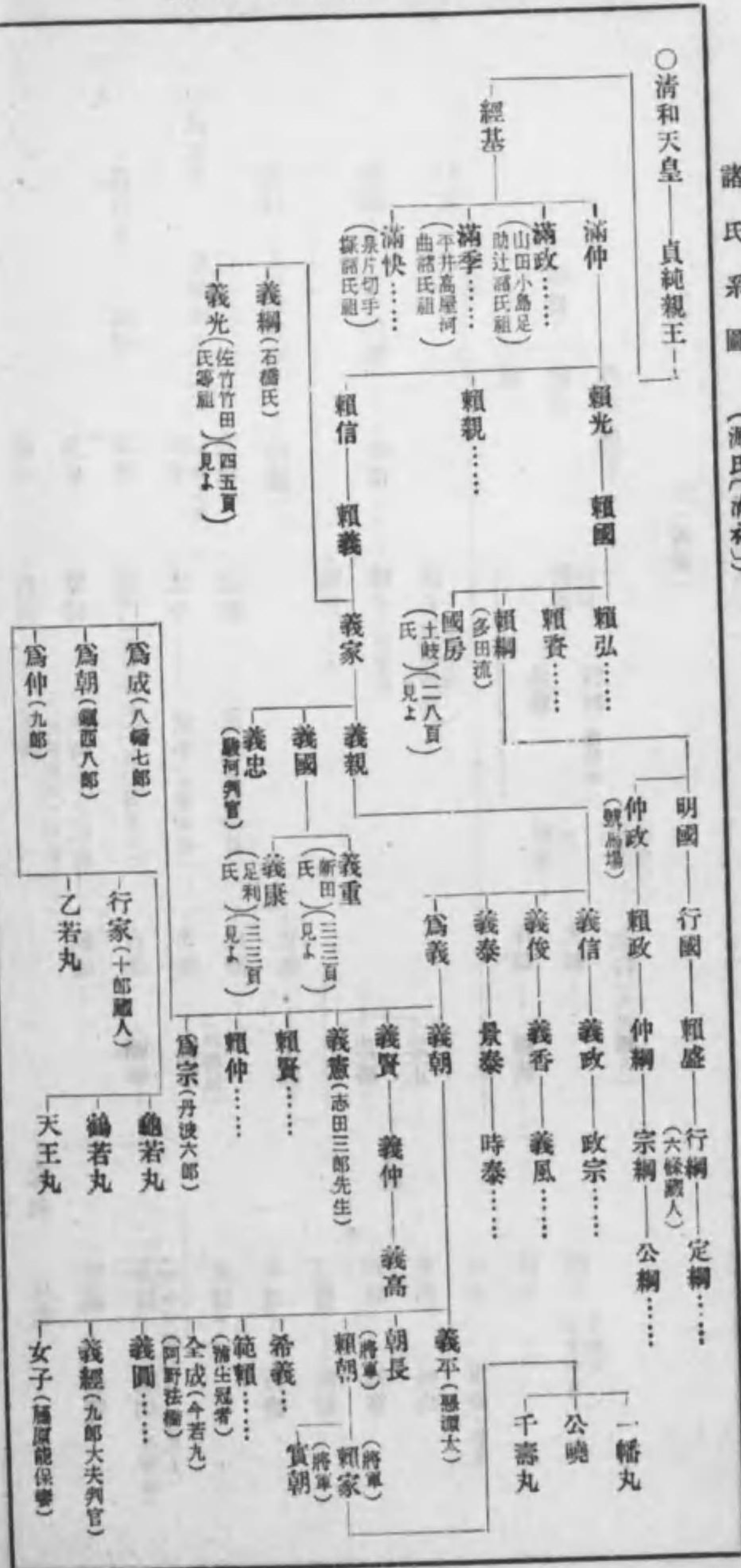
諸氏系圖 (平・源氏(清和))



諸氏系圖 (藤原秀郷流)



諸氏系圖 (源氏(清和))

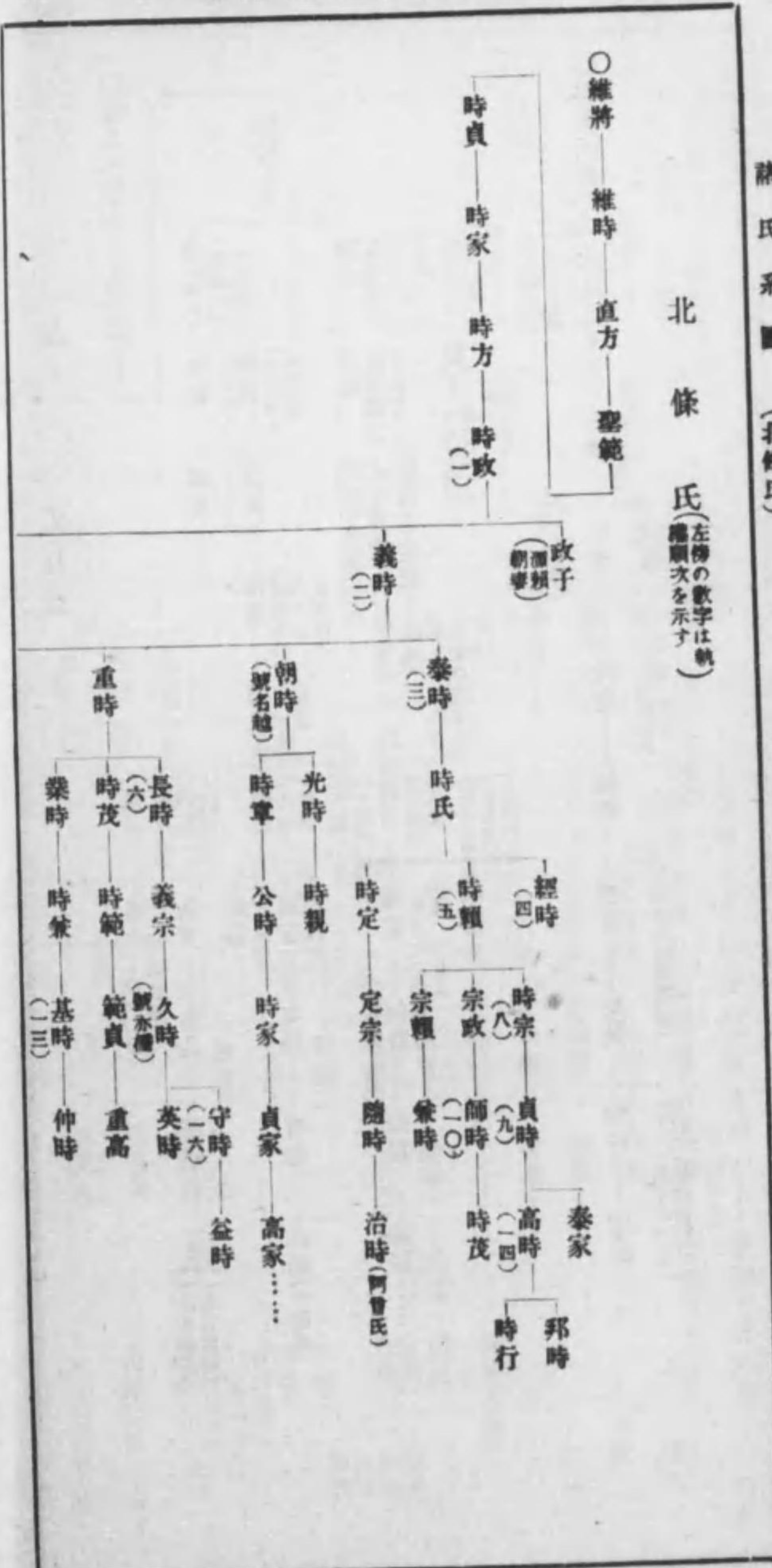


諸氏系圖 (源氏(村上·宇多))



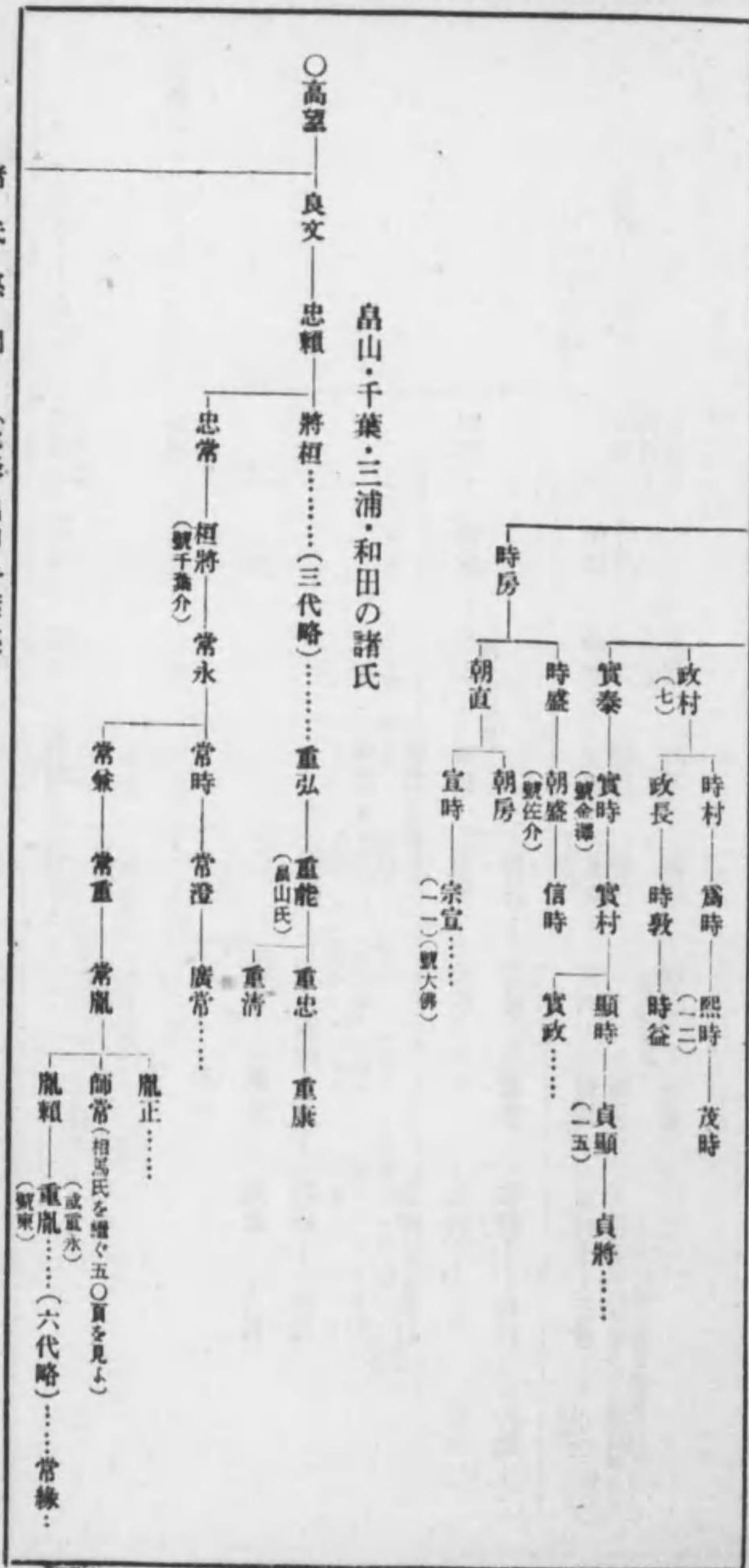


諸氏系圖 (北條氏)



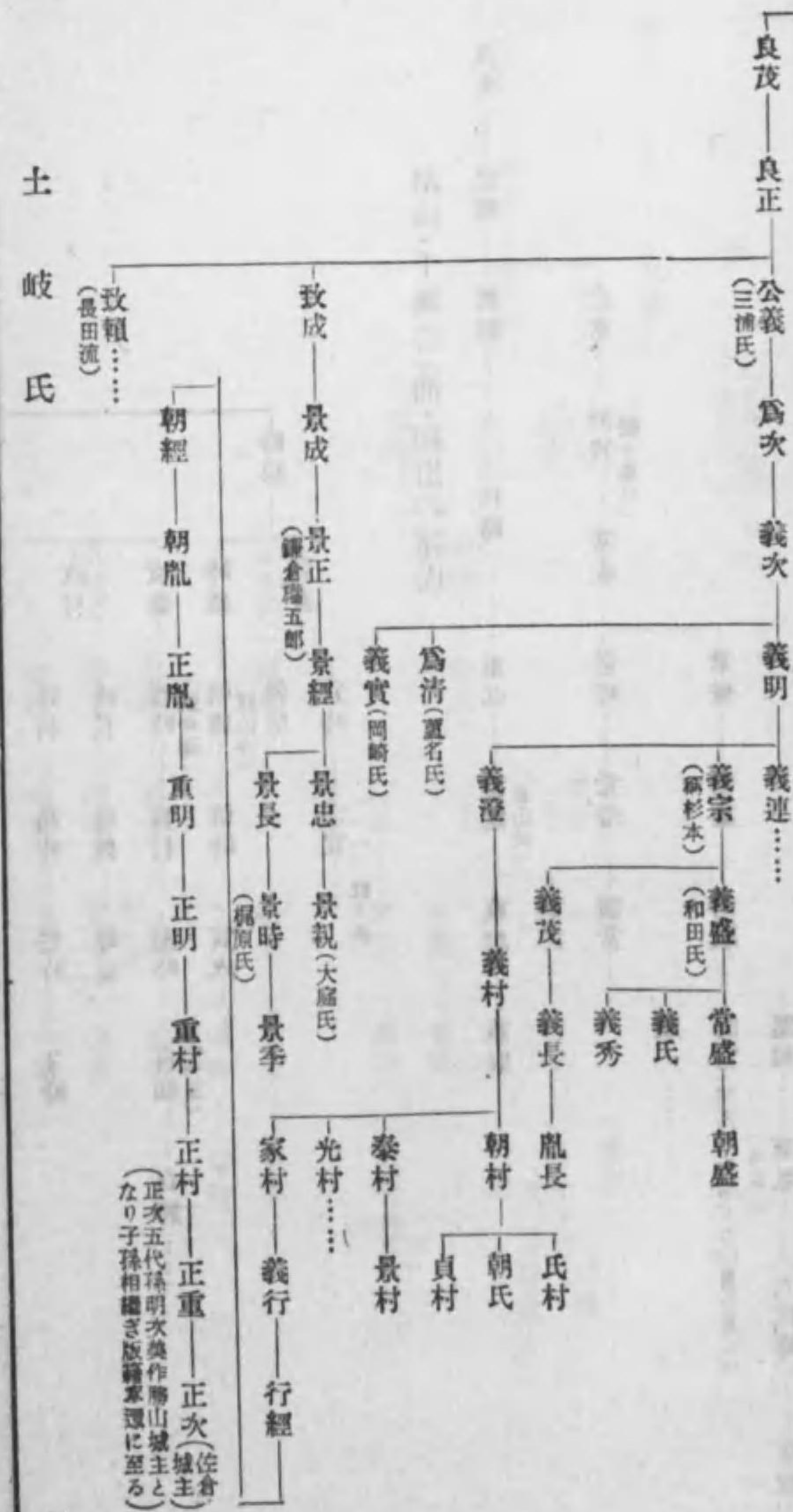
北條氏 (左傍の数字は軌階順次を示す)

諸氏系圖 (北條・島山・千葉氏)



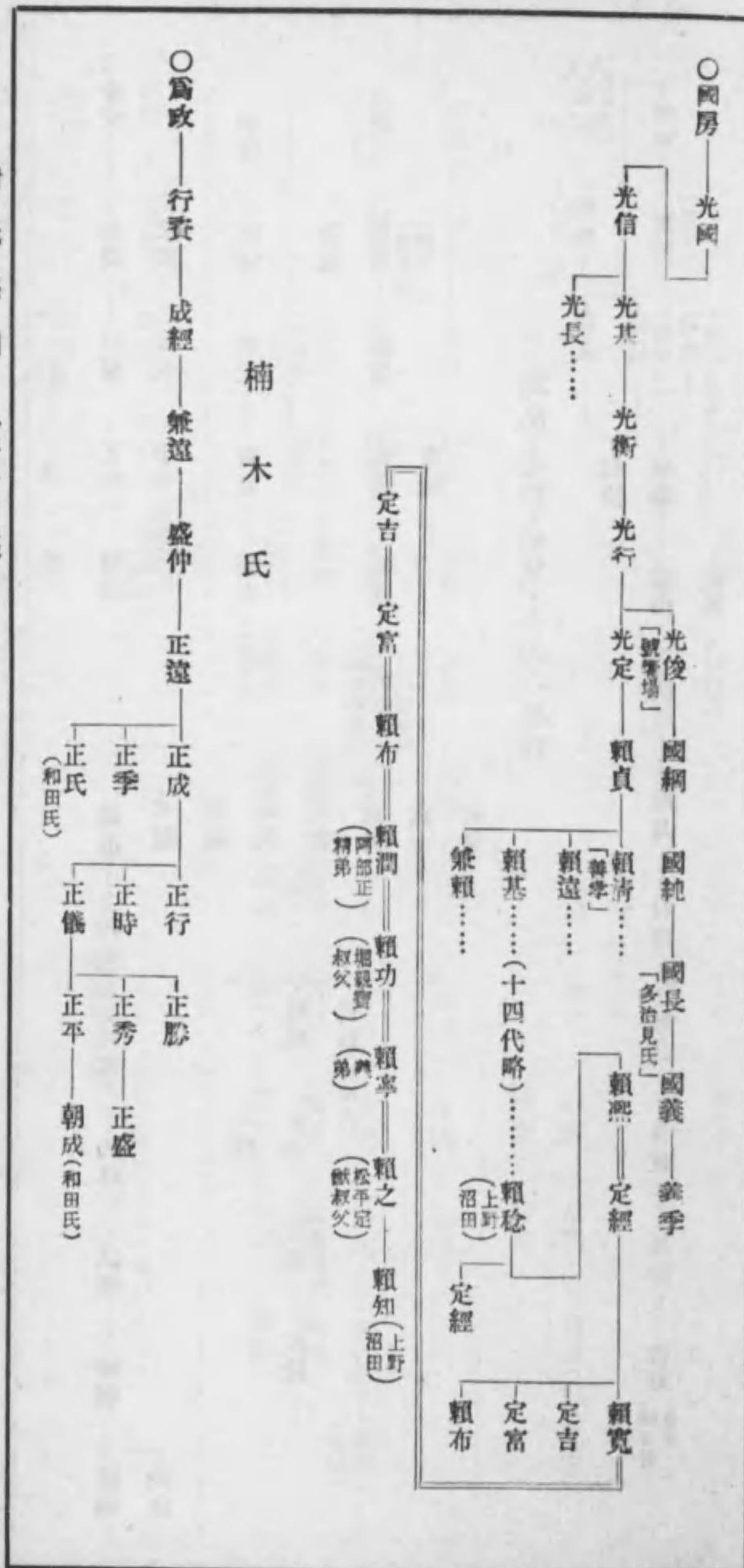
島山・千葉・三浦・和田の諸氏

諸氏系圖 (三浦・和田・土岐氏)



土岐氏

諸氏系圖 (土岐・楠氏)



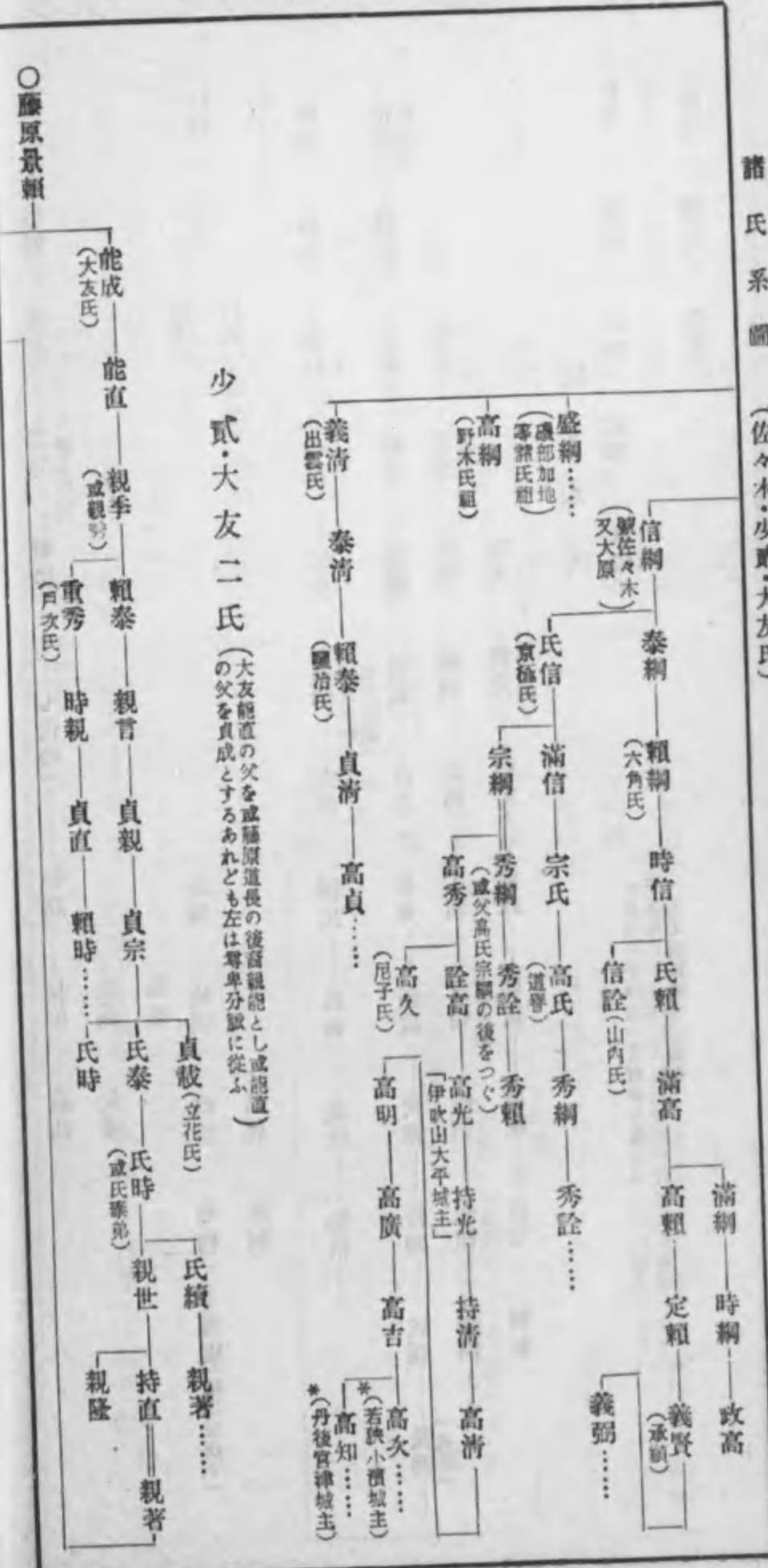
楠木氏



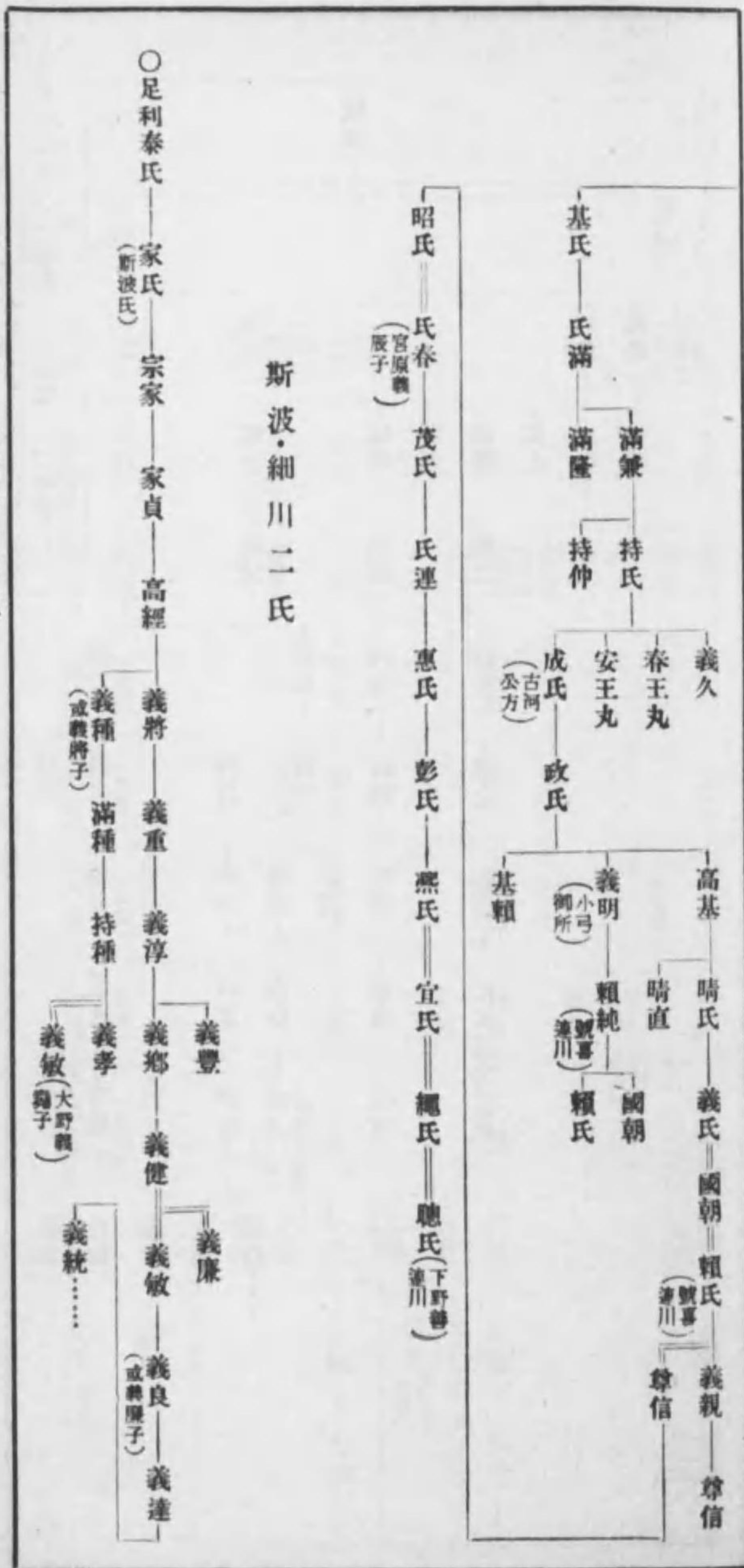
諸氏系圖 (少貳・大友・新田・足利氏)



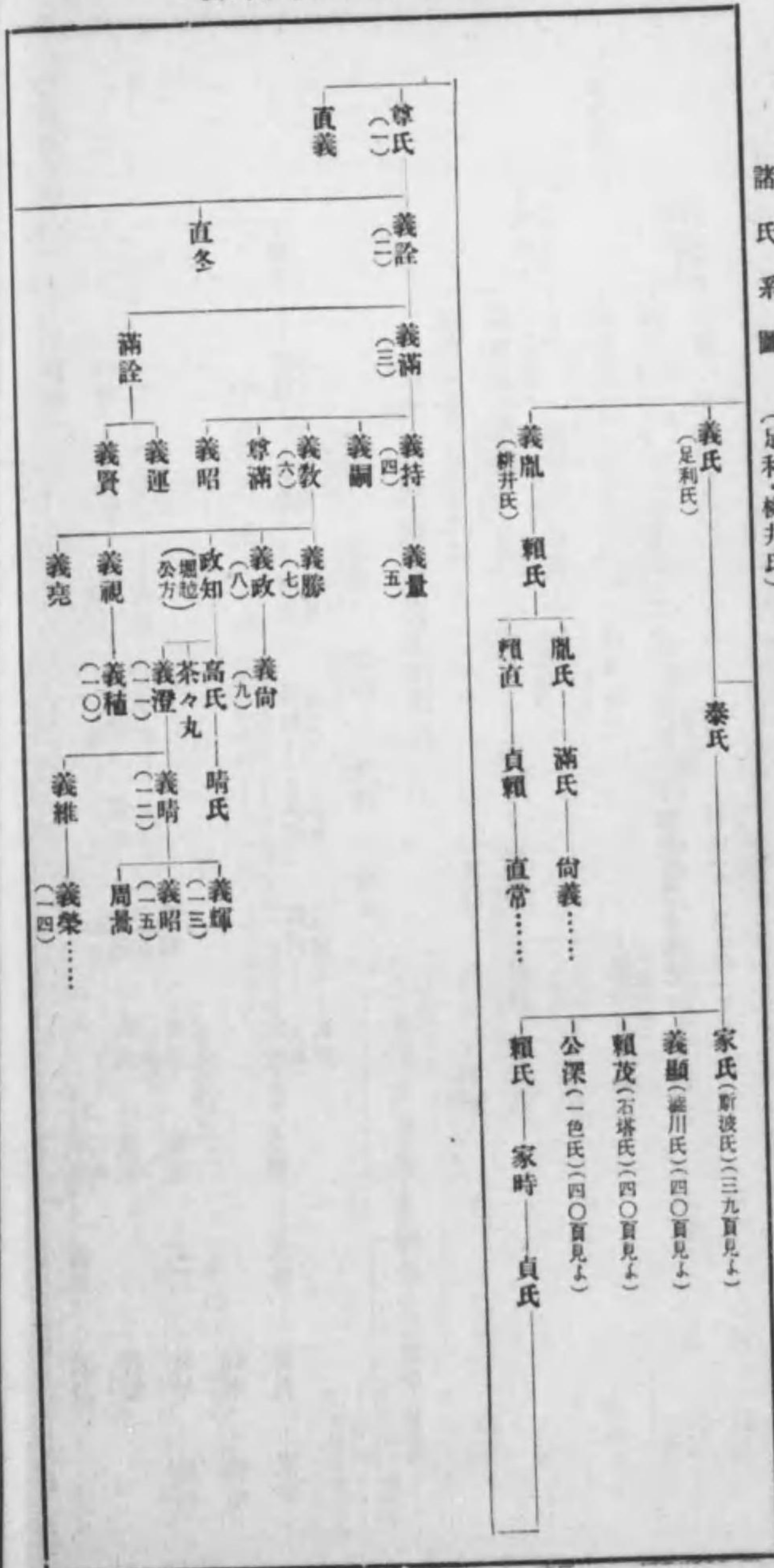
諸氏系圖 (佐々木・少貳・大友氏)



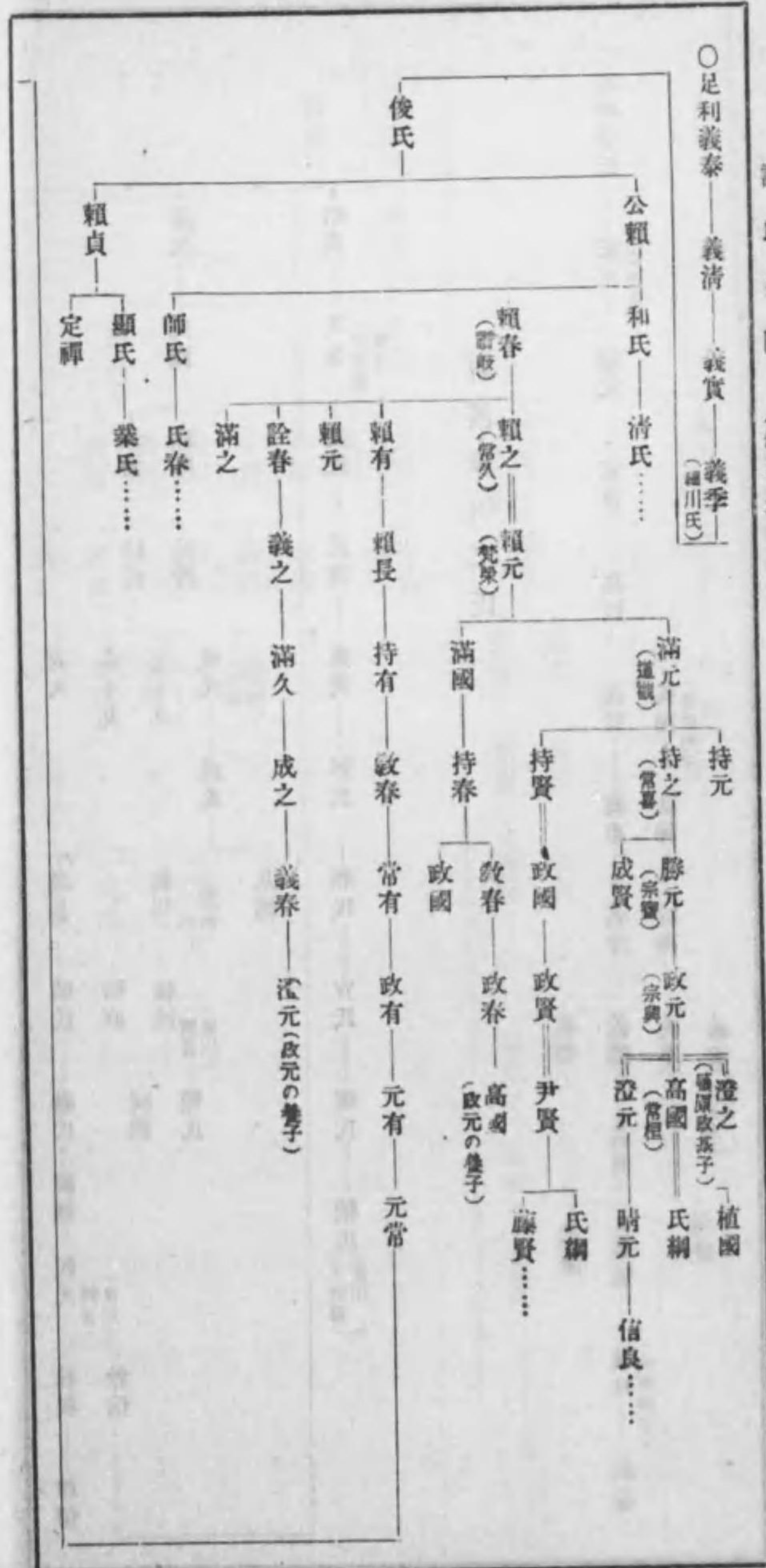
諸氏系圖 (斯波氏・細川氏)



諸氏系圖 (足利・桃井氏)



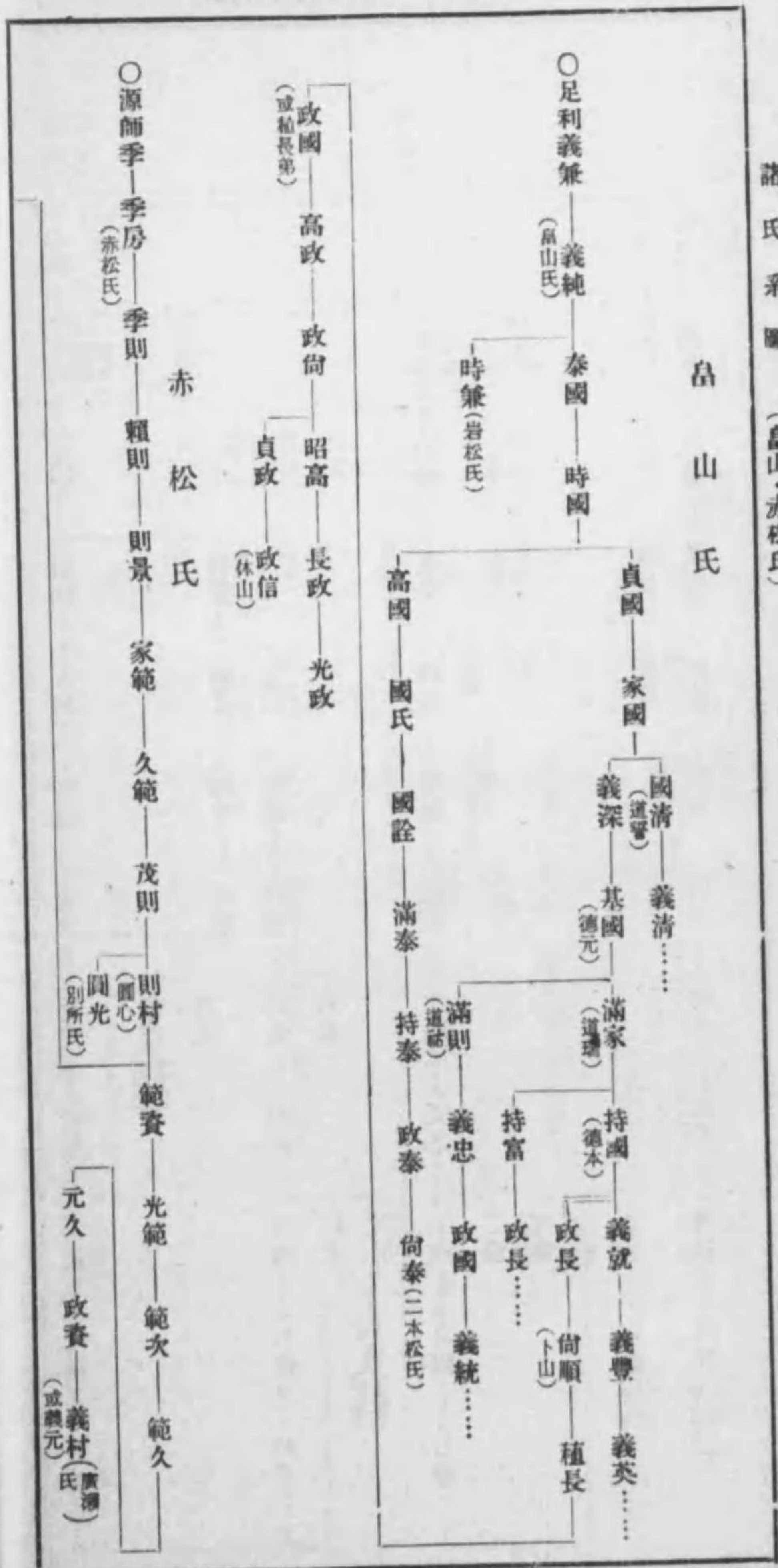
諸氏系圖 (細川氏)



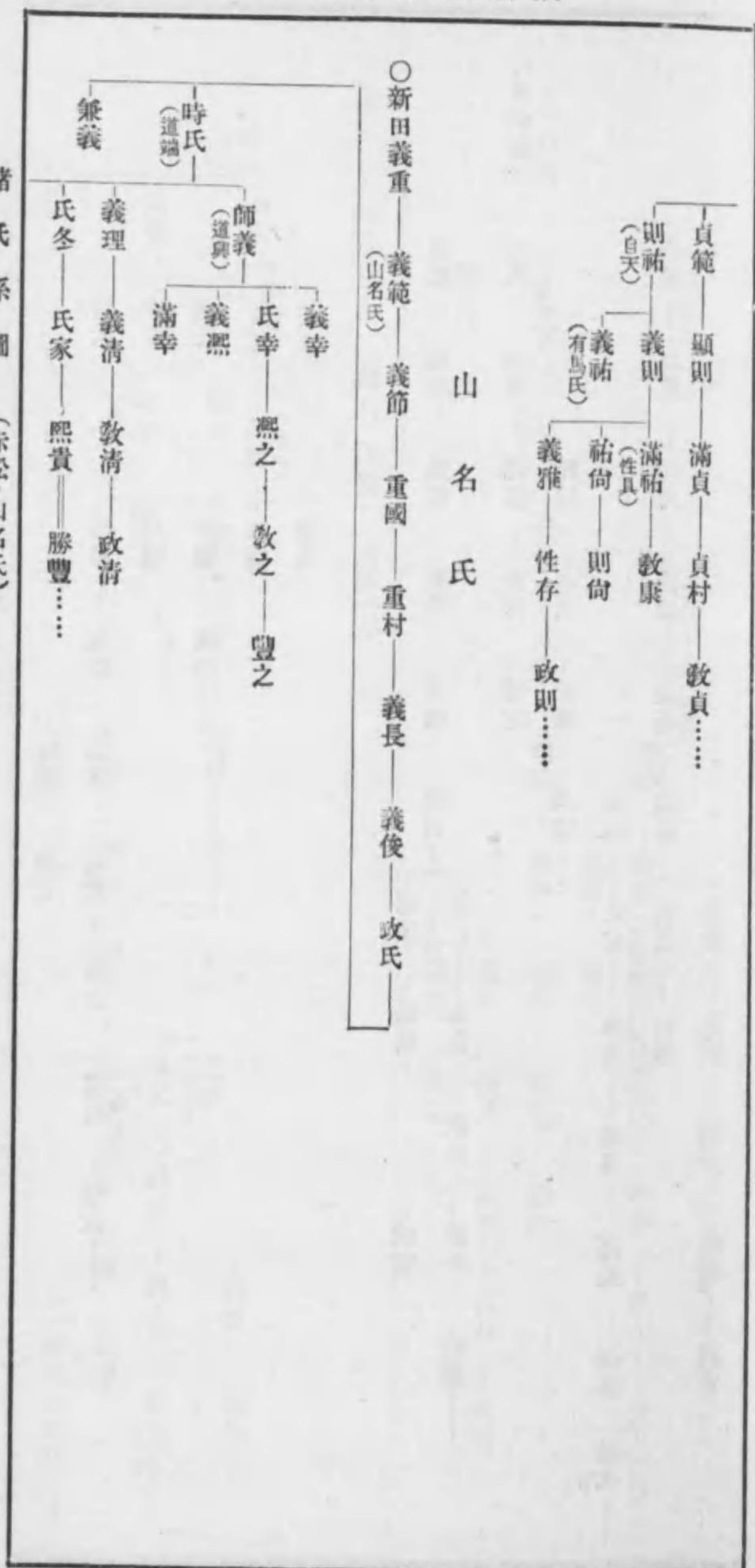
諸氏系圖 (細川氏)



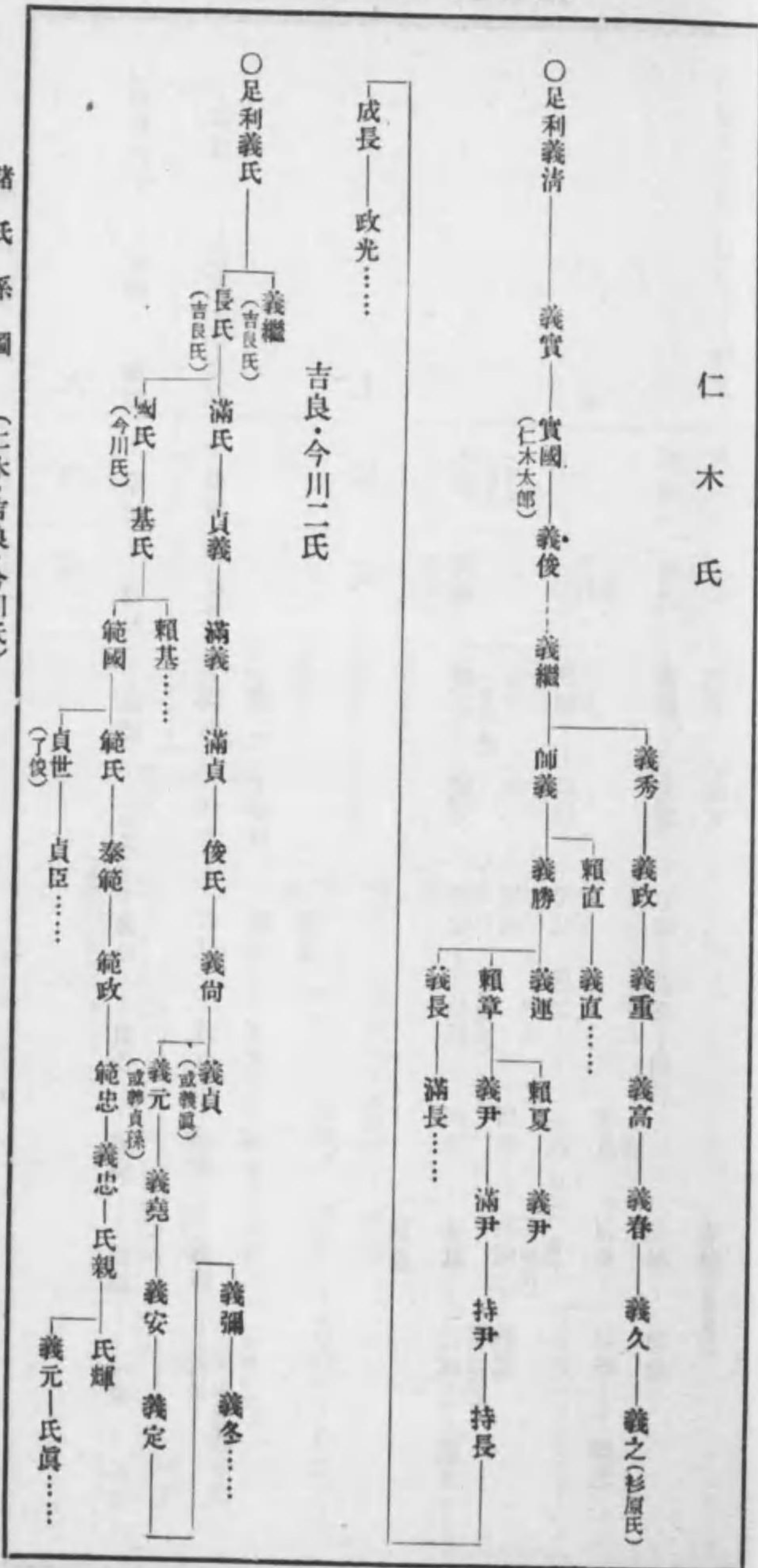
諸氏系圖 (島山・赤松氏)



諸氏系圖 (赤松・山名氏)

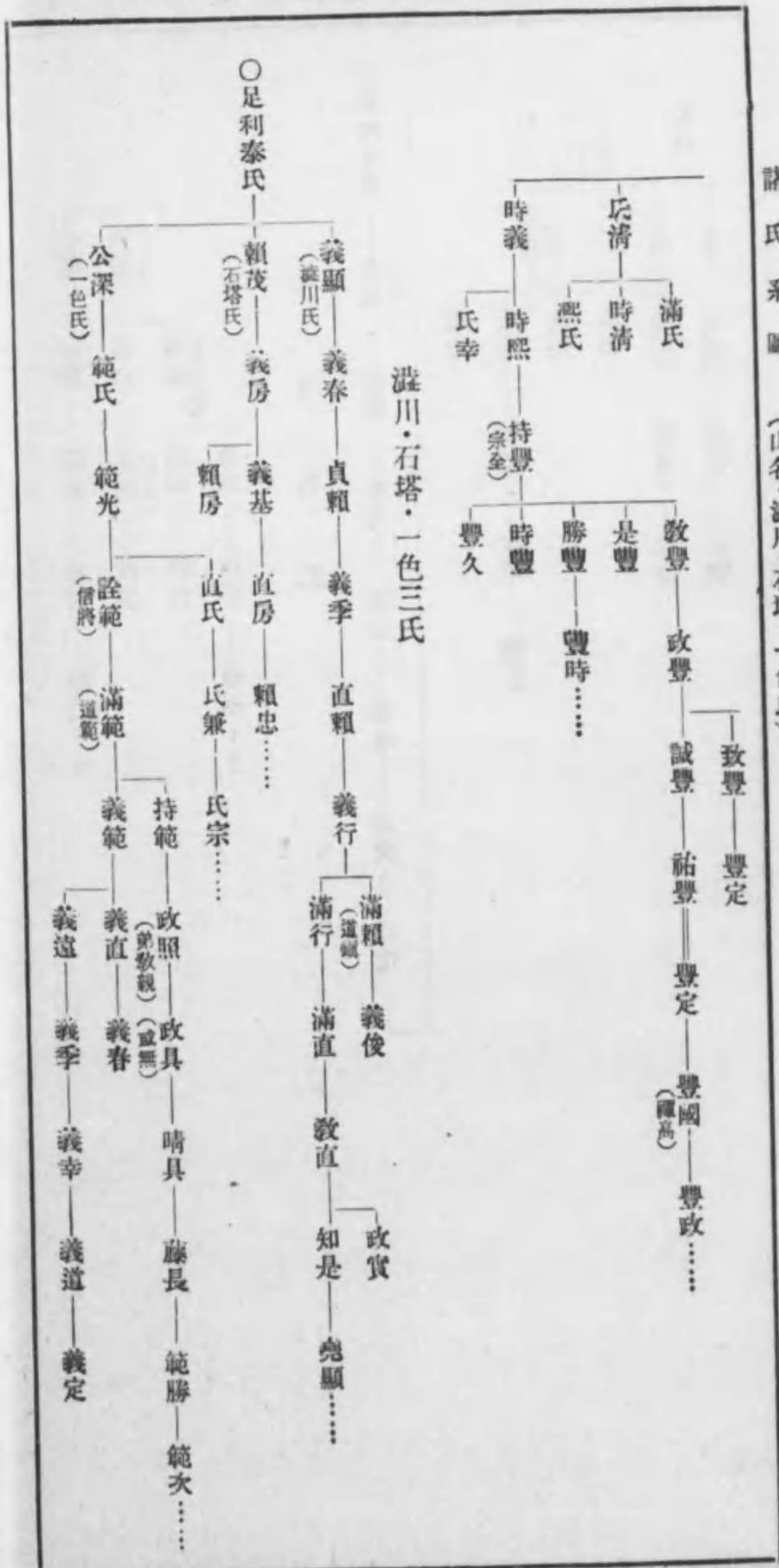


諸氏系圖 (仁木・吉良・今川氏)



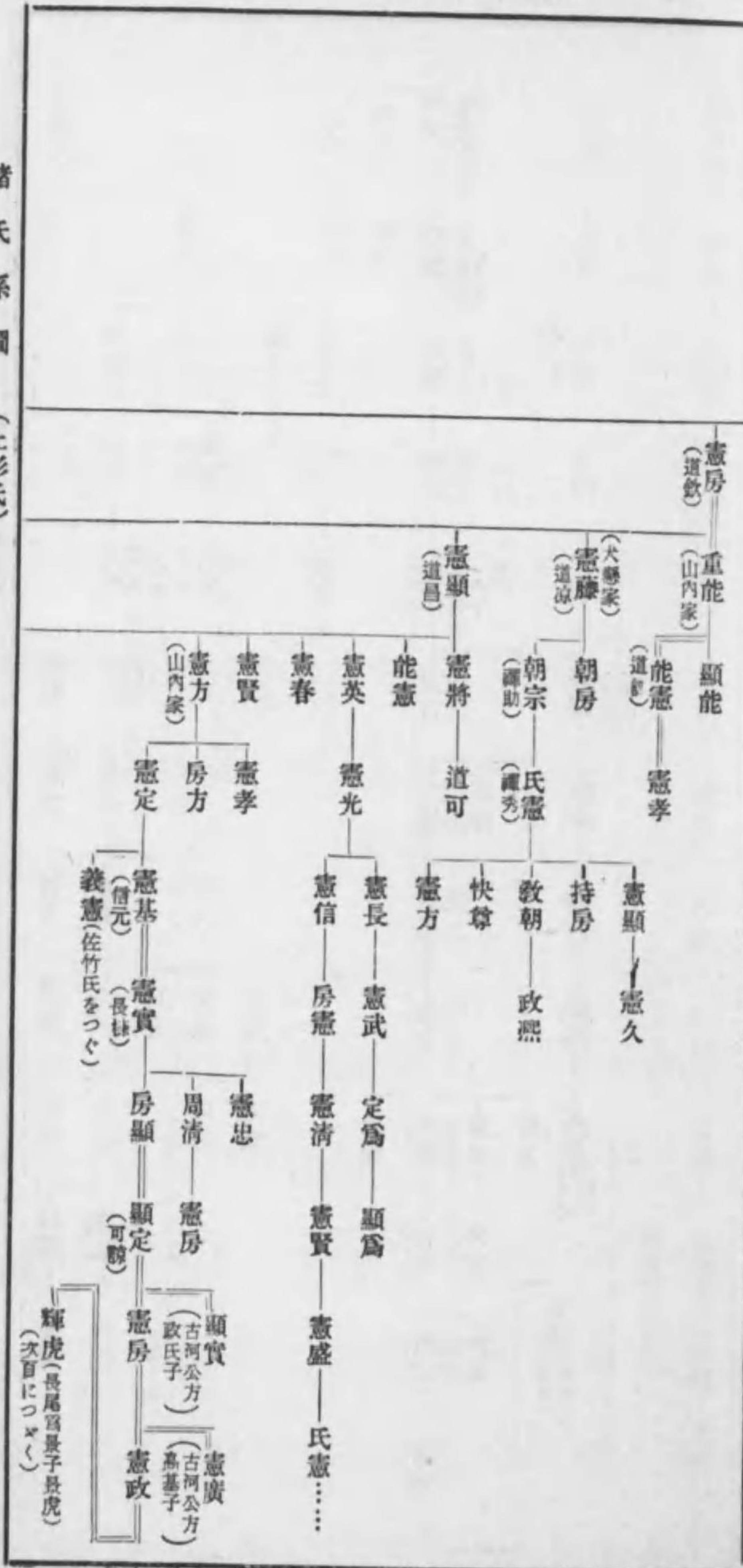
仁木氏

諸氏系圖 (山名・澁川・石塔・一色氏)

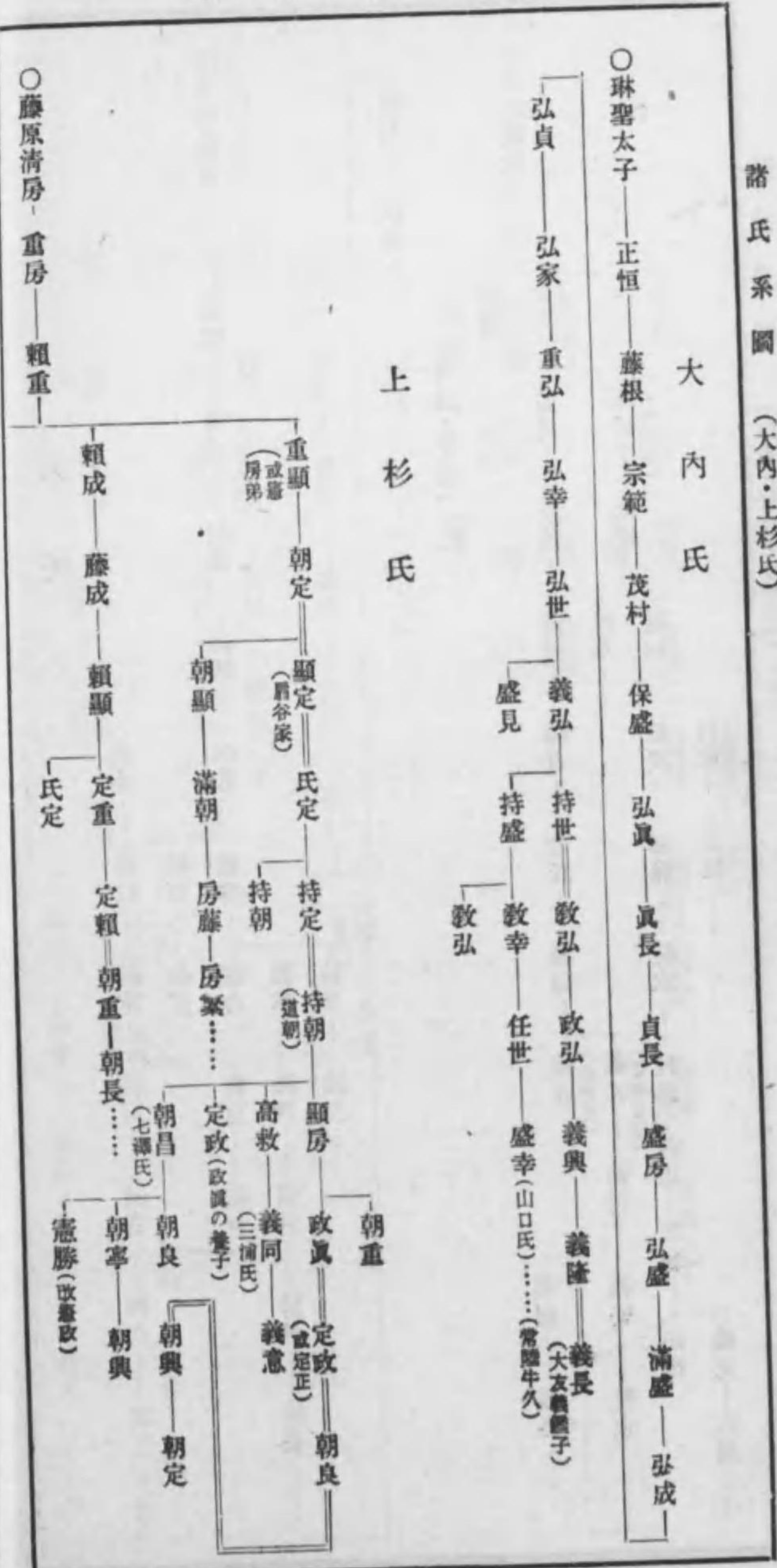




諸氏系圖 (上杉氏)

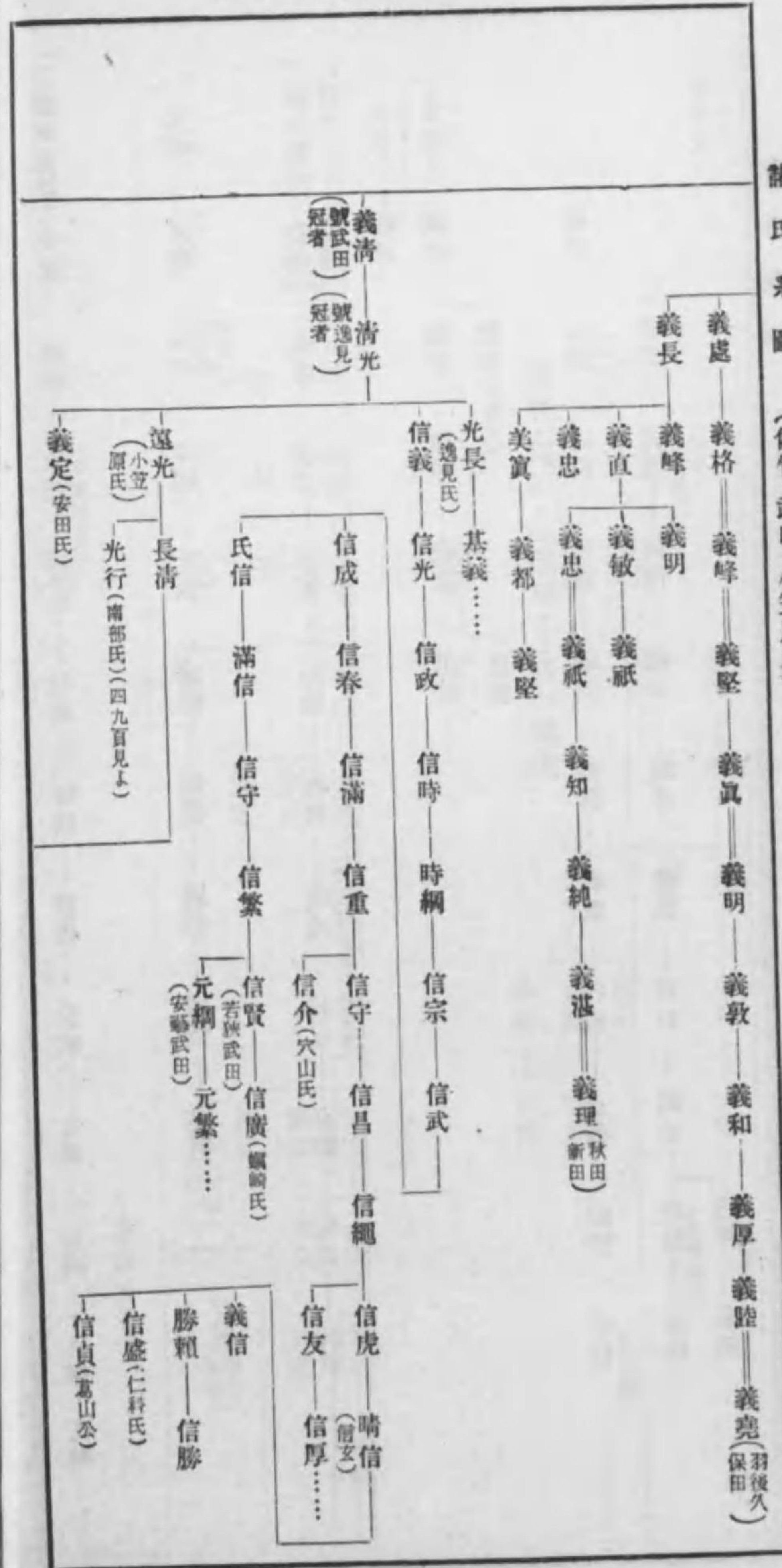


諸氏系圖 (大内・上杉氏)

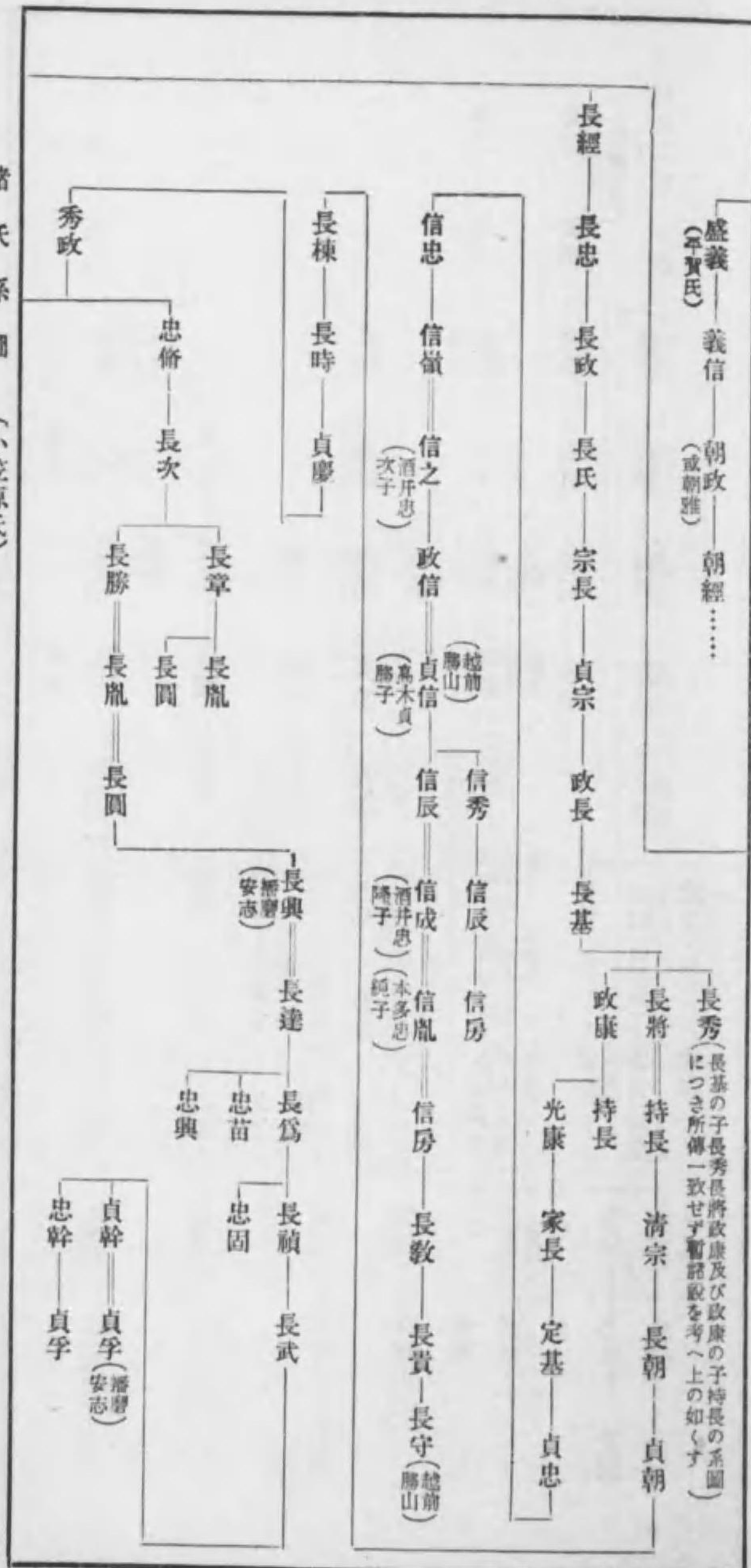




諸氏系圖 (佐竹・武田・小笠原氏)



諸氏系圖 (小笠原氏)

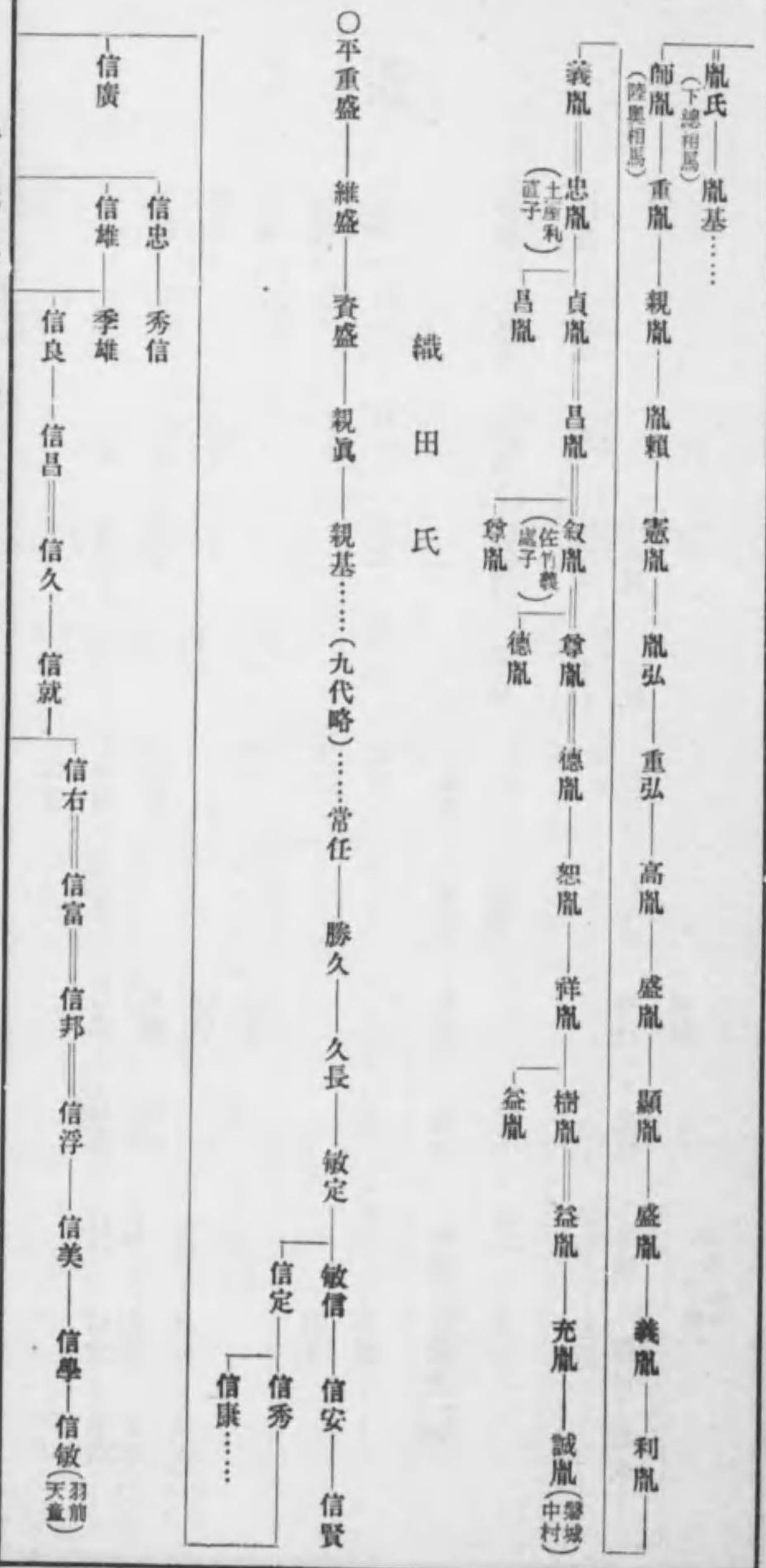




諸氏系圖 (南部・相馬氏)

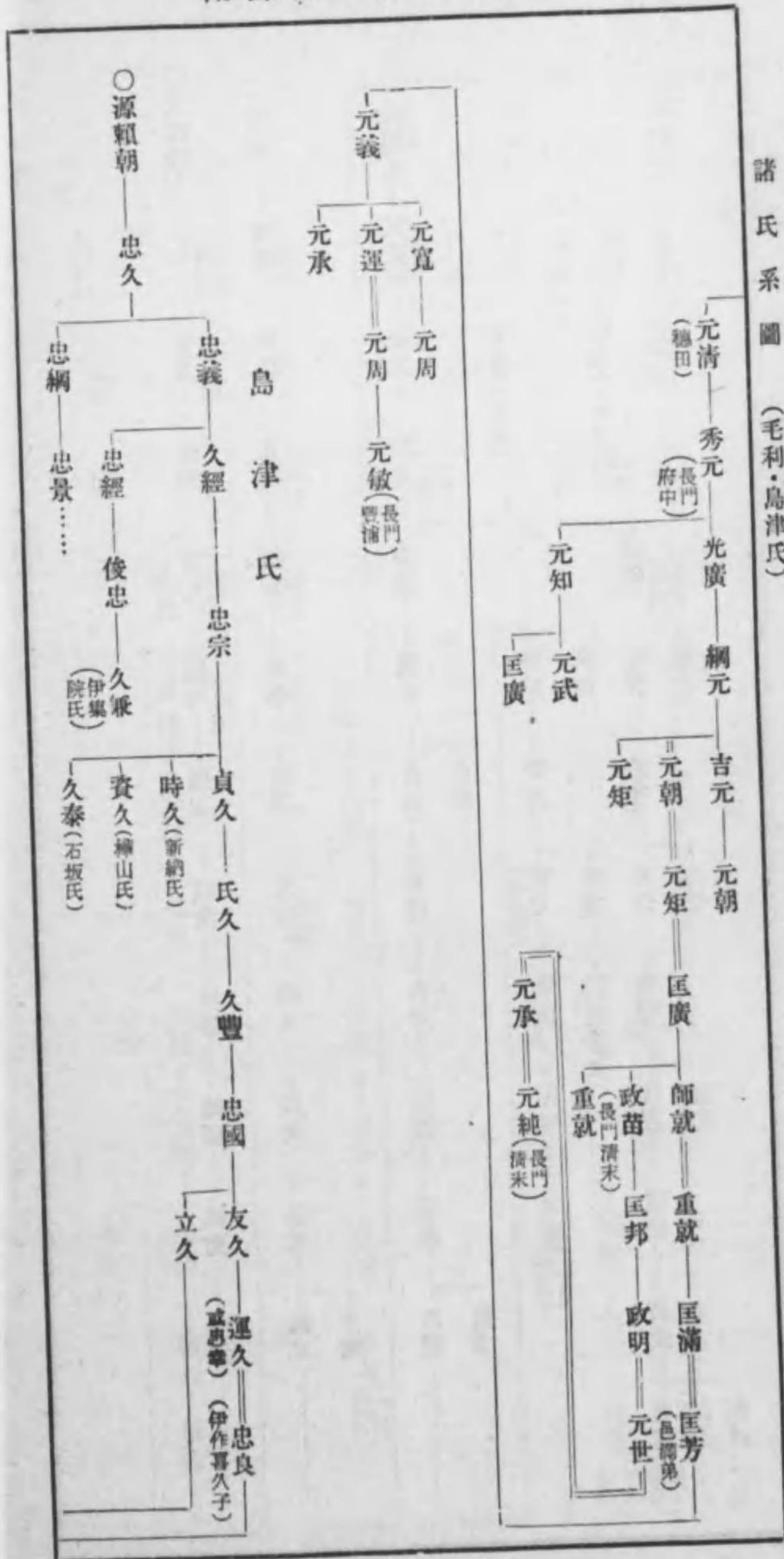


諸氏系圖 (相馬・織田氏)

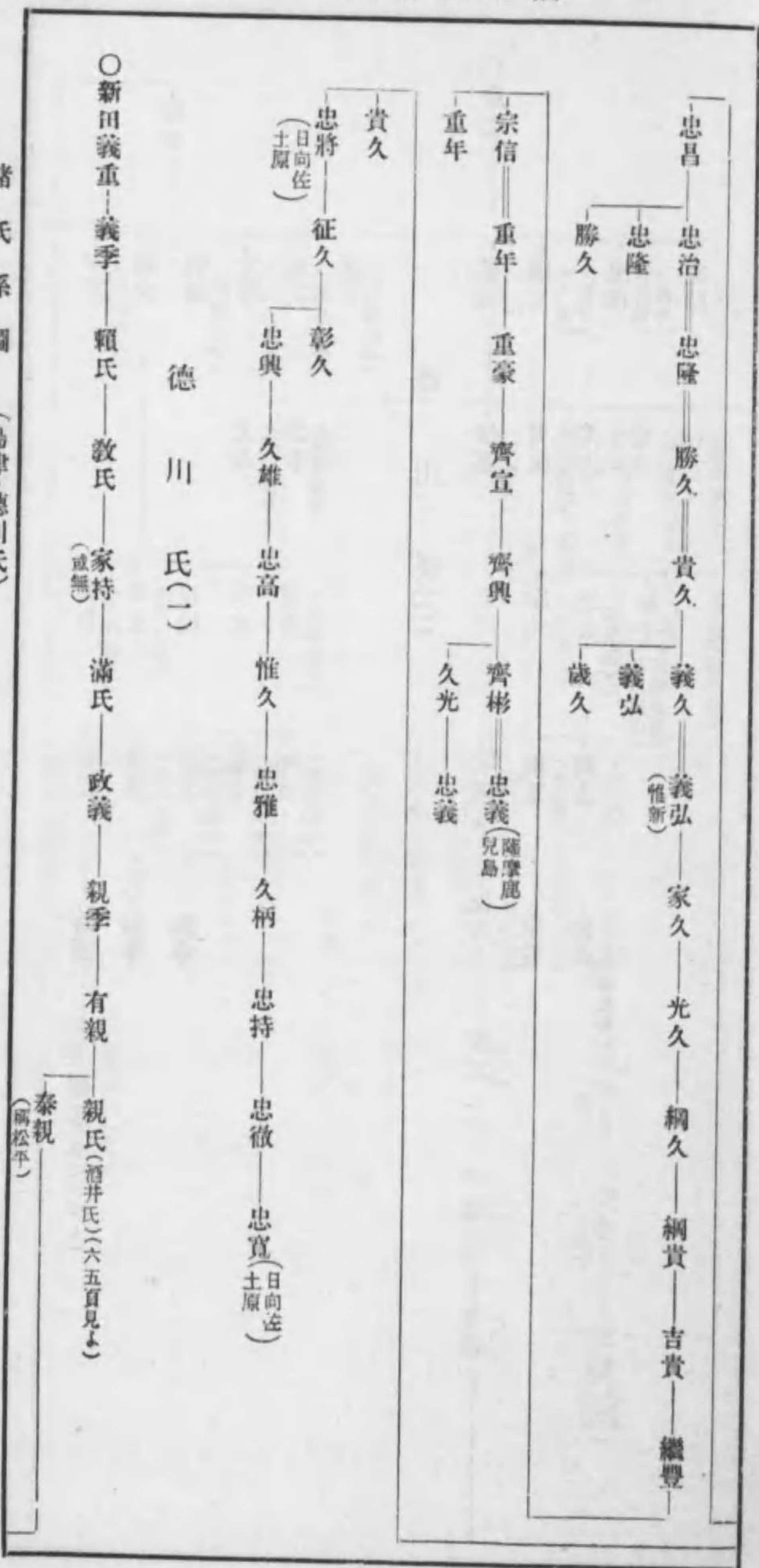




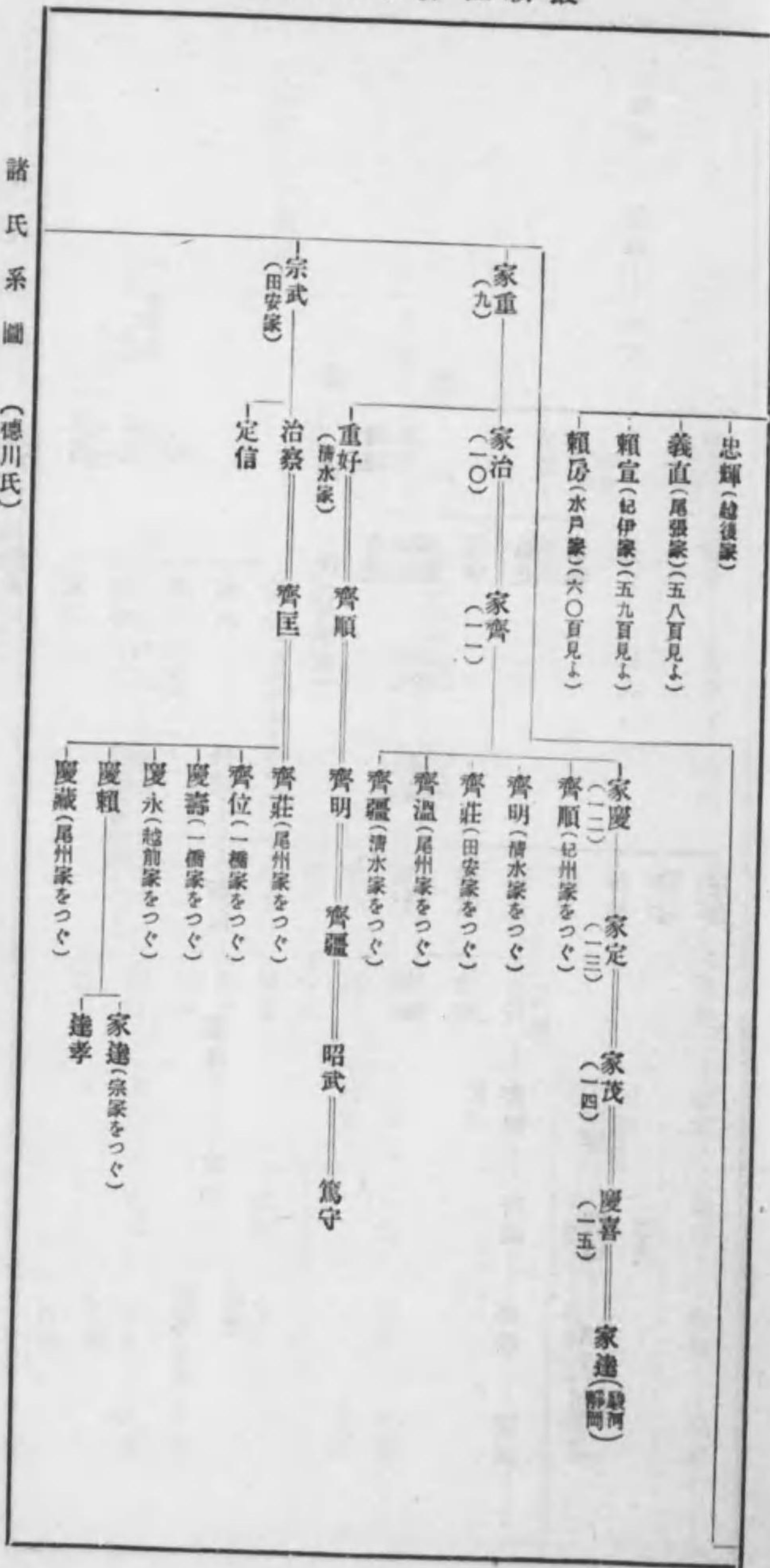
諸氏系圖 (毛利・島津氏)



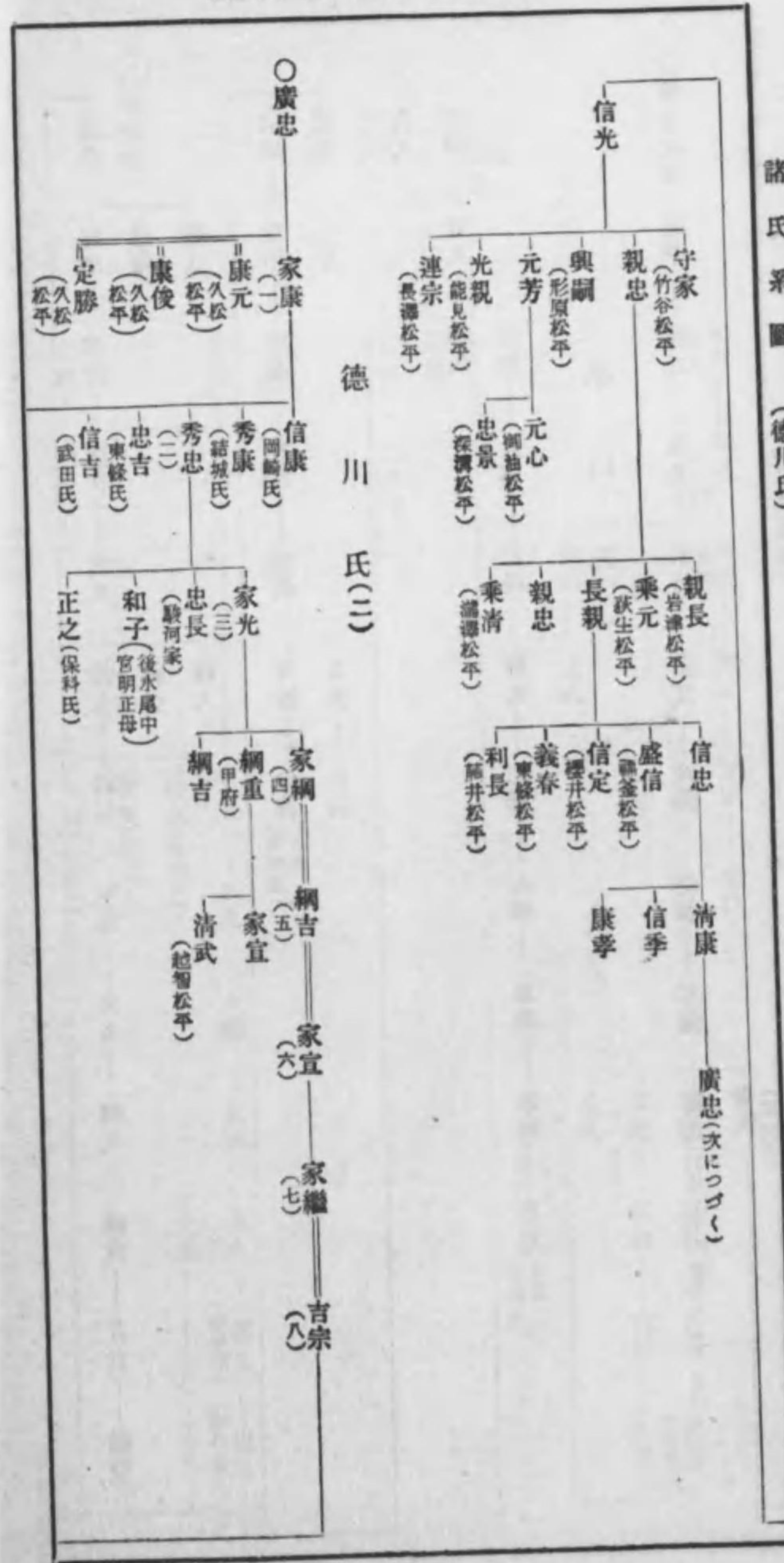
諸氏系圖 (島津・徳川氏)



諸氏系圖 (德川氏)

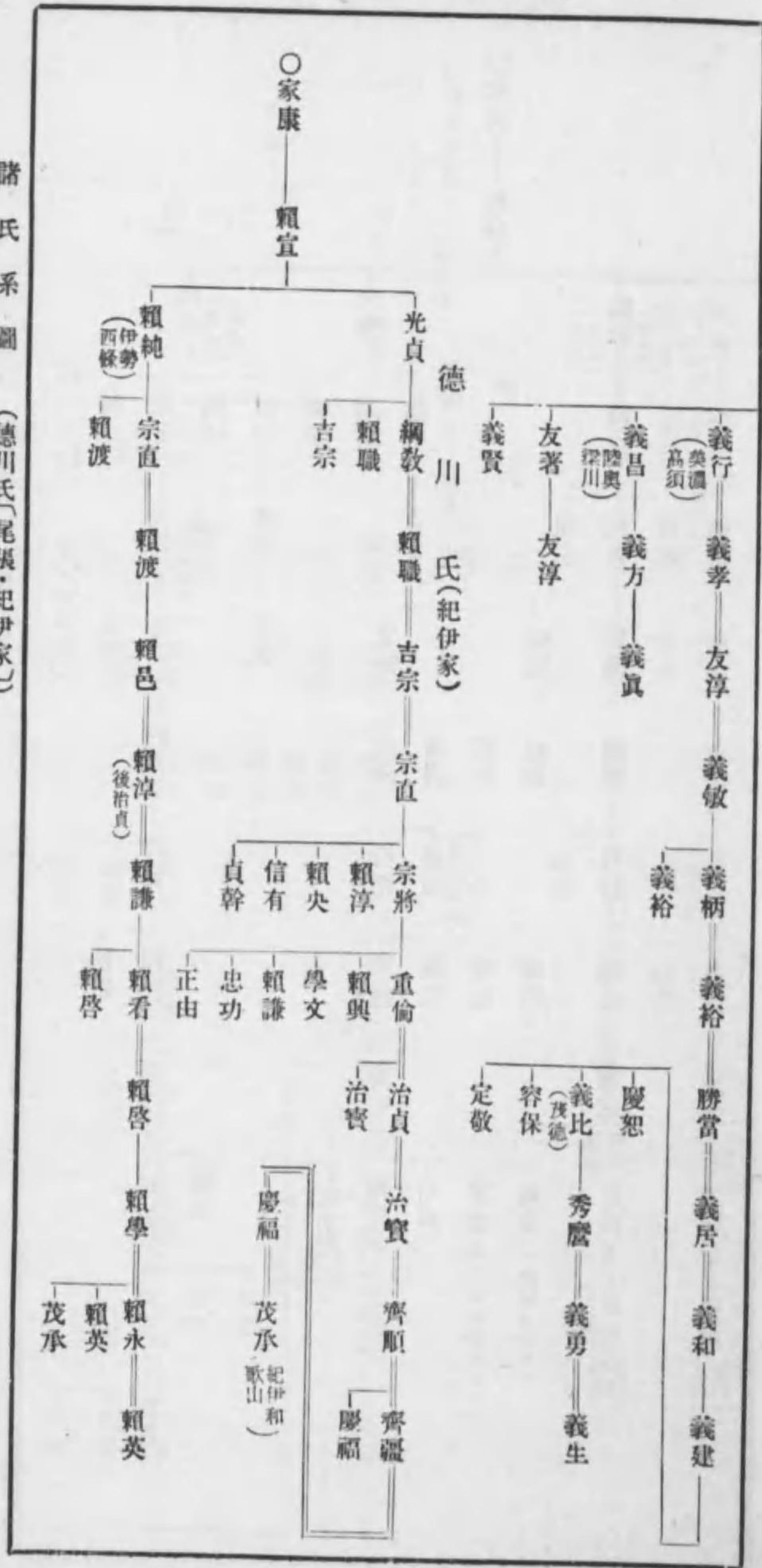


諸氏系圖 (德川氏)

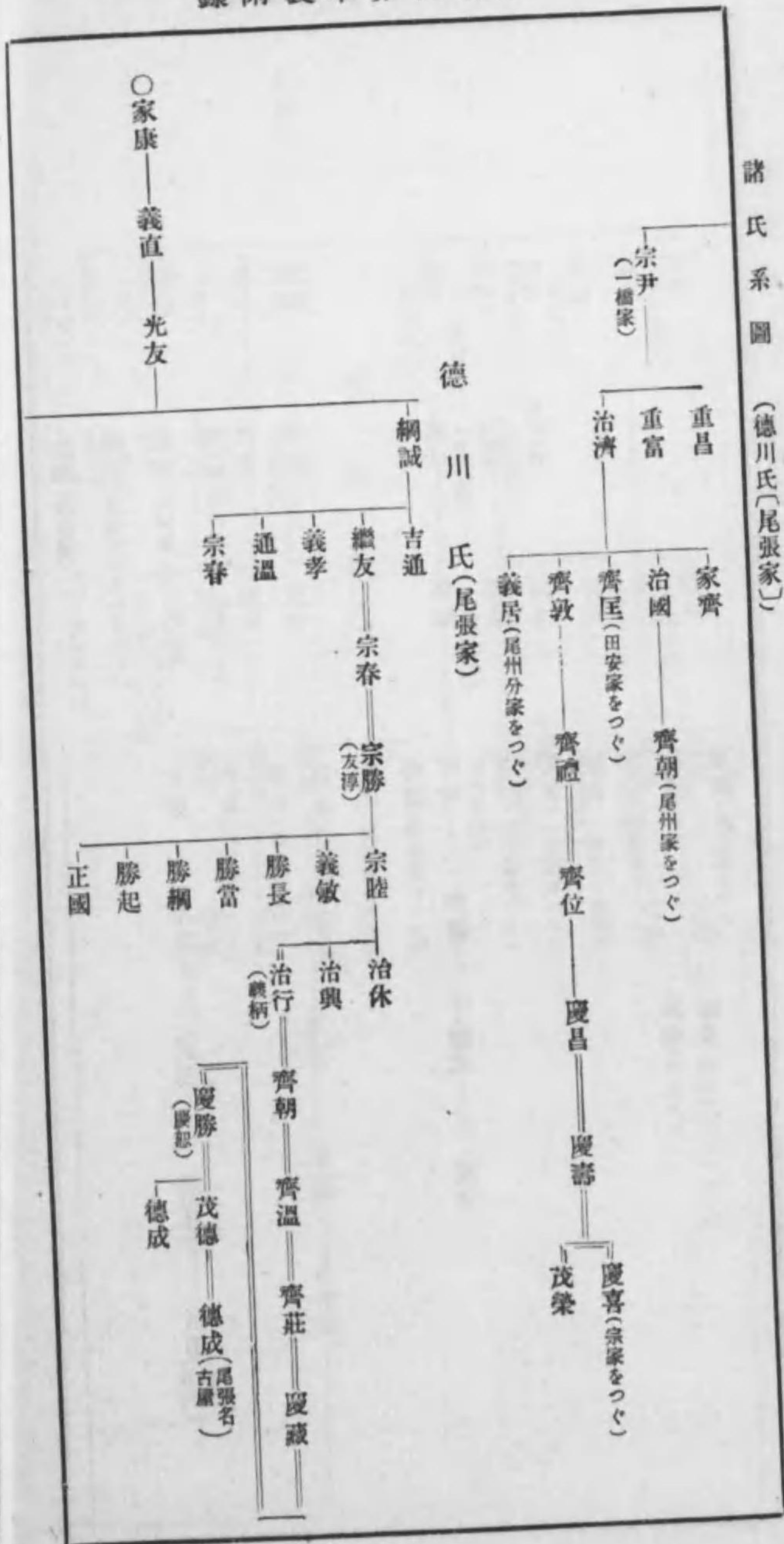




諸氏系圖 (德川氏(尾張・紀伊家))



諸氏系圖 (德川氏(尾張家))



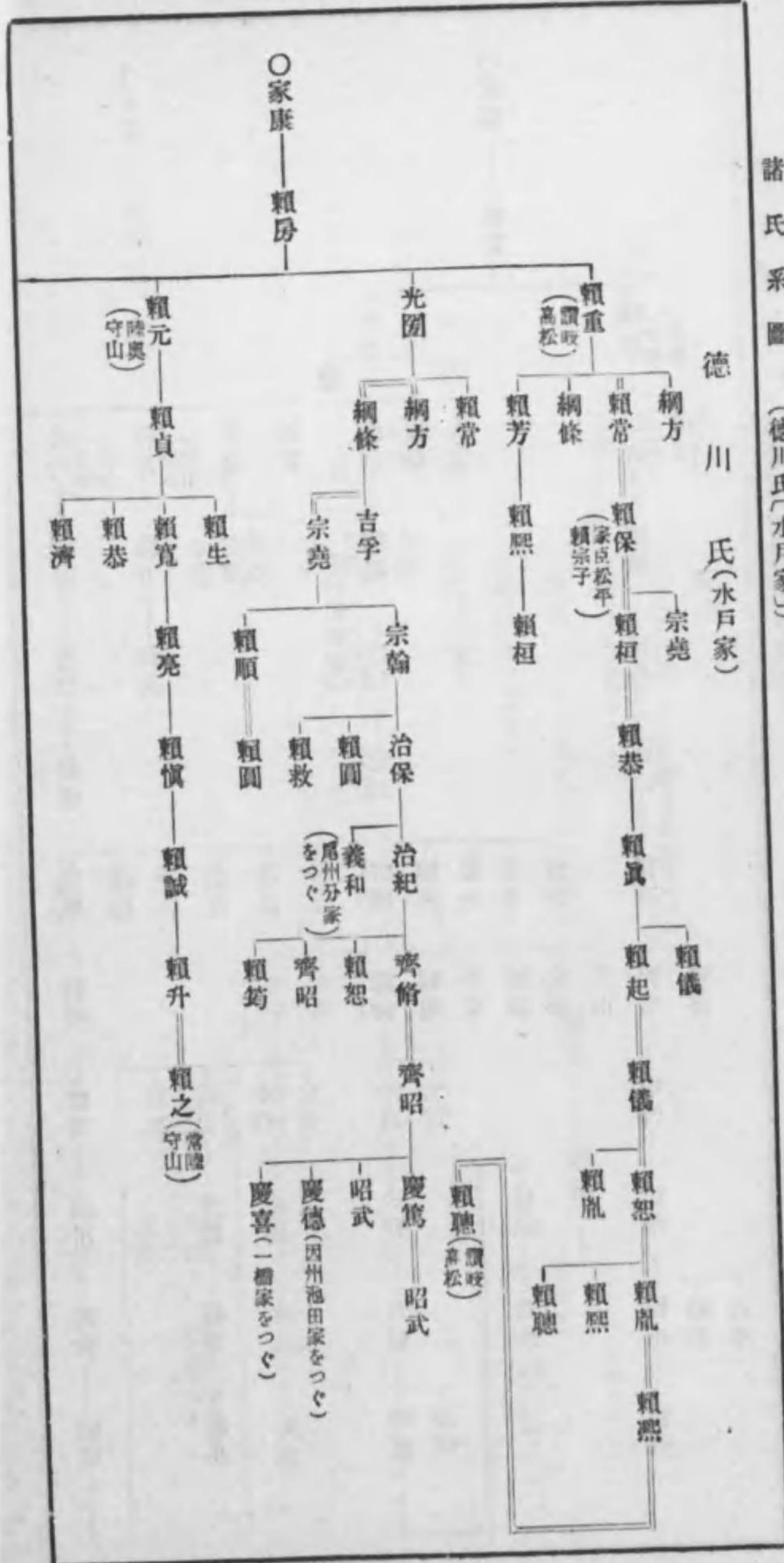
諸氏系圖

(德川氏(水戸家)・前田氏)



諸氏系圖

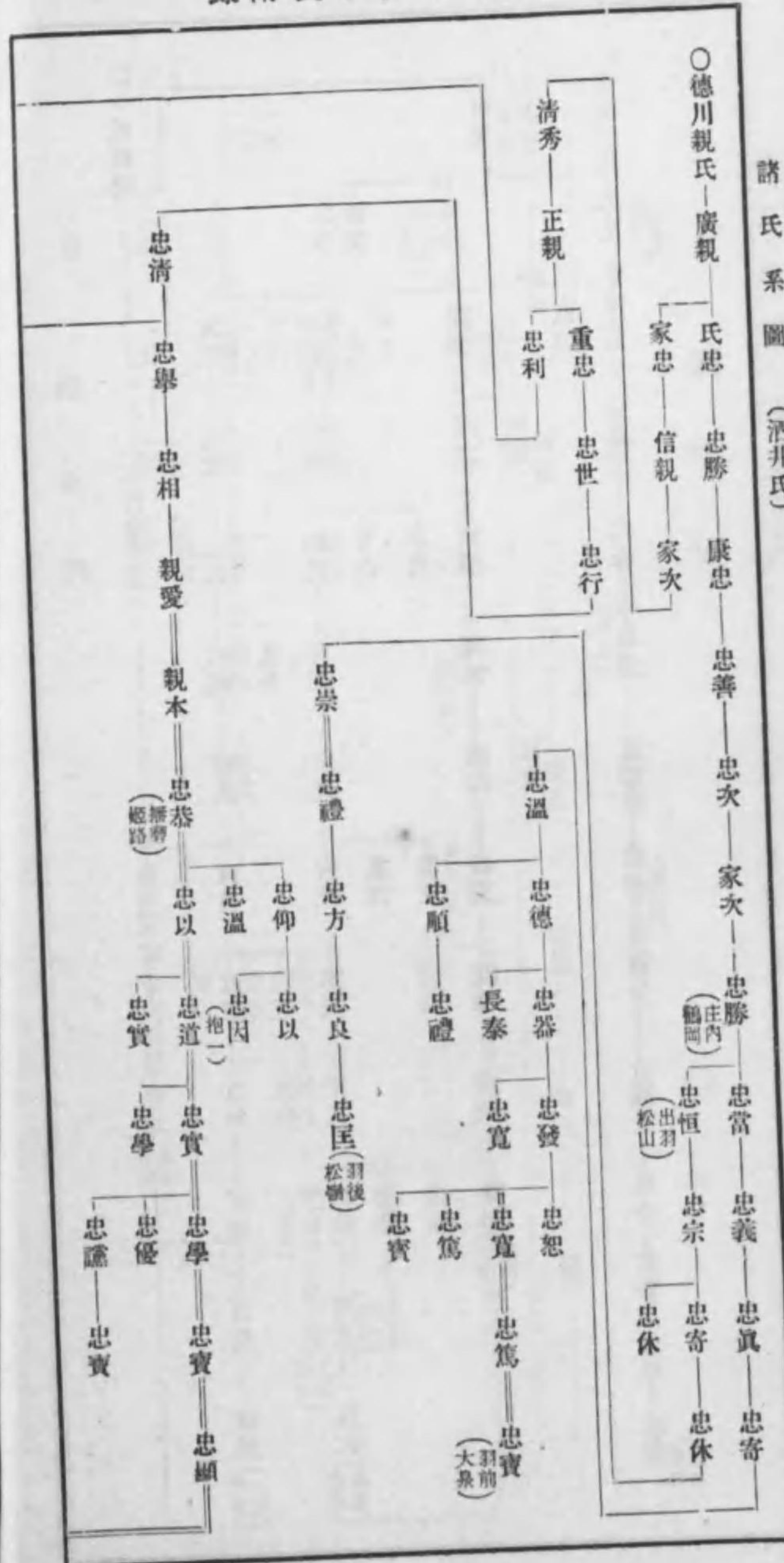
(德川氏(水戸家))







諸氏系圖 (酒井氏)



諸氏系圖 (酒井・本多氏)

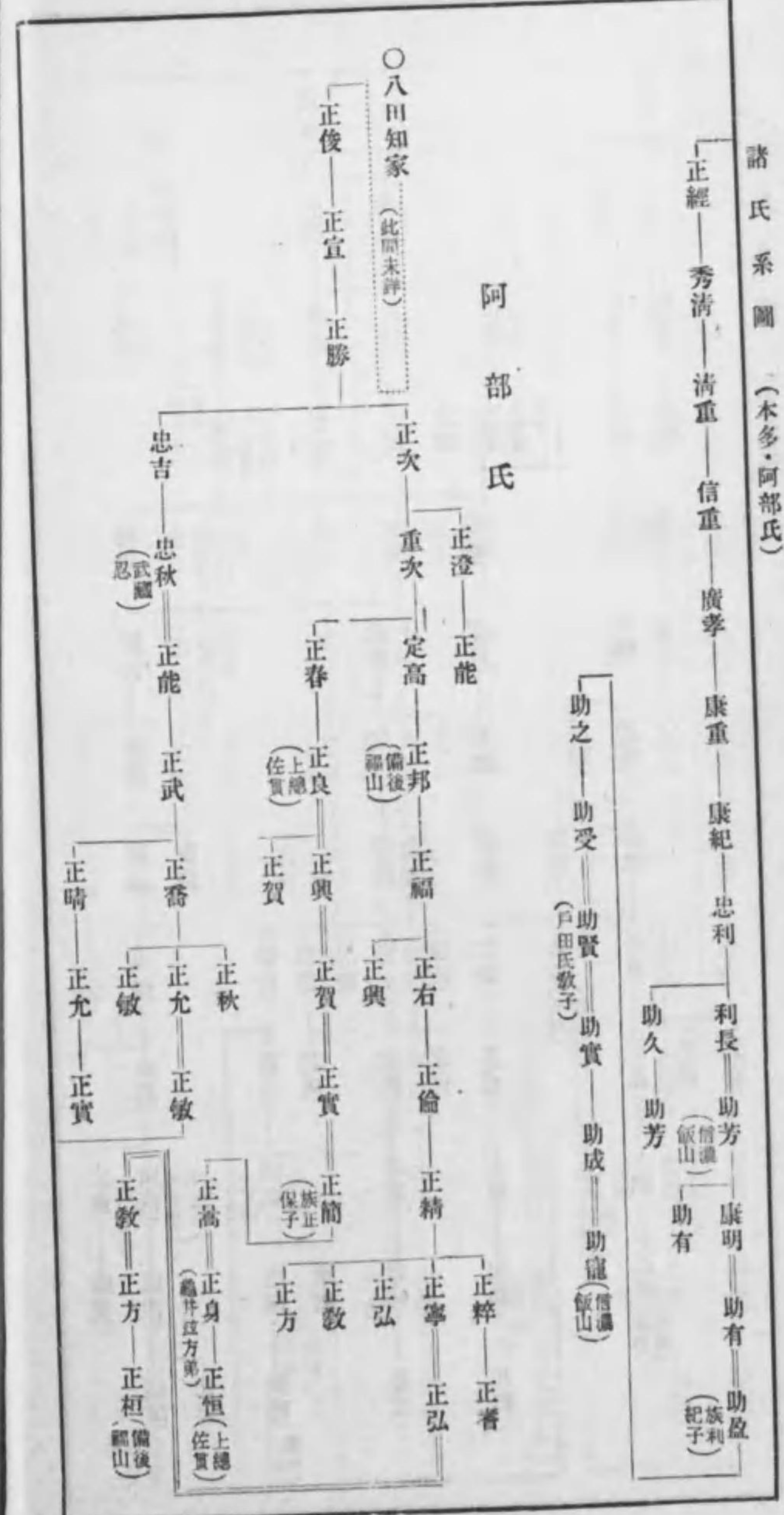




諸氏系圖 (阿保・堀田氏)



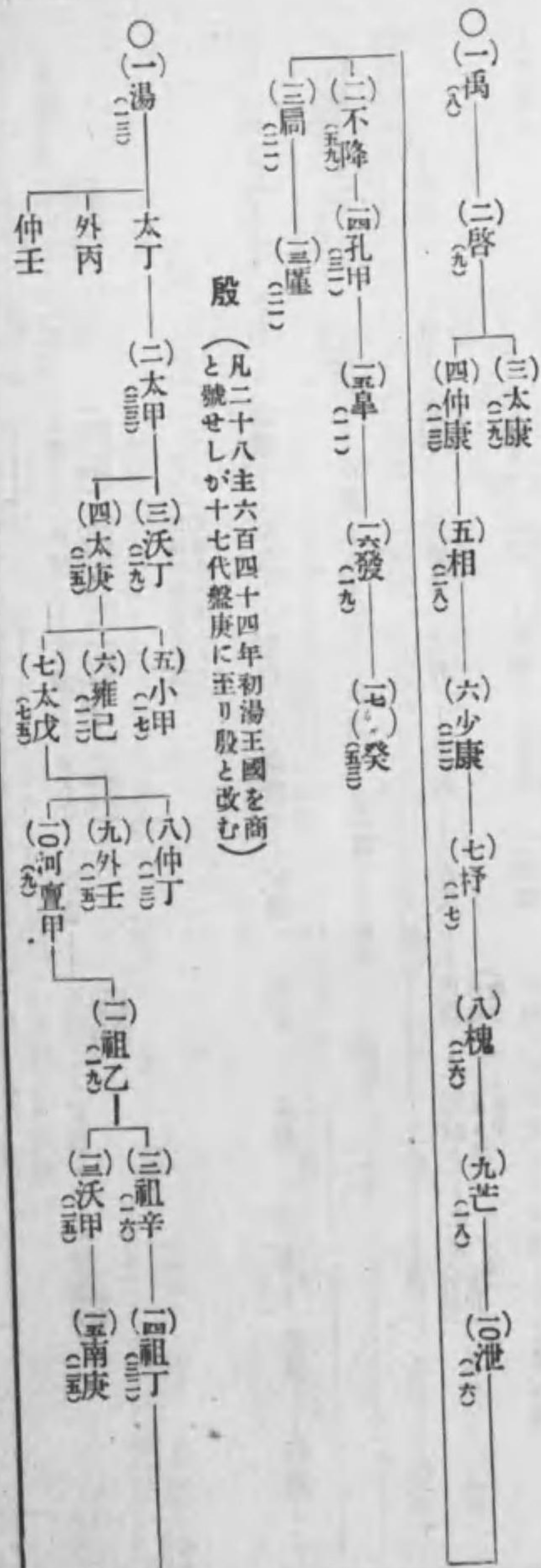
諸氏系圖 (木多・阿部氏)



支那歷代帝王略系 (夏、殷)

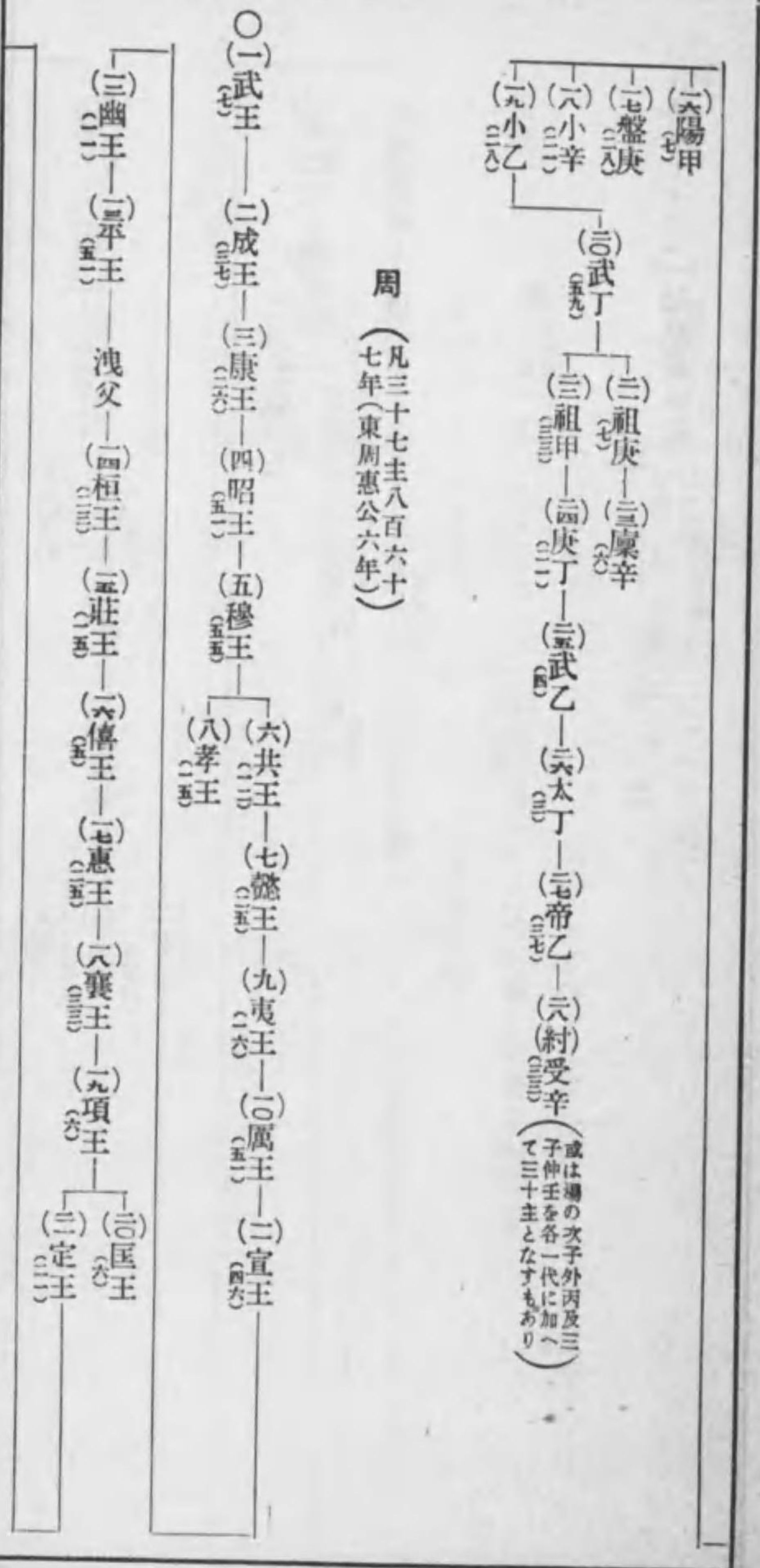
支那及朝鮮歷代帝王略系

夏 (凡十七主四) (帝王の左傍にあるはすべて在位年數を記す)  
百三十九年



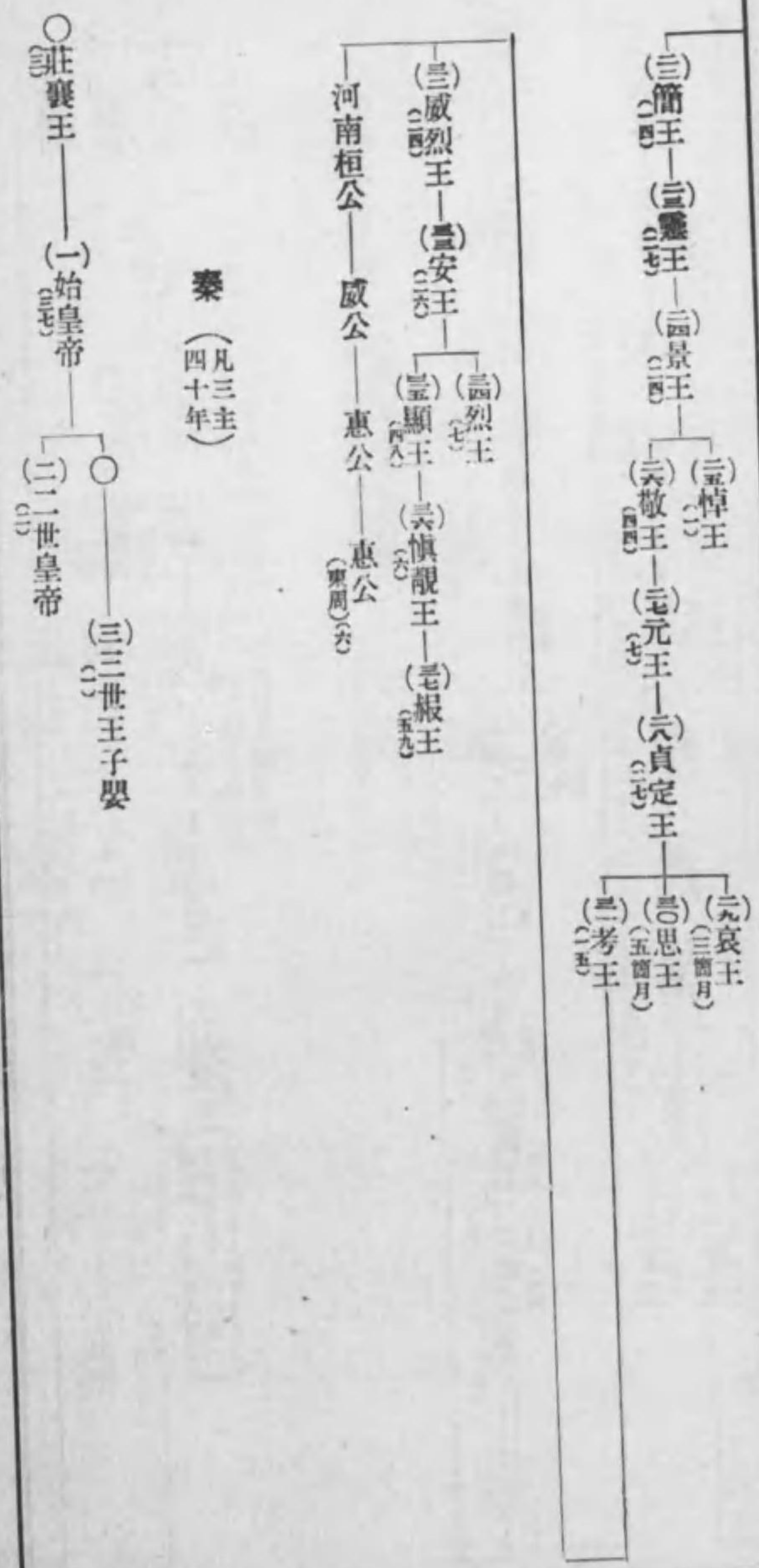
支那歷代帝王略系 (殷、周)

周 (凡三十七主八百六十七年(東周惠公六年))

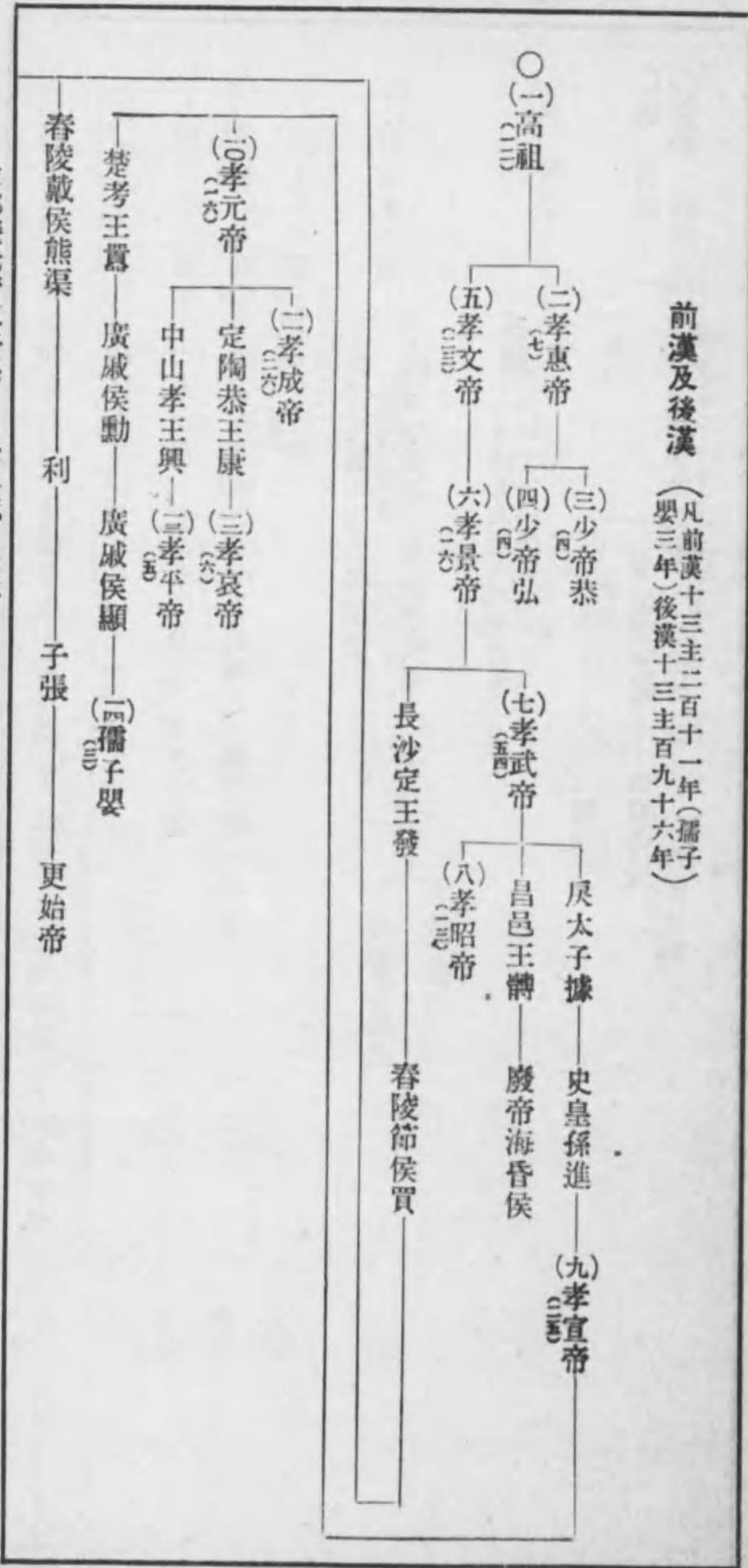




支那歷代帝王略系 (周、秦)



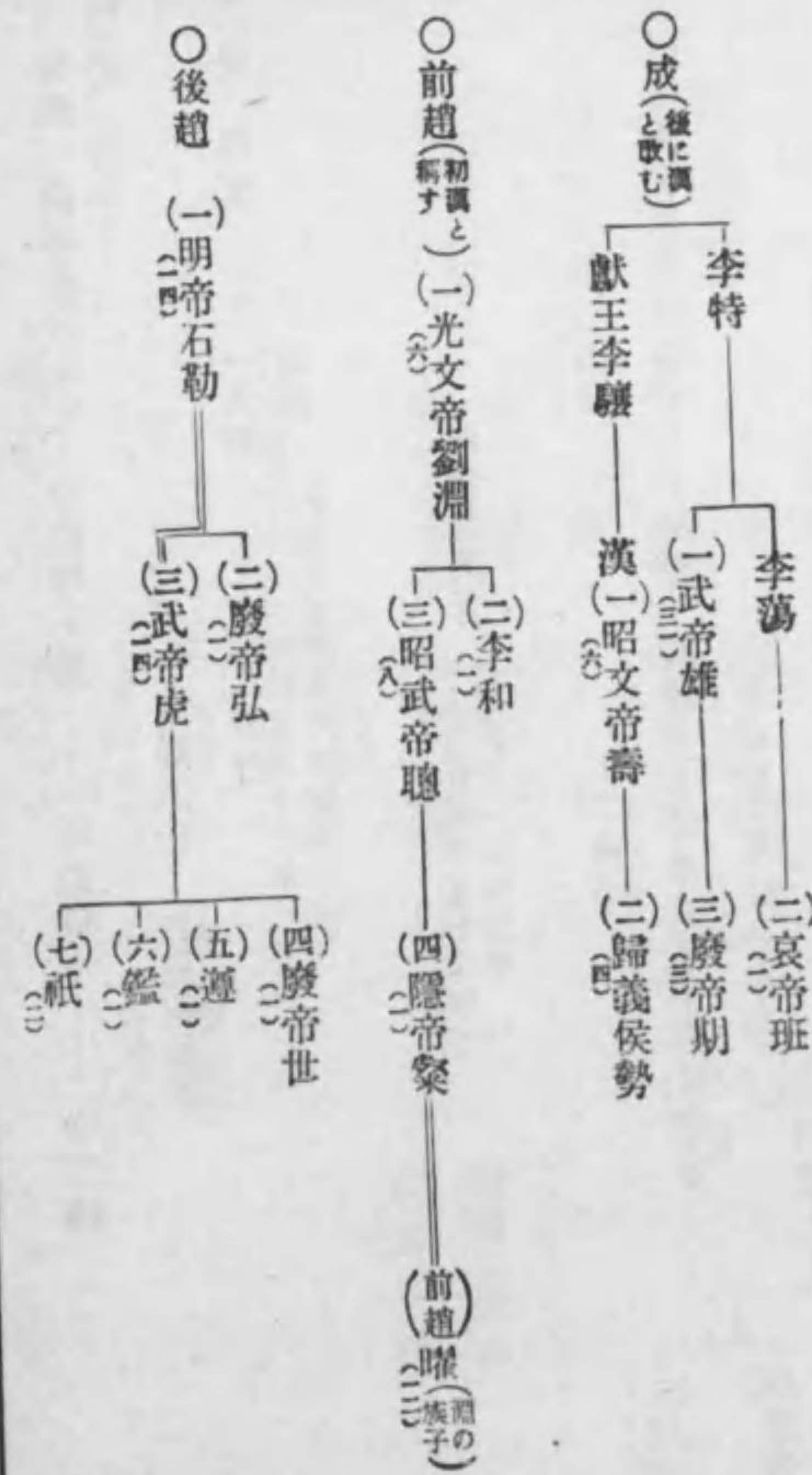
支那歷代帝王略系 (前漢、後漢)



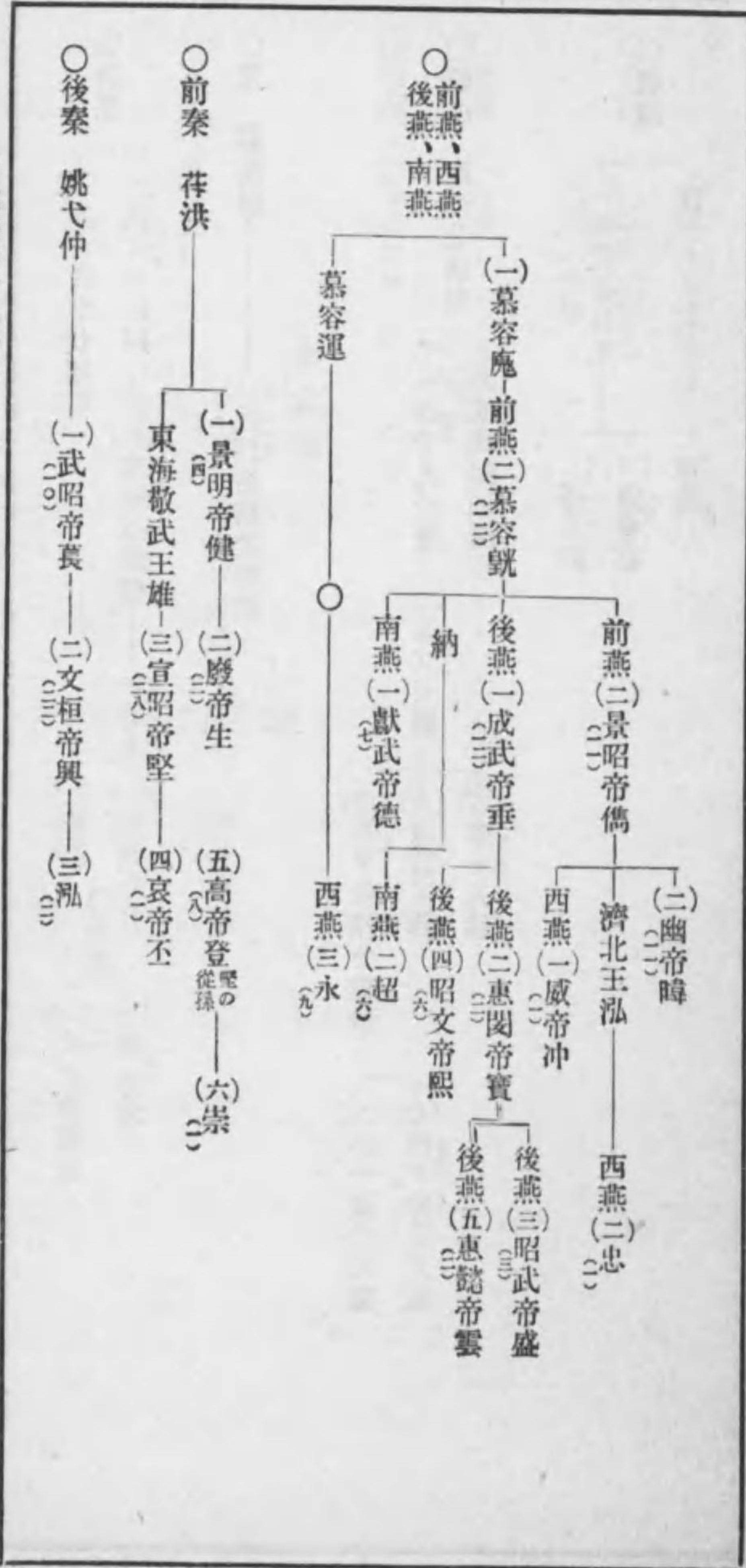


支那歷代帝王略系 (五胡十六國)

五胡十六國 (各國帝王の在位年數は其元を建てし年より起算す)

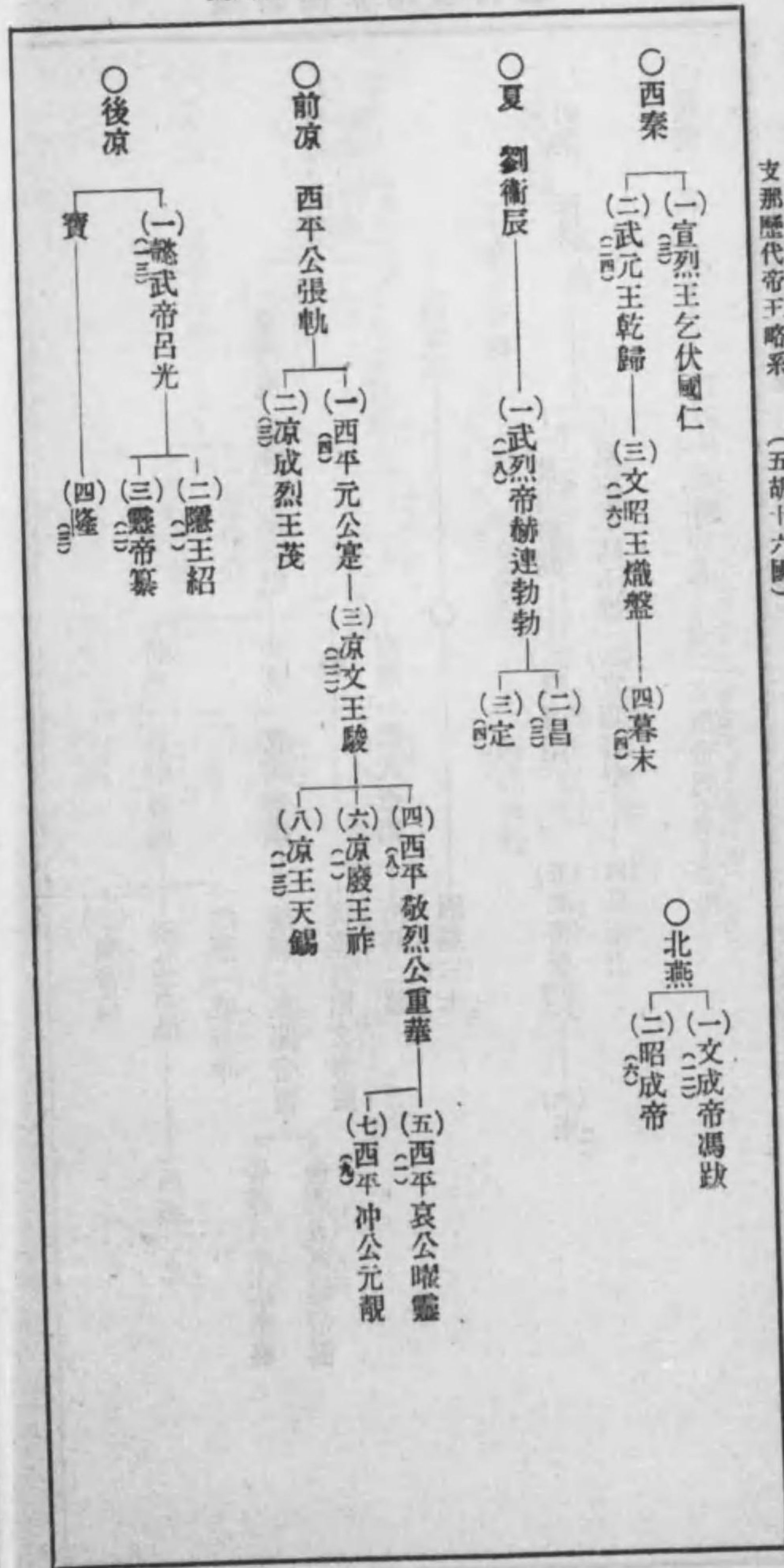


支那歷代帝王略系 (五胡十六國)



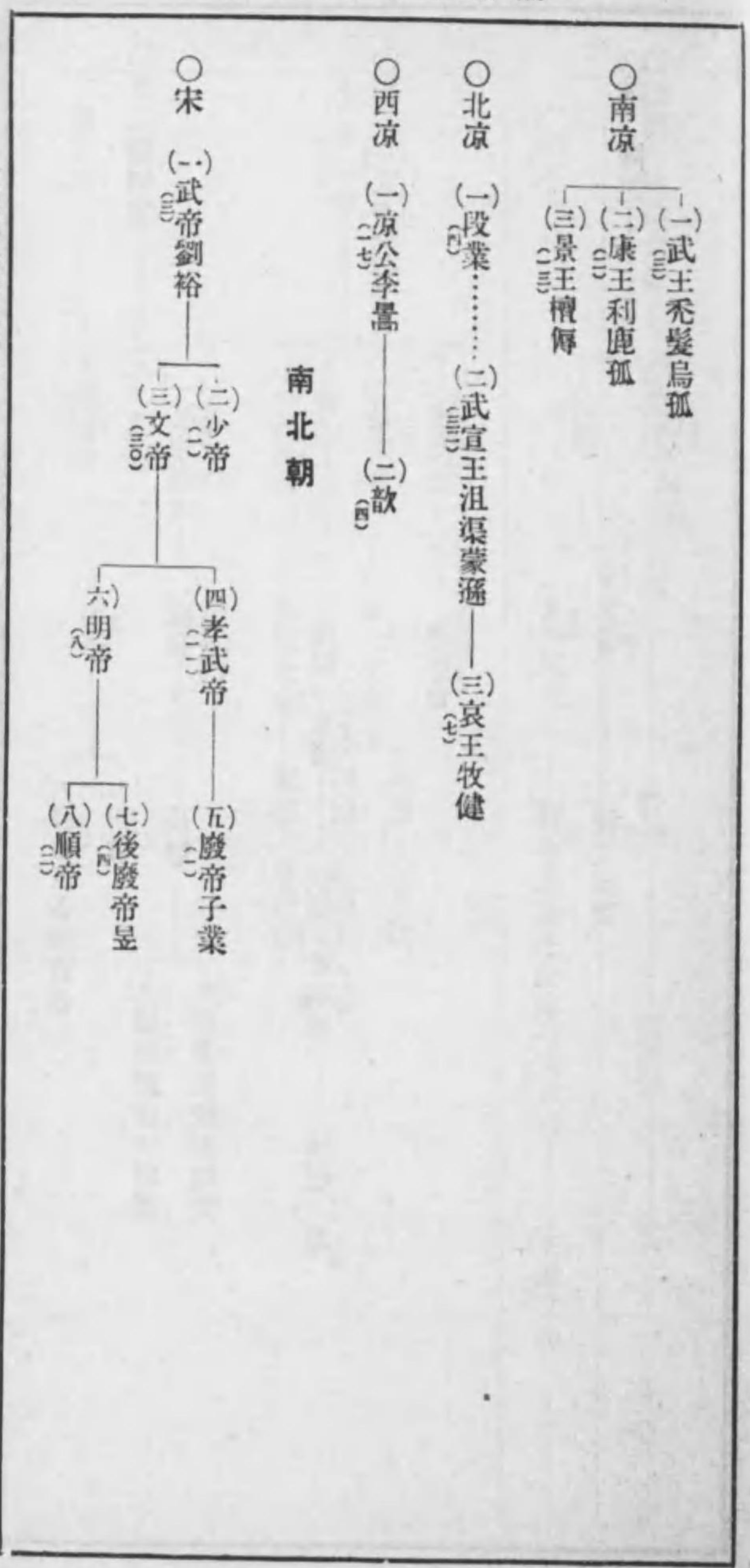
支那歷代帝王略系

(五胡十六國)

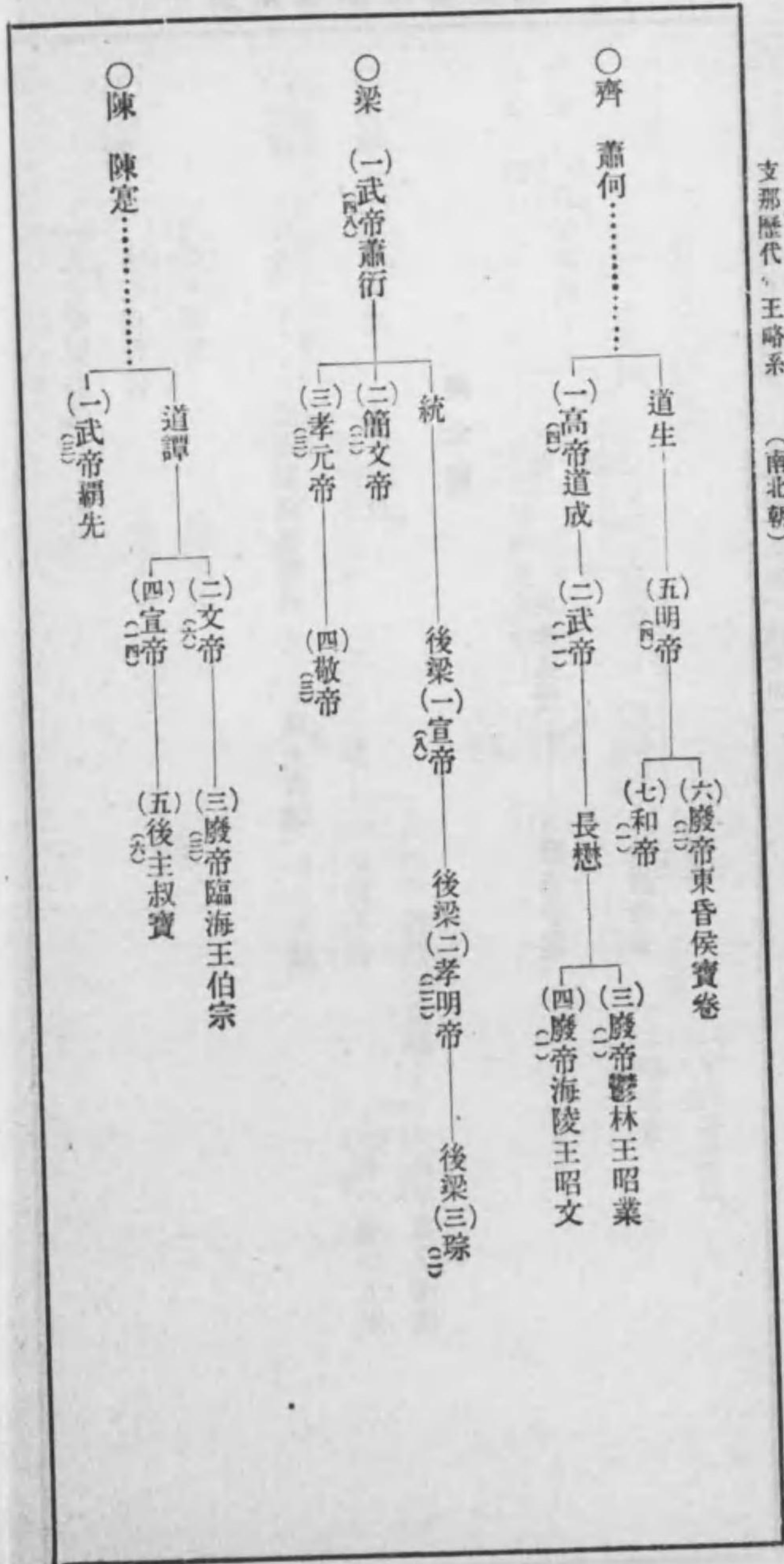


支那歷代帝王略系

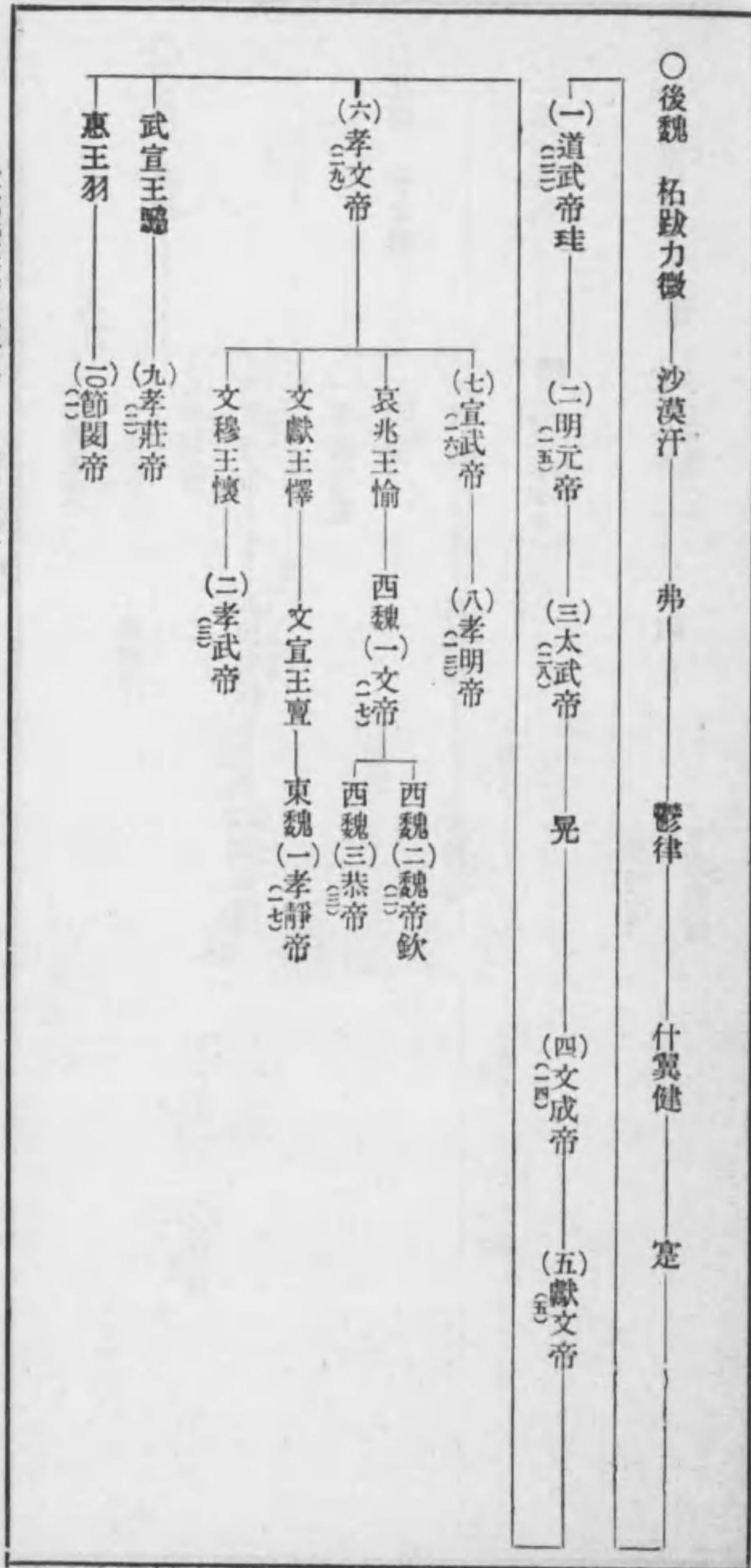
(五胡十六國、南北朝)



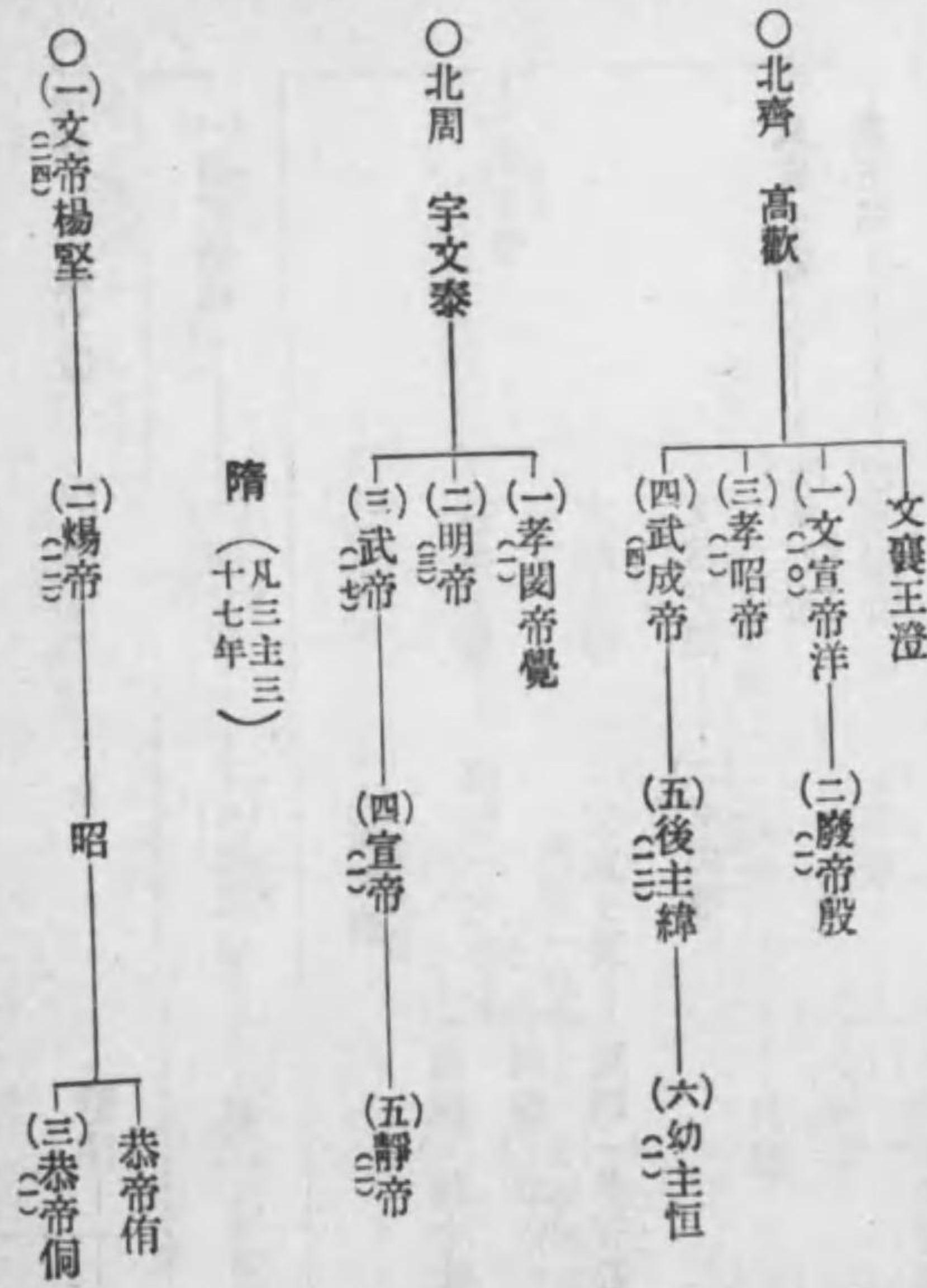
支那歷代王略系 (南北朝)



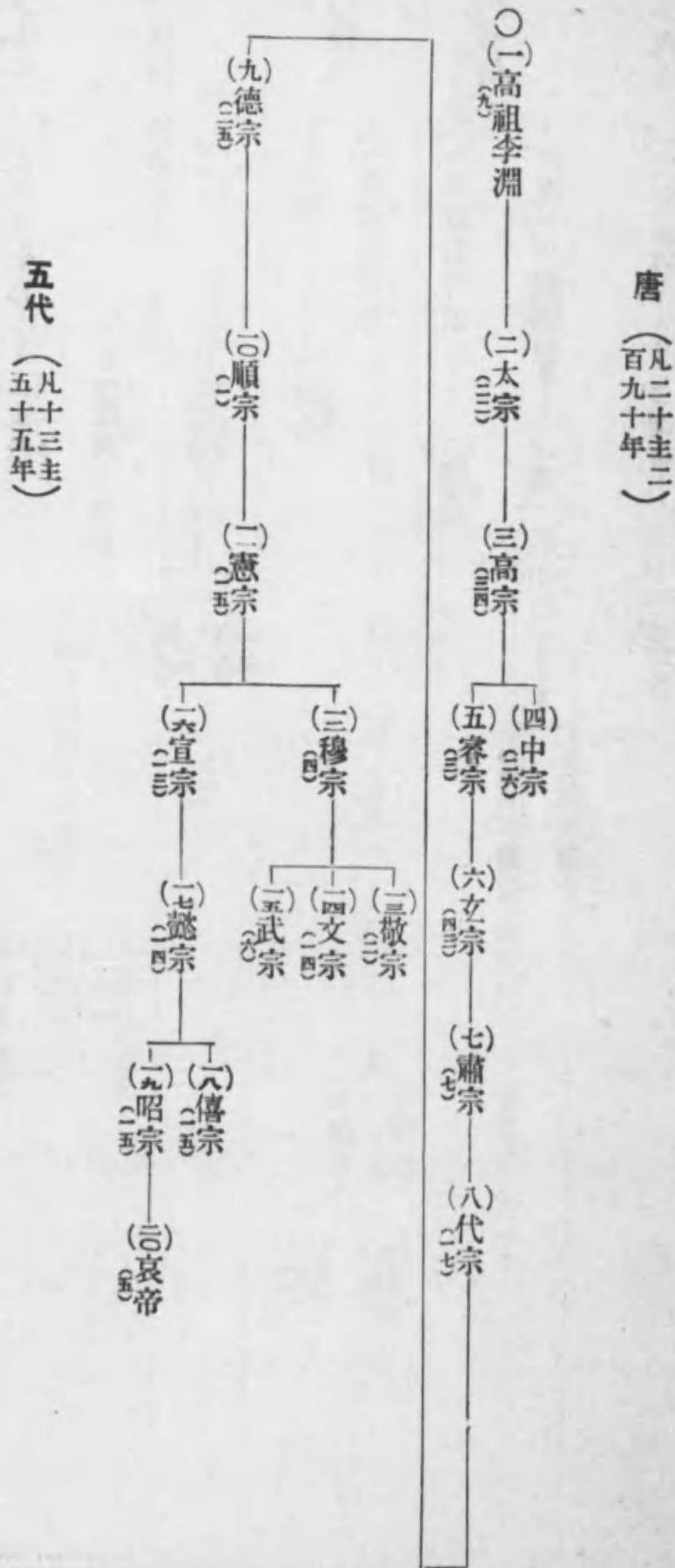
支那歷代帝王略系 (南北朝)



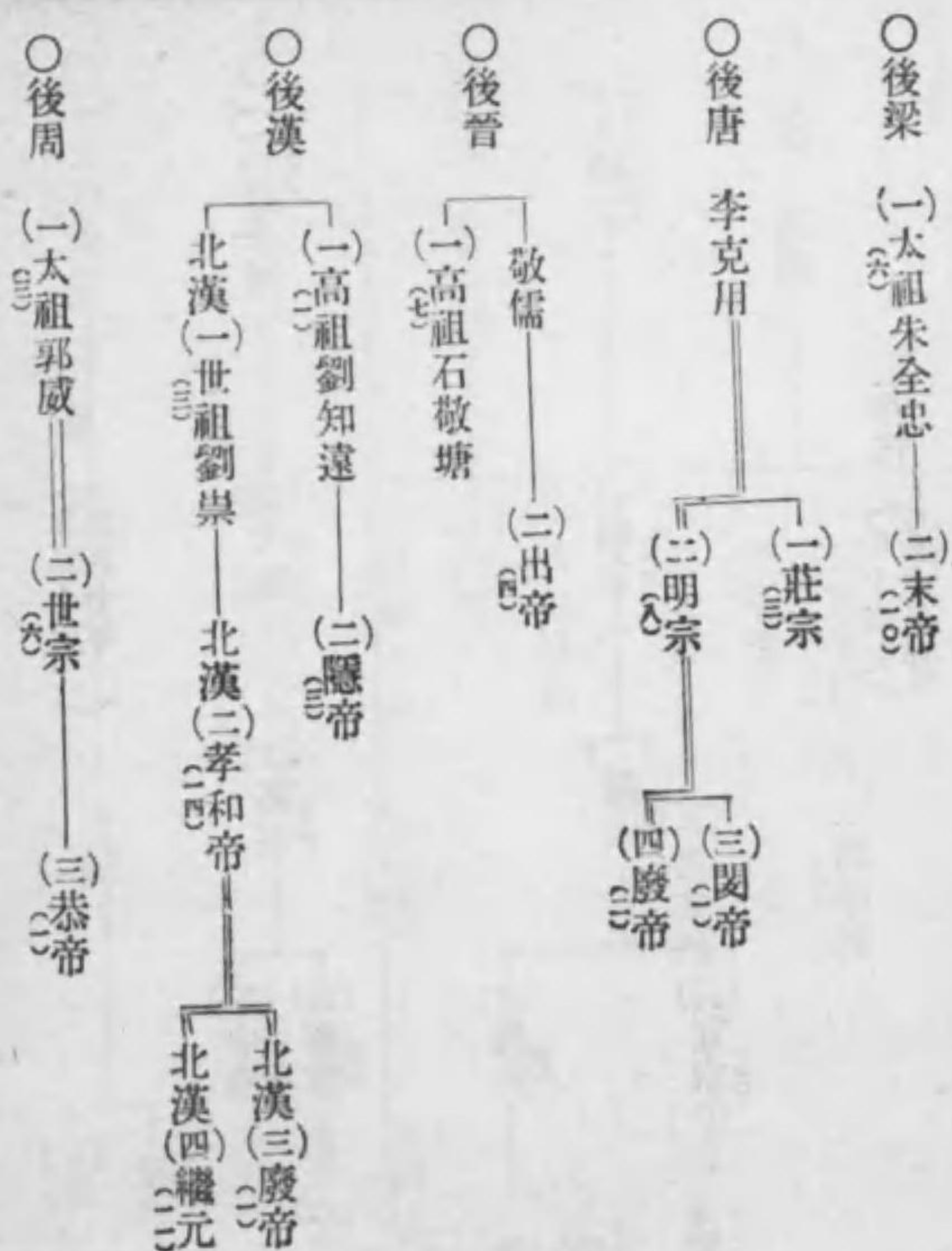
支那歷代帝王略系 (南北朝、隋)



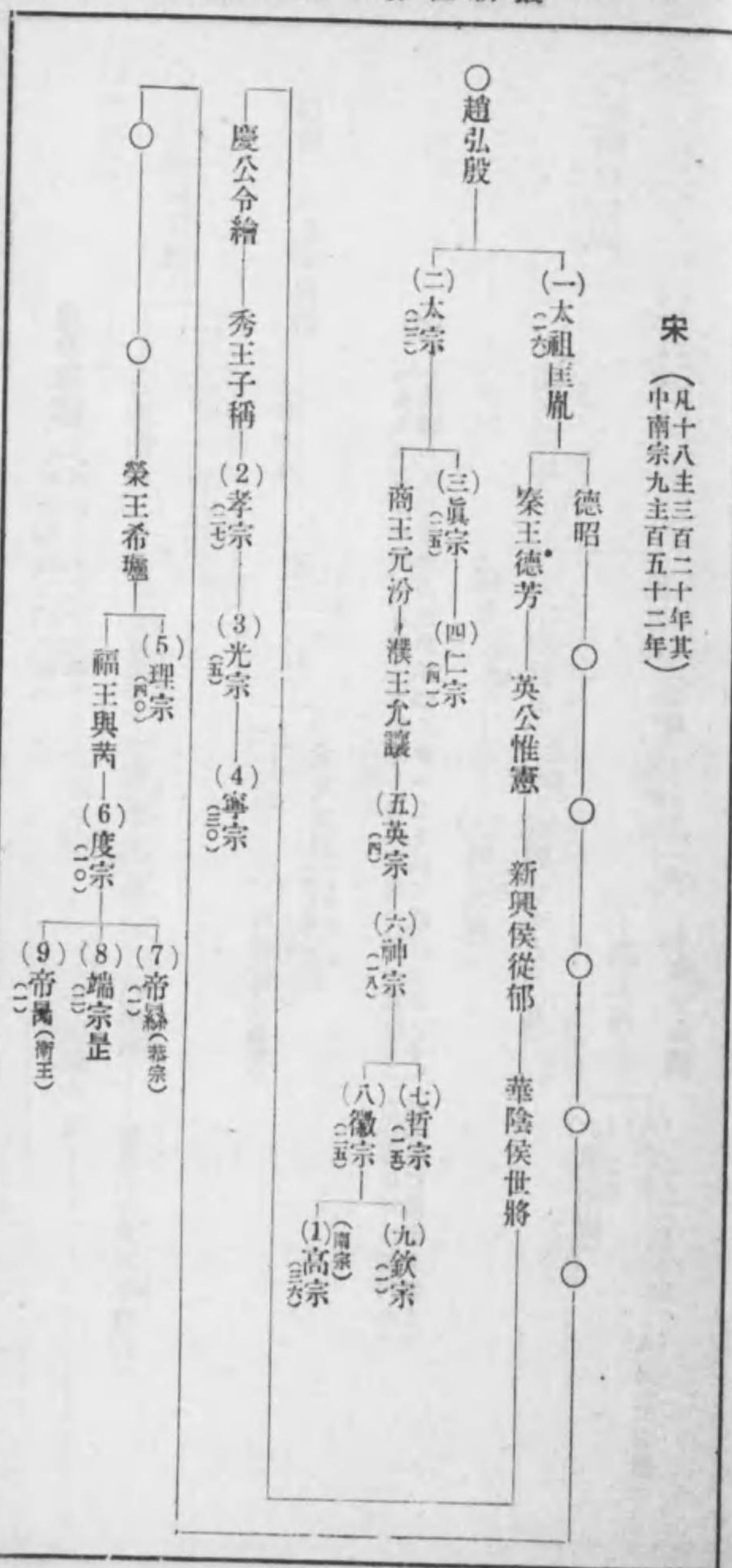
支那歷代帝王略系 (唐)



支那歷代帝王略系 (五代)



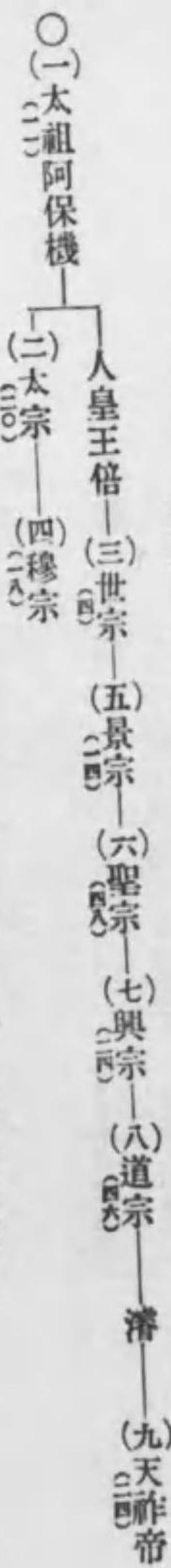
宋 (凡十八主三百二十二年其  
中南宋九主百五十二年)



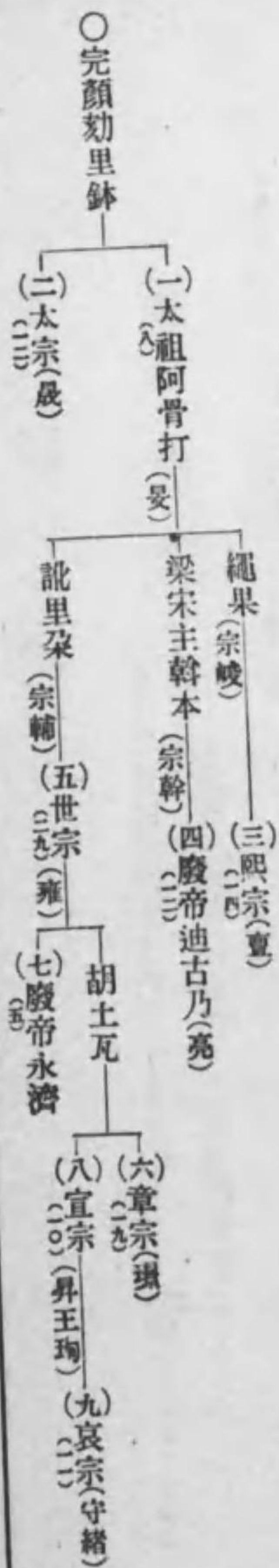
支那歷代帝王略系 (宋)

支那歷代帝王略系 (遼、西遼、金)

遼及西遼 (凡遼九主二百十年  
西遼三主七十七年)

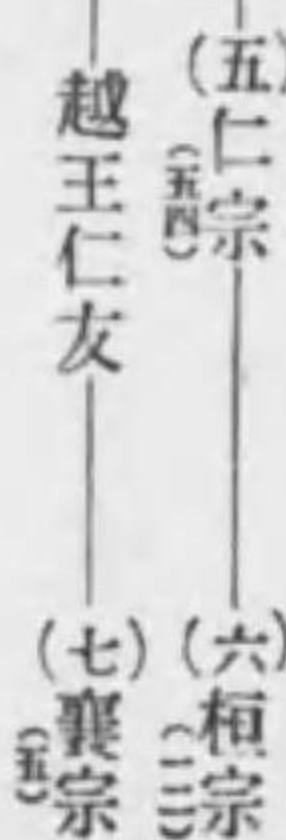
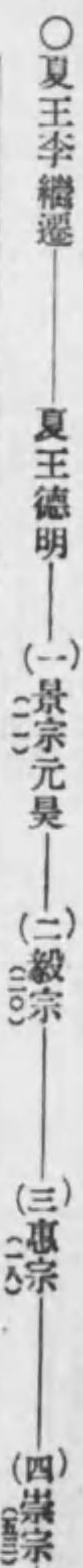


金 (凡九主百二十年但哀宗の末年即ち金の天興三年一旦位を  
太祖の父勅里鉢の後裔承嗣に傳へしを以て或は十主とす) (代数以外括弧内の  
文字は漢名を表す)

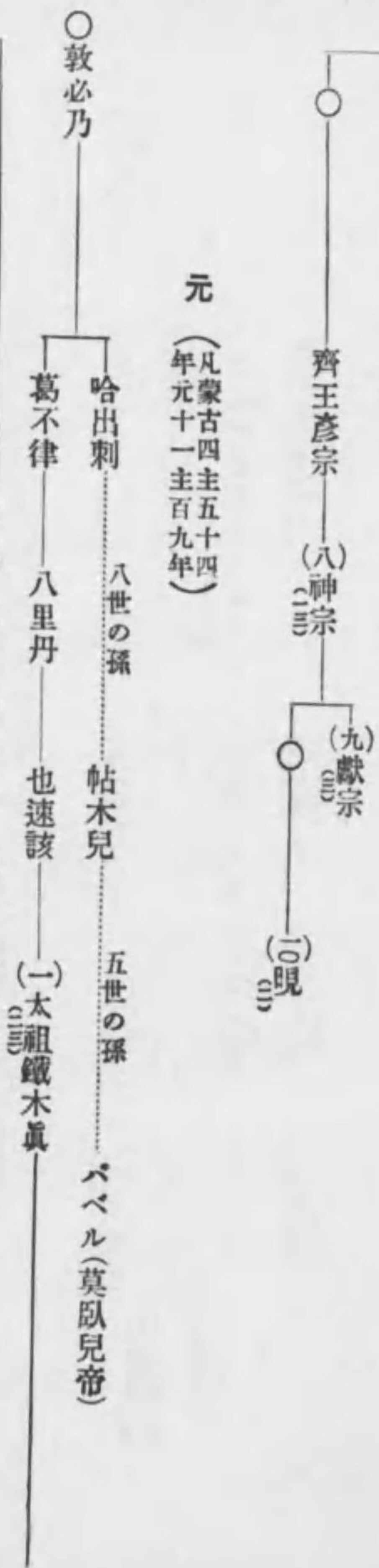


支那歷代帝王略系 (夏、元)

夏(凡十主百  
九十年)



元 (凡蒙古四主五十四  
年元十一主百九年)

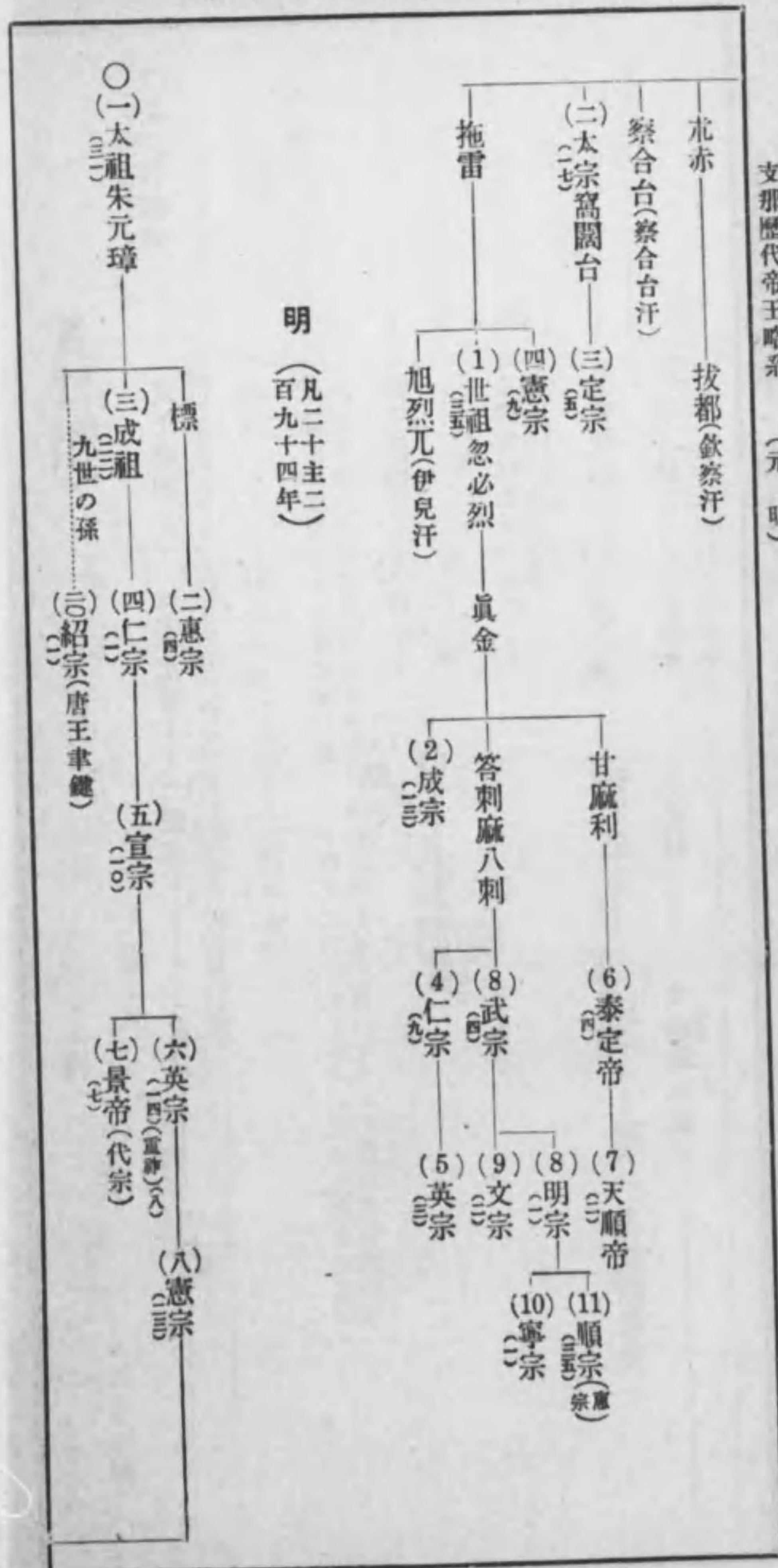


八世の孫

五世の孫

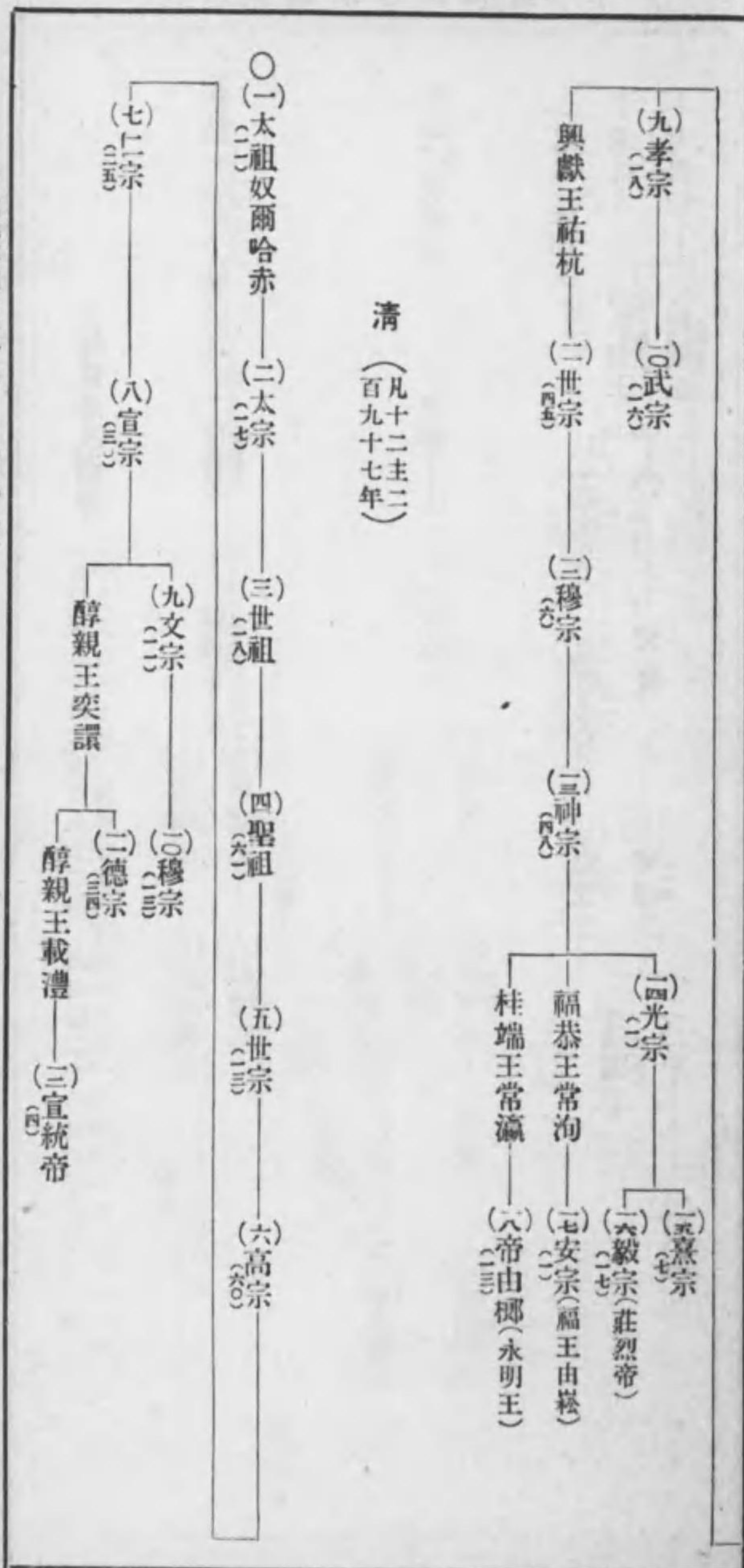


支那歷代帝王略系 (元、明)



明 (凡二十主二) (百九十四年)

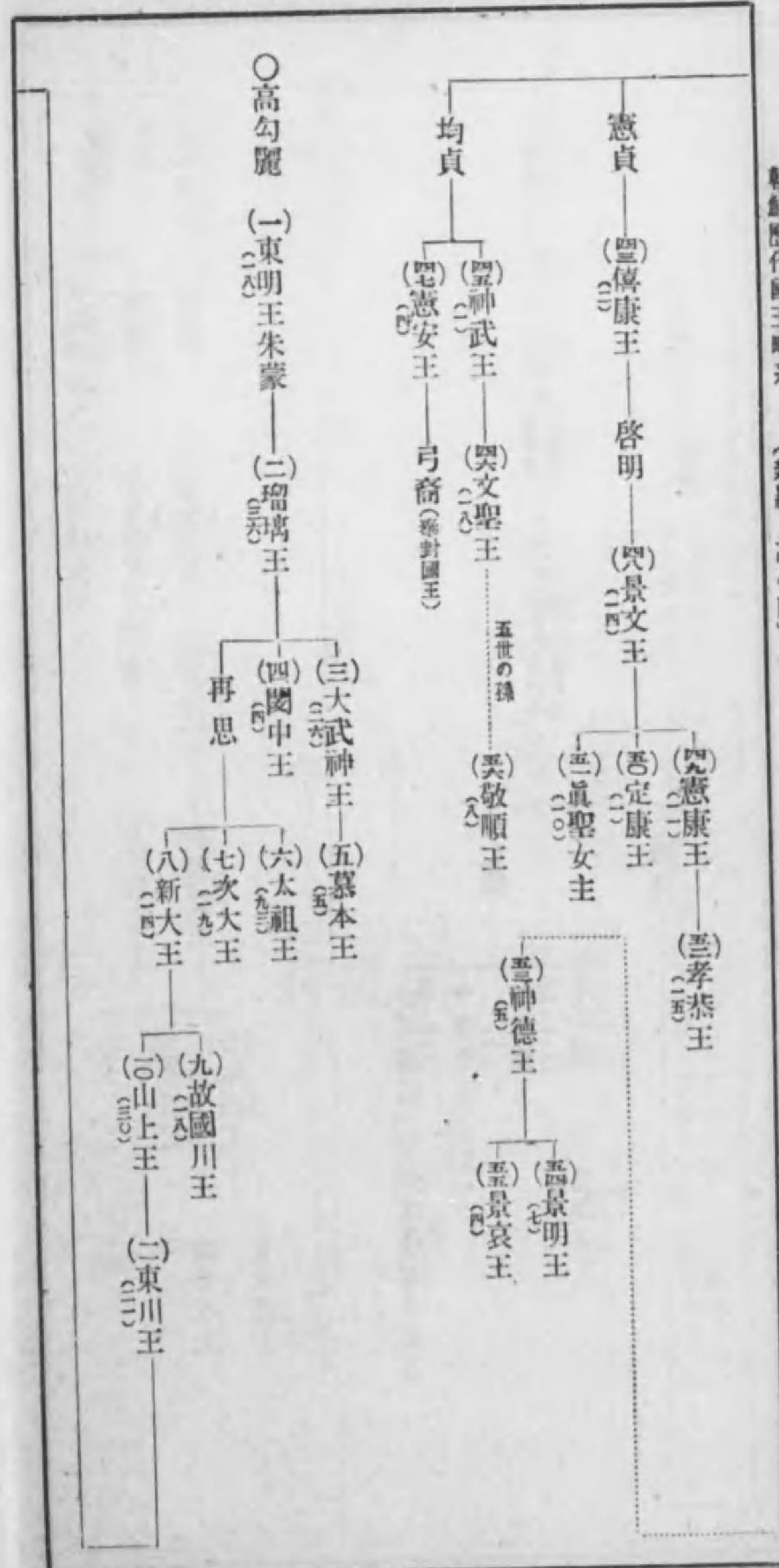
支那歷代帝王略系 (明、清)



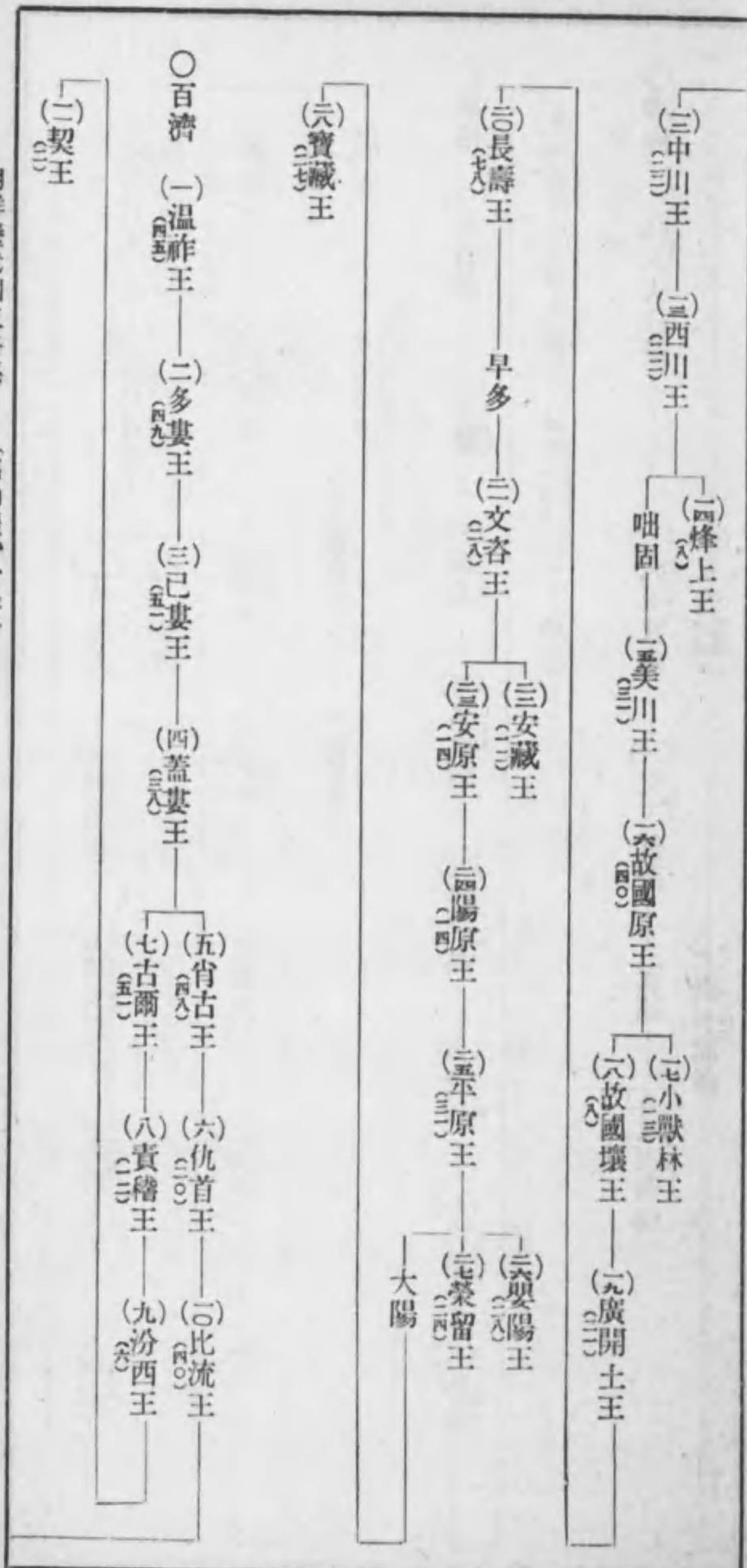
清 (凡十二主二) (百九十七年)



朝鮮歷代國王略系 (新羅、高句麗)



朝鮮歷代國王略系 (高句麗、百濟)



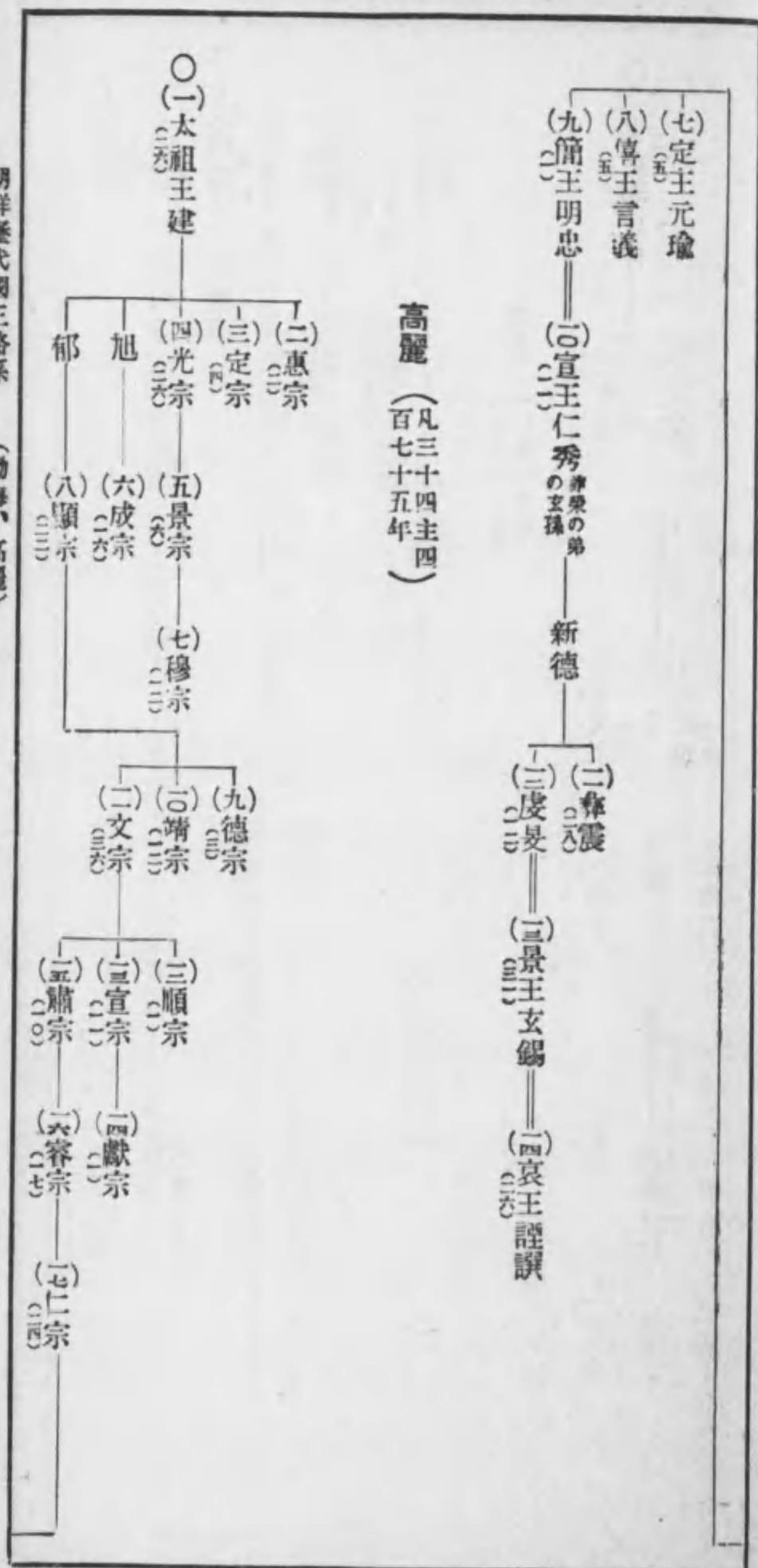
朝鮮歷代國王略系

(百濟、新羅、高麗)

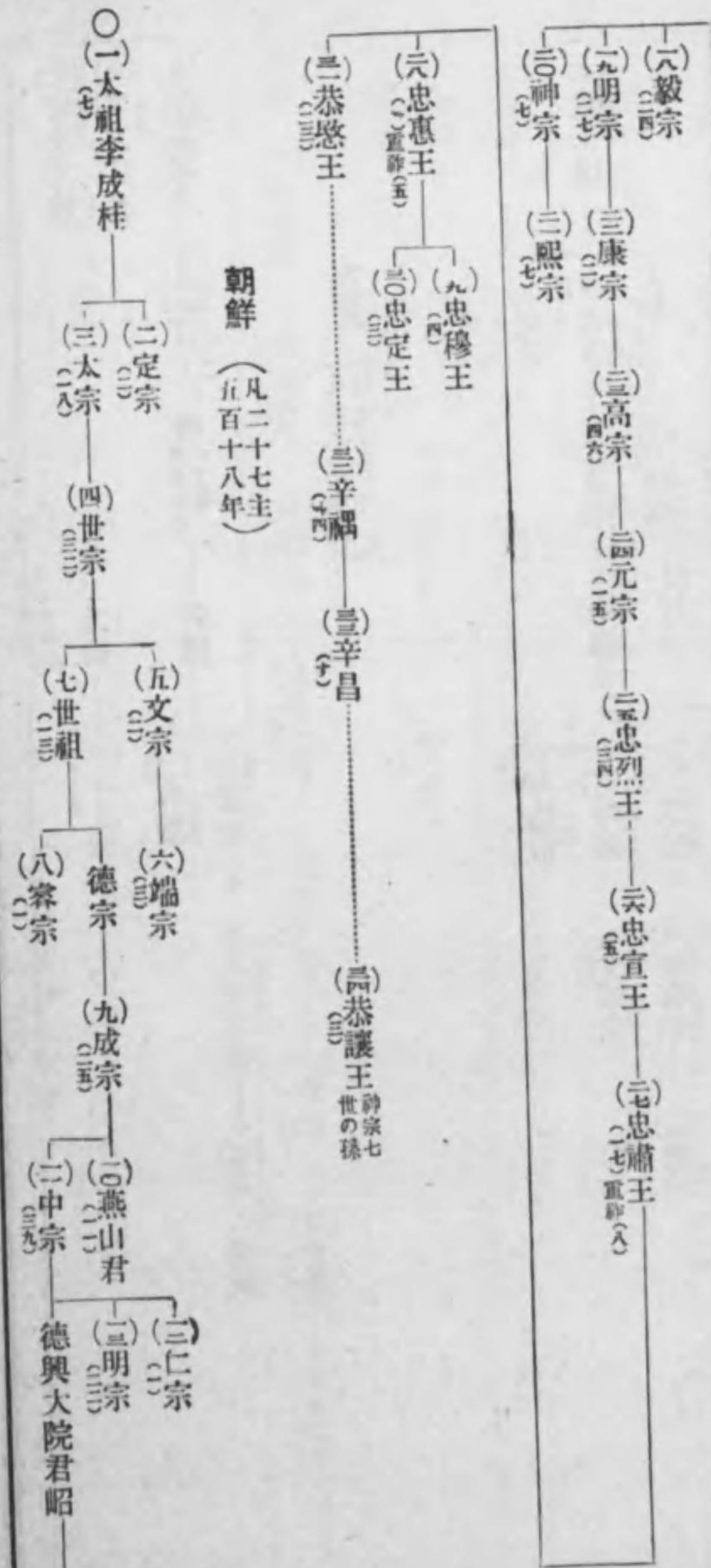


朝鮮歷代國王略系

(渤海、高麗)

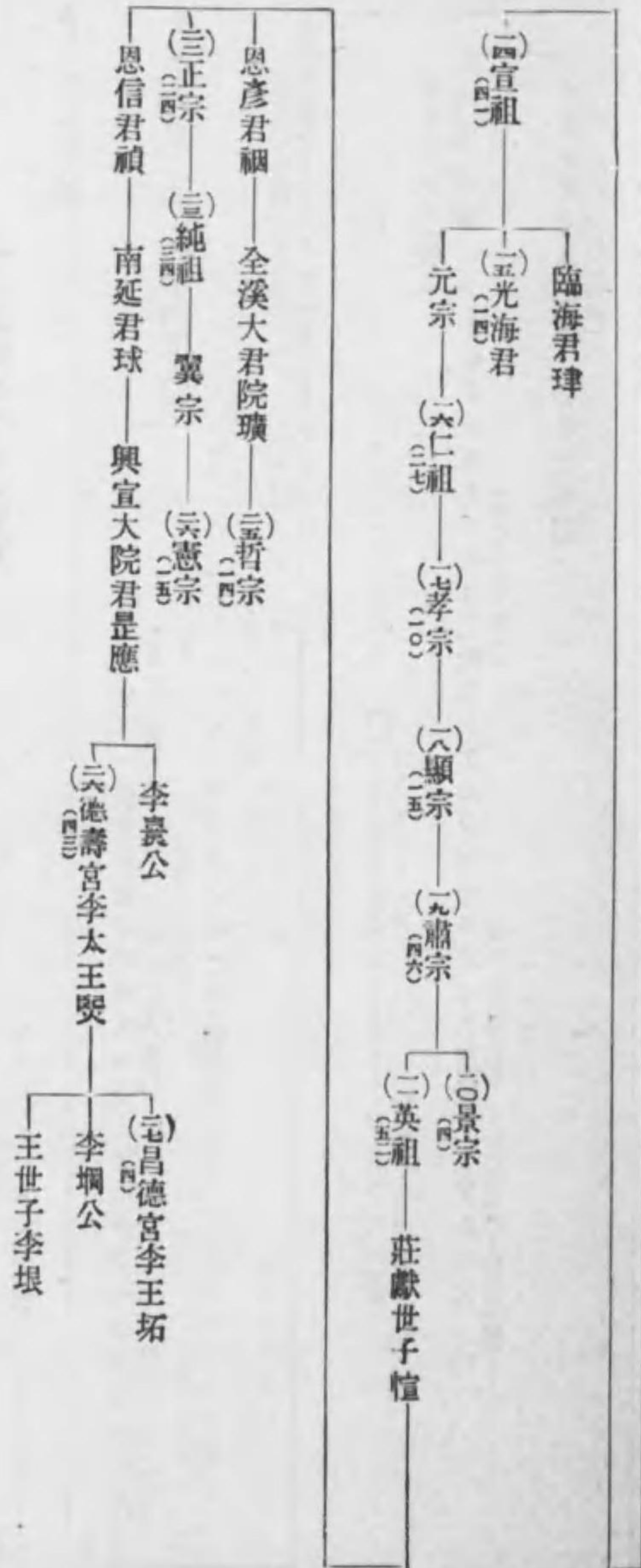


朝鮮歷代國王略系 (高麗、朝鮮)



朝鮮 (凡二十七主 五百十八年)

朝鮮歷代國王略系 (朝鮮)

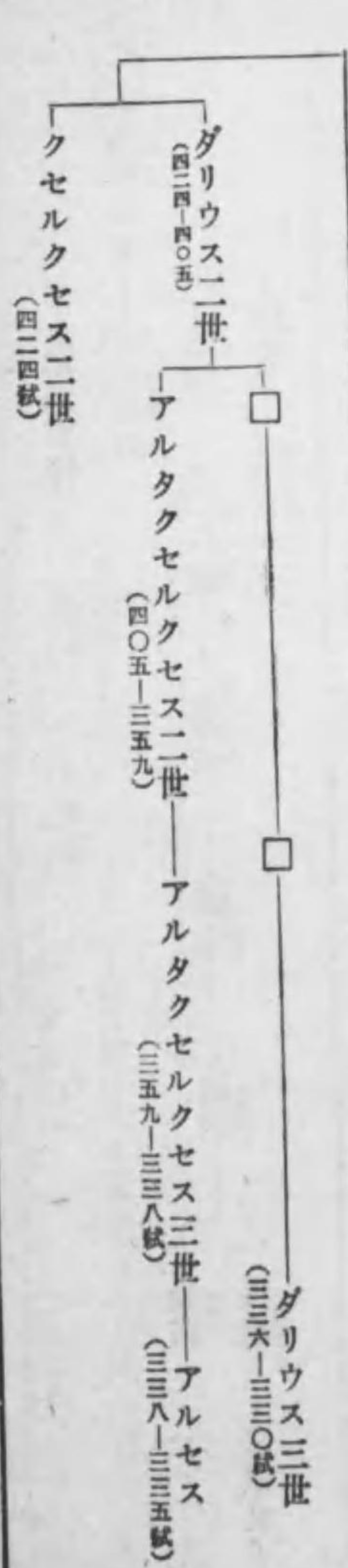
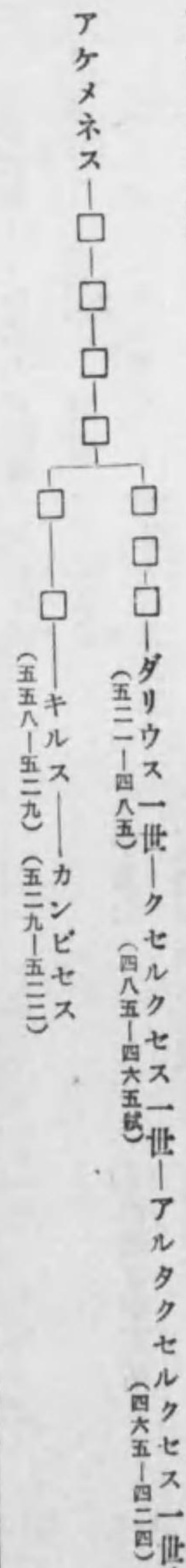


西洋諸國帝王系圖 (上古のペルシヤ)

西洋諸國帝王系圖

一 上古のペルシヤ國

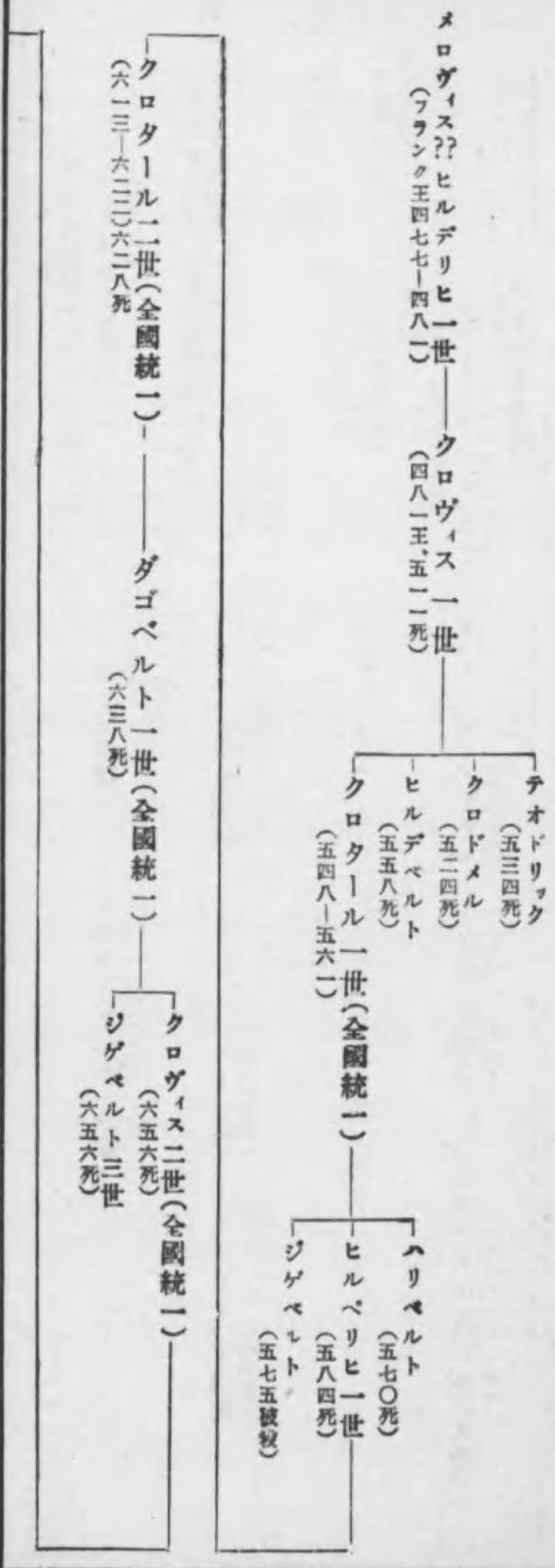
アケメネス王家



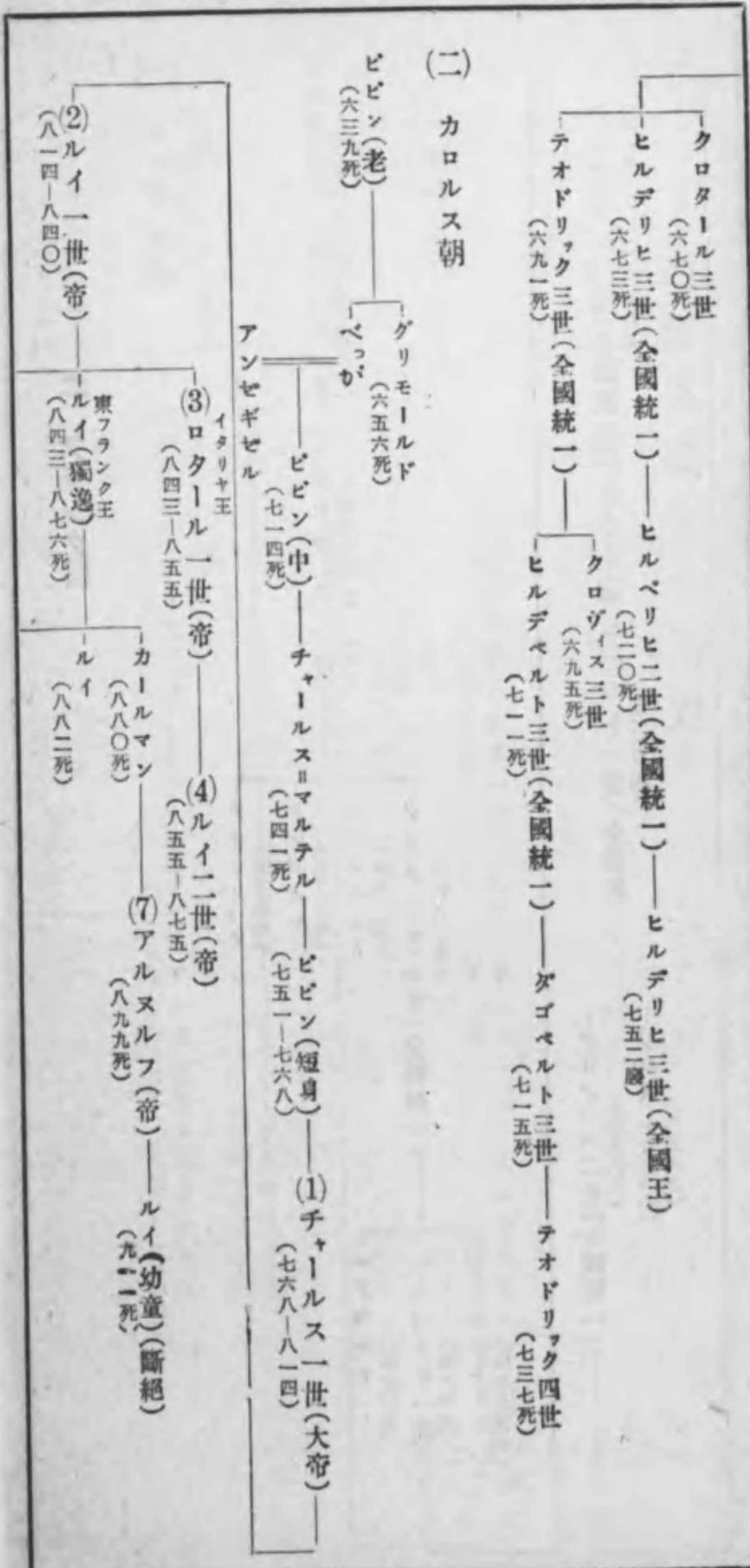
西洋諸國帝王系圖 (フランク)

二 フランク國

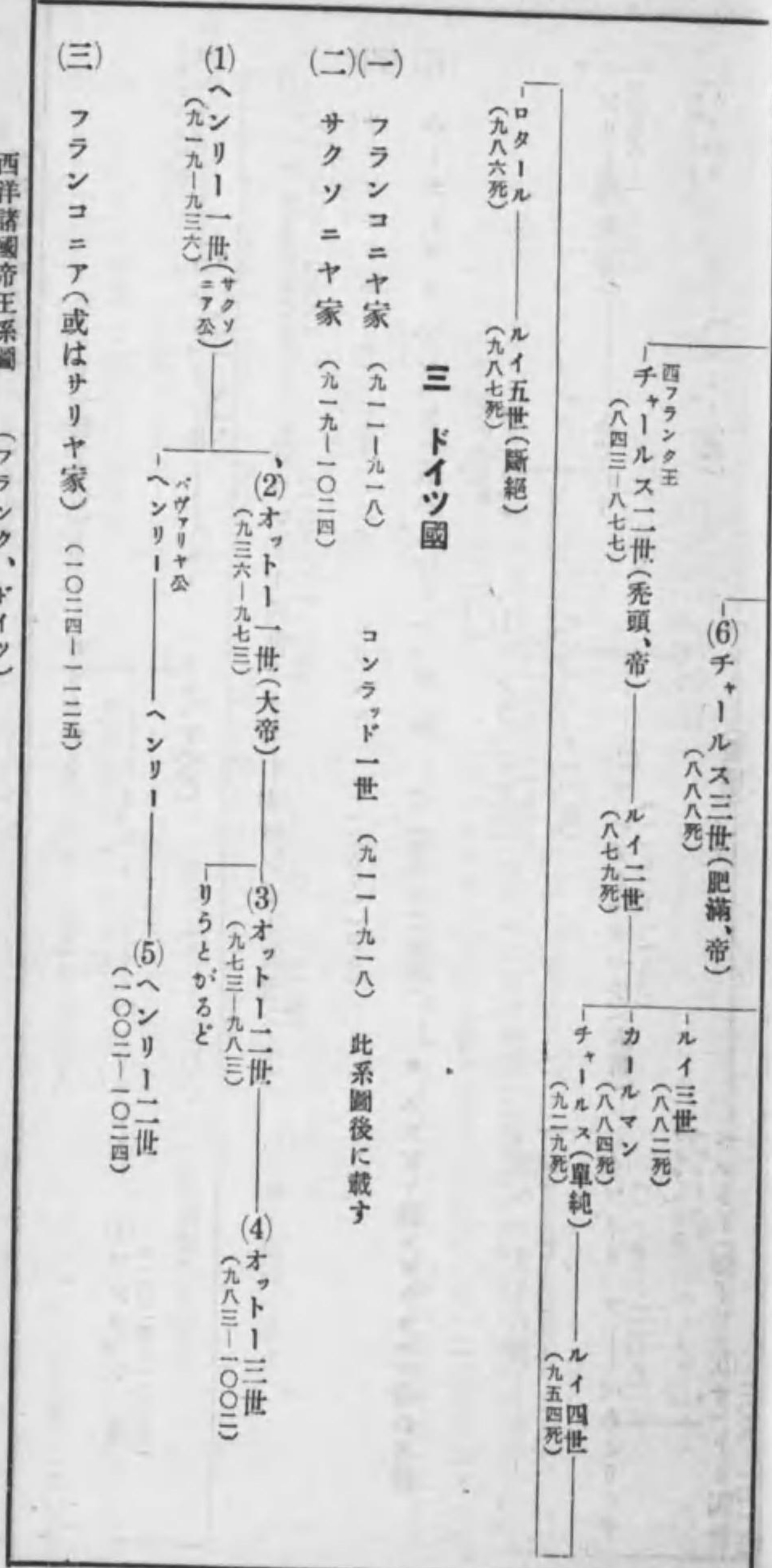
(一) メロヴィス朝



西洋諸國帝王系圖 (フランク)

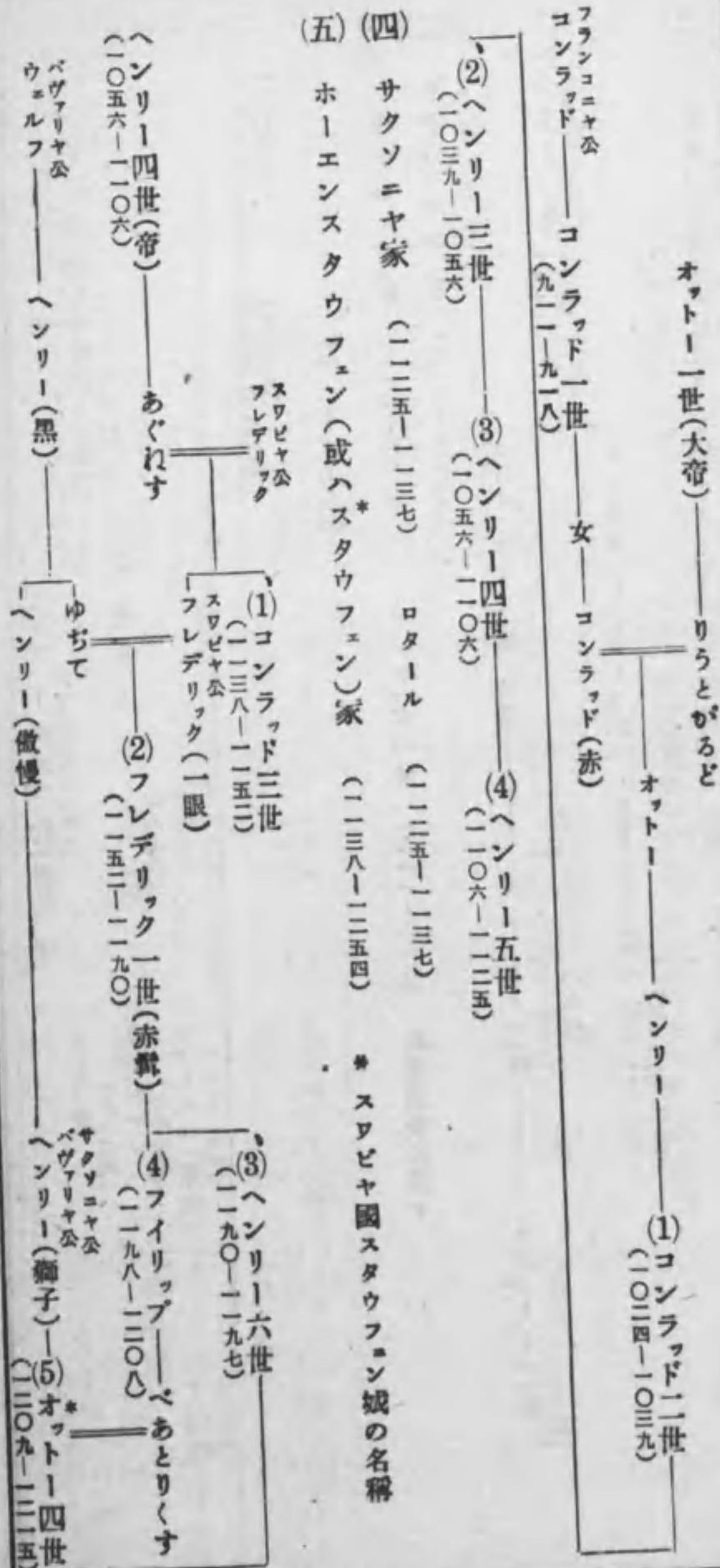


西洋諸國帝王系圖 (フランク、ドイツ)



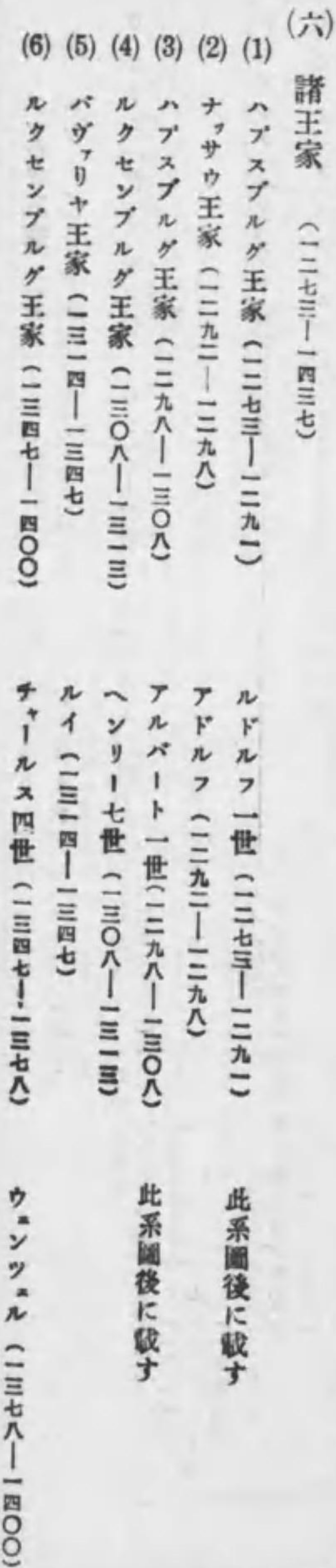
西洋諸國帝王系圖

(ドイツ)



西洋諸國帝王系圖

(ドイツ)



備考

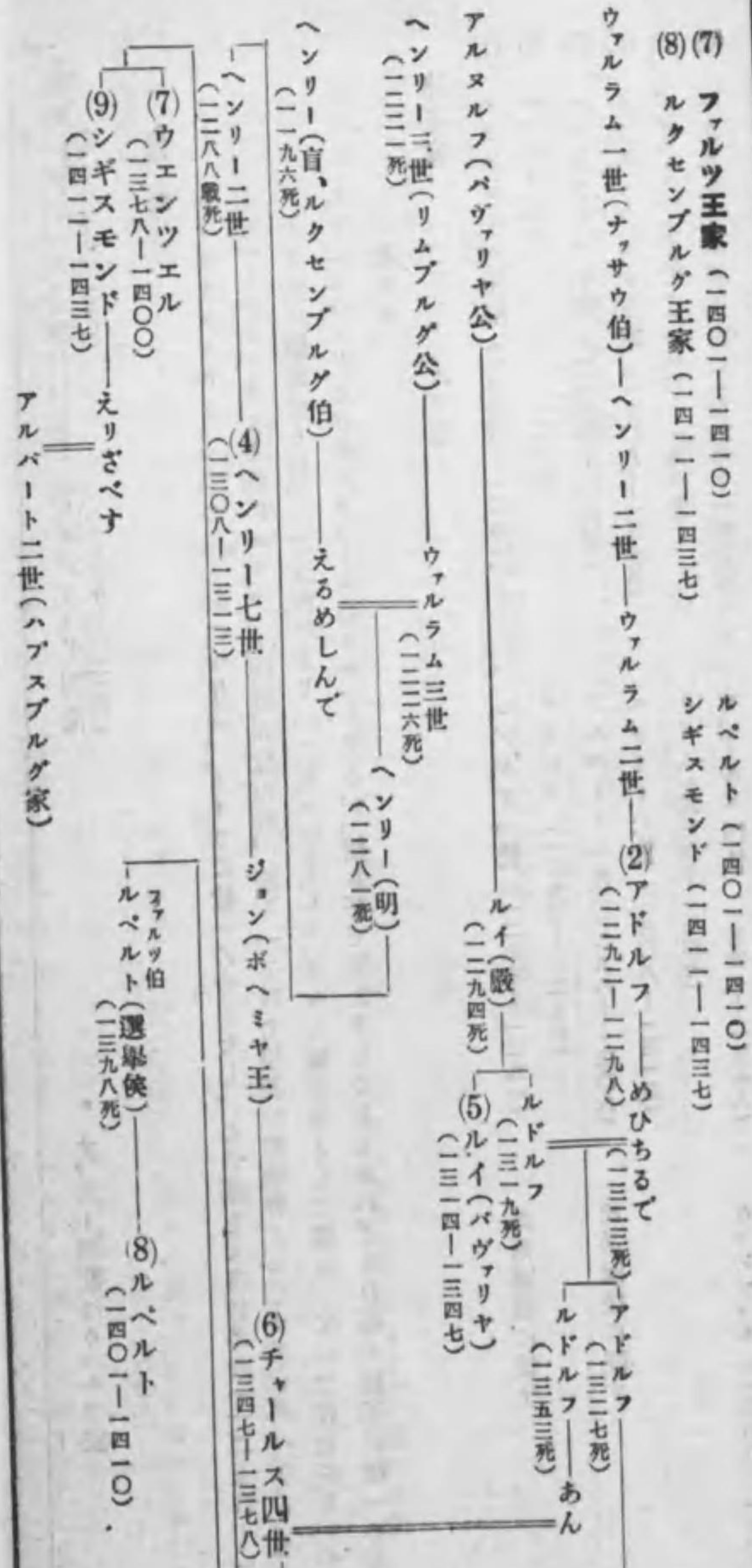
ホーエンスタウフエン家の後約二十年間、ドイツに統一の帝王なし。この間を大空位時代(1154-1173)といふ。されど既にコンラッド四世在位の時、即ち一二四七年其の競争者としてオランダのウィリヤム、ドイツ王に選舉せられ、一二五四年より一二五六年までウィリヤム獨り王として臨み、又一二五七年カスチラのアルフォンソとコンウンウールのリチャードとが、相並びて王たりしこともあれどこれ等の諸王は統一の王として數えず。

(6) フレデリック二世 (1151-1250) — (7) コンラッド四世 (1150-1154)

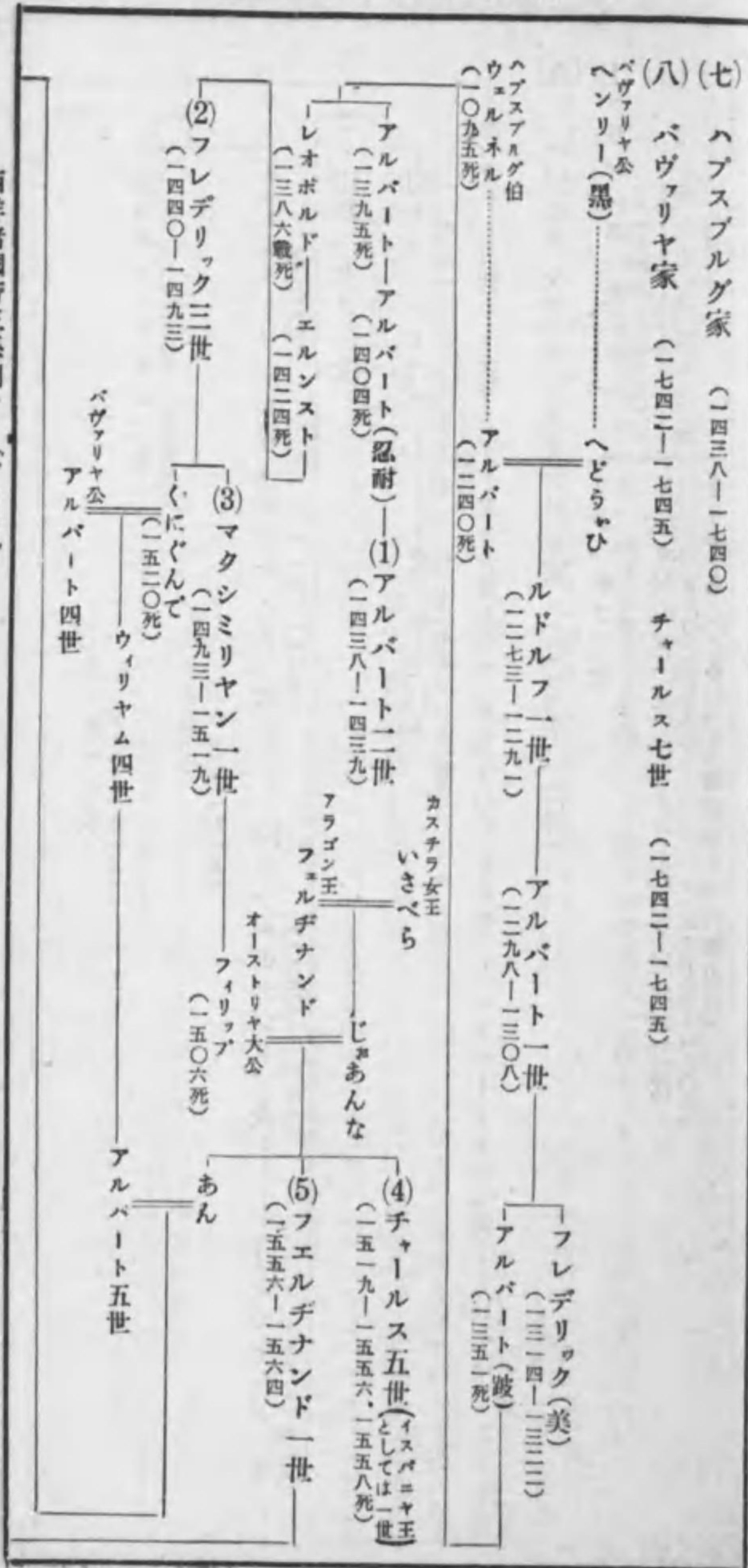
\* オットー四世はウェルフ家



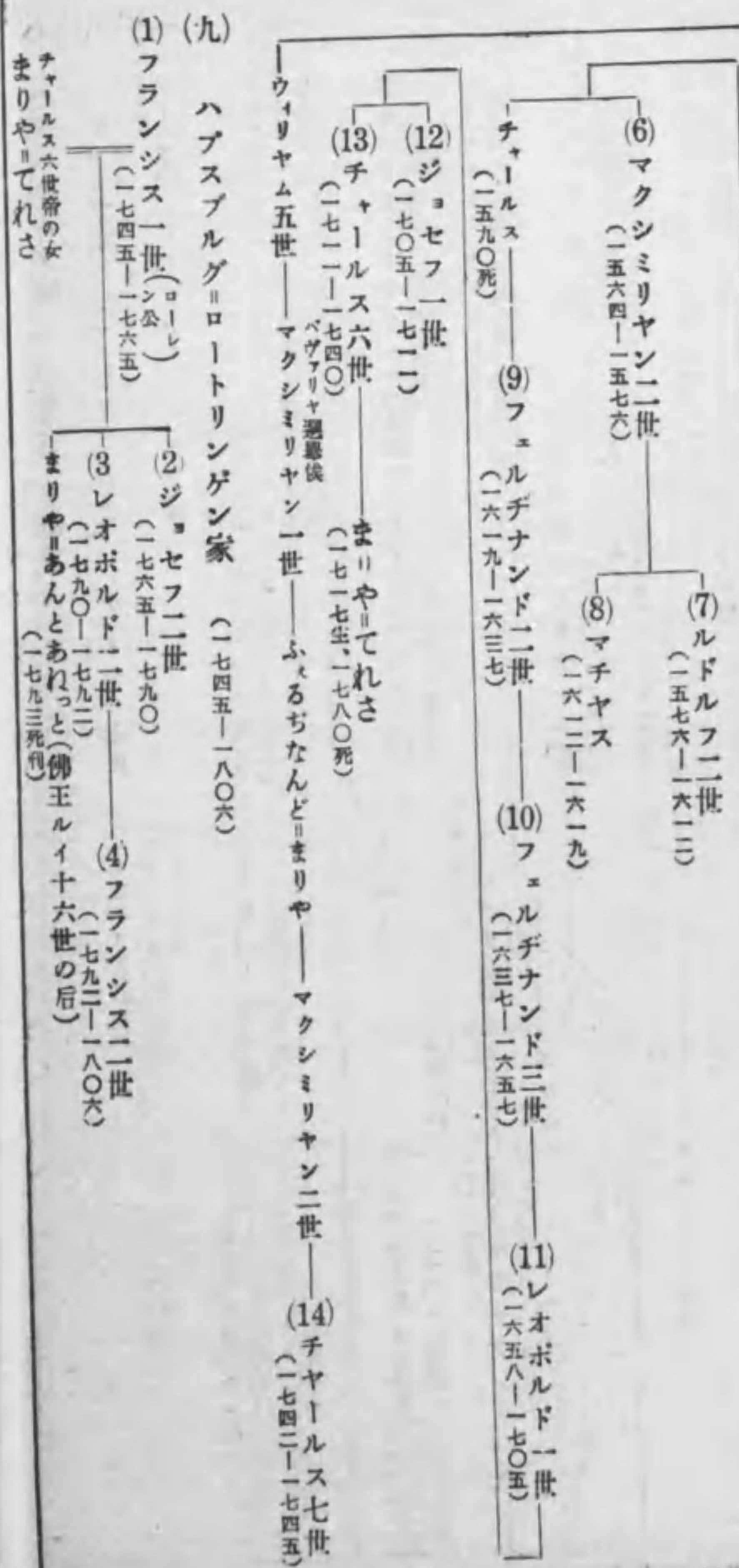
西洋諸國帝王系圖 (ドイツ)



西洋諸國帝王系圖 (ドイツ)

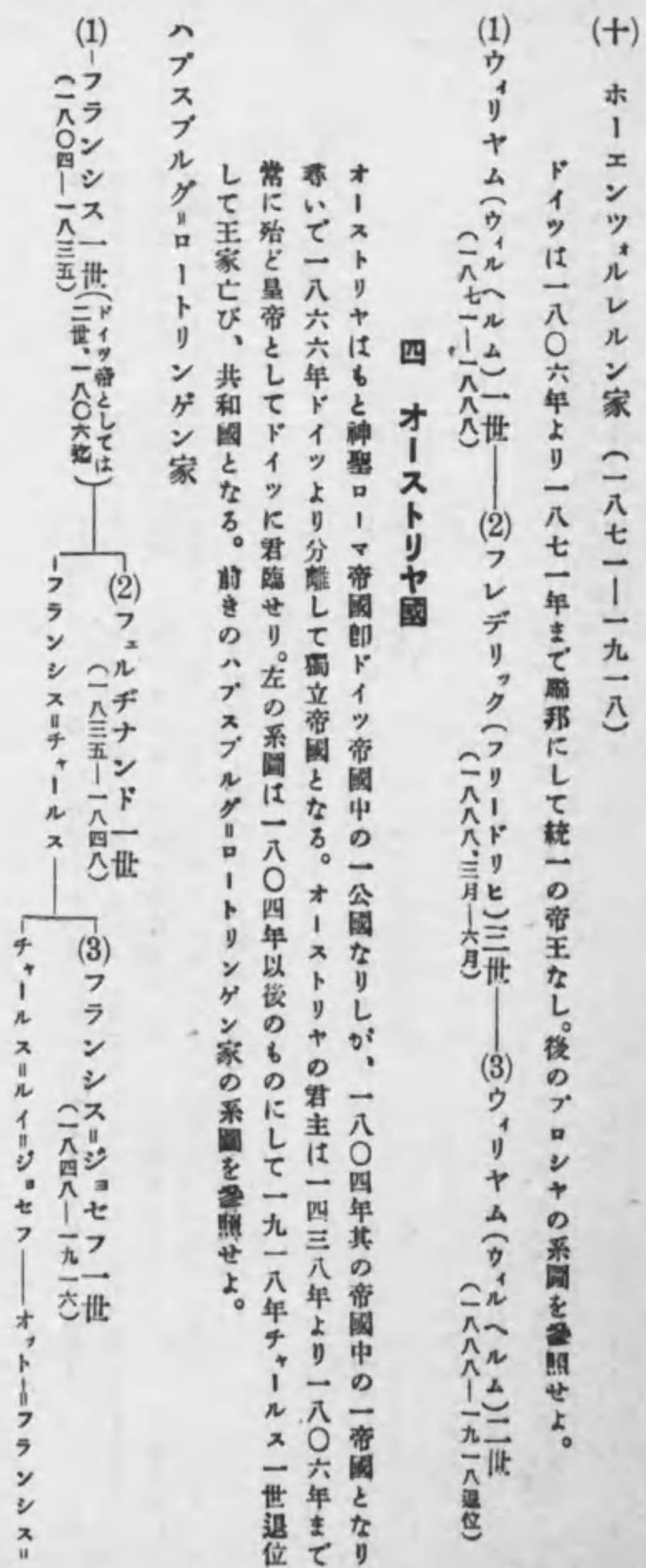


西洋諸國帝王系圖 (ドイツ)



西洋諸國帝王系圖

(ドイツ、オーストリア)

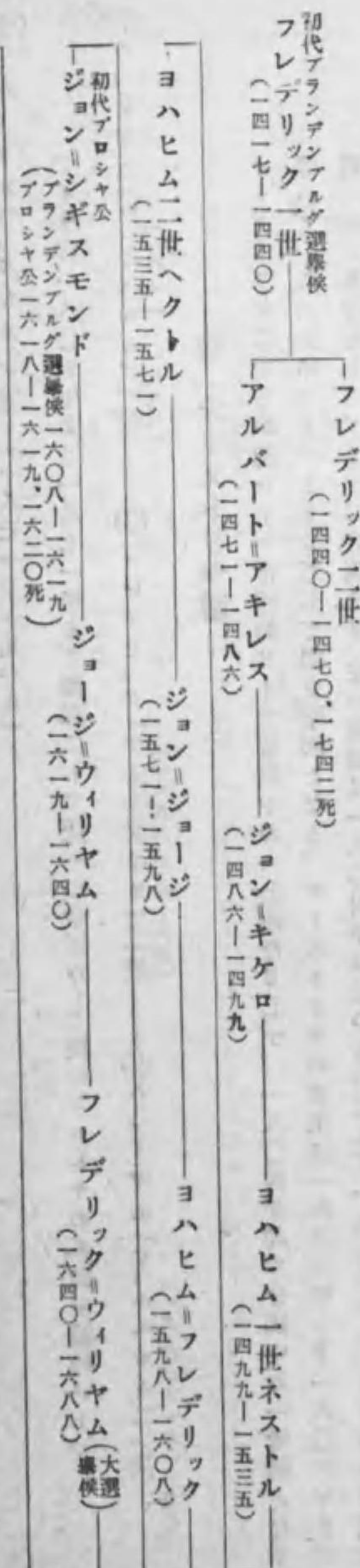


西洋諸國帝王系圖 (プロシヤ)

五 プロシヤ國

ホーエンツォルレルン家

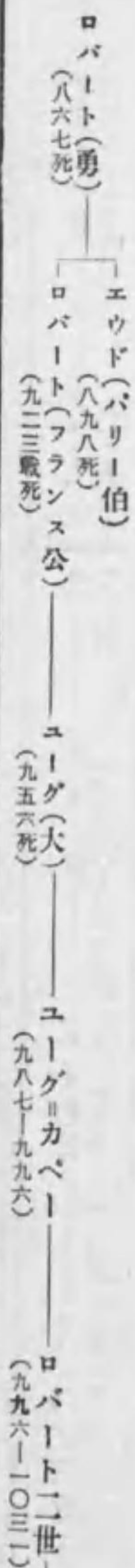
ホーエンツォルレルンはドイツ國スウァビヤの一城なり。一一九〇年ホーエンツォルレルン城主はニュルンベルグ城主となる。一四一五年ニュルンベルグ城主は皇帝シギスモンドよりブランデンブルグを得、選擧侯となる。其の任封式は一四一七年なり。一六一八年ブランデンブルグ選擧侯はプロシヤ公國を合併してプロシヤ公を兼ね一六五七年ポーランドの支配を脱す。一七〇一年プロシヤ公プロシヤ王に陞格し、一八七一年プロシヤ王ドイツ皇帝となる。一九一八年ウィリヤム二世退位、王家亡び、共和國となる。



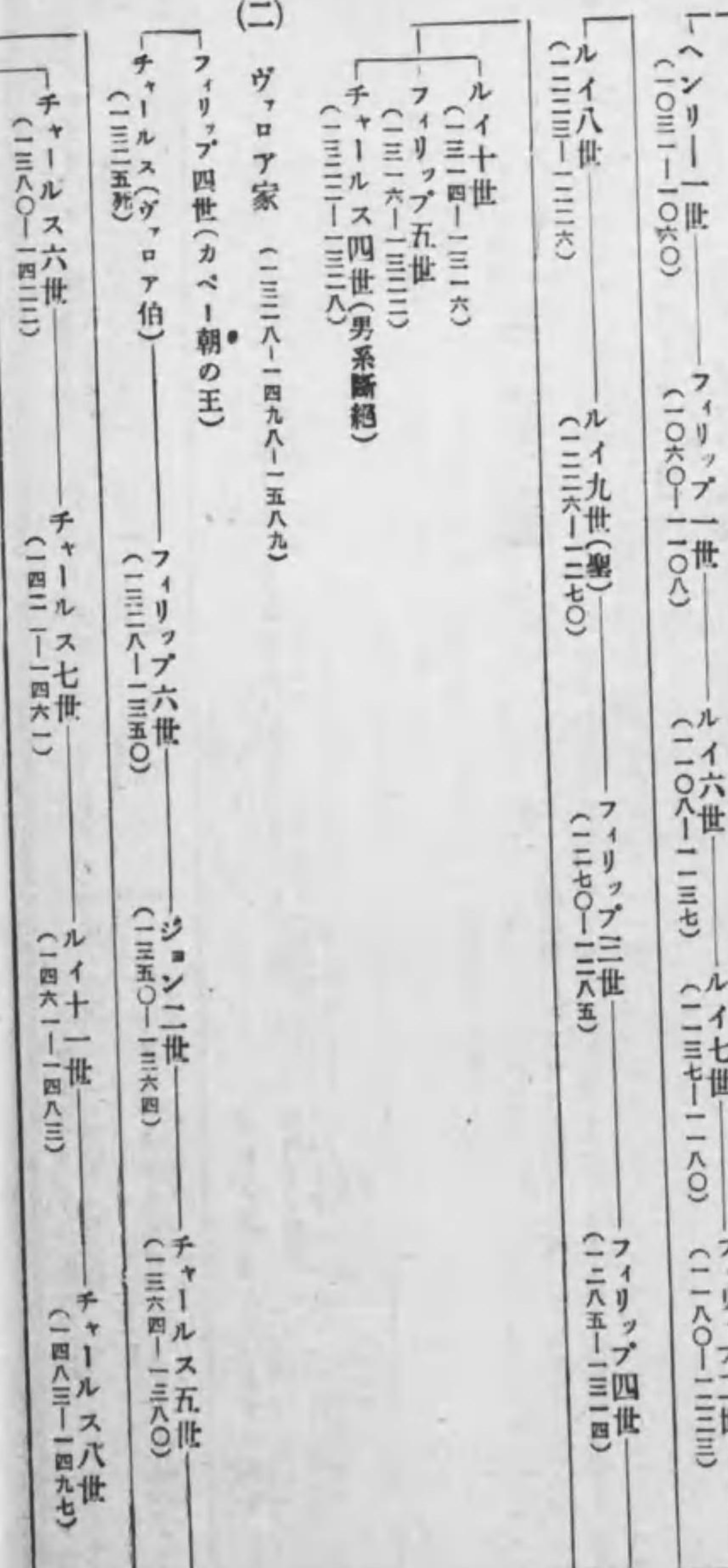
西洋諸國帝王系圖 (プロシヤ、フランス)

六 フランス國

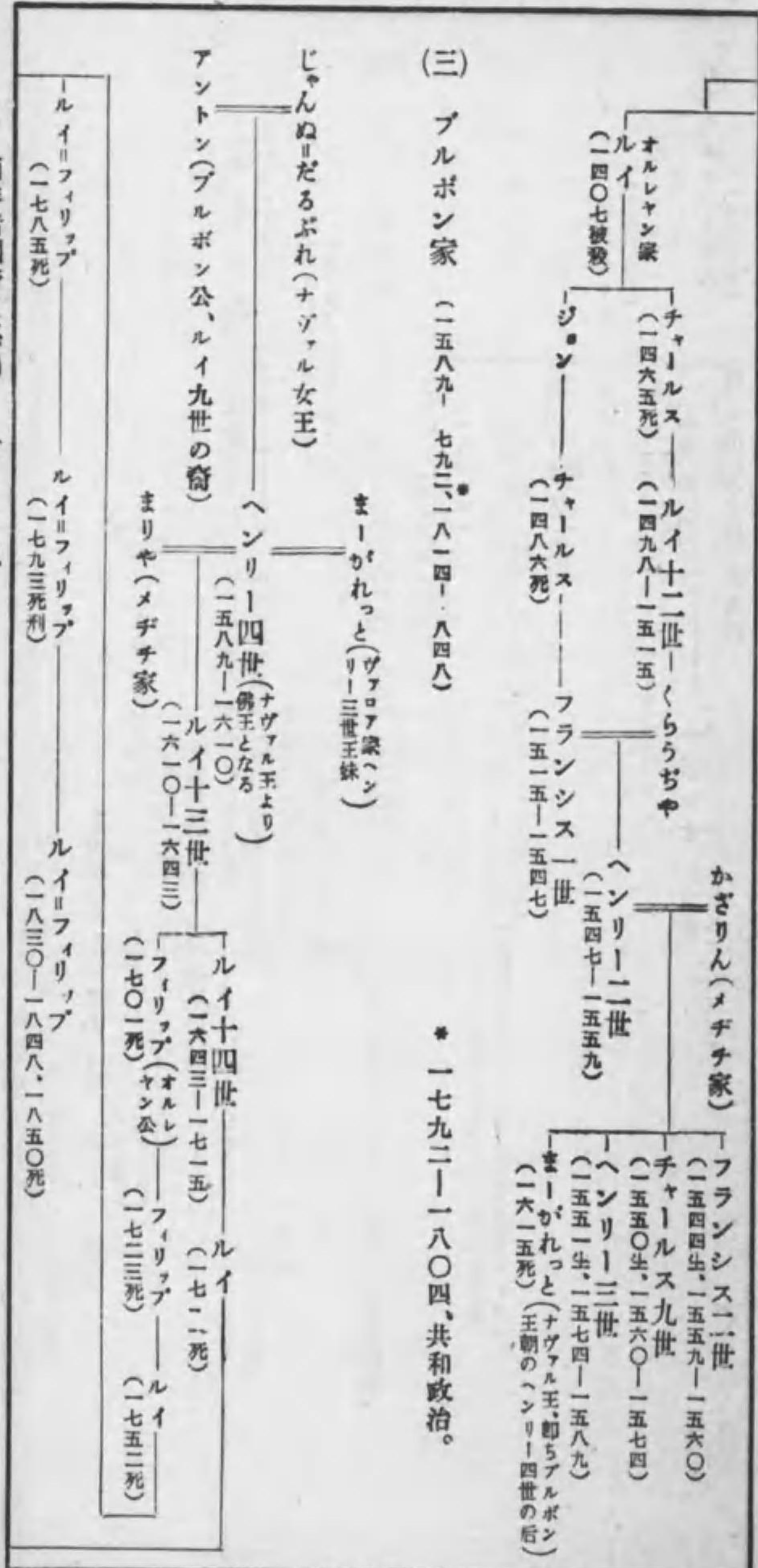
(一) カペー家 (九八七—一三二八)



西洋諸國帝王系圖 (フランス)

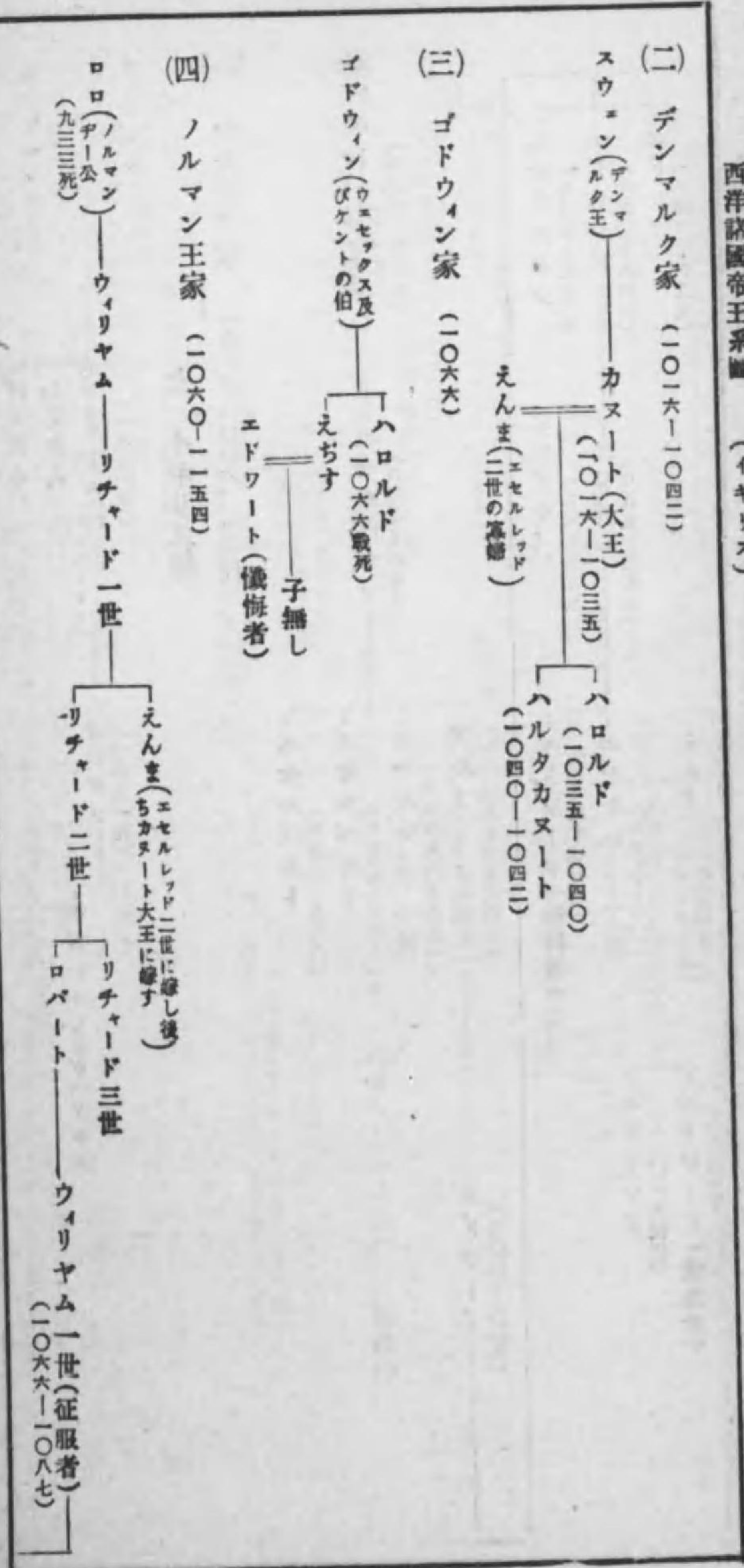


西洋諸國帝王系圖 (フランス)

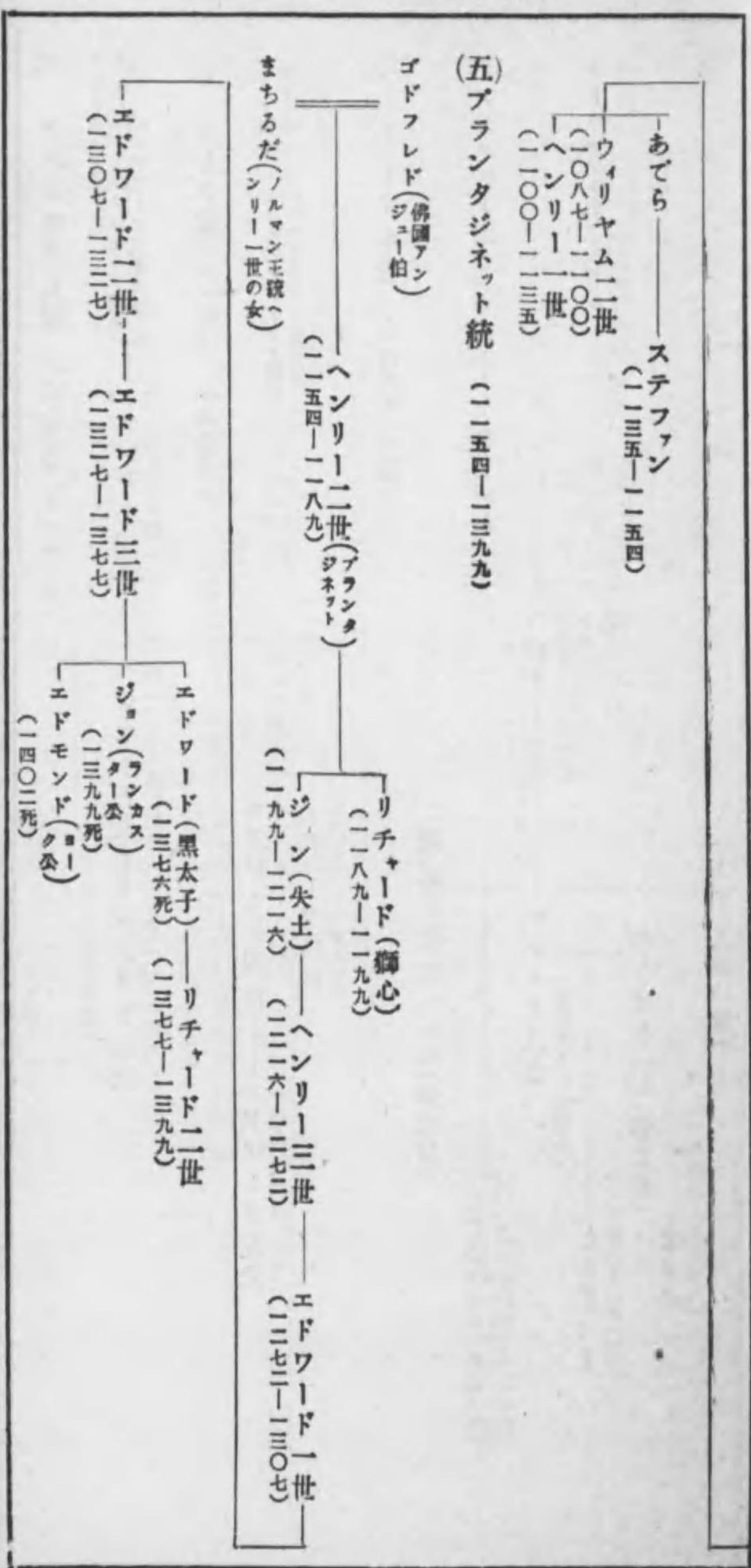




西洋諸國帝王系圖 (イギリス)



西洋諸國帝王系圖 (イギリス)





西洋諸國帝王系圖 (イギリス)

(十) ハノーヴァー家 (現王家、一九一七、七月ウインズル家と) \* 一九〇一—現今、ハノーヴァー・コーブルグ家王たり。

フルツ選帝侯  
フレデリック五世

ヘーノヴァー選帝侯  
エルンスト・オットガスト

(1) ジョージ一世  
(一七二四—一七二七)

(2) ジョージ二世  
(一七二七—一七六〇)

フレデリック  
(一七五二死)

(3) ジョージ三世  
(一七三〇—一八二〇)

そふいや  
(一七一四死)

えりさべす (スチニアート家チャ)  
(一六六二死)

(4) ジョージ四世  
(一八二〇—一八三〇)

(5) ウィリアム四世  
(一八三〇—一八三七)

エドワード

(6) グイクトリヤ  
(一八三七—一九〇二)

(7) エドワード七世  
(一九〇一—一九一〇)

アルバート (コプ)  
(ルグ公)

(8) ジョージ五世 (現王)  
(一九一〇—)

あれくきんどら (デンマルク王クリ)  
スチヤン九世の女

ハイスパニヤ國

(一) ハブスブルグ家 (一五一六—一七〇〇)

アラゴン王  
フェルディナンド  
(一五一六死)

フィリップ (ハブスブルグ家マクシ)  
マリヤン二世帝の子

(1) チャールス一世 (僞帝とし)  
(一五一六—一五五五)

(2) フィリップ二世  
(一五五五—一五九八)

(3) フィリップ三世  
(一五九八—一六二一)

カステラ女王  
いさべら  
(一五〇四死)

じよあんな  
(一五五五死)

(4) フィリップ四世  
(一六二一—一六六五)

チャールス二世 (男統断絶)  
(一六六五—一七〇〇)

(二) ブルボン家 (現王家、一七〇〇—一八〇八、一八一四—一八六八、一八七五—現今)

備考

一八〇八—一八一四、ナポレオン一世の兄ジョセフ王たり。一八六八—一八七五、革命。

佛國アルボン家の王  
ルイ十四世

ルイ

(1) フィリップ五世  
(一七〇〇—一七二四)  
(一七二四—一七四六)

(2) ルイ一世  
(一七二四死)

(3) フェルディナンド六世  
(一七四六—一七五九)

(4) チャールス三世  
(一七五九—一七八八)

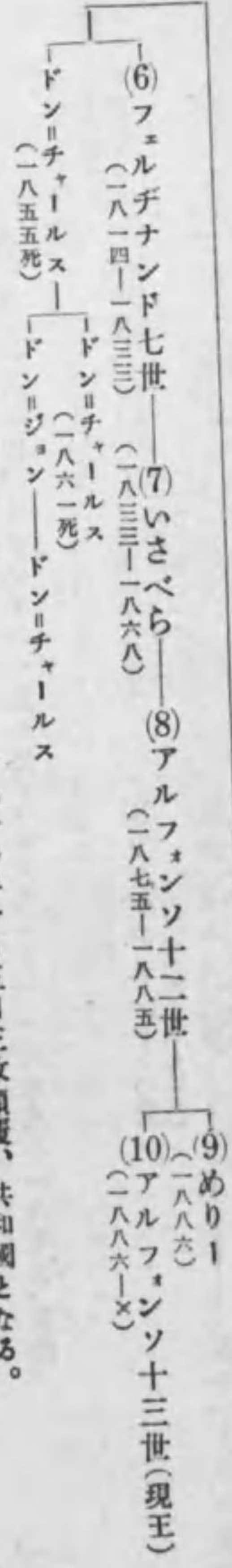
(5) チャールス四世  
(一七八八—一八〇八)

西洋諸國帝王系圖 (イスパニヤ)



西洋諸國帝王系圖

(イスパニヤ、ポルトガル)



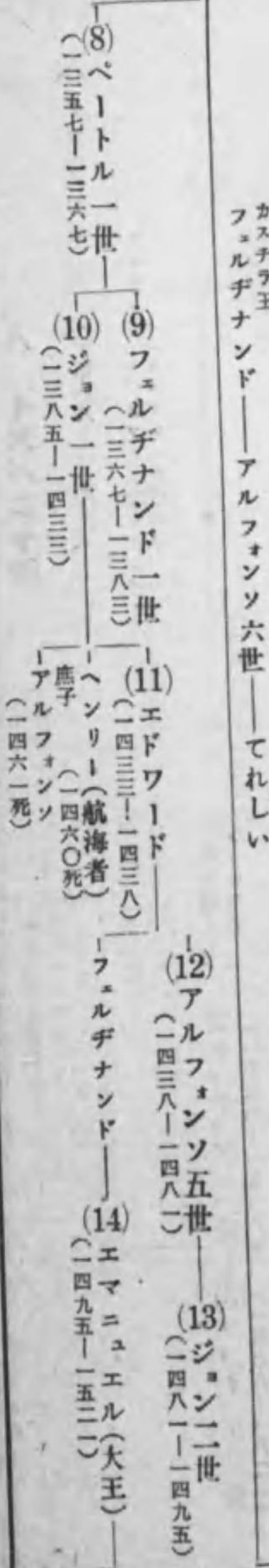
九 ポルトガル國

一九一〇年十月五日王政顛覆、共和國となる。

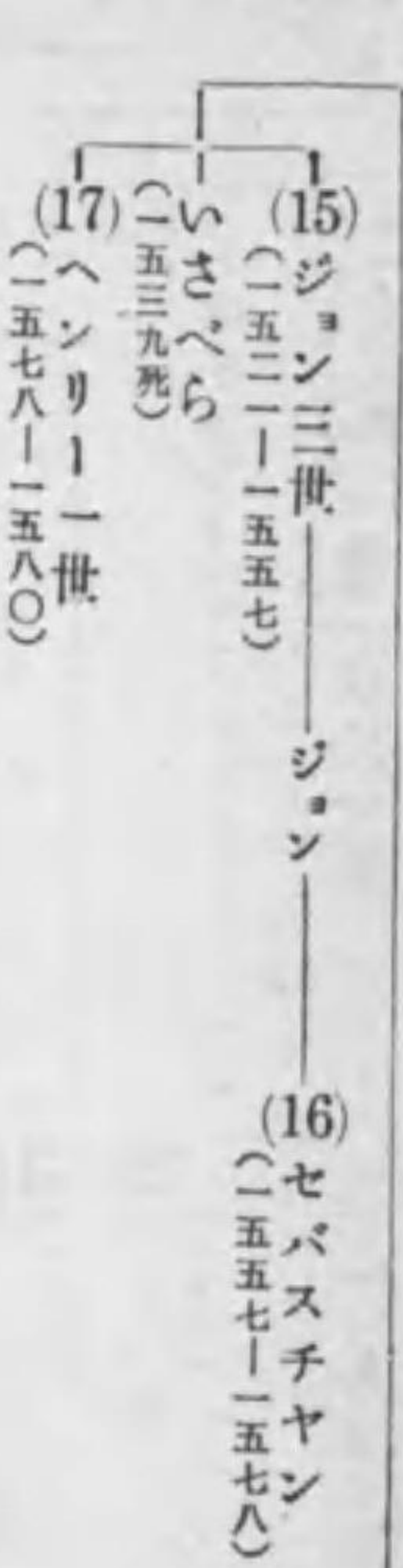
(一) ブルグンド朝 (一一三九—一五八〇)

フランス王 ロバート二世 — ロバート — ロベール — ヘンリー — ヘンリー (ポルトガル伯)

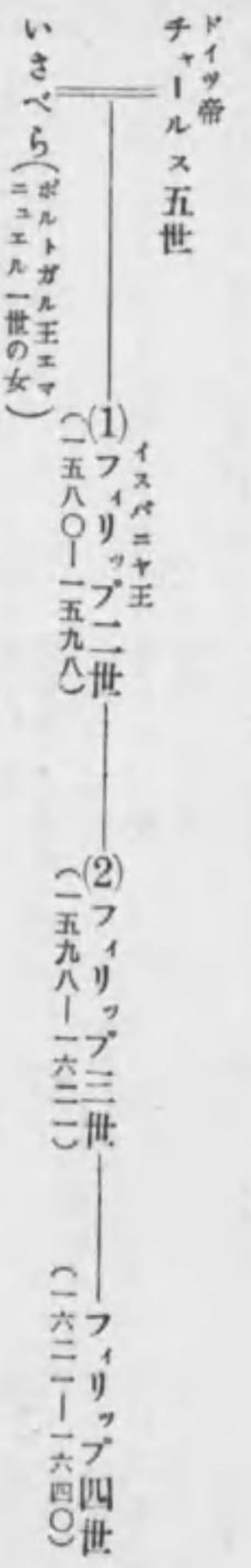
(1) アルフォンソ一世 (一一三九—一八五) — (7) アルフォンソ四世 (一一三五—一三五七)



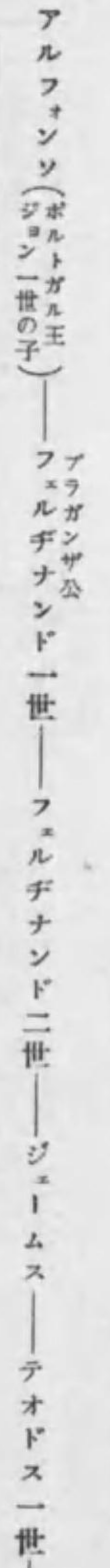
西洋諸國帝王系圖 (ポルトガル)



(二) ハブスブルグ家 (一五八〇—一六四〇、イスパニヤのハブスブルグ家諸王君臨)



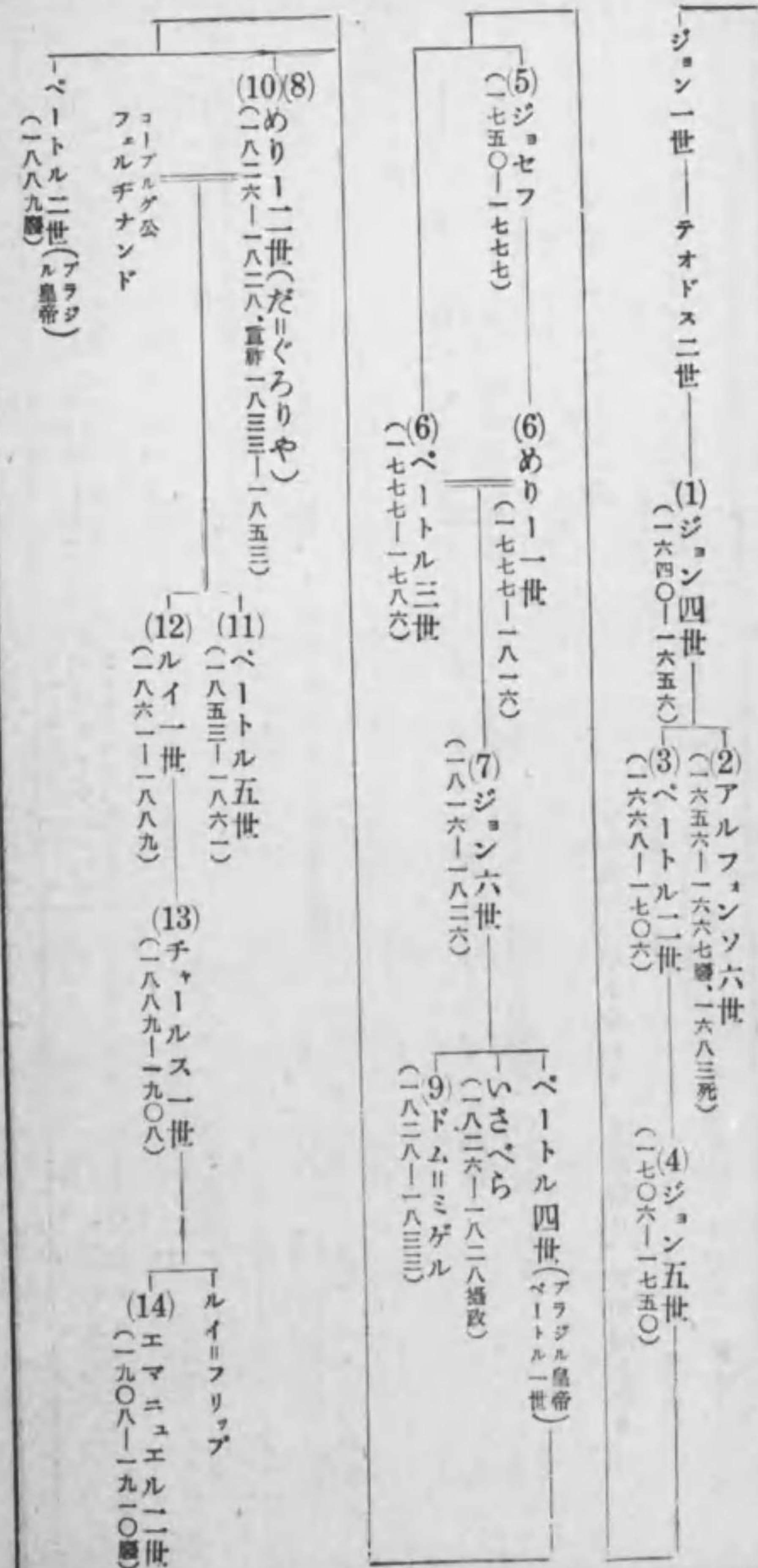
(三) ブラガンザ家 (一六四〇—一九一〇)



\*一九一〇年革命あり、王政廢止、共和國となる。

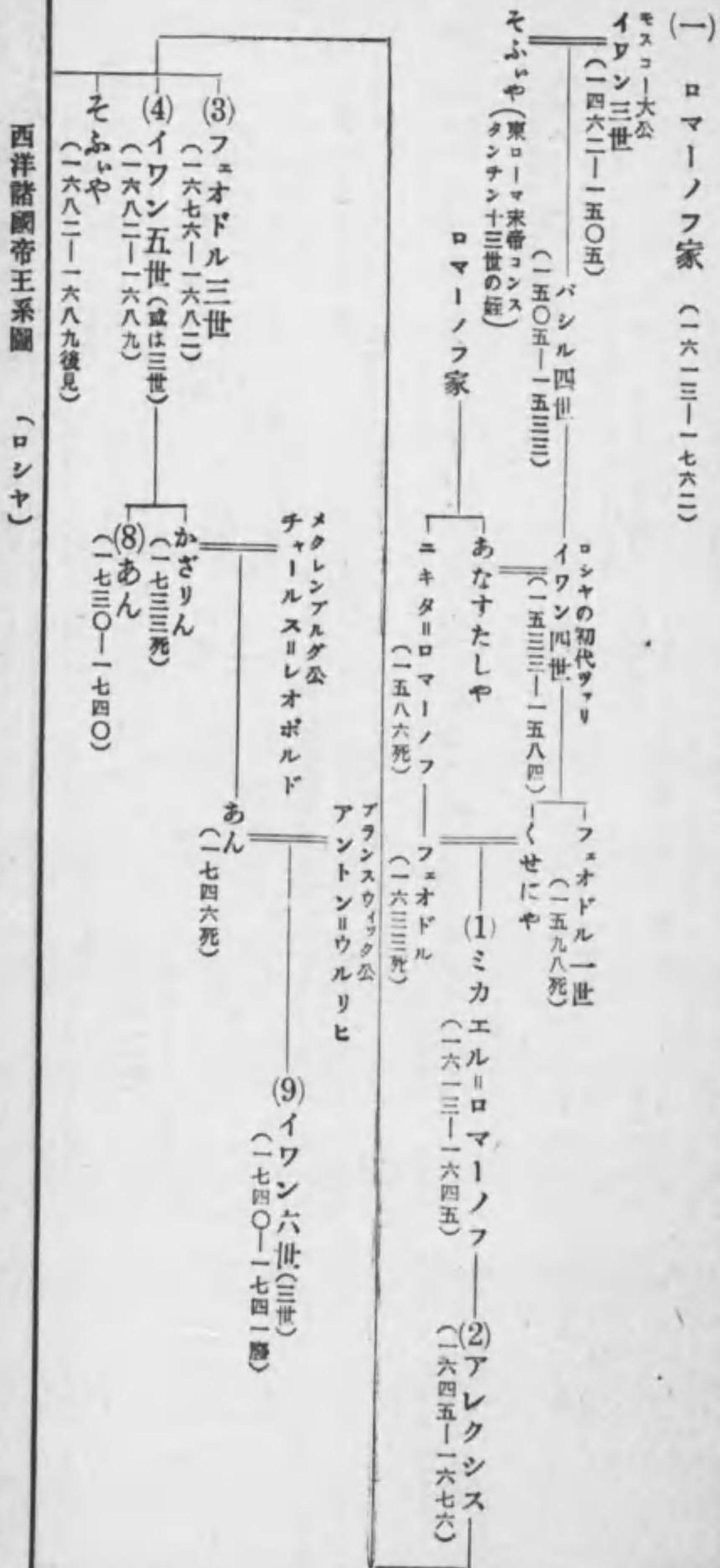
西洋諸國帝王系圖

(ポルトガル)



ロシア國

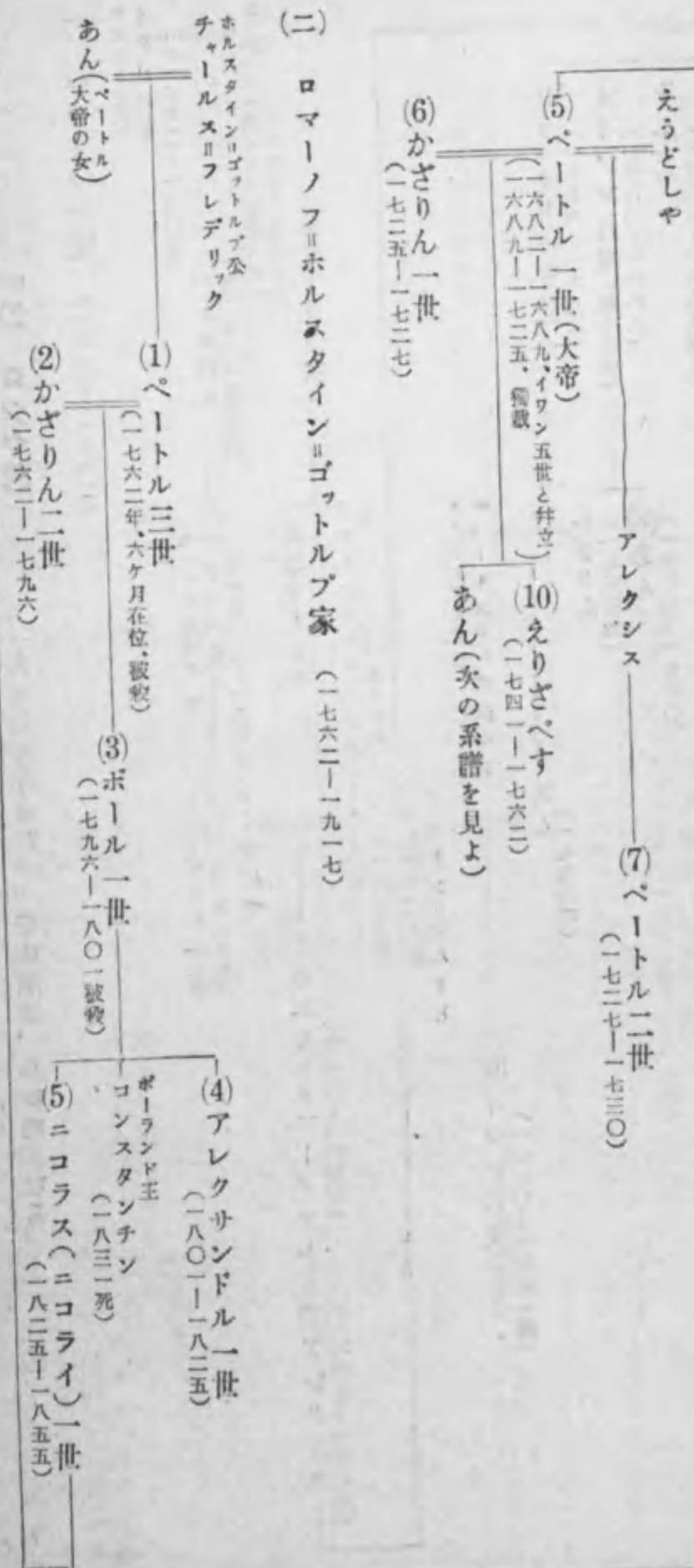
一九一七年革命起リ、帝政顛覆、共和國となる。



西洋諸國帝王系圖

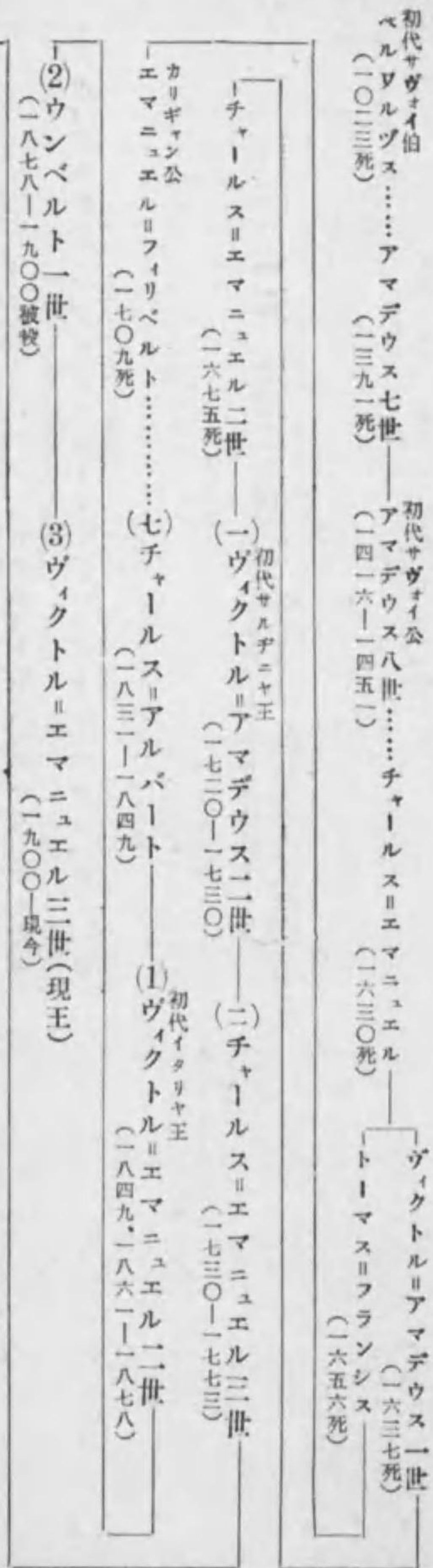
(ロシア)

西洋諸國帝王系圖 (ロシヤ)



一 イタリア國

サヴォイ家 (一八六一—現今)



西洋諸國帝王系圖 (ロシヤ、イタリア)

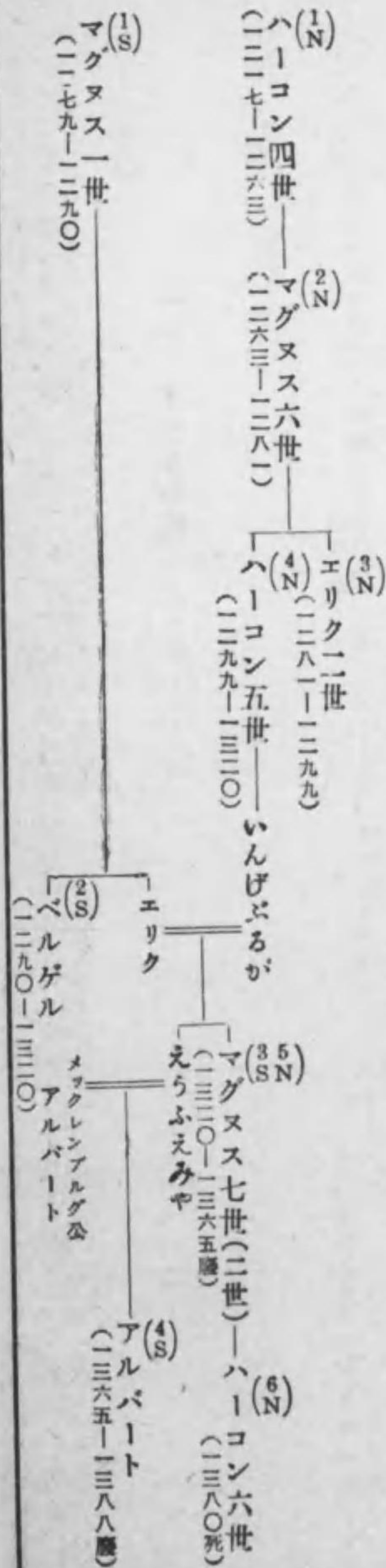
西洋諸國帝王系圖

(イタリヤ、北方三王國)



二 北方三王國

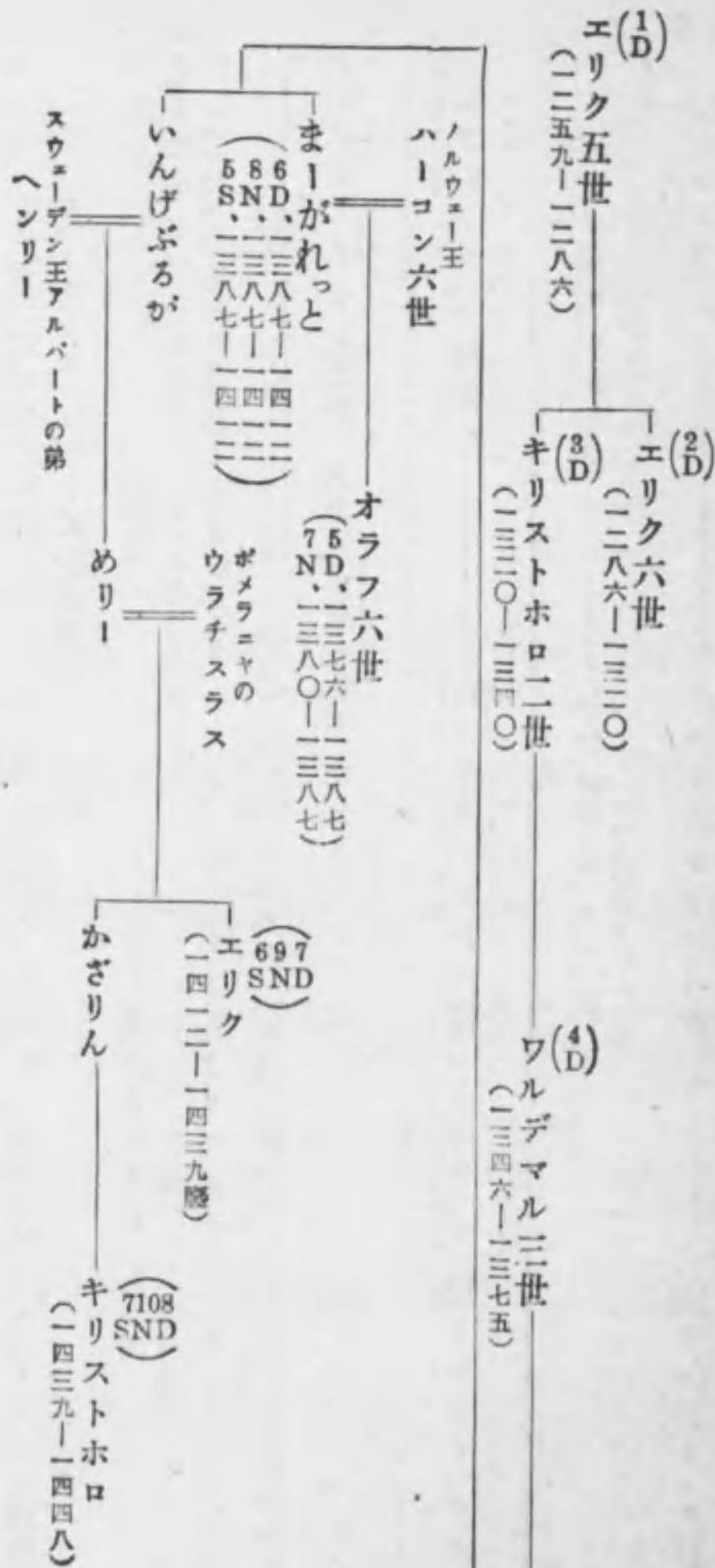
(一三九七年のカルマル合同前後のノルウェー(N)スウェーデン(S)及びデンマルク(D))



西洋諸國帝王系圖

(北國三王國)

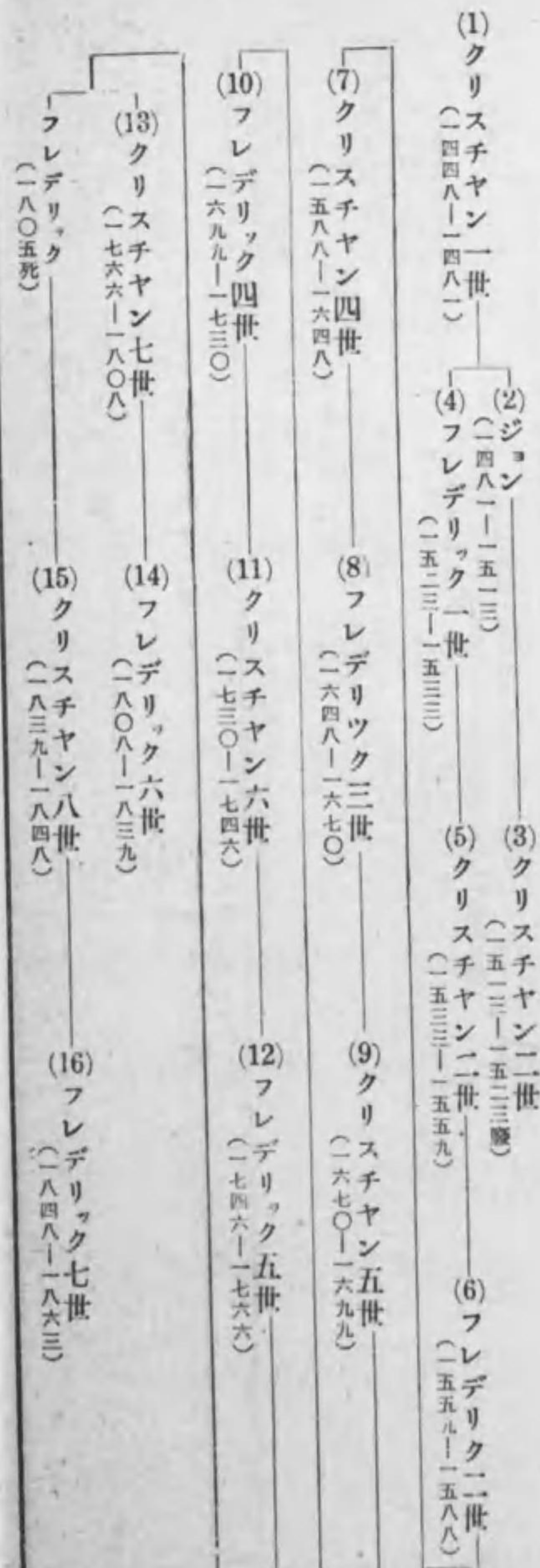
三 デンマルク國



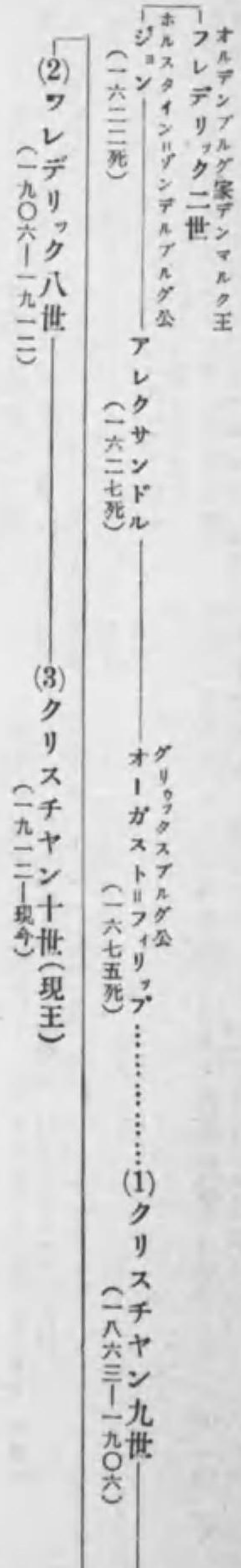
西洋諸國帝王系圖 (デンマルク)

(一) オルデンブルグ家 (一四四八—一八六三)

デンマルク王は一三九七年カルマルの合同により同時にスウェーデン及びノルウェーに王たり。一四四八年以後  
オルデンブルグ家の諸王同じく此三國に君臨す。然るに一五二三年スウェーデン分離獨立し、一八一四年ノル  
ウェーをスウェーデンに分譲す。



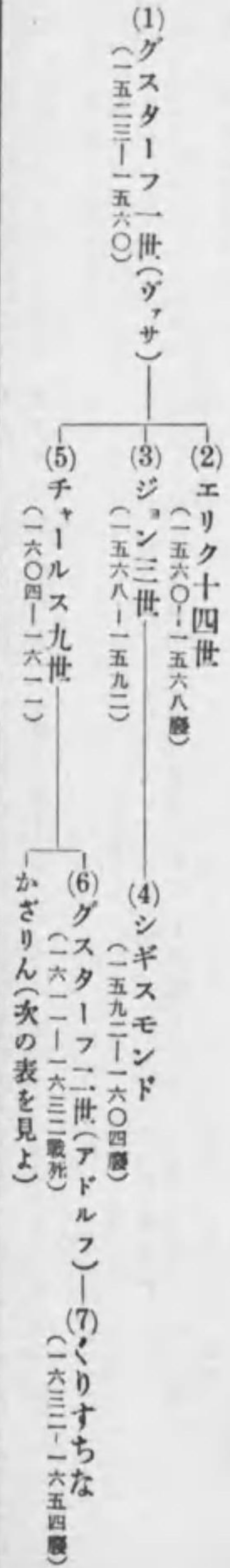
(二) グリッक्सブルグ家 (現王家、オルデンブルグ家支流、一八六三—現令)



十四 スウェーデン國

一五二三年デンマルクより離れて獨立王國となる。一八一四年デンマルクよりノルウェーを取る。一九〇五年  
ノルウェー分離す。

(一) ヴァサ家 (一五二一—一六五四)



西洋諸國帝王系圖

デンマルク、スウェーデン

西洋諸國帝王系圖

(スウェーデン)

(二) ヴァサ・ファルツ・ツウ・ファイブリックケン家 (一六五四—一七五二)  
ツウ・ファイブリックケンのファルツ伯  
ジョン・カシミル

ヴァサ家チャールス九世の女  
かざりん  
(1) チャールス十世(グスターフ) (一六五〇—一六六〇)  
(2) チャールス十一世 (一六六〇—一六九七)  
(3) チャールス十二世 (一六九七—一七〇六)  
(4) うるりか(カエレあ) (一七〇六—一七四三)  
(5) チャールス十三世 (一七四三—一七九四)  
(6) フレデリック (一七九四—一八〇九)  
(7) ヴァルマスタ (一八〇九—一八二一)

(三) ホルスタイン・ゴットルプ家 (一七五二—一八二八)  
ホルスタイン・ゴットルプ公  
アドルフ (一七五二—一七七七)

(1) アドルフ・フリデリック (一七五二—一七七七)  
(2) グスターフ三世 (一七七〇—一七九二)  
(3) グスターフ四世(アドルフ) (一七九二—一八〇九)  
(4) チャールス十三世 (一八〇九—一八二一)  
(5) グスターフ五世(現王) (一八二一—一八七二)  
(6) オスカル一世 (一八七二—一八九一)  
(7) ノルウェー王 (一八九一—一八九五)

(四) ポントリコルボ家 (一八二一—一八七二)  
(1) チャールス十四世(ジョン・ベルナドット) (一八〇一—一八五九)  
(2) オスカル一世 (一八五九—一八九一)  
(3) チャールス十五世 (一八九一—一八九五)  
(4) オスカル二世 (一八九五—一九〇七)  
(5) グスターフ五世(現王) (一九〇七—一九〇七)

一五 ノルウェー國

此國は一八一四年デンマルクより分離してスウェーデンに屬す。されど王國の資格を有すること舊の如し。一九〇五年獨立王國となる。

デンマルク王  
フレデリック八世 — ハーコン七世(現王) (一九〇五—現今)

一六 オランダ國

此國は本とイスパニヤ領なりしが反旗を擧げて共和國を組織し一五八一年獨立を宣言し一六四八年イスパニヤの公認を経たり。一六八九年より一七〇二年まではウィリヤム三世の下に英國と合併す。一七〇二年より一七四八年まで統領なし。一七九四年より一八一三年まで佛國勢力の下に立つ。(一七九五年バタヴィヤ共和國となり一八〇六年王國となり一八一〇年佛帝國に合併)。一八一五年王國となる。一八三〇年ベルギーを失ふ。

オレンジ・ナッサウ家

オレンジ公  
ウィリヤム一世(沈黙) (一五八四被殺)  
フレデリック・ヘンリー (一六四七死)  
モリス (一六二五死)  
ウィリヤム二世 (一六五〇死)  
ウィリヤム三世(英王として) (一六八九—一七〇二)  
ヘンリー・カシミル二世 (一六九六死)  
えみりや (一六二五死)

西洋諸國帝王系圖

(ノルウェー、オランダ)

西洋諸國帝王系圖 (オランダ、ベルギー、ギリシャ)

オランダ王  
 ウィリヤム一世 (一八一五—一八四〇)  
 ウィリヤム二世 (一八三〇—一八四九)  
 ウィリヤム三世 (一八五〇—一八九〇)  
 ウィリヤム四世 (一八五〇—一八六二)  
 ウィリヤム五世 (一八六二—一八九〇)  
 ウィリヤム六世 (一八九〇—一九〇九)  
 ウィリヤム七世 (一九〇九—一九四九)

一七 ベルギー國

ウィリヤム二世 (一八三〇—一八四九)  
 ウィリヤム三世 (一八四九—一八九〇)  
 うゐるれみな(現女王) (一九〇九—)

一八三〇年オランダより獨立して王國となり一八三九年オランダの公認を経たり。

サクソコップルグ家 (一八三二—現今)

サクソコップルグ公  
 フランシス  
 (1)レオポルド一世 (一八三二—一八六五)  
 (2)レオポルド二世 (一八六五—一九〇九)  
 (3)アルバート(現王) (一九〇九—現今)

一八 キリシヤ國

一八三〇年トルコ帝國より獨立し一八三二年王國となる。

(一) バヴァリヤ家 (一八三二—一八六二)

バヴァリヤ王  
 ルイ一世 (一八三二—一八六二)  
 オットー一世 (一八三二—一八六二)

(二) デンマルク家 (一八六三—現今)

デンマルク王  
 クリスチヤン九世 (一八六三—一九一三)  
 ジョージ一世 (一八六三—一九一三)  
 コンスタンチン一世 (一九一三—一九一七)  
 アレクサンドル一世 (一九一七—一九二〇)  
 ジョージ二世 (一九二〇—)

一九 トルコ國

一二八八年小亞細亞より起り、一三〇七年セルジュラクトルコ帝國より獨立、一九二二年オスマン家滅亡、共和國となる。

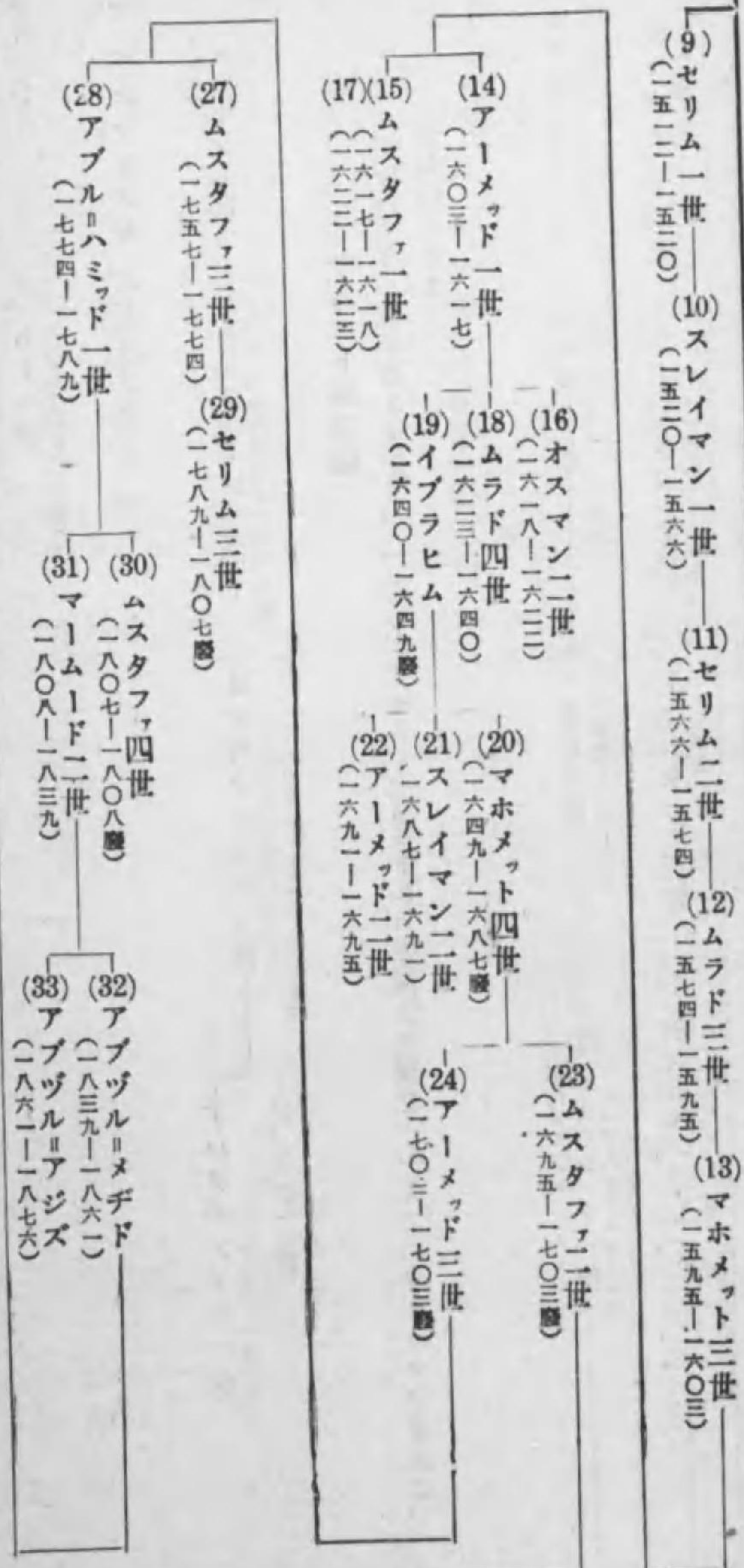
オスマン家

- (1)オスマン一世 (一三〇七—一三五五)
- (2)オルハン (一三五五—一三五九)
- (3)ムラド一世 (一三五九—一三八九)
- (4)初代スルタンバチヤシッド一世 (一三八九—一四〇二)
- (5)マホメット一世 (一四〇二—一四二一)
- (6)ムラド二世 (一四二一—一四五二)
- (7)マホメット二世 (一四五二—一四八二)
- (8)バチヤシッド二世 (一四八二—一五二二)

西洋諸國帝王系圖 (ギリシャ、トルコ)

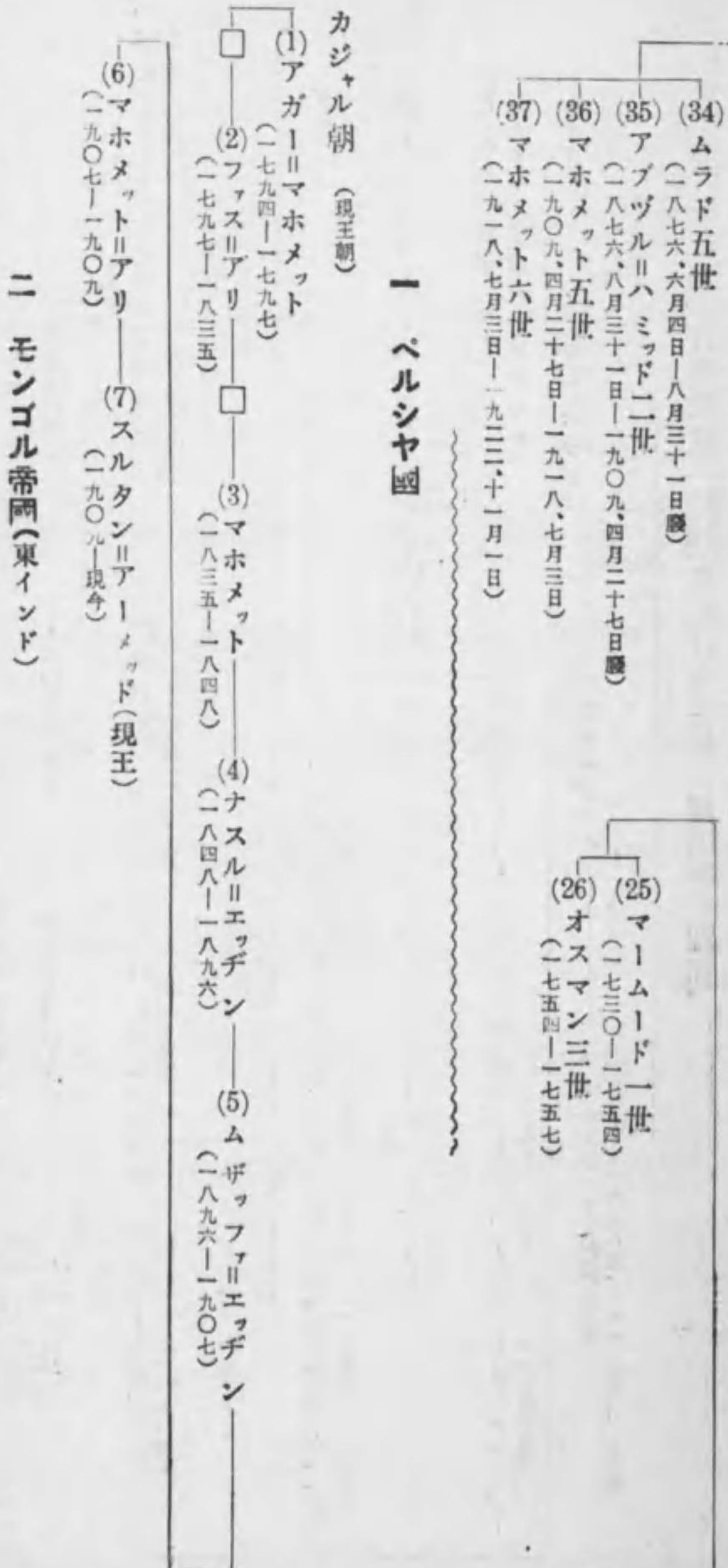
西洋諸國帝王系圖

(トルコ)



一 ベルシヤ國

カジャール朝 (現王朝)



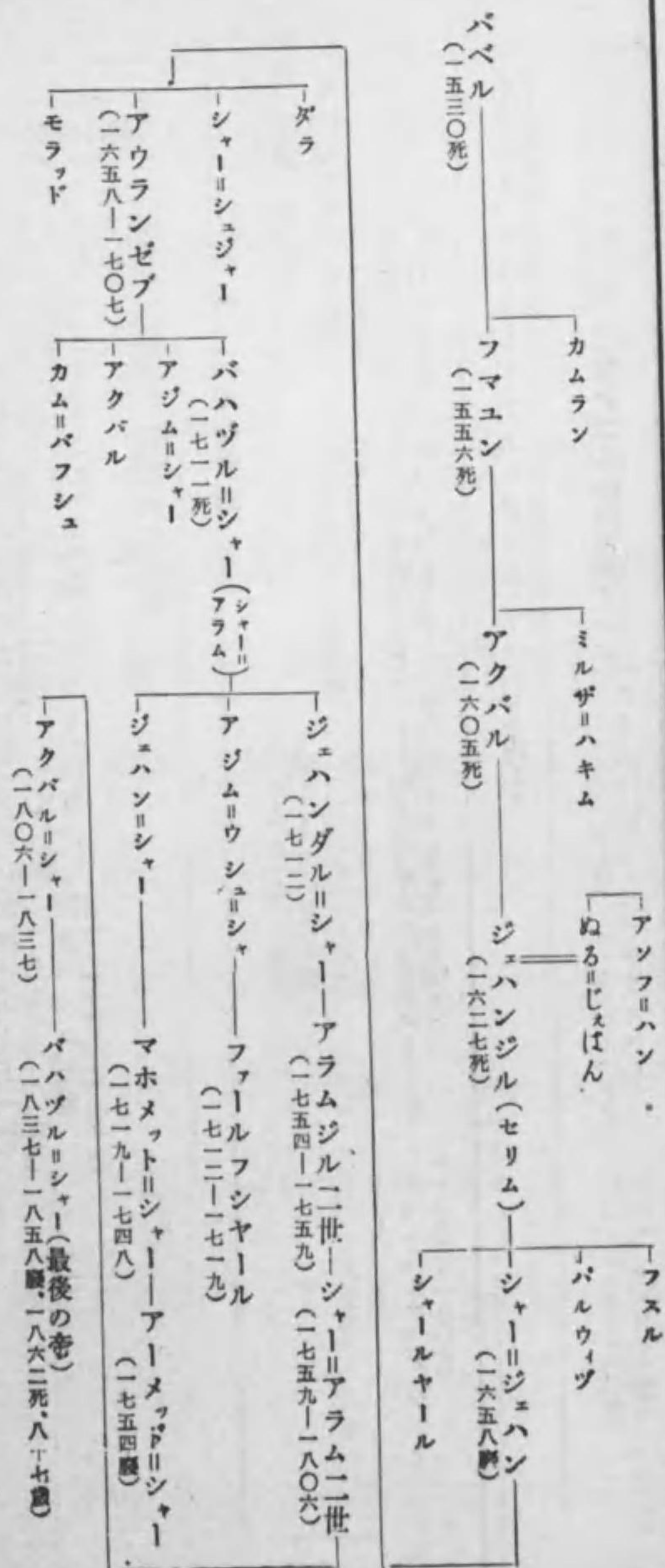
二 モンゴル帝國(東インド)

西洋諸國帝王系圖

(トルコ、ベルシヤ)

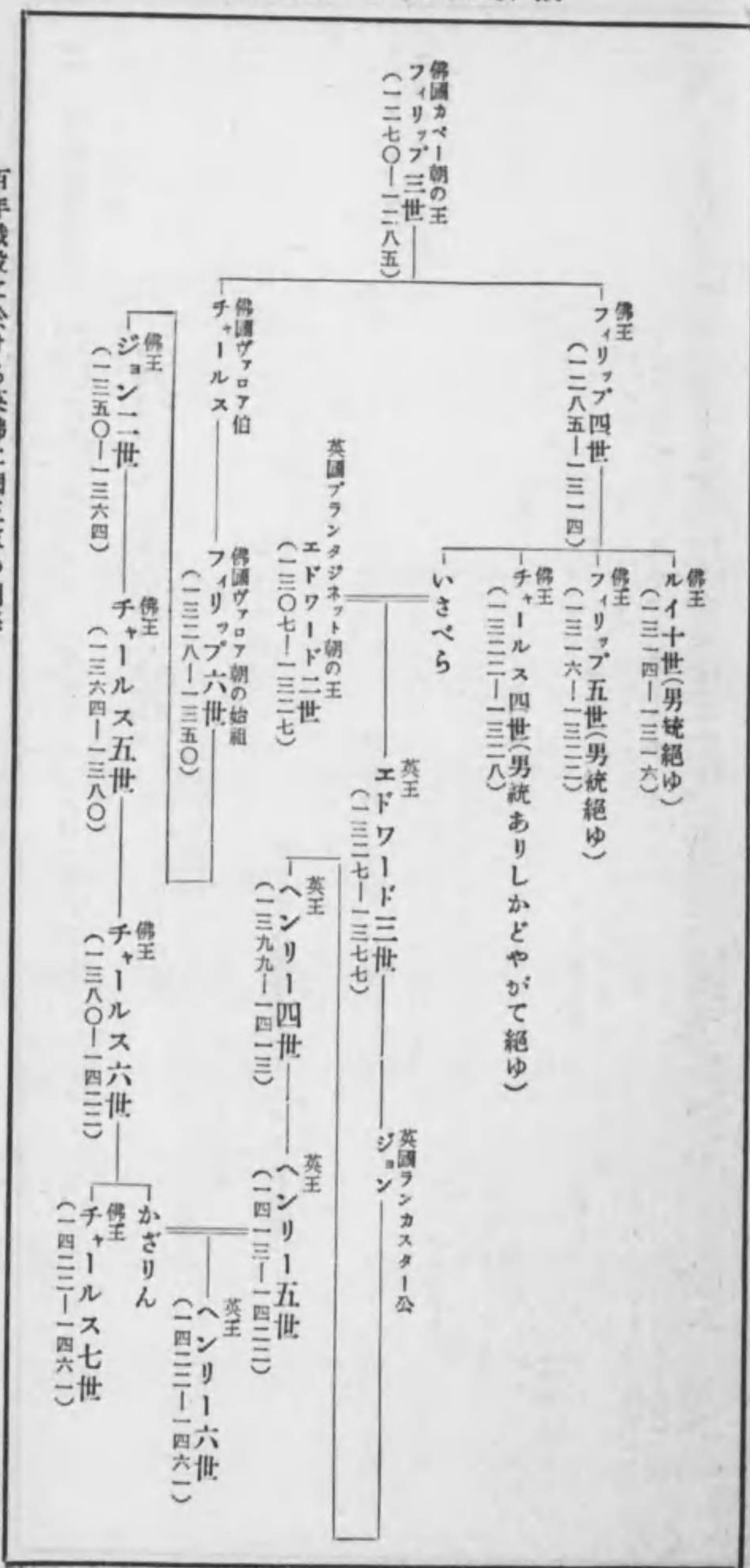


西洋諸國帝王系圖 (モンゴル帝國)



一 百年戦役(一三三九—一四五三)に於ける英佛二國王家の關係

百年戦役に於ける英佛二國王家の關係







オーストリア継承戦役に於ける諸國の關係

英獨露三國に於ける最近各皇室の關係

レオポルド(男統絶ゆ)  
(一七二六生れてやがて死す)  
まりや<sup>リ</sup>てれさ

ドイツ帝  
フランシス一世(ナスカ)  
(一七四五—一七六五)

五 英獨露三國に於ける最近各皇室の關係

獨帝の祖父の妹は露帝の曾祖母  
獨帝の母は英帝の父の姉  
露帝の母は英帝の母の妹

サクソニヤ選帝侯  
フレデリック<sup>リ</sup>オーガスト二世(オーガスト二世)  
(一七三三—一七六三)

プロシヤ王  
フレデリック<sup>リ</sup>ウィリヤム四世  
(一八四〇—一八六一)

獨帝  
ウィリヤム一世  
(一八七一—一八八八)

英女王

ヴィクトリヤ

ヴィクトリヤ

獨帝  
フレデリック三世  
(一八八八)

英王

エドワード七世  
(一九〇一—一九一〇)

獨帝  
ウィリヤム二世  
(一八五九生—一八八八—一九一八)

英王

ジョージ五世  
(一八六五生—一九一〇)

丁棟王  
クリスチャン九世

あれくさんどら

プロシヤ王  
フレデリック<sup>リ</sup>ウィリヤム三世

あれくさんどら

獨帝  
ニコラス一世  
(一八二五—一八五五)

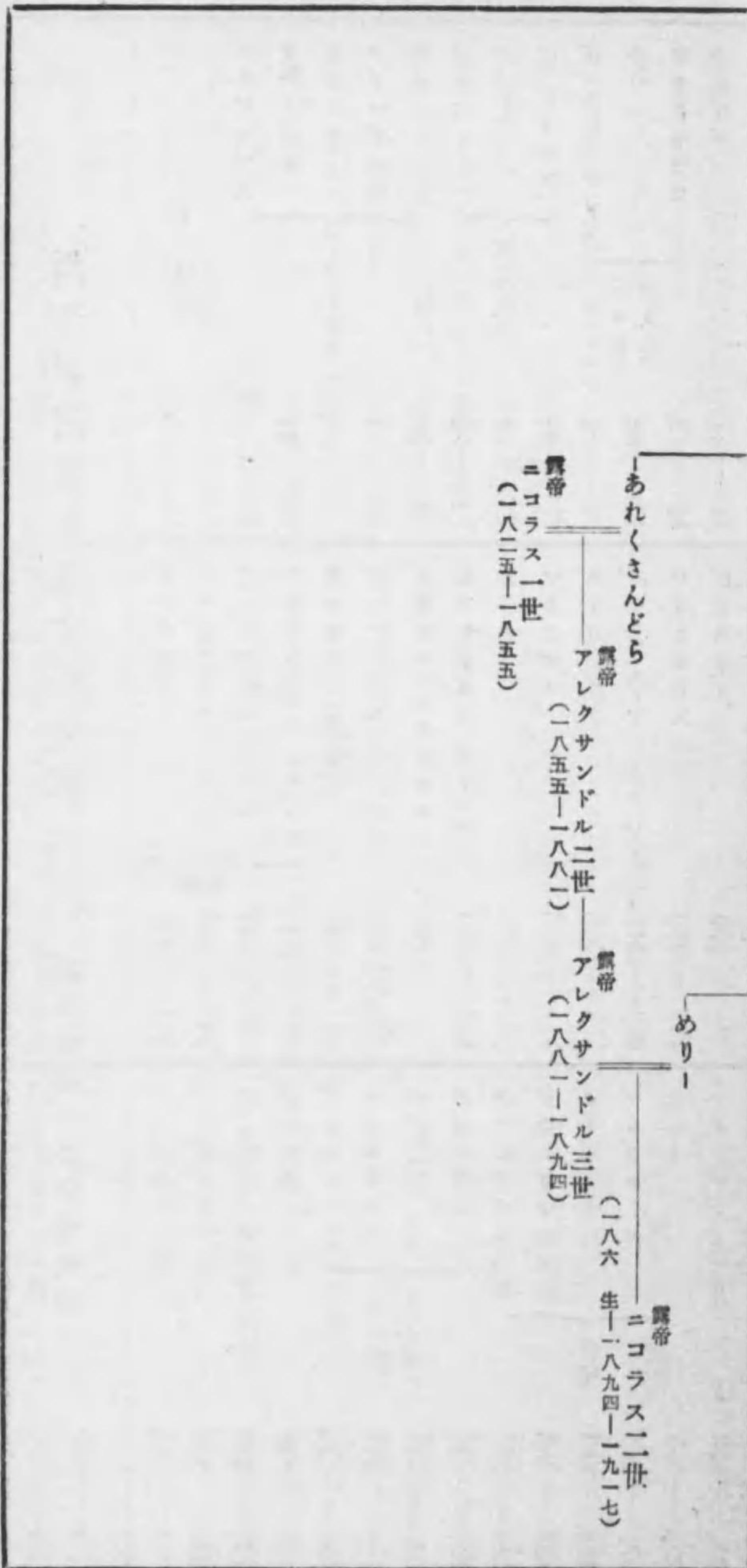
獨帝  
アレクサンドル二世  
(一八五五—一八八二)

獨帝  
アレクサンドル三世  
(一八八二—一八九四)

めりー

獨帝  
ニコラス二世  
(一八六八生—一八九四—一九一七)

英獨露三國に於ける最近各皇室の關係





西洋諸國及支那統治者歴代表

コンスタンチヌス三世	六四二	ニケフォルス一世	八〇二—八二二	コンスタンチヌス九世	九七六—一〇二八
ヘラクレオナス	六四一	スタウラキウス	八二二	ロマヌス三世	一〇二八—一〇三四
コンスタンチヌス二世	六四二—六六八	ミカエル一世	八二二—八三三	ミカエル四世	一〇三四—一〇四一
コンスタンチヌス四世	六六八—六八五	レオ五世(アルメニウス)	八三三—八三〇	ミカエル五世	一〇四一
ユスチニヤヌス二世	六八五—六九五	ミカエル二世	八三〇—八二九	ぞえ及てたどら	一〇四一
レオンチウス	六九五—六九八	テオフィルス	八二九—八四二	コンスタンチヌス十世	一〇四二—一〇五四
チベリウスIIアブシマルス	六九八—七〇四	ミカエル三世	八四二—八六七	てたどら(重祚)	一〇五四—一〇五六
ユスチニヤヌス二世(重祚)	七〇四—七二一	バシール一世	八六七—八八六	ミカエル六世	一〇五六—一〇五七
フィリピクス	七二一—七三三	レオ六世(サビエンス)	八八六—九二二	イサク一世	一〇五七—一〇五九
アナスタシウス二世	七三三—七三六	コンスタンチヌス七世	九二二—九五九	コンスタンチヌス十一世	一〇五九—一〇六七
テオドシウス三世	七三六—七三七	アレクサンドル(コンスタンチヌス)	九二二—九二二	ロマヌス四世	一〇六七—一〇七二
レオ三世(イサウルス)	七三七—七四一	ロマヌス一世(同上)	九二二—九四四	ミカエル七世	一〇七二—一〇七八
コンスタンチヌス五世(コプロニムス)	七四一—七四五	コンスタスタチヌス八世(同上)	九四四—九五九	ニケフォルス三世	一〇七八—一〇八二
レオ四世	七四五—七七五	ロマヌス二世	九五九—九六三	アレクシス(又はアレクシウス)一世	一〇八二—一一一八
コンスタンチヌス六世	七七五—七八〇	ニケフォルス二世	九六三—九六九	ジョン二世	一一一八—一一四三
いれぬ	七八〇—七九七	ジョン一世	九六九—九七六	マヌエル一世	一一四三—一一八二
	七九七—八〇二	バシール二世	九六九—一〇二五		

西洋諸國及支那統治者歴代表

アレクシス(又はアレクシウス)二世	一一八二—一一八三	ジョン五世	一一四二—一一五五
アンドロニクス一世	一一八三—一一八五	ジョン六世	一一五五—一一五九
イサク二世	一一八五—一一九五	マヌエル二世	一一五九—一一六二
アレクシス(又はアレクシウス)三世	一一九五—一一〇三	ジョン七世	一一六二—一一六八
アレクシス(又はアレクシウス)四世	一一〇三—一一〇四	コンスタンチヌス十三世(パレオログス)	一一六八—一一四三
アレクシス(又はアレクシウス)五世	一一〇四—一一〇四		
	一一〇四		
<b>四 ラテン皇帝</b>			
(國都コンスタンチノーブル)			
ポールドウィン一世	一一〇四—一一〇五		
ヘンリー	一一〇五—一一〇六		
ベートル	一一〇六—一一〇九		
ロバート	一一〇九—一一一八		
<b>五 ギリシヤ皇帝</b>			
(國都小亞細亞ニケーヤ)			
ジョン	一一三八—一一三七		
ポールドウィン二世	一一三七—一一六二		
<b>六 東ローマ皇帝</b>			
(ミカエル八世(ギリシヤ皇帝ミカエル八世)ト同人)			
ミカエル八世	一一六二—一一六九		
アンドロニクス二世	一一六九—一一八二		
ミカエル九世	一一八二—一一八八		
アンドロニクス三世	一一八八—一二四二		
<b>七 ローマ法王</b>			
1 中古の著名なる法王			
レオ一世(大法王)	四四〇—四六一		
グレゴリー一世(大法王)	五九〇—六〇四		
グレゴリー二世	七二五—七三二		
ザカリアス	七四一—七五三		
ステファン三世(二世)	七五三—七五七		
アドリヤン一世	七五七—七九五		
レオ三世	七九五—八二六		

西洋諸國及支那統治者歴代表

レオ四世	八四七—八五五	ボニファキウス八世	一二九四—一三〇三	マネヂクト十三世	一三九四—一四一五
ニコラス一世	八八—八六七	2 アヴィニヨンの法王(一三〇五—一三七八)	一三〇五—一三二四	は ビサの法王	一四〇九—一四一〇
ジョン八世	八七二—八八二	クレメンヌス五世	一三二四—一三三四	ジョン二十三世(二十二世)	一四一〇—一四一五
ジョン十世	九一四—九二八	ジョン二十二世(二十一世)	一三三三—一三四二	4 統一後の法王	
ジョン十二世	九五五(九五六)—九六三	マネヂクト十二世	一三四二—一三五二	マルチン五世	一四一七—一四三二
シルヴェステル二世	九九九—一〇〇三	クレメンヌス六世	一三五二—一三六二	ユージン四世	一四三二—一四四七
ニコラス二世	一〇五八—一〇六一	インノセント六世	一三六二—一三七〇	ニコラス五世	一四四七—一四五五
グレゴリー七世	一〇七三—一〇八五	ウルバン五世	一三七〇—一三七八	カリクスツス三世	一四五五—一四五八
ウルバン二世	一〇八八—一〇九九	グレゴリー十一世	一三七八—一四一七	ピウス二世	一四五八—一四六四
パスカル二世	一一〇九—一一一八	3 大分立の法王(一三七八—一四一七)		ポール二世	一四六四—一四七一
カリクスツス二世	一一一九—一二二四	い ローマの法王		シクスツス四世	一四七一—一四八四
アドリヤン四世	一一五四—一一五九	ウルバン六世	一三七八—一三八九	インノセント八世	一四八四—一四九二
アレクサンドル三世	一一五九—一二八二	ボニファキウス九世	一三八九—一四〇四	アレクサンドル六世	一四九二—一五〇三
インノセント三世	一二八二—一二九一	インノセント七世	一四〇四—一四〇六	ピウス三世	一五〇三—一五〇九
ホノリウス三世	一二九一—一二九七	グレゴリー十二世	一四〇六—一四〇九	ユリウス二世	一五〇九—一五一三
グレゴリー九世	一二九七—一三〇一	ろ アヴィニヨンの法王	一三七八—一三九四	レオ十世	一五一三—一五二二
グレゴリー十世	一三〇一—一三〇六				

西洋諸國及支那統治者歴代表

アドリヤン六世	一五二二—一五三三	ウルバン八世	一六三三—一六四四	レオ十二世	一八二二—一八二九
クレメンヌス七世	一五三三—一五三四	インノセント十世	一六四四—一六五五	ピウス八世	一八二九—一八三〇
ポール三世	一五三四—一五四九	アレクサンドル七世	一六五五—一六六七	グレゴリー十六世	一八三〇—一八四六
ユリウス三世	一五五〇—一五五五	クレメンヌス九世	一六六七—一六六九	ピウス九世	一八四六—一八七六
マルケルス二世	一五五五—一五五九	クレメンヌス十世	一六七〇—一六七六	レオ十三世	一八七六—一八〇三
ポール四世	一五五九—一五五九	インノセント十一世	一六七六—一六八九	ピウス十世	一八〇三—一八二四
ピウス四世	一五五九—一五六五	アレクサンドル八世	一六八九—一六九一	マネヂクト十五世	一八二四—一八三二
ピウス五世	一五六六—一五七二	インノセント十二世	一六九一—一七〇〇	ピウス十一世	一八三二—
グレゴリー十三世	一五七二—一五八五	クレメンヌス十一世	一七〇〇—一七二二		
シクスツス五世	一五八五—一五九〇	インノセント十三世	一七二二—一七三三	八 北米合衆國大統領	
ウルバン七世	一五九〇—	マネヂクト十三世	一七三三—一七三三	(毎四年選舉)	
グレゴリー十四世	一五九〇—一五九二	クレメンヌス十二世	一七三三—一七四〇	ジョージワシントン	一七九一—一七九三
インノセント九世	一五九二—一六〇月	マネヂクト十四世	一七四〇—一七五八	ジョージワシントン(重選)	一七九三—一七九七
クレメンヌス八世	一五九二—一六〇五	クレメンヌス十三世	一七五八—一七六九	ジョンアダムス	一七九七—一八〇一
レオ十一世	一六〇五—	クレメンヌス十四世	一七六九—一七七四	トマスジェファソン	一八〇一—一八〇五
ポール五世	一六〇五—一六二二	ピウス六世	一七七五—一七九九	トマスジェファソン(重選)	一八〇五—一八〇九
グレゴリー十五世	一六二二—一六三三	ピウス七世	一七九九—一八二二	ジェームスマヂソン	一八〇九—一八二二

西洋諸國及支那統治者歷代表

ジョームス・マヂソン (重選)	一八二二—一八七二	アンドルー・ジョンソン	一八六五—一八六九	テオドール・ルーズベルト (重選)	一九〇一—一九〇五
ジョームス・モンロー (重選)	一八二二—一八二五	ウリセス・シンブソン・グラント	一八六九—一八七三	テオドール・ルーズベルト (重選)	一九〇五—一九〇九
ジョン・クインシー・アダムズ	一八二五—一八二九	ウリセス・シンブソン・グラント (重選)	一八七三—一八七七	ウィリアム・マクドナルド	一九〇九—一九一三
アンドルー・ジャクソン	一八二九—一八三三	ルーテル・フォード・バッチャード・ヘース	一八七七—一八八二	ウィリアム・ウィルソン	一九一三—一九一七
アンドルー・ジャクソン (重選)	一八三三—一八三七	ジョームス・アブラハム・ガーフィールド	一八八二—一八八二	ウィリアム・ウィルソン (重選)	一九一七—一九二一
マルチン・ヴァン・ブレン	一八三七—一八四二	チェスター・アレン・アーサー	一八八二—一八八五	ウィリアム・ハーヂング	一九二一—一九二五
ウィリアム・ヘンリー・ハリソン	一八四一—一八四二	グロヴァー・クリーヴランド	一八八五—一八八九	カルヴィン・クリッパチ	一九二五—一九二九
一八四一—一八四二	三月	グロヴァー・クリーヴランド (重選)	一八八九—一八九三	マクドナルド	一九二九—一九三三
ジョン・タイラー	一八四二—一八四五	ウイリアム・マッキンリー	一八九三—一八九七	グレグ	一九三三—一九三七
一八四二—一八四五	四月	ウイリアム・マッキンリー (重選)	一八九七—一九〇一	カルノー	一九三七—一九四一
ジェームス・スクリブナー	一八四二—一八四六	一九〇一	一九〇一	ベリエール	一九四一—一九四五
ザカリー・テイラー	一八四六—一八四九	チェスター・アレン・アーサー (重選)	一九〇一	フォール	一九四五—一九四九
一八四六—一八四九	四月	グロヴァー・クリーヴランド	一九〇一	ルベール	一九四九—一九五三
ミラドル・フィルモア	一八五〇—一八五三	ウイリアム・マッキンリー (重選)	一九〇一	フアリエール	一九五三—一九五七
一八五〇—一八五三	九月	一九〇一	一九〇一		
フランクリン・ピアース	一八五三—一八五七	チェスター・アレン・アーサー	一九〇一		
一八五三—一八五七	三月	グロヴァー・クリーヴランド	一九〇一		
ジェームス・スクリブナー	一八五七—一八六二	ウイリアム・マッキンリー	一九〇一		
一八五七—一八六二	九月	ウイリアム・マッキンリー (重選)	一九〇一		
アブラハム・リンカーン	一八六二—一八六五	一九〇一	一九〇一		
一八六二—一八六五	三月	一九〇一	一九〇一		
アブラハム・リンカーン (重選)	一八六五	一九〇一	一九〇一		

西洋諸國及支那統治者歷代表

ポアンカレ	一九三三—一九三〇	八六四年帝政、一八六七年以後共和	一九三三—一九三〇
デシヤネル	一九三〇	一九三三—一九三〇	一九三三—一九三〇
ミルラン	一九三〇	一九三三—一九三〇	一九三三—一九三〇
一〇 葡國大統領 (每四年選挙)			
ブラガ (假大統領)	一九二〇—一九二一	一九二〇—一九二一	一九二〇—一九二一
アリアガ	一九二一—一九二五	一九二一—一九二五	一九二一—一九二五
ブラガ	一九二五	一九二五	一九二五
マシヤド	一九二五—一九二七	一九二五—一九二七	一九二五—一九二七
バエス	一九二七—一九二八	一九二七—一九二八	一九二七—一九二八
アルメイダ	一九二八—一九三三	一九二八—一九三三	一九二八—一九三三
ゴメス	一九三三—	一九三三—	一九三三—
一一 墨國大統領 (每六年選挙)			
馮國璋 (代行)	一九一三—一九一六	一九一三—一九一六	一九一三—一九一六
徐世昌	一九一六—一九一七	一九一六—一九一七	一九一六—一九一七
黎元洪	一九一七—一九一八	一九一七—一九一八	一九一七—一九一八
曹錕	一九一八—	一九一八—	一九一八—
黎元洪	一九二一—一九二二	一九二一—一九二二	一九二一—一九二二
曹錕	一九二二—一九二四	一九二二—一九二四	一九二二—一九二四
曹錕	一九二四—一九二五	一九二四—一九二五	一九二四—一九二五
曹錕	一九二五—一九二六	一九二五—一九二六	一九二五—一九二六
曹錕	一九二六—一九二七	一九二六—一九二七	一九二六—一九二七
曹錕	一九二七—一九二八	一九二七—一九二八	一九二七—一九二八
曹錕	一九二八—	一九二八—	一九二八—
曹錕	一九二九—一九三〇	一九二九—一九三〇	一九二九—一九三〇
曹錕	一九三〇—	一九三〇—	一九三〇—
曹錕	一九三〇—一九三三	一九三〇—一九三三	一九三〇—一九三三
曹錕	一九三三—一九三四	一九三三—一九三四	一九三三—一九三四
曹錕	一九三四—	一九三四—	一九三四—
曹錕	一九三四—一九三五	一九三四—一九三五	一九三四—一九三五
曹錕	一九三五—	一九三五—	一九三五—
曹錕	一九三五—一九三六	一九三五—一九三六	一九三五—一九三六
曹錕	一九三六—一九三七	一九三六—一九三七	一九三六—一九三七
曹錕	一九三七—一九三八	一九三七—一九三八	一九三七—一九三八
曹錕	一九三八—	一九三八—	一九三八—
曹錕	一九三九—一九四〇	一九三九—一九四〇	一九三九—一九四〇
曹錕	一九四〇—	一九四〇—	一九四〇—
曹錕	一九四〇—一九四一	一九四〇—一九四一	一九四〇—一九四一
曹錕	一九四一—一九四二	一九四一—一九四二	一九四一—一九四二
曹錕	一九四二—一九四三	一九四二—一九四三	一九四二—一九四三
曹錕	一九四三—一九四四	一九四三—一九四四	一九四三—一九四四
曹錕	一九四四—一九四五	一九四四—一九四五	一九四四—一九四五
曹錕	一九四五—一九四六	一九四五—一九四六	一九四五—一九四六
曹錕	一九四六—一九四七	一九四六—一九四七	一九四六—一九四七
曹錕	一九四七—一九四八	一九四七—一九四八	一九四七—一九四八
曹錕	一九四八—一九四九	一九四八—一九四九	一九四八—一九四九
曹錕	一九四九—一九五〇	一九四九—一九五〇	一九四九—一九五〇
曹錕	一九五〇—	一九五〇—	一九五〇—
曹錕	一九五〇—一九五一	一九五〇—一九五一	一九五〇—一九五一
曹錕	一九五一—一九五二	一九五一—一九五二	一九五一—一九五二
曹錕	一九五二—一九五三	一九五二—一九五三	一九五二—一九五三
曹錕	一九五三—	一九五三—	一九五三—
曹錕	一九五三—一九五四	一九五三—一九五四	一九五三—一九五四
曹錕	一九五四—一九五五	一九五四—一九五五	一九五四—一九五五
曹錕	一九五五—一九五六	一九五五—一九五六	一九五五—一九五六
曹錕	一九五六—一九五七	一九五六—一九五七	一九五六—一九五七
曹錕	一九五七—一九五八	一九五七—一九五八	一九五七—一九五八
曹錕	一九五八—一九五九	一九五八—一九五九	一九五八—一九五九
曹錕	一九五九—一九六〇	一九五九—一九六〇	一九五九—一九六〇
曹錕	一九六〇—	一九六〇—	一九六〇—
曹錕	一九六〇—一九六一	一九六〇—一九六一	一九六〇—一九六一
曹錕	一九六一—一九六二	一九六一—一九六二	一九六一—一九六二
曹錕	一九六二—一九六三	一九六二—一九六三	一九六二—一九六三
曹錕	一九六三—一九六四	一九六三—一九六四	一九六三—一九六四
曹錕	一九六四—一九六五	一九六四—一九六五	一九六四—一九六五
曹錕	一九六五—一九六六	一九六五—一九六六	一九六五—一九六六
曹錕	一九六六—一九六七	一九六六—一九六七	一九六六—一九六七
曹錕	一九六七—一九六八	一九六七—一九六八	一九六七—一九六八
曹錕	一九六八—一九六九	一九六八—一九六九	一九六八—一九六九
曹錕	一九六九—一九七〇	一九六九—一九七〇	一九六九—一九七〇
曹錕	一九七〇—	一九七〇—	一九七〇—
曹錕	一九七〇—一九七一	一九七〇—一九七一	一九七〇—一九七一
曹錕	一九七一—一九七二	一九七一—一九七二	一九七一—一九七二
曹錕	一九七二—一九七三	一九七二—一九七三	一九七二—一九七三
曹錕	一九七三—一九七四	一九七三—一九七四	一九七三—一九七四
曹錕	一九七四—一九七五	一九七四—一九七五	一九七四—一九七五
曹錕	一九七五—一九七六	一九七五—一九七六	一九七五—一九七六
曹錕	一九七六—一九七七	一九七六—一九七七	一九七六—一九七七
曹錕	一九七七—一九七八	一九七七—一九七八	一九七七—一九七八
曹錕	一九七八—一九七九	一九七八—一九七九	一九七八—一九七九
曹錕	一九七九—一九八〇	一九七九—一九八〇	一九七九—一九八〇
曹錕	一九八〇—	一九八〇—	一九八〇—
曹錕	一九八〇—一九八一	一九八〇—一九八一	一九八〇—一九八一
曹錕	一九八一—一九八二	一九八一—一九八二	一九八一—一九八二
曹錕	一九八二—一九八三	一九八二—一九八三	一九八二—一九八三
曹錕	一九八三—一九八四	一九八三—一九八四	一九八三—一九八四
曹錕	一九八四—一九八五	一九八四—一九八五	一九八四—一九八五
曹錕	一九八五—一九八六	一九八五—一九八六	一九八五—一九八六
曹錕	一九八六—一九八七	一九八六—一九八七	一九八六—一九八七
曹錕	一九八七—一九八八	一九八七—一九八八	一九八七—一九八八
曹錕	一九八八—一九八九	一九八八—一九八九	一九八八—一九八九
曹錕	一九八九—一九九〇	一九八九—一九九〇	一九八九—一九九〇
曹錕	一九九〇—	一九九〇—	一九九〇—
曹錕	一九九〇—一九九一	一九九〇—一九九一	一九九〇—一九九一
曹錕	一九九一—一九九二	一九九一—一九九二	一九九一—一九九二
曹錕	一九九二—一九九三	一九九二—一九九三	一九九二—一九九三
曹錕	一九九三—一九九四	一九九三—一九九四	一九九三—一九九四
曹錕	一九九四—一九九五	一九九四—一九九五	一九九四—一九九五
曹錕	一九九五—	一九九五—	一九九五—
曹錕	一九九五—一九九六	一九九五—一九九六	一九九五—一九九六
曹錕	一九九六—一九九七	一九九六—一九九七	一九九六—一九九七
曹錕	一九九七—一九九八	一九九七—一九九八	一九九七—一九九八
曹錕	一九九八—一九九九	一九九八—一九九九	一九九八—一九九九
曹錕	一九九九—	一九九九—	一九九九—
曹錕	一九九九—二〇〇〇	一九九九—二〇〇〇	一九九九—二〇〇〇
曹錕	二〇〇〇—	二〇〇〇—	二〇〇〇—

一三 英領印度長官

英領インドは初め英國東印度會社の管轄、知事總督は其任命に係る、一八五八年統治の權國王に移り、副王任命せられて其行政を總理す、其任期普通五年。

1. マンガル知事 (一七六一—一七七〇)
- クワイグ大佐 (後に總)
- ホルウェル
- ヴァンシタールト
- ジョンニスベンサー
- クライヴ (再任)
- ハーリヴェルスト
- ジョンニカルチエー
- ウォーレンヘースチングス
- ウォーレンヘースチングス (一七四一—一七八〇)



西洋諸國及支那統治者歴代表

サージョーン・マクフェルソン 一七五〇—一七六六	サー・ウィリアム・カディナル 一八二八—一八三三	サー・ウィリアム・カディナル 一八三三—一八三九	サー・ウィリアム・カディナル 一八三九—一八四四	サー・ウィリアム・カディナル 一八四四—一八四九	サー・ウィリアム・カディナル 一八四九—一八五四	サー・ウィリアム・カディナル 一八五四—一八五九	サー・ウィリアム・カディナル 一八五九—一八六四	サー・ウィリアム・カディナル 一八六四—一八六九	サー・ウィリアム・カディナル 一八六九—一八七四	サー・ウィリアム・カディナル 一八七四—一八七九	サー・ウィリアム・カディナル 一八七九—一八八四	サー・ウィリアム・カディナル 一八八四—一八八九	サー・ウィリアム・カディナル 一八八九—一八九四	サー・ウィリアム・カディナル 一八九四—一八九九	サー・ウィリアム・カディナル 一八九九—一九〇四	サー・ウィリアム・カディナル 一九〇四—一九〇九	サー・ウィリアム・カディナル 一九〇九—一九一四	サー・ウィリアム・カディナル 一九一四—一九一九	サー・ウィリアム・カディナル 一九一九—一九二四
サー・ジョーン・マクフェルソン 一七五〇—一七六六	サー・ウィリアム・カディナル 一八二八—一八三三	サー・ウィリアム・カディナル 一八三三—一八三九	サー・ウィリアム・カディナル 一八三九—一八四四	サー・ウィリアム・カディナル 一八四四—一八四九	サー・ウィリアム・カディナル 一八四九—一八五四	サー・ウィリアム・カディナル 一八五四—一八五九	サー・ウィリアム・カディナル 一八五九—一八六四	サー・ウィリアム・カディナル 一八六四—一八六九	サー・ウィリアム・カディナル 一八六九—一八七四	サー・ウィリアム・カディナル 一八七四—一八七九	サー・ウィリアム・カディナル 一八七九—一八八四	サー・ウィリアム・カディナル 一八八四—一八八九	サー・ウィリアム・カディナル 一八八九—一八九四	サー・ウィリアム・カディナル 一八九四—一八九九	サー・ウィリアム・カディナル 一八九九—一九〇四	サー・ウィリアム・カディナル 一九〇四—一九〇九	サー・ウィリアム・カディナル 一九〇九—一九一四	サー・ウィリアム・カディナル 一九一四—一九一九	サー・ウィリアム・カディナル 一九一九—一九二四

歐洲列國同時代の統治者歴代一覽表 附米國大統領

(1453—1517)

..... は同上のしるし

年	英	吉	利	獨	逸	佛	蘭	西	露	西	亞	波	蘭	西	牙	土	其	羅	馬	法	王
1453	ヘンリー六世	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1460	エドワード四世	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1470	.....	.....	.....	.....	.....	ルイ十一世	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1480	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1490	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1500	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1510	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1517	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....

歐洲列國同時代の統治者歴代一覽表

歐洲列國同時代の統治者歴代一覽表

(156)

(1517—1560)

年	國	英	吉	利	獨	逸	佛	蘭	西	露	西	亞	波	蘭	瑞	典	瑞	典	土	耳	其	(羅馬法王)	
1517	.....	ヘンリー八世	.....	マクシミリアン一世	.....	フランシス一世	.....	ペシール四世	.....	シギスモンツ一世	.....	チャールズ一世 (皇帝)	.....	.....	.....	.....	.....	.....	セリム一世	.....	.....	レオ十世	
1520	.....	.....	.....	チャールズ五世	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1530	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1540	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1550	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1560	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....

最新世界年表附録

(1560—1600)

年	國	英	吉	利	獨	逸	佛	蘭	西	露	西	亞	波	蘭	瑞	典	瑞	典	土	耳	其	(羅馬法王)	
1560	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1570	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1580	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1590	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1600	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....

歐洲列國同時代の統治者歴代一覽表

(157)

最新世界年表附録

歐洲列國同時代の統治者歴代一覽表

(1600—1648)

年	國	英	荷	佛	露	波	蘭	西	瑞	土	(羅馬法王)
1600	年	エリザベス 第一世	ルドルフ二世	ヘンリー四世	シメオン バシール 五世	シメオン 三世	フィリップ 三世	フィリップ 三世	シメオン 三世	メヘメット 三世	クレメンス八世 レオ十一世
1610	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1630	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1640	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1648	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....

最新世界年表附録

(158)

(1648—1714)

年	國	英	荷	佛	露	波	蘭	西	瑞	土	(羅馬法王)
1648	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1660	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1670	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1680	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1690	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1700	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1710	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
1714	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....

最新世界年表附録

(159)

歐洲列國同時代の統治者歴代一覽表

歐洲列國同時代の統治者歴代一覽表

(1714—1789)

年	英吉利	蘭	佛蘭西	露西亞	普魯西	西班牙	サルチニア	瑞典	土耳其	(羅馬法王)
1714	ジョージ一世	チャールズ六世	ルイ十四世	ペートル一世(大帝)	フリードリヒ一世	フィリップ五世	ジョージ二世	チャールズ十二世	メスグリア三世	クレメンチス十一世
1720				カザリン一世		ルイ一世	ジョージ三世	ウルフカール		インノセント十三世
1730	ジョージ二世			ペートル二世		フィリップ五世(再)	ジョージ三世			ベネチア十三世
1740		チャールズ七世		カザリン二世		メスグリア六世		フレデリック		クレメンチス十二世
1750		フランソワ一世		カザリン三世		メスグリア六世		メスグリア三世		ベネチア十四世
1760	ジョージ三世			ペートル三世		チャールズ三世		フレデリック		クレメンチス十三世
1770		ジョージ二世		カザリン二世		チャールズ三世		メスグリア三世		クレメンチス十四世
1780			ルイ十六世	カザリン二世		メスグリア三世		メスグリア三世		ベネチア十四世
1789				カザリン二世		メスグリア三世		メスグリア三世		ベネチア十四世

最新世界年表附録

(160)

年	英吉利	蘭	佛蘭西	露西亞	普魯西	土耳其	サルチニア	瑞典	西	西班牙	葡萄牙
1789	ジョージ三世		ジョージ二世	ルイ十六世	カザリン二世	メスグリア三世	ジョージ三世	フレデリック二世	チャールズ三世	メスグリア三世	ジョージ三世
1790			ジョージ二世	(第一共和政)	カザリン二世	メスグリア三世	ジョージ三世	フレデリック二世	チャールズ三世	メスグリア三世	ジョージ三世
1800			ジョージ二世	カザリン二世	カザリン二世	メスグリア三世	ジョージ三世	フレデリック二世	チャールズ三世	メスグリア三世	ジョージ三世
1810			ジョージ二世	カザリン二世	カザリン二世	メスグリア三世	ジョージ三世	フレデリック二世	チャールズ三世	メスグリア三世	ジョージ三世
1820	ジョージ四世		ジョージ二世	カザリン二世	カザリン二世	メスグリア三世	ジョージ三世	フレデリック二世	チャールズ三世	メスグリア三世	ジョージ三世
1830	ウィリアム四世		ジョージ二世	カザリン二世	カザリン二世	メスグリア三世	ジョージ三世	フレデリック二世	チャールズ三世	メスグリア三世	ジョージ三世
1840	ヴィクトリア		ジョージ二世	カザリン二世	カザリン二世	メスグリア三世	ジョージ三世	フレデリック二世	チャールズ三世	メスグリア三世	ジョージ三世
1850			ジョージ二世	カザリン二世	カザリン二世	メスグリア三世	ジョージ三世	フレデリック二世	チャールズ三世	メスグリア三世	ジョージ三世
1860			ジョージ二世	カザリン二世	カザリン二世	メスグリア三世	ジョージ三世	フレデリック二世	チャールズ三世	メスグリア三世	ジョージ三世
1870			ジョージ二世	カザリン二世	カザリン二世	メスグリア三世	ジョージ三世	フレデリック二世	チャールズ三世	メスグリア三世	ジョージ三世
1880			ジョージ二世	カザリン二世	カザリン二世	メスグリア三世	ジョージ三世	フレデリック二世	チャールズ三世	メスグリア三世	ジョージ三世
1890			ジョージ二世	カザリン二世	カザリン二世	メスグリア三世	ジョージ三世	フレデリック二世	チャールズ三世	メスグリア三世	ジョージ三世

最新世界年表附録

(161)

(1789—1890)

歐洲列國同時代の統治者歴代一覽表

歐洲列國同時代の統治者歴代一覽表

(162)

最新世界年表附録

年	伊 太		利 (羅馬法王)	和 國	丁 埃 及 露 威	瑞 典	希 臘	北 米 合 衆 國
	伊	太						
1789	シャルルミヤ ザクソリス三世	ナポリ及シシリー フェルディナント四世	ピウス六世	ウイリヤム五世 (オーストリア)	クリスチヤン 七世	グスターフ三世		ワシントン
1790				1795年バダヴィヤ共和國となる		グスターフ四世		
1800	ナポレオン ボナパルト四世	1806年分體 フェルディナント四世 キヨラー	ピウス七世	1806年王國となる ルイボナパルト		グスターフ十三世		アダムス ジェフヤーン
1810	ザクソリス ニコラ一世	1815年復讐 フェルディナント四世 (フェルディナント四世) フランス一世		1813年佛人を驅逐す 1815年白耳國と合併王國となる ウイリヤム一世(1815—1840)	フレデリック 六世 1814年露威 瑞典に合併 丁 埃	ナポレオン 十三世		ワシントン
1820		フランス一世	レオ十二世			ナポレオン 十四世		モンロー カトリーヌ ワシントン
1830	ナポレオン ボナパルト	フェルディナント二世	ピウス八世					ワシントン ジョージ

(1789—1890)

(163)

最新世界年表附録

1840	ナポレオン ボナパルト		グレゴリー 十六世	ウイリヤム二世		クリスチヤン 八世	オスカル一世	オットー 一世 (1832年 即位)	ブーリン ハリソン ボーカ テール ワイル モア
1850			ピウス九世	ウイリヤム三世		フレデリック 七世			ブーリン ハリソン ボーカ テール ワイル モア
1860		フランシス二世 ザクソリス (1861年伊太利王となる)					シャルル十五世		ブーリン ハリソン ボーカ テール ワイル モア
1870								ジョージ 一世	ブーリン ハリソン ボーカ テール ワイル モア
1880		ウイリヤム一世	レオ十三世				オスカル二世		ブーリン ハリソン ボーカ テール ワイル モア
1890									ブーリン ハリソン ボーカ テール ワイル モア

歐洲列國同時代の統治者歴代一覽表









洪武	洪熙	更始(西蔡)	更始(西蔡)	更始(漢)	庚子	孝昌	孝昌	鴻嘉	皇統	皇統	皇初(北魏)	皇初(後秦)	皇興	皇興	皇興	皇興	廣明	廣明
二〇二八	二〇八五	一〇六九	一〇四五	六八三	一〇六〇	一一八五	一一一四	六四一	一八〇一	一〇一一	一〇五六	一〇五四	一一二七	一八七〇	一九七二	一七〇九	一五四〇	一四二三
後元(漢武)	後元(漢景)	後元(漢文)	興和	興平	興寧	興定	興光	興元	興安	弘道	弘治(明)	弘治(後秦)	弘昌	弘佐	弘光	康定	康國	康熙
五七三	五一八	四九八	一一九九	八五四	一〇二二	一八七七	一一一四	一四四四	一一二二	一三四三	一一四八	一〇五九	一〇六二	一六〇二	二二〇五	一七〇〇	一七八七	二二二二
壽隆	壽光	收國	嗣聖	始光	始元	至和	至德(唐)	至德(陳)	至道	至治	至大	至正	至順	至元(元世)	至元(元世)	五鳳(吳)	五鳳(吳)	五鳳(漢)
一七五五	一〇一五	一七七五	一三四四	一〇八四	五七五	一七一四	一四一六	一二四三	一六五五	一九八一	一九六八	二〇〇一	一九九〇	一九九五	一九二四	一二七八	九一四	六〇四
紹熙	昌武	昌遠	祥興	承明	承光	承玄	承聖	承安	昇明	昇元	升平	勝平	初平	初始	淳化	淳熙	淳熙	淳熙
一八五〇	一〇七八	一二七八	一九三八	一一三六	一一三七	一〇八八	一一二二	一八五六	一一三七	一五九七	一〇一七	一〇八八	八五〇	六六八	六一三	一六五〇	一八三四	一九〇一
神聖	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊	神冊
一〇五七	六〇〇	一五七六	一三五七	一一七八	一〇八八	一〇八八	一一〇四	一四七四	一四七四	一四二〇	一三三四	一三三四	七四七	八八一	一一一五	一七五四	一八〇二	一七九一

支那及朝鮮年號索引

建和(後漢)	建隆	建陽	建明	建文	建平(南燕)	建平(後燕)	建平(後燕)	建武(南齊)	建武(後趙)	建武(晉)	建武(後漢)	建寧	建德	建中	建中	建初(西涼)	建初(後秦)
八〇七	一六二〇	二五五六	一一九〇	二〇五九	一〇六〇	一〇五八	一〇五八	一五五四	九九五	九七七	六八五	八二八	一一三二	一七六一	一四四〇	六二二	一〇六六
乾封	乾符	乾寧	乾貞	乾定	乾德(宋)	乾德(五代蜀)	乾德(五代蜀)	乾道(宋)	乾道(西夏)	乾道(西夏)	乾興	乾亨(遼)	乾亨(五代漢)	乾元	乾化	乾祐(西夏)	乾祐(後漢)
一三二六	一五三四	一五五四	一五八七	一八八四	一六二二	一五七九	一七六一	一八二五	一七二八	一七四七	一六八二	一六三九	一五七七	一四一八	一五七一	一八三一	一六〇八
元初	元光(金)	元光(漢)	元興(東晉)	元興(吳)	元興(後漢)	元康(晉)	元康(漢)	元熙	元徽	元嘉(南齊)	元嘉(後漢)	元延	元祐	元祐	元祐	元祐	元祐
五三三	一八八二	五二七	一〇六二	九二四	七六五	九五一	五九六	一〇七九	一一三三	一〇八四	八一	六四九	一七四六	一六一四	一三一六	一六〇三	二二二〇
光熙	元和(唐)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)	元和(後漢)
九六六	一四六六	七四四	一七三八	五八一	五五一	五八七	一七五八	一九九三	一九五五	一七七九	五四五	一九八	六五九	七七四	五三九	一〇二二	一〇七二
廣政	廣運	廣順	黃初(魏)	黃龍(吳)	黃龍(漢)	黃龍(漢)	黃龍(漢)	黃龍(漢)	黃龍(漢)	黃龍(漢)	黃龍(漢)	黃龍(漢)	黃龍(漢)	黃龍(漢)	黃龍(漢)	黃龍(漢)	黃龍(漢)
一五九八	一六二八	一六一一	八八〇	八八九	六二二	八八二	八三三	二五五七	一六〇二	一五七八	一三四四	一〇六一	二五三五	一八七一	二二二七	一〇一七	一五四五

支那及朝鮮年號索引





終